山形県埋蔵文化財センター調査報告書第215集

西谷地b遺跡第1・2次発掘調査報告書

公益財団法人　山形県埋蔵文化財センター

西谷地 b 遺跡

第 1・2 次発掘調査報告書

山形県埋蔵文化財センター調査報告書第 215 集

2015

公益財団法人　山形県埋蔵文化財センター

西谷地（にしやち）b 遺跡

第 1・2 次発掘調査報告書

山形県埋蔵文化財センター調査報告書第 215 集

平成 27 年

公益財団法人　山形県埋蔵文化財センター

第 2 次調査区遠景，北東から

第 2 次調査区南西部の完掘状況（古代の遺構群），左が北

区画溝で囲まれた中世の屋敷地，上が北

炭窯 SQ1000，北から

三引両文漆器椀（溝 SD2186 出土）

序

本書は、公益財団法人山形県埋蔵文化財センター（平成 24 年 4 月 1 日に財団法人から移行）が発掘調査を実施した、西谷地ｂ遺跡の調査成果をまとめたものです。

西谷地ｂ遺跡は、山形県南部に位置する米沢市にあります。米沢市は室町時代に伊達氏が本拠を構え、江戸時代には上杉氏の城下町として栄えてきた街で豊かな歴史や文化に恵まれています。

この度、東北中央自動車道（米沢～米沢北間）改築事業に伴い、事前に工事予定地内に包蔵される、西谷地ｂ遺跡の発掘調査を実施しました。

調査では、奈良・平安時代の竪穴建物、掘立柱建物や、中世の堀に囲まれた屋敷地、炭窯、区画溝などが見つかりました。また、伊達家の家紋である三引両文が描かれた漆器や古墳時代の土器なども出土しており、地域の歴史を紐解くための大きな成果を得ることができました。

埋蔵文化財は、祖先が長い歴史の中で創造し、育んできた貴重な国民的財産といえます。この祖先から伝えられた文化財を大切に保護するとともに、祖先のつくり上げた歴史を学び、子孫へと伝えていくことが、私たちに課せられた重要な責務と考えます。その意味で本書が文化財保護活動の普及啓発や、学術研究、教育活動などの一助となれば幸いです。

最後になりますが、当遺跡を調査するに際し御支援、御協力いただいた関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

平成 27 年 3 月

公益財団法人　山形県埋蔵文化財センター

理事長　菅野　滋

凡　　例

1　本書は、東北中央自動車道（米沢～米沢北間）改築事業に係る「西谷地ｂ遺跡」の第 1･2 次発掘調査報告書である。

2　既刊の年報、速報会資料、調査説明会資料などの内容に優先し、本書をもって本報告とする。

3　調査は国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所の委託により、公益財団法人山形県埋蔵文化財センター（平成 24 年 4 月 1 日に財団法人から移行）が実施した。

4　本書の執筆は、水戸部秀樹・草野潤平が担当し、三浦秋夫、小笠原正道、黒坂雅人、伊藤邦弘、斉藤敏行、須賀井新人が監修した。

5　遺構図に付す座標値は、平面直角座標系第Ｘ系（世界測地系）により、高さは海抜高で表す。方位は座標北を表す。

6　本書で使用した遺構・遺物の分類記号は下記のとおりである。

SA…掘立柱列　SB…掘立柱建物　SD…溝　SG…川・流路　SK…土坑
SL…焼成遺構　SP…柱穴・ピット　SQ…窯　ST…竪穴建物　EL…カマド
RP…登録土器　RQ…登録石器　RW…登録木製品

7　遺構・遺物実測図の縮尺・網点の用法は各図に示した。

8　遺物実測図の断面黒塗りは須恵器を表す。

9　基本層序および遺構覆土の色調記載については、1998 年版農林水産省農林水産技術会議事務局監修の「新版標準土色帖」によった。

10　本書の執筆分担は、以下のとおりである。

第Ⅲ章第 3 節　草野潤平
第Ⅳ章　パリノ・サーヴェイ株式会社
上記以外　水戸部秀樹

調 査 要 項

遺跡名	西谷地（にしやち）b 遺跡		
遺跡番号	202 - 571		
所在地	山形県米沢（よねざわ）市大字川井（かわい）字道下（みちした）		
調査委託者	国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所		
調査受託者	財団法人山形県埋蔵文化財センター（平成 21 ～ 23 年度）		
	公益財団法人山形県埋蔵文化財センター（平成 24 ～ 26 年度）		
受託期間	平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日		
	平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日		
	平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日		
	平成 24 年 4 月 6 日～平成 25 年 3 月 29 日		
	平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日		
	平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日		
現地調査	平成 21 年 7 月 1 日～平成 21 年 11 月 20 日		
	平成 22 年 5 月 13 日～平成 22 年 11 月 30 日		
調査担当者	平成 21 年度	調査課長	阿部明彦
		専門調査研究員	須賀井新人
		調査研究員	水戸部秀樹（調査主任）
		調査員	松田聡子
	平成 22 年度	調査課長	阿部明彦
		課長補佐	伊藤邦弘
		専門調査研究員	須賀井新人
		調査研究員	水戸部秀樹（調査主任）
		調査研究員	草野潤平
		調査員	高木茜
		調査員	濵田純
	平成 23 年度	整理課長	斉藤敏行
		考古主幹	黒坂雅人
		専門調査研究員	齊藤主税
		調査研究員	水戸部秀樹（整理主任）
		調査員	松田聡子
	平成 24 年度	整理課長	黒坂雅人
		主任調査研究員	水戸部秀樹（整理主任）
		調査員	濵田純
	平成 25 年度	整理課長	黒坂雅人
		主任調査研究員	水戸部秀樹（整理主任）
		調査員	高木茜

		調査員	濵田純
		調査員	岩崎恒平
	平成 26 年度	整理課長	伊藤邦弘
		調査研究員	草野潤平（整理主任）

調査指導　山形県教育庁文化財保護推進課（平成 21 ～ 24 年度）
山形県教育庁文化財・生涯学習課（平成 25 ～ 26 年度）

調査協力　東日本高速道路株式会社東北支社山形工事事務所
米沢市教育委員会

業務委託　空中写真撮影及び図化業務（平成 21 年度）　株式会社ケンコン
空中写真撮影業務（平成 22 年度）　株式会社シン技術コンサル
遺構測量図化業務（平成 23 年度）　株式会社シン技術コンサル
出土木製品保存処理業務（平成 23 年度）　株式会社吉田生物研究所
出土金属製品保存処理業務（平成 23 年度）　財団法人山梨文化財研究所
理化学分析業務（平成 23 年度）　パリノ・サーヴェイ株式会社

発掘作業員	青木雅一	秋場榮吉	阿部國雄	嵐田久雄	伊藤榮吉	井上芳子	今井絹子
	歌丸美津夫	江袋伸一	大河原理三	大武繁	尾形栄一郎	加藤修一	加藤由美
	川村慶二	木下明	菅野孝作	黒田富美子	小林宏	齋藤孝一	齋藤公一
	齋藤政彦	佐藤四郎	佐藤哲朗	佐藤秀子	佐藤昌一	佐藤美秋	鹿間友春
	嶋貫秀昭	島貫三喜男	東海枝桂子	白石昌昭	鈴木君子	鈴木茂	鈴木清介
	鈴木房雄	鈴木康弘	鈴木良巳	須藤英治	須藤勝夫	武田一彦	髙橋恵子
	高橋和夫	髙橋貞夫	高橋恒夫	髙橋宏司	竹田國夫	武田幸子	田村三男
	戸田よし子	二宮民夫	長谷部勝廣	長谷部建	早川勇	藤倉俊弘	舩山健
	舟山たみ子	舟山智子	松浦薫	皆川三枝子	谷中陽子	山口一至	横山昌美
	鷲尾二美	渡部健一	渡部ゆり子	渡部龍	我彦多喜男	（五十音順）	
整理作業員	青木昭一	岩見茜	遠藤寛	粕川令人	加藤道雄	加藤慶則	関東美由紀
	車塚千賀子	黒坂孝一	佐藤加奈子	佐藤香保里	清水佳子	鈴木亨子	須田枝里子
	高木孝純	武田彩	東海林正裕	中嶋美恵子	橋本祐子	長谷川公一	原田重夫
	山口陽子	吉田和代	吉田寛子	（五十音順）			

目　次

Ⅰ　調査の経緯
　1　調査に至る経緯 …… 1
　2　発掘調査の経過と方法 …… 1
　3　整理作業の経過 …… 2
Ⅱ　遺跡の位置と環境
　1　地理的環境 …… 3
　2　歴史的環境 …… 3
Ⅲ　調査の成果
　1　概要 …… 11
　2　遺構 …… 12
　3　遺物 …… 23
Ⅳ　理化学分析
　1　はじめに …… 39
　2　試料 …… 39
　3　分析方法 …… 39
　4　結果 …… 40
　5　考察 …… 43
Ⅴ　総括 …… 45

引用・参考文献 …… 48
遺構実測図 …… 49
遺物実測図 …… 203
写真図版 …… 235

報告書抄録 …… 巻末
遺構全体図（2 枚） …… 付図

表

表１　遺跡地名表 …… 7
表２　土器・木器・漆器観察表 …… 31
表３　土製品・木製品・金属製品観察表 …… 37
表４　石器・石製品観察表 …… 38
表５　放射性炭素年代測定結果 …… 40
表６　樹種同定結果 …… 42
表７　器種別種類構成 …… 44

図　版

第 1 図　調査区概要図（1：4,000） …… 2
第 2 図　西谷地ｂ遺跡周辺の地形分類図 …… 4
第 3 図　遺跡位置図 …… 6
第 4 図　暦年較正結果 …… 41
第 5 図　遺構変遷図 …… 47

遺構実測図

第 6 図　遺構平面図の割付 …… 49
第 7 図　遺構平面図 1 …… 50
第 8 図　遺構平面図 2 …… 51
第 9 図　遺構平面図 3 …… 52
第 10 図　遺構平面図 4 …… 53
第 11 図　遺構平面図 5 …… 54
第 12 図　遺構平面図 6 …… 55
第 13 図　遺構平面図 7 …… 56
第 14 図　遺構平面図 8 …… 57
第 15 図　遺構平面図 9 …… 58
第 16 図　遺構平面図 10 …… 59
第 17 図　遺構平面図 11 …… 60
第 18 図　遺構平面図 12 …… 61
第 19 図　遺構平面図 13 …… 62
第 20 図　遺構平面図 14 …… 63
第 21 図　遺構平面図 15 …… 64
第 22 図　調査区壁土層図のセクションポイント配置図 …… 65
第 23 図　調査区壁土層図 a - a' …… 66
第 24 図　調査区壁土層図 a - a'，b - b' …… 67
第 25 図　調査区壁土層図 c - c' …… 68
第 26 図　調査区壁土層図 d - d' …… 69
第 27 図　調査区壁土層図 d - d' …… 70
第 28 図　調査区壁土層図 d - d' …… 71
第 29 図　調査区壁土層図 d - d' …… 72
第 30 図　調査区壁土層図 d - d' の注記 …… 73
第 31 図　調査区壁土層図 d - d' の注記 …… 74
第 32 図　竪穴建物 ST2252，土坑 SK2524，柱穴 SP2519・2520 …… 75
第 33 図　竪穴建物 ST2280，土坑 SK2287，柱穴 SP2543・2683・2684 …… 76
第 34 図　竪穴建物 ST2492，土坑 SK3281 …… 77
第 35 図　竪穴建物 ST2289・2319，掘立柱建物 SB3388，土坑 SK2509，柱穴 SP2512・2514・2516・2535 …… 78
第 36 図　竪穴建物 ST2289・2319，掘立柱建物 SB3388，土坑 SK2509，柱穴 SP2512・2514・2516・2535 …… 79
第 37 図　竪穴建物 ST2289・2319，掘立柱建物 SB3388，土坑 SK2509，柱穴 SP2512・2514・2516・2535 …… 80
第 38 図　竪穴建物 ST2566 …… 81
第 39 図　竪穴建物 ST2585，土坑 SK2348・2547・2575 …… 82
第 40 図　竪穴建物 ST2582 ～ 2584，掘立柱建物 SB3294・3295，土坑 SK2573，柱穴 SP2641・2657・2664・2679・2685 ～ 2687・2694・2697 …… 83
第 41 図　竪穴建物 ST2582・2583，柱穴 SP2641・2657・2664・2687・2694・2697 …… 84
第 42 図　竪穴建物 ST2583・2584，柱穴 SP2679・2685・2686 …… 85
第 43 図　掘立柱建物 SB3294・3295 …… 86
第 44 図　竪穴建物 ST2653 …… 87
第 45 図　竪穴建物 ST2662，土坑 SK3250 …… 88
第 46 図　竪穴建物 ST2701 …… 89
第 47 図　竪穴建物 ST2776，土坑 SK3188 …… 90
第 48 図　竪穴建物 ST2793，柱穴 SP2814 ～ 2816・2819 …… 91
第 49 図　竪穴建物 ST2818，柱穴 SP3251 …… 92
第 50 図　竪穴建物 ST2845 …… 93
第 51 図　竪穴建物 ST2827，掘立柱建物 SB3262・3286，外周溝 SD2828 …… 94
第 52 図　竪穴建物 ST2827 …… 95
第 53 図　掘立柱建物 SB3262・3286，外周溝 SD2828 …… 96
第 54 図　竪穴建物 ST2849，溝 SD3247 …… 97
第 55 図　竪穴建物 ST2838・3248 …… 98
第 56 図　竪穴建物 ST2838・3248 …… 99
第 57 図　竪穴建物 ST2876，柱穴 SP3242 ～ 3245 …… 100
第 58 図　竪穴建物 ST2877，土坑 SK2874・2875・3246 …… 101
第 59 図　古代の掘立柱建物配置図 1 …… 102

第 60 図　古代の掘立柱建物配置図 2 ……103
第 61 図　掘立柱建物 SB2893 ……104
第 62 図　掘立柱建物 SB3010 ……105
第 63 図　掘立柱建物 SB3021 ……106
第 64 図　掘立柱建物 SB3132 ……107
第 65 図　掘立柱建物 SB3135 ……108
第 66 図　掘立柱建物 SB3157 ……109
第 67 図　掘立柱建物 SB3258 ……110
第 68 図　掘立柱建物 SB3259 ……111
第 69 図　掘立柱建物 SB3260 ……112
第 70 図　掘立柱建物 SB3261 ……113
第 71 図　掘立柱建物 SB3263 ……114
第 72 図　掘立柱列 SA3356 ……115
第 73 図　掘立柱列 SA3389・3390 ……116
第 74 図　中世の掘立柱建物配置図 1 ……117
第 75 図　中世の掘立柱建物配置図 2 ……118
第 76 図　中世の掘立柱建物配置図 3 ……119
第 77 図　掘立柱建物 SB474・2023 ……120
第 78 図　掘立柱建物 SB2024 ……121
第 79 図　掘立柱建物 SB2025 ……122
第 80 図　掘立柱建物 SB2026・2027・3297 ……123
第 81 図　掘立柱建物 SB2026 ……124
第 82 図　掘立柱建物 SB2026 ……125
第 83 図　掘立柱建物 SB2028・2030・3298・3300 ～ 3302，掘立柱列 SA2029 ……126
第 84 図　掘立柱建物 SB2028・2030・3298・3300 ～ 3302，掘立柱列 SA2029 ……127
第 85 図　掘立柱建物 SB2028・2030・3298・3300 ～ 3302，掘立柱列 SA2029 ……128
第 86 図　掘立柱建物 SB2028・2030・3298・3300 ～ 3302，掘立柱列 SA2029 ……129
第 87 図　掘立柱建物 SB3304 ～ 3308・3315・3316 ……130
第 88 図　掘立柱建物 SB3310 ～ 3313・3323・3327・3328 ……131
第 89 図　掘立柱建物 SB3317 ～ 3321 ……132
第 90 図　掘立柱建物 SB3337・3401・3348・3352・3353 ……133
第 91 図　掘立柱建物 SB3360・3362 ～ 3365・3369・3399・3400・3402 ……134
第 92 図　掘立柱建物 SB3371・3377・3384 ……135
第 93 図　掘立柱建物 SB3391・3392・3394 ～ 3398 ……136
第 94 図　炭窯 SQ1000 ……137
第 95 図　焼成遺構 SL236・237・370・500，土坑 SK473 ……138
第 96 図　焼成遺構 SL1892・1905・1906 ……139
第 97 図　焼成遺構 SL1907・1934・1954・2256，土坑 SK2257 ……140
第 98 図　焼成遺構 SL2284・2321・2414・2463，土坑 K2344・2374 ……141
第 99 図　土坑 SK205・221・269・311，溝 SD279 ……142
第 100 図　土坑 SK313・318・357・369，溝 SD397 ……143
第 101 図　土坑 SK374・429・506・606・682・690，柱穴 SP507，溝 SD117 ……144
第 102 図　土坑 SK720・721・852・1014・2008，柱穴 SP745・1207・2009・2010 ……145
第 103 図　土坑 SK934 ～ 938・1143，柱穴 SP894 ……146
第 104 図　土坑 SK1219・1271・1655・1694・1695，溝 SD1272 ……147
第 105 図　土坑 SK1459・1492・1902・1904，柱穴 SP1654 ……148
第 106 図　土坑 SK1919・1955・2019・2108・2109 ……149
第 107 図　土坑 SK2119・2121 ～ 2125 ……150
第 108 図　土坑 SK2126 ～ 2128，溝 SD2105 ……151
第 109 図　土坑 SK2129・2131・2162・2181・2195 ……152
第 110 図　土坑 SK2196 ～ 2199・2245 ……153
第 111 図　土坑 SK2248・2254・2255・2291・2572 ……154
第 112 図　土坑 SK2296・2298・2299・2329・2342・2573，柱穴 SP2341 ……155
第 113 図　土坑 SK2302・2304・2311・2320・2328・2553・2568 ……156
第 114 図　土坑 SK2334・2347・2357・2358・2361・2363，溝 SD2203 ……157
第 115 図　土坑 SK2365・2400・2408・2413・2416 ……158
第 116 図　土坑 SK2415・2420・2421・2427・2428 ……159
第 117 図　土坑 SK2437・2455・2465・2486・2501 ……160
第 118 図　土坑 SK2482 ～ 2485・2491・2515 ……161
第 119 図　土坑 SK2487 ～ 2490・2493 ～ 2495 ……162
第 120 図　土坑 SK2496・2497・2503 ～ 2505・2517 ……163
第 121 図　土坑 SK2525・2544・2550・2554・2562・2642 ……164
第 122 図　土坑 SK2563・2576・2610・2803・3257，溝 SD279，柱穴 SP2577 ……165
第 123 図　土坑 SK2615・2771・2777・2778・2791・2801 ……166
第 124 図　土坑 SK2802・2804・2805・2820・2825 ……167
第 125 図　土坑 SK2835・2848・2851・2881・3067 ～ 3070 ……168
第 126 図　土坑 SK3071・3225・3237 ～ 3239・3282 ……169

第127図　溝・川のセクションポイント配置図1 ……170
第128図　溝・川のセクションポイント配置図2 ……171
第129図　溝・川のセクションポイント配置図3 ……172
第130図　溝SD113・117・279，柱穴SP361 ……173
第131図　溝SD279・306……174
第132図　溝SD390・397・426・427，川SG393，柱穴SP398，土坑SK399 ……175
第133図　溝SD427・599，土坑SK1390……176
第134図　溝SD427・476・796・2418・2773・2873 ……177
第135図　溝SD593・599・796・1212・1273 ……178
第136図　溝SD599・631・796・939・1272・1273・1445，土坑SK1390 ……179
第137図　溝SD939・1212・1313・1370・1445・1827・1881，柱穴SP1408・1858 ……180
第138図　溝SD1446・1827・1881・1885・1903・1953・2000・2014～2016 ……181
第139図　溝SD2102・2105 ……182
第140図　溝SD2102・2103・2105・2518・2567 ……183
第141図　溝SD2105・2107・2111，土坑SK2112・2113・2115・2128・2343，柱穴SP2178 ……184
第142図　溝SD2111・2116～2118・2180・2574，竪穴建物ST2583，川SG1 ……185
第143図　溝SD2117・2118・2120・2186，柱穴SP2176，川SG1……186
第144図　溝SD2186・2191 ……187
第145図　溝SD2191・2193・2201，川SG1 ……188
第146図　溝SD2202・2203・2250・3290 ……189
第147図　溝SD2250・2251・2272・2273・2318・2339・2769，土坑SK3292 ……190
第148図　溝SD2356・2359・2407・2409・2410・2418，川SG2336 ……191
第149図　溝SD2418・2422・3290・2500・2574 ……192
第150図　溝SD2500・2567・2574 ……193
第151図　円形溝SD2631・2824 ……194
第152図　円形溝SD2631・2824，溝SD2647・2648・2661・2769・2770 ……195
第153図　溝SD2773・2779・2790・2807・2822～2824‥196
第154図　溝SD2865・2873・3101・3253～3255 ……197
第155図　川SG1・2699 ……198
第156図　川SG1……199
第157図　川SG1……200
第158図　川SG1・299・2336 ……201
第159図　川SG2699，流路SG2870 ……202

遺物実測図

第160図　西谷地b遺跡の遺物相……203
第161図　竪穴建物ST2252・2280出土の土器 ……204
第162図　竪穴建物ST2289・2319出土の土器・石器・鉄製品 ……205
第163図　竪穴建物ST2492・2582・2583出土の土器・鉄製品 ……206
第164図　竪穴建物ST2583出土の土器・石製品……207
第165図　竪穴建物ST2584・2585・2653出土の土器・石器・鉄製品……208
第166図　竪穴建物ST2662・2701・2776・2793・2818出土の土器・鉄製品……209
第167図　竪穴建物ST2827出土の土器・石器・石製品……210
第168図　竪穴建物ST2838出土の土器……211
第169図　竪穴建物ST2838・2845・2849・2876・2877・3248出土の土器・土製品……212
第170図　掘立柱建物SB3010・3294・3388，柱穴出土の土器・陶磁器・銭貨・石製品……213
第171図　掘立柱建物・柱穴出土の土器・石製品・鉄製品……214
第172図　焼成遺構SL2284，土坑出土の土器・土製品 ……215
第173図　土坑出土の陶磁器・石器・石製品・銭貨……216
第174図　溝SD279・306・427・593・631・796・2102・2111・2186出土の土器・陶磁器・石器・石製品・銭貨 ‥217
第175図　溝SD2186出土の漆器 ……218
第176図　溝SD2186出土の漆器 ……219
第177図　溝SD2186出土の木製品（椀・箸・円板状・栓・曲物）……220
第178図　溝SD2186出土の木製品（折敷・蓋・板状）……221
第179図　溝SD2186出土の木製品（下駄）……222
第180図　溝SD2186出土の木製品（鎌柄・杭・棒状・板状・部材）……223
第181図　溝SD2191・2202・2356・2418出土の石器・土器・石製品・漆器……224
第182図　溝SD2500・2574・2769出土の土器・陶磁器……225
第183図　川SG1出土の土器 ……226
第184図　川SG1出土の土器 ……227
第185図　川SG1出土の土器 ……228
第186図　川SG1・299・2336出土の土器・石器・石製品 ‥229
第187図　川SG2699出土の土器……230
第188図　川SG2699出土の土器・石製品……231
第189図　流路SG2870，遺構外出土の土器 ……232
第190図　遺構外出土の土器……233
第191図　遺構外出土の陶磁器・土製品・木製品・銭貨……234

写真図版

巻頭写真

巻頭写真 1　第２次調査区遠景，古代の遺構群

巻頭写真 2　溝で囲まれた中世の屋敷地，炭窯，三引両文漆器椀

遺構写真

写真図版 1　溝で囲まれた中世の屋敷地，屋敷地南半部，屋敷地北半部

写真図版 2　第２次調査区全景

写真図版 3　調査区南半部の完掘状況，調査区南東側の完掘状況

写真図版 4　竪穴建物 ST2252，土坑 SK2519

写真図版 5　竪穴建物 ST2280，土坑 SK2287

写真図版 6　竪穴建物 ST2289・2319

写真図版 7　竪穴建物 ST2492

写真図版 8　竪穴建物 ST2582

写真図版 9　竪穴建物 ST2583・2584

写真図版 10　竪穴建物 ST2584

写真図版 11　竪穴建物 ST2566・2585

写真図版 12　竪穴建物 ST2653

写真図版 13　竪穴建物 ST2662・2701

写真図版 14　竪穴建物 ST2776

写真図版 15　竪穴建物 ST2818・2845

写真図版 16　竪穴建物 ST2827，外周溝 SD2828

写真図版 17　竪穴建物 ST2827，外周溝 SD2828，巡方出土状況

写真図版 18　竪穴建物 ST2838・3248

写真図版 19　竪穴建物 ST2793・2876

写真図版 20　竪穴建物 ST2877，土坑 SK2874・2875

写真図版 21　掘立柱建物 SB2893

写真図版 22　掘立柱建物 SB3010

写真図版 23　掘立柱建物 SB3021

写真図版 24　掘立柱建物 SB3132・3135

写真図版 25　掘立柱建物 SB3157

写真図版 26　掘立柱建物 SB3258・3259

写真図版 27　掘立柱建物 SB3260

写真図版 28　掘立柱建物 SB3261

写真図版 29　掘立柱建物 SB3262・3286

写真図版 30　掘立柱建物 SB3263

写真図版 31　掘立柱建物 SB3294・3295

写真図版 32　掘立柱建物 SB3388，掘立柱列 SA3356・3389・3390

写真図版 33　掘立柱建物 SB474・2023

写真図版 34　掘立柱建物 SB2024・2025

写真図版 35　掘立柱建物 SB2026

写真図版 36　掘立柱建物 SB2028・2030・3298・3300 ～ 3302，掘立柱列 SA2029

写真図版 37　掘立柱建物 SB2028・2030・3298・3300 ～ 3302・3318・3320・3327・3328，掘立柱列 SA2029

写真図版 38　掘立柱建物 SB3337・3384・3402，炭窯 SQ1000

写真図版 39　炭窯 SQ1000

写真図版 40　焼成遺構 SL236・237・370・500

写真図版 41　焼成遺構 SL1892・1905 ～ 1907・1934・1954・2256・2321

写真図版 42　焼成遺構 SL2414・2463，土坑 SK205・221・269・311・313・318・357・369・374・429・506，溝 SD117・279，柱穴 SP507

写真図版 43　土坑 SK606・682・690・720・721・852・934 ～ 938・2008，柱穴 SP745・894・1207・2009・2010

写真図版 44　土坑 SK1014・1143・1219・1271・1459・1492・1655・1695・1902・1904・1919・1955・2019・2108・2109，溝 SD1272，柱穴 SP1654

写真図版 45　土坑 SK2119・2121 ～ 2129・2131・2162

写真図版 46　土坑 SK2181・2195 ～ 2199・2245・2248・2254・2255・2291・2296・2299・2553・2568・2572

写真図版 47　土坑 SK2302・2304・2311・2328・2357・2358・2361・2363・2408・2413・2415・2416・2420・2421・2427・2428・2437・2455，溝 SD2203

写真図版 48　土坑 SK2465・2482 ～ 2491・2493 ～ 2497・2501・2515

写真図版 49　土坑 SK2503 ～ 2505・2517・2525・2544・2550・2554・2562・2563・2576・2642・2610・2615・3257，柱穴 SP2577，溝 SD279

写真図版 50　土坑 SK2771・2777・2778・2791・2801・2802・2804・2805・2820・2825・2835・2848・2851

写真図版 51　土坑 SK2881・3067 ～ 3071・3225・3237 ～ 3239・3282，溝 SD113・117・279・306，柱穴 SP361

写真図版 52　溝 SD306・390・397・426・427・796，柱穴 SP398，土坑 SK399，川 SG393

写真図版 53　溝 SD427・559・593・599・631・796・939・1212・1273・1445・2418・2773・2873，土坑 SK1390
写真図版 54　溝 SD796・939・1212・1370・1445・1446・1827・1885・1903・1953・2014 ～ 2016・2102，柱穴 SP1408・1858
写真図版 55　溝 SD2102・2186・2191・2201・2202・2574
写真図版 56　溝 SD2102・2103・2105・2111・2567，柱穴 SP2518，土坑 SK2112・2113・2343
写真図版 57　溝 SD2111・2116 ～ 2118・2120・2180・2186・2574，竪穴建物 ST2583，川 SG1，柱穴 SP2176，漆器出土状況
写真図版 58　溝 SD2186・2191，漆器出土状況
写真図版 59　溝 SD2191・2193・2201 ～ 2203・2250・2251・3290，川 SG1
写真図版 60　溝 SD2772・2773・2318・2339・2356・2359・2407・2409・2410・2418・2769，土坑 SK3292，川 SG233
写真図版 61　溝 SD2418・2422・2500・2567・2574・2647・2648・2769・2770・2773・3290
写真図版 62　円形溝 SD2631・2824，溝 SD2647・2661・2779・2790・2807・2822・2823・2865・2873・3253 ～ 3255
写真図版 63　川 SG1・2699
写真図版 64　川 SG1・299・2336・2699，流路 SG2870

出土遺物

写真図版 65　竪穴建物 ST2252・2280・2289 出土遺物（1 ～ 11）
写真図版 66　竪穴建物 ST2319・2492・2582 出土遺物（13 ～ 31）
写真図版 67　竪穴建物 ST2583 出土遺物（32 ～ 45）
写真図版 68　竪穴建物 ST2584・2585・2653 出土遺物（48・50 ～ 63）
写真図版 69　竪穴建物 ST2662・2701・2776・2793・2818 出土遺物（64 ～ 73）
写真図版 70　竪穴建物 ST2827 出土遺物（74 ～ 88）
写真図版 71　竪穴建物 ST2838 出土遺物（90 ～ 98）
写真図版 72　竪穴建物 ST2838・2845・2849・2876・2877・3248，掘立柱建物 SB3010 出土遺物（99 ～ 109）
写真図版 73　掘立柱建物 SB3348・3388，柱穴 SP598・1026・1859・2007・2187・2313・2345・2468・2518 出土遺物（110 ～ 119・121）
写真図版 74　柱穴 SP2443・2472・2772，焼成遺構 SL2284，土坑 SK2126・2128・2306・2602・2874・2875・2343 出土遺物（125 ～ 135・137・138）
写真図版 75　土坑 SK2485・2488・2610，溝 SD279・306・427・593・631・796・2102・2186 出土遺物（140 ～ 142・148・149・151 ～ 156・158・160 ～ 163）
写真図版 76　溝 SD2186 出土漆器（164 ～ 169）
写真図版 77　溝 SD2186 出土漆器（170・172 ～ 174）
写真図版 78　溝 SD2186 出土漆器（175 ～ 182）
写真図版 79　溝 SD2186 出土木製品（183 ～ 190）
写真図版 80　溝 SD2186 出土木製品（191 ～ 200）
写真図版 81　溝 SD2186 出土木製品（201 ～ 209）
写真図版 82　溝 SD2202・2356・2418 出土遺物（211 ～ 213・215・216）
写真図版 83　溝 SD2500・2574・2769，川 SG1 出土遺物（217 ～ 228）
写真図版 84　川 SG1 出土遺物（229 ～ 245）
写真図版 85　川 SG1 出土遺物（246 ～ 258）
写真図版 86　川 SG1・299・2336 出土遺物（259 ～ 261・264・266 ～ 281）
写真図版 87　川 SG2699 出土遺物（282 ～ 295）
写真図版 88　川 SG2699 出土遺物（296 ～ 305）
写真図版 89　川 SG2699，流路 SG2870，遺構外出土遺物（306 ～ 309・311 ～ 316）
写真図版 90　遺構外出土の土器（317 ～ 328）
写真図版 91　遺構外出土の陶磁器・土製品・木製品・金属製品（329 ～ 349）
写真図版 92　遺構出土の硯・不定形磨石・磨石・砥石・火打石（12・46・47・49・89・120・122 ～ 124・136・139・143 ～ 147・150・157・159・210・214・262・263・265・310）
写真図版 93　樹種同定 1
写真図版 94　樹種同定 2
写真図版 95　樹種同定 3
写真図版 96　漆塗膜断面 1
写真図版 97　漆塗膜断面 2

Ⅰ　調査の経緯

1　調査に至る経緯

西谷地ｂ遺跡第１・２次発掘調査は、国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所による東北中央自動車道（米沢～米沢北間）改築事業に伴って行われた。この事業の延長は 9km とされており、米沢市万世町から同市窪田町に至る高速道路となる。工事の進む県境区間（福島～米沢間）と米沢南陽道路を結び、山形県南地域が高速ネットワークへ組み入れられることになる。地域産業の支援（物流の迅速化）、地域連携支援に大きな役割を果たすことが期待されている。

西谷地ｂ遺跡内の改築事業予定範囲（第１図）において、平成 21 年３月に、山形県教育庁文化財保護推進課（現：文化財・生涯学習課）による試掘調査が行われた。10 個所（面積：189 ㎡）の試掘トレンチが設定され、内４個所から溝・土坑・柱穴などの遺構、土師器・須恵器・陶器などの遺物が発見された。試掘調査は、第１・２次の両調査区の範囲内において実施されており、この結果を受け発掘調査が必要であると判断された。

発掘調査開始前に、文化財保護法第 92 条に基づく「埋蔵文化財発掘調査の届出」を山形県教育委員会へ提出した。受理された後、山形県教育委員会から「埋蔵文化財の発掘調査について」の通知を受け取り、発掘調査を開始した。第２次調査においても、発掘調査開始前に同様の手続きを行った。

第１次調査の対象面積は 3,250 ㎡、第２次調査は 12,240 ㎡、合計で 15,490 ㎡となった。

なお、調査区は遺跡範囲を越えて設定（第１図）されているが、委託者と協議の上、遺構の検出状況に合わせて調査区を拡張したためである。そのため南接する馳上遺跡との明確な境界はなくなり、両者は一体の遺跡と認識することも可能である。

2　発掘調査の経過と方法

A　発掘調査の経過

第１次調査は平成 21 年７月１日から開始した。７月２日から油圧ショベルによる表土除去作業を行い、順次遺構検出作業へと移った。その後、遺構の掘り下げを始め、平・断面図作製、写真撮影などの記録作業も併行して進めた。

11 月 18・19 日に業務委託によるラジオコントロールヘリコプターを用いた空中写真撮影を行い、調査区完掘状況の全景写真、俯瞰写真などを撮影した。11 月 20 日に発掘調査を終了し、現場を撤収した。

なお、10 月 31 日（土曜日）に調査説明会を開催し、調査成果を一般公開した。参加者は 43 名であった。

第２次調査は平成 22 年５月 13 日に開始した。発掘調査と併行して、本体工事に必要な土砂の運搬作業が、調査区内に設置した工事用道路を用いて行われることになっていた。そのため、調査区を東西に二分し、先に東半部の調査を行い、終了後に工事用道路を付け替え、西半部の調査に移った。

５月 14 日から油圧ショベルによる表土除去作業を始めた。その後、遺構の掘り下げ作業、平・断面図作製、写真撮影などの記録作業を行い、９月 10 日に調査区東半部分、および市道道下西谷地線部分の調査区についてラジオコントロールヘリコプターによる空中写真撮影を行った。

次に、調査区西半部分の調査に切り替え、表土除去から一連の作業を進めた。11 月 25 日にラジオコントロールヘリコプターによる空中写真撮影を行い、11 月 30 日には発掘調査を終了し、現場を撤収した。調査説明会は、10 月 13 日（土曜日）に開催し、45 名の参加者を得た。

B　グリッドの設定

調査区内に設置したグリッドの方角は平面直角座標系第Ⅹ系（世界測地系）に沿う。グリッドの名称は、ハイフンによって繋げられた二組の数値（例：120 - 80）で表した。この数値は座標値を省略したものである。つまり、南北に増減するＸ軸の数値の下３桁と、東西に増減するＹ軸の下２桁の数値の組み合わせでグリッドの位置が表される。

また、本来はＸ軸、Ｙ軸とも負の値であるが、ここでは自然数に置き換えて使用した。例えば、Ｘの値が“-230,120”、Ｙの値が“-61,380”で示されるグリッドならば、“120 - 80”と表される。グリッドは５ｍ毎に設置しているので、隣接するグリッドに移動するとグリッドの名称を示す数値が“5”ずつ増減する。グリッド名が示す範囲は、Ｘ軸とＹ軸の交点の第一象限となる５ｍ四方の 25 ㎡である。

遺物の出土地点の記録については、遺構から出土したものは、遺構と層位とグリッドにより、遺構外から出土したものは層位とグリッドによった。

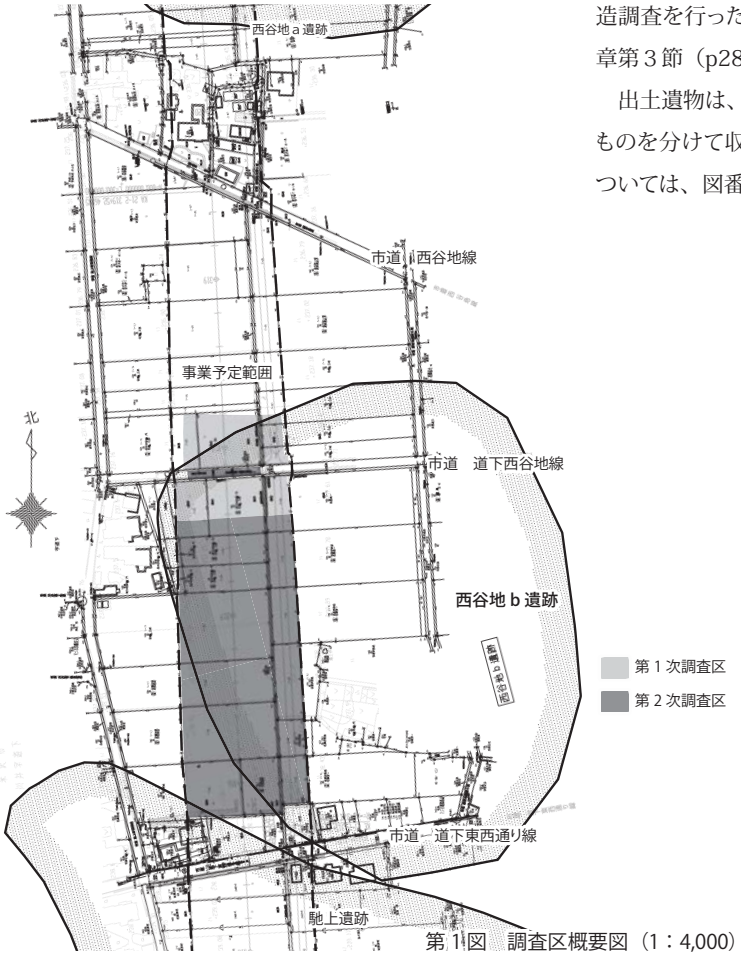
3　整理作業の経過

平成 21 年度の発掘調査終了後から整理作業を実施した。出土遺物には洗浄作業後に注記を行い、遺跡名として第１次調査で出土したものには“ニシヤチｂ”を、第２次調査のものには“ニシヤチｂ２”を記し、さらに遺構名、層位名、グリッド名を記した。なお、出土した日付は省略した。次に遺物の復元作業・実測図作製・拓本作製・写真撮影を行い、全ての作業が終了した後にコンテナへ収納した。また、現地で作製した図面、空中写真測量で作製した図面、撮影した写真は整理・編集の後、本報告書に掲載した。

出土した木製品のうち重要なものについては、保存処理を施した。処理方法は、高級アルコール法、および糖アルコール法である。各木製品に対する処理方法の種別については観察表（表２・３：p31 ～ 37）に記載した。金属製品についても保存処理を施した。洗浄後に、脱塩処理、付着土・錆の除去、樹脂含浸（アクリルエマルジョン、パラロイド NAD-10）を行った。

理化学分析では、放射性炭素年代測定、樹種同定、塗膜構造調査を行い、詳細な分析報告は第Ⅳ章へ掲載した。なお、吉田生物研究所が保存処理を行った漆器 170・171 と部材 207 も、保存処理に伴って樹種同定・塗膜構造調査を行ったが、この３点の分析結果については第Ⅲ章第３節（p28）で報告する。

出土遺物は、報告書に掲載したものと、掲載していないものを分けて収納した。なお、報告書に掲載した遺物については、図番号を注記に追加している。



第１図　調査区概要図（1：4,000）

Ⅱ　遺跡の位置と環境

1　地理的環境

西谷地ｂ遺跡の所在する米沢市は、山形県の最南端に位置し福島県と県境を接している。また、米沢盆地は、流路延長 229 km を有する最上川の源流がある吾妻連峰の裾野に拡がり、米沢市はその南東部を占めている。

市域は東西 32.1km、南北 28.2km であり、面積は 548.74km² となる。市域の最高地点は、西吾妻山の標高 2,035m、市街地での最高地点は標高 260m となり、南から北に向けて低くなる。

気候は、夏が高温多湿であるものの、年間降水量は全国平均と比較してやや少ない。また、冬の寒さは厳しく特別豪雪地帯にも指定されており、年間累計積雪深は 10m に達することがある。市街地降雪量も 平年の最高積雪深が約 1m に達する。

市域の南側に広がる吾妻連峰は、大部分が磐梯朝日国立公園に指定されており、四季折々の雄大な自然景観が訪れる人を魅了している。さらに、米沢の奥座敷である小野川温泉のほか、吾妻の山々には古くから奥州三高湯のひとつと言われた白布温泉をはじめ、姥湯温泉、大平温泉、滑川温泉、新高湯温泉、五色温泉、湯の沢温泉などの温泉群があり、夏山登山やスキーなどが手軽に楽しめる「自然の恵み豊かな都市」と言われている。

米沢市は「置賜地域」と呼ばれている県南 3 市 5 町の中で、行政、産業、教育・文化などの幅広い面で中心的な機能を有する都市である。また、市制施行の開始は明治 22 年であり、日本で最初に市制を施行した全国の 39 市の一つに含まれている。平成 21 年には市制 120 周年を迎えることとなった。

西谷地ｂ遺跡は、市街地から、東へ約 1.5km 離れた大字川井字道下に位置しており、標高は 238 m前後である。最上川と同じく吾妻連峰から発する羽黒川の右岸にあたる。羽黒川は、遺跡の北西約 1.5km の地点で最上川に合流する。羽黒川右岸には自然堤防が形成されているが、遺跡はさらにその東側に広がる低地に営まれていた。土地利用状況は水田が主体であり、畑は一部にとどまる。

2　歴史的環境

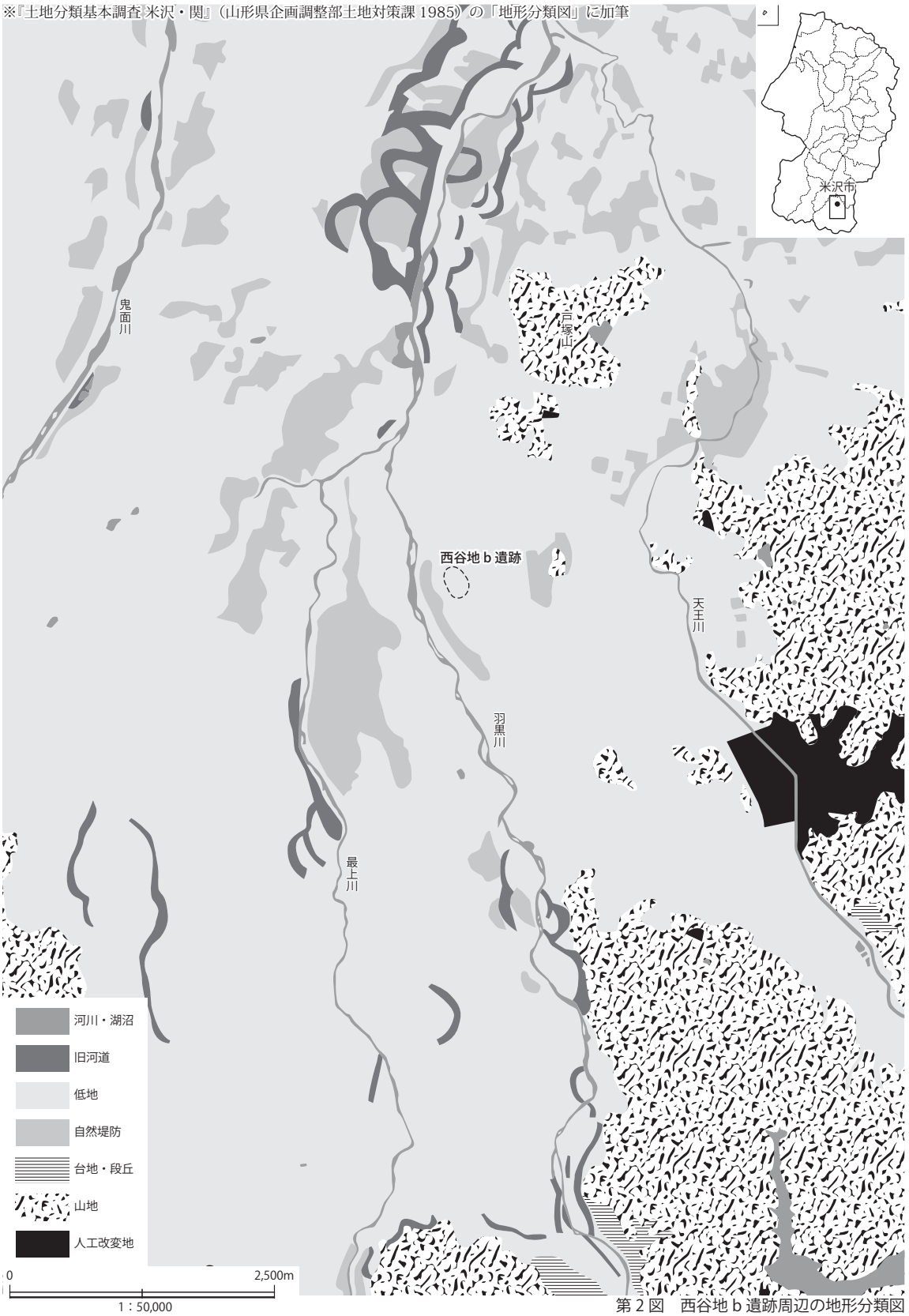
米沢市では、さまざまな事業に関連した数多くの発掘調査が行われており、かつ詳細な分布調査を実施していることもあり、現在までに 678 遺跡が山形県遺跡地図（山形県ホームページ）に登録されている。山形県全体での登録数は 5,106 遺跡であり、米沢市の登録遺跡数は他市町村に比べて群を抜いている。中でも本遺跡の東方から天王川周辺まで、南部の山地の麓部分から天王川が最上川に合流するまでの間には濃密な分布を見せる。その背景には、1972 年に制定された工業再配置促進法（2006 年廃止）による中核工業団地指定（全国第 1 号）を受け、米沢八幡原中核工業団地が造成されたことにある。この造成工事の着手前に多数の遺跡が調査されている。

米沢市の登録遺跡の約半数は縄文時代の遺跡、あるいは縄文時代も含まれる複合遺跡である。市街地の西方に位置する国指定の史跡となった一ノ坂遺跡（米沢市矢来）は、縄文時代前期初頭の集落遺跡であり、国内最長の大型竪穴住居跡や石器製作を専業とする石器工房跡が検出されたと報告されている（米沢市教育委員会 1996、以後“米沢市教委”と略す）。市街地南方の台ノ上遺跡（292）では、土偶をはじめとした中期中葉の遺物が大量に出土し、竪穴住居も多数確認されている（米沢市教委 1997）。該期における拠点的な集落であろう。

弥生時代の遺跡は極めて少なく 4 個所のみが確認されている。清水北ｃ遺跡（235）の調査では土壙から弥生土器が出土しており、再葬墓、あるいは土壙墓の可能性が指摘されている（八幡原中核工業団地内遺跡調査団 1975・1976）。また、第 1 号土壙から出土した壺形土器には複数の籾圧痕が残っており、稲作の開始を裏付ける資料として注目される。

古墳時代に入ると丘陵や山麓に大小の古墳が数多く築造される。比丘尼平遺跡（228）では、古墳時代前期に属する方形周溝墓が 3 基（米沢市教委 1988）、近接する

※ 遺跡名の後に続く括弧内の数字は、「第３図　遺跡位置図」と「表１　遺跡地名表」に対応している。



第２図　西谷地ｂ遺跡周辺の地形分類図

八幡堂遺跡（259）では5基（米沢市教委1983a）検出された。西谷地b遺跡の北西に位置する戸塚山の山頂や山麓には、5～8世紀に築造された総数201基の古墳（77・95・99・100・102・103・106・112・113）が残っており、失われた古墳も含めればさらに多くの古墳が築造されたと言われている。古墳の形態については、大半は円墳であるが、前方後円墳、帆立貝式古墳、方墳もわずかに含まれる（米沢市教委1984）。なかでも戸塚山137号墳（帆立貝式古墳）から見つかった箱形石棺の内部には壮年女性の遺骨が一体埋葬されていた。副葬品は竪櫛、鹿角装の刀子であった（米沢市教委1983b）。西谷地b遺跡の南東に位置する横穴式石室を有する牛森古墳（276）は、玄室から銙帯金具が出土したことから8世紀代に築造された円墳と考えられている（八幡原中核工業団地内遺跡調査団1976）。西谷地b遺跡第3次調査（191）、および西谷地b遺跡の南側に接する馳上遺跡（190・192）からは、5世紀から6世紀の竪穴住居や土師器などが出土した（公益財団法人山形県埋蔵文化財センター2014・財団法人山形県埋蔵文化財センター2002、以後両者とも“山形埋文”と略す）。

奈良・平安時代の遺跡は、平野部の主要な河川に沿って広範囲に分布してる。現在の置賜地方は『日本書紀』持統天皇3年（689年）の記事に見える「陸奥国優嗜曇郡」に当たると考えられている。その後、『続日本紀』によると、和銅5年（712年）に越後国出羽郡を改めて出羽国が建国され、さらに出羽国に陸奥国から最上・置賜郡が編入されている。現在の山形県域とおおよそ同じ地域が出羽国としてまとまったことになる。

西町田下遺跡（138）では、道路遺構が検出されたほか、7世紀後半から8世紀後半の土器などが出土している。また、須恵器の円面硯が10個出土し、中には全国初出の手付有孔中空円面硯1点、東北地方初出の坏皿型中空円面硯1点が含まれる。これら多数の円面硯が出土したことは、西町田下遺跡が官衙に関連する施設であったことを示している（山形埋文1997b）。

笹原遺跡（71）は、8世紀中葉から9世紀後半に属し、木簡や墨書土器、円面硯などが出土していることから、「広瀬郷」に関連する集落と考えられている（米沢市教委1981）。

大浦b遺跡（144）からは、規則的な配置の掘立柱建物群や柵列による区画施設などが検出されており、8世紀中葉から8世紀後半に属する官衙であった可能性が指摘された。また、出土した漆紙文書は延暦23年（804年）の具注暦であり、中央の陰陽寮で作成されたものを書写したものと考えられている（米沢市教委1993）。

古志田東遺跡（280）は、古代東北の歴史を考える上で極めて重要な遺跡であるとのことから、平成12年（2000年）9月に国の史跡として登録された。蛇行する河川跡沿いに7棟の掘立柱建物が配置された平安時代の屋敷跡であった。河川跡には木橋や二つの船着場が設置され、出土遺物には、木簡61点、挽物、曲物、鐙、弓、修羅、鍬、物差しなど木製品や、「山田」などの地名や呪術絵が記された墨書土器452点などがある。木簡などの検討から、古志田東遺跡には、多くの労働力を集め大規模な農業経営や船による運搬、文書作成などを盛んに行っていた古代の有力豪族が存在していたと考えられている（米沢市教委2001）。

米沢市の北西部に位置する大神窯跡（米沢市下小菅）は8世紀後半に属する須恵器を焼成した窯跡であり（米沢市教委1998）、西谷地b遺跡から出土した須恵器の生産も行っていた可能性がある。

置賜地方における中世城館遺跡の総数は562個所と報告された（山形県教育委員会1995）。木和田館跡（212）は、これまで発見されている中では県内最古の館跡であり、12世紀代に属すると考えられている。1辺が半町程度の台形状を呈する濠と土塁が残っており、初期の武士層の館跡と推測された（米沢市教委1987）。

12世紀以降、置賜地方には郡から独立した形で荘園が成立している。最上川・羽黒川より西は成島荘、東は屋代荘、米沢盆地北辺部が北条荘となり、置賜郡の管轄下に残ったのは米沢盆地の西辺部と長井盆地のみとなる。なお成島荘と屋代荘は摂関家藤原氏の所領、北条荘の領主は不明である（山形県1982）。

鎌倉時代になると成島荘、屋代荘、北条荘、置賜郡は、すべて幕府創設の功臣である大江広元の所領となった。広元の後は、その次男である時広から始まる長井氏が、地頭として所領を受け継いでいる。

天授6年（康暦2年・1380年）頃までには、伊達宗遠によって長井氏は滅ぼされており、置賜地方の支配は伊達氏に移ることとなった。伊達家15代の晴宗は天文17年

米沢市
高畠町
米沢市
※国土地理院発行2万5千分の1地形図「米沢」・「米沢北部」・「米沢東部」・「糠野目」を使用
0
1,000m
1：50,000

第3図　遺跡位置図

表１　遺跡地名表

※“時代”の列の“縄・弥・古・奈・平・中・近”は、それぞれ“縄文・弥生・古墳・奈良・平安・中世・近世”を略したものである。
括弧内の“早・前・中・後・晩・終”は、それぞれ“早期・前期・中期・後期・晩期・終末期”を略したものである。

番号	遺跡名	時代	種別
1	鍛冶作館	中	城館跡
2	館之在家館	中	城館跡
3	馬場田館	中	城館跡
4	屋敷田館B	中	城館跡
5	東江股	縄(晩)	集落跡
6	台之南館	中	城館跡
7	四郎右ェ門壇館	中	城館跡
8	北ノ屋敷	中	城館跡
9	東江股堀の内館	中	城館跡
10	大壇廻館	中	城館跡
11	井戸尻館	中	城館跡
12	早稲田堀合館	中	城館跡
13	糊井屋敷	中	城館跡
14	矢野目前田館	中	城館跡
15	寳領塚古墳	古(前)	古墳
16	入生屋敷	中	城館跡
17	半在家館	中	城館跡
18	館屋敷	中	城館跡
19	南原	古・奈・平	集落跡
20	堂ノ下	奈・平	集落跡
21	中里屋敷	中	城館跡
22	中里	中	集落跡
23	窪田古墳	古(後)	古墳
24	外ノ内塚群	中	土壇
25	外ノ内	縄(中・後)	集落跡
26	窪田下前田館	中	城館跡
27	八幡塚古墳	古(中)	古墳
28	窪田荒館	中	城館跡
29	露藤下館	中	城館跡
30	露藤西屋敷	中・近	
31	五輪窪B	縄(後・晩)	散布地
32	露藤上館	中	城館跡
33	関口	平	散布地
34	二ッ橋A	縄(中)	包蔵地
35	二ッ橋B	平	散布地
36	新町	縄	散布地
37	新町窯	奈・平	窯跡
38	一漆館	中	城館跡
39	六郷元館	中	城館跡
40	一ノ坪館	中	城館跡
41	小山田下在家館	中	城館跡
42	腰巻館	中	城館跡
43	田中屋敷	中	城館跡
44	立屋敷	中	城館跡
45	窪田館	中	城館跡
46	窪田屋敷裏館	中	城館跡
47	窪田新館	中	城館跡
48	小舎屋敷	中	城館跡
49	川原屋敷	中	城館跡
50	御行屋敷	中	城館跡
51	五輪窪A	縄(中)	散布地
52	下新田c	奈・平	集落跡
53	下新田b	縄・奈・平	集落跡
54	下新田a	平	集落跡
55	嘉膳屋敷	近	屋敷跡
56	中島館	中	城館跡
57	同心屋敷	中	城館跡
58	荒屋敷	中	城館跡
59	天神前中館	中	城館跡
60	渡北館	中	城館跡
61	杉之崎下館	中	城館跡
62	大西	古・平・中	古墳・集落跡
63	鎌倉上	古(前・中)	集落跡
64	唐屋敷	中	城館跡
65	窪田元屋敷	中	城館跡
66	窪田館野館	中	城館跡
67	舟入田屋敷	中	城館跡
68	谷地在家館	中	城館跡
69	下ノ在家館	中	城館跡
70	川崎屋敷	中	城館跡
71	笹原	弥・奈・平・中	官衙・散布地
72	保呂羽堂	奈・平	集落跡
73	金ヶ崎a	奈・平	集落跡
74	三号目館	中	城館跡
75	小山塚	中	塚
76	置賜学園東	中	集落跡
77	山崎古墳群	古(後)	群集墳
78	下新田館	中	城館跡
79	斎藤	縄(中)	包蔵地
80	海道下		散布地
81	上光田A	縄(中)	包蔵地
82	上光田C	奈・平	散布地
83	石ヶ森山	縄(中・後)	散布地
84	館田前館	中	城館跡
85	小菅館ノ在家館 a	中	城館跡
86	小菅館ノ在家館b	中	城館跡
87	塩野中屋敷	中	城館跡
88	中屋敷館	中	城館跡
89	街道西下	中・近	集落跡
90	外ノ内館	中	城館跡
91	中川原館	中	城館跡
92	上新田b	奈・平・中	集落跡
93	中川原	奈・平	集落跡
94	戸塚山幼稚園a	縄(前)	集落跡
95	金ヶ崎古墳群	古(終)	群集墳
96	堤入西塚群	中	塚群
97	戸塚山館	中	城館跡
98	戸塚山北古墳	古(前)	古墳
99	上浅川堤入a古墳群	古(終)	群集墳
100	上浅川堤入b古墳群	古(終)	群集墳
101	戸塚山幼稚園b	縄(前)・奈・平・中	集落跡
102	飯塚北古墳群	古(終)	群集墳
103	飯塚南古墳群	古(終)	群集墳
104	森合館	中	城館跡
105	戸塚山石切	中	石切場
106	山頂古墳群	古(中・後)	群集墳
107	堤入細石塚a	古(中)	砕石加工場
108	堤入細石塚b	古(中)	砕石加工場
109	堤入東塚群	中	塚群
110	萩の森塚群	中	塚群
111	飯塚館	中	城館跡
112	森合西古墳群	古(終)	群集墳
113	森合東古墳群	古(終)	群集墳
114	上新田c	奈・平・中	集落跡
115	森合	縄・奈	集落跡
116	上浅川a	縄(中・後)・古(中)・奈	集落跡・官衙・墓跡
117	上浅川b	縄(中)・奈・平・中	集落跡
118	上浅川館	中	城館跡
119	萩の森	奈・平・中	集落跡
120	薬師山古墳群	古(終)	群集墳
121	森合土壇	中	土壇
122	長手	平・中	集落跡

番号	遺跡名	時代	種別
123	天神裏古墳	古(終)	古墳
124	天神裏塚群	中	塚群
125	佐沢亀ヶ森	縄	散布地
126	佐沢館	中	城館跡
127	清水川	縄	散布地
128	塩野西上屋敷	中	城館跡
129	蔵之館	中	城館跡
130	馬館	中	城館跡
131	塩野古屋敷	中	城館跡
132	塩野新館前館	中	城館跡
133	塩野西中屋敷	中	城館跡
134	塩野館	中	城館跡
135	川辺館	中	城館跡
136	塩野上屋敷東館	中	城館跡
137	塩野坊中屋敷	中	城館跡
138	西町田下	奈・平	集落跡
139	上町	縄(晩)	集落跡
140	荒川2	縄・奈・平・中	城館跡・集落跡
141	徳町	縄	集落跡
142	荒川	縄・平	集落跡
143	春日町	縄	集落跡
144	大浦b	奈・中	官衙・集落跡
145	大浦a	縄(中)・奈・平	官衙・集落跡
146	大浦c	奈・平・中	城館跡・集落跡・官衙
147	大浦d	中	集落跡・城館跡
148	大浦館	中	城館跡
149	大浦館ノ内館	中	城館跡
150	八木橋 a	縄・中	集落跡
151	八木橋b	縄・中	集落跡
152	八木橋館	中	城館跡
153	上新田a	縄(前・中・後)・古(後)	集落跡・祭祀跡
154	西の屋敷	奈・平・中	集落跡
155	西谷地a	奈・平	集落跡
156	西光寺古墳群	古(終)	群集墳
157	熊野山館	中	城館跡
158	皇太神社古墳群	古(終)	群集墳
159	熊野橋	奈・平・中	集落跡
160	堰場	奈・平・中	集落跡
161	堂田古墳	古	古墳
162	堂田	奈・中	集落跡
163	荒屋	奈・平・中	集落跡
164	中谷地a	平・中	集落跡
165	川井平館北	中・近	城館跡
166	川井平館南	中・近	城館跡
167	川井館	中	城館跡
168	上野	奈	集落跡
169	中の目	奈・平・中	集落跡
170	天満神社	中	経塚
171	長手館	中	城館跡
172	長手古墳群	古(終)	群集墳
173	長手居館	縄・中	城館跡・集落跡
174	中谷地北塚	中	塚
175	中谷地南塚	中	塚群
176	中谷地b	奈・平・中	集落跡
177	古峰神社館	中	城館跡
178	古舘山1号墳	古	古墳
179	古舘山2号墳	古	古墳
180	古郷部館	中	城館跡
181	釜ヶ島館	中	城館跡
182	古郷部	縄	集落跡
183	谷ノ口館	中	城館跡
184	谷ノ口山城	中	城館跡
185	花沢a	縄(前・中・後)・近	集落跡・墓跡
186	花沢b	縄	集落跡

番号	遺跡名	時代	種別
187	佐氏泉館	中	城館跡
188	台坂	中	集落跡
189	下花沢a	縄	集落跡
190	馳上b	古・奈・平	集落跡
191	**西谷地b**	**古・奈・平・中**	**集落跡**
192	馳上a	古・奈・平	集落跡
193	元立	奈・平	集落跡
194	羽黒神社館	中	集落跡
195	上谷地c	奈・平・中	集落跡
196	東屋敷館	古(前)・奈・平・中	城館跡・集落跡
197	東屋敷	奈・平・中	集落跡
198	野際	縄	集落跡
199	上谷地館	中	城館跡
200	上谷地b	縄(前・中・後・晩)	集落跡
201	野際塚	中	塚
202	上谷地d	縄(前・後)	集落跡
203	上谷地a	中	集落跡
204	沼田土壇	中	土壇
205	玉ノ木a	奈・平	集落跡
206	竹井	縄(晩)・奈・平	集落跡
207	玉ノ木b	奈・平	集落跡
208	竹井境a・竹井境b	縄(前・中・後)・奈・平	集落跡
209	竹井境a・竹井境b	縄(前・中・後)・奈・平	集落跡
210	木和田塚a	中	塚
211	木和田塚b	中	塚群
212	木和田館	中	城館跡
213	横山a	縄(早・前・中・後)・奈	集落跡
214	横山b	奈・平	集落跡
215	横山c	縄(晩)・奈・平	集落跡
216	木和田塚c	中	塚群
217	木和田中屋敷館	中	城館跡
218	木和田古墳	古(終)	古墳
219	木和田窯	奈	窯跡
220	木和田月ノ原館	中	城館跡
221	木和田	縄	集落跡
222	馬ノ越道館	中	城館跡
223	上海上	奈・平	集落跡
224	城西1丁目	縄(前)	集落跡
225	米沢城	中・近	城館跡・集落跡
226	米沢城東二の丸	中・近	城館跡・集落跡
227	下花沢b	縄	集落跡
228	比丘尼平	縄(前・中・晩)・古(前)	集落跡
229	堂森山塚a	中	塚
230	比丘尼平廃寺	中	寺院
231	金谷b	縄	集落跡
232	金谷館	中	城館跡
233	八幡原a	縄(早・前・中)	集落跡
234	八幡原b	縄(早・前・中)・近	集落跡・墓跡
235	清水北c	縄(早・前・中・晩)・弥	集落跡・墓跡
236	八幡原c	縄(前)	散布地
237	清水北d	縄(前)・弥	集落跡
238	清水北b	縄(早・中・後)	集落跡
239	慶治清水a	縄(早・前・後)	集落跡
240	山影	縄	集落跡
241	耳取b	縄(早・前)・平	集落跡
242	堂森山塚b	中	塚
243	堂森山館	中	城館跡
244	慶治清水b	縄(早・中・後)	集落跡
245	焼山下	縄	集落跡
246	清水北a	縄	散布地
247	慶治清水c	縄	散布地
248	耳取a	縄(前)	集落跡
249	堂森東	縄	集落跡
250	中焼山下	古(終)	散布地

番号	遺跡名	時代	種別
251	牛森山塚群	中	塚群
252	竹井境c	中	土壇
253	長壇	縄(後)	散布地
254	辻の堂a	近	散布地
255	辻の堂b	近	散布地
256	牛森山古墳	古(終)	古墳
257	牛森山南下	平・中	集落跡
258	金谷a	縄	集落跡
259	八幡堂	縄(前・後・晩)・古(前)	集落跡・墓跡
260	前野	縄	散布地
261	我妻館	中・近	城館跡
262	二夕俣a	縄(早・前・中・後・晩)	集落跡
263	下原田	縄	集落跡
264	原田館	中	城館跡
265	東原塚		
266	二夕俣b	縄(後)	集落跡
267	柿の木	縄(早・前・中・後・晩)	集落跡
268	水神前	縄(前)	集落跡
269	小谷地	縄	散布地
270	大清水	縄(早・前・中・後・晩)	集落跡
271	十文字西	中	集落跡
272	牛森	縄	集落跡
273	牛山	縄	集落跡
274	細原b	縄	集落跡
275	細原前川原	中	散布地
276	牛森古墳	古(終)	古墳
277	井ノ鼻	縄・中	集落跡
278	原ノ上	縄	集落跡
279	桜神社	縄	集落跡
280	古志田東・胡桃平Ⅱ	縄(前)・平・中	豪族屋敷
281	笹野町赤坂館	中	城館跡
282	八方屋道北館	中	城館跡
283	笹野町	縄	集落跡
284	古志田館	中	城館跡
285	一本橋c	縄(中・後)	集落跡
286	一本橋a	縄(中・後)	集落跡
287	大塚山	縄(前・中)	集落跡
288	大壇A	縄(前・中・後)	集落跡
289	大壇b	縄	散布地
290	大壇c	縄(前・中)	集落跡
291	太田	縄(中)	集落跡
292	台ノ上	縄(前・中)	集落跡
293	芳泉塚	中	塚
294	下原b	縄	集落跡
295	通町	縄(中)	集落跡
296	東大通一丁目	縄・平	集落跡
297	第五中学校裏	縄	集落跡
298	早坂山a	縄・中	集落跡
299	早坂山d	縄	集落跡
300	早坂山b	縄・中	集落跡・城館跡
301	鷺城	中	城館跡
302	早坂山館	中	城館跡
303	早坂山c	縄	集落跡
304	下屋敷	縄・平・中	集落跡
305	堤屋敷	縄・平・中・近	集落跡
306	山ノ下	縄	集落跡
307	普門寺	縄	集落跡
308	稲荷山館	中	城館跡
309	八幡原土壇群	縄(後)・中	集落跡・土壇
310	梓山館	中	城館跡
311	万世館山城	中	城館跡
312	松林寺館	中	城館跡
313	松林寺	縄(前)	集落跡
314	松林寺c	縄(前)	集落跡

番号	遺跡名	時代	種別
315	町在家館	中	城館跡
316	町在家		散布地?
317	上窪	縄(中・後)	集落跡
318	梓山a	縄	集落跡
319	法将寺	縄(早・前・中)	集落跡
320	梓山b	縄	集落跡
321	梓山c	縄(中)	集落跡
322	梓山d	縄(前)	集落跡
323	笹野山館	中	城館跡
324	笹野チャシ	奈・平・中	城跡
325	笹野観音堂西	縄	集落跡
326	最上在家館	中	城館跡
327	笹野館ノ内館b	中	城館跡
328	尾在家館	中	城館跡
329	館ノ内c	縄・平	集落跡
330	笹野館ノ内館a	中	城館跡
331	館ノ内a	縄(中・後)	集落跡
332	館ノ内b	縄(前・中・後)	集落跡
333	廟葬館	中	城館跡
334	一本橋b	縄(中・後)	集落跡
335	高山裏	縄	集落跡
336	長次郎屋敷	中	城館跡
337	長泉寺	縄	集落跡
338	南原中学校	縄	集落跡
339	猪苗代新屋敷	中	城館跡
340	先達在家館	中	城館跡
341	笹野屋敷田館	中	城館跡
342	夏屋敷	中	城館跡
343	十郎在家館	中	城館跡
344	大坊東館	中	城館跡
345	上道弓館	中	城館跡
346	東裏町	平	集落跡
347	横堀	縄・中	集落跡
348	石垣町	中	散布地
349	横堀廃寺	中	寺院
350	下原a	縄(前)	集落跡
351	松原	縄(前・中)	集落跡
352	小峡	縄	集落跡
353	三沢a	縄(前)	集落跡
354	丸山日景館	中	城館跡
355	中島	縄	集落跡
356	三沢b	縄	集落跡
357	白旗	縄(早・前・中)	集落跡
358	山崎c	縄	集落跡
359	山崎a	縄	集落跡
360	山崎b	縄	集落跡
361	三沢前田下館	中	城館跡
362	三沢館	中	城館跡
363	三沢京塚	中	経塚
364	大海老ヶ沢b	縄	集落跡
365	大海老ヶ沢a	縄(後)	集落跡
366	坊中c	縄	集落跡
367	関根中屋敷(西館)	中	城館跡
368	普門院西	縄(中)	集落跡
369	坊中b	縄・中	集落跡
370	坊中a	縄	集落跡
371	喜多(北)館	中	城館跡
372	普門院北	縄(中)	集落跡
373	坊中前館	中	城館跡
374	普門院館	中	城館跡
375	普門院	縄(早・前・中・後・晩)	集落跡
376	普門院東	縄(中・後・晩)	集落跡
377	前ガ沢	縄	集落跡
378	堤入廃寺	中	寺院

（1548 年）から翌年にかけて本拠地を伊達郡から米沢に移しているが、天正 19 年（1591 年）の豊臣秀吉による奥州仕置のために、17 代政宗のときに岩出山城（宮城県大崎市）へ転封となった。その後は蒲生氏郷が米沢に入っている。

伊達氏に係わる遺跡としては、荒川 2 遺跡（140）などが調査されている。永禄 7 年（1564 年）に輝宗に家督を譲って隠退した晴宗の隠居先とされる新川邑に関する遺跡であり、伊達家の家紋である三引両文が入った漆器椀などが出土している（山形埋文 1997a）。なお、同様の家紋が入った漆器椀は大浦 C 遺跡（146）からも出土した（米沢市教委 1992）。

舘山城跡（米沢市舘山）は、伊達晴宗が高畠城から米沢へと拠点を移した際の城であったとする意見があり（米沢市教委 1999）、現在も調査が進められている。また、舘山城跡の北側に位置する舘山北館跡（米沢市舘山）は、初期の舘山城の築城に伴う館跡と考えられており、多数の掘立柱建物が検出されている（米沢市教委 2002）。

蒲生氏郷の次に米沢へ入ったのは上杉景勝である。慶長 3 年（1598 年）に、秀吉により会津 120 万石に加増移封された上杉景勝の領地となり、直江兼続が米沢城へ配置されることとなった。なお蒲生氏は宇都宮 12 万石へ移封されている。

関ヶ原の戦いの戦後処分により、慶長 6 年（1601 年）に上杉景勝の領地はそれまでの 4 分の 1 の 30 万石に削減され、会津から米沢に減転封された。

慶応 4 年・明治元年（1868 年）から翌年にかけての戊辰戦争では、米沢藩は奥羽列藩同盟に加わり官軍と戦ったが、敗北を重ねた末、官軍に恭順している。その後、明治 4 年（1871 年）の廃藩置県により米沢県となり、置賜県を経て明治 9 年（1876 年）に山形県へ編入された。明治 22 年（1889 年）に市制が施行され現在に至っている。

Ⅲ　調査の成果

1　概　　要

A　調査区の設定

調査区は東北中央自動車道（米沢～米沢北間）の事業範囲に合わせて、山形県教育委員会の指示通りに設定した。最大幅が約 71 m、最長が約 246 mの台形状の調査区となった。また、現行の用水路や町道により 16 の区画に分断されている。

遺構検出を行った地山面の標高は、調査区の北端部で 237 m前後、南端部で 238.1 mであり、南から北に向かって緩やかに下がっていく様子がわかる。

遺構の分布範囲は、調査区の東側、西側、南側へ拡大することは明らかである。一方、北側では遺構の検出数も少なくなり、調査区の北端部が当遺跡の北限に相当すると見て良い。南側は隣接する馳上遺跡と接続しており、遺跡間の明瞭な境界はない。

B　基本層序

第 1 次調査区の北壁（第 23・24 図）、第 1 次調査区の西側調査区の東壁（第 25 図）および第 2 次調査区東壁（第 26 ～ 31 図）、を図化し基本層序とした。調査区内は、およそ 20 ～ 40cm の表土に覆われている。表土より下位の層を地山として扱い、表土直下を遺構検出面とした。調査区内は、旧用水路や暗渠などにより撹乱を受けている個所が多数見られた。これらを除外した上で、近世以前とみられる遺構を調査した。その多くは古代・中世に属するものであった。

地山はシルトあるいは砂質土であり、中には礫を含む層もある。また、各層は南側から北側へ向かってなだらかに下っており、遺跡の立地する場所が沖積平野であることを示している。

C　遺構と遺物の分布

遺構平面図を第 7 ～ 21 図に掲載し、各図の割付図を第 6 図に示した。また、各図を統合した全体図は、付図として巻末に収納している。遺構の配置・番号などは、これらの図を参照されたい。

遺構の配置は北側と南側で密度が濃く、中央部分は薄くなっている。しかし、溝や川、柱穴などが検出されており、調査区全体で見てもまんべんなく遺構が確認されている。

調査区の北側部分では、中世に属する溝に囲まれた屋敷地が検出された。西側の区画溝の一部を除いた屋敷地全体が調査区内に収まっている。調査区の北半部は中世の遺構が主となるが、南半部は古代と中世の遺構が重複している。古代の遺構は南側に隣接する馳上遺跡から連続的に続くものである。また、馳上遺跡の北端部で検出されている中世の遺構群は、やはり連続的に西谷地ｂ遺跡へと続く。

古代の遺構では竪穴建物、側柱建物・総柱建物などの掘立柱建物、掘立柱列、溝、土坑などが検出された。

中世の遺構としては、前述の屋敷地とその内部で検出された掘立柱建物や炭窯、焼成遺構、土坑、溝などがある。また屋敷地の外部でも同様の遺構が、数多く検出されている。特に柱穴の数は非常に多く、幾度もの建て替えが行われたことを想起させる。また、中には建物と呼ぶに満たない簡素な構築物も存在していたのだろう。

出土遺物は、中世に属するものが少なく、多くが古代に属するものであった。遺構の形態から時期的な判断が困難な場合でも、古代の遺物はその覆土から出土することが多い。また川 SG2699 の最下層付近からは、古墳時代の遺物がまとまって出土した。調査区の西側に位置するこの川より東側では同時代の遺物はほとんど出土していないことから、川 SG2699 の西側の調査区外に古墳時代の集落が存在したものと推測される。

掲載した平面図において、柱穴と判断した遺構内には柱痕跡を破線で示している。この場合、図が繁雑にならないよう下端線を割愛したものもある。なお柱穴内の土色・土質変化部分を柱痕と判断した場合でも、柱の抜き取り痕の可能性は残る。

2　遺　　構

A　竪穴建物

竪穴建物は 23 棟を検出し、全て掲載した。22 棟は古代、もう 1 棟は出土遺物による時期の判断はできないが、その様相から中世のものの可能性が高い。

竪穴建物 ST2252、土坑 SK2524（第 32 図）

調査区南端部、265 - 60 グリッド付近に位置する。平面形は方形を呈し、規模は南北 4.8 m、東西 5.1 m、深さは検出面から 10cm である。床面上では付属する柱穴と考えられる SP2519・2520 が検出された。その断面図から、柱は建物の廃絶時に抜き取られたと推測される。付属するカマド EL3264 は、竪穴建物の南面沿いで、中央よりやや東寄りの個所に設置されている。遺存状態は悪く、カマド内部の掘り込み部分のみの検出となった。その覆土には炭・焼土が含まれるが、煙道は遺存していなかった。カマドの西脇には、土坑 SK2524 が検出された。平面図上では上記の遺構以外にも ST2252 と重複している小型の柱穴が複数見られるが、これらは中世以降に掘り込まれたものと考えられる。ST2252 は、出土遺物から 8 世紀末葉に属すると考えられる。

竪穴建物 ST2280、土坑 SK2287（第 33 図）

調査区南端部、255 - 65 グリッド付近に位置する。平面形は長方形を呈し、規模は南北 4.5 m、東西 4 m、深さは検出面から 13 ～ 20cm である。床面上では、柱穴 SP2543・2683・2684・3404 が検出された。柱穴の配置は不規則であり 4 基とも柱穴として機能したのか疑問が残る。付属するカマド EL3265 は、竪穴建物の南面沿いで、中央よりやや東寄りの個所に設置されている。両袖部、煙道とも検出され、内部から煙道にかけて炭や焼土が多く含まれていた。

ST2280 の北東隅に比較的浅い土坑 SK2287 が重複して掘り込まれている。検出状況から、ST2280 の方が古いことがわかった。ST2280 は出土遺物から 9 世紀前半に属すると考えられる。

竪穴建物 ST2492、土坑 SK3281（第 34 図）

調査区中央部南寄りの 205 - 70 グリッド付近に位置する。平面形は方形を呈し、規模は南北 3.3 m、東西 3.6 m、深さは検出面から 5 ～ 8cm である。床面上では付属するような柱穴は検出されなかったが、土坑 SK3281 が南西隅に掘り込まれていた。カマド EL3268 は竪穴建物の南面沿いで、中央よりやや東寄りの個所に設置されており、両袖部、煙道も確認された。カマドの北側が掘り込まれているが、建物の使用時には埋め戻されており、その上面が床面となった。カマド内部から煙道にかけて炭や焼土が多く含まれている。出土遺物から 9 世紀中葉に属すると考えられる。

竪穴建物 ST2289・2319、掘立柱建物 SB3388、土坑 SK2509（第 35 ～ 37 図）

調査区南端部、270 - 70 グリッド付近に位置する。ST2289 と ST2319 は重複しており、前者が古い。さらに SB3388 はこれらの竪穴建物より新しい。

ST2289 は方形を呈し、規模は南北 7.1 m、東西 6.6 m、深さは検出面から床面までが 10cm であり、今回の調査では最大の竪穴建物となっている。柱穴は SP2512・2516・2535 の 3 基が検出された。SP2526 は竪穴建物の覆土上から掘り込まれているため、おそらく中世に属するものであろう。柱穴の断面図によると柱は抜き取られていることがわかる。付属するカマド EL3266 は、竪穴建物の南面沿いで、西寄りの個所に設置されており、両袖部、煙道も確認された。カマドから煙道にかけては、炭や焼土が多く含まれていた。

ST2319 は方形を呈し、規模は南北 4.4 m、東西 4.1 m、深さは検出面から床面までで 12cm である。柱穴に該当しそうな遺構はなかった。SP2510 は竪穴建物の覆土上から掘り込まれており、やはり中世に属すると考えられる。ST2319 の北西隅に土坑 SK2509 が検出されたが、埋め戻された後にその上面が床面となっている。付属するカマド EL3267 は、竪穴建物の南面沿いで、西寄りの個所に設置されている。袖部の遺存状態は悪かったが、煙道は確認された。やはり内部には炭・焼土が含まれる。出土遺物から前者が 8 世紀後半、後者が 9 世紀前半に属すると考えられる。

SB3388 は、梁間 1 間、桁行 3 間以上の規模を持ち、中心軸は北で西に 14° 3′ 40″振れる。南端部は調査区外へと続いており、桁行は定かでない。柱間寸法は、梁間約 4.5 m、桁行約 2 mである。梁間が大きすぎるようであるが、本来は中央にもう 1 基の柱穴が存在したのかも知れない。構成する柱穴 SP2513 から、9 世紀前半に属す

る須恵器無台坏 110 が出土した。しかし、それぞれの柱穴の規模が比較的小さく、形状が丸みを帯びていることなどが、中世の柱穴に類似していることから、古代ではなく中世に属する可能性も考えられる。

竪穴建物 ST2566（第 38 図）

調査区南半部、225 - 65 グリッド付近に位置する。遺存状態が悪く、検出されたのは床面より下位の掘方のみであった。掘方は竪穴の中央部を残して掘り込まれていた。検出した状況での規模は、南北 4.5 m、東西 3.9 mである。

竪穴建物 ST2585、土坑 SK2348・2547・2575（第 39 図）

ST2585 は調査区の南端部、250 - 360 グリッド付近に位置する。平面形は方形を呈し、規模は南北 4.9 m、東西 5.2 m、深さは検出面から床面までが 12cm である。柱穴は確認できなかったが、竪穴の北東隅に SK2348 を検出した。ST2585 に重複して検出された SK2547・2575、SP3406 などは、後に掘り込まれたものである。付属するカマド EL3272 は、竪穴建物の南面沿いで、東寄りの個所に設置されている。袖部は検出されなかったが、煙道は検出された。出土遺物から 9 世紀後半に属すると考えられる。

竪穴建物 ST2582 ～ 2584、掘立柱建物 SB3294・3295、土坑 SK2573（第 40 ～ 43 図）

調査区の南端部、250 - 75 グリッド付近に位置する。3 基の竪穴建物が重複しており、古い方から ST2582（8 世紀初頭）、ST2584（8 世紀後半）、ST2583（8 世紀末葉～ 9 世紀初頭）の順となる。

ST2582 の平面形は方形を呈し、規模は南北 6.4 m、東西 5.8 m、深さは検出面から床面までが 10cm であり、今回の調査では最も古い竪穴建物となる。柱穴は SP2641・2657・2664 などが付属すると見られる。南西隅の柱穴は未検出であるが、後世の柱穴や暗渠により失われているのだろう。付属するカマド EL3269 は、竪穴建物の南面沿いで、西寄りの個所に設置されている。遺存状況は悪く、袖部は検出されなかった。煙道とカマド内部の掘り込み部分には炭と焼土が含まれていた。

ST2583 は方形を呈し、規模は南北 5.7 m、東西 6.2 m、深さは検出面から床面までが 18cm である。柱穴は SP2716・2723・3405 などが付属すると考えられる。付属するカマド EL3270 は、竪穴建物の南面沿いで、中央からやや西寄りの個所に設置されていた。遺存状態は悪く、西側の袖部と煙道は検出されなかった。カマド内部の覆土には炭と焼土が多く含まれていた。

ST2584 は西側を ST2583、南側を溝 SD2111 に切り込まれているが、その平面形は方形を呈していたであろう。残存部分の規模は、南北 4.8 m以上、東西 5.4 m、深さは検出面から床面までが 21cm である。覆土内からは多数の炭化材と焼土が出土しており、焼失した建物だったと考えられる。炭化材は砕けているため本来の寸法を残すものはないが、長軸を竪穴建物の中心部へ向けた状態で出土しており、焼失前の状況を考える手がかりにもなりそうである。中央部に広く分布している焼土は、床面直上ではなく、覆土内で炭化材と共に検出されており、建物の焼失時に生成されたものと考えられる。付属するカマド EL3271 は、竪穴建物の南面沿いで、中央からやや東寄りの個所に設置されている。溝 SD2111 に切り込まれているため、カマド内部の掘り込み部分がわずかに検出されただけである。内部でいくつかの柱穴を検出したが、この竪穴建物に付属するものを特定することはできなかった。

掘立柱建物 SB3294 と SB3295 が、前述の竪穴建物を切り込んでいる状態で検出された。掘立柱建物どうしも重複しているが、その前後関係は判然としない。

SB3294 は、梁間 1 間、桁行 3 間の側柱建物である。中心軸は北で西に 12° 54′ 58″振れる。柱間寸法は、梁間約 4.2 m、桁行約 1.8 mである。梁間が大きすぎるようであるが、本来は中央にもう 1 基、掘り込みの浅い柱穴が存在したのかも知れない。柱穴 SP2345 から出土した須恵器無台坏から、9 世紀前半の所産と考えられる。

SB3295 は、梁間 1 間、桁行 3 間の側柱建物であり、中心軸は北で西に 2° 47′ 5″振れる。柱間寸法は、梁間約 4.3 m、桁行約 1.9 mである。南面妻側の中央付近で検出された SP2749 は土坑の可能性もあるため SB3295 を構成する柱穴になるかどうか判然としない。時期を判断できる遺物は出土しなかったが、SB3294 と規模・構造とも類似しているため 9 世紀前半に近い時期の所産であると考えられる。

竪穴建物 ST2653（第 44 図）

調査区の南端部、250 - 80 グリッド付近に位置する。溝 SD2631・2647 に切り込まれている。平面形は方形を呈し、規模は南北 3.7 m、東西 3.5 m、深さは検出面から床面までが 30cm であり、比較的遺存状況が良い。粘

土を用いた床面（9 層）があり、その下位には掘方の埋土が検出されている。内部に柱穴や土坑などはなかった。付属するカマド EL3273 は竪穴建物の南面沿いの東端に設置されている。両袖部、煙道とも良好な状態で遺存していた。内部には崩落したカマド天井の構築土が堆積している。カマドの内側は強く被熱しており、覆土には炭や焼土が多く含まれる。出土遺物から 8 世紀末葉に属すると考えられる。

竪穴建物 ST2662、土坑 SK3250（第 45 図）

調査区の南半部、225 - 90 グリッド付近に位置する。平面形は方形を呈し、規模は南北 3.7 m、東西 3.9 mである。遺存状況が悪く、柱穴やカマドなども検出されなかった。検出面がすでに床面より下位になっており、掘方のみが遺存していたと考えられる。出土遺物は須恵器甕の底部破片のみであり、所属時期は明らかでない。

竪穴建物 ST2701（第 46 図）

調査区中央部南寄りの 190 - 80 グリッド付近に位置する。平面形は方形を呈し、規模は南北 4.1 m、東西 4.5 m、深さは検出面から床面までが 20cm である。床面は均一な深さではなく西側が一段高くなっている。柱穴は検出されなかった。付属するカマド EL3274 は竪穴建物の南面沿いの西寄りの個所に設置されている。両袖部は遺存していたが、煙道は検出されなかった。カマド内部の床面は強く被熱しており、炭や焼土も多く含まれていた。出土遺物は須恵器坏の小破片のみである。

竪穴建物 ST2776、土坑 SK3188（第 47 図）

調査区の最南端、270 - 80 グリッド付近に位置する。平面形は長方形を呈し、規模は南北 3.4 m、東西 4.3 m、深さは検出面から床面までが 24cm である。粘土を用いた床面（4 層）が敷設され、その下位に掘方の埋土がある。床面上には炭や焼土の分布が確認されたが、柱穴は検出されなかった。付属するカマド EL3275 は竪穴建物の北面沿いの西寄りの個所に設置されている。遺存状況は良好で両袖部と煙道も検出できた。煙道の先端部は、円形に窪んでいる。カマド内部には土器片・炭・焼土などが多く含まれていた。出土遺物から 9 世紀前半に属すると考えられる。

竪穴建物 ST2793（第 48 図）

調査区の南半部、215 - 390 グリッド付近に位置する。現行の用水路が中心部を横断している。平面形は方形を呈し、規模は南北 5.2 m、東西 5.4 m、深さは用水路の南側壁面で確認したところ、表土直下から床面までで 21cm であった。柱穴は SP2681・2813・2815・2816 などが検出されたが、この竪穴建物の主柱穴となるか定かではない。床面上には炭や焼土が多く分布し、床面下の掘方は大きく掘り込まれている。付属するカマド EL2817 は、遺存状況が悪く袖部も煙道も検出されず、炭と焼土を多く含むカマド内部の掘り込み部分のみが確認された。出土遺物から 8 世紀末葉に属すると考えられる。

竪穴建物 ST2818（第 49 図）

調査区の最南端、270 - 85 グリッド付近に位置する。一部調査区の南壁に接する。平面形は方形を呈し、規模は南北 3.3 m、東西 3.6 m、深さは検出面から床面までが 17cm である。柱穴 SP3251 は床面下で検出されたものであり、ST2818 に付属するものかどうか定かでない。付属するカマド EL3276 は竪穴建物の南面沿いの西端に設置されていた。カマド本体が竪穴建物の外側に設けられており、カマド両脇の壁面が袖部になる。煙道は調査区南端部に接した状態で検出された。カマドが竪穴建物の外部にあるため、竪穴内部はより広く使えるようになっている。比較的小型の竪穴建物を建てる場合の工夫であろうか。カマド内部では、底面が強く被熱し、覆土には炭と焼土が多く含まれていた。出土遺物から 8 世紀末葉に属すると考えられる。また、鉄釘 3 点が出土していることが特筆される。

竪穴建物 ST2827、掘立柱建物 SB3262・3286、外周溝 SD2828（第 51 ～ 53 図）

ST2827 は調査区の最南端、270 - 95 グリッド付近に位置する外周溝（SD2828）を有する竪穴建物であり、重複する SB3262 に切り込まれている。外周溝をもつ竪穴建物は ST2827 のみである。平面形は長方形を呈し、規模は南北 7.7 m、東西 5.6 m、深さは検出面から最も古い床面までが 48cm である。付属する柱穴は検出されなかったが、断面図 a - a’ の 15 ～ 17 層が 2 回目の床面上に掘り込まれた柱穴のようであるが、確認されたのはこの 1 基のみである。竪穴建物の北側は、掘り込みが浅く、深さは 8cm 程度であった。断面を観察したところ、この竪穴建物には床面が 3 回構築されていることがわかった。1 回目の床面は 20 層上面、2 回めの床面は 19 層内、3 回目の床面は 14 層内である。各層には炭層が薄く堆積

するなど建物使用時の状況を示している。付属するカマドEL3277は、竪穴建物の南面沿いの西寄りの個所に設置されていた。付近からは多数の土師器甕の土器片が出土しており、カマドでの利用状況をうかがわせる。両袖部、煙道とも遺存しており、内部には炭・焼土・灰が含まれていた。床面が何度も作りなおされているにも関わらず、最後までこの1基を使い続けたようである。

外周溝SD2828はST2827の周囲をめぐるが、南西隅と南辺には至らない。また検出面上では東側で一部途切れている。SD2828の南東部分は向きを変えて調査区南壁に接する。

ST2827の所属する時期は、出土遺物から8世紀末葉～9世紀初頭と考えられる。また、ST2827の覆土内からは石製巡方（88）が出土しており、埋没時に混入したものと考えられる。

SB3262は、梁間2間、桁行3間の側柱建物である。中心軸は北で西に12°47′24″振れる。柱間寸法は、梁間約2.4 m、桁行約2 mである。南面の妻側中央の柱穴は検出されなかった。柱穴から時期が判断できる出土遺物はなかったが、重複するST2827より後に建てられていること、ST2827の覆土から出土した石製巡方が9世紀第2四半期以降に類例が多くなることが手がかりとなろう。

SB3286の梁間は1間、桁行は調査区南壁に接しているため不明であるが、1間分のみ確認された。中心軸は北で西に15°16′12″振れる。柱間寸法は、梁間5.1 m、桁行1.9 mである。時期を判断できる遺物は出土しなかったが、SB3262とほぼ同じ方角で、桁行も揃っていることから、同じ時期に立っていたと考えられる。

竪穴建物ST2838・3248（第55・56図）

調査区中央部の西端、165 - 10グリッド付近に位置する。ST2838は、調査区西壁と現行の用水路に接し、さらにST3248と重複しているため、検出されたのはカマドとその周辺部だけであった。位置関係から、第3次調査区で検出されたST268と同一の竪穴建物と考えられる。出土遺物の様相も同じである。これにより、平面形は方形、規模は北西から南東が5.3 mであることがわかる。用水路側の断面図（c - c’）によると深さは表土直下から床面までで30cmである。竪穴建物全面に床面（17・18層）が構築され、その上にカマド（16層）が構築されている。柱穴は確認できなかった。付属するカマドEL3278は、竪穴建物の南面沿いの西端に設置されている。内部からは多数の土師器甕が出土した。また、立位で出土した大型の石は、カマドの構築材として据えたものと考えられる。袖部の遺存状態は悪く、カマド内部には袖部・天井部の構築土とみられる被熱した土が堆積していた。また、カマドから南東方向に延びる煙道を検出している。

ST3248はその南端部が現行の用水路に接しているため、南東隅部分は検出できなかった。カマドはこの未検出部分に隠れているのだろう。平面形は方形を呈し、規模は南北3.5 m、東西3.7 m、深さは表土直下から床面までが21cmである。付属する柱穴は確認されなかった。

ST3248が新しく、ST2838が古いという重複関係があるものの、両者とも出土遺物から判断すると、8世紀末葉～9世紀初頭に属すると考えられる。

竪穴建物ST2845（第50図）

調査区南半部、225 - 10グリッド付近に位置する。平面形はおおよそ方形を呈し、規模は南北4.2 m、東西4.7 m、深さは検出面から38cmである。柱穴やカマドなどの付属遺構はなかった。中世の溝SD2500と重複し、ST2845の方が新しい。時期の判断が可能な遺物は出土していないが、上記の重複関係から中世以降の竪穴建物と考えられる。古代に属さない竪穴建物はこの1棟のみであった。

竪穴建物ST2849（第54図）

調査区中央部、150 - 10グリッド付近に位置する。溝や攪乱と重複しており、竪穴建物自体はほとんど遺存していないため、その規模は定かでない。カマドが部分的に検出されたのみである。付属するカマドEL3280では、南側の袖部と煙道の一部が検出された。カマド内部には炭や焼土が多く含まれている。カマドの向きから、竪穴建物の西面に設置されたようであり、ほかの竪穴建物にはない特徴となっている。出土遺物から9世紀前半に属すると考えられる。

竪穴建物ST2876（第57図）

調査区北半部、115 - 90グリッド付近に位置する。平面形は方形を呈し、規模は北西から南東が4.6 m、北東から南西が4.8 m、深さは検出面から床面までが12cmである。中世の溝SD2773と重複している。柱穴は、SP3242～3245などが付属すると見られる。カマドは竪穴建物の南東面沿いの南寄りの個所に痕跡を残している

が、本体・袖部とも遺存していない。煙道もわずかな痕跡のみである。出土遺物から、8 世紀末葉に属すると考えられる。

竪穴建物 ST2877、土坑 SK2874・2875・3246（第 58 図）

ST2877 は調査区北半部、110 - 95 グリッド付近に位置する。平面形は長方形を呈し、規模は南北 3.8 m、東西 4.4 m、深さは検出面から床面までが 6cm である。溝や土坑に大きく切り込まれており、遺存状況は良くない。伴う柱穴は確認できなかった。付属するカマド EL3279 は竪穴建物の南面沿いで東寄りの個所に設置されている。西側の袖部と本体部分が遺存しており煙道は失われていた。内部には炭・焼土が多く含まれている。出土遺物から、8 世紀末葉に属すると考えられる。

SK2874 と SK2875 は重複して検出された土坑である。SK2875 の方が新しい。いずれも ST2877 より後に掘り込まれた土坑である。SK2874 内には炭や焼土が多く含まれていた。カマド EL3279 に隣接していることが影響しているのだろう。SK3246 は SK2874 より先に掘り込まれた小型の土坑である。出土遺物から、SK2874 は 8 世紀末葉～ 9 世紀初頭に属すると考えられる。

B　古代の掘立柱建物と掘立柱列

古代に属すると考えられる掘立柱建物 16 棟、掘立柱列を 3 基を検出した。調査区の南半部に集中している。柱穴から出土する遺物は少ない。各柱穴は、中世のものに比べ規模が大きく、斉一性のある形態をしている。第 59・60 図に建物の配置図を掲載した。

掘立柱建物 SB2893（第 61 図）

梁間 3 間、桁行 3 間の側柱建物である。中心軸は北で西に 16° 58′ 16″振れる。柱間寸法は、梁間 1.7 m、桁行 1.9 mである。柱穴 SP2847 から 8 世紀末～ 9 世紀初頭の黒色土器無台坏（134）が出土している。

掘立柱建物 SB3010（第 62 図）

梁間 2 間、桁行 3 間の総柱建物である。中心軸は北で西に 3° 34′ 41″振れる。柱間寸法は、梁間 1.8 m、桁行 1.6 mである。四隅の柱穴が比較的大きく、深い傾向がある。柱穴 SP3002 は SP3291 とほぼ同じ位置で重複している。柱穴の掘方の平面形状・方向が、SB3010 を構成する柱穴と揃っていることから、上層で検出されたものが SB3010 を構成する柱穴である。柱穴 SP2856 と SP3003 から 9 世紀後半の土器（108・109）が出土した。

掘立柱建物 SB3021（第 63 図）

梁間 3 間、桁行 3 間の側柱建物であるが、南面の梁間は 2 間である。中心軸は北で西に 13° 4′ 1″振れる。柱間寸法は、梁間北面 1.4 m、同南面 2.1 m、桁行 1.6 m である。四隅の柱穴が比較的大きく、深い傾向がある。南面の妻から 2 本めの柱から間仕切りと推測できる柱穴 SP2863・3407 が検出された。時期の判断できる遺物は出土しなかった。

掘立柱建物 SB3132（第 64 図）

2×2 間の総柱建物で、柱間寸法は 1.4 mである。中心軸は北で東に 38° 6′ 0″振れる。時期の判断できる遺物は出土しなかった。

掘立柱建物 SB3135（第 65 図）

2×2 間の総柱建物で、柱間寸法は 1.6 mである。中心軸は北で西に 38° 58′ 23″振れる。柱穴 SP3291 は SP3002 とほぼ同じ位置で重複する。下層で検出されたものが SB3135 を構成する柱穴である。時期の判断できる遺物は出土しなかったが、SB3010 よりは古いことになる。

掘立柱建物 SB3157（第 66 図）

梁間 2 間、桁行 2 間の総柱建物で、柱間寸法は、梁間 1.7 m、桁行 2.1 mである。中心軸は北で西に 16° 55′ 52″振れる。床束用となる SP3159 は比較的小型で浅い柱穴である。

掘立柱建物 SB3258（第 67 図）

梁間 1 間、桁行 2 間の側柱建物で、柱間寸法は、梁間 2.8 m、桁行 1.5 mである。中心軸は北で西に 8° 24′ 14″振れる。

掘立柱建物 SB3259（第 68 図）

梁間 1 間、桁行 2 間の側柱建物で、柱間寸法は梁間 2.4 m、桁行 1.2 mである。中心軸は北で西に 12° 1′ 44″振れる。

掘立柱建物 SB3260（第 69 図）

調査区南壁に接しており、第 3 次発掘調査の調査区内で検出された柱穴と組み合う。梁間に未検出の柱穴があるが、調査区壁内の未調査部分に存在していると想定される。梁間 3 間、桁行 3 間の側柱建物であり、中心軸は北で西に 10° 8′ 53″振れる。柱間寸法は、梁間 1.4 m、桁行 1.7 mである。柱穴 SP2996 の柱の抜き取り痕には大量の礫が投げ込まれていた。

掘立柱建物 SB3261（第 70 図）

2×2 間の総柱建物で、柱間寸法は 1.4 mである。中心軸は北で東に 3° 53′ 42″振れる。

掘立柱建物 SB3263（第 71 図）

梁間 2 間、桁行 2 間の側柱建物で、柱間寸法は梁間 1.5 m、桁行 1.9 mである。桁行の柱間寸法は東西でやや異なっている。中心軸は北で西に 12° 56′ 2″振れる。建物の四隅の柱穴は、比較的大きく深い傾向がある。

掘立柱列 SA3356（第 72 図）

3 間分を検出した。柱間寸法は 1.8 mであるが、北から 1 本目と 2 本目の間にも SP2843 が入るかも知れない。中心軸は北で東に 13° 59′ 24″振れる。建物ではなく、柵などに使用されたと考えられる。

掘立柱列 SA3389・3390（第 73 図）

SA3389 は 3 間分を検出した。柱間寸法は 1.4 mである。中心軸は北で東に 85° 24′ 47″振れる。

SA3390 は 2 間分を検出した。柱間寸法は 1.5 mである。中心軸は北で西に 2° 41′ 56″振れる。SA3389 に対して直角となる方向に配置されている。

C　中世の掘立柱建物と掘立柱列

中世に属すると考えられる掘立柱建物 56 棟、掘立柱列 1 基を検出した。調査区の北端部と南端部に集中しているが、柱穴はその中間部でも検出されている。特に調査区の北端部には、溝で区画された屋敷地があるため、その内部には多数の柱穴のほか、炭窯・土坑なども検出されている。調査区全域にわたって検出された柱穴は、その数が非常に多いこともあり、柱穴の組み合わせで建物を復元することは非常に難しい。掲載した掘立柱建物・掘立柱列は、柱穴の配置・規模・深さなどから、組み合わせを検討した結果のもので、ある程度の妥当性をもつ復元案と考えている。これらの復元案については、第 74 ～ 76 図に配置図を掲載した。

柱穴の規模は古代のものに比べて一様に小さく、建物以外にも様々な用途に柱・杭などを立てた結果であろう。

柱穴から出土した中世に属する遺物は少ないが、時期の判断できる遺物で、近世以降に下るものはなかった。

掘立柱建物・掘立柱列（第 77 ～ 93 図）

SB474（第 77 図）は梁間 1 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 1.7 m、桁行 2.2 mである。中心軸は北で西に 11° 0′ 58″振れる。

SB2023（第 77 図）は梁間 2 間、桁行 3 間で、柱間寸法は梁間 1.8 m、桁行 1.8 mである。中心軸は北で西に 8° 44′ 2″振れる。調査区最北端に位置する掘立柱建物であり、周囲にほかの柱穴はない。

SB2024（第 78 図）は梁間 1 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 2.7 m、桁行 1.4 mである。中心軸は北で西に 6° 21′ 50″振れる。調査区の北東隅に位置しており、周囲にほかの柱穴はない。

SB2025（第 79 図）は梁間 2 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 1.65m、桁行 1.8 mである。中心軸は北で西に 6° 20′ 24″振れる。平面形はほぼ正方形を呈する。

SB2026（第 80 ～ 82 図）は梁間 1 間、桁行 5 間で、柱間寸法は梁間 4.5 m、桁行 2.4 mである。中心軸は北で東に 4° 59′ 13″振れる。四面に出が 0.8 ～ 1.2 m程度の庇が付属している。梁間が大きすぎるようだが、間に浅い柱穴などが存在していたのかも知れない。身舎の桁行は本調査内では最大の規模である。

SB3297（第 80 図）は梁間 1 間、桁行 3 間で、柱間寸法は梁間 2.4m、桁行 1.6 mである。中心軸は北で西に 3° 28′ 34″振れる。

SB2027（第 80 図）は梁間 1 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 2.4m、桁行 1.2 mである。中心軸は北で東に 1° 36′ 7″振れる。平面形はほぼ正方形を呈する。

SB2028（第 83 ～ 86 図）は梁間 1 間、桁行 3 間で、柱間寸法は梁間 3.7m、桁行 2.5 mである。中心軸は北で西に 11° 48′ 4″振れる。北面の東端から 2 間分の庇が付属している。

SB2030（第 83 ～ 86 図）は梁間 2 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 1.9m、桁行 2.3 mである。中心軸は北で西に 12° 28′ 48″振れる。北西隅の柱穴は未検出である。

SB3298（第 83 ～ 86 図）は梁間 2 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 1.5m、桁行 2.5 mである。中心軸は北で西に 13° 29′ 53″振れる。

SB3300（第 83 ～ 86 図）は梁間 2 間、桁行 3 間で、柱間寸法は梁間 1.9m、桁行 1.1 mである。中心軸は北で西に 17° 11′ 20″振れる。

SB3301（第 83 ～ 86 図）は梁間 2 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 1.2m、桁行 1.5 mである。中心軸は北で西に 29° 51′ 7″振れる。SB3300 の柱穴と切り合う柱穴

があるが、SB3301 の方が新しい。

SB3302（第 83 ～ 86 図）は柱穴の並びが不規則で梁間・桁行とも判然としないが、おそらく両方共 4 ～ 5 間程度であろう。規模は南北 8.1 m、東西 9.3m で、中心軸は北で西に 8° 40′ 16″振れる。

SA2029（第 83 ～ 86 図）は柱間寸法は不規則であるが、3 間分を検出した。長さは 5.2 mである。軸は北で西に 12° 21′ 47″振れる。

SB3304（第 87 図）は梁間 3 間、桁行 3 間で、柱間寸法は未検出の柱穴や不規則な配置の柱穴もあるが、梁間 1.2m、桁行 2.1 mとなろう。中心軸は北で西に 9° 51′ 36″振れる。

SB3305（第 87 図）は梁間 1 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 2.4m、桁行 2.2 mである。中心軸は北で西に 9° 40′ 30″振れる。

SB3306（第 87 図）は梁間 2 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 2.3m、桁行 2.6 mである。中心軸は北で東に 1° 15′ 0″振れる。西側に出が 1.4 mの庇が付属する。

SB3307（第 87 図）は梁間 1 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 2.5m、桁行 2.2 mである。中心軸は北で東に 1° 51′ 35″振れる。

SB3308（第 87 図）は梁間 1 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 2.4m、桁行 2.2 mである。中心軸は北で西に 8° 54′ 11″振れる。

SB3315（第 87 図）は梁間 2 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間が 1.8m と 1.2 m、桁行 2.5 mである。中心軸は北で東に 21° 16′ 44″振れる。桁行方向に平行な間仕切りが付属するようである。

SB3316（第 87 図）は梁間 2 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 1.6m、桁行 2.1 mである。中心軸は北で西に 33° 26′ 13″振れる。

SB3310（第 88 図）は梁間 1 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 2.3m、桁行 2.1 mである。中心軸は北で西に 5° 3′ 18″振れる。

SB3311（第 88 図）は梁間 1 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 2.2m、桁行 1.5 mである。中心軸は北で西に 37° 12′ 36″振れる。

SB3312（第 88 図）は梁間 1 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 1.7m、桁行 2 mである。中心軸は北で東に 11° 59′ 42″振れる。

SB3313（第 88 図）は梁間 2 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 1.9m、桁行 2 mである。中心軸は北で西に 7° 43′ 12″振れる。

SB3327（第 88 図）は梁間 1 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 1.9m、桁行 1.6 mである。中心軸は北で西に 21° 33′ 43″振れる。

SB3328（第 88 図）は梁間 2 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 1.9m、桁行 2.4 mである。中心軸は北で西に 40° 1′ 12″振れる。中心にも柱穴が存在しており、総柱建物となる可能性がある。

SB3323（第 88 図）は梁間 1 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 2.6m、桁行 2.2 mである。中心軸は北で西に 31° 14′ 53″振れる。

SB3319（第 89 図）は梁間 1 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 2.3m、桁行 2 mである。中心軸は北で西に 23° 44′ 46″振れる。

SB3320（第 89 図）は梁間 1 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 2.4m、桁行 2.1 mである。中心軸は北で西に 25° 58′ 30″振れる。

SB3317（第 89 図）は梁間 2 間、桁行 3 間で、柱間寸法は梁間が 1.6m と 2.1 m、桁行 1.65 mである。中心軸は北で西に 14° 59′ 13″振れる。内部に南北・東西方向の間仕切りが検出されている。

SB3318（第 89 図）は梁間 2 間、桁行 3 間で、柱間寸法は梁間 2.3m、桁行 2 mである。中心軸は北で西に 13° 48′ 29″振れる。

SB3321（第 89 図）は梁間 1 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 2.3m、桁行 2.2 mである。中心軸は北で西に 18° 57′ 43″振れる。

SB3337（第 90 図）は梁間 1 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 2.1m、桁行 2.6 mである。中心軸は北で東に 32° 8′ 28″振れる。

SB3348（第 90 図）は梁間 2 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 1.1 mと 2m、桁行は 2.3 mと 2.8 mである。中心軸は北で東に 28° 35′ 38″振れる。北東隅の柱穴の位置は調査区外に当たる。内部には間仕切り用とみられる柱穴がある。

SB3401（第 90 図）は梁間 1 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 2.1m、桁行 1.7 mである。中心軸は北で東に 33° 33′ 0″振れる。

SB3352（第 90 図）は梁間 1 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 2.1m、桁行 1.9 mである。中心軸は北で東に 18° 38′ 53″振れる。

SB3353（第 90 図）は梁間 1 間、桁行 3 間で、柱間寸法は梁間 4.5m、桁行 2.4 mである。中心軸は北で東に 22° 13′ 8″振れる。身舎内に間仕切り用とみられる柱穴があり、身舎外には出が南側 1.2 m、西側 1.3 mの庇が付属する。

SB3360（第 91 図）は梁間 1 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 2.2m、桁行 2.3 mである。中心軸は北で東に 21° 37′ 59″振れる。

SB3402（第 91 図）は梁間 1 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 2.2m、桁行 2.1 mである。中心軸は北で東に 28° 49′ 26″振れる。

SB3362（第 91 図）は梁間 1 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 2.5m、桁行 1.8 mである。中心軸は北で西に 8° 15′ 58″振れる。

SB3363（第 91 図）は梁間 1 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 2.1m、桁行 2.3 mである。中心軸は北で東に 18° 36′ 0″振れる。

SB3364（第 91 図）は梁間 1 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 2m、桁行 1.8 mである。中心軸は北で東に 22° 0′ 11″振れる。

SB3365（第 91 図）は梁間 1 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 1.9m、桁行 2 mである。中心軸は北で東に 17° 24′ 18″振れる。

SB3369（第 91 図）は梁間 2 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間・桁行とも 2 mである。中心軸は北で西に 4° 23′ 42″振れる。

SB3399（第 91 図）は梁間 1 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 2.5m、桁行 1.4 mである。中心軸は北で東に 43° 21′ 0″振れる。

SB3400（第 91 図）は梁間 1 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 3.9m、桁行 2 mである。中心軸は北で東に 2° 39′ 4″振れる。

SB3371（第 92 図）は梁間 2 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 2.1m、桁行 2.5 mである。中心軸は北で西に 25° 12′ 58″振れる。

SB3377（第 92 図）は梁間 2 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 1.4m、桁行は 1.6 mと 2.1 mである。中心軸は北で西に 6° 12′ 29″振れる。

SB3384（第 92 図）は梁間 2 間、桁行 3 間で、柱間寸法は梁間 1.7m、桁行 1.9 mである。中心軸は北で西に 2° 24′ 54″振れる。

SB3391（第 93 図）は梁間 2 間、桁行 3 間で、柱間寸法は梁間が 1.8mと 2.1 m、桁行 1.8 mである。中心軸は北で西に 7° 2′ 38″振れる。

SB3392（第 93 図）は梁間 1 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 1.6m、桁行 1.4 mである。中心軸は北で東に 2° 22′ 37″振れる。

SB3394（第 93 図）は梁間 2 間、桁行 2 間で、柱間寸法が梁間 1.3m、桁行 1.4 mの総柱建物である。中心軸は北で西に 25° 45′ 4″振れる。

SB3395（第 93 図）は梁間 2 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 1.5m、桁行 1.9 mである。中心軸は北で西に 6° 41′ 31″振れる。

SB3396（第 93 図）は梁間 1 間、桁行 2 間で、柱間寸法は梁間 1.8m、桁行 1.8 mである。中心軸は北で西に 6° 6′ 25″振れる。

SB3397（第 93 図）は梁間 2 間、桁行 3 間で、柱間寸法は梁間 1.2m、桁行 1.4 mである。中心軸は北で西に 9° 25′ 1″振れる。

SB3398（第 93 図）は梁間 1 間、桁行 3 間で、柱間寸法は梁間 1.4m、桁行 1.2 mである。中心軸は北で西に 6° 24′ 43″振れる。現行の用水路のため北側が未調査となっているが、SB3398 が北側へ拡張するかもしれない。

D　炭窯と焼成遺構

炭窯は 1 基、焼成遺構は 16 基を検出した。出土遺物がほとんどないため、焼成遺構では具体的にどのような作業を行ったのか判断しにくい。

炭窯 SQ1000（第 94 図）

調査区北端の屋敷地内の東南隅に構築されており、2 個所の焼成室と煙道、前庭部からなる。遺物がほとんど出土しなかったが、窯壁が強く被熱していること、炭化物が多く堆積していたことなどから、炭焼きに用いた窯と考えられる。前庭部に被熱の痕跡は少なく、焼成室内で燃焼も行われていることになる。煙道は地中をくぐり抜け、焼成室から 40 ～ 50cm ほど南側で地上に到達する。その周囲はやはり強く被熱していた。

窯の構築にあたって、使用時の床面よりも深く掘り込んで整地（18 ～ 20 層）を行っている。窯の操業時には 17 層が堆積し、その後崩落した壁面などが混じる土層（14 ～ 16 層）で再度整地されており、窯の修繕が行われたと考えられる。さらに操業は継続され、11 ～ 13 層が堆積するが、その間に 12 層の天井崩落土が混じる。操業終了後は埋め戻されている。操業時には、窯の周囲で検出された柱穴を用いる上屋の存在も想定されよう。

焼成遺構（第 95 ～ 98 図）

規模の大小はあるが、いずれも浅い皿状を呈しており、内部には炭や焼土が多く含まれる。長辺が短辺の 2 倍以上となる長楕円形を呈する形状のものが多い。中世の遺構が主体となる調査区北半部での検出例が多いため、中世に属する可能性が高いと考えられる。

焼成遺構 SL236 と SL237 は隣接して検出されており、規模も状況もよく似ている。西半部では特に炭を多く検出し、東半部では焼土を多く検出している。

SL1905 と SL1906 も類似した焼成遺構どうしが隣接して検出された。切り合い状況から SL1906 の方が古いことがわかる。

SL1934 からは鉄滓が出土したことから小鍛治などを行っていたと考えられる。

SL2284 は小型で浅い焼成遺構であるが、内部から 8 世紀末葉～ 9 世紀初頭の須恵器無台坏が出土している。

E　土　　坑

出土遺物が少ないため、所属時期の特定は困難な場合が多い。調査区北端に位置する中世の屋敷地を中心に、平面形が方形や長方形・隅丸方形・円形を呈し、底面が平坦な土坑が数多く検出されている。これらはほかの中世の遺跡でも頻繁に見られる遺構である。覆土を観察すると粒状・塊状の地山土を含むものが多く、人為的に埋め戻されていることがわかる。

土坑 SK221（第 99 図）

隅丸方形の土坑で、底面は平坦である。覆土の状況から人為的に埋められたと考えられる。

土坑 SK269（第 99 図）

長方形を呈し、底面は平坦である。覆土の状況から人為的に埋められたと考えられる。

土坑 SK720・721（第 102 図）

長方形を呈し、長辺が短辺の 3 倍以上、底面が平坦な大型の土坑である。両者は同じ向き、かつ並んだ状態で掘り込まれている。

土坑 SK934 ～ 938（第 103 図）

おおよそ方形の土坑が 5 基重複している。形状・規模とも類似した土坑群であり、幾度も掘り直されたことがわかる。

土坑 SK1902（第 105 図）

長方形を呈し、底面は平坦である。覆土の状況から人為的に埋められたと考えられる。

土坑 SK1904（第 105 図）

隅丸方形を呈し、断面が漏斗状になる底面の小さい土坑である。内部には多数の大型礫が混じっていた。

土坑 SK2128（第 108 図）

長方形を呈し、底面は平坦である。底面付近から多数の大型礫が出土しており、中には古代に属すると考えられる瓦 130 が含まれていた。土坑の形状は中世に属するものと類似しており、大型礫の集積時に瓦も混入したのではないだろうか。

土坑 SK2198（第 110 図）

小型の土坑で、石製の硯 136 が出土した。

土坑 SK2408・2415・2420（第 115・116 図）

長方形を呈し、浅く、底面が平坦な土坑である。長辺が短辺の 2 倍以上となり、近在の溝などと平行、あるいは直角方向の配置である。

土坑 SK2421（第 116 図）

方形を呈し、底面が平坦な土坑である。

土坑 SK2485（第 118 図）

円形を呈し、断面形が擂鉢状をなす大型の土坑である。容器形の石製品 148 が出土した。

土坑 SK2488（第 119 図）

小型で円形を呈する。永楽通寶が 2 枚出土した。

土坑 SK2610・2803・3257（第 122 図）

長方形を呈する底面の平坦な土坑であるが、SK3257 はカギ形に屈曲している。元は別々に掘り込まれた 2 基の土坑であろう。

土坑 SK2791（第 123 図）

円形を呈し、底面が平坦な土坑であるが、比較的深い土坑である。

土坑 SK2804・2805（第 124 図）

両者は重複して検出されたが、新旧関係ではSK2805の方が古い。方形を呈し、底面が平坦な浅い土坑である。

土坑 SK2825（第 124 図）

楕円形を呈し、底面が平坦な土坑である。

土坑 SK3282（第 126 図）

SD2202・3290と重複し、これらより新しい。長方形を呈し、平坦な底面である。

F　溝

調査区全域から数多くの溝を検出した。ある一定の範囲を区画する溝が多い。中でも調査区北端の屋敷地には、南北 45 m、東西 50 m以上の範囲を区画する溝が付属している。

第 127 ～ 129 図に溝の平面図と断面図の取得位置を示すセクションポイントの配置を示した。より大きな平面図が必要な場合は巻末に収録した付図を参照されたい。

溝 SD113（第 130 図）

調査区の北壁から南へ延びる溝で、屋敷地の区画溝であるSD279より古い。長さ約 25 m分を検出した。古代に属する土器片が出土している。

溝 SD117（第 130 図）

SD279と重複するがSD117の方が古い。長さ約 8 m分を検出した。

溝 SD279（第 130・131 図）

屋敷地の北東部分を区画する溝であり、東西方向から南北方向へ大きく湾曲している。断面形は逆台形状を呈し、長さは約 36 m分で途切れている。区画溝としては、分断区間を有しながら別の溝につながっていくことになる。検出面での最大幅は 1.75 mである。白磁壺 149 などが出土している。

溝 SD306（第 131 図）

調査区の北壁から南へ延びる溝で、屋敷地の区画溝であるSD279より古い。長さ約 22 m分を検出した。瓷器系陶器甕 151 が出土している。

溝 SD390（第 132 図）

屋敷地の北西部分を区画する溝であり、東西方向に設置されている。調査区西壁に接しており、この先で南方向に湾曲すると推測できる。断面形は逆台形状を呈し、長さは 17.6 m分を検出した。区画溝としては、東側に隣接するSD279と同一のものとなろう。

川SG1と重複し、SD279の方が新しい。調査区西壁で作成した断面図（第 132 図 S13 - S13’）によると遺存部分での最大幅は 2.9 m、深さは 96cm であった。

溝 SD426（第 132 図）

調査区の東壁から延びる溝で、屋敷地の南側を区画する溝とほぼ同じ方向となっている。西隣のSD427と一体として用いられた溝と考えられる。幅 1.8 mで、約 9.8 m分を検出した。

溝 SD427（第 132 ～ 134 図）

屋敷地の南側を区画する溝SD599の南側に位置し、SD599と平行している。東端側では南東方向に折れ、西端側では南西方向に折れる。周囲の溝SD796・2418・2773・2873と重複し、これらより新しい。断面形は逆台形を呈し、長さは 56 m分を検出した。青磁碗 152 が出土している。

溝 SD593（第 135 図）

屋敷地の南西側を区画する溝であり、北西方向へ折れた後、調査区西壁に接する。この先で北方向へ折れ、SD390の延長部に接すると推測できる。断面形は逆台形状を呈し、長さ 23m 分を検出した。断面図によると、下半部の黒色系粘土層は溝の開口時の堆積物、上半部の黄褐色・黒色系シルト・石などの混在層は溝の埋め立て時のものと考えられる。青磁碗 153 が出土している。

溝 SD599（第 135・136 図）

屋敷地の南側を区画する溝であり、東隣のSD1445、西隣のSD593と併せて利用されたものと考えられる。内部にはSD1445と同じ覆土が同時に堆積しているため、新旧関係はない。断面は逆台形状を呈し、長さは約 26 mである。出土遺物には内耳土鍋・青磁などがある。

溝 SD796（第 135・136 図）

隣接する溝SD427・599と重複し、これらより古い。断面形は逆台形状を呈し、長さは 13 mである。隣接するSD1212と同じ並びであり、一体として利用された可能性もある。覆土の下半部は溝開口時の堆積物、上半部は埋め立てによる堆積物と考えられる。出土遺物には瓷器系陶器甕 155 などがある。

溝 SD1212（第 135・137 図）

SD796の西隣の延長線上に位置する。重複するSD593より古く、SD1273より新しい。

溝 SD1445（第 136・137 図）

屋敷地東側の南端部を区画する溝であり、同時に開口していた西隣の SD599 と接している。北隣の SD1446 との間は 50cm 程度離れている。断面形は逆台形状を呈し、長さは約 9.3 mである。

溝 SD1446（第 138 図）

屋敷地東側の中央部を区画する溝であり、隣接する SD279・1445 と同じ並びである。SD279 との間隔は現行の用水路が残されているため判然としない。長さは 7.1 m以上となる。

溝 SD2102（第 139・140 図）

調査区南半部に位置し、南北方向から東へ折れ調査区東壁へ接する溝である。北端部は現行の用水路が残されたため確認できていない。重複する SD2105 より新しい。断面は逆台形状を呈し、長さ 82 m分を検出した。開元通寶 156 が出土した。

溝 SD2105（第 139 ～ 141 図）

調査区南半部に位置し、東西方向から南に折れ、さらに西へ折れる。その後現行の用水路部分に接する。西端部は、SD2574 の直前で途切れている。SD2102・2111 と重複し、前者より古く、後者より新しい。比較的浅い区画溝であり、長さは 48 m以上となる。

溝 SD2111（第 141・142 図）

調査区南端部で東西方向に走る溝で、断面形は逆台形状を呈する。西隣の南北溝 SD2574 とは検出面上では接しないが一体として利用されたと考えられる。ST2583 と重複し、これより新しい。長さ約 26 mである。

溝 SD2186（第 143・144 図）

調査区南半部で、北東から南西に延び、東へ折れて南東へ向かい調査区東壁に接する。幅 3.5 mを測る大型の溝である。重複する SD2191 より古い。下層は溝開口時に堆積した黒色系粘土層、上層は埋め立てによるものと考えられる。中からは多数の木製品・漆器・瓦質擂鉢 158 などが出土した。長さ約 73 m分を検出した。

溝 SD2191（第 144・145 図）

調査区南半部で、北東から南西に延び、西へ折れて北西へ向かう溝である。重複する SD2186・2193 より新しい。断面形は逆台形状を呈し、長さ約 50m である。

溝 SD2201（第 145 図）

SD2191 の東端部付近から南東方向に向かい調査区東壁に接する溝である。断面形は逆台形状を呈し、長さ約 2 m分を検出した。SD2191 と一体として利用された区画溝と考えられる。

溝 SD2202（第 146 図）

隣接する SD2186 の北側で、北東から南西方向に設けられた溝であり、東端部は調査区東壁に接する。重複する SD2250・3290 より新しい。長さ 23 m分を検出し、中から内耳土鍋 211・212 などが出土した。

溝 SD2318（第 147 図）

北西から南西方向に設けられた溝である。重複する SD2769 より新しい。北端・南端部とも現行の用水路に接する。長さ約 23 m分を検出した。

溝 SD2418（第 134・148・149 図）

南西に進んだ後に南東へ折れる溝で、重複する SD427 より古く、SD2422・3290 より新しい。断面形は逆台形状を呈し、長さ 44 mである。漆器 216 が出土した。

溝 SD2574（第 142・149・150 図）

調査区南半部の南北溝で西に折れた後に調査区内で途切れている。隣接する SD2111 と一体で利用されたと考えられる。重複する SD2500 より古く、ST2583 より新しい。一部掘り込みの浅い部分（第 150 図 S142 - S142'）がある。遺構検出面があと 10 数 cm 低かったとしたら、SD2754 は途切れた状態で検出されたであろう。内耳土鍋 221・222 や青磁碗 220 などが出土している。

円形溝 SD2631（第 151・152 図）

調査区南端部で円形に掘り込まれた溝が 2 基検出された。SD2631 は楕円形にめぐる溝で、楕円の長軸は 15.8 m、短軸は 12.8 mの規模である。溝自体の幅は 35 ～ 70cm、深さは検出面から 20cm 程度であった。溝は南東隅で一部途切れており、1.3 mの間隔を有する。重複する円形溝 SD2824、竪穴建物 ST2653、掘立柱建物 SB3259 より新しい。

溝 SD2769（第 147・152 図）

SD2191 西端部の延長上に位置しており、一体として利用されていたと考えられる。重複する SD2318 より古く、長さは 5.5 mである。

溝 SD2773（第 134・153 図）

SD427 南半部と SD2418 北半部と平行する溝である。重複する SD427 より古い。

円形溝 SD2824（第 151 ～ 153 図）

円形にめぐる溝で、円の直径は 4.2 mである。溝自体

の幅は 25 ～ 50cm 程度、深さは検出面から 28cm である。重複する SD2631 より古い。

G　川

南端部から北端部まで川 SG1 が調査区を縦断していた。重複する SG2699 はこれより古い段階の川である。

第 127 ～ 129 図に川の平面図と断面図の取得位置を示すセクションポイントの配置を示した。より大きな平面図が必要な場合は巻末に収録した付図を参照されたい。

川 SG1（第 155 ～ 158 図）

調査区南端部の東壁から始まり調査区北端部の北西隅に抜けていく川である。古墳時代の遺物も含むが、主体となった出土遺物は古代に属するものであり、古代においては開口していたことになる。また、中世に属する遺構は、埋没した SG1 上で多数検出されている。最大幅 24 m、長さ 275 m分を検出した。

川 SG299（第 158 図）

調査区北半部で東壁から始まり、北壁へ抜けていく川である。古代に属する遺物が出土した。最大幅 5.8 m、長さ 21 m分を検出した。

川 SG2336（第 158 図）

調査区北半部で東壁に接する小規模な流路である。より西側に本体が存在し、その周辺部を検出したのだろう。

川 SG2699（第 159 図）

調査区南半部の西壁から始まり、まもなく SG1 と合流する。古代の遺物も出土しているが、特に最下層付近からは古墳時代の遺物が数多く出土した。古墳時代には開口しており、SG1 の流路に重なっていたと考えられる。古墳時代の遺物が出土したのはこの川のみであり、本来は存在したであろう古墳時代の集落の発見を予期させるものである。

流路 SG2870（第 159 図）

小規模な流路であるが、覆土には粗砂や石が多く含まれている。洪水などにより開削された流路だろうか。

3　遺　　物

A　概　要

出土した遺物は 95 箱（文化財認定箱数）である。第 160 図に主な遺物を時代順に並べて全体像を示した。第 161 図 1 から第 169 図 107 までは竪穴建物から出土した遺物で、第 170 図 108 から第 182 図 223 までは古代・中世を中心とする柱穴・土坑・溝から出土した遺物、第 183 図 224 から第 189 図 312 までは川・流路から出土した古墳時代・古代を中心とする遺物である。第 189 図 313 から第 191 図 349 までは遺構外出土遺物である。遺物は同種遺構の場合、遺構番号順を原則とするが、単独出土が多い柱穴・土抗の遺物は古代・中世の順に並べて時期を特定できない石器・石製品・鉄製品と明らかな混入品は後まわしにした。

なお、本報告では燻し焼きによって土器表面に炭素を吸着させ漆黒色に仕上げた土器を「黒色土器」と表現する。単に黒色土器としている場合は内面のみ黒色処理されているものを指し、外面にも黒色処理を施す場合は文中で指摘する。

B　遺構出土の遺物

竪穴建物 ST2252（第 161 図 1 ～ 3）

1 は回転ヘラ切り後、粗いナデ調整を施す須恵器無台坏、2 は ST2252 内の土坑 SK2524 から出土した黒色土器無台坏である。2 の底部切り離しは回転糸切りで、体部下端から底面にかけて回転を利用したナデ調整が加えられている。3 は内外面にハケメを施した土師器甕で、底面に木葉痕が認められる。ST2252 の時期は、8 世紀末葉と考えられる。

竪穴建物 ST2280（第 161 図 4 ～ 7）

4 は黒色土器無台坏だが、外面に被熱痕が認められ、内面の黒色処理が色抜けしている。底部切り離しは回転糸切りで、体部下端に回転ヘラケズリが加えられる。5 はロクロ成形による土師器小型甕、6 はハケメ調整の土師器甕で、底面にムシロ状の圧痕が残る。7 は ST2280 のカマド EL3265 から出土した土師器甕で、内面には口縁部まで横方向のハケメが施される。ST2280 の時期は、9 世紀後半と考えられる。

竪穴建物 ST2289（第 162 図 8 ～ 12）

8・9 は体部下端から底面にかけて回転ヘラケズリが施された須恵器無台坏で、9 のみ ST2289 内の柱穴 SP2516 から出土している。10・11 は黒色土器無台坏である。底部切り離しは回転糸切りで、11 の体部下端には回転ヘラケズリが加えられる。12 は安山岩の磨石で、表

面全体が光沢をもつほど磨きこまれている。ST2289 の時期は、8・9 が比較的古相を示すことから 8 世紀後半と考えられる。

竪穴建物 ST2319（第 162 図 13 ～ 22）

13・14 は須恵器無台坏である。13 は回転ヘラ切り後に丁寧なナデが施され、14 は回転糸切りである。15・16 は黒色土器無台坏である。底部調整は 15 が回転糸切り、カマド EL3267 から出土した 16 が回転ヘラ切りの底面に粗いヘラナデを加える。17 は外面にハケメ、内面に丁寧なミガキを施した黒色土器鉢である。類例は寒河江市三条遺跡の川 SG323 や SG3001 で出土している（山形埋文 2001b）。18 は内外面にハケメを施した土師器甕である。

19 ～ 22 は鉄製品である。19 は鉄板を筒状に丸めた形態で、古代祭祀具の一種である鉄鐸と考えられる。東北地方では、青森県砂沢平遺跡第 13 - B 号住居や秋田県湯ノ沢 F 遺跡 7 号土坑墓、宮城県東山官衙遺跡堆積層などで確認されているが（井上 2006）、管見による限り山形県内では初の出土例となる。20 は端部がタガネ状を呈する鉄製品で、21 は刀子の柄、22 は鉄釘と考えられる。

ST2319 の時期は、9 世紀前半と考えられる。

竪穴建物 ST2492（第 163 図 23 ～ 25）

23 は黒色土器無台坏、24・25 はロクロ成形による土師器小型甕で、すべて掘方から出土した。23 の底面調整は磨滅により不明瞭だが、体部下端には回転ヘラケズリが施される。ST2492 の時期は、9 世紀中葉と考えられる。

竪穴建物 ST2582（第 163 図 26 ～ 31）

26 は須恵器坏蓋のつまみで、直径 4.6cm を測る大型の扁平鈕である。頂部が平らで外にやや張り出す形状を呈し、形態的には高畠町高安 B2 号窯第 2 次調査出土例に似る（東北芸術工科大学 2004）。27 ～ 29 は土師器坏である。27 は口縁部と体部の境に弱い段を形成し、28 では体部下端に段をもつ。27 は丸底、28・29 は平底風の丸底で、いずれも体部下半を中心にヘラナデもしくはケズリを施している。30 はハケメ調整の土師器甕で、底面に網代痕がみられる。31 は鉄鎌である。ST2582 の時期は、8 世紀初頭と考えられる。

竪穴建物 ST2583（第 163 図 32 ～第 164 図 47）

32 ～ 35 は須恵器無台坏で、底部切り離しがすべて回転糸切りによる。35 のみ ST2583 内の柱穴 SP2716 から出土した。36 は須恵器坏蓋、37 は須恵器有台坏である。口径の大きさや胎土・色調などから、36 は 37 に組み合うものと考えられる。38 の須恵器坏は、底部が欠損しており高台の有無は不明である。39 は須恵器有台坏、40 は須恵器壺の台部である。41 は黒色土器坏で、高台の有無は不明である。42 は黒色土器双耳坏で、底部の切り離しは回転糸切りによる。須恵器双耳坏は県内で一定数出土しているが、黒色土器双耳坏で全形のわかる資料は、米沢市笹原遺跡 ST1 住居例（米沢市教委 1981）、米沢市上浅川遺跡 KY49 溝例（米沢市教委 1985）、南陽市西中上遺跡 SD3 溝例（山形埋文 2007a）など比較的少ない。43 は底面に不定方向の手持ちケズリを施した平底風の土師器坏、44 は内外面にミガキを施した甑である。45 はハケメ調整の土師器甕で、底面に木葉痕が残る。46・47 は砥石（中砥）で、47 の石材は珪化木である。

ST2583 の時期は、出土土器の底部切り離しが回転糸切りで占められているものの、36 や 42 などの器形的特徴を勘案すると 8 世紀末葉～ 9 世紀初頭と考えられる。掘方出土の 43 は 8 世紀後半に位置づけられ、他の土器より一段階古いが、破片資料であり ST2583 構築時に混入したものと判断する。

竪穴建物 ST2584（第 165 図 48 ～ 51）

48 は須恵器蓋である。復元口径 7.4cm を測り、小型壺の蓋と考えられる。49 は安山岩の磨石で、12 よりも一回り大きく、両端がわずかにすり減っている。50 は鉄鎌、ST2584 内の柱穴 SP2686 から出土した 51 は鍛冶具の鉄鉗（かなはし）である。ST2584 の時期は、48 から 8 世紀後半と考えられる。

竪穴建物 ST2585（第 165 図 52）

52 は黒色土器無台坏である。底部切り離しは回転糸切りで、体部下端に回転ヘラケズリが加えられる。9 世紀後半に位置づけられる。

竪穴建物 ST2653（第 165 図 53 ～ 63）

53・54 は須恵器無台坏である。底部調整はともに回転ヘラ切り後にナデが加えられている。55 は須恵器稜碗の口縁部片である。56 ～ 60 は黒色土器で、底部調整は 57 の有台坏が回転ヘラ切り後にナデ、58 の無台坏が回転ヘラケズリである。59・60 の底部調整は不明だが、体部下端に回転ヘラケズリが確認できる。61 ～ 63 はハケメ調整の土師器甕である。62・63 の底面には木葉痕が

見られる。ST2653 の時期は、8 世紀末葉と考えられる。

竪穴建物 ST2662（第 166 図 64）

64 は須恵器甕である。外面に平行タタキが観察され、内面の当て具痕はナデ消されている。

竪穴建物 ST2701（第 166 図 65）

65 は須恵器坏だが底部形態は不明である。

竪穴建物 ST2776（第 166 図 66・67）

66 は黒色土器無台坏で、底部切り離しは回転糸切りによる。外面に煤・被熱痕が認められ、内面の黒色処理がやや色抜けしているほか、微小な剥落が目立つ。67 はハケメ調整の土師器甕である。66・67 ともカマド EL3275 から出土した。ST2776 の時期は、9 世紀前半と考えられる。

竪穴建物 ST2793（第 166 図 68・69）

68 は黒色土器無台坏である。底部切り離しは回転糸切りで、体部下端から底面にかけて回転を利用したナデ調整が加えられており、ST2252 出土の 2 に似る。69 はハケメ調整の土師器甕で、建物内の柱穴 SP2813 出土の破片と接合した。ST2793 の時期は、8 世紀末葉と考えられる。

竪穴建物 ST2818（第 166 図 70 ～ 73）

70 は黒色土器無台坏で、底面に回転ヘラケズリが施される。71 ～ 73 は鉄釘と考えられる。ST2818 の時期は、8 世紀末葉と考えられる。

竪穴建物 ST2827（第 167 図 74 ～ 89）

74 ～ 77 は須恵器で、74 が坏蓋、75・76 が回転ヘラ切り後にナデを施す無台坏、77 が壺の底部である。78 ～ 82 は黒色土器無台坏である。底部調整は 78・79 が磨滅のため不明、80 が回転糸切り、81・82 が回転ヘラケズリである。また 82 の見込みと体部との境には稜がみられる。83 ～ 87 は土師器甕である。83 の内外面と 84 の内面にはハケメが施される。85 ～ 87 の内外面調整は確認しうる限りナデと判断されるが、とくに外面は被熱痕や煤の付着により不明瞭になっている。88 は覆土最上層から出土した石製巡方である。黒い斑紋のある白色石材が用いられ、裏面の四隅には革帯に括り付けるための 2 孔一対の潜り孔（表面で径 2.5mm）が穿たれている。89 は全面に擦痕が観察される安山岩の不定形磨石で、何らかの研磨に用いられたものと考えられる。

ST2827 の時期は、坏類の特徴などから 8 世紀末葉～ 9 世紀初頭と考えらえる。なお ST2827 が埋没した後には掘立柱建物 SB3262 が建てられており、SB3262 の帰属時期を考えるうえで ST2827 の埋没時期が問題となる。ST2827 の覆土最上層から出土した石製巡方は垂孔と呼ばれる透かし穴がないタイプで、東日本において 10 世紀第 2 四半期に出土量のピークが認められる（田中 2002）。小さな垂孔のあるタイプが 9 世紀第 2 四半期に多い点（田中前掲）、および西谷地 b 遺跡・馳上遺跡では 10 世紀に下る遺物を見出しにくい点などを考え合わせると、SB3262 は 9 世紀後半の可能性が考えられる。

竪穴建物 ST2838（第 168 図 90 ～第 169 図 100）

90 は回転ヘラ切り後無調整の須恵器無台坏、91 は回転糸切りの須恵器無台坏である。92 は須恵器壺で、外面に平行タタキ、内面に平行アテがみられ、体部下端にケズリが施される。93 は黒色土器坏である。平底風の丸底を呈し、外面には口縁部付近まで手持ちケズリが施される。94 は黒色土器有台坏で、底部切り離しは回転糸切りによる。器形などの特徴が ST2583 出土の 42 に似ており、同様に双耳坏の可能性がある。95 ～ 100 はカマド EL3278 から出土したハケメ調整の土師器甕である。95・100 の底面には木葉痕が残る。

ST2838 の時期は、90・91・94 などの組成から 9 世紀初頭と考えられる。93 は 8 世紀前半に位置づけられるが、破片資料である点を考え合わせると、周囲から流れ込んだ可能性が高い。

竪穴建物 ST2845（第 169 図 101）

101 は土製紡錘車で、中央に径 3.5 ～ 6.5mm の孔が穿たれている。

竪穴建物 ST2849（第 169 図 102）

102 は土師器甕である。外面は縦方向のハケメ、内面は口縁部から体部にかけて丁寧なミガキが施される。9 世紀前半に位置づけられる。

竪穴建物 ST2876（第 169 図 103）

103 は須恵器有台坏である。底部切り離しは回転ヘラ切りで、体部下端に回転ヘラケズリ、底面にナデが施される。8 世紀末葉に位置づけられる。

竪穴建物 ST2877（第 169 図 104）

ST2877 内の土坑 SK3246 から出土した黒色土器有台坏である。回転ヘラ切り後にナデ調整した底面縁辺に、回転を利用して溝状の沈線をめぐらせ、そこに低い台部を貼り付けている。8 世紀末葉に位置づけられる。

竪穴建物 ST3248（第 169 図 105 ～ 107）

すべて須恵器無台坏で、107 の色調は全体的に赤褐色を呈する。底部切り離しは 105 が回転ヘラ切り、106・107 が回転糸切りによる。ST3248 の時期は、8 世紀末葉と考えられる。

掘立柱建物 SB3010（第 170 図 108・109）

108 は SB3010 を構成する柱穴 SP2856 から出土した須恵器無台坏で、底部の切り離しが回転糸切りによる。109 は柱穴 SP3003 の柱痕覆土の中ほどに水平に埋納されていた須恵器有台皿である。口端が外側に折り返されて玉縁状を呈し、台部は欠損している。SB3010 の時期は、108・109 が 9 世紀後半に位置づけられるので、これに先立つ 9 世紀前半と考えられる。

掘立柱建物 SB3294（第 170 図 110）

110 は SB3388 を構成する柱穴 SP2345 から出土した須恵器無台坏である。底部調整は回転ヘラ切り後にナデを施す。9 世紀前半に位置づけられる。

掘立柱建物 SB3388（第 170 図 111）

111 は SB3388 を構成する柱穴 SP2513 から出土した須恵器無台坏である。底部には回転ヘラ切り後、ナデ調整が施される。111 は 9 世紀前半に比定され、SB3388 と重複する ST2319 の帰属時期と大きく変わらない。ST2319 と SB3388 の時期が近接しているか、あるいは ST2319 の覆土に含まれていた 111 が SP2513 に混入したものと考えられる。

柱穴の出土遺物（第 170 図 112 ～第 171 図 127）

SP1026 出土の 112 は須恵器有台坏である。全体が赤褐色を呈する焼き上がりで、回転ヘラケズリを施した底面縁辺に回転を利用して溝状の沈線をめぐらせ、そこに高台を貼り付けている。8 世紀末葉に位置づけられる。

SP1859 出土の 113 はロクロ成形による土師器無台坏で、底部切り離しは回転糸切りによる。9 世紀後半に位置づけられる。

SP2313 出土の 114 は土師器碗である。体部下半に手持ちヘラケズリが施される。厳密な時期比定は難しいが、おそらく古代に帰属するものだろう。

SP2518 出土の 115 は黒色土器無台坏である。体部下端から底部にかけて回転ヘラケズリが施される。9 世紀初頭に位置づけられる。

SP598 出土の 116 は、鎬蓮弁文が施された龍泉窯の青磁碗である。13 世紀代に位置づけられる。

SP2007 出土の 117 は熙寧元寶（北宋銭、1068 年初鋳）である。

SP2468 出土の 118 は、安山岩製茶臼の上臼である。側面に穿たれた挽木の打ち込み孔には「子持ち菱」の装飾が施される。

119・120・122 ～ 124 はすべて砥石（中砥）である。掘立柱建物 SB3348 を構成する柱穴 SP2366 から出土した 119 には、砥石としての使用停止を示すものであろうか、最も幅広く平坦な砥面全体に格子状の線刻が見られる。また SP2192 出土の 122 は四角く整えられた形状で端部に径 6mm の穿孔があり、携帯用の提砥と考えられる。

SP2187 出土の 121 は用途不明の凝灰岩製品である。平面楕円形状の石材両面が浅く彫り窪められている。

SP2443 出土の 125 は柄状の鉄製品、SP2472 出土の 126 は鉄釘と考えられる。

SP2772 出土の 127 は黒色土器坏である。口縁部と体部との境に明瞭な段をもち、内面だけでなく口縁部外面にもミガキを施している。6 世紀前半に位置づけられる有段丸底坏であり、遺構の時期より古いものと考えられる。SP2772 は同様の土器が多数出土した川 SG2699 の東岸近くに位置しているので、SG2699 の堆積層に含まれていたものが流入した可能性が高い。

焼成遺構 SL2284（第 172 図 128）

128 は須恵器無台坏である。底部には回転ヘラ切り後、ナデ調整が加えられる。8 世紀末葉～ 9 世紀初頭に位置づけられる。

土坑の出土遺物（第 172 図 129 ～第 173 図 148）

SK2126 出土の 129 は黒色土器坏である。底部が欠損しているため、高台の有無等は不明である。おおむね 9 世紀前半頃と考えられる。

SK2128 底面付近の大型礫直下から出土した 130 は、顎部施文の軒平瓦である。瓦当面に文様はなく、凸面端部に幅広く分厚い粘土帯を貼り付けて段顎状に成形している。顎面部分には、2 本の太い凸線で 3 段に区画したなかに細い凸線による斜格子文を型押しする。凹面には側板痕跡が明瞭に残るが、布目は観察されず、かわりに畳表のような圧痕がみられることから、ムシロ状のものの上で平瓦部を成形したと考えられる。また焼き上がりは堅緻で、瓦当面・凹面・顎面の全体に自然釉がかかる。県内では、寒河江市平野山古窯跡群第 1 地点・酒田市城

輪柵跡で顎部施文軒平瓦が出土しているが（柏倉・伊藤 1970）、断面三角形状の顎部に二条沈線で鋸歯文を施すもので、130 との差異は大きい。顎面文様が比較的類似するものとして、段顎の顎面に斜格子文を線描きする須賀川市上人壇廃寺跡出土例（須賀川市教育委員会 2011）や、断面三角形状の顎部と瓦当面に「×」形文を型押しする福島市西原廃寺跡出土例（福島市教育委員会 1999）、無顎で凸面端部に鋸歯文を型押しする南相馬市横手廃寺跡出土例（南相馬市教育委員会 2014）などが挙げられるが、いずれも成形方法・施文方法・文様などの組み合わせは一致しない。なお近隣の馳上遺跡を含めて瓦の出土は皆無であり、単体で出土した 130 が瓦として用いられたとは考えがたいが、硯などに転用された痕跡も認められず、何かに混入するかたちで持ち込まれた可能性も否定できない。

SK2306 出土の 131 は須恵器無台坏である。底部調整は回転糸切り後にナデが施され、体部下端にはヘラケズリが加えられる。9 世紀前半に位置づけられる。

SK2602 出土の 132 はロクロ成形による土師器無台坏である。底部調整は回転ヘラ切りの後にナデ、体部下端に回転ヘラケズリを施す。内面調整はミガキで、黒色処理はしていない。9 世紀前半に位置づけられる。

SK2874 出土の 133 は須恵器有台坏、134 は黒色土器無台坏である。ともに体部下端から底部にかけて回転ヘラケズリが施され、8 世紀末葉～ 9 世紀初頭に位置づけられる。

SK2875 出土の 135 は土師器甕の破片で、体部内外面にハケメ調整が施される。

SK2198 出土の 136 は石製硯で、表裏両面を硯面とした長方硯である。表面（図の左）の海部側に縁がめぐらないことから、海部が折損したために破断面を研磨して形を整え、裏面（図の右）を硯面として再利用したものと考えられる。

SK2343 出土の 137 は瓷器系陶器甕の底部、138 は近世の陶器壺、139 は幅広い面全体が光沢を帯びるほど擦られていて、何らかの研磨に用いられた不定形磨石であろう。

SK2488 出土の 140・141 は永楽通寶（明銭、1408 年初鋳）である。

SK2610 出土の 142 は鎬蓮弁文が施された龍泉窯の青磁碗である。13 世紀後半に位置づけられる。

SK1014 出土の 144、SK2357 出土の 147 は砥石（中砥）である。

SK1390 出土の 145 は安山岩の磨石で、12 や 49 と比べてやや不整形である。

SK2485 出土の 148 は、凝灰岩を平面楕円形状に粗削りし、片面に長方形の窪みを彫った用途不明の容器形石製品である。

また図示していないが、SK936 と SK2122 からは火打石に用いられたと考えられる石英（143・146）が出土している（写真図版 92）。

溝 SD279 ～ 2111（第 174 図 149 ～ 157）

SD279 出土の 149 は白磁壺の破片で、12 ～ 13 世紀に位置づけられる。SD279 からは火打石に用いられたと考えられる石英（150）も出土している（写真図版 92）。

SD306 出土の 151 は瓷器系陶器甕の底部である。底面に「↑」状の焼成前線刻が施される。

SD427 出土の 152 は鎬蓮弁文の施された龍泉窯の青磁碗で、13 世紀代に位置づけられる。

SD593 出土の 153 も龍泉窯の青磁碗である。鎬蓮弁文の有無は不明だが、底部のつくりから 13 世紀代に位置づけられる。

SD631 出土の 154 は黒色土器坏蓋で、8 世紀末葉～ 9 世紀初頭に位置づけられる。

SD796 出土の 155 は瓷器系陶器甕の口縁部片である。おおむね 13 ～ 14 世紀頃の所産と考えられる。

SD2102 出土の 156 は開元通寶（唐銭、621 年初鋳）である。

SD2111 出土の 157 は砥石（中砥）である。

溝 SD2186（第 174 図 158 ～第 180 図 209）

158 は覆土上層から出土した瓦質擂鉢である。体部外面に粗いハケメ、内面に 8 本／ 27mm 幅を 1 単位とする卸目が間隔をあけて施される。また破断面に漆接ぎによる補修の痕跡が確認でき、一部外面に漆がはみ出している。類例として米沢城東二の丸跡出土例（米沢市教委 2000）などが挙げられ、16 世紀後半に位置づけられる。

159 は石製の長方硯である。陸部と縁の段差はほとんどなく、境に浅く細い線刻が施される程度である。

160 は円盤状石製品、161 は両面・側縁が研磨された粘板岩製石器である。ともに時期・用途は不明である。

162 は中央に径 11 ～ 13mm の円孔が穿たれた円盤状石製品である。形態的に紡錘車と考えられるが、直径 96 ～ 99mm、重さ 264 g 以上を測る超大型品で、民俗例から網糸製作に用いられた可能性が想定される。

163 は洪武通寶（明銭、1368 年初鋳）である。

164・165 は漆器小皿、166 は漆器皿、167 ～ 182 は漆器椀である。170 の樹種はブナ属で、外面には羽部分を黄漆、それ以外を赤色漆で塗り分けた千鳥文が描かれる。内面は炭粉渋下地の上に赤色漆を重ね、外面は炭粉渋下地と加飾部の赤色漆の間に透明漆を挟む（写真図版 97）。166 内面・167 内外面・168 外面・169 外面には植物文が見られる。171 には伊達氏家紋の三引両文が見込みに 1 つ、外面に 3 単位配される。左右の線が湾曲する「しない三引両」で、中央の線が細い特徴を有する。171 も 170 外面と同様、ブナ属の木胎に炭粉渋下地を施した上に透明漆、さらにその上に赤色漆を重ねる（写真図版 97）。170・171 とも赤色顔料に朱を用い、普及品の中でも丁寧な作りであった可能性がある。172 は漆の剥落が著しいが、外面に描かれているのは扇文と思われる。174・176 外面に鶴亀を配した蓬莱文が描かれ、173・175 の外面文様もおそらく蓬莱文と考えられる。また 175 の高台内には線刻が確認できる。176・177 は内面に漆が付着している点などの特徴が共通していることから同一個体の可能性が高く、漆塗りの容器に用いられたものと考えられる。178 は外面の大部分が炭化した体部片で、内面は赤色漆塗り、外面は黒色漆塗りの上に赤色漆で何らかの文様が描かれている。179 は内面に黒色漆、外面に黒色漆・赤色漆が施されるが、剥落が著しく文様は不明である。180 は内外面とも無文の黒色漆塗りである。181 は内外面とも漆の剥落が顕著で、赤色漆のみ確認された。182 は内面赤色漆塗りの底部で、外面全体が炭化している。

183・184 は木器椀、185 は箸、186・187 は円板状木製品、188 は栓、189 は曲物、190 は曲物側板である。187 の側面には釘穴が一ヶ所確認できる。

191 は折敷で、縁辺に縁部を固定するための木質釘と桜皮が並ぶ。表面に刃物痕が残り、まな板に転用されたと考えられる。192・193 は折敷の縁で、192 は側辺の釘穴と表面の桜皮の配置・間隔が 191 とほぼ一致し、同一個体と考えられる。193 の両端には折り曲げやすくするためのケビキが施され、隅切間の長さが 192 より 3cm ほど短いサイズであることがわかる。

194 は形状が折敷に似るが、縁辺に縁部を固定する痕跡が見られない。片面の周囲がわずかに削られて中心部よりやや薄くなっており、その面の中央部に把手をつけた痕跡（色調変化）があることから、蓋の可能性がある。

195 は縁辺の一部に桜皮による固定の痕跡と穿孔があり、何らかの板状木製品であろうと考えられるが用途は不明である。片面の広範囲に黒色付着物が観察される。

196・197 は連歯下駄、198 ～ 200 は露卯下駄の歯で、とくに 198 の接地面には使用時に付着したとみられる砂粒がわずかに認められる。

201 は鎌柄と考えられる。柄尻に山形突起を作り出し、反対側は縦方向に 8cm ほどの割れ目を入れている。割れ目が広がらないよう両面から木質釘が打たれ、先端に 1.5cm 幅の巻き付け痕が観察される。福井県下莇生田畑田遺跡出土例（福井県教育庁埋蔵文化財センター 1987）のように責金具などで鉄鎌を固定したと考えられる。

202・203 は杭、204 は棒状、205 は先端が尖る棒状、206 は板状の木製品である。206 には隅切り加工や側面の刻みといった加工痕が観察される。207・208 は仕口をもつ部材で、207 の樹種は針葉樹のマツ属（二葉松類）である。209 は先端が尖る長さ 190cm 以上の棒状木製品である。

SD2186 は、豊富な漆器・木製品や石製硯（159）などの出土から、中世の屋敷地を区画する溝として機能したものと判断される。漆器に描かれた三引両文・蓬莱文といった意匠の特徴や覆土上層から出土した瓦質擂鉢（158）の年代観から、遺構の帰属時期は 16 世紀代を中心とし、16 世紀後半には埋没したものと考えられる。

溝 SD2191 ～ 2769（第 181 図 210 ～第 182 図 223）

SD2191 出土の 210 は安山岩の磨石で、竪穴建物から出土した同種遺物（12・49）と比べて小振りである。

SD2202 出土の 211・212 は土師質の内耳土鍋である。213 は側面に線状加工痕がみられる仕上げ砥で、石質は鳴滝砥に似る。片側の砥面には、SP2366 出土の 119 と同様の線刻が見られる。また図示していないが火打石とみられる石英（214）も出土している（写真図版 92）。SD2202 の時期は、内耳土鍋の特徴から 16 世紀後半に位置づけられる。

SD2356 出土の 215 は安山岩の石臼である。擂り面にふくみがなく平滑で、復元径が約 20cm と小振りであることから、受皿部が欠損した茶臼の下臼と判断した。目のパターンは 3 条で 1 単位をなす 8 分画だが、放射の中心がややずれており、目立て直しによるものと考えられる。

SD2418 出土の 216 は大きく歪んだ漆器椀である。外面に赤色漆で斜格子状の文様が描かれている。

SD2500 出土の 217・218 は、ハケメ調整の施された土師器長胴甕である。共に 8 世紀後半に位置づけられる。

SD2574 出土の 219 は深身の須恵器坏で、おそらく有台坏であろう。220 は見込みに植物文が施された龍泉窯の青磁碗、221・222 は土師質の内耳土鍋である。遺構の埋没時期は SD2202 と同様、内耳土鍋から 16 世紀後半に比定でき、9 世紀代に位置づけられる 219 は周辺からの混入、14 世紀後半に位置づけられる 220 は伝世品が遺棄されたものと考えられる。

SD2769 出土の 223 は黒色土器無台坏で、外面の体部下半から底部にかけて回転ヘラケズリが施される。8 世紀末葉に位置づけられる。

川 SG1（第 183 図 224 ～第 186 図 261）

224 ～ 229 は須恵器無台坏で、底部切り離しはすべて回転糸切りである。230 ～ 233 は須恵器有台坏で、底部切り離しは 230 が回転ヘラ切り後にナデ調整、231・232 は回転ヘラケズリが加えられ、233 は回転糸切りによる。230 は回転を利用して底面縁辺に溝状の沈線をめぐらせ、そこに高台を貼り付けていたことがわかる。また 232 の内面には重ね焼きの痕跡が認められる。234 は須恵器双耳坏の把手である。235 は須恵器こね鉢の底部である。外面全体に手持ちヘラケズリが加えられ、底面には棒状工具による刺突であけられた穿孔が残存範囲に 2 つ認められる。236 ～ 240 は須恵器壺類である。236 は長頸壺、237 は広口壺、238 は壺の肩部、239・240 は台付壺の底部で、239 の底面には焼き台として使用した無台坏片が融着している。241 ～ 245 は須恵器甕である。242 の口端直下には 2 ～ 3 条の櫛描波状文が 2 段施されるが、ほかは無文である。241・243 の肩部には平行タタキが観察される。なお 240・241 は、2012 年に実施した馳上遺跡第 5 次・西谷地 b 遺跡第 3 次調査において川 SG651 から出土した破片との接合個体で、すでに報告している実測図を転載した（山形埋文 2014）。

246 ～ 253 は黒色土器で、246 が高台を欠く有台皿、247 ～ 250 は無台坏、251 ～ 253 は有台坏である。底部の切り離し・調整は 248 が回転ヘラケズリ、249 が回転ヘラケズリ後に底面ヘラナデを施し、250・252・253 は回転糸切りによる。252・253 の高台は 251 に比べて高く、高台内に放射状のナデを施す。254・255 はロクロ成形による土師器無台坏で、底部切り離しは回転糸切りによる。256 は外面に輪積み痕を残す土師器碗で、内面にミガキが施される。257 はハケメ調整の土師器甕、258 はロクロ成形の土師器甕である。

259 ～ 261 は古墳時代の土師器である。259 は球形を呈する胴部の内外面にヘラナデを施す大型甕で、被熱による器面の赤化が認められる。260 は横断面が不整三角形状の把手で、県内では類例に乏しいが甑の把手と推定される。261 は壺形のミニチュア土器で、SG1 では他に 4 点のミニチュア土器が出土している。なお図示していないが、SG1 からは火打石とみられる石英（262・263）も出土している（写真図版 92）。

以上のように SG1 出土土器は、8 世紀前半（256）ないし後半（249）や 5 世紀後半頃（259 ～ 261）に位置づけられるものも含まれるが、9 世紀代を中心とする時期のものが主体を占めている。

川 SG299（第 186 図 264）

264 は須恵器の小型短頸壺である。大きさに比して厚みがあり、つくりはやや粗雑である。8 世紀末葉を中心とする時期に位置づけられる。

川 SG2336（第 186 図 265・266）

265 は砥石（中砥）、266 は中心部付近に擦痕のある台石である。

川 SG2699（第 187 図 267 ～第 188 図 309）

267 ～ 270 は黒色土器坏、271 ～ 279 は土師器坏である。267・268 と 272 ～ 276 は須恵器模倣坏で、直立気味に立ち上がる口縁部と体部との境に稜をもつ。269・270 と 277 ～ 279 はいわゆる有段丸底坏で、とくに 270 は口縁部が強く外反する。271 は古墳時代中期以降に成立する半球形坏である。273 以外の内面にはミガキ、口縁部外面にはミガキまたはナデ、体部外面にはヘラナデまたはケズリが施され、274・279 の体部にはハケメも観察される。280・281 は土師器鉢で、内面にミガキ、口縁部外面にナデが施される。282 ～ 290 は黒色土

器高坏である。坏部は前述の 270 のように有段外反の特徴を示し（282・283）、脚部形態は「八」の字に開く短いものが主体を占める。外面にはミガキ、脚部内面にはナデ（282・287・288・290）、またはハケメ（284 ～ 286・289）が施される。291 ～ 295 は坏形のミニチュア土器で、とくに 291 はミガキ・ナデ調整と内面黒色処理が施された丁寧な作りである。296 ～ 298 は土師器壺、299 ～ 302 は土師器甑である。すべて外面調整はハケメで、298 は底面にもハケメが施される。

303 ～ 308 は古代の須恵器・土師器である。303 は須恵器坏蓋、304 は底部に回転ヘラケズリを施す須恵器無台坏、305 は回転ヘラ切り無調整の須恵器有台坏、306 は須恵器広口壺である。307・308 は黒色土器坏で、305 内面と 307 内外面には漆が付着している。

309 は滑石製の紡錘車で、中央に径 6.5mm の穿孔がある。

以上のように SG2699 出土土器は、8 世紀末葉～ 9 世紀前半に位置づけられるものも含まれるが、5 世紀後半～ 6 世紀前半を中心とする古墳時代後期初頭前後のものが主体を占めている。すなわち SG1 と対照的な内容で、西谷地 b 遺跡第 1・2 次調査で検出された主要な遺構の帰属時期よりも古い時代の生活痕跡を示す。

流路 SG2870（第 189 図 311・312）

311 は底部を欠くが土師器鉢と判断する。外面に縦方向のハケメと口縁部ヨコナデ、内面に横方向のヘラナデを施す 312 は内外面に粗いハケメ調整を施す土師器甕である。底面に木葉痕を残す。

C　遺構外出土の遺物

第 189 図 313 ～第 191 図 346 は、遺構外で出土した遺物である。313 は土師器甕である。体部外面と内面下半にハケメ、内面上半にミガキを施し、肩部外面には櫛歯状工具による列点文がめぐる。古墳時代前期の北陸北東部系「コ」字口縁甕とされるもので、類例として米沢市比丘尼平遺跡 B 土壙出土例（米沢市教委 1988）が挙げられる。本資料はこれに後続する前期後半のものだろう。314 は丸底の土師器坏で、口縁部外面と内面にミガキ、体部外面に不定方向のハケメ調整を施す。5 世紀末葉～ 6 世紀初頭頃に位置づけられよう。315 は黒色土器高坏で、脚部の内外面にハケメ調整が施される。6 世紀前半に位置づけられる。

316 は土師器鉢である。口縁部内面にヨコナデ、体部内面にハケメが施され、外面調整は被熱による器面荒れが顕著で不明瞭だがおそらくハケメであろう。9 世紀代に位置づけられる。317 は体部内外面にハケメ調整を施す土師器小型甕で、底面に木葉痕を残す。9 世紀後半に位置づけられる。

318 ～ 323 は黒色土器である。318 は坏蓋、319・320 は無台坏、321 は有台坏で、322・323 は内外面ともに黒色処理が施された両黒土器である。とくに 323 の把手は、長さ 6 ～ 7cm、幅 2cm、厚さ 7mm ほどの 2 つの粘土板を長辺で接合した断面半裁管状を呈し、分厚い体部に対して斜めに取り付けられている。類例は挙げ難いが、たとえば山形市上敷免遺跡 ST3 住居から出土した柄香炉形土器（山形埋文 2007b）のようなものであった可能性が考えられる。

324 ～ 326 は須恵器無台坏、327 は須恵器壺、328 は須恵器甕である。とくに 324 は手持ちヘラケズリを施す丸底に近い形態で、西谷地 b 遺跡出土の須恵器坏のなかでは最も古い 8 世紀第 2 四半期に位置づけられる。

329 ～ 342 は陶磁器である。329 は龍泉窯の鎬蓮弁文青磁碗で、13 世紀後半に位置づけられる。330 ～ 333 は擂鉢で、330･331 が須恵器系陶器、332 が岸窯、333 が 18 世紀の会津本郷産と考えられる。334 は 17 世紀の岸窯、335 ～ 338 は大堀相馬の陶器碗で、とくに 335 は灰釉と鉄釉を掛け分けた腰錆碗である。339・340 は肥前磁器碗、341・342 は波佐見磁器碗で、339 外面には梅樹文、340 には見込みに菊花文、341 外面には井桁文・半菊文がそれぞれ描かれ、18 世紀後半に位置づけられる。342 は見込みにコンニャク判の菊花文が付された二重網目文から 18 世紀前半と考えられる。

343 は鞴の羽口である。被熱によって内面は著しく赤化し、外面の先端部周辺には鉱滓が溶着して一部黒色のガラス質化した部分が認められる。

344 は全面炭化した木器椀の底部、345・346 は中央部に穿孔のある板状木製品である。

348 は永楽通寶、349 は元豊通寶（北宋銭、1078 年初鋳）である。

表２　土器・木器・漆器観察表

※ 器高・口径・底径の列において数値の前に「~」が付くものは、図上復元による推計値を表す。単位はミリメートル。

番号	種別	器種	遺構	グリッド	層位	口径	底径	器高	色調	底部調整（木製品は保存処理法）	備考
1	須恵器	無台坏	ST2252	270 - 65		~138	85	31	灰黄色	回転ヘラ切り→ナデ	
2	黒色土器	無台坏	ST2252	270 - 65		~127	~68	40	にぶい橙色	回転糸切り→ナデ	内黒、SK2524 出土
3	土師器	長胴甕	ST2252	270 - 65			108		橙色	木葉痕	スス付着
4	黒色土器	無台坏	ST2280	255 - 65		~138	~60	50	黄橙色	回転糸切り	被熱により内黒が色抜け
5	土師器	小型甕	ST2280	260 - 70		~132			橙色		
6	土師器	長胴甕	ST2280	260 - 70		~229	84	307	にぶい橙色	ムシロ痕	
7	土師器	長胴甕	ST2280	260 - 70		~229			にぶい黄橙色		スス付着、EL3265 出土
8	須恵器	無台坏	ST2289	270 - 75		~136	~94	34	灰色	回転ヘラケズリ	
9	須恵器	無台坏	ST2289	270 - 70		~121	82	31	黄灰色	回転ヘラケズリ	SP2516 出土
10	黒色土器	無台坏	ST2289	270 - 65		~129	60	45	浅黄橙色	回転糸切り	内黒
11	黒色土器	無台坏	ST2289	265 - 70		~135	~68	43	にぶい橙色	回転糸切り	内黒
13	須恵器	無台坏	ST2319	270 - 70		~124	~65	46	灰白色	回転ヘラ切り→ナデ	
14	須恵器	無台坏	ST2319	270 - 70		~137	~72	44	灰白色	回転糸切り	
15	黒色土器	無台坏	ST2319	270 - 75		~133	~64	48	にぶい黄橙色	回転糸切り	内黒
16	黒色土器	無台坏	ST2319	270 - 75		127	77	42	にぶい橙色	回転ヘラ切り→ヘラナデ	内黒、EL3267 出土
17	黒色土器	鉢	ST2319	270 - 75		~184			浅黄橙色		内黒
18	土師器	長胴甕	ST2319	270 - 70		~233			橙色		
23	黒色土器	無台坏	ST2492	205 - 65	掘方	~134	60	42	浅黄橙色	不明	内黒
24	土師器	小型甕	ST2492	205 - 65	掘方	~99			橙色		
25	土師器	小型甕	ST2492	205 - 65	掘方	~139			橙色		
26	須恵器	坏蓋	ST2582	255 - 75	掘方				にぶい橙色	ナデ	
27	土師器	坏	ST2582	255 - 75		~147			橙色	ケズリ	
28	土師器	坏	ST2582	255 - 80		~195	~100	44	橙色	ヘラナデ	
29	土師器	坏	ST2582	255 - 80		~182	~114	48	浅黄橙色	ケズリ	
30	土師器	長胴甕	ST2582	250 - 80			99		にぶい黄橙色	網代痕	
32	須恵器	無台坏	ST2583	250 - 80		~144	70	48	灰白色	回転糸切り	
33	須恵器	無台坏	ST2583	245 - 80		142	70	38	灰白色	回転糸切り	
34	須恵器	無台坏	ST2583	250 - 80		~136	~72	41	灰白色	回転糸切り	
35	須恵器	無台坏	SP2716	250 - 75		~131	~66	44	灰白色	回転糸切り	
36	須恵器	坏蓋	ST2583	255 - 75		~163		30	灰白色	ナデ	
37	須恵器	有台坏	ST2583	250 - 75		~158	84	76	灰白色	回転ヘラ切り→ナデ	
38	須恵器	坏	ST2583	250 - 80		~138			灰白色		
39	須恵器	有台坏	ST2583	250 - 80			82		灰白色	ナデ	
40	須恵器	壺	ST2583	250 - 80			86		灰白色	回転ヘラ切り→ナデ	
41	黒色土器	坏	ST2583	245 - 80		~156			橙色		内黒
42	黒色土器	双耳坏	ST2583	250 - 80	掘方	~117	80	46	にぶい黄橙色	回転糸切り	内黒
43	土師器	坏	ST2583	255 - 75	掘方	~168		51	にぶい橙色	ケズリ	
44	土師器	甑	ST2583	255 - 75	掘方		~66		にぶい黄橙色		
45	土師器	長胴甕	ST2583	250 - 80				106	にぶい橙色	木葉痕	スス付着
48	須恵器	小型壺蓋	ST2584	250 - 75		~74			灰色		
52	黒色土器	無台坏	ST2585	255 - 60		~136	~46	41	橙色	回転糸切り	内黒
53	須恵器	無台坏	ST2653	250 - 85	床面	149	93	41	灰色	回転ヘラ切り→ナデ	
54	須恵器	無台坏	ST2653	250 - 85		~153	~100	40	灰白色	回転ヘラ切り→ナデ	
55	須恵器	稜碗	ST2653	250 - 85	床面	~140			灰色		
56	黒色土器	坏蓋	ST2653	250 - 85		~168			橙色		内黒

番号	種別	器種	遺構	グリッド	層位	口径	底径	器高	色調	底部調整（木製品は保存処理法）	備考
57	黒色土器	有台坏	ST2653	250 - 85	床面	~177	124	77	にぶい黄橙色	回転ヘラ切り→ナデ	内黒
58	黒色土器	無台坏	ST2653	250 - 85		~142	~100	41	橙色	回転ヘラケズリ	内黒
59	黒色土器	坏	ST2653	255 - 85		~148	~106	38	浅黄橙色		内黒
60	黒色土器	坏	ST2653	250 - 85		~142			浅黄橙色		内黒
61	土師器	小型甕	ST2653	250 - 85	床面	~106			にぶい橙色		
62	土師器	長胴甕	ST2653	250 - 85	床面		92		橙色	木葉痕	
63	土師器	長胴甕	ST2653	250 - 85	床面		90		にぶい橙色	木葉痕	
64	須恵器	甕	ST2662	230 - 90					灰色	平行タタキ	
65	須恵器	坏	ST2701	195 - 85		~143			灰白色		
66	黒色土器	無台坏	ST2776	275 - 80		~125	~50	50	橙色	回転糸切り	内黒、スス付着、EL3275 出土
67	土師器	甕	ST2776	275 - 80		~142			にぶい黄橙色		EL3275 出土
68	黒色土器	無台坏	ST2793	215 - 90		~131	~80	39	にぶい黄橙色	回転糸切り→ナデ	内黒
69	土師器	長胴甕	ST2793	215 - 90		~248			橙色		コゲ、SP2813 出土片と接合
70	黒色土器	無台坏	ST2818	275 - 90		144	94	42	にぶい黄橙色	回転ヘラケズリ	内黒、EL3276 出土
74	須恵器	坏蓋	ST2827	275 - 95		~156		26	灰白色	回転ヘラ切り→ナデ	
75	須恵器	無台坏	ST2827	275 - 00		~137	76	36	灰黄色	回転ヘラ切り→ナデ	
76	須恵器	無台坏	ST2827	270 - 00		~140	~88	36	灰白色	回転ヘラ切り→ナデ	
77	須恵器	壺	ST2827	270 - 95			~90		灰白色	回転ヘラ切り→ナデ	
78	黒色土器	無台坏	ST2827	275 - 00		~153	~74	64	にぶい橙色	不明	内黒
79	黒色土器	無台坏	ST2827	270 - 00		~132	57	48	にぶい橙色	不明	内黒
80	黒色土器	無台坏	ST2827	275 - 95		~125	64	46	にぶい黄橙色	回転糸切り	内黒
81	黒色土器	無台坏	ST2827	275 - 00		~123	~62	42	にぶい黄橙色	回転ヘラケズリ	内黒
82	黒色土器	無台坏	ST2827	270 - 95		~128	~70	43	にぶい橙色	回転ヘラケズリ	内黒
83	土師器	長胴甕	ST2827	275 - 00		254			浅黄橙色		
84	土師器	甕	ST2827	275 - 00	掘方	~138			橙色		
85	土師器	甕	ST2827	275 - 00		~160			橙色		
86	土師器	甕	ST2827	275 - 00		~146			にぶい橙色		
87	土師器	小型甕	ST2827	270 - 95		~103			にぶい橙色		
90	須恵器	無台坏	ST2838	170 - 15		~124	~68	40	灰黄色	回転ヘラ切り	
91	須恵器	無台坏	ST2838	170 - 15		~148	~80	41	灰白色	回転糸切り	
92	須恵器	壺	ST2838	170 - 15			~110		灰白色	ナデ	
93	黒色土器	無台坏	ST2838	175 - 10		~143		43	にぶい黄橙色	ケズリ	内黒
94	黒色土器	有台坏	ST2838	170 - 15		~114	79	45	にぶい黄橙色	回転糸切り	内黒
95	土師器	長胴甕	ST2838	170 - 15		~220	103	330	橙色	木葉痕	スス付着、EL3278 出土
96	土師器	長胴甕	ST2838	170 - 15		~220			橙色		EL3278 出土
97	土師器	長胴甕	ST2838	170 - 15		~232			にぶい橙色		EL3278 出土
98	土師器	長胴甕	ST2838	170 - 15		~230			にぶい橙色		EL3278 出土
99	土師器	長胴甕	ST2838	170 - 15		~212			橙色		EL3278 出土
100	土師器	長胴甕	ST2838	170 - 15			93		橙色	木葉痕	EL3278 出土
102	土師器	長胴甕	ST2849	155 - 10		~217			にぶい橙色		
103	須恵器	有台坏	ST2876	115 - 90		~136	~89	43	灰色	回転ヘラ切り→ナデ	
104	黒色土器	有台坏	ST2877	105 - 00		~148	~81	45	にぶい黄橙色	回転ヘラ切り→ナデ	内黒、SK3246 出土
105	須恵器	無台坏	ST3248	170 - 15		~132	~64	29	灰白色	回転ヘラ切り	
106	須恵器	無台坏	ST3248	165 - 15		~133	76	35	灰色	回転糸切り	
107	須恵器	無台坏	ST3248	170 - 15		~138	67	38	橙色	回転糸切り	
108	須恵器	無台坏	SB3010	245 - 05		~136	~57	47	灰白色	回転糸切り	SP2856 出土
109	須恵器	有台皿	SB3010	245 - 05		120			灰色	回転糸切り	SP3003 出土

番号	種別	器種	遺構	グリッド	層位	口径	底径	器高	色調	底部調整（木製品は保存処理法）	備考
110	須恵器	無台坏	SB3294	255 - 75		140	75	38	明黄褐色	回転ヘラ切り→ナデ	SP2345 出土
111	須恵器	無台坏	SB3388	270 - 70		~146	~92	35	灰色	回転ヘラ切り→ナデ	SP2513 出土
112	須恵器	有台坏	SP1026	080 - 80			76		橙色	回転ヘラケズリ	
113	土師器	無台坏	SP1859	085 - 90		~113	46	34	橙色	回転糸切り	
114	土師器	碗	SP2313	245 - 70		~110	~62	51	にぶい橙色		
115	黒色土器	無台坏	SP2518	225 - 75		135	72	39	にぶい黄橙色	回転ヘラケズリ	内黒
116	青磁	碗	SP598	095 - 90					灰白色		青磁釉
127	黒色土器	坏	SP2772	120 - 95		128			橙色		内黒
128	須恵器	無台坏	SL2284	255 - 70		133	70	33	灰黄色	回転ヘラ切り→ナデ	
129	黒色土器	坏	SK2126	260 - 50		~149			灰黄色		内黒
131	須恵器	無台坏	SK2306	245 - 60		~132	~64	47	灰色	回転糸切り→ナデ	
132	土師器	無台坏	SK2602	075 - 00		~142	56	45	にぶい黄橙色	回転ヘラ切→ナデ	
133	須恵器	有台坏	SK2874	115 - 00		~124	~80	43	灰色	回転ヘラケズリ	
134	黒色土器	無台坏	SK2847	230 - 00		~150	101	43	橙色	回転ヘラケズリ	内黒
135	土師器	長胴甕	SK2875	110 - 00		~250			にぶい橙色		
137	陶器	甕	SK2343	235 - 65			~139		にぶい橙色		瓷器系陶器
138	陶器	壺	SK2343	235 - 65		~110			褐灰色		鉄釉
142	青磁	碗	SK2610	075 - 80			~60		灰白色	回転ヘラ切り	鎬蓮弁文、青磁釉
149	白磁	壺	SD279	055 - 80					明緑灰色		透明釉
151	陶器	甕	SD306	060 - 80			90		にぶい橙色		瓷器系陶器、底面に「↑」線刻
152	青磁	碗	SD427	110 - 95					灰白色		鎬蓮弁文、青磁釉
153	青磁	碗	SD593	100 - 00			54		灰白色	回転糸切り	青磁釉
154	黒色土器	坏蓋	SD631	095 - 00		~158		38	灰白色	回転ヘラケズリ	内黒
155	陶器	甕	SD796	100 - 80					にぶい赤褐色		瓷器系陶器
158	瓦質土器	擂鉢	SD2186	175 - 75	上層	~304			橙色		漆接ぎによる補修痕
164	漆器	小皿	SD2186	195 - 55		~95	58	28		（糖アルコール法）	外面：黒色漆＋赤色漆文様 内面：赤色漆
165	漆器	小皿	SD2186	195 - 55		~94	57	27		（糖アルコール法）	外面：黒色漆、内面：黒色漆
166	漆器	皿	SD2186	190 - 70						（糖アルコール法）	外面：黒色漆 内面：黒色漆＋赤色漆植物文
167	漆器	椀	SD2186	185 - 75	下層		70			（糖アルコール法）	外面：黒色漆＋赤色漆植物文 内面：黒色漆＋赤色漆植物文
168	漆器	椀	SD2186	170 - 70		~159				（糖アルコール法）	外面：黒色漆＋赤色漆植物文 内面：赤色漆
169	漆器	椀	SD2186	185 - 75						（糖アルコール法）	外面：黒色漆＋植物文、内面：黒色漆
170	漆器	椀	SD2186	185 - 75		~112	65	94		（高級アルコール法）	外面：黒色漆＋赤色漆・黄漆千鳥文 内面：赤色漆
171	漆器	椀	SD2186	185 - 75	下層		73			（高級アルコール法）	外面：黒色漆＋赤色漆三引両文 内面：黒色漆＋赤色漆三引両文
172	漆器	椀	SD2186	150 - 60	下層	160				（糖アルコール法）	外面：黒色漆＋赤色漆扇文 内面：赤色漆
173	漆器	椀	SD2186	170 - 70			80			（糖アルコール法）	外面：黒色漆＋赤色漆蓬莱文? 内面：黒色漆＋赤色漆文様
174	漆器	椀	SD2186	175 - 70	上層	~149				（糖アルコール法）	外面：黒色漆＋赤色漆蓬莱文 内面：赤色漆
175	漆器	椀	SD2186	195 - 60			76			（糖アルコール法）	外面：黒色漆＋赤色漆蓬莱文? 内面：赤色漆
176	漆器	椀	SD2186	180 - 75	下層					（糖アルコール法）	外面：黒色漆＋赤色漆蓬莱文 内面：赤色漆?
177	漆器	椀	SD2186	175 - 75	下層		75			（糖アルコール法）	外面：黒色漆、底面赤色漆文様 内面：赤色漆?
178	漆器	椀	SD2186	175 - 75						（糖アルコール法）	外面：黒色漆＋赤色漆文様 内面：赤色漆
179	漆器	椀	SD2186	185 - 75		~151				（糖アルコール法）	外面：黒色漆、赤色漆、内面：黒色漆

番号	種別	器種	遺構	グリッド	層位	口径	底径	器高	色調	底部調整 （木製品は保存処理法）	備考
180	漆器	椀	SD2186	185 - 75		~160	~113	71		（糖アルコール法）	外面：黒色漆、内面：黒色漆
181	漆器	椀	SD2186	165 - 65	下層	~134				（糖アルコール法）	外面：赤色漆、内面：赤色漆
182	漆器	椀	SD2186	180 - 75			77			（糖アルコール法）	外面：炭化、内面：赤色漆
183	木器	椀	SD2186	185 - 75	下層	~255	~136	86		（糖アルコール法）	
184	木器	椀	SD2186	195 - 55						（糖アルコール法）	高台欠損、全面炭化
211	土師質	内耳土鍋	SD2202	150 - 55		~264			にぶい黄橙色		外面全面スス付着
212	土師質	内耳土鍋	SD2202	150 - 55		268	188		橙色	ナデ	外面全面スス付着
216	漆器	椀	SD2418	100 - 80		~126	~69	70		（糖アルコール法）	外面：黒色漆＋赤色漆斜格子文 内面：黒色漆＋赤色漆文様
217	土師器	長胴甕	SD2500	225 - 10		200			にぶい橙色		
218	土師器	長胴甕	SD2500	225 - 10		~225			にぶい橙色		
219	須恵器	有台坏	SD2574	250 - 80		~145			黄灰色		
220	青磁	碗	SD2574	245 - 80			66		灰白色	回転糸切り	青磁釉、SD2102 出土片と接合
221	土師質	内耳土鍋	SD2574	210 - 85		~368			にぶい黄橙色		外面全面スス付着
222	土師質	内耳土鍋	SD2574	210 - 85			~276		にぶい黄褐色	ナデ	外面全面スス付着
223	黒色土器	無台坏	SD2769	270 - 75		~150	~100	43	にぶい黄橙色	回転ヘラケズリ	内黒
224	須恵器	無台坏	SG1	225 - 55		~142	70	37	灰白色	回転糸切り	
225	須恵器	無台坏	SG1	215 - 55		~139	62	42	にぶい橙色	回転糸切り	
226	須恵器	無台坏	SG1	060 - 05		144	64	54	灰色	回転糸切り	
227	須恵器	無台坏	SG1	225 - 50		~135	~71	41	灰色	回転糸切り	
228	須恵器	無台坏	SG1	225 - 50		~126	~68	41	灰白色	回転糸切り	
229	須恵器	無台坏	SG1	165 - 50		~142	64	41	灰白色	回転糸切り	
230	須恵器	有台坏	SG1	145 - 90		~135			灰色	回転ヘラ切り→ナデ	
231	須恵器	有台坏	SG1	225 - 55		~135	73	48	灰白色	回転ヘラケズリ	
232	須恵器	有台坏	SG1	225 - 50			~90		灰白色	回転ヘラケズリ	
233	須恵器	有台坏	SG1	145 - 00			81		灰白色	回転糸切り	
234	須恵器	双耳坏	SG1	225 - 50					灰白色		把手
235	須恵器	こね鉢	SG1	240 - 45			~86		灰色	ヘラケズリ	底部に焼成前穿孔 2 箇所あり
236	須恵器	長頸壺	SG1	230 - 45					黄灰色		
237	須恵器	広口壺	SG1	145 - 85		~123			黄灰色		
238	須恵器	壺	SG1	225 - 50					灰色		
239	須恵器	壺	SG1	230 - 50			~111		灰白色	回転ヘラ切り	底部に焼き台の無台坏が融着
240	須恵器	壺	SG1	240 - 50			86		灰白色	回転糸切り	SG651の127（山埋文2014）と接合
241	須恵器	甕	SG1	235 - 50		~447			灰白色		SG651の135（山埋文2014）と接合
242	須恵器	甕	SG1	230 - 50		~407			灰色		
243	須恵器	甕	SG1	225 - 55		~260			灰白色		
244	須恵器	甕	SG1	225 - 55		~186			褐灰色		
245	須恵器	小型甕	SG1	225 - 55		~145			灰色		
246	黒色土器	有台皿	SG1	225 - 50		130			橙色	ナデ	内黒
247	黒色土器	無台坏	SG1	225 - 50		~124	72	28	浅黄橙色	回転ヘラ切り→ナデ	内黒
248	黒色土器	無台坏	SG1	220 - 55		~141	~96	40	浅黄橙色	回転ヘラケズリ	内黒
249	黒色土器	無台坏	SG1	145 - 90		~145	82	54	浅黄橙色	回転ヘラケズリ→ヘラナデ	内黒
250	黒色土器	無台坏	SG1	210 - 55		~156	70	67	にぶい黄橙色	回転糸切り	内黒
251	黒色土器	有台坏	SG1	210 - 65		~141	63	53	橙色	ナデ	内黒
252	黒色土器	有台坏	SG1	215 - 55		140	65	65	にぶい黄橙色	回転糸切り、放射状ナデ	内黒
253	黒色土器	有台坏	SG1	155 - 90		155	66	70	にぶい黄橙色	回転糸切り、放射状ナデ	内黒
254	土師器	無台坏	SG1	205 - 55		~126	53	45	浅黄橙色	回転糸切り	
255	土師器	無台坏	SG1	165 - 50		~128	50	47		回転糸切り	

番号	種別	器種	遺構	グリッド	層位	口径	底径	器高	色調	底部調整（木製品は保存処理法）	備考
256	土師器	碗	SG1	250 - 45		~163	~90	68	にぶい黄橙色		
257	土師器	長胴甕	SG1	230 - 50		~283			浅黄橙色		スス付着
258	土師器	長胴甕	SG1	220 - 55		~236			浅黄橙色		
259	土師器	甕	SG1	250 - 45		~207			灰黄褐色		
260	土師器	甑	SG1	240 - 45					にぶい橙色		把手
261	土師器	ミニチュア壺	SG1	095 - 15			~40		にぶい黄橙色	ナデ	
264	須恵器	小型短頸壺	SG299	050 - 75		~75			灰白色		
267	黒色土器	坏	SG2699	195 - 00		~105			にぶい黄橙色		内黒
268	黒色土器	坏	SG2699	210 - 10		122		51	暗灰黄色	ヘラケズリ	内黒、スス付着
269	黒色土器	坏	SG2699	185 - 05		~128		45	灰白色	ヘラケズリ	内黒
270	黒色土器	坏	SG2699	180 - 05		~146		45	にぶい黄橙色	ヘラケズリ	内黒
271	土師器	坏	SG2699	185 - 05		~157		62	浅黄橙色	ヘラケズリ	
272	土師器	坏	SG2699	180 - 05		~115		51	黄灰色	ヘラケズリ	
273	土師器	坏	SG2699	180 - 05		~97			にぶい黄橙色		
274	土師器	坏	SG2699	180 - 05		~127		45	浅黄橙色	ハケメ→ヘラナデ	
275	土師器	坏	SG2699	195 - 00		~126	50	55	にぶい黄橙色	ミガキ	
276	土師器	坏	SG2699	185 - 10		~131			にぶい橙色	ミガキ	
277	土師器	坏	SG2699	210 - 10		132		51	にぶい黄橙色	ヘラケズリ→ミガキ	
278	土師器	坏	SG2699	180 - 05		~135		53	灰白色	ミガキ	
279	土師器	坏	SG2699	210 - 10		124		51	灰黄褐色	ハケメ	
280	土師器	鉢	SG2699	185 - 05		~99	45	52	灰白色	ヘラナデ	
281	土師器	鉢	SG2699	180 - 05		~131			にぶい橙色	ミガキ	
282	黒色土器	高坏	SG2699	185 - 05		~178	118	95	浅黄色	ミガキ	内黒
283	黒色土器	高坏	SG2699	185 - 10		~193			にぶい黄色		内黒
284	黒色土器	高坏	SG2699	185 - 05			109		にぶい黄橙色	ナデ	内黒
285	黒色土器	高坏	SG2699	180 - 05			~112		黄灰色	ミガキ	内黒
286	黒色土器	高坏	SG2699	175 - 05			105		浅黄橙色	ミガキ	内黒
287	黒色土器	高坏	SG2699	180 - 05			110		浅黄橙色	ミガキ	内黒
288	黒色土器	高坏	SG2699	180 - 05			~82		灰黄褐色	ナデ→ミガキ	内黒
289	黒色土器	高坏	SG2699	180 - 05			99		浅黄橙色	ハケメ→ミガキ	内黒
290	黒色土器	高坏	SG2699	180 - 05			~104		灰黄褐色	ミガキ→ナデ	内黒
291	黒色土器	ミニチュア坏	SG2699	175 - 05		33	23	17	灰黄色	ミガキ	内黒
292	土師器	ミニチュア坏	SG2699	195 - 10		29	22	19	灰白色	ナデ	
293	土師器	ミニチュア坏	SG2699	180 - 05		~43	26	25	浅黄橙色	ナデ	
294	土師器	ミニチュア坏	SG2699	185 - 05		~37	27	28	灰白色	ナデ	
295	土師器	ミニチュア坏	SG2699	185 - 10		38	35	35	灰黄色	ナデ	
296	土師器	壺	SG2699	185 - 05		147			浅黄橙色		
297	土師器	壺	SG2699	155 - 05			64		にぶい黄橙色		
298	土師器	壺	SG2699	185 - 05			62		浅黄色	ハケメ	
299	土師器	甑	SG2699	195 - 05		~243	96	252	浅黄橙色	孔	
300	土師器	甑	SG2699	185 - 05		154		118	橙色	孔	
301	土師器	甑	SG2699	180 - 00			66		にぶい黄橙色	孔	
302	土師器	甑	SG2699	185 - 10			160		橙色	孔	
303	須恵器	坏蓋	SG2699	185 - 10		~156		26	灰色	回転ヘラ切り→ナデ	
304	須恵器	無台坏	SG2699	145 - 90		144	98	42	灰色	回転ヘラケズリ	
305	須恵器	有台坏	SG2699	200 - 05			~80		灰褐色	回転ヘラ切り	内面に漆塊付着
306	須恵器	広口壺	SG2699	185 - 05		~128			灰色		

番号	種別	器種	遺構	グリッド	層位	口径	底径	器高	色調	底部調整（木製品は保存処理法）	備考
307	黒色土器	坏	SG2699	180 - 00		~152			にぶい黄橙色		内黒、内外面に漆付着
308	黒色土器	無台坏	SG2699	170 - 05		~134	60	46	橙色	回転糸切り	内黒
311	土師器	鉢	SG2870	175 - 10		184			にぶい黄橙色		
312	土師器	甕	SG2870	175 - 10			96		にぶい黄橙色	木葉痕	
313	土師器	甕		不明	表土	~182	66	240	にぶい黄橙色	ナデ	北陸北東部系「コ」字口縁甕、スス付着
314	土師器	坏		155 - 15		~150		59	にぶい黄橙色	ハケメ	
315	黒色土器	高坏		250 - 45					にぶい黄橙色	ハケメ	内黒
316	土師器	鉢		155 - 05		~132	~56	89	にぶい黄橙色	ナデ	
317	土師器	小型甕		175 - 15		~156	~92	150	橙色	木葉痕	
318	黒色土器	坏蓋	調査区南西部		表土	~118			にぶい黄橙色		内黒
319	黒色土器	無台坏	調査区北西部			~152	~102	34	にぶい黄橙色	回転ヘラケズリ	内黒
320	黒色土器	無台坏		145 - 95		~131	~66	49	浅黄橙色	回転糸切り	内黒
321	黒色土器	有台坏		275 - 00	表土	~118	~85	50	にぶい橙色	不明	被熱により内黒が色抜け
322	黒色土器	有台坏		不明	表土		~76		黄灰色	ナデ	両黒
323	黒色土器	坏		250 - 60					黄灰色		両黒、把手
324	須恵器	無台坏		120 - 95		~150	100	43	灰白色	手持ヘラケズリ	
325	須恵器	無台坏		255 - 60		~148	~100	33	浅黄橙色	回転ヘラ切り	
326	須恵器	無台坏		275 - 95	表土	~136	72	42	灰白色	回転ヘラ切り	
327	須恵器	壺	調査区北西部		撹乱				灰白色		肩部外面に自然釉
328	須恵器	甕	調査区北西部		撹乱	~400			灰色		
329	青磁	碗		不明	表土				灰白色		鎬蓮弁文、青磁釉
330	陶器	擂鉢		不明	表土				黄灰色		須恵器系陶器、卸目間隔は7本/1.8cm
331	陶器	擂鉢		不明	表土				黄灰色		須恵器系陶器、卸目間隔は7本/2cm
332	陶器	擂鉢		不明	表土				にぶい褐色		岸窯、卸目間隔は 9 本 /2cm
333	陶器	擂鉢		不明	表土		~135		にぶい黄橙色	回転ヘラ切り	会津本郷、卸目間隔は 14 本 /3.5cm、鉄釉（灰赤色）
334	陶器	鉢		不明	表土				灰白色		岸窯、鉄釉（黒褐色）
335	陶器	碗	調査区北西部		表土				灰黄色		大堀相馬、腰錆碗写し、外面：鉄釉（暗褐色）、内面：灰釉（オリーブ灰色）
336	陶器	碗	調査区中央部西側				~42		にぶい黄橙色	回転ケズリ	大堀相馬、灰釉（明青灰色）
337	陶器	碗		225 - 05			36		灰白色	回転ケズリ	大堀相馬、灰釉（オリーブ黄）
338	陶器	小碗	調査区中央部西側				~26		灰白色	ヘラケズリ	大堀相馬、灰釉（灰オリーブ）
339	磁器	碗	調査区中央部東側		表土	~86			灰白色		波佐見、梅樹文
340	磁器	碗		不明			~38		灰黄色		肥前、見込に菊花文、底裏に銘
341	磁器	碗		165 - 90		~68			灰白色		波佐見、半菊文・井桁文
342	磁器	碗	調査区中央部東側				~36		灰白色		波佐見、見込に菊花コンニャク判、二重網目文
344	木器	椀	調査区北東部				~87			（糖アルコール法）	全面炭化

表 3　土製品・木製品・金属製品観察表

※ 長さ・幅・厚さの単位はミリメートル、重量の単位はグラムである。

番号	種別	器種	遺構	グリッド	層位	長さ	幅	厚さ	重量	備考
19	鉄製品	鉄鐸	ST2319	270 - 70		82	1232	33		
20	鉄製品	タガネ状	ST2319	250 - 75		48	13	7		
21	鉄製品	刀子	ST2319	270 - 70		53	11	4		
22	鉄製品	釘	ST2319	270 - 75		31	3	3		
31	鉄製品	鎌	ST2582	255 - 75		47	35	7		
50	鉄製品	鎌	ST2584	245 - 75		103	31	12		
51	鉄製品	鉄鉗	ST2584	250 - 75		108	20	15		SP2686 出土
71	鉄製品	釘	ST2818	275 - 90		51	6	6		
72	鉄製品	釘	ST2818	275 - 90		56	6	6		
73	鉄製品	釘	ST2818	275 - 90		43	7	4		
101	土製品	紡錘車	ST2845	225 - 10		42	48	18	39.0	
117	銭	熙寧元寶	SP2007	095 - 90			24	1.3	1.0	
125	鉄製品	柄状	SP2443	120 - 55		96	19	11		
126	鉄製品	釘	SP2472	105 - 70		61	14	7		
130	瓦	軒平瓦	SK2128	255 - 55		123	125	40	1001.8	顎部斜格子文
140	銭	永楽通寶	SK2488	200 - 70		25	25	1.4	2.3	
141	銭	永楽通寶	SK2488	200 - 70		24.8	24.8	1.7	2.4	
156	銭	開元通寶	SD2102	245 - 60		24	24	1.4	2.6	
163	銭	洪武通寶	SD2186	190 - 65		23	23	1.9	3.1	
185	木製品	箸	SD2186	195 - 60		184	10	5		（糖アルコール法）
186	木製品	円板状	SD2186	180 - 75	下層	138	101	10		（糖アルコール法）
187	木製品	円板状	SD2186	180 - 75	下層	98	84	8		（糖アルコール法）
188	木製品	栓	SD2186	180 - 75	下層	45	42	38		（糖アルコール法）
189	木製品	曲物	SD2186	185 - 70		166	171	75		（糖アルコール法）
190	木製品	曲物側板	SD2186	150 - 60		123	19	9		（糖アルコール法）
191	木製品	折敷	SD2186	150 - 60		315	174	8		木質釘、桜皮あり、（糖アルコール法）
192	木製品	折敷縁	SD2186	150 - 60		244	18	6		釘穴、桜皮あり、（糖アルコール法）
193	木製品	折敷縁	SD2186	155 - 60	下層	290	15	5		穿孔あり、（糖アルコール法）
194	木製品	蓋	SD2186	195 - 55		184	90	11		木質釘あり、（糖アルコール法）
195	木製品	板状	SD2186	155 - 60		272	114	6		黒色付着物、桜皮、穿孔あり、（糖アルコール法）
196	木製品	下駄	SD2186	195 - 55		235	109	86		連歯下駄、（糖アルコール法）
197	木製品	下駄	SD2186	180 - 75		174	100	51		連歯下駄、（糖アルコール法）
198	木製品	下駄歯	SD2186	155 - 60		104	96	17		露卯下駄、（糖アルコール法）
199	木製品	下駄歯	SD2186	150 - 60		130	90	20		露卯下駄、（糖アルコール法）
200	木製品	下駄歯	SD2186	165 - 65	下層	107	105	18		露卯下駄、（糖アルコール法）
201	木製品	鎌柄	SD2186	190 - 70		298	29	25		（糖アルコール法）
202	木製品	杭	SD2186	150 - 60		272	22	21		（糖アルコール法）
203	木製品	杭	SD2186	190 - 65		447	29	28		（糖アルコール法）
204	木製品	棒状	SD2186	150 - 60		349	15	15		（糖アルコール法）
205	木製品	棒状	SD2186	195 - 55		290	26	10		（糖アルコール法）
206	木製品	板状	SD2186	190 - 70		543	146	14		隅切り加工、側面刻みあり、（糖アルコール法）
207	木製品	部材	SD2186	150 - 60		707	81	46		仕口あり、（高級アルコール法）
208	木製品	部材	SD2186	155 - 60	下層	479	45	36		仕口あり、（糖アルコール法）
209	木製品	棒状	SD2186	165 - 65	下層	1806	40	35		（糖アルコール法）
343	土製品	鞴羽口	調査区北西部		撹乱	65	63	20		
345	木製品	板状		160 - 05		178	90	9		穿孔あり、（糖アルコール法）
346	木製品	板状		160 - 05		395	61	12		穿孔あり、（糖アルコール法）
347	鉄製品	環状		250 - 60		38	36	12		
348	銭	永楽通寶		155 - 10	撹乱	25		1.5	1.7	
349	銭	元豊通寶		不明	表土	23	24	1.3	3.0	

表４　石器・石製品観察表

※ 長さ・幅・厚さの単位はミリメートル、重量の単位はグラムである。

番号	種別	器種	遺構	グリッド	層位	長さ	幅	厚さ	重量	石材
12	石器	磨石	ST2289	265 - 70		77	67	57	409.2	安山岩
46	石製品	中砥	ST2583	250 - 75		128	45	26	220.4	凝灰岩
47	石製品	中砥	ST2583	250 - 80		98	46	12	58.4	珪化木
49	石器	磨石	ST2584	250 - 75	掘方	95	81	66	698.6	安山岩
88	石製品	巡方	ST2827	275 - 00	上層	38	37	6	18.6	白色石材
89	石器	不定形磨石	ST2827	275 - 00		75	90	27	285.5	安山岩
118	石製品	茶臼（上臼）	SP2468	140 - 70		200	206	96	4090.0	安山岩
119	石製品	中砥	SP2366	120 - 55		93	56	47	336.9	凝灰岩
120	石製品	中砥	SP1672	095 - 90		90	35	30	81.2	凝灰岩
121	石製品	凹石	SP2187	185 - 50		170	108	86	1089.1	凝灰岩
122	石製品	提砥	SP2192	150 - 50		50	28	12	27.5	凝灰岩
123	石製品	中砥	SP2315	230 - 65		90	22	18	59.9	珪化木
124	石製品	中砥	SP2404	180 - 65		130	41	26	209.7	凝灰岩
136	石製品	硯	SK2198	180 - 65		48	45	17	55.8	粘板岩
139	石器	不定形磨石	SK2343	235 - 65		136	56	41	470.9	安山岩
143	石器	火打石	SK936	080 - 85		85	64	44	288.3	石英
144	石製品	中砥	SK1014	085 - 80		5.2	3.7	3	85.7	凝灰岩
145	石器	磨石	SK1390	095 - 80		82	72	47	368.2	安山岩
146	石器	火打石	SK2122	265 - 50		57	55	36	98.5	石英
147	石製品	中砥	SK2357	120 - 60		79	31	25	65.8	凝灰岩
148	石製品	容器形	SK2485	210 - 65		55	38	18	19.4	凝灰岩
150	石器	火打石	SD279	055 - 80		55	38	17	38.3	石英
157	石製品	中砥	SD2111	250 - 55		44	33	16	39.7	凝灰岩
159	石製品	硯	SD2186	170 - 70		83	66	23	181.4	粘板岩
160	石製品	円盤状	SD2186	185 - 75	下層	39	40	19	21.8	凝灰岩
161	石器	石包丁様	SD2186	155 - 60		193	60	19	252.4	粘板岩
162	石製品	紡錘車	SD2186	175 - 75	下層	98	96	37	263.7	凝灰岩
210	石器	磨石	SD2191	155 - 55		70	64	50	312.0	安山岩
213	石製品	仕上砥	SD2202	140 - 65		54	33	6	14.0	凝灰岩
214	石器	火打石	SD2202	150 - 50		65	43	33	101.7	石英
215	石製品	茶臼（下臼）	SG2336	125 - 55		96	139	39	685.0	安山岩
262	石器	火打石	SG1	225 - 50		52	38	8	17.7	石英
263	石器	火打石	SG1	145 - 85		70	50	27	125.7	石英
265	石製品	中砥	SG2336	120 - 55		107	78	37	257.6	凝灰岩
266	石器	台石	SG2336	125 - 55		254	213	50	3980.0	安山岩
309	石製品	紡錘車	SG2699	195 - 10		26	45	14	22.2	滑石
310	石器	火打石	SG2699	195 - 10		72	44	26	76.9	石英

Ⅳ　理化学分析

1　はじめに

本報告では、西谷地ｂ遺跡から出土した木製品を対象として、年代確認のための放射性炭素年代測定、木材利用を確認するための樹種同定、漆工技術を検討するための漆塗膜断面の観察を実施する。

2　試　　料

試料は木製品 27 点で、これら全点について樹種同定を実施する。また、RW1045（柱穴 SP2382 の柱根）・1046（SP2461 の柱根）・1047（SP2473 の柱根）・1059（SP2392 の柱根）・1072（197：下駄）の 5 点については放射性炭素年代測定、RW1053（176：漆器椀）・1062（175：漆器椀）・1071（166：漆器皿）・1074（169：漆器椀）・1093（167：漆器椀）の 5 点については漆塗膜断面の薄片作製・観察を併せて実施する。なお漆器椀 170・171 と部材 207 の分析結果は第Ⅲ章第３節（p28）を参照されたい。

これら分析に供した試料は、全て採取された木片の状態で送付されてきた。なお、試料の詳細や図番号との対応は、樹種同定結果と併せて表 6 に示す。

3　分析方法

(1) 放射性炭素年代測定

年代測定試料は、木片の中で最も外側の年輪部分を採取する。木片に土壌や根など目的物と異なる年代を持つものが付着している場合、これらをピンセット、超音波洗浄などにより物理的に除去する。その後、塩酸により炭酸塩等酸可溶成分を除去、水酸化ナトリウムにより腐植酸等アルカリ可溶成分を除去、塩酸によりアルカリ処理時に生成した炭酸塩等酸可溶成分の除去を行う（酸・アルカリ・酸処理）。

試料をバイコール管に入れ、1 g の酸化銅（Ⅱ）と銀箔（硫化物を除去するため）を加えて、管内を真空にして封じきり、500℃（30 分）850℃（2 時間）で加熱する。液体窒素と液体窒素＋エタノールの温度差を利用し、真空ラインにて二酸化炭素を精製する。真空ラインにてバイコール管に精製した二酸化炭素と鉄・水素を投入し封じ切る。鉄のあるバイコール管底部のみを 650℃で 10 時間以上加熱し、グラファイトを生成する。

化学処理後のグラファイト・鉄粉混合試料を内径 1mm の孔にプレスして、タンデム加速器のイオン源に装着し、測定する。測定機器は、3MV 小型タンデム加速器をベースとした ^{14}C - AMS 専用装置（NEC Pelletron 9SDH - 2）を使用する。AMS 測定時に、標準試料である米国国立標準局（NIST）から提供されるシュウ酸（HOX - Ⅱ）とバックグラウンド試料の測定も行う。また、測定中同時に ^{13}C/^{12}C の測定も行うため、この値を用いて δ^{13}C を算出する。

放射性炭素の半減期は LIBBY の半減期 5,568 年を使用する。また、測定年代は 1950 年を基点とした年代（BP）であり、誤差は標準偏差（One Sigma ; 68%）に相当する年代である。なお、暦年較正は、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV6.00（Copyright 1986 - 2010 M Stuiver and PJ Reimer）を用い、誤差として標準偏差（One Sigma）を用いる。

暦年較正とは、大気中の ^{14}C 濃度が一定で半減期が 5,568 年として算出された年代値に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の ^{14}C 濃度の変動、及び半減期の違い（^{14}C の半減期 5,730±40 年）を較正することである。暦年較正に関しては、本来 10 年単位で表すのが通例であるが、将来的に暦年較正プログラムや暦年較正曲線の改正があった場合の再計算、再検討に対応するため、1 年単位で表している。いずれも木材を試料としていることから、北半球の大気中炭素に由来する較正曲線を用いる。

暦年較正は、測定誤差 σ、2σ 双方の値を計算する。σ は統計的に真の値が 68% の確率で存在する範囲、2σ は真の値が 95% の確率で存在する範囲である。また、表中の相対比とは、σ、2σ の範囲をそれぞれ 1 とした場合、その範囲内で真の値が存在する確率を相対的に示したものである。

（2）樹種同定

各木製品の破損部や接合部を利用して木片を採取する。剃刀を用いて木片から木口（横断面）・柾目（放射断面）・板目（接線断面）の３断面の徒手切片を直接採取する。自然木は、木片から３断面の切片を作製する。切片は、ガム・クロラール（抱水クロラール、アラビアゴム粉末、グリセリン、蒸留水の混合液）で封入し、プレパラートとする。プレパラートは、生物顕微鏡で木材組織の種類や配列を観察する。炭化材は、自然乾燥させた後、３断面の割断面を作製して実体顕微鏡および走査型電子顕微鏡で木材組織の種類や配列を観察する。各試料の観察で確認された特徴を現生標本および独立行政法人森林総合研究所の日本産木材識別データベースと比較して種類を同定する。

なお、木材組織の名称や特徴は、島地・伊東（1982）、Wheeler 他（1998）、Richter 他（2006）を参考にする。また、日本産木材の組織配列は、林（1991）や伊東（1995・1996・1997・1998・1999）を参考にする。

（3）漆薄片作製

漆器破片の端部を切断する。合成樹脂で試料を包埋し、減圧して内部まで樹脂を浸透させた後、樹脂を固化させる。切断面を研磨して研磨面をスライドグラスに接着し、反対側も切断と研磨を行ってプレパラートとする。プレパラートは、落射蛍光顕微鏡および反射顕微鏡で塗膜断面の構造・混和物等を観察する。

4　結　　果

（1）放射性炭素年代測定

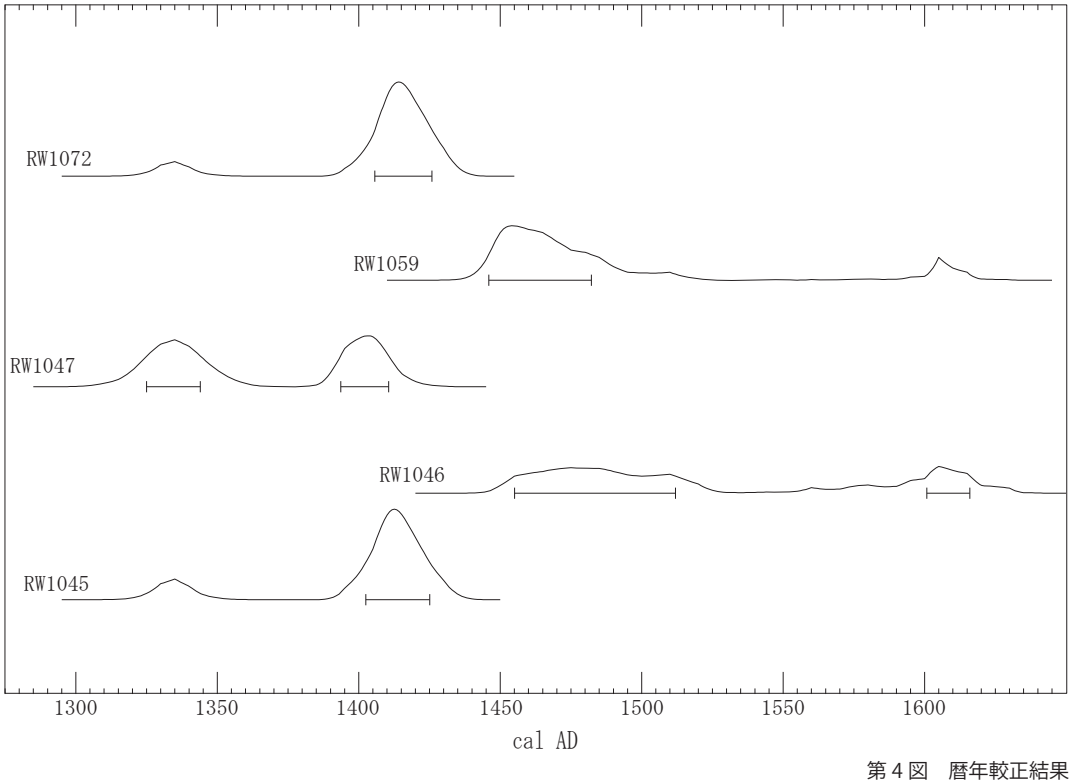
同位体効果による補正を行った測定結果および暦年較正結果を表５、第４図に示す。補正年代は、RW1045（SP2382）が 530±20BP、RW1046（SP2461）が 370±20BP、RW1047（SP2473）が 570±20BP、RW1059（SP2392）が 400±20BP、RW1072（197：下駄）が 530±20BP を示す。

また、測定誤差を σ として計算させた暦年較正結果は、RW1045 が calAD1,402 ～ 1,425、RW1046 が calAD1,455 ～ 1,616、RW1047 が calAD1,325 ～ 1,411、RW1059 が calAD1,446 ～ 1,482、RW1072 が calAD1,406 ～ 1,426 である。

表５　放射性炭素年代測定結果

登録番号	種類	処理方法	測定年代 BP	δ13 C (‰)	補正年代（暦年較正用）BP	暦年較正結果				Code No.
						誤差	cal BC/AD	cal BP	相対比	
RW1045（柱根）	生木	AAA	520± 20	-24.28±0.31	530± 20（534±21）	σ	cal AD 1,402 - cal AD 1,425	cal BP 548 - 525	1.000	IAAA - 110529
						2σ	cal AD 1,326 - cal AD 1,343	cal BP 624 - 607	0.119	
							cal AD 1,394 - cal AD 1,434	cal BP 556 - 516	0.881	
RW1046（柱根）	生木	AAA	430± 20	-28.52±0.44	370± 20（374±24）	σ	cal AD 1,455 - cal AD 1,512	cal BP 495 - 438	0.765	IAAA - 110530
							cal AD 1,601 - cal AD 1,616	cal BP 349 - 334	0.235	
						2σ	cal AD 1,448 - cal AD 1,523	cal BP 502 - 427	0.655	
							cal AD 1,559 - cal AD 1,563	cal BP 391 - 387	0.009	
							cal AD 1,571 - cal AD 1,630	cal BP 379 - 320	0.336	
RW1047（柱根）	生木	AAA	550± 20	-24.26±0.30	570± 20（565±21）	σ	cal AD 1,325 - cal AD 1,344	cal BP 625 - 606	0.508	IAAA - 110531
							cal AD 1,394 - cal AD 1,411	cal BP 556 - 539	0.492	
						2σ	cal AD 1,314 - cal AD 1,356	cal BP 636 - 594	0.539	
							cal AD 1,388 - cal AD 1,419	cal BP 562 - 531	0.461	
RW1059（柱根）	生木	AAA	460± 20	-28.45±0.57	400± 20（402±23）	σ	cal AD 1,446 - cal AD 1,482	cal BP 504 - 468	1.000	IAAA - 110532
						2σ	cal AD 1,439 - cal AD 1,514	cal BP 511 - 436	0.907	
							cal AD 1,600 - cal AD 1,617	cal BP 350 - 333	0.093	
RW1072（下駄）	生木	AAA	520± 20	-24.64±0.27	530± 20（529±21）	σ	cal AD 1,406 - cal AD 1,426	cal BP 544 - 524	1.000	IAAA - 110533
						2σ	cal AD 1,328 - cal AD 1,341	cal BP 622 - 609	0.066	
							cal AD 1,395 - cal AD 1,436	cal BP 555 - 514	0.934	

1）処理方法は、酸処理－アルカリ処理－酸処理（AAA 処理）である。
2）年代値の算出には、Libby の半減期 5568 年を使用した。
3）BP 年代値は、1950 年を基点として何年前であるかを示す。
4）測定年代および補正年代に付記した誤差は、測定誤差 σ（測定値の 68％が入る範囲）を年代値に換算した値。
5）暦年の計算には、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV6.0（Copyright 1986-2010 M Stuiver and PJ Reimer）を使用した。
6）暦年の計算には、暦年較正用年代として示した、一桁目を丸める前の値を使用している。
7）年代値は、1 桁目を丸めるのが慣例だが、暦年較正曲線や暦年較正プログラムが改正された場合の再計算や比較が行いやすいように、暦年較正用年代値は 1 桁目を丸めていない。
8）暦年較正値で、統計的に真の値が入る確率は σ は 68%、2σ は 95% である。
9）相対比は、σ、2σ のそれぞれを 1 とした場合、確率的に真の値が存在する比率を相対的に示したものである。



第４図　暦年較正結果

（2）樹種同定（写真図版 93 ～ 95）

樹種同定結果を表６に示す。木製品は、針葉樹３類群（マツ属複維管束亜属・マツ属単維管束亜属・アスナロ）と広葉樹６分類群（ブナ属・コナラ属コナラ亜属クヌギ節・コナラ属コナラ亜属コナラ節・ケヤキ・モクレン属・トネリコ属に同定された。各分類群の解剖学的特徴等を記す。

・マツ属複維管束亜属（Pinus subgen. Diploxylon）　マツ科

軸方向組織は仮道管と垂直樹脂道で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行は急～やや緩やかで、晩材部の幅は広い。垂直樹脂道は晩材部に認められる。放射組織は、仮道管、柔細胞、水平樹脂道、エピセリウム細胞で構成される。分野壁孔は窓状となる。放射仮道管内壁には鋸歯状の突起が認められる。放射組織は単列、1 - 10 細胞高。

・マツ属単維管束亜属（Pinus subgen. Haploxylon）　マツ科

軸方向組織は仮道管と垂直樹脂道で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行はやや急で、晩材部の幅は狭い。垂直樹脂道は早材部の終わり～晩材部に認められる。放射組織は、仮道管、柔細胞、水平樹脂道、エピセリウム細胞で構成される。分野壁孔は窓状となる。放射仮道管内壁は平滑で、鋸歯状の突起は認められない。放射組織は単列、1 - 10 細胞高。

・アスナロ（Thujopsis dolabrata Sieb. et Zucc.）　ヒノキ科アスナロ属

軸方向組織は仮道管と樹脂細胞で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行は緩やかで、晩材部の幅は狭い。樹脂細胞は晩材部付近に認められる。放射組織は柔細胞のみで構成され、内壁には赤褐色あるいは茶褐色の樹脂が顕著に認められる。分野壁孔はヒノキ型で、1 分野に 1 - 4 個。放射組織は単列、1 - 10 細胞高。

・ブナ属（Fagus）　ブナ科

散孔材で、管孔は単独または放射方向に２ - ３個が複合して散在し、年輪界付近で径を減ずる。道管の分布密度は高い。道管は単穿孔および階段穿孔を有し、壁孔は対列状～階段状に配列する。放射組織はほぼ同性、単列、数細胞高のものから複合放射組織まである。

・コナラ属コナラ亜属クヌギ節（Quercus subgen. Quercus sect. Cerris）　ブナ科

環孔材で、孔圏部は１ - ３列、孔圏外で急激に管径を減じたのち、単独で放射方向に配列し、年輪界に向かっ

て径を漸減させる。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、1 - 20 細胞高のものと複合放射組織とがある。

・コナラ属コナラ亜属コナラ節（Quercus subgen. Quercus sect. Prinus）　ブナ科

環孔材で、孔圏部は 1 - 2 列、孔圏外で急激に管径を減じたのち、漸減しながら火炎状に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、1 - 20 細胞高のものと複合放射組織とがある。

・ケヤキ（Zelkova serrata（Thunb.）Makino）　ニレ科ケヤキ属

環孔材で、孔圏部は 1 - 2 列、孔圏外で急激に管径を減じたのち、塊状に複合して接線・斜方向に文様状あるいは帯状に配列し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列、小道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性、1 - 6 細胞幅、1 - 50 細胞高。放射組織の上下縁辺部を中心に結晶細胞が認められる。

・モクレン属（Magnolia）　モクレン科

散孔材で、道管壁は中庸～薄く、横断面では角張った楕円形～多角形、単独および 2 - 4 個が放射方向に複合して散在する。道管の分布密度は比較的高い。道管は単穿孔を有し、壁孔は階段状～対列状に配列する。放射組織は異性、1 - 2 細胞幅、1 - 30 細胞高。

・トネリコ属（Fraxinus）　モクセイ科

環孔材で、孔圏部は 1 - 3 列、孔圏外で急激に管径を減じたのち、厚壁の道管が単独または 2 個が放射方向に複合して配列し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、1 - 3 細胞幅、1 - 30 細胞高。

（3）漆薄片作製（写真図版 96・97）

・RW1053（176：漆器椀）

資料は、外面が黒地に赤漆文、内面が黒漆である。分析に使用した破片も外面に黒地に赤漆文、内面が黒漆となっている。

外面は、木地の上に炭粉を用いた下地が 1 μm ～ 20 μm の厚さ認められる。下地の上には、混和物の無い透明漆が 20 μm ～ 30 μm の厚さで塗られている。赤漆の文様部分では、透明漆の上にベンガラを混ぜた赤漆が 5 ～ 10 μm の厚さで認められる。

表 6　樹種同定結果

登録番号	図番号	器種・形状	出土地点・遺構番号	木取り	樹種	備考
RW1041		木製品	SD2186　165 - 65G（下層）	―	アスナロ	
RW1042	209	棒状	SD2186　165 - 65G（下層）	芯持丸木	マツ属複維管束亜属	
RW1045		柱根	SP2382　170 - 50G	―	アスナロ	IAAA - 110529
RW1046		柱根	SP2461　125 - 60G	―	トネリコ属	IAAA - 110530
RW1047		柱根	SP2473　120 - 65G	―	アスナロ	IAAA - 110531
RW1049	208	部材	SD2186　155 - 60G（下層）	分割材	マツ属単維管束亜属	
RW1050	209	棒状	SD2186　165 - 65G（下層）	―	マツ属複維管束亜属	
RW1053	176	漆器椀	SD2186　180 - 75G（下層）	―	ブナ属	外面：黒地に赤漆文、内面：黒
RW1057	186	板状	SD2186　180 - 75G（下層）	板目	アスナロ	
RW1058	187	板状	SD2186　180 - 75G（下層）	柾目	アスナロ	
RW1059		柱根	SP2392　165 - 55G	―	アスナロ	IAAA - 110532
RW1061	203	杭	SD2186　190 - 65G	芯持丸木	コナラ属コナラ亜属コナラ節	
RW1062	175	漆器椀	SD2186　195 - 60G	横木地	ブナ属	外面：黒、内面：赤
RW1063	194	蓋	SD2186　195 - 55G	板目	アスナロ	
RW1064	191	折敷	SD2186　150 - 60G	柾目～板目	アスナロ	
RW1071	166	漆器皿	SD2186　190 - 70G	横木地	ブナ属	外面；黒、内面：黒地に赤漆文
RW1072	197	下駄	SD2186　180 - 75G	台表が板目～柾目	モクレン属	IAAA - 110533
RW1074	169	漆器椀	SD2186　185 - 75G	横木地	ブナ属	外面：黒地に赤漆文、内面：黒
RW1077		炭化木製品	SD2186　175 - 70G	―	コナラ属コナラ亜属クヌギ節	
RW1084	200	下駄歯	SD2186　165 - 65G（下層）	―	ケヤキ	
RW1085	195	板状	SD2186　155 - 60G	柾目	マツ属単維管束亜属	
RW1086	198	下駄歯	SD2186　155 - 60G	柾目	ケヤキ	
RW1087	183	木器椀	SD2186　185 - 75G（下層）	横木地	モクレン属	
RW1093	167	漆器椀	SD2186　185 - 75G（下層）	横木地	ブナ属	外面：黒地に赤漆文、内面：黒
RW1094	196	下駄	SD2186　195 - 55G	台表が板目～柾目	マツ属複維管束亜属	
RW1097	346	板状	160 - 05G	柾目	アスナロ	
RW1099	206	板状	SD2186　190 - 70G	板目～柾目	マツ属単維管束亜属	

内面は、木地の上に炭粉の下地が 10 ～ 30 μm の厚さで認められる。下地の上には、ベンガラを含む赤漆が 10 ～ 40 μm の厚さで塗られ、その上に不透明の漆層が 30 ～ 50 μm の厚さで認められる。不透明の漆層は、何らかの混和物があると考えられるが、混和物の種類は不明である。

・RW1062（175：漆器椀）

資料は、外面が黒漆、内面が赤漆となる。送付されてきた破片では、外面に黒漆と共に赤色部分が認められる。外面は、木地の上に炭粉の下地が 20 ～ 30 μm で認められ、その上に混和物のない透明漆が約 10 μm で認められる。赤色部分は、透明漆の上にベンガラを混ぜた赤漆が約 10 μm の厚さで認められる。

内面は、木地の上に炭粉の下地が 10 ～ 30 μm の厚さで認められ、その上にベンガラを混ぜた赤漆が 10 ～ 20 μm の厚さで認められる。

・RW1071（166：漆器皿）

資料は、外面が黒漆、内面が黒漆に赤漆の文様となる。送付されてきた木片でも片面に赤い文様の一部が認められ、こちらが内面と考えられる。

外面では、炭粉の下地が 10 ～ 30 μ m の厚さで認められ、その上に透明漆が 10 ～ 20 μ m で認められる。透明漆の上には、保存が悪いが、混和物を混ぜた漆層が 10 μ m 以下の厚さで認められ、さらにその上に黒色の漆層が 30 ～ 40 μ m の厚さで認められる。黒色の漆層は、黒色物質を混和した漆層と考えられるが、顕微鏡での観察では粒子などは認められなかった。

内面では、炭粉の下地が 10 ～ 20 μ m で認められ、その上に透明漆が 10 ～ 20 μ m で認められる。文様部分では、透明漆の上にベンガラを混ぜた赤漆が約 10 μ の厚さで認められる。

・RW1074（169：漆器椀）

資料は、外面が黒漆に赤漆の文様、内面が黒漆となる。送付されてきた木片では、湾曲具合から内面と思われる面に黒漆が認められる。反対側には部分的に黒漆が微量認められるが、薄片作製はできなかった。

内面と思われる面では、木地の上に炭粉の下地が 40 ～ 60 μ m の厚さで認められる。下地の上には、混和物の無い透明漆が 10 μ m 以下の厚さで認められる。

・RW1093（167：漆器椀）

資料は、外面が黒漆に赤漆の文様、内面が黒漆となる。送付されてきた木片も外面に赤漆の文様が認められる。

外面は、炭粉の下地が 20 ～ 30 μ m の厚さで認められ、その上に透明漆が 10 ～ 20 μ m の厚さで認められる。文様部分では、ベンガラを混ぜた赤漆が 10 μ m 以下で認められる。

内面は、炭粉の下地が 40 ～ 50 μ m の厚さで認められ、その上に透明漆が 10 μ m 以下で認められる。

5　考　　察

木製品は、容器（漆器椀・皿、木器椀）、食事具（折敷・蓋）、服飾具（下駄）、建築部材（柱根・部材）、その他（炭化木製品・板状木製品・棒状木製品・杭・木製品）がある。これらの木製品には、合計 9 分類群が認められた。

各分類群の材質は、針葉樹の複維管束亜属や単維管束亜属は、軽軟で加工は容易であるが、強度・保存性は比較的高い。アスナロは、木理が通直で割裂性・耐水性が高く、加工は容易である。広葉樹のブナ属は、比較的重硬で強度が高く、加工は容易であるが、保存性は低い。クヌギ節、コナラ節、ケヤキ、トネリコ属は、重硬で強度が高く、またケヤキでは耐朽性も高い。モクレン属は、やや軽軟で、加工は容易である。

出土した木製品の器種別種類構成を表 7 に示す。容器では、漆器椀・皿と木器椀がある。漆器椀・皿は、いずれも広葉樹のブナ属が横木地で利用されており、文様や漆塗りによる樹種の違いは認められない。一方、木器椀はモクレン属であり、漆塗りの有無によって樹種が異なる傾向が見られる。ブナ属は、トチノキやケヤキと共に漆器の木地として一般的な種類であり、モクレン属もブナ属等と共に利用される樹種に含まれる。民俗事例では、ブナ属とモクレン属は、加工は容易で、乾燥は難しくて狂いが多いが、大量に入手できることから使用量も多いとされる（橋本 1979）。山形県内では、長表遺跡の漆器椀にブナ属、板橋 2 遺跡の漆器皿にケヤキが確認された例がある（山形埋文 2001a・2004）。

漆器類の漆塗りをみると、下地は全て炭粉を用いている。表面に黒漆が塗布されているようにみえるが、ほとんどが下地の上に透明漆を塗り、下地によって表面が黒色を呈している。なお、RW1071（166）の外側のみ、黒色物質をいれた黒漆によって黒色を呈しており、他の資料とは技法が異なる。四柳（2006）によれば、中世になる

と各地で在地の漆器生産が開始され、材料や工程を大幅に省略した渋下地漆器が出現する。下地には柿渋と炭粉を混ぜたものを使い、漆塗りも 1 ～ 2 回程度の簡素なものとされる。今回の漆器では、柿渋の有無は確認できなかったが、炭粉を用いた下地に漆塗りが 1 回の簡素な漆器が多い。樹種も大量に使用されるブナ属であり、中世になって大量生産された漆器の可能性がある。

食事具では、折敷と蓋がある。木取りに若干の違いが認められるが、いずれも針葉樹のアスナロが利用され、割裂性が高く、板状加工が容易な木材が選択されたことが推定される。

服飾具は、下駄歯が 2 点、下駄が 2 点ある。下駄歯は、いずれも板状を呈しており、ケヤキに同定された。強度・耐朽性を意識した木材選択が推定される。下駄は台と歯を一木で作る連歯下駄で、歯の付け根付近に樹芯があり、台表が板目となる木取りで、形態・木取りは 2 点ともよく似ている。このうち、RW1072（197）は、残存する最外年輪の補正年代が 520±20BP（calAD1,439 ～ 1,617）である。これらの下駄には、針葉樹の複維管束亜属と広葉樹のモクレン属が認められ、材質は多少異なるが、比較的軽い木材を利用していたことが推定される。なお、山形県内の事例をみると、今回の資料の年代測定値よりは古い資料であるが、志戸田縄遺跡の鎌倉時代とされる連歯下駄にケヤキが確認された例がある（汐見・岡田 2001）。

建築部材では、柱根と建築部材がある。柱根は、針葉樹のアスナロ 3 点、広葉樹のトネリコ属 1 点に同定され、耐水性や強度の高い木材が利用されたことが推定される。年代測定結果によれば、RW1045 と RW1047 が 520 ～ 550BP（calAD1,325 ～ 1,425）、RW1046 と RW1059 が 430 ～ 460BP（calAD1,446 ～ 1,616）であり、2 時期に分けられる。RW1045 と RW1047 はアスナロであり、同じ樹種が利用されている。一方、この 2 点よりも新しい時期を示す RW1046 はトネリコ属、RW1059 はアスナロであり、材質の異なる 2 種類が利用されていたことが推定される。時期や建物の構造・性格等によって樹種が異なっていた可能性があり、今後出土状況などとの比較が必要である。なお、山形県内の事例では、中世とされる上浅川遺跡の柱 6 点が全てヒノキ、室町時代前半とされる長表遺跡の柱 2 点がクリとヤナギ属に同定された例がある（米沢市教委 1985、山形埋文 2001）。

その他の木製品は、器種の詳細が不明であるが、板状木製品は円形を呈してものがあり、曲物や桶などの底板・蓋板等の可能性がある。円形板を含む板状木製品では、アスナロを中心とした針葉樹材が利用されており、板状の加工が容易な木材を選択したことが推定される。なお、山形県内では、志戸田縄遺跡の中世とされる曲物の底がスギ、長表遺跡の室町時代前半とされる柄杓底板がアスナロに同定された例がある（汐見・岡田 2001、山形埋文 2001）。桜皮による固定の痕跡がある板状木製品（195）は単維管束亜属の柾目板であり、食事具の折敷とは木取り・樹種が異なる。

棒状木製品や杭では強度・保存性の高い複維管束亜属や強度の高いコナラ節が利用されている。炭化木製品については、クヌギ節が利用されていることから、強度を必要とする用途に利用された可能性がある。

表 7　器種別種類構成

分類群＼器種	容器		食事具		服飾具		建築部材		その他					合計
	漆塗椀 漆器皿	木製椀	折敷	蓋	下駄 （歯）	下駄	柱根	部材	炭化 木製品	板状 木製品	棒状 木製品	杭	木製品	
針葉樹														
複維管束亜属						1					2			3
単維管束亜属								1		2				3
アスナロ			1	1			3			3			1	9
広葉樹														
ブナ属	5													5
クヌギ節									1					1
コナラ節												1		1
ケヤキ					2									2
モクレン属		1				1								2
トネリコ属							1							1
合計	5	1	1	1	2	2	4	1	1	5	2	1	1	27

V 総　括

はじめに

今回の調査では、古墳時代から中世にかけての様々な時代の遺構・遺物が検出された。本章では、各時代における西谷地 b 遺跡の様相を総括する。

古墳時代

古墳時代の遺物は川 SG2699 の最下層付近からまとまって出土しており、確実に古墳時代に開口していた遺構は SG2699 のみと考えられる。出土したのは土師器と黒色土器であり、ともに 5 世紀後半から 6 世紀前半の古墳時代中期末から後期初頭に属するものと考えられる。

SG2699 は調査区の西壁から始まり、SG1 と合流している。ただし、古墳時代においては SG1 はまだ存在せず、SG2699 は両河川の接点部分より北西側の SG1 の流路部分を流れていたと推測される。その後古代に至るまでに東から流れる SG1 が埋没しかけている SG2699 の北半部分の流路を占有し、押し広げ、掘り下げたのであろう。

SG2699 より東側では古墳時代の遺物はほとんど出土しないが、SG2699 の西側である第 3 次調査区（山形埋文 2014）では竪穴建物 ST314 からまとまって出土している。SG2699 の西側に古墳時代の集落が存在していると考えられる。洪水の危険性の少ない湾曲する河川の内側に集落を営んでいたのだろう。なお南接する馳上遺跡（山形埋文 2002）においても竪穴建物などが検出されており、古墳時代の集落が存在していたことがわかっているが、西谷地 b 遺跡よりはやや古い様相を示している。集落の移り変わりを示すものと推察される。

古　代（第 5 図左）

8 世紀初頭に属すると考えられる竪穴建物 ST2582 に始まり、9 世紀後半までの遺構群が検出された。ただし、上記 ST2582 以後は、8 世紀後半まで空白期間が生じている。古代に関する遺構群は調査区南半部に集中しており、南接する馳上遺跡から連続しているものと見て良い。同じ時期の遺物が出土しており、強い類似性がある。

竪穴建物は 22 棟検出された。多くは 8 世紀後半から 9 世紀前半に営まれたものであるが、中には 9 世紀後半の遺物を含む竪穴建物も 2 棟検出された。

9 世紀に入ると掘立柱建物が建てられるようになる。今回の調査では 16 棟が検出された。柱穴からの出土遺物は少ないが、9 世紀後半までの遺物が出土している。ある程度重複する期間はあるものの竪穴建物を主体とする遺構群から掘立柱建物を主体とする遺構群へと移り変わっていく様子が見られる。

掘立柱建物から出土した少数の遺物だけでは時期を判断するのは難しい。たとえ出土遺物があったとしても、出土した位置が掘方の場合と柱の抜き取り痕の場合では、遺構の所属時期が異なることも想定されるため、ここでは大まかな傾向を把握する程度としておきたい。

建物の中心軸を用いて掘立柱建物群を 3 分類すると、軸がやや西へ傾く建物が SB2893・3021・3157・3260・3258・3259・3262・3286・3263・3294・3388 の 11 棟、軸がほぼ真北を向く建物が SB3010・3261・3295 の 3 棟、軸が大きく傾く建物は SB3132・3135 の 2 棟に分けられる。なお SB3010 と 3135 の柱穴には重複関係があり、SB3135 が古いことがわかっている。

SB3294 からは 9 世紀前半の、SB3010 からは 9 世紀後半の遺物が出土している。掘立柱建物群が存続する 9 世紀代を大まかに二分すれば、SB3294 を含む軸がやや西へ傾く建物群が 9 世紀前半、SB3010 を含む軸がほぼ真北を向く建物群が 9 世紀後半に属すると推察できる。軸が大きく傾く建物群は、柱穴の重複関係により軸がほぼ真北を向く建物群よりは古い段階に入るであろう。あるいは 9 世紀前半に入ることも予想される。あくまで建物の軸が同時期においては統一されているという前提が付くものの、出土遺物においては上記の変遷案に矛盾するものはなかった。

竪穴建物 ST2827 の覆土から官人の存在をうかがわせる石製巡方が出土し、同じ場所に掘立柱建物 SB3262・3286 が並んで建てられたことは、遺跡の性格を考える上で重要なことと考えている。竪穴建物を中心とした 8 世紀の集落から、掘立柱建物を中心とし中には倉庫とみられる総柱建物を含む 9 世紀の建物群へと移り変わる。南接す

る馳上遺跡からは 9 世紀の所産とされる呪符木簡なども出土している。また、人工的な船着場の可能性がある遺構が検出されており、舟運による物資運搬の集積地とも推測されている（山形埋文 2002）。馳上遺跡と一体としてとらえられる西谷地 b 遺跡の 9 世紀代においても、それらに関連する何らかの施設が存在していたと考えられよう。つまり竪穴建物を中心とする一般的な集落から、官衙に付帯する施設へと遺跡の性格が変容したものと考えられる。

中　世（第 5 図右）

近世以降の遺物が出土した遺構は SK2343（陶器壺 138）のみであり、検出した遺構の大半は中世以前に属すると考えられる。

中世の中でも古いものには 12 ～ 13 世紀の白磁壺や 13 世紀頃の青磁碗、13 ～ 14 世紀の瓷器系陶器などがある。ただしこれらの遺物が出土している遺構からは、同時に 16 世紀後半の内耳土鍋などが出土している。また、16 世紀後半の遺物を含む遺構を切り込んでいる遺構から出土していることが多い。よって、白磁壺や青磁碗、瓷器系陶器は、より新しい時期の遺構に混入したものと考えられる。なお白磁や青磁などは当時でも貴重品であるため伝世品と考えることができよう。瓷器系陶器については、日常的に使用されたと考えられるため伝世はしにくい遺物である。瓷器系陶器が最新の出土遺物である遺構には、溝 SD306・796 がある。ほかにも遺物の出土していない遺構などで同時代のものが少なからず存在すると推察される。13 ～ 14 世紀においてもわずかながら人々の営みが存在したことを示している。

本遺跡において検出された主要な区画溝からは、16 世紀後半の遺物が出土している。また、溝の上層は埋め立てによる覆土である場合がほとんどであった。溝の下層と上層に遺物の違いは見当たらないため、16 世紀後半という短期間の内に掘り込まれ、そして埋め戻されたと考えられる。

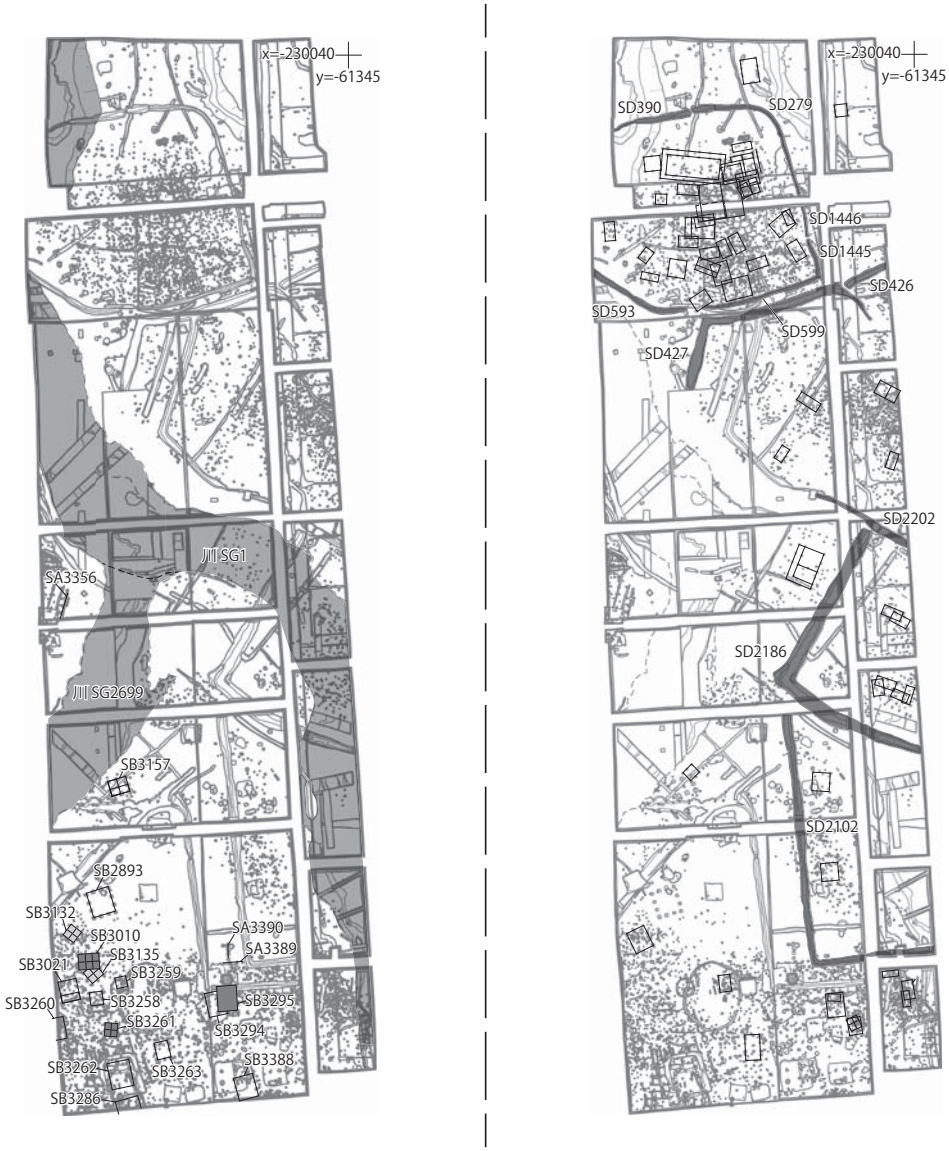
調査区北端の屋敷地の南辺の区画溝 SD599 からは内耳土鍋が出土している。SD599 に平行し、かつ重複しない区画溝 SD426・427 も同時に開口していたと見られる。調査区中央部で内耳土鍋が出土した SD2202、これと直角の方向で重複しない溝 SD2186 も同時併存は可能である。また SD2186 と方角は異なるが南側に近接し、かつ重複しない溝 SD2102 も同様である。これらの区画溝の組み合わせが中世における最終段階の様相と想定できる。調査区北端と南端では、軸がやや西へ傾く区画溝が、中央部では大きく東へ傾く区画溝が掘り込まれた。地形などの制約により方向が変わっていくものと考えられる。

これら最終段階の区画溝より古い段階の溝も多く検出されており、幾度か区画の変更が行われていた様子が見て取れる。掘立柱建物や、焼成遺構、土坑などもこれらの区画溝内に多数設置されているが、それらの前後関係などは出土遺物が少ないこともあり、判然としない。

天文 17 年（1548 年）に伊達家 15 代の晴宗が本拠地を米沢に移している。本遺跡の区画溝からも瓦質擂鉢や内耳土鍋、三引両文漆器などの伊達氏の領国内に特徴的な遺物群（高桑 2003）が出土した。本拠地の移動に伴い本遺跡周辺が新たに開発され、屋敷地や区画溝が設けられたものと考えられる。伊達家の家臣、あるいはその関係者の住まいが存在したのだろう。さらに天正 19 年（1591 年）、17 代政宗の時には、豊臣秀吉による奥州仕置により、米沢を離れ岩出山城へ転封となっている。遺構内から出土した遺物は 16 世紀後半までのものにほぼ限られていおり、本遺跡周辺の居住者も政宗と伴に米沢を後にしたと考えられる。区画溝などは、大半が埋め立てられた状態であるが、伊達氏が米沢を離れるときに行ったのか、あるいはその後に米沢に入った蒲生氏郷、続く上杉景勝であったか定かでない。ただし、埋め立てた土層から出土した遺物は内耳土鍋などの伊達氏に関するものが主体であり、やはり伊達氏が行ったと考えたほうが可能性は高そうである。17 世紀以降の遺物は少なく、まもなく田畑に変わったものと言えよう。中世における西谷地 b 遺跡は、16 世紀後半に大規模な開発が始まり 17 世紀に入る前に開発者の意図しない形で廃絶されたものと考えられる。

ま と め

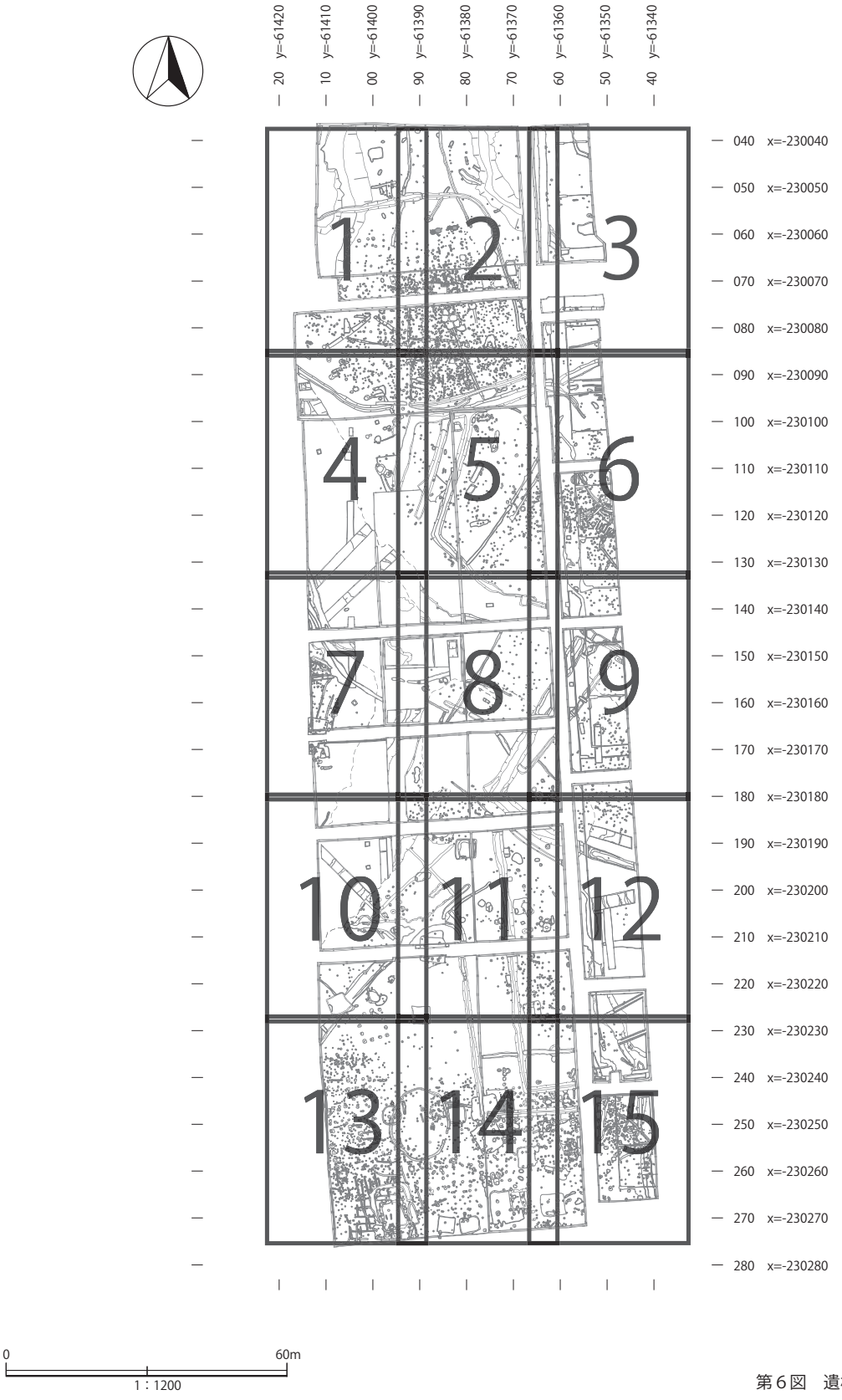
西谷地 b 遺跡と南側の馳上遺跡で行われた大規模な発掘調査により、当該地域の古墳時代から中世までの様相が少しづつ明らかになってきた。今後はこれらの調査成果を総合的に分析し、より具体的な地域史として結像させて行かなくてはならないだろう。



第 5 図　遺構変遷図（左：古代，右：中世）

引用・参考文献

伊東隆夫　1995 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅰ」『木材研究・資料 31』 p.81 ～ 181　京都大学木質科学研究所
伊東隆夫　1996 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅱ」『木材研究・資料 32』 p.66 ～ 176　京都大学木質科学研究所
伊東隆夫　1997 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅲ」『木材研究・資料 33』 p.83 ～ 201　京都大学木質科学研究所
伊東隆夫　1998 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅳ」『木材研究・資料 34』 p.30 ～ 166　京都大学木質科学研究所
伊東隆夫　1999 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅴ」『木材研究・資料 35』 p.47 ～ 216　京都大学木質科学研究所
井上雅孝　2006 「古代鉄製祭祀具から見た蝦夷の信仰と儀礼－錫杖・三鈷鐃・鉄鐸・錫杖状鉄製品－」『立正史学』 第 99 号　立正大学史学会
柏倉亮吉・伊藤忍　1970 『平野山古窯跡群－山形県における古代窯業遺跡の研究－』寒河江市教育委員会
公益財団法人山形県埋蔵文化財センター　2014 『馳上遺跡第 5 次 西谷地 b 遺跡第 3 次発掘調査報告書』（山形県埋蔵文化財センター調査報告書第 210 集）
汐見真・岡田文男　2001 「山形県志戸田縄遺跡出土木製品の樹種調査結果（1）・（2）」『志戸田縄遺跡第 2・3 次発掘調査報告書』（山形県埋蔵文化財センター調査報告書第 92 集）p.2 ～ 16
島地謙・伊東隆夫　1982 『図説木材組織』 地球社
財団法人山形県埋蔵文化財センター　1997a 『荒川 2 遺跡』（山形県埋蔵文化財センター調査報告書第 43 集）
財団法人山形県埋蔵文化財センター　1997b 『西町田下遺跡』（山形県埋蔵文化財センター調査報告書第 44 集）
財団法人山形県埋蔵文化財センター　2001a 『長表遺跡発掘調査報告書』（山形県埋蔵文化財センター調査報告書第 87 集）
財団法人山形県埋蔵文化財センター　2001b 『三条遺跡第 2・3 次発掘調査報告書』山形県埋蔵文化財センター　調査報告書第 93 集
財団法人山形県埋蔵文化財センター　2002 『馳上遺跡発掘調査報告書』（山形県埋蔵文化財センター調査報告書第 101 集）
財団法人山形県埋蔵文化財センター　2004 『板橋 1 遺跡第 2 次発掘調査報告書・板橋 2 遺跡第 2 ～ 4 次発掘調査報告書』（山形県埋蔵文化財センター調査報告書第 125 集）
財団法人山形県埋蔵文化財センター　2007a 『大塚遺跡･西中上遺跡発掘調査報告書』(山形県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第 158 集）
財団法人山形県埋蔵文化財センター　2007b 『上敷免遺跡発掘調査報告書』（山形県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第 159 集）
須賀川市教育委員会　2011 『上人壇廃寺跡』（須賀川市文化財調査報告書第 59 集）
髙桑登　2003 「奥羽南半における「伊達氏系遺物」の分布について」『山形県埋蔵文化財センター研究紀要　創刊号』
田中広明　2002 「腰帯具の変遷と諸問題」『銙帯をめぐる諸問題』奈良文化財研究所
東北芸術工科大学考古学研究室　2004 『高安窯跡群 B 地区第 2 次発掘調査報告書』東北芸術工科大学考古学　研究報告第 3 冊
橋本鉄男　1979 「ろくろ」『ものと人間の文化史 31』 法政大学出版局
八幡原中核工業団地内遺跡調査団　1975 『米沢市八幡原中核工業団地造成予定地内埋蔵文化財調査報告書　第 1 集』 米沢市教育委員会・地域振興整備公団
八幡原中核工業団地内遺跡調査団　1976 『米沢市八幡原中核工業団地造成予定地内埋蔵文化財調査報告書　第 2 集』 米沢市教育委員会・地域振興整備公団
林昭三　1991 『日本産木材　顕微鏡写真集』 京都大学木質科学研究所
福井県教育庁埋蔵文化財センター　1987 『六条・和田地区遺跡群』（福井県埋蔵文化財調査報告第 11 集）
福島市教育委員会　1999 『西原廃寺跡 2』（福島市埋蔵文化財報告書第 128 集）
南相馬市教育委員会 2014 「横手廃寺跡第 1 次調査の概要」『第 40 回古代城柵官衙遺跡検討会－資料集－』
四柳嘉章　2006 「漆」『Ⅰ．ものと人間の文化史 131I』法政大学出版局
山形県　1982 『山形県史　第一巻　原始・古代・中世編』
山形県教育委員会　1995 『山形県中世城館遺跡調査報告書　第 1 集（置賜地域）』
米沢市教育委員会　1981 『笹原遺跡発掘調査報告書』（米沢市埋蔵文化財調査報告書第 7 集）
米沢市教育委員会　1983a 『米沢市万世町桑山団地造成地内埋蔵文化財調査報告書　第Ⅱ集二タ俣 A　遺跡・八幡堂遺跡』（米沢市埋蔵文化財調査報告書第 8 集）
米沢市教育委員会　1983b 『戸塚山第 137 号墳発掘調査報告書　戸塚山古墳群調査報告書第Ⅰ集』(米沢市埋蔵文化財調査報告書第９集）
米沢市教育委員会　1985 『上浅川 1 次・2 次調査報告書』（米沢市埋蔵文化財調査報告書第 14 集）
米沢市教育委員会　1984 『戸塚山古墳群詳細分布調査報告書』（米沢市埋蔵文化財調査報告書第 10 集）
米沢市教育委員会　1987 『木和田館跡第 1 次発掘調査報告書』（米沢市埋蔵文化財調査報告書第 20 集）
米沢市教育委員会　1988 『比丘尼平遺跡発掘調査報告書（米沢市埋蔵文化財調査報告書第 21 集）
米沢市教育委員会　1992 『大浦 C 遺跡発掘調査報告書』（米沢市埋蔵文化財調査報告書第 33 集）
米沢市教育委員会　1993 『大浦 B 遺跡発掘調査報告書』（米沢市埋蔵文化財調査報告書第 36 集）
米沢市教育委員会　1996 『一ノ坂遺跡発掘調査報告書』（米沢市埋蔵文化財調査報告書第 53 集）
米沢市教育委員会　1997 『台ノ上遺跡発掘調査報告書』（米沢市埋蔵文化財調査報告書第 55 集）
米沢市教育委員会　1998 『大神窯跡発掘調査報告書』（米沢市埋蔵文化財調査報告書第 57 集）
米沢市教育委員会　1999 『舘山城跡測量調査報告書』（米沢市埋蔵文化財調査報告書第 66 集）
米沢市教育委員会　2000 『米沢城東二の丸跡発掘調査報告書』（米沢市埋蔵文化財調査報告書第 68 集）
米沢市教育委員会　2001 『古志田東遺跡』（米沢市埋蔵文化財調査報告書第 73 集）
米沢市教育委員会　2002 『舘山北館跡発掘調査報告書』（米沢市埋蔵文化財調査報告書第 79 集）
Richter H.G.,Grosser D.,Heinz I. and Gasson P.E.（編） 2006 『針葉樹材の識別　IAWA による光学顕微鏡的特徴リスト』 伊東隆夫・藤井智之・佐野雄三・安部久・内海泰弘（日本語版監修）海青社 [Richter H.G.,Grosser D.,Heinz I. and Gasson P.E.　2004　IAWA List of Microscopic Features for Softwood Identification].
Wheeler E.A.,Bass P. and Gasson P.E.（編） 1998 『広葉樹材の識別　IAWA による光学顕微鏡的特徴リスト』伊東隆夫・藤井智之・佐伯浩（日本語版監修）海青社 [Wheeler E.A.,Bass P. and Gasson P.E.　1989　IAWA List of Microscopic Features for Hardwood Identification].



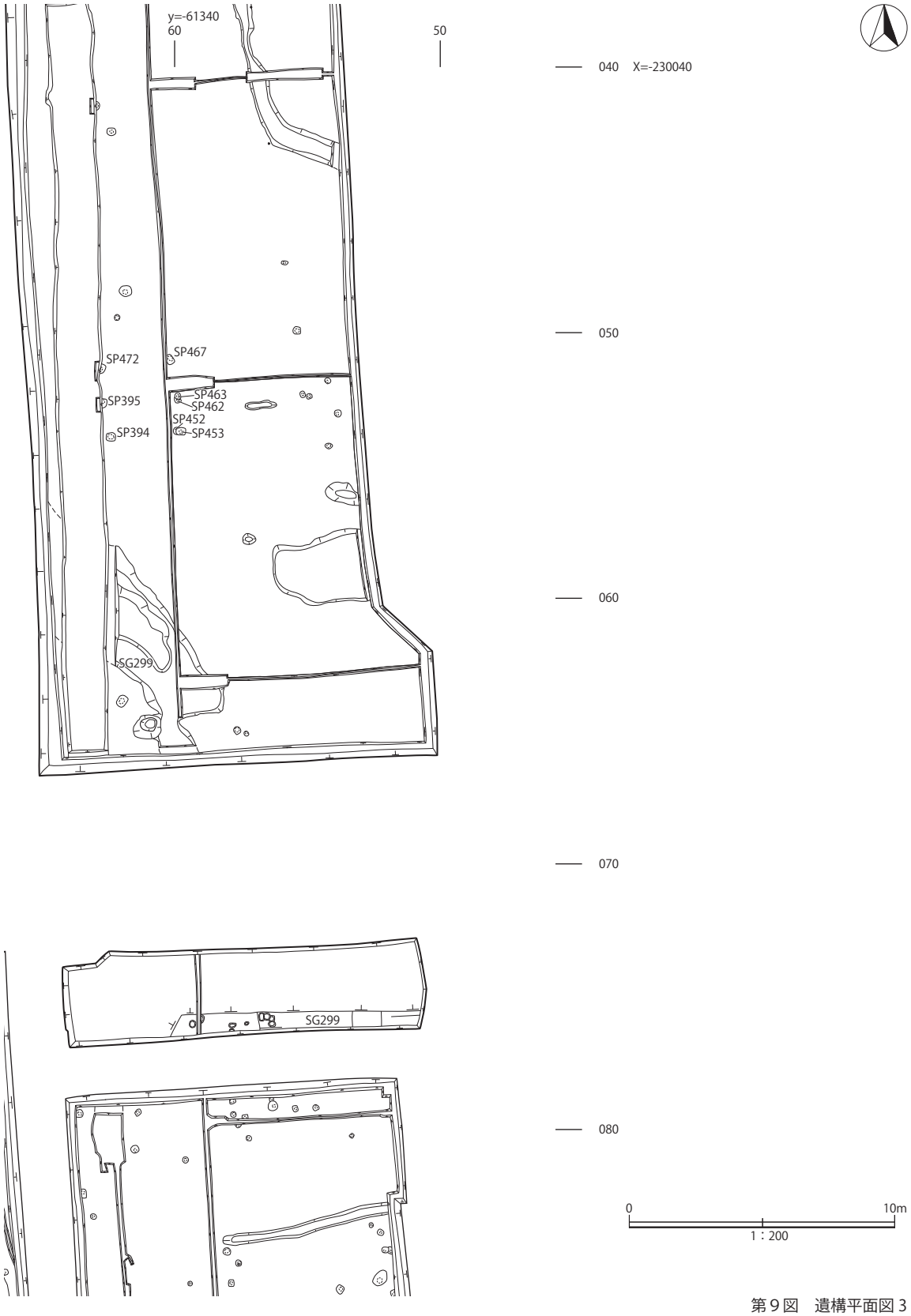
第６図　遺構平面図の割付

y=-61420
20
x=-230040
040
050
060
070
080
10
00
90
SG 1
SD113
SK399
SD397
SK313
SK318
SP398
SD279
SD390
SK311
SD113
SK369
SL370
SP18
SP249
SP15
SP23
SP22
SP38
SP52
SP73
SP74
SP86
SP14
SP25
SP39
SP53
SP75
SP87
SP3
SP13
SP368
SG 1
SP367
SP10
SP365
SP2
SP8
SP6
SP27
SP34
SP62
SP83
SP102
SP364
SP5
SP32
SP2611
SP2604
SK2802
SK2602
SK2615
0
10m
1：200
SD1885
SK1902
SD476
SD1313
SK506
SD1827
SL1892
SK1919
SD1953
SD2000
SP507
SP1859
SD1881
SD1903
SL500
SK682

第７図　遺構平面図１

y=-61390
90
80
70
x=-230040
040
050
060
070
080
SK374
SP355
SP354
SP356
SP353
SD306
SK357
SP446
SG299
SP352
SD113
SP350
SP349
SP351
SG299
SP472
SP395
SP394
SD279
SD117
SD306
SK429
SD113
SL237
SL236
SK473
SD279
SG299
SP73
SP194
SP438
SP439
SP74
SP86
SP144
SP149
SP211
SP143
SP150
SP440
SP441
SP193
SP240
SP142
SP173
SP239
SP75
SP87
SP141
SP151
SP442
SP222
SP140
SP443
SP190
SP123
SP139
SP160
SP444
SP223
SP224
SP106
SP137
SP172
SP225
SP161
SK205
SK221
SP163
SP164
SP171
SP157
SP156
SP437
SP196
SP195
SP102
SP119
SP167
SP83
SP230
SP246
SP158
SP165
SK269
SP2611
SD2807
SP2606
SK2801
SP2609
SP2604
SK2802
SK2610
SK3257
SK2804
SK2803
SK2805
SK2615
SP1654
SK1655
SK1695
SK1459
SD1446
SK1492
SK937
SK936
SP1026
SK935
SP894
SK938
SD1313
SK934
SD1827
SQ1000
SD1445
SP1859
SK852
SD1370
SD1881
SK1014
SP1408
SK682

第８図　遺構平面図２


y=-61340
60
50
040 X=-230040
050
060
070
080
SP472
SP467
SP395
SP463
SP462
SP452
SP394
SP453
SG299
SG299
0
10m
1：200

第９図　遺構平面図３

SD1903
SK1904
SL1907
SL1905
SL1906
SL1934
SL500
SD1881
SK721
SP745
SK720
SD631
SD1272
SL1954
SK1271
SK2019
SG 1
SD1212
SD593
SD1273
SD599
SD796
SK3070
SK3069
SK3239
SK3071
SK3067
SK3068
SD427
ST2877
SK2875
SK2874
SD2873
SG 1
SP2772
x=-230090
090
100
110
120
130
20
y=-61420
10
00
90

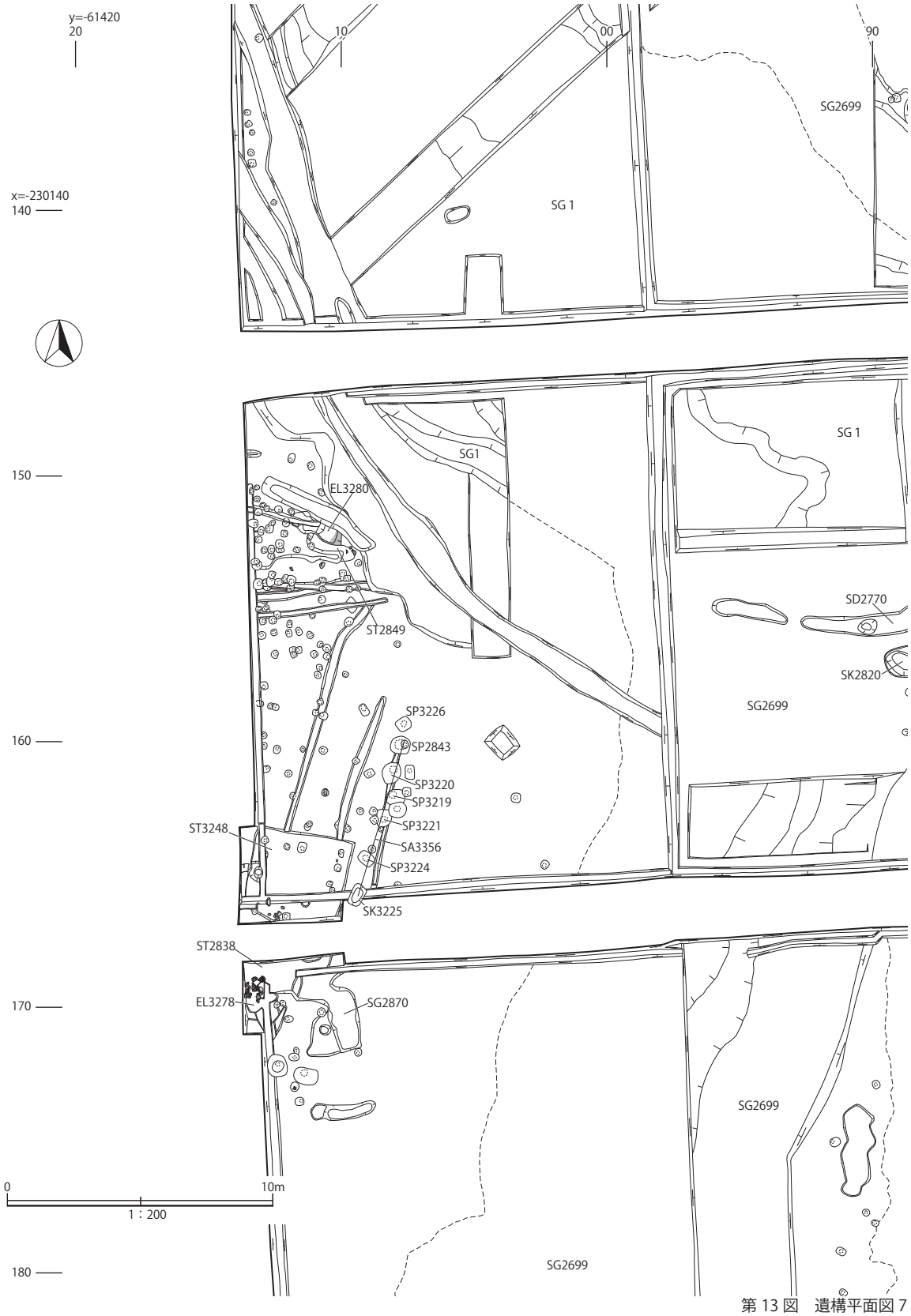
第 10 図　遺構平面図 4

SD1445
SP1858
SK690
SK1219
SK606
SP745
SP2007
SK721
SD1881
SP1672
SP598
SK1143
SD939
SK720
x=-230090
090
SK1390
SD599
SD427
SD796
SD2407
SD427
SK2408
100
SK2437
SL2414
SK2455
SK2421
SD2418
SK2427
SP2472
SK2428
SD427
SK3238
SK3237
110
SK2415
SD2773
SD2409
ST2876
SK2420
SD2410
SP2772
SK2416
120
SD2418
SD2422
130
SD2422
90
y=-61390
80
70

第 11 図　遺構平面図 5

y=-61360
60
50
SD1445
SD426
090 x=-230090
SD2014
SD2015
SD2016
SD427
100
SD2409
110
SK2334
SD2410
SD2359
SP2473
SP2366
SG2336
SP2443
SK2465
SG2336
SK2357
SG2336
120
SD2356
SK2358
SK2361
SD2203
SP2461
0
10m
1：200
SK2363
SD2203
130
SK2400

第 12 図　遺構平面図 6


y=-61420
20
x=-230140
140
150
160
170
180
10
00
90
SG2699
SG 1
SG1
EL3280
ST2849
SD2770
SK2820
SP3226
SP2843
SP3220
SP3219
SP3221
SA3356
SP3224
ST3248
SK3225
ST2838
EL3278
SG2870
0
10m
1：200

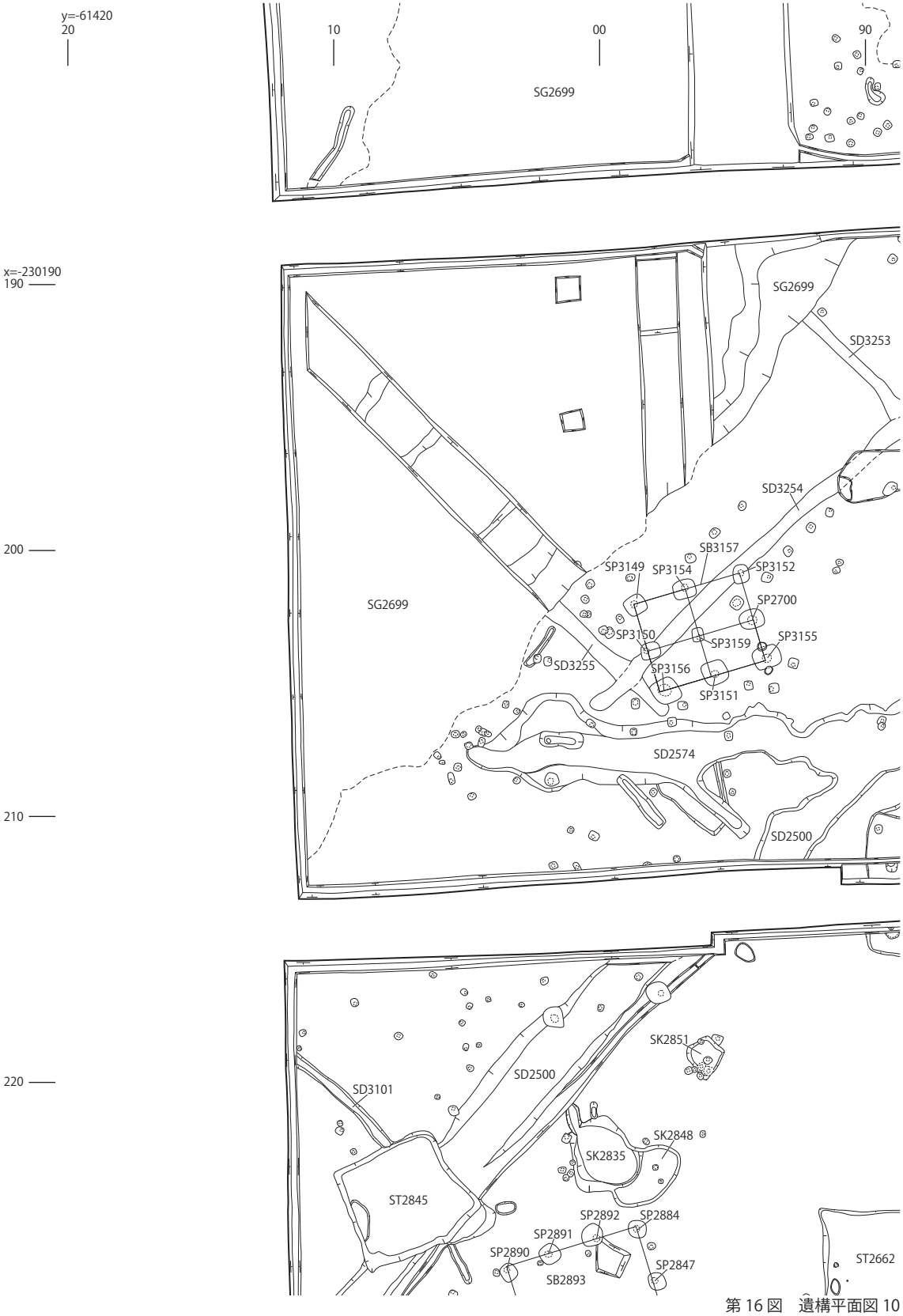
第 13 図　遺構平面図 7

y=-61390
90
80
70
SG2699
SD2418
SP2468
SD3290
SK3282
SD2202
x=-230140
140
SG 1
150
SD2318
SG 1
SD2770
SK2771
SK2820
SD2339
SG2699
SD2823
SD2769
SL2321
160
SD2186
SD2191
SD2822
SD2318
170
SD2191
SG2699
SD2193
SD2186
SK2199
SD2273
SK2198
SK2197
SP2404
SK2195
180
SK2196

第 14 図　遺構平面図 8

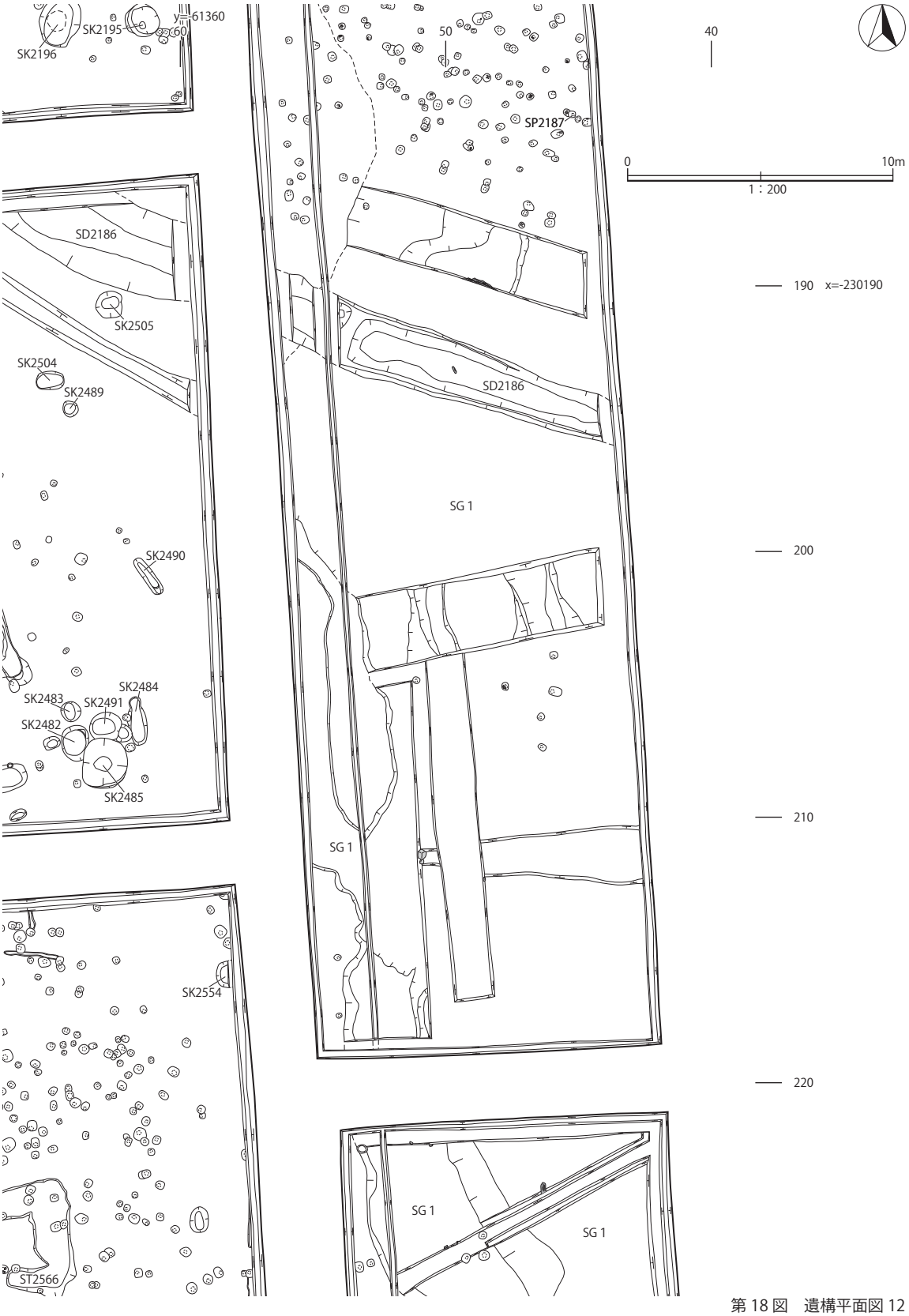
y=-61360
60
50
SK2365
SD2202
140 x=-230140
SD2251
SD2202
SD2186
SD2250
SD2201
150
SG 1
SD2191
SD2186
160
SG 1
SP2392
SP2393
SP2382
170
SD2191
SD2193
SK2199
SK2198
SK2197
SP2404
SK2196
SK2195
SG 1
180
0
10m
1：200

第 15 図　遺構平面図 9



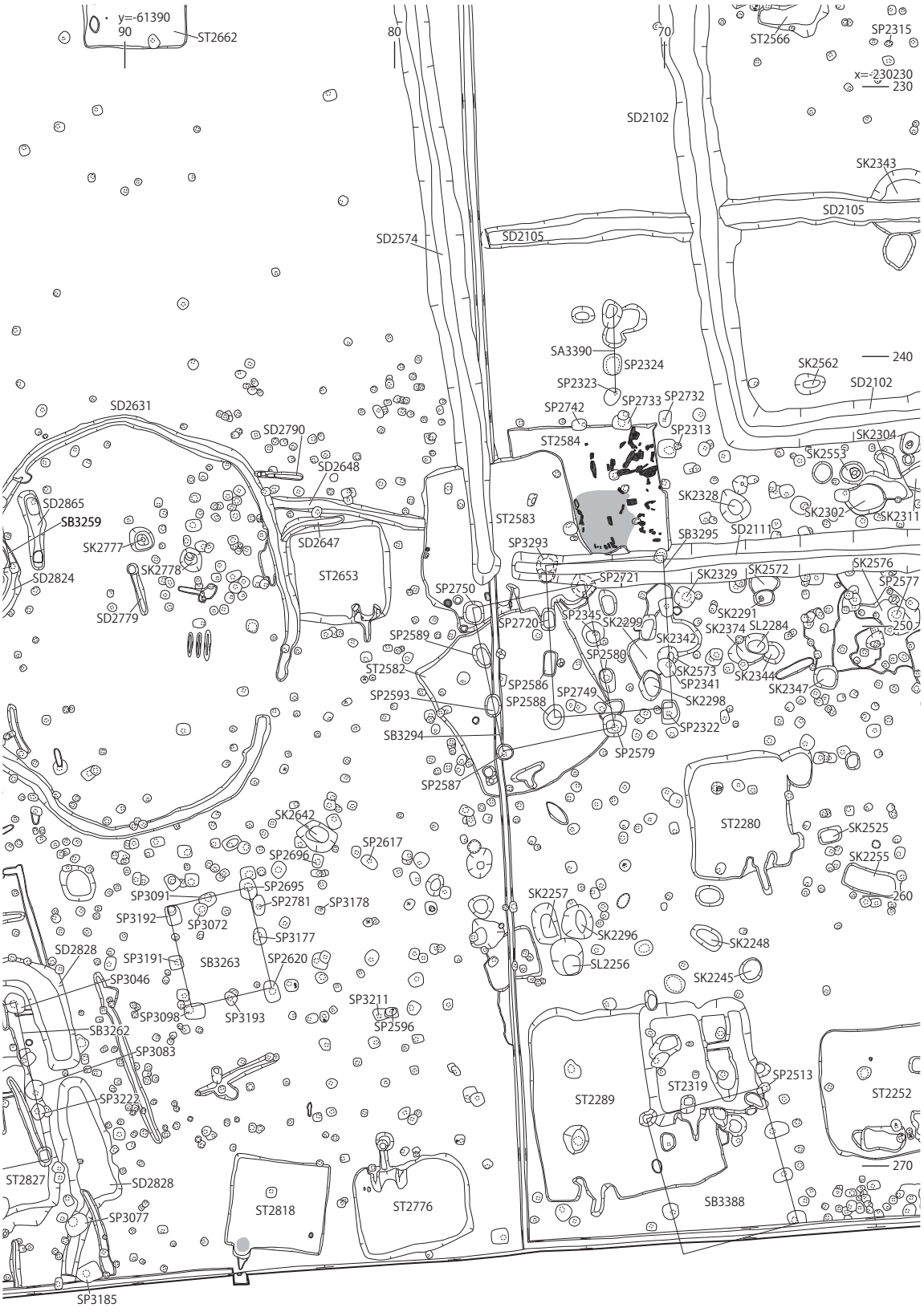
第 16 図　遺構平面図 10

第 17 図　遺構平面図 11

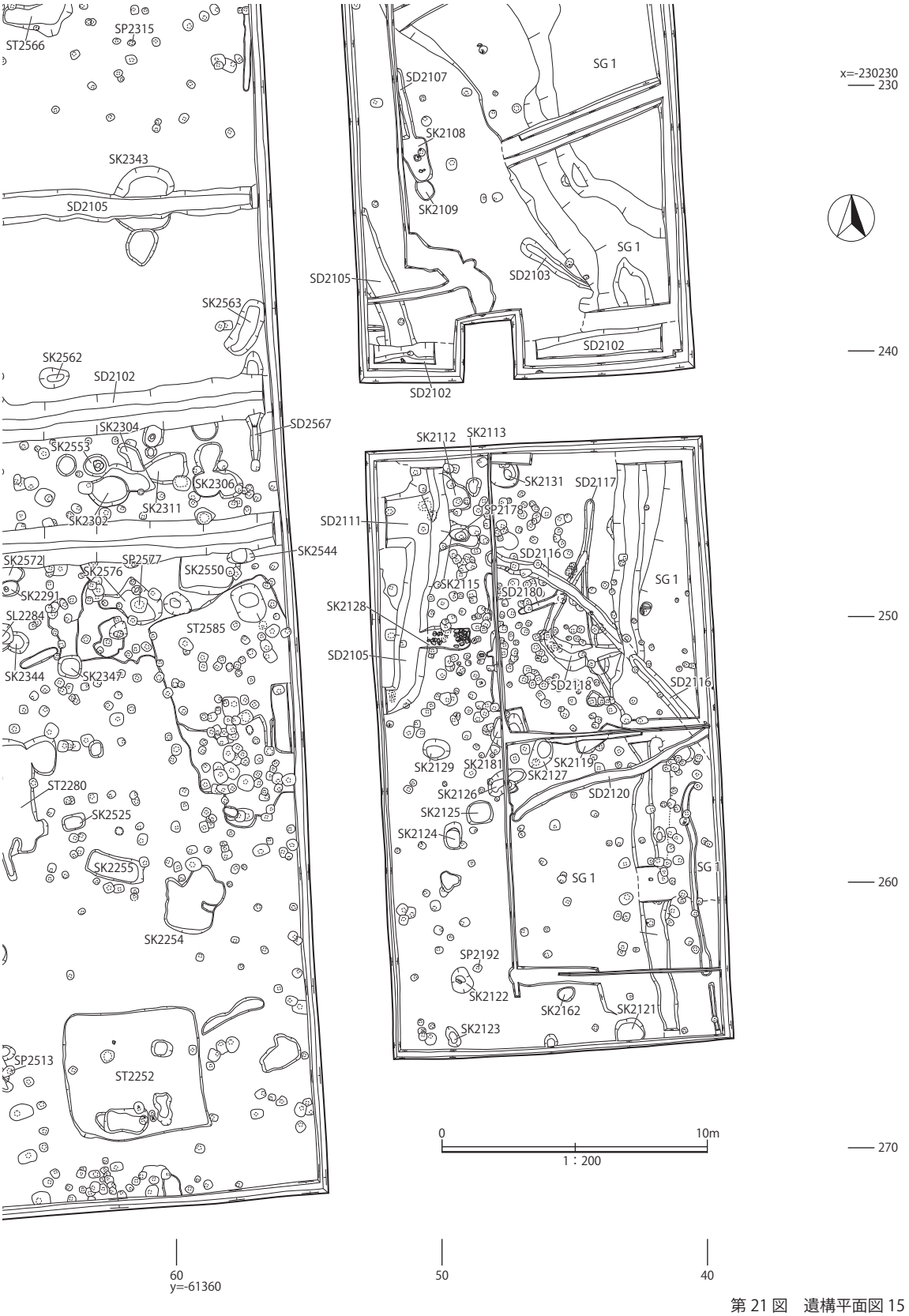


第 18 図　遺構平面図 12

第 19 図　遺構平面図 13

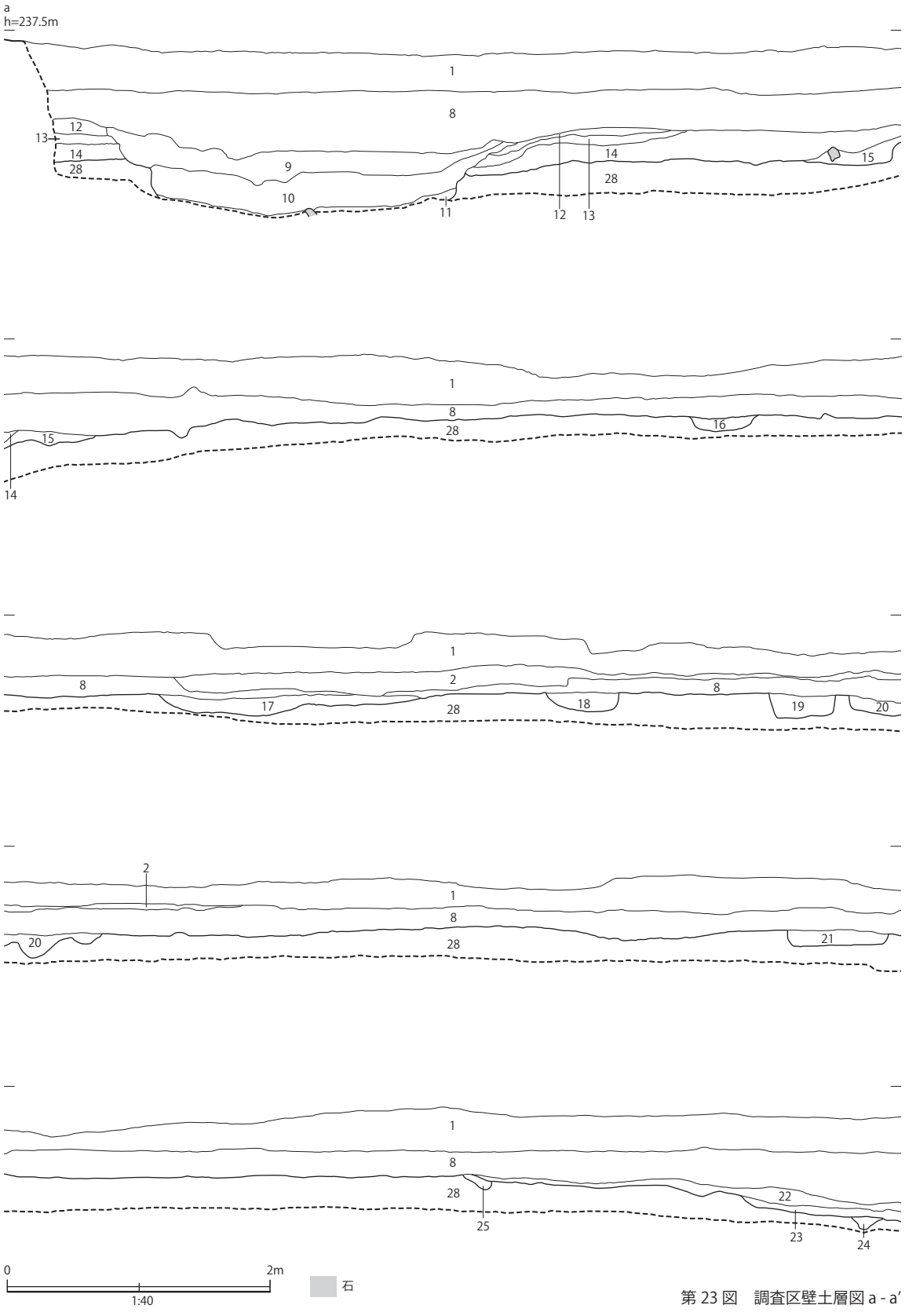


第 20 図　遺構平面図 14

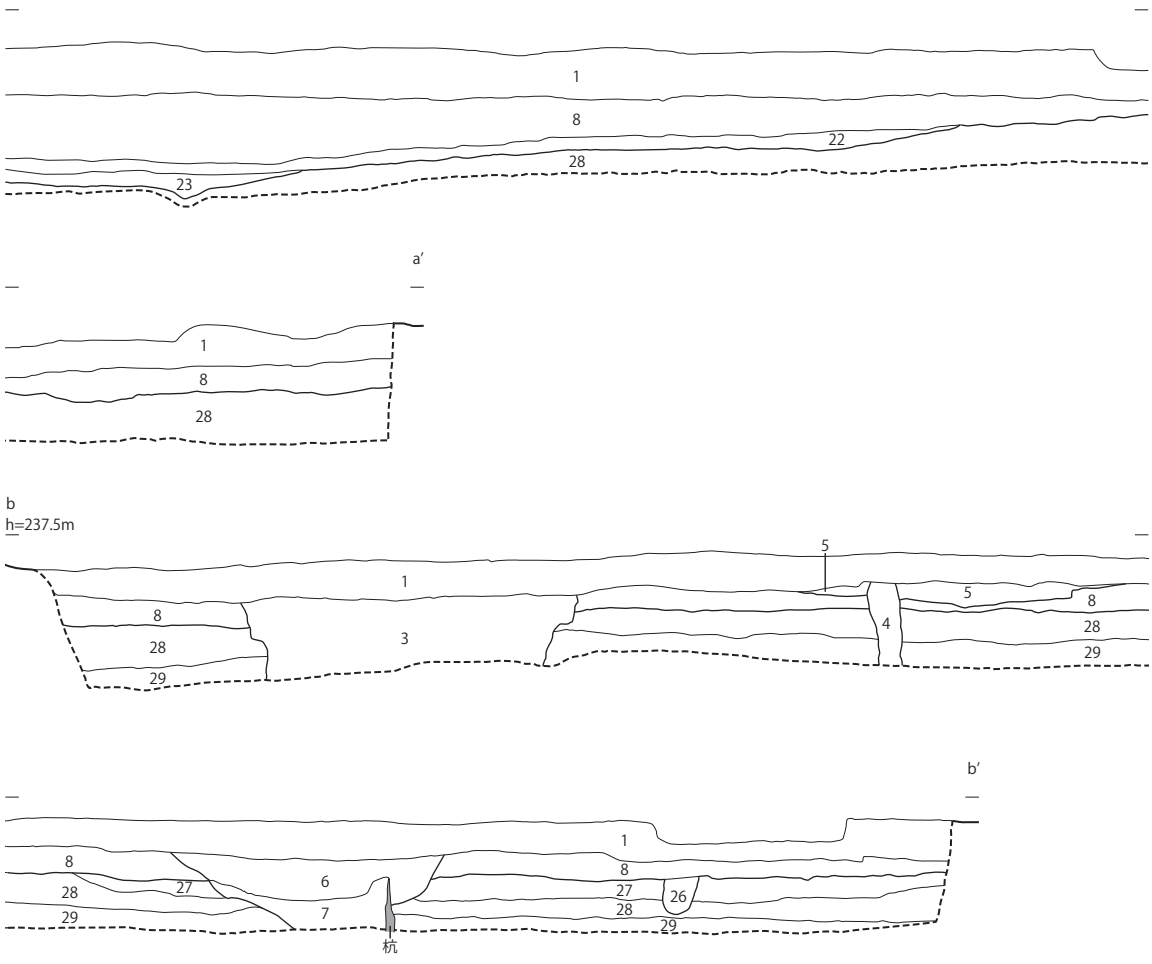


第 21 図　遺構平面図 15

第 22 図　調査区壁土層図のセクションポイント配置図



第 23 図　調査区壁土層図 a - a′

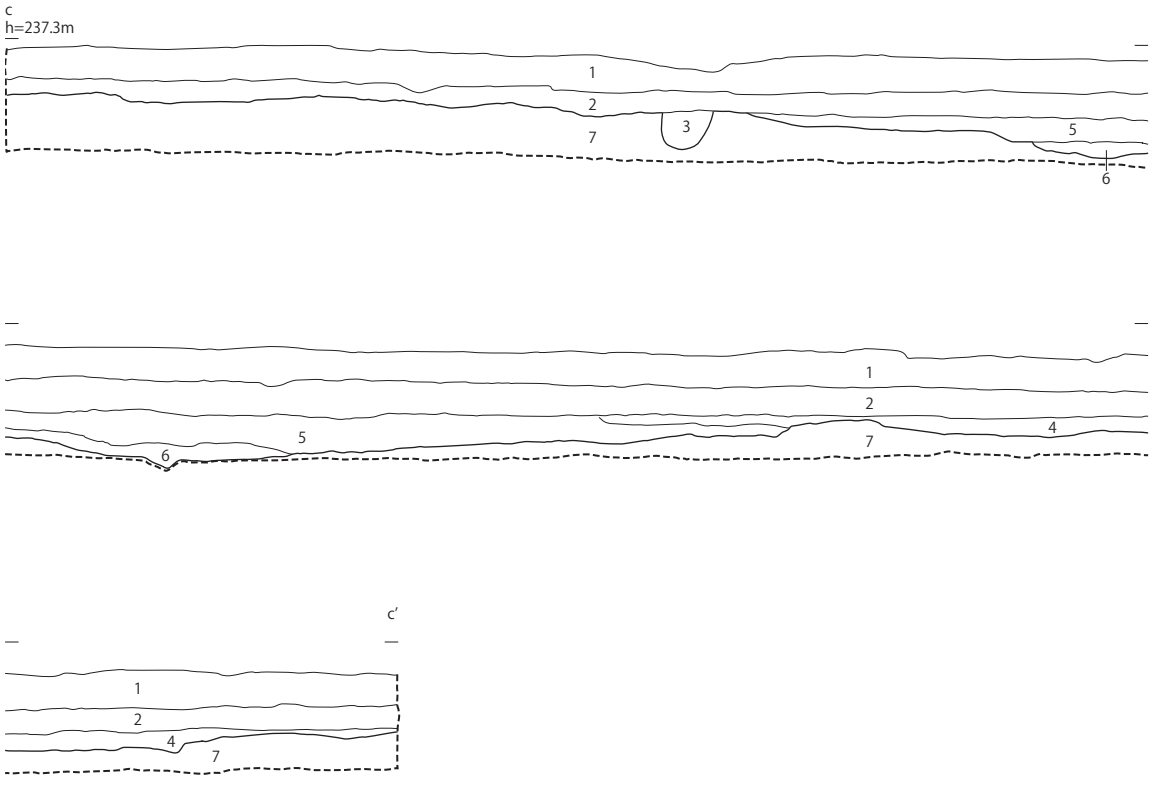


調査区壁土層図：a - a′，b - b′

1 10YR4/4 褐色シルト，以下 2 層まで表土
2 10YR3/3 暗褐色シルト
3 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，10YR3/1 黒褐色シルトを少し含む，石・小石を含む，以下 7 層まで撹乱
4 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルト・10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む
5 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，石・小石を含む
6 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを少し含む
7 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色砂を少し含む
8 10YR3/2 黒褐色シルト，表土
9 10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色砂を含む，以下 15 層まで SG1
10 10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色砂を少し含む
11 10YR3/2 黒褐色砂
12 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む
13 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む
14 10YR4/2 灰黄褐色シルト
15 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む
16 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルト・10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，土坑
17 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，窪地状
18 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，ピット
19 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，SD133
20 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，土坑
21 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，SD306
22 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR2/1 黒色シルト・10YR3/2 黒褐色シルトを含む，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下 23 層まで SG299
23 10YR2/1 黒色シルト
24 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを含む，以下 26 層までピット
25 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む
26 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む
27 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む，以下地山
28 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む
29 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む

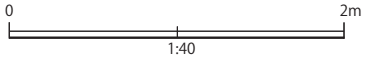
0　2m
1:40

第 24 図　調査区壁土層図 a - a′ ,b - b′

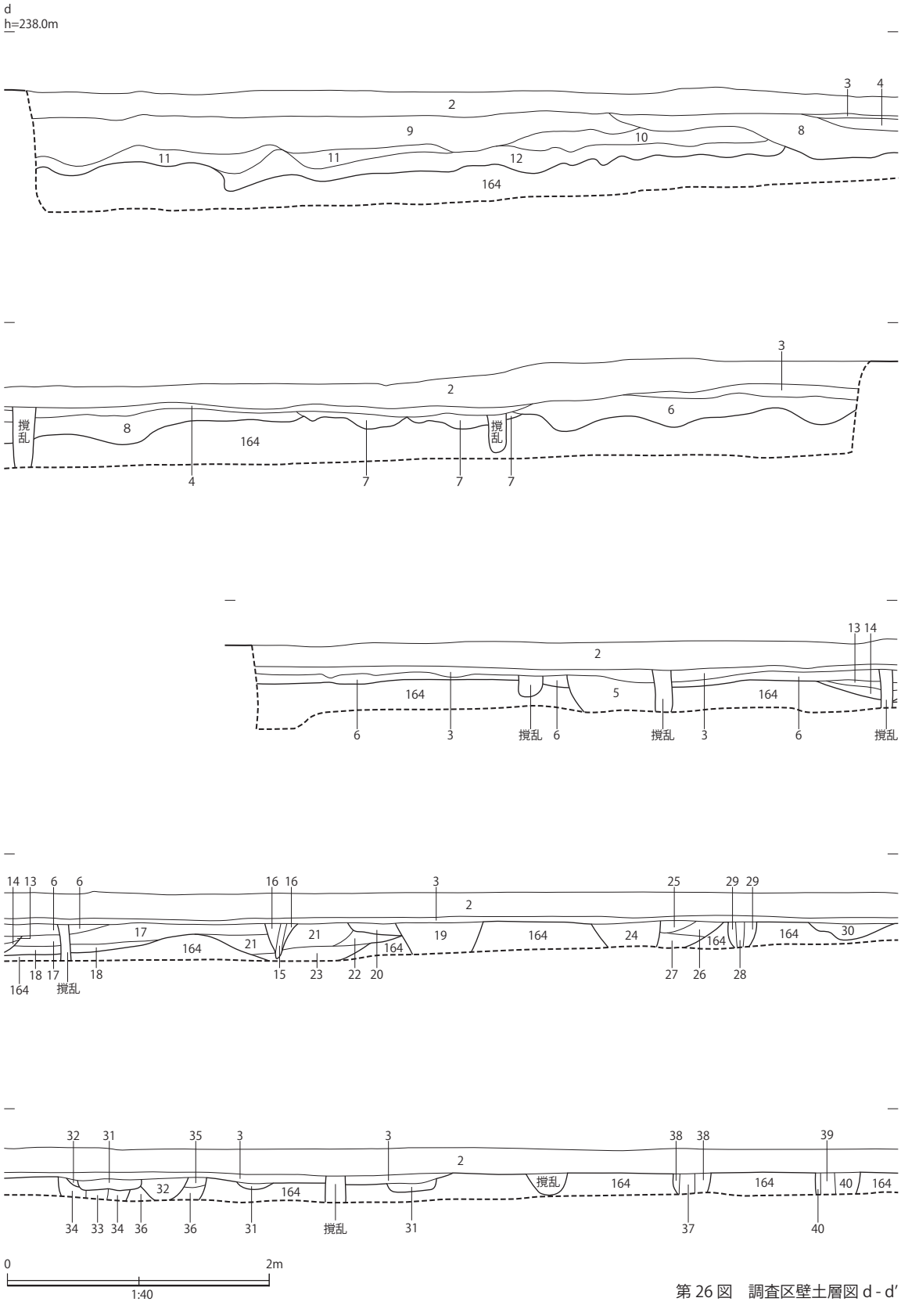


調査区壁土層図：c - c′

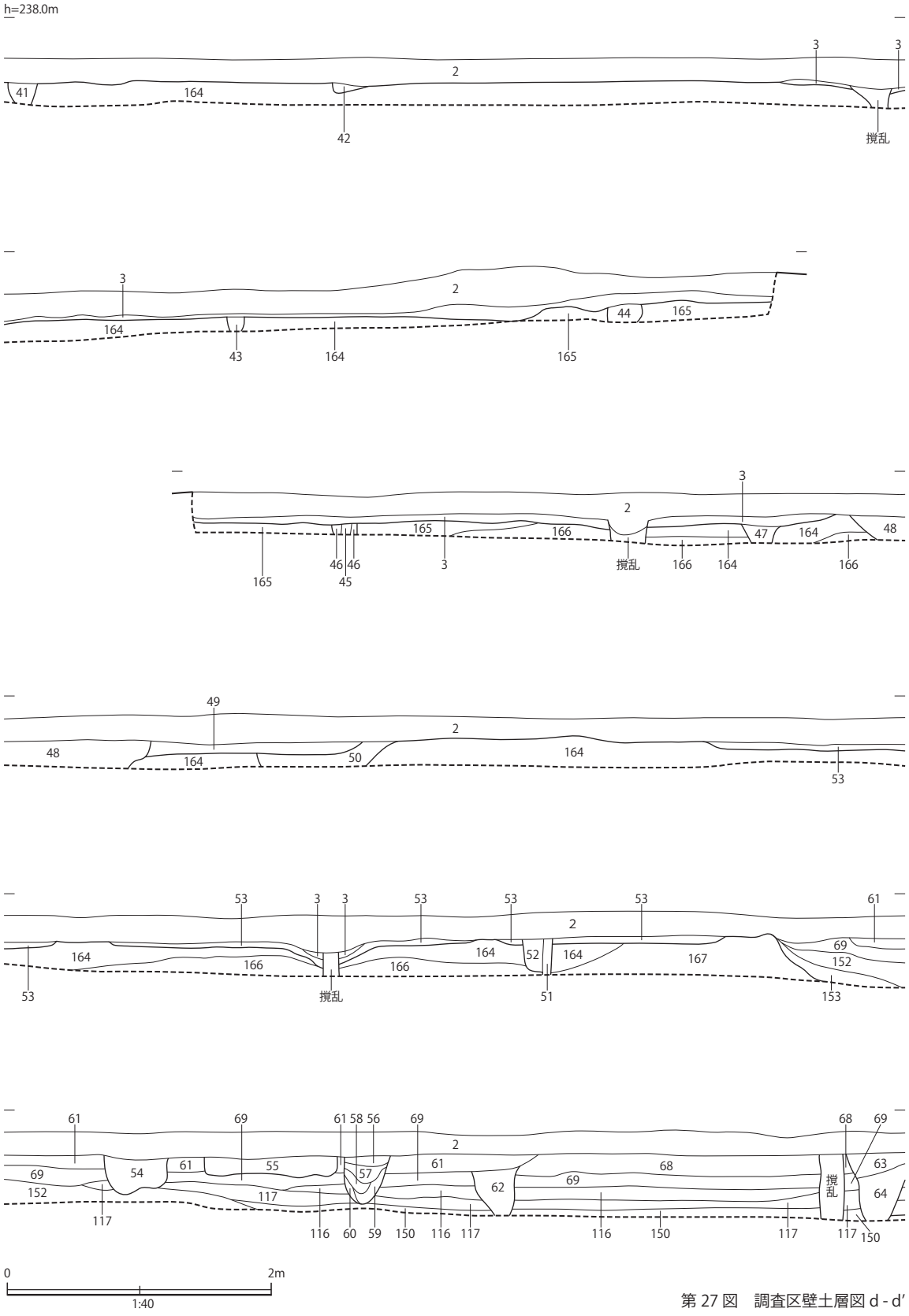
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，以下 2 層まで表土
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む
3　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，ピット
4　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを含む，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下 6 層まで SG299
5　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを含む
6　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む
7　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，地山



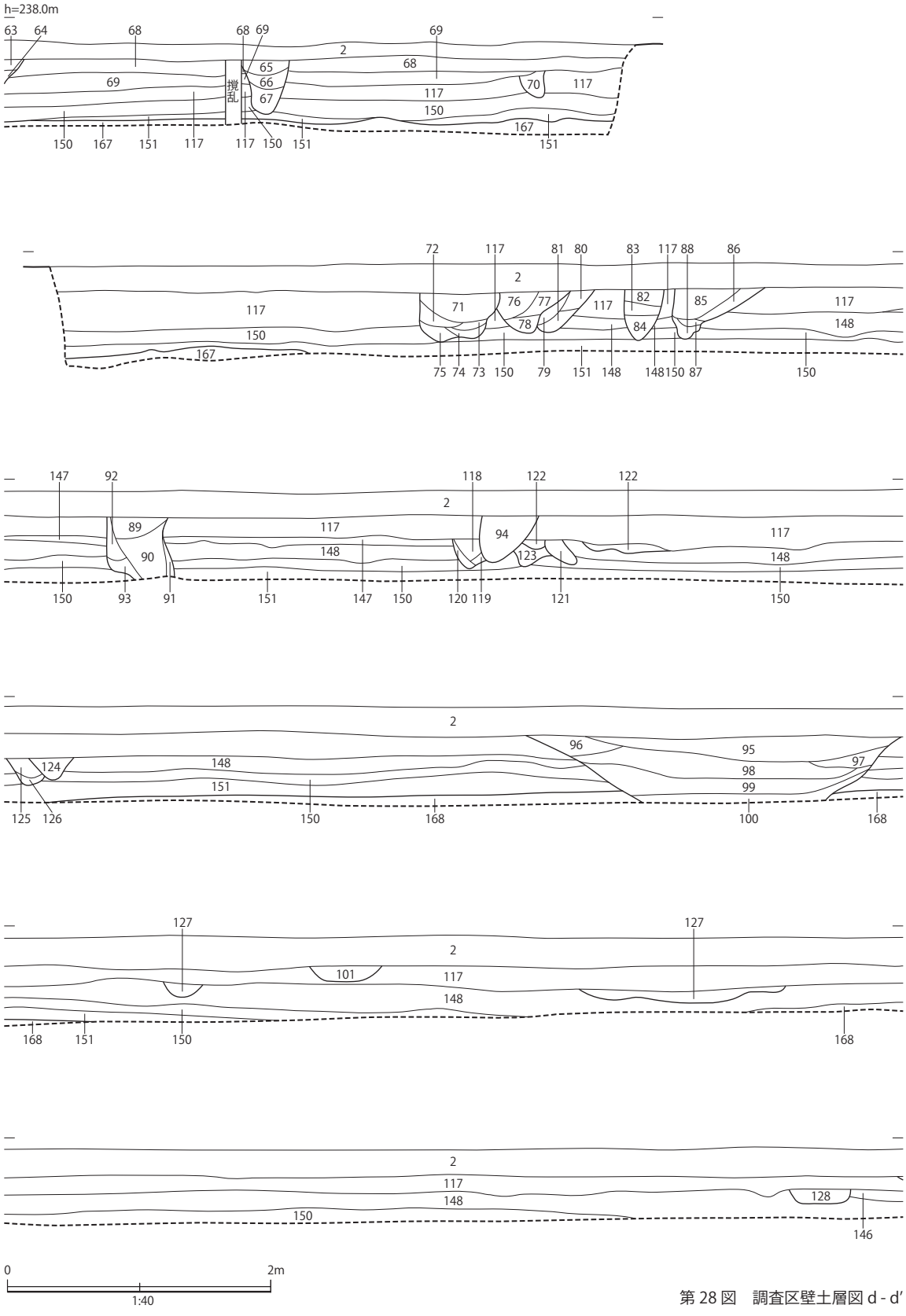
第 25 図　調査区壁土層図 c - c′



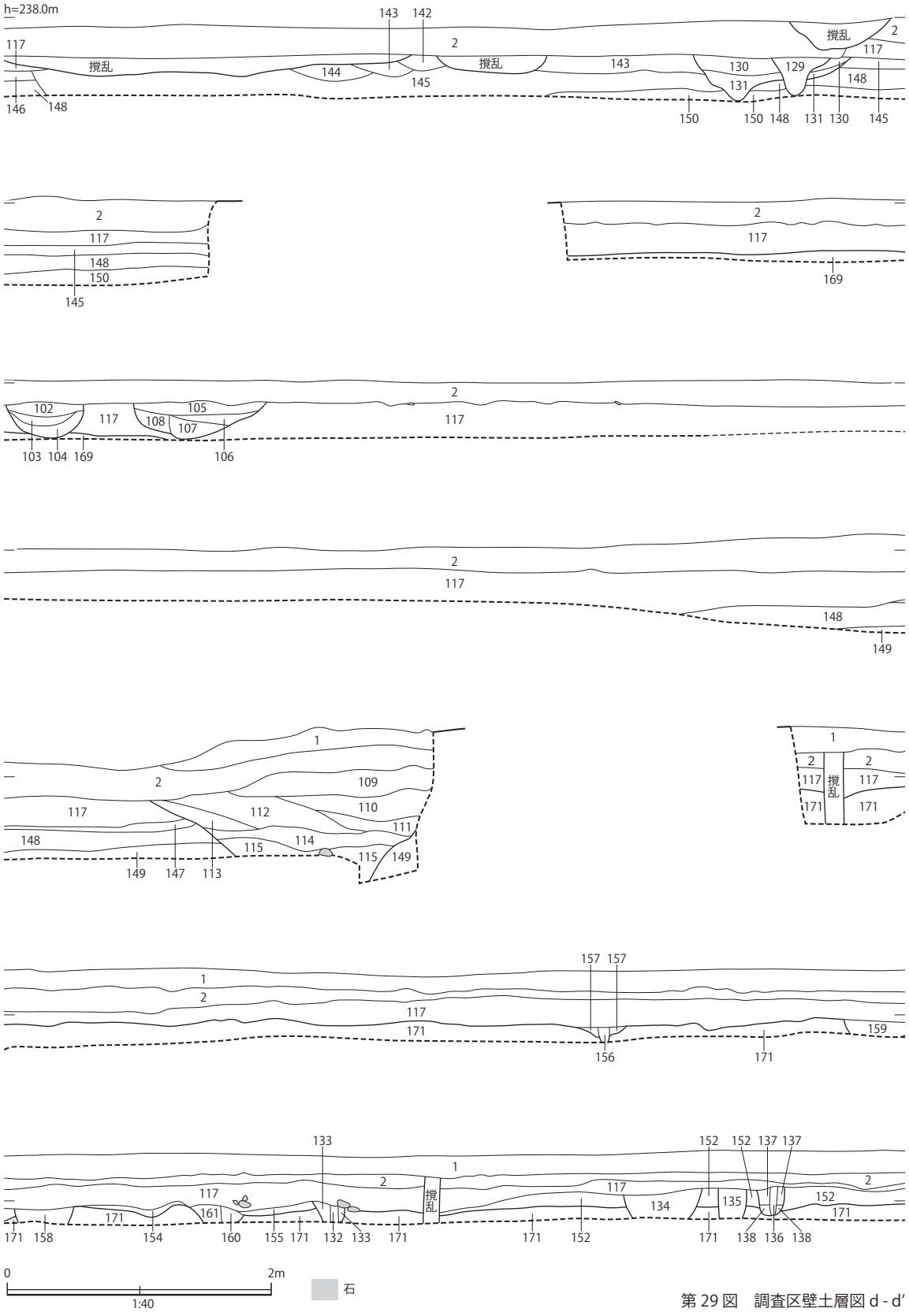
第 26 図　調査区壁土層図 d - d′



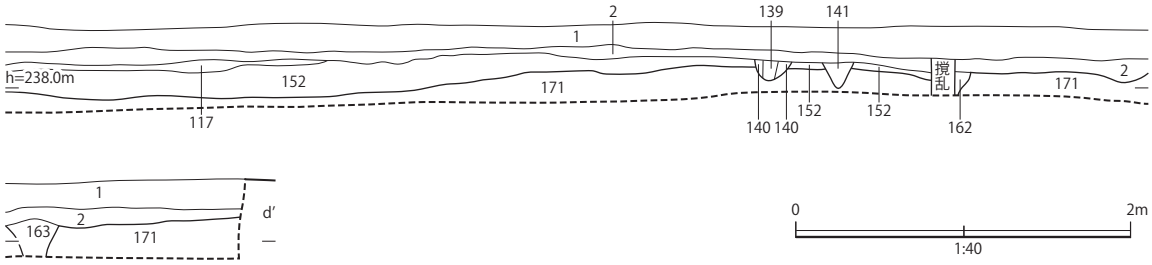
第 27 図　調査区壁土層図 d - d′



第 28 図　調査区壁土層図 d - d′



第 29 図　調査区壁土層図 d - d′



調査区壁土層図：d - d′

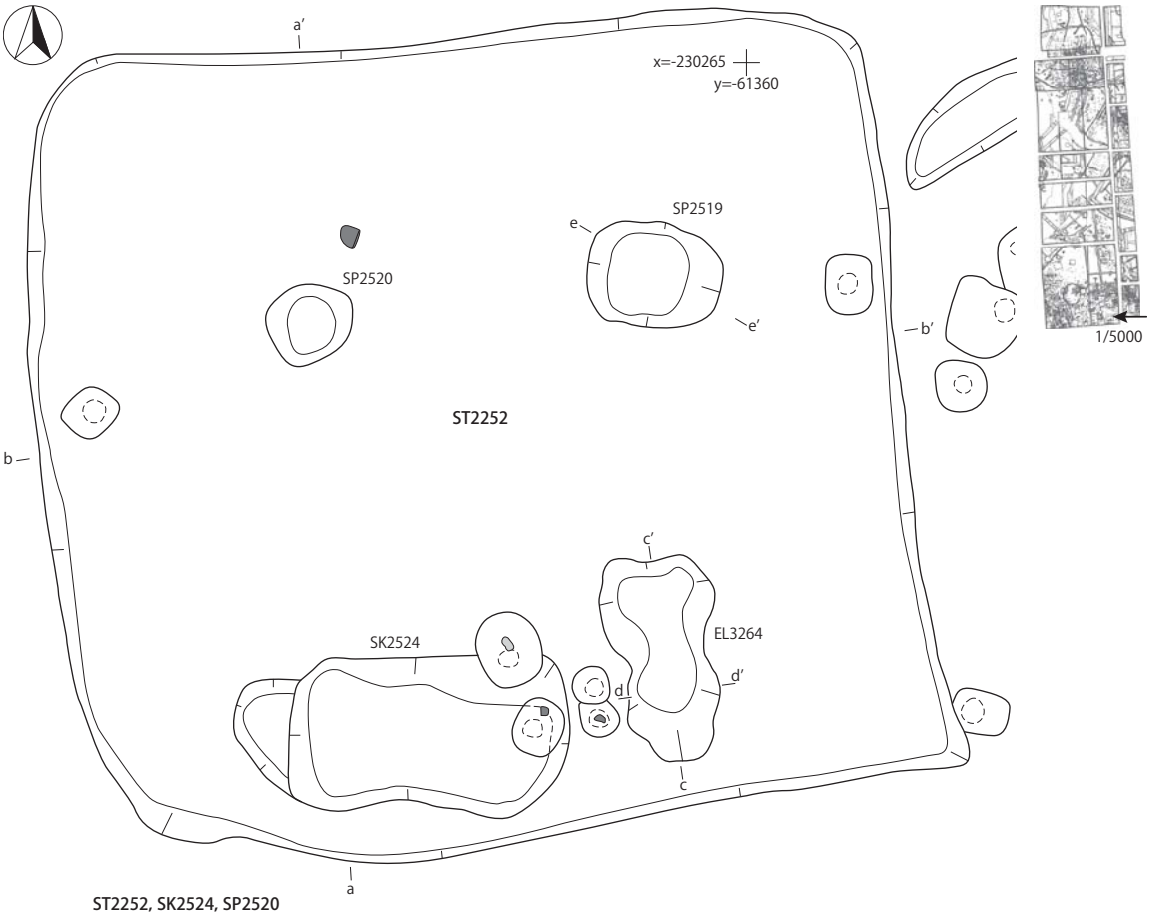
1 10YR6/1褐灰色シルト，以下 4 層まで表土
2 10YR7/2にぶい黄橙色シルト
3 5Y6/1灰色シルト
4 7.5YR5/1褐灰色シルト
5 10YR5/1褐灰色シルト，5Y7/2灰白色シルトを少し含む，土坑
6 10YR4/1褐灰色シルト，5Y7/2灰白色シルトを多く含む，以下 12 層まで遺物包含層
7 10YR3/1黒褐色シルト，5Y7/2灰白色シルトを多く含む
8 10YR5/1褐灰色シルト，5Y7/2灰白色シルトと炭を少し含む
9 10YR4/1褐灰色シルト，5Y7/2灰白色シルトと 10YR1.7/1黒色シルトと炭を少し含む
10 10YR5/1褐灰色シルト，5Y7/2灰白色シルトと炭を少し含む
11 10YR1.7/1黒色シルト，5Y7/2灰白色シルトを多く含む
12 10YR1.7/1黒色シルト，5Y7/2灰白色シルトを少し含む
13 10YR2/1黒色シルト，5Y7/2灰白色シルトを少し含む，以下 14 層まで土坑
14 10YR5/1褐灰色シルト，5Y7/2灰白色シルトを少し含む
15 10YR4/1褐灰色シルト，5Y7/2灰白色シルトを少し含む，以下 16 層まで柱穴
16 10YR5/2灰黄褐色シルト，5Y7/2灰白色シルトを多く含む
17 10YR4/1褐灰色シルト，5Y7/2灰白色シルトを含む，以下 18 層まで SG2336
18 10YR3/1黒褐色シルト，5Y7/2灰白色シルトと 10YR2/1黒色土を含む
19 10YR3/1黒褐色シルト，10YR7/4にぶい黄橙色シルトを含む，SD2359
20 10YR3/2黒褐色シルト，10YR7/4にぶい黄橙色シルトを少し含む，溝
21 10YR6/3にぶい黄橙色シルト，10YR4/1褐灰色シルトを多く含む，以下 23 層まで SG2336
22 10YR4/1褐灰色シルト，10YR7/4にぶい黄橙色シルトを少し含む
23 10YR4/1褐灰色シルト，10YR7/4にぶい黄橙色シルトを少し含む
24 10YR3/1黒褐色シルト，10YR7/3にぶい黄橙色シルトを多く含む，溝
25 10YR4/2灰黄褐色シルト，炭を少し含む，以下 27 層まで SD2356
26 10YR3/2黒褐色シルト，10YR7/3にぶい黄橙色シルトを少し含む
27 10YR5/2灰黄褐色シルト，炭を少し含む
28 10YR2/2黒褐色シルト，以下 29 層まで柱穴
29 10YR2/2黒褐色シルト，10YR7/4にぶい黄橙色シルトを多く含む
30 10YR3/2黒褐色シルト，10YR7/4にぶい黄橙シルトを多く含む，SD2356
31 10YR5/1褐灰色シルト，炭を少し含む，SD2203
32 10YR1.7/1黒色シルト，10YR7/4にぶい黄橙色シルトを少し含む，溝
33 10YR3/1黒褐色シルト，10YR7/4にぶい黄橙色シルトを多く含む，以下 34 層まで柱穴
34 10YR6/4にぶい黄橙色シルト，10YR3/1黒褐色シルトを多く含む
35 10YR2/1黒色シルト，10YR7/4にぶい黄橙色シルトを含む，以下 36 層まで柱穴
36 10YR3/1黒褐色シルト，10YR7/4にぶい黄橙色シルトを多く含む
37 10YR4/1褐灰色シルト，10YR7/4にぶい黄橙色シルトを含む，以下 38 層まで柱穴
38 10YR5/1褐灰色シルト，10YR7/4にぶい黄橙色シルトを多く含む
39 10YR3/1黒褐色シルト，10YR7/4にぶい黄橙色シルトを少し含む，以下 40 層まで柱穴
40 10YR7/4にぶい黄橙色シルト，10YR3/1黒褐色シルトを含む
41 10YR3/1黒褐色シルト，10YR7/4にぶい黄橙色シルトを多く含む，以下 44 層までピット
42 10YR1.7/1黒色シルト，5Y7/4灰白色シルトを多く含む
43 10YR4/1褐灰色シルト，5Y7/4灰白色シルトを多く含む
44 10YR3/1黒褐色シルト，5Y7/4灰白色シルトを多く含む
45 10YR4/1褐灰色シルト，5Y7/4灰白色シルトを含む，以下 46 層まで柱穴
46 10YR7/4にぶい黄橙色シルト，10YR4/1褐灰色シルトを含む
47 10YR4/1褐灰色シルト，10YR7/4にぶい黄橙色シルトを含む，ピット
48 10YR5/1褐灰色シルト，礫を多く含む，炭を少し含む，SD2202
49 10YR4/1褐灰色シルト，礫を多く含む，炭を少し含む，土坑
50 10YR3/1黒褐色シルト，10YR7/4にぶい黄橙色シルトと炭を含む，SD2201
51 10YR5/1褐灰色シルト，5Y7/2灰白色シルトを少し含む，以下 52 層まで柱穴
52 10YR6/1褐灰色シルト，5Y7/2灰白色シルトを含む
53 10YR5/1褐灰色シルト，5Y7/2灰白色シルトを含む，遺物包含層
54 10YR6/2灰黄褐色シルト，礫を少し含む，以下 55 層まで土坑
55 10YR6/2灰黄褐色シルト，5Y7/2灰白色シルトを少し含む
56 10YR5/3にぶい黄褐色シルト，炭を少し含む，以下 60 層まで柱穴
57 10YR5/1褐灰色シルト，5Y7/2灰白色シルトと炭を含む
58 10YR4/1褐灰色シルト，炭を少し含む
59 10YR5/3にぶい黄褐色シルト，10YR7/4にぶい黄褐色シルトを少し含む
60 10YR4/2灰黄褐色シルト
61 10YR5/1褐灰色シルト，10YR7/4にぶい黄褐色シルトと炭を含む，SG1
62 10YR4/2灰黄褐色シルト，5Y7/2灰白色シルトと炭を多く含む，ピット
63 10YR4/1褐灰色シルト，10YR7/4にぶい黄橙色シルトと炭を含む，以下 64 層まで柱穴
64 10YR4/3にぶい黄褐色シルト，10YR6/2灰黄褐色シルトと炭を含む
65 10YR6/1褐灰色シルト，10YR8/3浅黄橙色シルトを含む，以下 67 層まで柱穴
66 10YR6/2灰黄褐色シルト，礫と炭を少し含む
67 10YR5/1褐灰色シルト，10YR7/4にぶい黄橙色シルトを含む
68 10YR5/1褐灰色シルト，10YR7/4にぶい黄橙色シルトを少し含む，以下 69 層まで SG1
69 10YR5/2灰黄褐色シルト，5Y7/2灰白色シルトを少し含む
70 10YR4/1褐灰色シルト，10YR7/4にぶい黄橙色シルトを含む，ピット
71 10YR4/2灰黄褐色シルト，10YR7/2にぶい黄橙色シルトと炭を少し含む，以下 81 層まで土坑
72 10YR4/1褐灰色シルト，10YR7/2にぶい黄橙色シルトを含む
73 10YR6/2灰黄褐色シルト，10YR7/2にぶい黄橙色シルトを少し含む
74 10YR6/1褐灰色シルト，10YR4/1褐灰色シルトを含む
75 10YR5/1褐灰色シルト，10YR7/2にぶい黄橙色シルトを多く含む
76 10YR6/1褐灰色シルト，10YR7/2にぶい黄橙色シルトを少し含む
77 10YR4/1褐灰色シルト，10YR7/2にぶい黄橙色シルトを少し含む
78 10YR5/1褐灰色シルト，10YR7/2にぶい黄橙色シルトと炭を含む
79 10YR6/2灰黄褐色シルト，10YR7/2にぶい黄橙色シルトを含む
80 10YR4/1褐灰色シルト，炭と焼土を含む

第 30 図　調査区壁土層図 d - d′ の注記

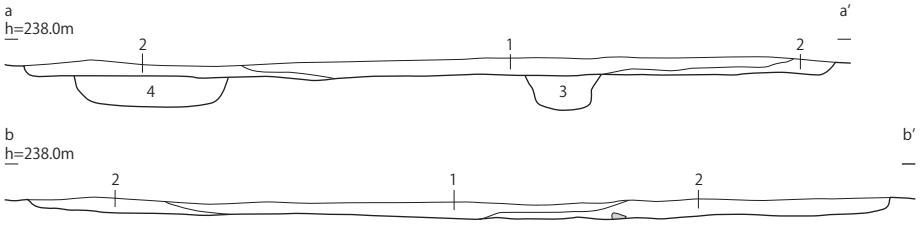
調査区壁土層図：d - d′

81 10YR5/1褐灰色シルト，2.5Y8/3淡黄色シルトを多く含む
82 10YR6/4にぶい黄橙色シルトと炭を多く含む，以下 84 層まで柱穴
83 10YR5/1褐灰色シルト，炭を少し含む
84 10YR5/2灰黄褐色シルト，2.5Y8/2灰白色粘土と炭を含む
85 10YR5/2灰黄褐色シルト，炭と焼土を含む，以下 88 層まで土坑
86 0YR4/1褐灰色シルト，10YR7/2にぶい黄橙色シルトを含む
87 10YR5/1褐灰色シルト，5Y8/3淡黄色粘土を含む
88 10YR6/1褐灰色シルト，5Y8/3淡黄色粘土を多く含む
89 10YR6/4にぶい黄橙色シルト，炭を少し含む，以下 93 層まで柱穴
90 10YR4/3にぶい黄褐色シルト，炭を多く含む
91 10YR6/6明黄褐色シルト，5Y8/3淡黄色粘土を少し含む
92 10YR4/2灰黄褐色シルト，5Y8/3淡黄色粘土と炭を含む
93 10YR6/3にぶい黄橙色シルト，2.5Y7/2灰黄色粘土を含む
94 10YR3/1黒褐色シルト，2.5Y8/2灰白色粘土を少し含む，ピット
95 10YR4/1褐灰色シルト，炭と焼土を少し含む，以下 100 層まで SD2186
96 10YR5/2灰黄褐色シルト，礫を多く含む，炭を少し含む
97 10YR6/2 灰黄褐色シルト，5Y8/3 淡黄色シルトを少し含む
98 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，5Y8/3 淡黄色シルトを少し含む
99 10YR5/2 灰黄褐色シルト，5Y8/3 淡黄色シルトを含む
100 10YR3/1黒褐色シルト，炭を含む
101 10YR5/2灰黄褐色シルト，炭を少し含む，ピット
102 10YR6/1褐灰色シルト，炭を少し含む，以下 104 層まで溝
103 10YR7/1灰白色シルト，10YR7/2にぶい黄橙細砂を含む
104 10YR5/1褐灰色シルト，10YR7/3にぶい黄橙色シルトと炭を少し含む
105 10YR7/1灰白色シルト，炭を少し含む，以下 108 層まで土坑
106 10YR6/2灰黄褐色シルト，炭と焼土を少し含む
107 10YR5/2灰黄褐色シルト，2.5Y7/3浅黄色シルトを含む
108 10YR5/1褐灰色シルト，炭と焼土を少し含む
109 10YR5/1褐灰色シルト，炭と焼土を含む，以下 115 層まで SD2102
110 10YR5/2灰黄褐色シルト，2.5Y7/3浅黄色シルトと炭と焼土を含む
111 10YR4/1褐灰色シルト，2.5Y7/3浅黄色シルトと炭と焼土を少し含む
112 10YR5/1褐灰色シルト，2.5Y7/3浅黄色シルトを多く含む
113 10YR6/2灰黄褐色シルト，2.5Y7/3浅黄色シルトと礫と炭を少し含む
114 10YR6/1褐灰色シルト，2.5Y7/3浅黄色シルトを少し含む
115 10YR4/1褐灰色シルト，礫を少し含む
116 10YR4/1褐灰色シルト，5Y7/2灰白色シルト少し含む，以下 117 層まで SG1
117 10YR3/1黒褐色シルト，5Y7/2灰白色シルトを含む
118 10YR5/3にぶい黄褐色シルト，2.5Y8/2灰白色粘土と炭を含む，以下 120 層まで土坑
119 10YR6/4にぶい黄橙色シルト，2.5Y8/2灰白色粘土を多く含む
120 10YR4/2灰黄褐色シルト，2.5Y8/2灰白色粘土を少し含む
121 10YR5/1褐灰色シルト，2.5Y8/2灰白色粘土を多く含む，ピット
122 2.5Y8/2 灰白色シルト，炭を少し含む，以下 123 層まで土坑
123 10YR6/1褐灰色シルト，2.5Y8/2灰白色粘土と炭を少し含む
124 10YR6/4にぶい黄橙色シルト，ピット
125 10YR5/4にぶい黄褐色シルト，2.5Y8/2灰白色粘土を多く含む，以下 126 層までピット
126 5Y8/3淡黄色シルト
127 10YR5/1褐灰色シルト，2.5Y8/3淡黄色シルトを少し含む，以下 129 層までピット
128 10YR6/3にぶい黄橙色シルト，5Y8/3淡黄色シルトを少し含む
129 10YR6/2灰黄褐色シルト，10YR7/4にぶい黄橙色粘土と炭を含む
130 10YR6/1褐灰色シルト，2.5Y8/3淡黄色シルトと炭を含む，以下 131 層まで土坑
131 10YR5/4にぶい黄褐色シルト，2.5Y8/3淡黄色シルトを少し含む
132 10YR5/1褐灰色シルト，炭を少し含む，以下 133 層まで柱穴
133 10YR5/1褐灰色シルト，10YR7/3にぶい黄橙色シルトを含む
134 10YR5/1褐灰色シルト，10YR7/3にぶい黄橙色シルトと炭を含む，SD2116
135 10YR4/1褐灰色シルト，炭と焼土を少し含む，ピット
136 10YR5/1褐灰色シルト，以下 140 層まで柱穴
137 10YR6/2灰黄褐色シルト，10YR7/3にぶい黄橙色シルトを少し含む
138 10YR7/3にぶい黄橙色シルト，10YR6/2灰黄褐色シルトを少し含む
139 10YR4/1褐灰色シルト，10YR6/1褐灰色シルトを少し含む
140 10YR6/1褐灰色シルト，10YR7/3にぶい黄橙色シルトを少し含む
141 10YR5/2灰黄褐色シルト，ピット
142 10YR4/1褐灰色シルト，10YR7/2にぶい黄橙色シルトを少し含む，以下 155 層まで SG1
143 10YR3/1黒褐色シルト，10YR7/2にぶい黄橙色シルトと炭を少し含む
144 10YR2/1黒色シルト，2.5Y8/3淡黄色粘土を多く含む
145 10YR3/1黒褐色粘土，5Y8/3淡黄色粘土を含む
146 10YR6/1褐灰色シルト，炭を少し含む
147 10YR6/2灰黄褐色シルト，炭を含む
148 10YR5/1褐灰色シルト，5Y8/3淡黄色シルトと炭を多く含む
149 10YR7/2にぶい黄橙色粘土，10YR3/1黒褐色粘土を含む
150 10YR3/1黒褐色粘土，5Y8/3淡黄色粘土を多く含む（特に上部）
151 10YR6/1褐灰色シルト，炭を少し含む
152 10YR5/1褐灰色シルト，5Y7/2灰白色シルトと炭を含む
153 10YR5/1褐灰色シルト，炭を少し含む
154 10YR4/1褐灰色シルト，10YR7/3にぶい黄橙色シルトを少し含む
155 10YR5/2灰黄褐色シルト，10YR7/3にぶい黄橙色シルトと炭を含む
156 10YR4/1褐灰色シルト，10YR7/3にぶい黄橙色シルトを少し含む，以下 157 層まで柱穴
157 10YR5/1褐灰色シルト，10YR7/3にぶい黄橙色シルトを多く含む
158 10YR3/1黒褐色シルト，10YR7/3にぶい黄橙色シルトと炭を含む，以下 159 層まで土坑
159 10YR4/1褐灰色シルト，炭を多く含む
160 10YR3/1黒褐色シルト，10YR7/3にぶい黄橙色シルトを少し含む，以下 161 層まで柱穴
161 10YR4/1褐灰色シルト，10YR7/3にぶい黄橙色シルトを多く含む
162 10YR6/1褐灰色シルト，ピット
163 10YR3/1黒褐色シルト，10YR7/3にぶい黄橙シルトを含む，ピット
164 5Y7/2灰白色シルト，以下地山
165 10YR6/6明黄褐色細砂
166 10YR5/3にぶい黄褐色細砂
167 10YR6/2灰黄褐色シルト，礫を多く含む
168 2.5Y8/2灰白色細砂
169 10YR6/2灰黄褐色細砂
170 5Y7/2灰白色細砂，礫を含む
171 10YR7/3にぶい黄橙色シルト

第 31 図　調査区壁土層図 d - d′ の注記



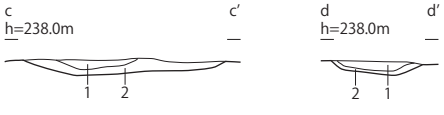
ST2252, SK2524, SP2520



竪穴建物ST2252, 土坑SK2524, 柱穴SP2520：a - a′, b - b′

1　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトと炭と焼土を含む，以下 2 層まで ST2252 の覆土
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと炭と焼土を少し含む
3　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/4 褐色砂と炭を含む，SP2520
4　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトと炭と焼土を含む，SK2524

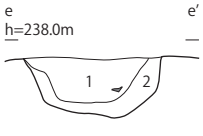
EL3264



カマド EL3264：c - c′ ,d - d′

1　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，炭と焼土を多く含む
2　10YR4/4 褐色シルト，炭を含む

SP2519



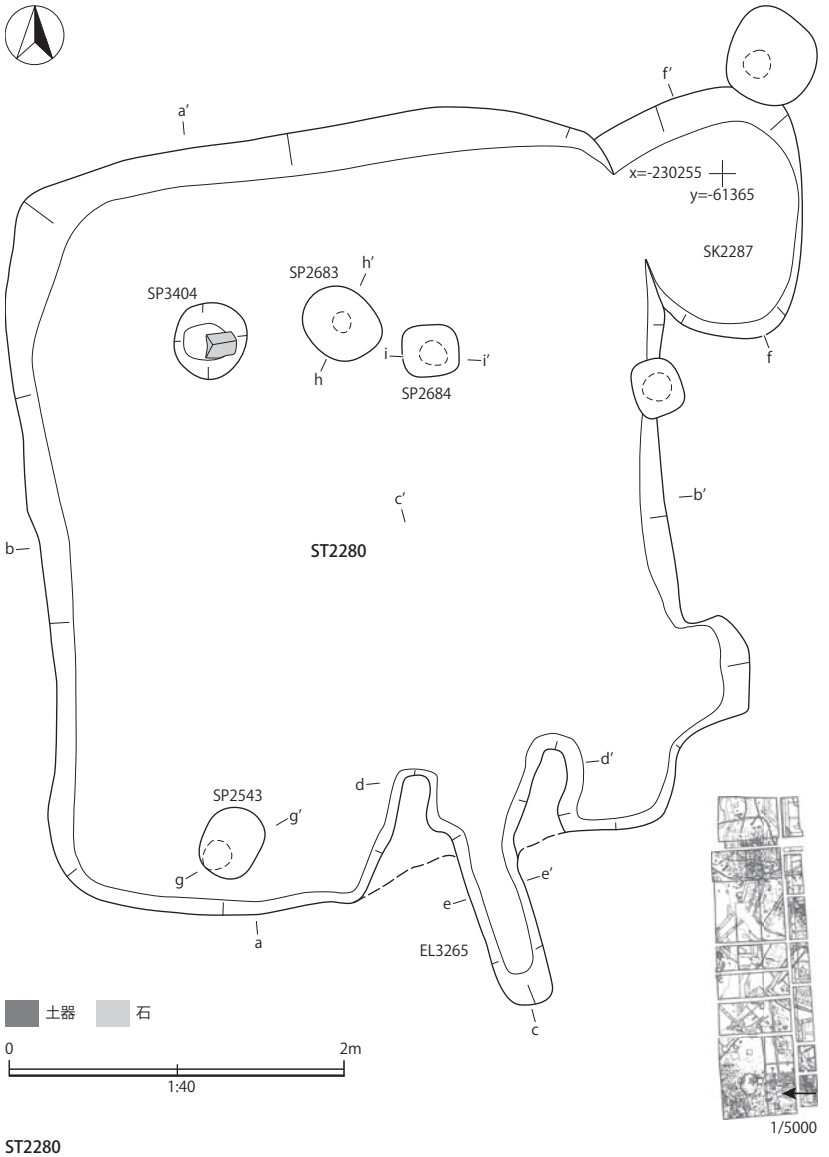
柱穴 SP2519：e - e′

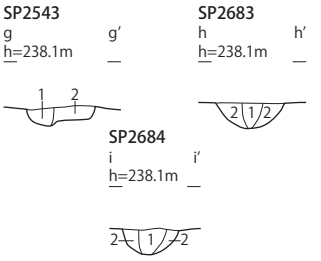
1　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトと 10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む , 抜き取り痕
2　10YR4/4 褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトと粗砂と礫を多く含む , 掘方

0　2m
1:40

土器　石

第 32 図　竪穴建物 ST2252，土坑 SK2524，柱穴 SP2519・2520

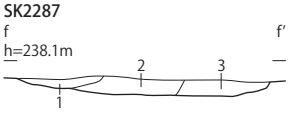




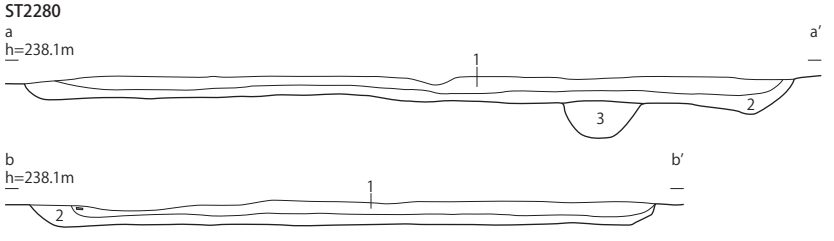
柱穴 SP2543：g - g′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと灰を少し含む
2　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR6/4 にぶい黄橙色シルトと砂を含む

柱穴 SP2683：h - h′
1　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトと礫を含む
2　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR6/4 にぶい黄橙色シルトと砂を多く含む

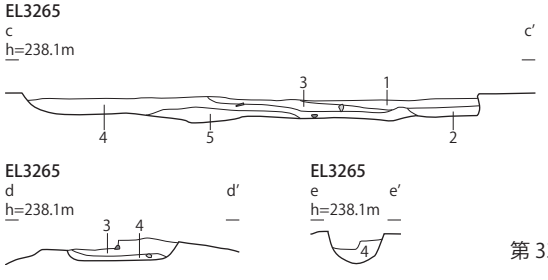
柱穴 SP2684：i - i′
1　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR6/4 にぶい黄橙色シルトを少し含む
2　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，砂を多く含む



土坑 SK2287：f - f′
1　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを多く含む，炭を含む
2　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと砂を多く含む，炭を含む
3　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと砂を少し含む

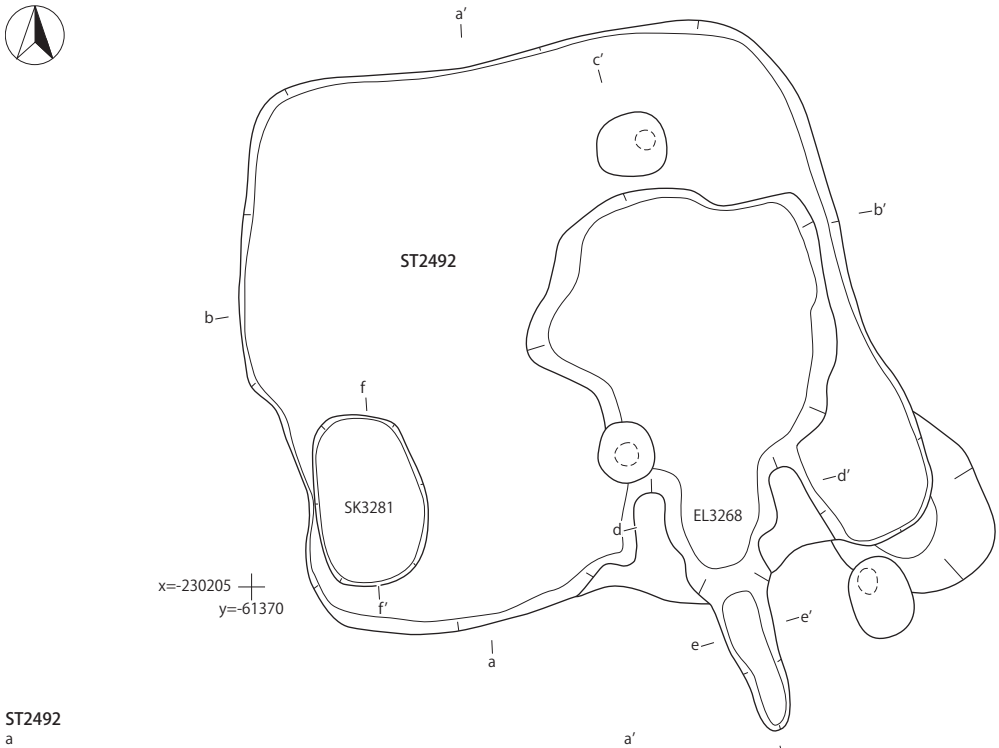


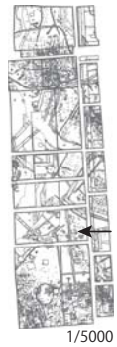
竪穴建物 ST2280：a - a′，b - b′
1　10YR2/3 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを少し含む，以下 2 層まで覆土
2　10YR3/3 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色砂を含む
3　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトを含む，SP3404

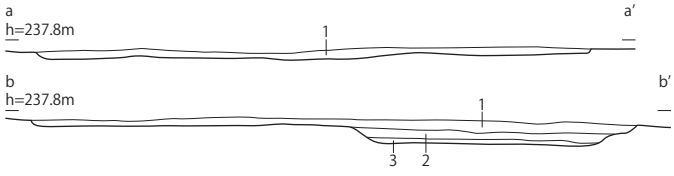


カマド EL3265：c - c′，d - d ′，e - e′
1　10YR2/3 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを少し含む，ST2280 の 1 層に該当
2　10YR3/3 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色砂を含む，ST2280 の 2 層に該当
3　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，炭と焼土を多く含む，以下 EL3265
4　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと炭と焼土を多く含む
5　10YR3/4 暗褐色シルト，炭と焼土を含む

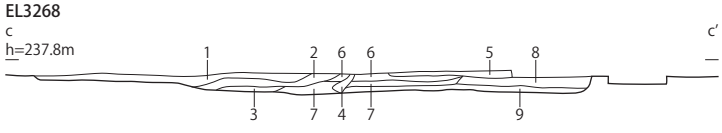
第 33 図　竪穴建物 ST2280，土坑 SK2287，柱穴 SP2543・2683・2684

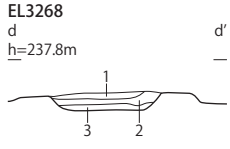


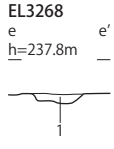




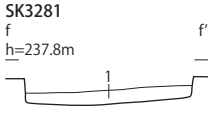
竪穴建物ST2492：a - a′, b - b′
1　10YR4/4 褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトと 10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを含む
2　10YR4/4 褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと 10YR4/2 灰黄褐色シルトを多く含む
3　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，炭と焼土を少し含む



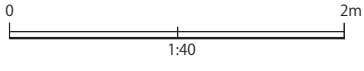




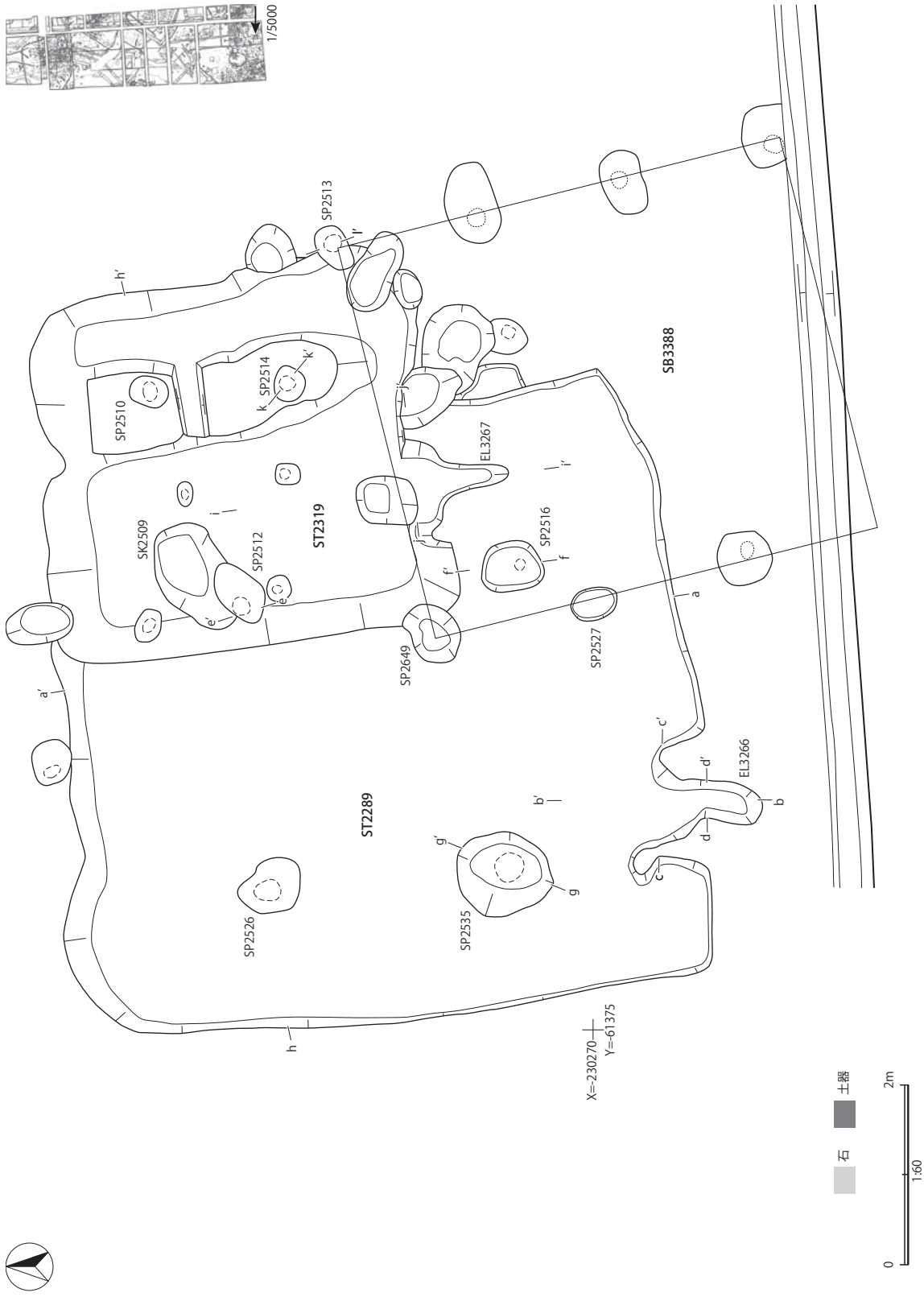
カマドEL3268：c - c′, d - d′, e - e′
1　10YR2/3 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトと炭と焼土を含む
2　10YR2/2 黒褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと 10YR4/4 褐色シルトと炭と焼土を含む
3　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトと炭と焼土を含む
4　10YR4/4 褐色砂
5　10YR4/4 褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトと 10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを含む，ST2492 の 1 層に該当
6　10YR4/4 褐色シルト，10YR3/4 暗褐色シルトと炭を少し含む
7　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトと炭と焼土を多く含む
8　10YR4/4 褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと 10YR4/2 灰黄褐色シルトを多く含む，ST2492 の 2 層に該当
9　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，炭と焼土を少し含む，ST2492 の 3 層に該当



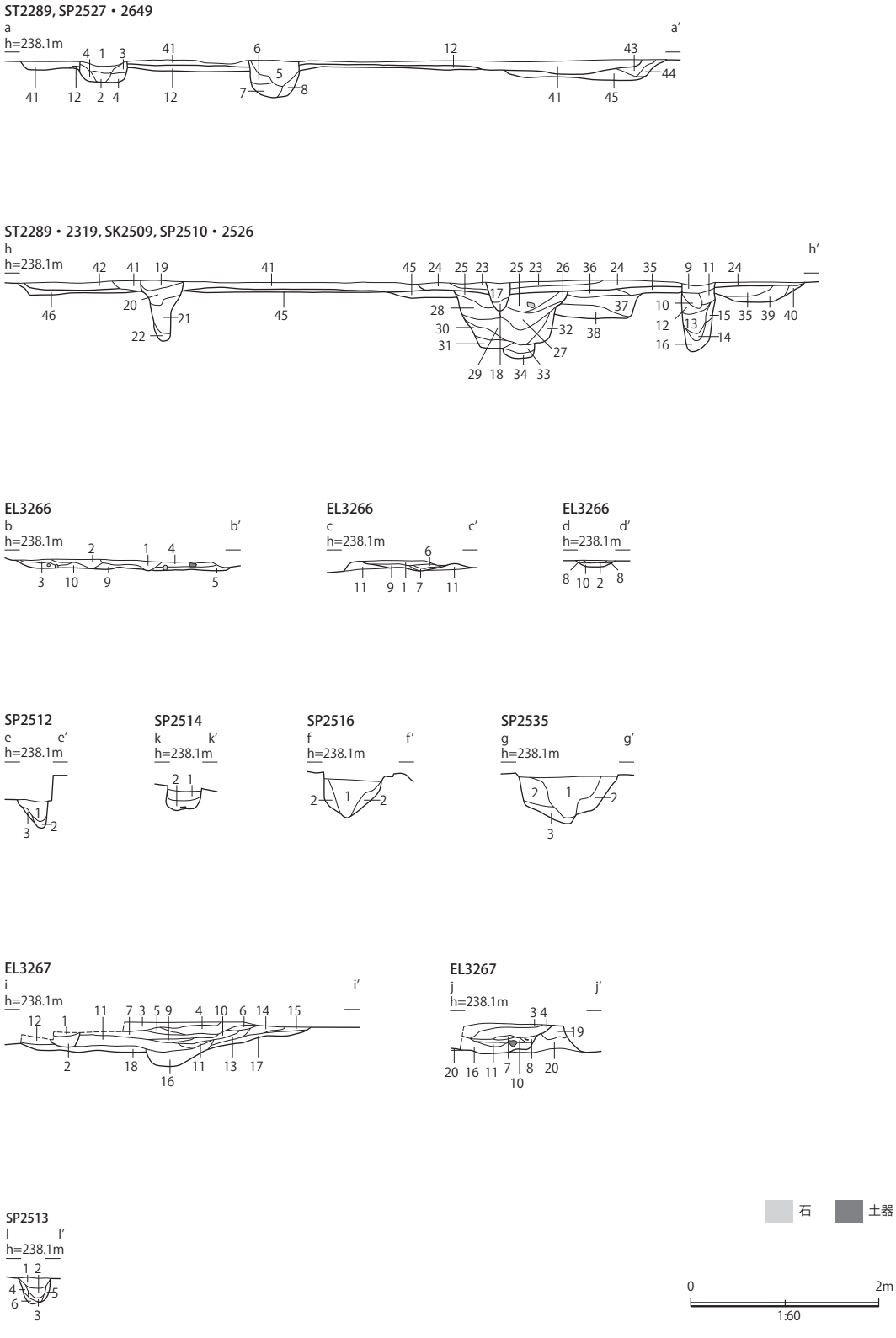
土坑SK3281：f - f′
1　10YR4/4 褐色砂，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む



第 34 図　竪穴建物 ST2492，土坑 SK3281



第 35 図　竪穴建物 ST2289・2319，掘立柱建物 SB3388，土坑 SK2509，柱穴 SP2512・2514・2516・2535



第 36 図　竪穴建物 ST2289・2319，掘立柱建物 SB3388，土坑 SK2509，柱穴 SP2512・2514・2516・2535

竪穴建物ST2289・2319, 土坑SK2509,
柱穴SP2510・2526・2527・2649：a - a′，h - h′

1 10YR4/2 灰黄褐色シルト，炭を少し含む，以下 4 層まで SP2527
2 10YR3/2 黒褐色シルト，炭を少し含む
3 10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトと炭を少し含む
4 10YR4/2 灰黄褐色シルト，礫と炭を少し含む
5 10YR4/1 褐灰色シルト，炭を少し含む，以下 8 層まで SP2649
6 10YR4/2 黒褐色シルト，10YR6/4 にぶい黄橙色シルトを少し含む
7 10YR3/1 黒褐色シルト，礫を少し含む
8 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと礫を少し含む
9 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色細砂と炭を少し含む，以下 16 層まで SP2510
10 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR6/4 にぶい黄橙色を少し含む
11 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを多く含む
12 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む
13 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと 10YR4/1 褐灰色シルトを多く含む
14 10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，炭を少し含む
15 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む
16 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む
17 10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，以下 18 層までピット
18 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
19 10YR5/2 灰黄褐色シルト，炭を少し含む，以下 22 層まで SP2526
20 10YR4/1 褐灰色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと炭を少し含む
21 10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトと炭を少し含む
22 10YR3/2 黒褐色シルト，炭を少し含む
23 10YR4/2 灰黄褐色シルト，炭を少し含む，以下 40 層まで ST2319（24 層まで覆土）
24 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
25 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト, 10YR4/1 褐灰色シルトと炭を少し含む，以下 34 層まで SK2509
26 10YR6/4 にぶい黄橙色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む
27 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトと 10YR3/1 黒褐色シルトを少し含む
28 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを多く含む
29 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトと 10YR6/3 にぶい黄橙色シルトを少し含む
30 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトと 10YR6/3 にぶい黄橙色シルトを少し含む
31 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと 10YR4/1 褐灰色シルトを含む
32 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトと 10YR6/3 にぶい黄橙色シルトを多く含む
33 10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを少し含む
34 10YR4/1 褐灰色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを多く含む
35 10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを多く含む，以下 40 層まで掘方
36 10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
37 10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを多く含む
38 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを多く含む
39 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトと炭を少し含む
40 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む
41 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下 46 層まで ST2289，44 層まで覆土
42 10YR5/1 褐灰色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトと炭を少し含む
43 10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと炭を少し含む
44 10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む
45 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトと 10YR6/2 灰黄褐色シルトを少し含む，以下掘方
46 10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む

カマド EL3266：b - b′, c - c′, d - d′

1 10YR4/1 褐灰色シルト，炭と焼土を少し含む
2 10YR3/1 黒褐色シルト，炭と焼土を含む
3 10YR4/1 褐灰色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトと炭と焼土を少し含む
4 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトと土器を多く含む
5 10YR5/2 灰黄褐色シルト，礫を多く含む
6 10YR5/2 灰黄褐色シルト，焼土を含む
7 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，焼土を少し含む
8 10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトと炭と焼土を含む
9 10YR5/2 灰黄褐色シルト，焼土を多く含む
10 10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトを少し含む
11 10YR6/3 にぶい黄橙色シルト，礫を含む，カマド構築土

柱穴SP2512：e - e′

1 10YR4/1 褐灰色シルト，炭を少し含む
2 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを多く含む
3 10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む

柱穴SP2516：f - f′

1 10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトと灰を少し含む
2 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと礫を多く含む
3 10YR4/1 褐灰色シルト，礫を多く含む

柱穴 SP2535：g - g′

1 10YR4/1 褐灰色シルト，灰を少し含む
2 10YR5/1 褐灰色粗砂，10YR4/1 褐灰色シルトと礫を多く含む
3 10YR4/1 褐灰色シルト，粗砂を少し含む

カマド EL3267：i - i′, j - j′

1 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，炭を少し含む，焼土を多く含む，以下 2 層までピット
2 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトと炭と焼土を少し含む
3 10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと炭と焼土を少し含む，以下 EL3267，17 層まで覆土
4 10YR4/2 灰黄褐色シルト，炭を少し含む，焼土を多く含む
5 10YR4/2 灰黄褐色シルト，炭を多く含む，焼土を少し含む
6 10YR4/2 灰黄褐色シルト，炭と焼土を少し含む
7 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトと炭と焼土を少し含む
8 10YR3/2 黒褐色シルト，炭を少し含む
9 10YR4/2 灰黄褐色シルト，炭と焼土を多く含む
10 10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，灰を多く含む、炭と焼土を少し含む
11 10YR4/2 灰黄褐色シルト，炭と焼土を多く含む
12 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR6/4 にぶい黄橙色シルトと炭を少し含む
13 10YR4/1 褐灰色シルト，10YR6/4 にぶい黄橙色シルトと炭を少し含む
14 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR6/4 にぶい黄橙色シルトを多く含む
15 10YR6/4 にぶい黄橙色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを多く含む
16 10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む
17 10YR4/2 灰黄褐色シルト
18 10YR4/4 褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと炭を少し含む，以下カマド構築土
19 10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
20 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトと炭と焼土を少し含む

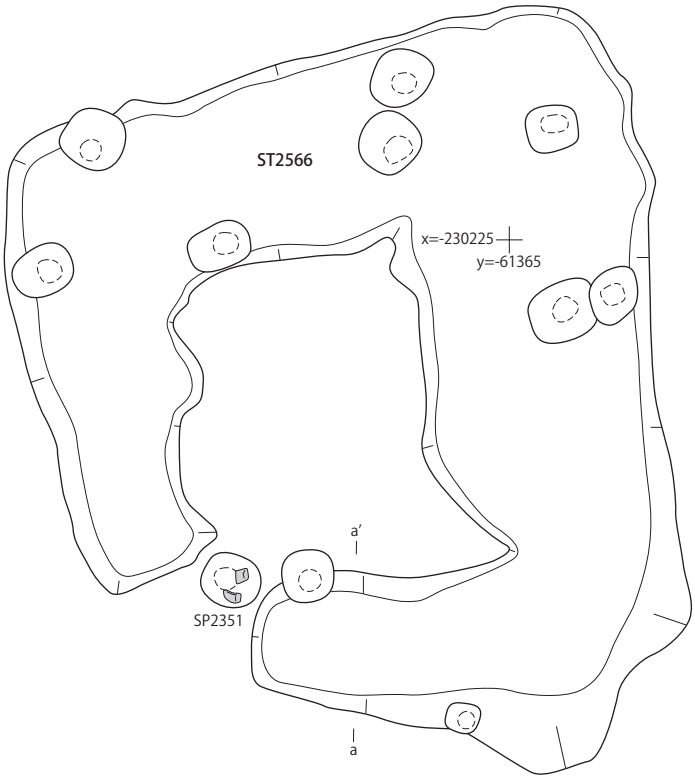
柱穴SP2514：k - k′

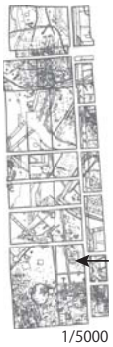
1 10YR3/3 暗褐色シルト，灰と焼土を多く含む
2 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR6/4 にぶい黄橙色シルトと灰と焼土を含む

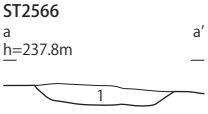
柱穴 SP2513：l - l′

1 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭と焼土を少し含む
2 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭と焼土を少し含む
3 10YR6/3 にぶい黄橙色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む
4 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む
5 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む
6 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトを少し含む

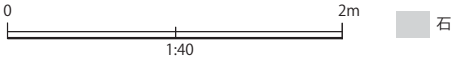
第 37 図　竪穴建物 ST2289・2319，掘立柱建物 SB3388，土坑 SK2509，柱穴 SP2512・2514・2516・2535



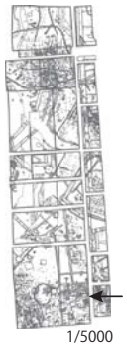




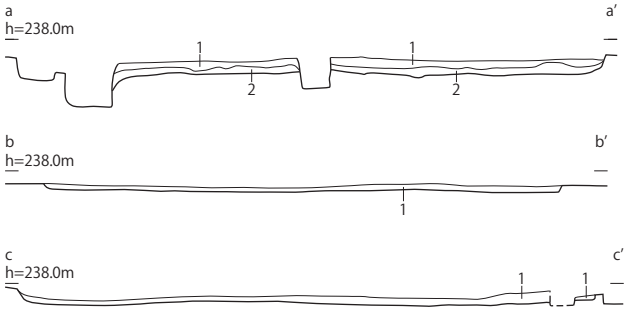
竪穴建物ST2566：a - a′
1　10YR4/4 褐色砂，10YR2/3 黒褐色シルトを含む



第 38 図　竪穴建物 ST2566



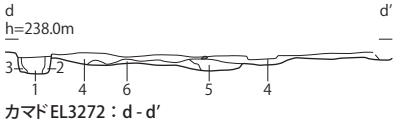
ST2585



竪穴建物ST2585：a - a′，b - b′，c - c′

1　10YR4/6 褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトと 10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，覆土
2　10YR4/6 褐色シルト，10YR3/4 暗褐色シルトと炭を少し含む，掘方

EL3272



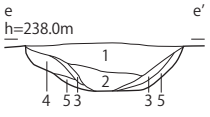
カマド EL3272：d - d′

1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，以下 3 層まで SP3406
2　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと焼土を少し含む
3　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト, 10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む
4　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，炭と焼土を多く含む，以下 EL3272
5　10YR4/2 灰黄褐色シルト，焼土を多く含む
6　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，炭と焼土を少し含む

0　2m
1:60

土器

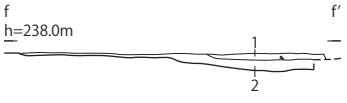
SK2348



土坑SK2348：e - e′

1　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR7/3 にぶい黄橙色シルトと炭と焼土を少し含む
2　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR7/3 にぶい黄橙色シルトを含む
3　10YR5/2 灰黄褐色シルト，炭と焼土を多く含む
4　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトと 10YR7/3 にぶい黄橙色シルトを多く含む
5　10YR5/2 灰黄褐色シルト，炭を少し含む
6　10YR6/2 灰黄褐色シルト，10YR7/3 にぶい黄橙色シルトを少し含む

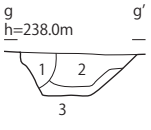
SK2547



土坑SK2547：f - f′

1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR6/4 にぶい黄橙色シルトと炭を少し含む
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む

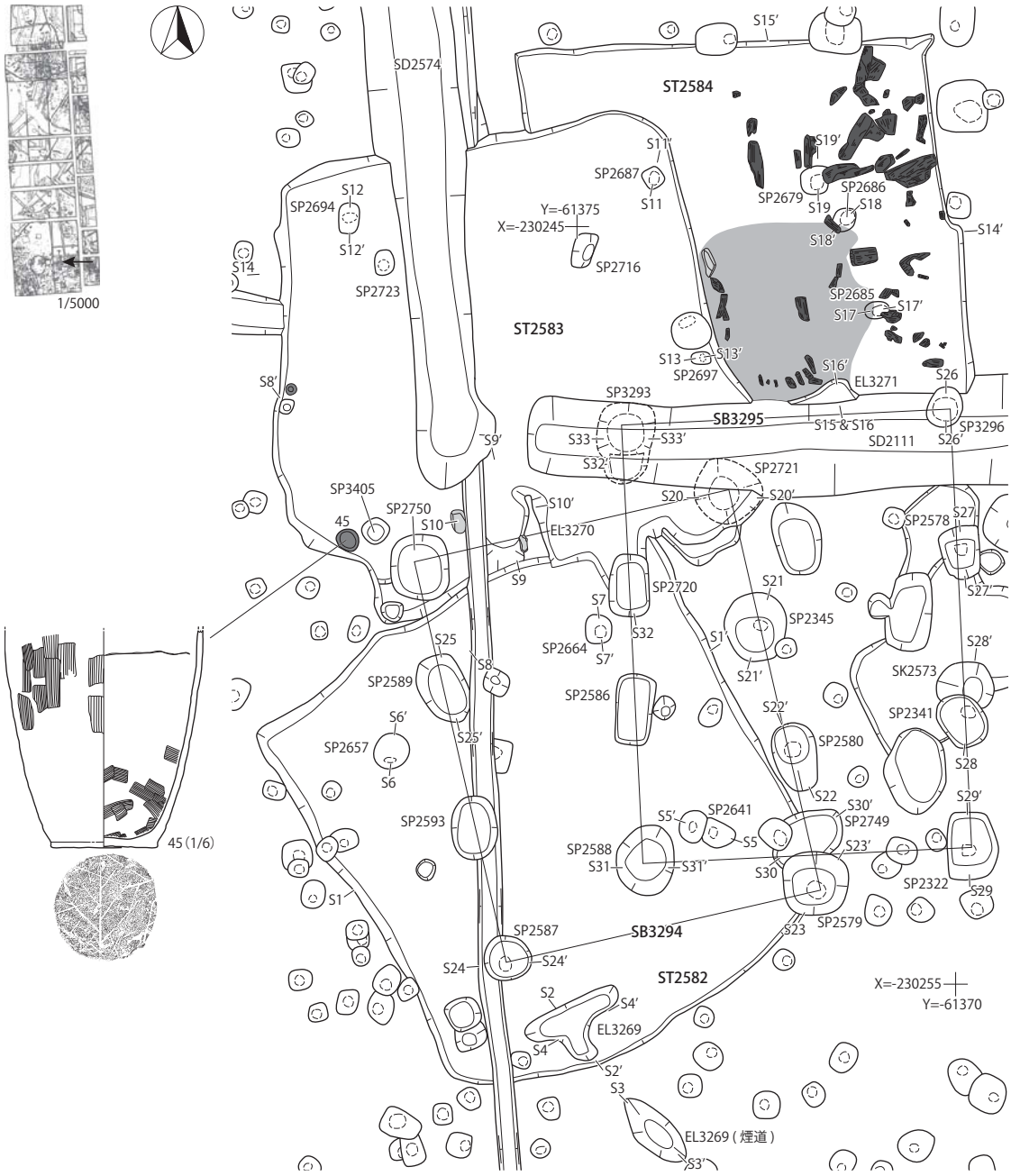
SK2575



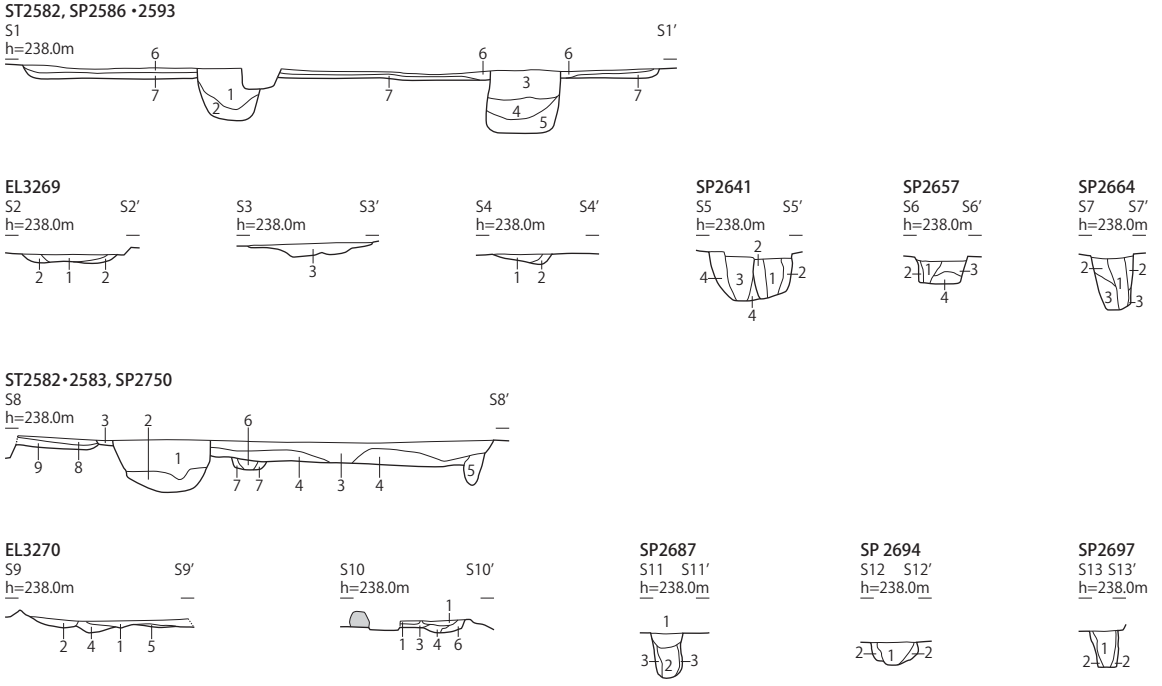
土坑SK2575：g - g′

1　10YR4/4 褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトを含む
2　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトと 10YR4/4 褐色粘土を多く含む
3　10YR4/4 褐色砂，10YR3/3 暗褐色シルトを含む

第 39 図　竪穴建物 ST2585，土坑 SK2348・2547・2575



第 40 図　竪穴建物 ST2582 ～ 2584，掘立柱建物 SB3294・3295，土坑 SK2573，
柱穴 SP2641・2657・2664・2679・2685 ～ 2687・2694・2697



竪穴建物 ST2582，柱穴 SP2586・2593：S1 - S1′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色砂を含む，以下 2 層まで SP2593
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトと砂を含む
3　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを多く含む，以下 5 層まで SP2586
4　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを多く含む
5　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトと砂を含む
6　10YR4/4 褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと 10YR4/2 灰黄褐色シルトと炭と焼土を含む，以下 7 層まで ST2582
7　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/4 褐色砂を少し含む

カマドEL3269：S2 - S2′, S3 - S3′, S4 - S4′
1　10YR3/3 暗褐色シルト，炭と焼土を多く含む
2　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと炭と焼土を含む
3　10YR2/3 黒褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトを含む

柱穴 SP2641：S5 - S5′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを少し含む
2　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを多く含む
3　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを多く含む
4　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む

柱穴 SP2657：S6 - S6′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト, 10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む, 抜き取り痕
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを少し含む, 以下掘方
3　10YR6/3 にぶい黄橙色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトと 10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む
4　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトと 10YR5/2 灰黄褐色シルトを少し含む

柱穴 SP2664：S7 - S7′
1　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む
3　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトと砂を多く含む

竪穴建物 ST2582・2583，柱穴 SP2750：S8 - S8′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを少し含む，以下 2 層まで SP2750
2　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR4/4 褐色シルトと砂を多く含む
3　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと炭と焼土を含む，以下 7 層まで ST2583，4 層まで覆土
4　10YR4/4 褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトと炭と焼土を含む
5　10YR4/4 褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトを多く含む，ピット
6　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと 10YR4/4 褐色シルトを含む，以下 7 層まで SP3405
7　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む
8　10YR4/4 褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと 10YR4/2 灰黄褐色シルトと炭と焼土を含む，以下 9 層まで ST2582，覆土
9　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/4 褐色砂を少し含む，掘方

カマド EL3270 ：S9 - S9′，S10 - S10′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと炭と焼土を含む
2　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，炭を含む
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと炭と焼土を含む
4　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトと炭と焼土を多く含む
5　10YR4/2 灰黄褐色シルト，炭と焼土を多く含む
6　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと炭と焼土を多く含む

柱穴 SP2687：S11 - S11′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトと炭と焼土を少し含む，抜き取り痕
2　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと炭を少し含む，柱痕
3　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む，掘方

柱穴 SP2694：S12 - S12′
1　10YR6/4 にぶい黄橙色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを多く含む，抜き取り痕
2　10YR6/3 にぶい黄橙色シルト, 10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む, 柱痕

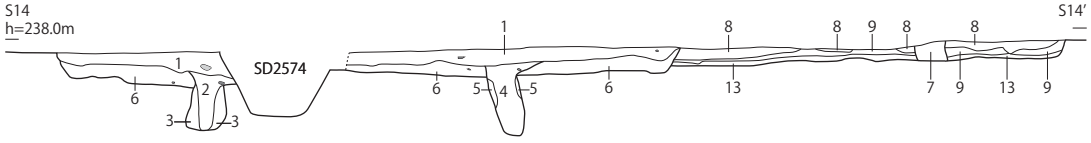
柱穴 SP2697：S13 - S13′
1　10YR3/2 黒褐色シルト, 10YR4/4 褐色シルトと炭を含む, 抜き取り痕
2　10YR4/4 褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，掘方

石

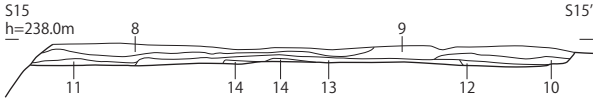
0　2m
1:60

第 41 図　竪穴建物 ST2582・2583，柱穴 SP2641・2657・2664・2687・2694・2697

ST2583・2584，SP2716・2723



ST2584



竪穴建物 ST2583・2584，柱穴 SP2716・2723：S14 - S14′，S15 - S15′

1　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと 10YR4/1 褐灰色シルトと炭を含む，以下 6 層まで ST2583，覆土
2　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトを少し含む，以下 3 層まで SP2723
3　10YR6/3 にぶい黄橙色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む
4　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，以下 5 層まで SP2716
5　10YR4/4 褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む
6　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色粘土と 10YR4/4 褐色シルトと炭を多く含む，掘方
7　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を含む，ピット
8　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと 10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，以下 ST2584，11 層まで覆土
9　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭化材と焼土を多く含む
10　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを多く含む
11　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトと 10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭と焼土を含む
12　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，以下掘方
13　10YR3/4 暗褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと炭を含む
14　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト

EL3271

カマド EL3271（竪穴建物 ST2584）：S16 - S16′

1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトと炭と焼土を多く含む
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと炭を含む
3　10YR4/4 褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む

SP2685

柱穴 SP2685：S17 - S17′

1　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと炭を少し含む，抜き取り痕
2　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，柱痕
3　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む，掘方

SP2686

柱穴SP2686：S18 - S18′

1　10YR3/2黒褐色シルト，10YR5/4にぶい黄褐色シルトを少し含む，抜き取り痕
2　10YR5/4にぶい黄褐色シルト，10YR3/1黒褐色シルトを少し含む，掘方

SP2679

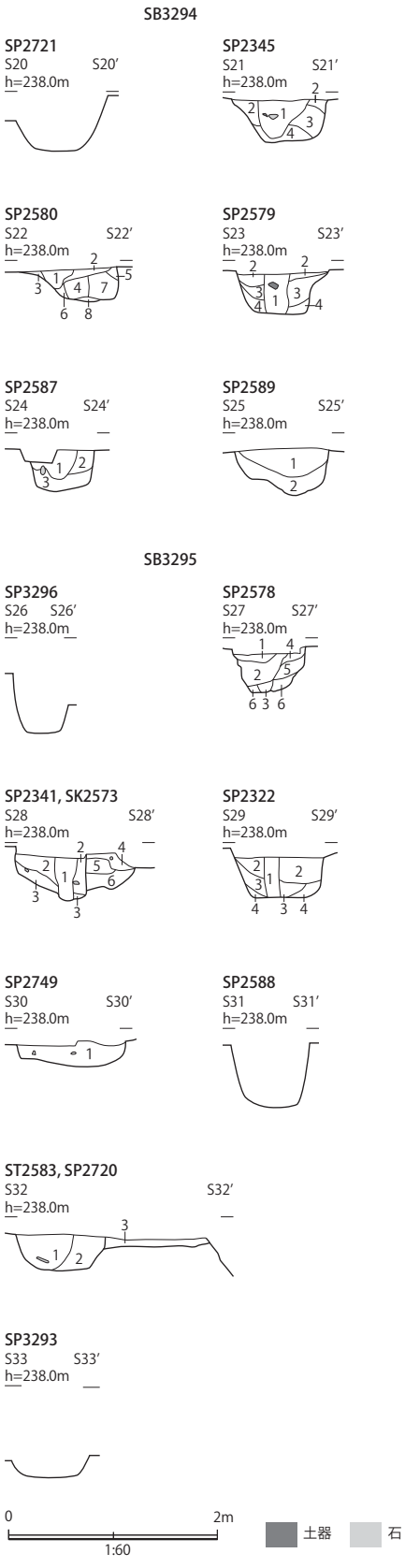
柱穴 SP2679：S19 - S19′

1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，炭と焼土を多く含む，抜き取り痕
2　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR4/4 褐色シルトと炭を少し含む，柱痕
3　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む，以下掘方
4　10YR5/3 黒にぶい黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを多く含む
5　10YR5/2 灰黄褐色シルト，炭を少し含む

土器　石　炭化物　焼土

0　2m
1:60

第 42 図　竪穴建物 ST2583・2584，柱穴 SP2679・2685・2686



柱穴SP2345：S21 - S21′
1 10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトと炭を含む，抜き取り痕
2 10YR4/4 褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトを少し含む，以下掘方
3 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを含む
4 10YR3/2 黒褐色粗砂，10YR3/2 黒褐色シルトを含む

柱穴SP2580：S22 - S22′
1 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，以下 3 層まで抜き取り痕
2 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
3 10YR6/4 にぶい黄橙色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトを少し含む
4 10YR4/2 灰黄褐色シルト，炭と焼土を少し含む，柱痕
5 10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，砂を多く含む，以下掘方
6 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む
7 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
8 10YR4/2 灰黄褐色シルト，砂を少し含む

柱穴SP2579：S23 - S23′
1 10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，柱痕
2 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを多く含む，以下掘方
3 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを多く含む
4 10YR4/2 黒褐色シルト，10YR5/4 シルトと砂を多く含む

柱穴SP2587：S24 - S24′
1 10YR5/1 褐灰色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトと灰を少し含む，抜き取り痕
2 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/2 にぶい黄褐色砂を多く含む，以下掘方
3 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトを含む

柱穴SP2589：S25 - S25′
1 10YR5/1 褐灰色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトと砂と灰を少しを含む，抜き取り痕
2 10YR5/1 褐灰色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを多く含む，掘方

柱穴SP2578：S27 - S27′
1 10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトを多く含む，以下 2 層まで抜き取り痕
2 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを多く含む
3 10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む，柱痕
4 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトと砂を多く含む，以下掘方
5 10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを多く含む
6 10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む

柱穴SP2341, 土坑SK2573：S28 - S28′
1 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下 3 層まで SP2341，抜き取り痕
2 10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを多く含む，以下 3 層まで掘方
3 10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
4 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトを多く含む，以下 SK2573
5 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
6 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む

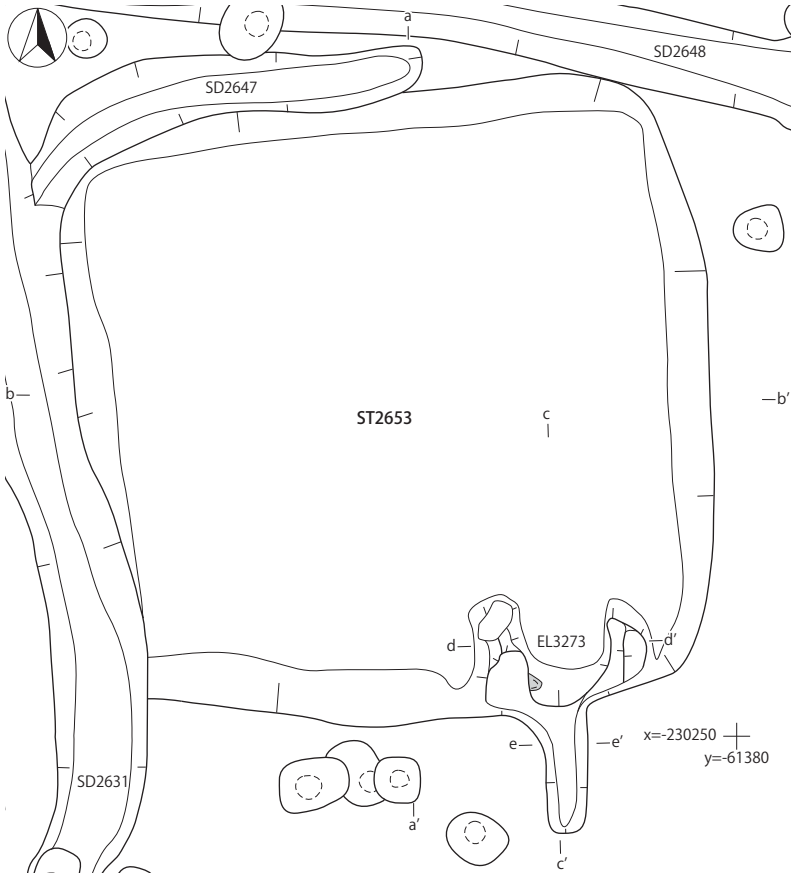
柱穴SP2322：S29 - S29′
1 10YR5/1 褐灰色シルト，炭を少し含む，柱痕
2 10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトを含む，以下掘方
3 10YR5/2 灰黄褐色シルト，粗砂と礫を含む
4 10YR5/2 灰黄褐色シルト，炭を少し含む

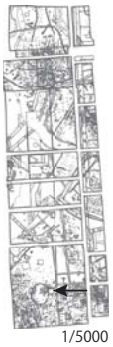
柱穴SP2749：S30 - S30′
1 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト 10YR4/4 褐色シルトと砂と石を含む，掘方

竪穴建物ST2583, 柱穴SP2720：S32 - S32′
1 10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを含む，以下 2 層まで SP2720
2 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む
3 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトと炭と焼土を含む，ST2583

※ 掘立柱建物 SB3294 は、柱穴 SP2721・2345・2580・2579・2750・2589・2593・2587 による構成。
※ 掘立柱建物 SB3295 は、柱穴 SP3296・2578・2341・2322・2749・3293・2720・2586・2588 による構成。

第 43 図　掘立柱建物 SB3294・3295



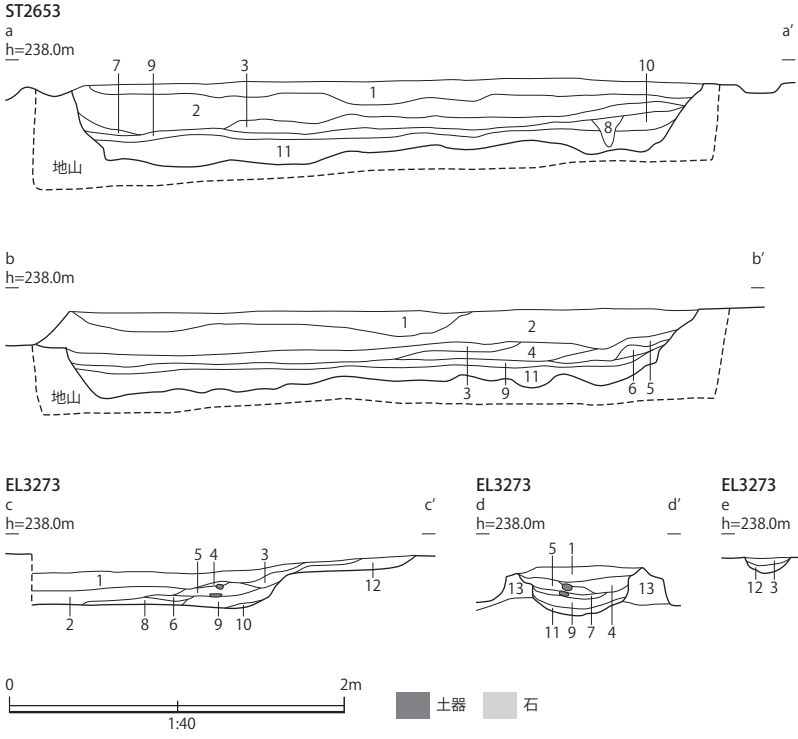


竪穴建物ST2653：a - a′, b - b′

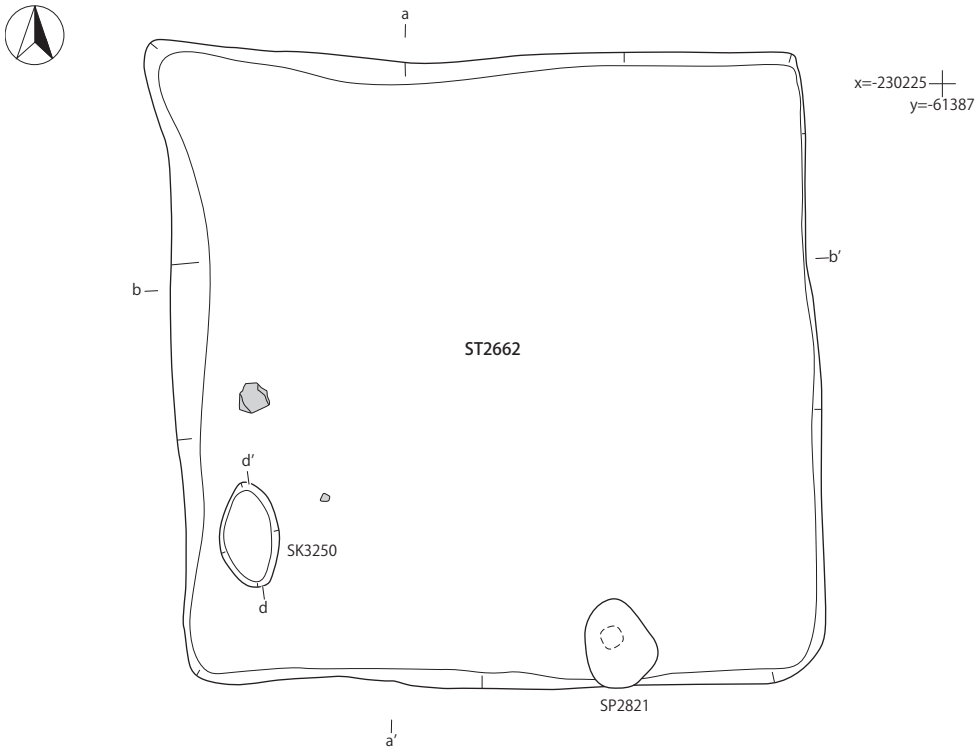
1 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，以下 7 層まで覆土
2 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと10YR4/1 褐灰色シルトと炭を少し含む
3 10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
4 10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトを多く含む
5 10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
6 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む
7 10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む
8 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭と焼土を少し含む，ピット
9 10YR5/1 褐灰色粘土，10YR6/2 灰黄褐色シルトを多く含む,以下10層まで床面構築土
10 10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む
11 10YR6/4 にぶい黄褐色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトと砂を含む，掘方

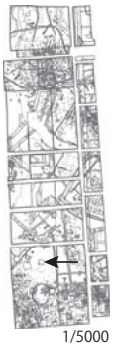
カマドEL3273：c - c′ , d - d′, e - e′

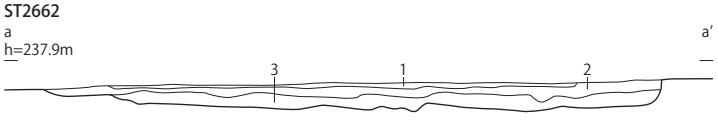
1 ST2653 の 1 層に該当
2 ST2653 の 2 層に該当
3 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトと炭を少し含む，焼土を多く含む，覆土
4 7.5YR6/3 にぶい褐色粘土，被熱，カマド天井の構築土
5 10YR7/3 にぶい黄橙色粘土，カマド天井の構築土
6 10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，炭を少し含む，焼土を多く含む，以下 11 層まで内部の堆積土
7 10YR4/1 褐灰色シルト，炭と焼土を多く含む
8 炭層
9 10YR5/2 灰黄褐色シルト，焼土を多く含む
10 10YR6/1 褐灰色シルト，炭と焼土を少し含む
11 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，焼土を少し含む
12 10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトと焼土を少し含む，煙道の覆土
13 10YR7/4 にぶい黄橙粘土,カマド袖部の構築土

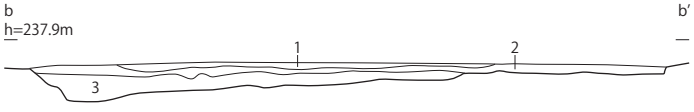


第 44 図　竪穴建物 ST2653

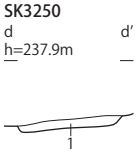








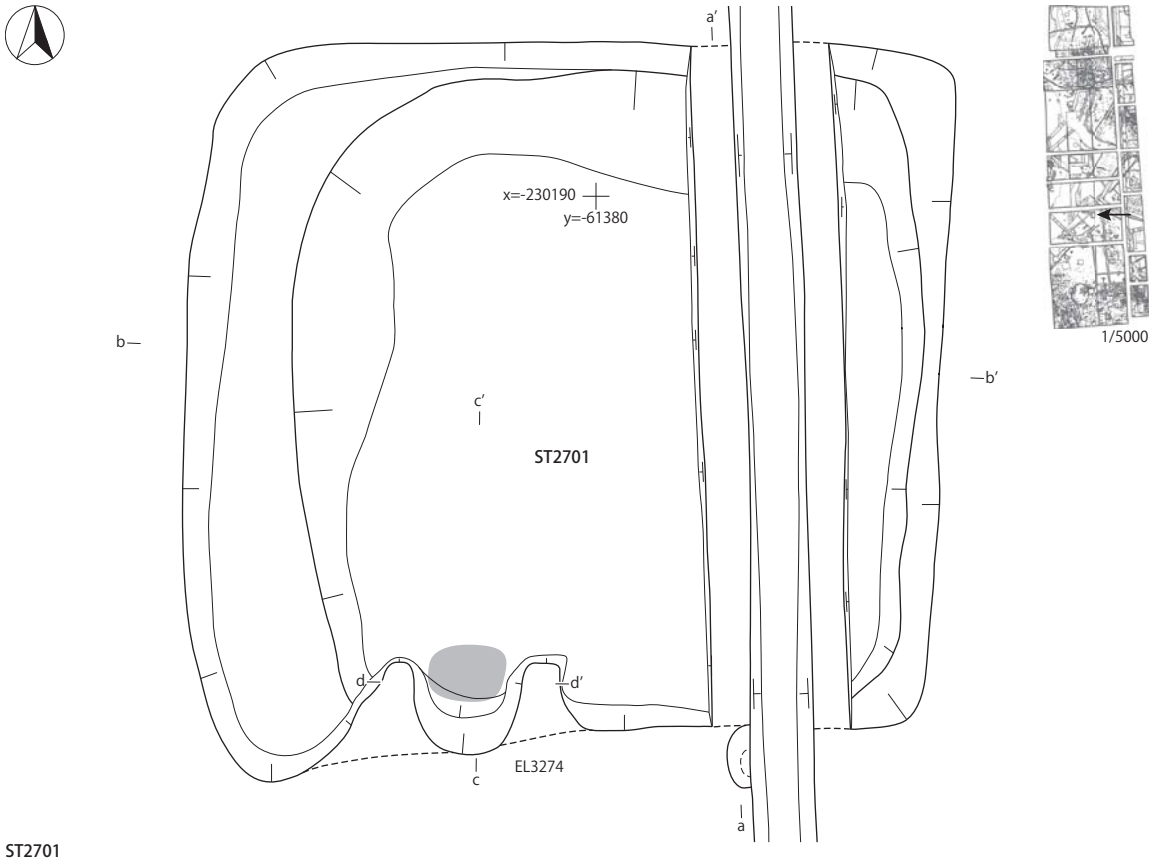
竪穴建物ST2662：a - a′, b - b′
1　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを含む
2　10YR4/4 褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトを含む
3　10YR3/3 暗褐色粗砂，10YR4/4 褐色粘土と石を多く含む

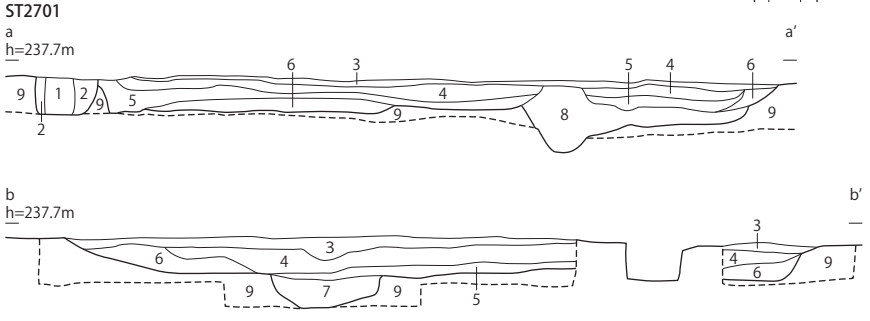


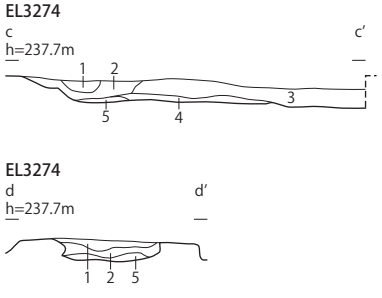
土坑SK3250：d - d′
1　10YR2/1 黒色シルト，10YR3/4 暗褐色シルトと炭と灰を含む

0　2m
1:40
石

第 45 図　竪穴建物 ST2662，土坑 SK3250







竪穴建物ST2701：a - a′, b - b′

1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを含む，以下 2 層まで柱穴
2　10YR4/4 褐色シルト，10YR4/1 褐灰色粘土を含む
3　10YR4/2 灰黄褐色シルト，砂を含む，以下 5 層まで覆土
4　10YR6/2 灰黄褐色粘土，10YR3/1 黒褐色粘土を含む
5　10YR3/3 暗褐色粘土，10YR3/1 黒褐色粘土を少し含む
6　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色粗砂を少し含む，以下 8 層まで掘方
7　10YR5/4 にぶい黄褐色砂，10YR3/1 黒褐色粘土を含む
8　10YR3/2 黒褐色砂，10YR4/4 褐色砂を含む
9　10YR5/4 にぶい黄褐色砂，砂を含む，地山

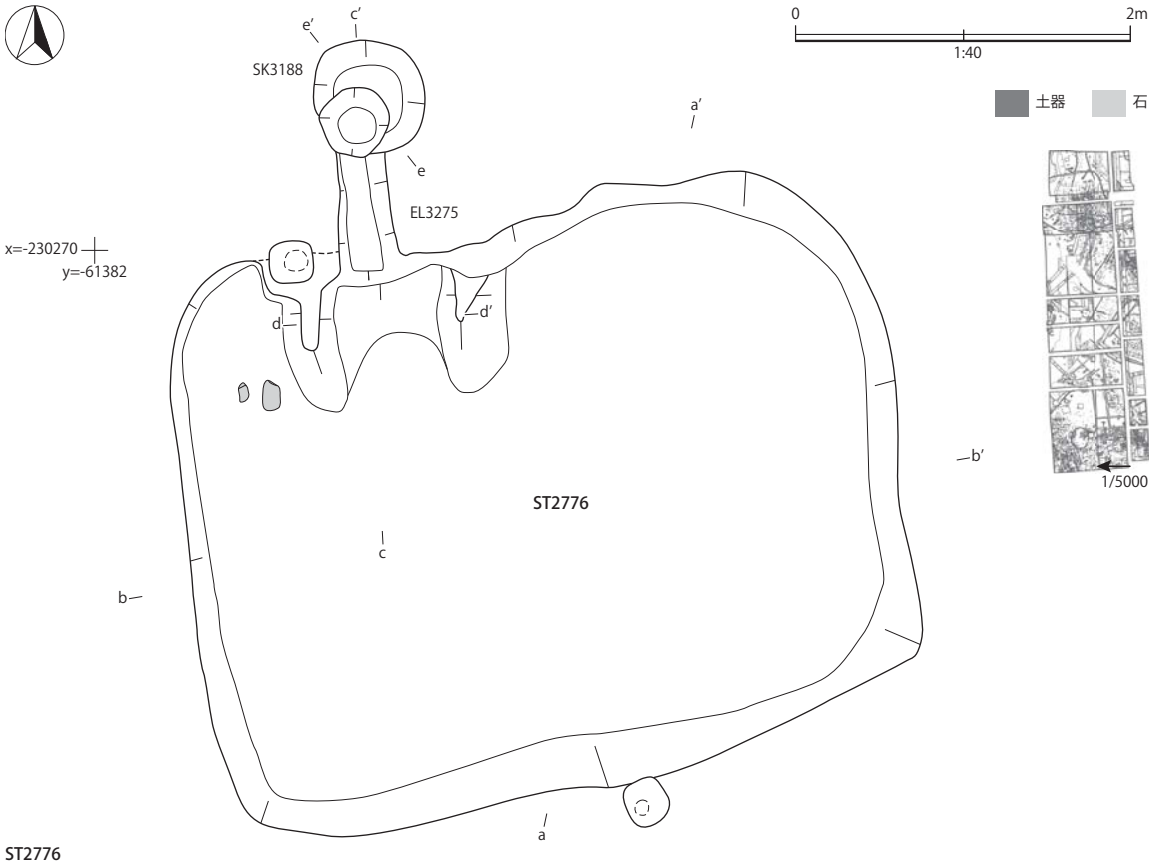
カマドEL3274：c - c′, d - d′

1　10YR3/4 暗褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと焼土を多く含む
2　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR2/3 黒褐色シルトと 10YR5/3 にぶい黄褐色シルトと炭と焼土を多く含む
3　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと 10YR4/1 褐灰色シルトを多く含む
4　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトと炭を多く含む
5　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと焼土を多く含む

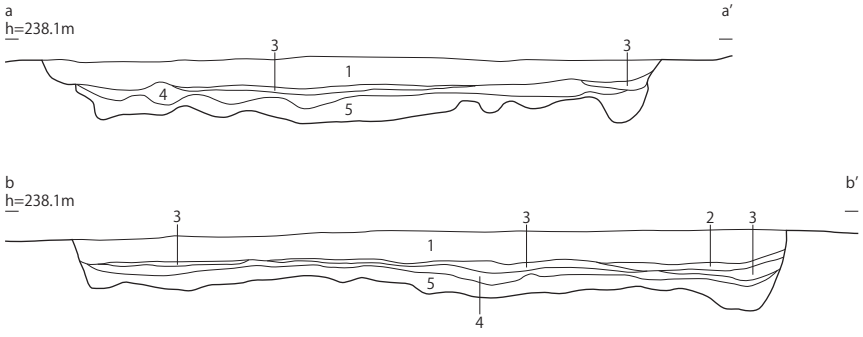
0　2m
1:40

被熱

第 46 図　竪穴建物 ST2701



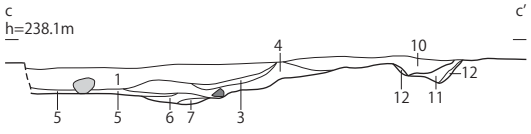
ST2776



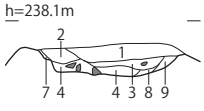
竪穴建物ST2776：a - a′, b - b′

1 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを多く含む，以下 3 層まで覆土
2 10YR5/3 にぶい黄褐色粘土，10YR3/2 黒褐色シルトを含む
3 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトと炭と焼土を含む
4 10YR5/3 にぶい黄褐色粘土，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，床面構築土
5 10YR4/4 褐色砂，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，掘方

EL3275



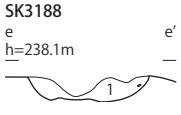
EL3275



カマド EL3275：c - c′, d - d′

1 ST2776 の 1 層に該当
2 7.5YR5/8 明褐色シルト
3 10YR3/4 暗褐色シルト，7.5YR5/8 明褐色シルトと土器を含む
4 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，7.5YR5/8 明褐色シルトと炭と土器を含む
5 ST2776 の 3 層に該当
6 10YR4/6 にぶい黄橙色粘土，10YR5/8 黄褐色シルトを少し含む
7 10YR3/3 暗褐色シルト，炭と植物遺体を少し含む
8 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/3 褐色シルトを少し含む
9 10YR5/6 黄褐色シルト，炭を少し含む
10 10YR2/2 黒褐色シルト，7.5YR5/8 明褐色シルトを含む
11 10YR5/2 灰黄褐色シルト，炭を含む
12 10YR3/1 黒褐色シルト，土器を少し含む

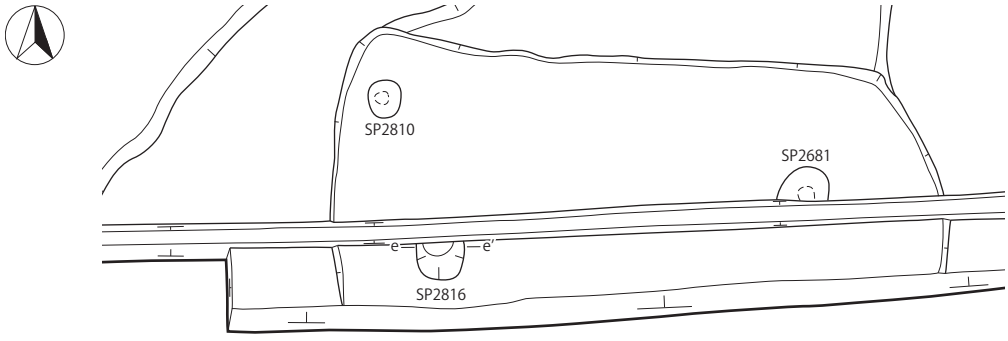
SK3188

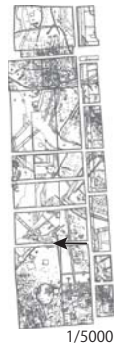


土坑SK3188：e - e′

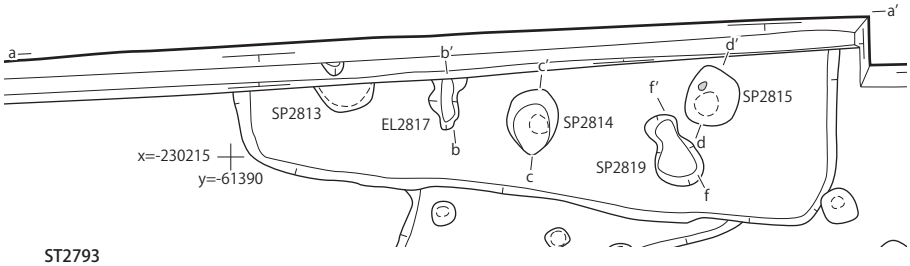
1 10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR6/4 にぶい黄橙色シルトと炭を少し含む

第 47 図　竪穴建物 ST2776，土坑 SK3188

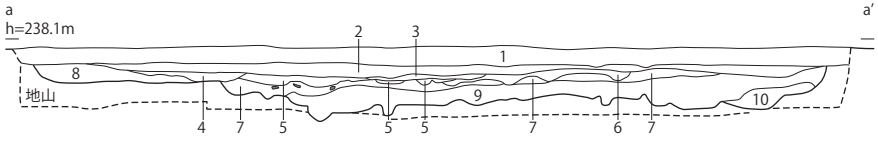




ST2793



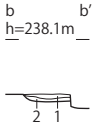
ST2793



竪穴建物ST2793：a - a′

1　表土
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと炭を含む，以下 8 層まで覆土
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと炭を多く含む
4　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトと炭を含む
5　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと炭と焼土を含む
6　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトと炭と焼土を多く含む
7　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトと炭と焼土を多く含む
8　10YR6/3 にぶい黄橙色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを多く含む
9　10YR4/4 褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと炭と焼土を含む，以下掘方
10　10YR3/4 暗褐色砂，10YR4/4 褐色シルトと 10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む

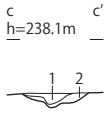
EL2817



カマドEL2817：b - b′

1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトと炭と焼土を多く含む
2　10YR4/4 褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと焼土を含む

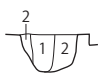
SP2814



柱穴SP2814：c - c′

1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトと炭を含む
2　10YR1.7/1 黒色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと炭と灰と焼土を多く含む

SP2815



柱穴SP2815：d - d′

1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトと 10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む
2　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを多く含む

SP2816

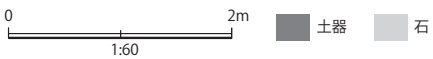
柱穴SP2816：e - e′

1　10YR3/4 暗褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭と焼土を含む

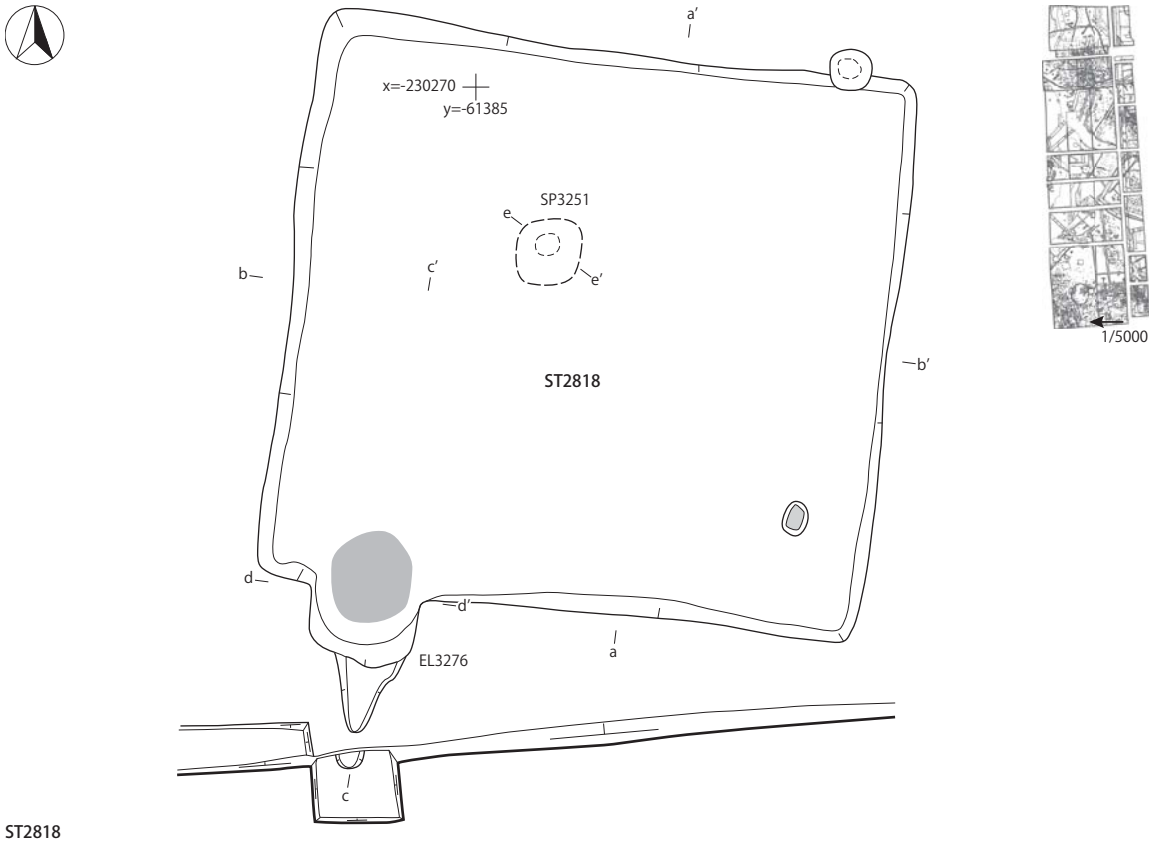
SP2819

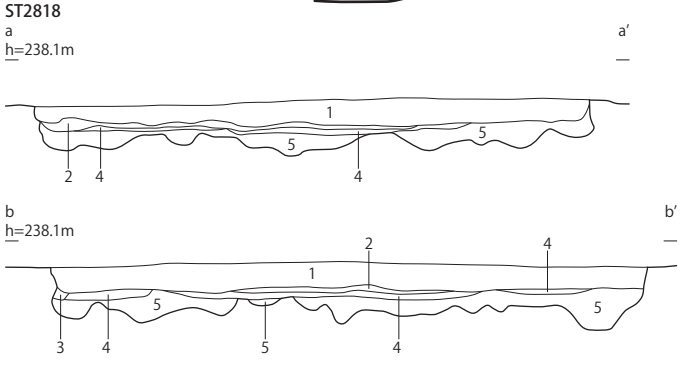
柱穴SP2819：f - f′

1　10YR3/3 暗褐色シルト，炭と焼土を含む



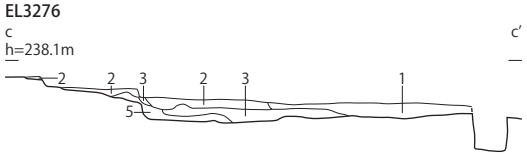
第 48 図　竪穴建物 ST2793，柱穴 SP2814 ～ 2816・2819

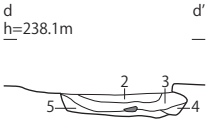


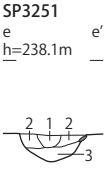


竪穴建物ST2818：a - a′，b - b′

1　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を含む，以下 2 層まで覆土
2　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと炭を多く含む
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを少し含む，以下 4 層まで床面構築土
4　10YR4/4 褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトと 10YR6/2 灰黄褐色シルトを含む
5　10YR4/4 褐色シルト，10YR6/1 褐灰色シルトと砂と炭を少し含む，掘方







カマドEL3276：c - c′，d - d′

1　ST2818 の 1 層に該当
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/6 褐色シルトと炭と焼土を含む
3　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR5/6 黄褐色シルトと 10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと炭と焼土を多く含む
4　10YR2/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトと炭と焼土を含む
5　10YR3/4 暗褐色シルト，炭と焼土を多く含む

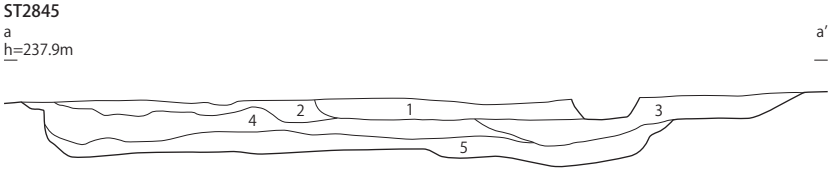
柱穴SP3251：e - e′

1　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む
2　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトを少し含む
3　10YR6/1 褐灰色粘土，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む
※床面下で検出された

0　2m
1:40

被熱　土器　石

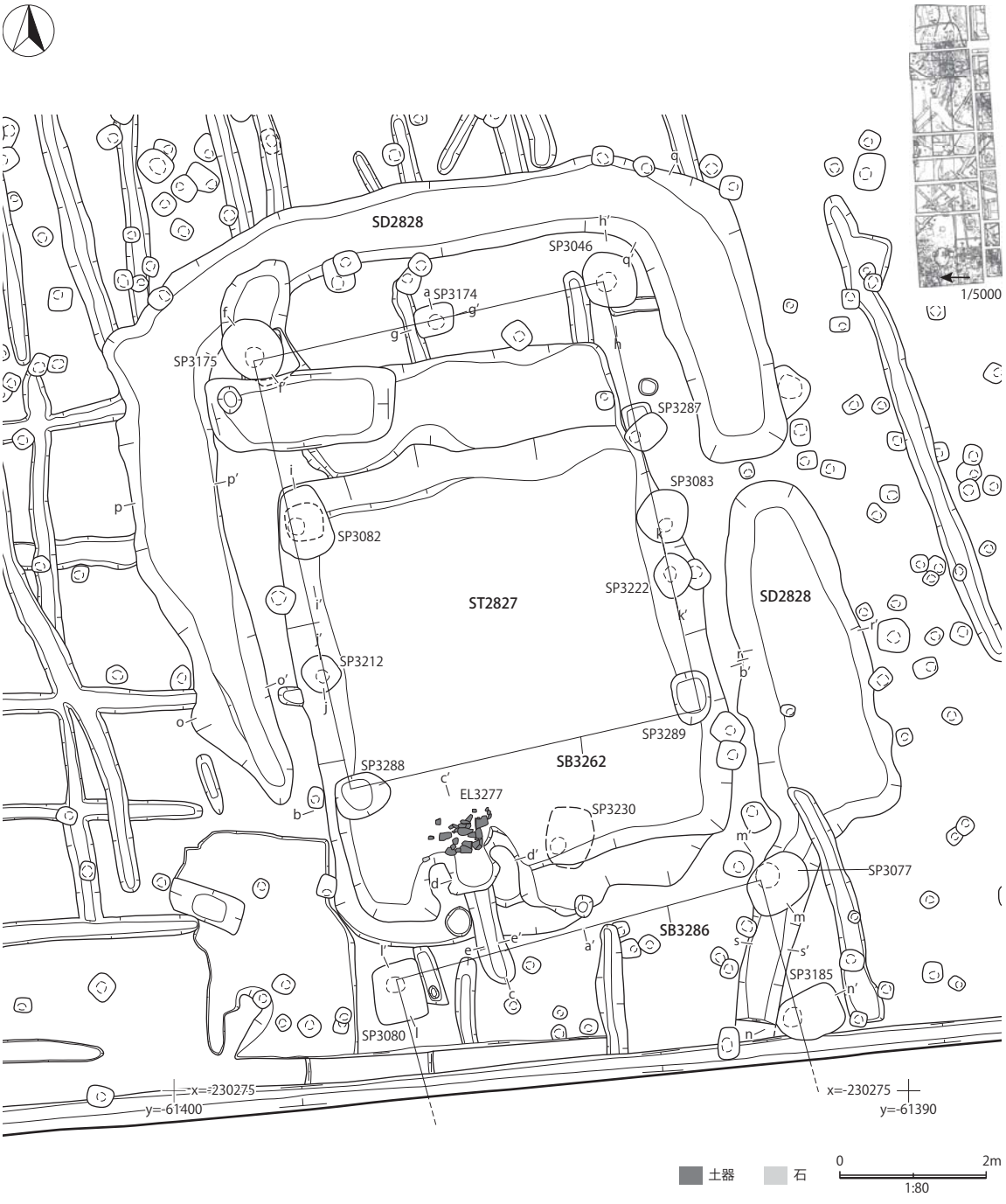
第 49 図　竪穴建物 ST2818，柱穴 SP3251



竪穴建物ST2845：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトを少し含む，以下覆土
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを含む
3　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと粗砂を含む
4　10YR2/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを多く含む
5　10YR4/4 褐色砂，10YR2/2 黒褐色シルトを少し含む

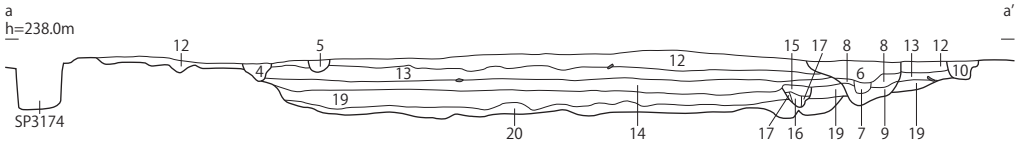
0　2m
1:40

第 50 図　竪穴建物 ST2845

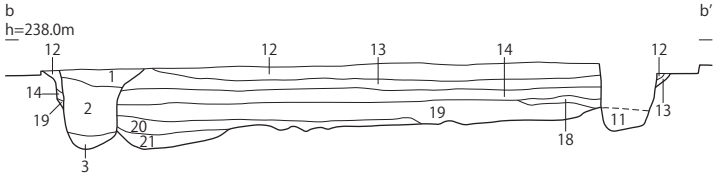


第 51 図　竪穴建物 ST2827，掘立柱建物 SB3262・3286，外周溝 SD2828

ST2827，SP3174・3230



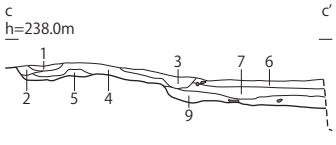
ST2827，SP3288・3289



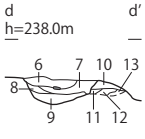
竪穴建物ST2827，柱穴 SP3174・3288・3289・3230：a - a′，b - b′

1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトを含む，以下 3 層まで SP3288 の掘方
2　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトと 10YR6/2 灰黄褐色シルトと炭を少し含む
3　10YR6/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む
4　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR7/3 にぶい黄橙色シルトを少し含む，ピット
5　10YR6/2 灰黄褐色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトを少し含む，ピット
6　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトと炭を少し含む，以下 9 層まで SP3230，抜き取り痕
7　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトと炭を少し含む，柱痕
8　10YR6/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトと炭を少し含む，以下 9 層まで掘方
9　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトと炭を少し含む
10　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトを多く含む，ピット
11　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと 10YR6/2 灰黄褐色シルトを少し含む，SP3289 の掘方
12　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと 10YR6/4 にぶい黄橙色シルトと炭を少し含む，以下 ST2827，13 層まで覆土
13　10YR6/2 灰黄褐色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトと 10YR6/4 にぶい黄橙色シルトを多く含む
14　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトを多く含む，カマド付近では炭を層状に（約 5mm 厚) 含む，床面堆積土と床面構築土の混合層，床第 3 面
15　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトと炭を含む，以下 17 層まで柱穴，抜き取り痕
16　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトと 10YR3/1 黒褐色シルトを少し含む，柱痕
17　10YR6/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む，掘方
18　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトと 10YR6/2 灰黄褐色シルトを少し含む，床面構築土，床第 2 面
19　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトと 10YR6/2 灰黄褐色シルトを含む，カマド付近では炭を層状に（約 5mm 厚）含む，床面堆積土と床面構築土の混合層，床第 2 面
20　10YR6/1 褐灰色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトと炭を含む，床面構築土，床第 1 面
21　10YR5/3 にぶい黄褐色砂，10YR6/2 灰黄褐色シルトを少し含む，掘方

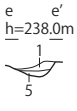
EL3277



EL3277



EL3277



カマド EL3277：c - c′，d - d′，e - e′

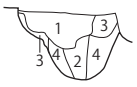
1　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色粘土を含む
2　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色粘土を含む
3　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR2/1 黒色シルトと 10YR3/2 黒褐色粘土を少し含む
4　10YR3/1 黒褐色粘土，10YR5/2 灰黄褐色シルトを少し含む
5　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む
6　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，炭と灰を多く含む，焼土と土器を含む
7　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色粘土と 10YR5/1 褐灰色粘土と炭と焼土を多く含む
8　10YR5/2 灰黄褐色粘土，10YR3/2 黒褐色粘土を少し含む
9　10YR6/2 灰黄褐色粘土，10YR3/1 黒褐色粘土と炭を含む
10　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR5/2 灰黄褐色粘土と炭と焼土を含む，以下カマド袖部の構築土
11　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色粘土を少し含む
12　10YR2/1 黒色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトを少し含む
13　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR4/1 褐灰色粘土を少し含む

0　2m
1:60
土器

第 52 図　竪穴建物 ST2827

SB3262

SP3175
f　f′
h=238.0m



柱穴SP3175：f - f′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトと土器を含む，抜き取り痕
2　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色細砂を含む，柱痕
3　10YR5/3 にぶい黄褐色細砂，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，以下掘方
4　10YR5/2 灰黄褐色細砂，10YR5/3 にぶい黄褐色細砂を少し含む

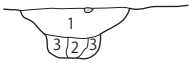
SP3174
g　g′
h=238.0m

柱穴 SP3174：g - g′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトを含む，柱痕
2　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，以下掘方
3　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む

SP3046
h　h′
h=238.0m

柱穴 SP3046：h - h′
1　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトを少し含む，抜き取り痕
2　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む，柱痕
3　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む，掘方

SP3082
i　i′
h=238.0m



柱穴 SP3082：i - i′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを含む，抜き取り痕
2　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトを含む，柱痕
3　10YR6/2 灰黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを少し含む，掘方

SP3212
j　j′
h=238.0m

柱穴 SP3212：j - j′
1　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトを含む，抜き取り痕
2　10YR3/1 褐灰色粘土，10YR5/1 褐灰色細砂を含む，柱痕
3　10YR4/4 褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを多く含む，以下掘方
4　10YR5/1 褐灰色細細，10YR5/6 黄褐色シルトを少し含む

SP3222
k　k′
h=238.0m

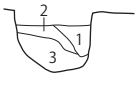
柱穴 SP3222：k - k′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトと 10YR6/2 灰黄褐色シルトを含む，柱痕
2　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと 10YR6/2 灰黄褐色シルトを含む，掘方

SB3286

SP3080
l　l′
h=238.0m

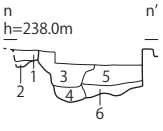
柱穴 SP3080：l - l′
1　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを含む，柱痕
2　10YR6/2 灰黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを多く含む，以下掘方
3　10YR5/1 褐灰色シルト

SP3077
m　m′
h=238.0m



柱穴 SP3077：m - m′
1　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトを含む，抜き取り痕
2　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを含む，以下掘方
3　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR6/1 褐灰色シルトを含む

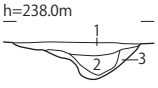
SP3185
n　n′
h=238.0m



柱穴 SP3185：n - n′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを含む，以下 2 層まで SD2828
2　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む
3　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトを含む，以下 SP3185，抜き取り痕
4　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトを含む，柱痕
5　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下掘方
6　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトを含む

※掘立柱建物 SB3262 は、柱穴 SP3046・3082・3174・3175・3212・3222・3287・3288・3289 による構成。
※掘立柱建物 SB3286 は、柱穴 SP3077・3080・3185 による構成。

SD2828
o　o′
h=238.0m

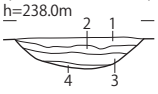


溝 SD2828：o - o′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトを少し含む
2　10YR6/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを多く含む
3　10YR4/2 灰黄褐色細砂

SD2828
p　p′
h=238.0m

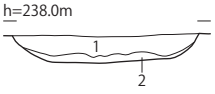
溝 SD2828：p - p′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトを含む
2　10YR5/1 褐灰色シルト

SD2828
q　q′
h=238.0m



溝 SD2828：q - q′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む
2　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む
3　10YR5/2 灰黄褐色細砂
4　10YR6/2 灰黄褐色粘土

SD2828
r　r′
h=238.0m



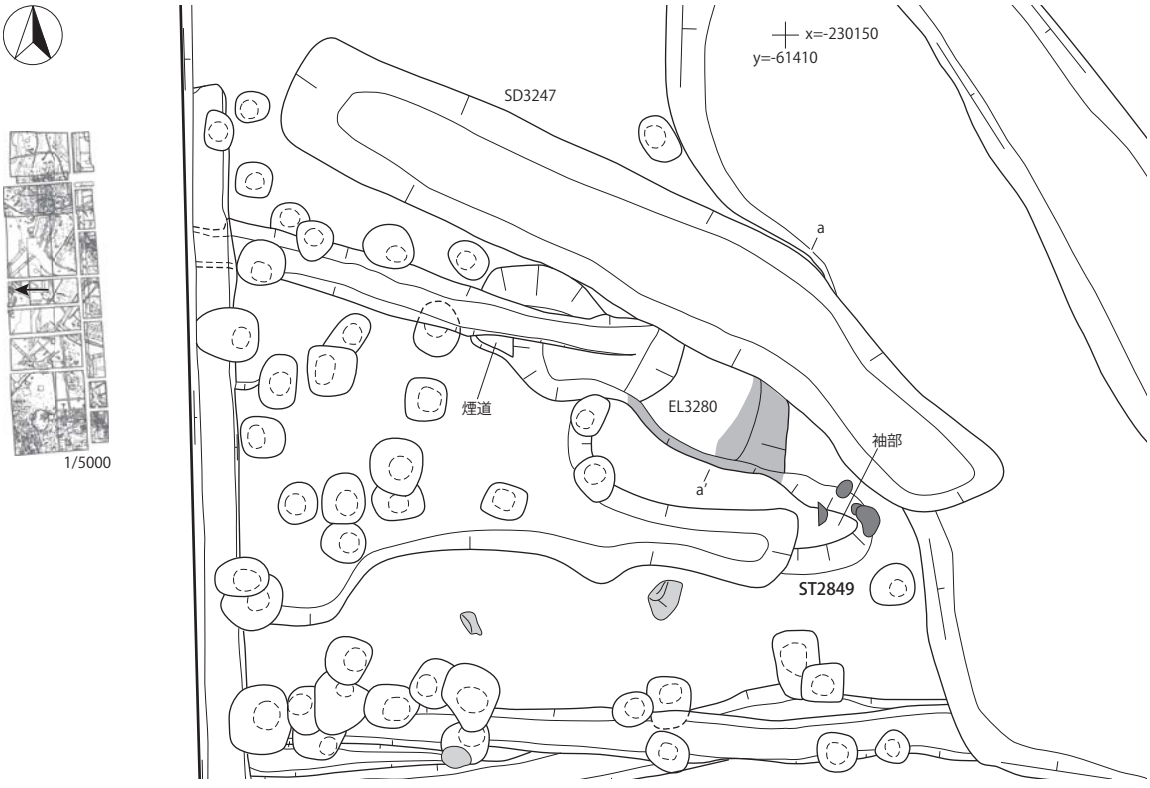
溝 SD2828：r - r′
1　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトと炭を含む
2　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む

SD2828
s　s′
h=238.0m

溝 SD2828：s - s′
1　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトと炭を含む
2　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む

石　0　2m　1:60

第 53 図　掘立柱建物 SB3262・3286，外周溝 SD2828



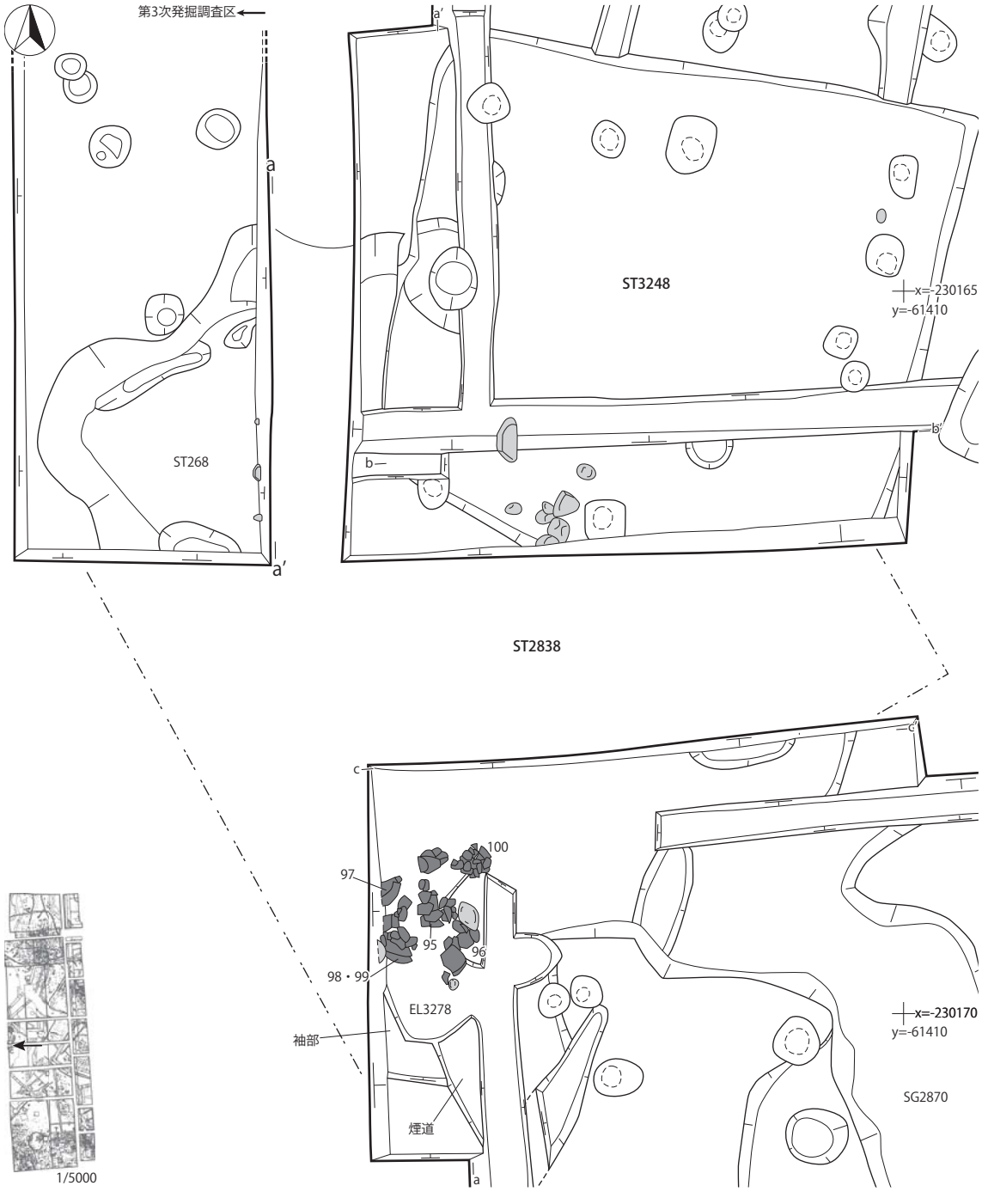
カマド EL3280，溝 SD3247：a - a′

1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む，以下 2 層まで SD3247
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを多く含む
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと焼土を含む，以下 EL3280
4　10YR3/3 暗褐色シルト，炭と焼土を多く含む
5　10YR3/2 黒褐色シルト，炭と焼土を多く含む
6　10YR4/2 灰黄褐色シルト，焼土を多く含む

被熱　土器　石

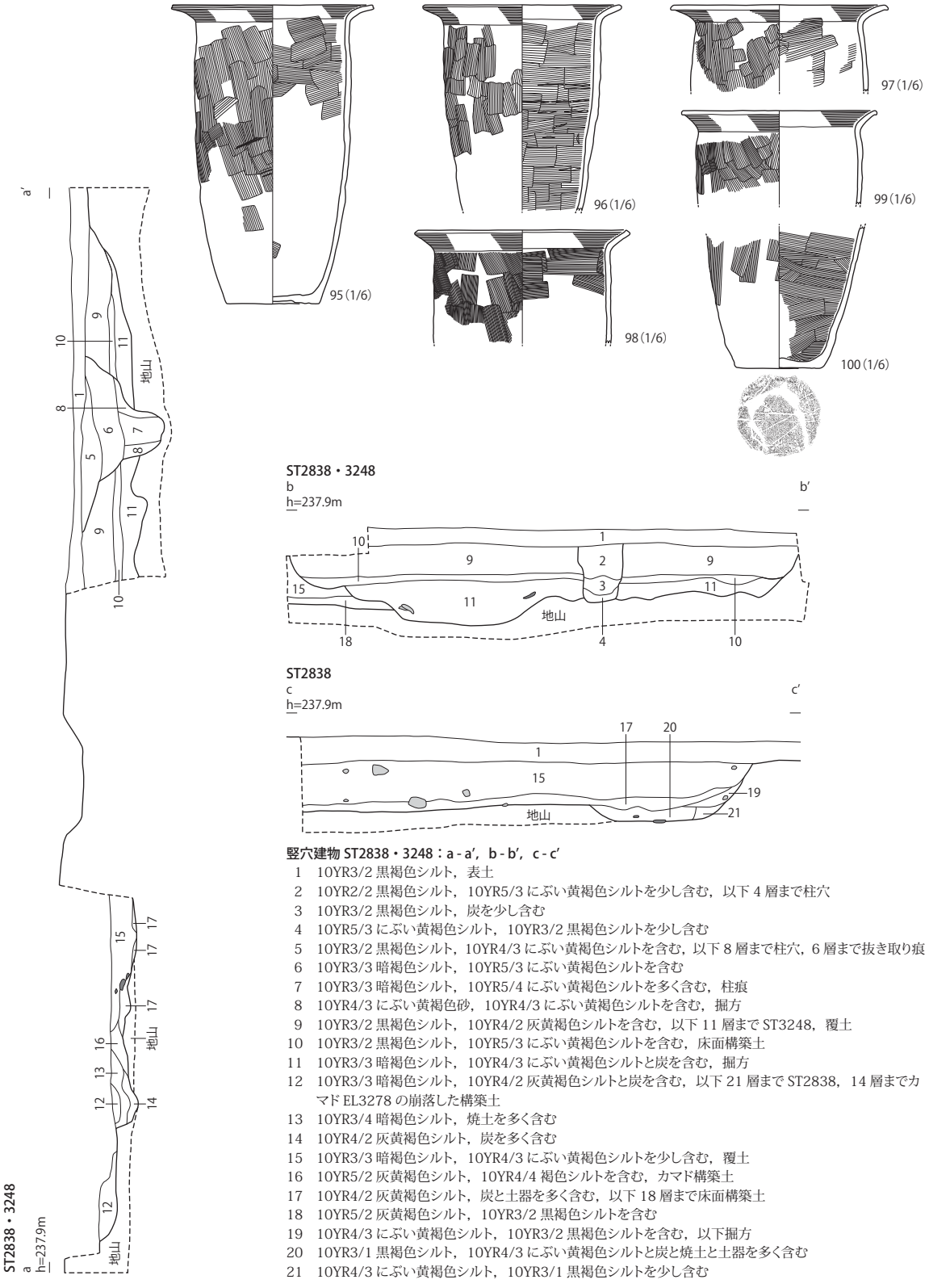
0　2m
1:40

第 54 図　竪穴建物 ST2849，溝 SD3247



0 2m
1:40
石 土器

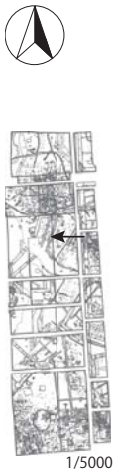
第 55 図　竪穴建物 ST2838・3248

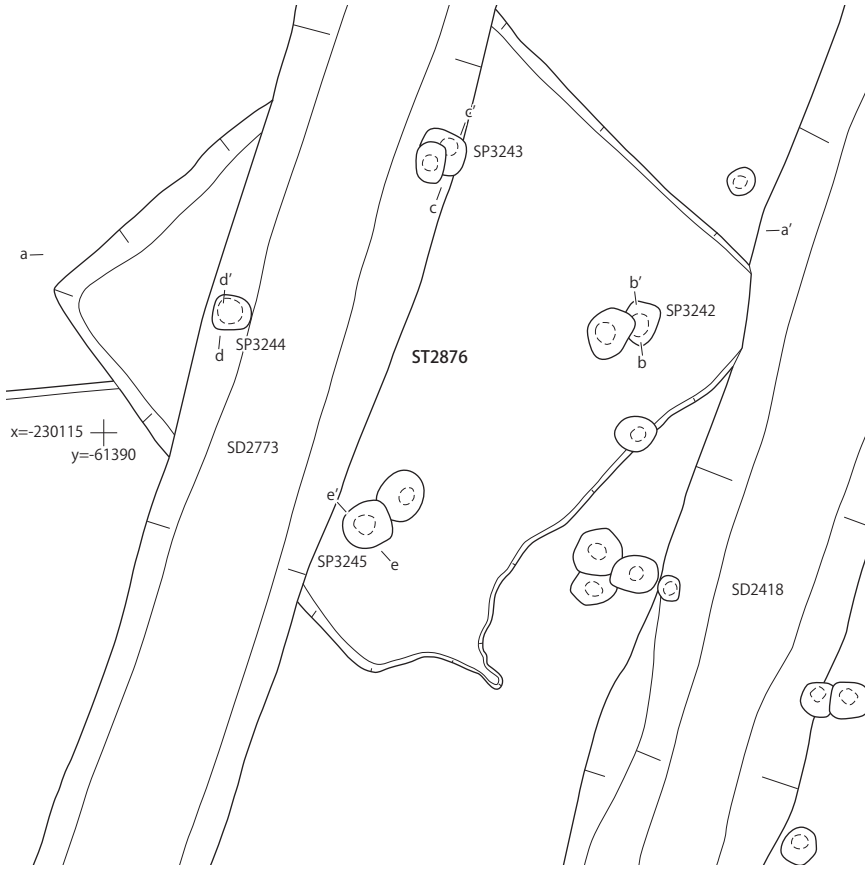


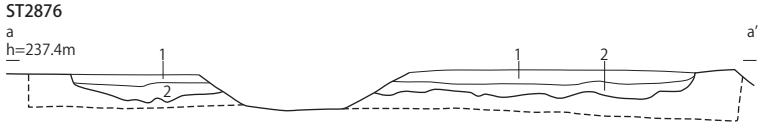
竪穴建物 ST2838・3248：a - a′，b - b′，c - c′

1　10YR3/2 黒褐色シルト，表土
2　10YR2/2 黒褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下 4 層まで柱穴
3　10YR3/2 黒褐色シルト，炭を少し含む
4　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む
5　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む，以下 8 層まで柱穴，6 層まで抜き取り痕
6　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを含む
7　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを多く含む，柱痕
8　10YR4/3 にぶい黄褐色砂，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む，掘方
9　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，以下 11 層まで ST3248，覆土
10　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを含む，床面構築土
11　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと炭を含む，掘方
12　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと炭を含む，以下 21 層まで ST2838，14 層までカマド EL3278 の崩落した構築土
13　10YR3/4 暗褐色シルト，焼土を多く含む
14　10YR4/2 灰黄褐色シルト，炭を多く含む
15　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む，覆土
16　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを含む，カマド構築土
17　10YR4/2 灰黄褐色シルト，炭と土器を多く含む，以下 18 層まで床面構築土
18　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む
19　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，以下掘方
20　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと炭と焼土と土器を多く含む
21　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを少し含む

第 56 図　竪穴建物 ST2838・3248







竪穴建物ST2876：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと炭を多く含む,覆土
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと 10YR3/1 黒褐色シルトを少し含む，掘方

SP3242
b　b′
h=237.4m

柱穴SP3242：b - b′
1　10YR2/1 黒色シルト，10YR4/4 褐色シルトを含む，柱痕
2　10YR4/4 褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む，掘方

SP3243
c　c′
h=237.4m

柱穴 SP3243：c - c′
1　10YR2/2 黒褐色シルト，10YR4/6 褐色シルトを少し含む，柱痕
2　10YR4/6 褐色シルト，10YR2/2 黒褐色シルトを多く含む，掘方

SP3244
d　d′
h=237.4m

柱穴 SP3244：d - d′
1　10YR2/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む，抜き取り痕
2　10YR4/4 褐色シルト，10YR2/2 黒褐色シルトを少し含む，柱痕
3　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを少し含む，掘方

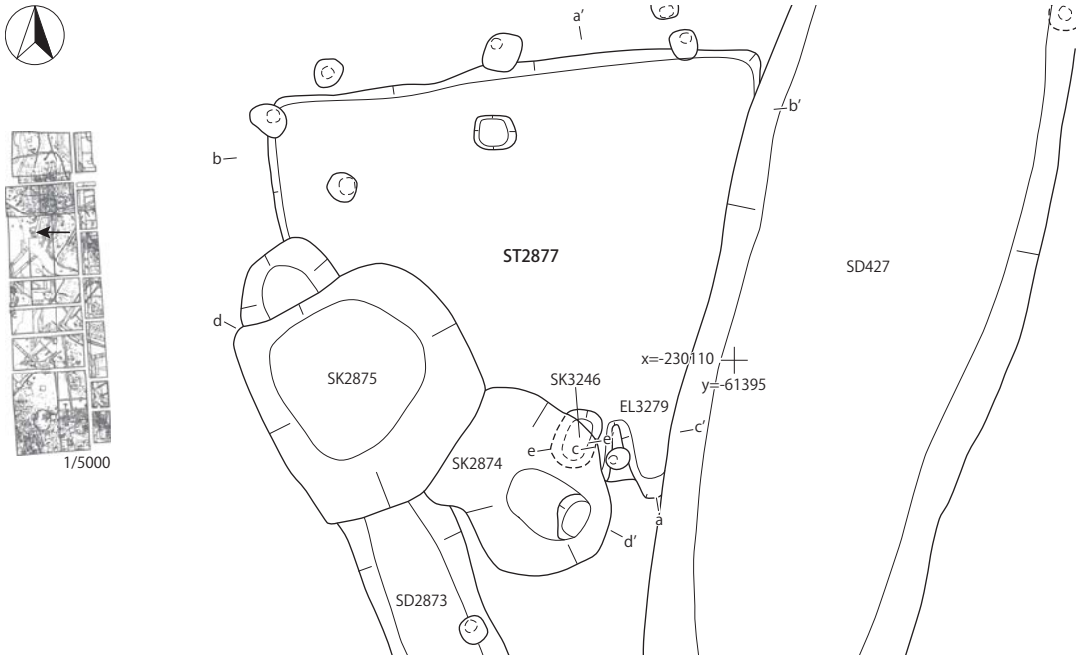
SP3245
e　e′
h=237.4m

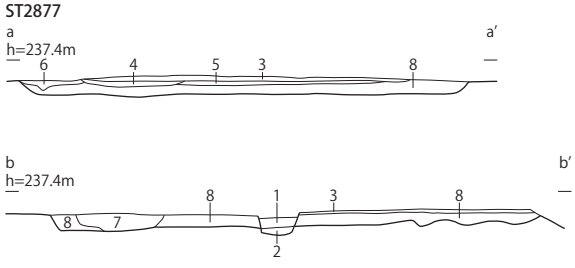
柱穴 SP3245：e - e′
1　10YR1.7/1 黒色粘土，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを多く含む，柱痕
2　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，掘方

0　2m
1:60

石

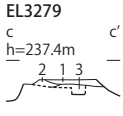
第 57 図　竪穴建物 ST2876，柱穴 SP3242 ～ 3245





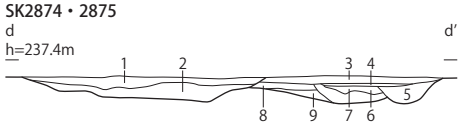
竪穴建物ST2877：a - a′, b - b′

1 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトを含む，以下 2 層まで柱穴
2 10YR4/3 にぶい黄褐色粗砂，礫を含む
3 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下 7 層まで ST2877，5 層まで覆土
4 10YR1.7/1 黒色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと炭を含む
5 10YR4/1 褐灰色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと炭を含む
6 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと炭と焼土を含む，EL3279 内堆積層
7 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を含む，以下掘方
8 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む



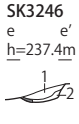
カマドEL3279：c - c′

1 ST2877 の 6 層に該当
2 10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと 10YR5/8 黄褐色シルトを含む，カマド袖部
3 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む，ST2877 の掘方



土坑 SK2874・2875：d - d′

1 10YR4/1 褐灰色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトと炭を少し含む，以下 2 層まで SK2875
2 10YR6/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトと炭を少し含む
3 10YR4/1 褐灰色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトと炭と焼土を少し含む，以下 SK2874
4 10YR4/2 灰黄褐色シルト，炭を多く含む
5 10YR6/3 にぶい黄橙色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと炭と焼土を少し含む
6 10YR6/3 にぶい黄橙色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトを多く含む
7 10YR5/1 褐灰色シルト，10R6/3 にぶい黄橙色シルトと炭と焼土を少し含む
8 10YR6/3 にぶい黄橙色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトと炭を少し含む
9 10YR6/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトと炭を少し含む

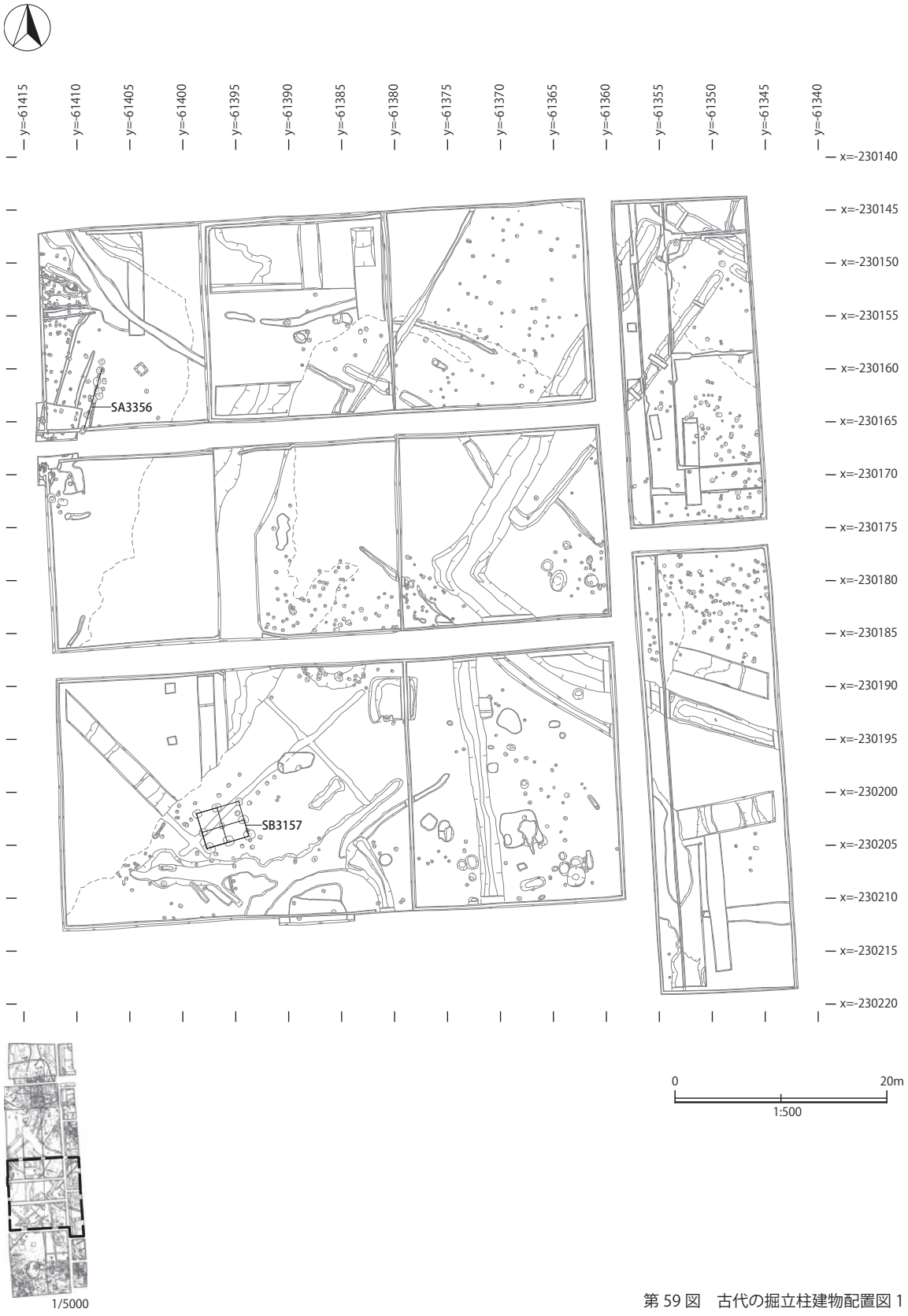


土坑SK3246：e - e′

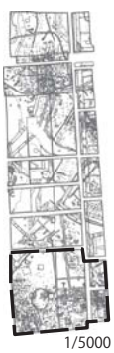
1 10YR2/2 黒褐色シルト，炭と焼土を多く含む
2 10YR5/2 灰黄褐色細砂，土器片と炭を少し含む

0　2m
1:60
土器

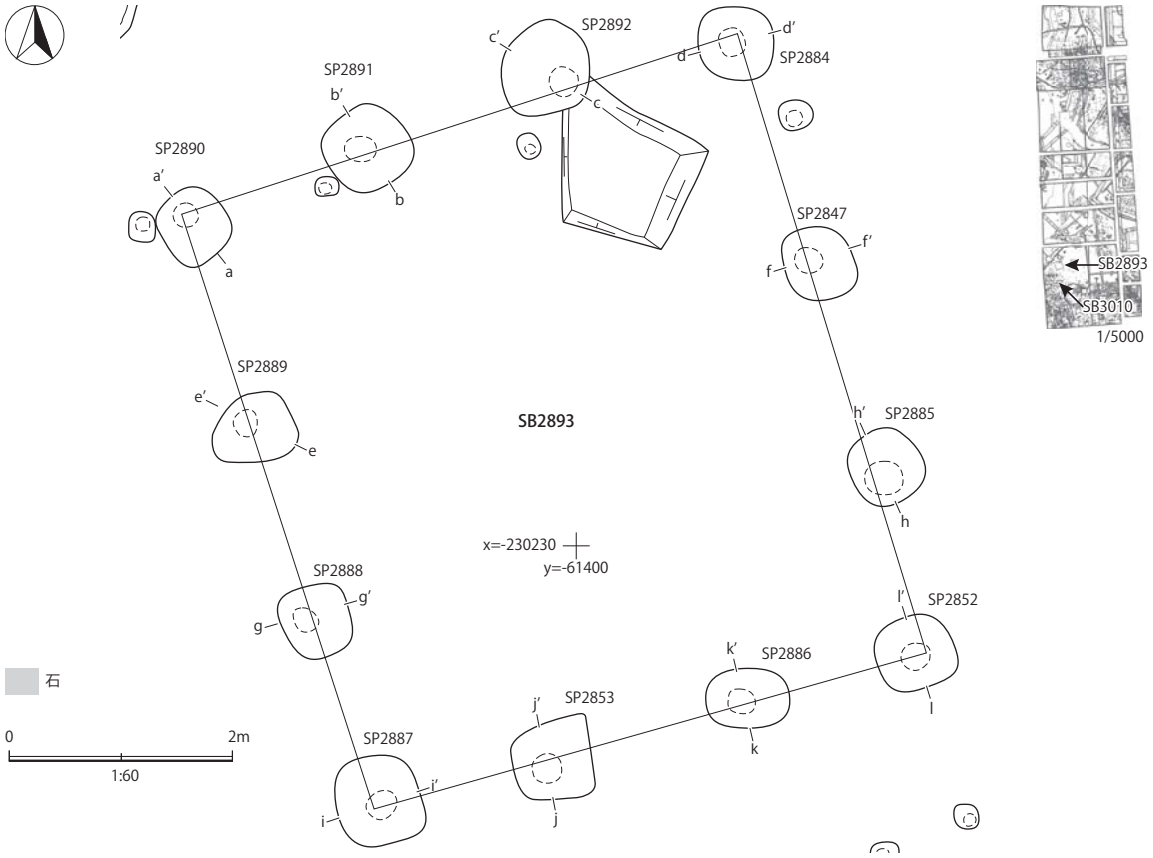
第 58 図　竪穴建物 ST2877，土坑 SK2874・2875・3246



第 59 図　古代の掘立柱建物配置図 1



第 60 図　古代の掘立柱建物配置図 2



SP2890 柱穴SP2890：a - a′

a a′ h=237.9m

1 10YR3/1 黒褐色粘土 10YR3/1 黒褐色砂を含む，柱痕
2 10YR4/4 褐色粘土，10YR4/4 褐色砂を含む，以下掘方
3 10YR3/2 黒褐色砂，10YR3/2 黒褐色粘土を含む

SP2891 柱穴 SP2891：b - b′

b b′ h=237.9m

1 10YR2/3 黒褐色砂 10YR2/3 黒褐色粘土を含む，柱痕
2 10YR2/3 黒褐色粘土，10YR4/4 褐色砂を多く含む，以下掘方

SP2892 柱穴 SP2892：c - c′

c c′ h=237.9m

1 10YR3/2 黒褐色砂，柱痕
2 10YR3/4 黒褐色砂，10YR4/4 褐色砂を含む，掘方

SP2884 柱穴 SP2884：d - d′

d d′ h=237.9m

1 10YR2/2 黒褐色粘土，10YR3/2 黒褐色砂を含む，柱痕
2 10YR2/2 黒褐色粘土，10YR4/4 褐色粘土と砂を多く含む，掘方

SP2889 柱穴 SP2889：e - e′

e e′ h=237.9m

1 10YR3/2 黒褐色砂，10YR3/2 黒褐色粘土を含む，柱痕
2 10YR4/4 褐色砂，10YR4/4 褐色粘土を含む，以下掘方
3 10YR4/3 にぶい黄褐色粗砂，10YR3/2 黒褐色砂を含む

SP2847 柱穴 SP2847：f - f′

f f′ h=237.9m

1 10YR3/2 黒褐色砂，10YR3/2 黒褐色粘土を含む，柱痕
2 10YR3/2 黒褐色砂，10YR4/4 褐色粘土を含む，掘方

SP2888 柱穴 SP2888：g - g′

g g′ h=237.9m

1 10YR3/2 黒褐色粘土，10YR3/2 黒褐色砂を含む，柱痕
2 10YR3/3 暗褐色砂，10YR3/3 暗褐色粘土を含む，以下掘方
3 10YR2/3 黒褐色砂，10YR2/3 黒褐色粘土を含む

SP2885 柱穴 SP2885：h - h′

h h′ h=237.9m

1 10YR3/2 黒褐色シルト，砂を多く含む，柱痕
2 10YR4/4 褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルト砂を多く含む，掘方

SP2887 柱穴 SP2887：i - i′

i i′ h=237.9m

1 10YR3/2 黒褐色砂，10YR3/2 黒褐色粘土を含む，柱痕
2 10YR5/4 にぶい黄褐色粘土，10YR5/4 にぶい黄褐色砂を含む，以下掘方
3 10YR3/3 暗褐色砂

SP2853 柱穴 SP2853：j - j′

j j′ h=237.9m

1 10YR3/2 黒褐色シルト，柱痕
2 10YR4/3 にぶい黄褐色砂，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，掘方

SP2886 柱穴 SP2886：k - k′

k k′ h=237.9m

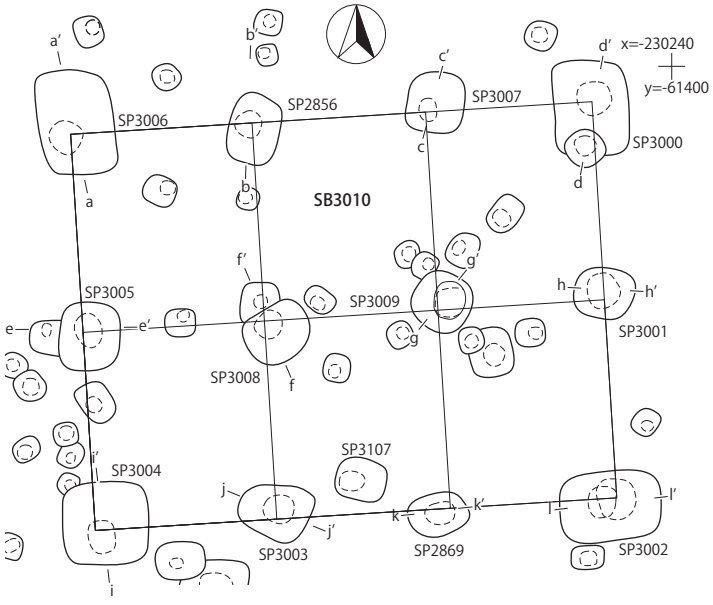
1 10YR4/4 褐色粘土，10YR4/4 褐色砂を含む，柱痕
2 10YR3/2 黒褐色砂，礫を含む，掘方

SP2852 柱穴 SP2852：l - l′

l l′ h=237.9m

1 10YR3/3 暗褐色砂，10YR3/3 暗褐色シルトを含む，柱痕
2 10YR4/4 褐色粘土，10YR3/2 黒褐色粘土と砂を含む，掘方

第 61 図　掘立柱建物 SB2893



柱穴SP3006：a - a′
1 10YR2/3 黒褐色粘土，10YR3/3 暗褐色シルトを少し含む，柱痕
2 10YR3/2 黒褐色粘土，10YR3/4 暗褐色シルトと10YR3/3 暗褐色粗砂を少し含む，以下掘方
3 10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと 10YR4/2 灰黄褐色粗砂を少し含む

柱穴 SP2856：b - b′
1 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土，10YR3/4 暗褐色シルトと粗砂を含む，柱痕
2 10YR3/3 暗褐色粘土，10YR3/2 黒褐色粗砂を多く含む，掘方

柱穴 SP3007：c - c′
1 10YR3/3 暗褐色粘土，粗砂を少し含む，以下 2 層まで柱痕
2 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと粗砂を含む
3 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR3/4 暗褐色シルトと粗砂を含む，掘方

柱穴 SP3000：d - d′
1 10YR3/3 暗褐色粘土，10YR3/4 暗褐色シルトを含む，以下 2 層まで別の柱穴
2 10YR4/4 褐色シルト，10YR3/2 黒褐色粘土と粗砂を多く含む
3 10YR3/2 黒褐色粘土，10YR4/2 灰黄褐色粘土を少し含む，抜き取り痕
4 10YR2/3 黒褐色粘土，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む，以下掘方
5 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/4 暗褐色シルトと粗砂を含む

柱穴 SP3005：e - e′
1 10YR3/2 黒褐色粘土，10YR4/3 にぶい黄褐色粘土と粗砂を含む，抜き取り痕
2 10YR3/3 暗褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと粗砂を含む，掘方
3 10YR2/2 黒褐色粘土，10YR3/3 暗褐色粘土を少し含む，以下別の柱穴
4 10YR4/4 褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトと粗砂を少し含む

柱穴 SP3008：f - f′
1 10YR3/2 黒褐色粘土，10YR3/3 暗褐色粘土を含む，抜き取り痕
2 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土，10YR4/3 にぶい黄褐色粗砂を少し含む，以下 3 層まで掘方
3 10YR3/4 暗褐色粘土，10YR3/3 暗褐色粘土と細砂を含む
4 10YR3/2 黒褐色粘土，10YR4/3 にぶい黄褐色粘土を含む，以下別の柱穴
5 10YR3/4 暗褐色シルト，10YR3/4 暗褐色粗砂と10YR4/2 灰黄褐色シルトと粗砂を多く含む

柱穴 SP3009：g - g′
1 10YR3/2 黒褐色粘土，10YR3/4 暗褐色粘土を少し含む，以下 2 層まで抜き取り痕
2 10YR3/3 暗褐色粘土，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと粗砂を多く含む
3 10YR3/4 暗褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトと粗砂を多く含む，掘方

柱穴 SP3001：h - h′
1 10YR3/2 黒褐色粘土，粗砂を少し含む，以下 2 層まで抜き取り痕
2 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと細砂を少し含む
3 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む，掘方

柱穴 SP3004：i - i′
1 10YR3/3 暗褐色粘土，10YR3/2 黒褐色粘土をと10YR4/3 にぶい黄褐色粘土含む，以下 3 層まで抜き取り痕
2 10YR4/4 褐色粘土，10YR4/3 にぶい黄褐色粘土を含む
3 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR2/3 黒褐色粘土を少し含む
4 10YR4/4 褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと粗砂を多く含む，掘方

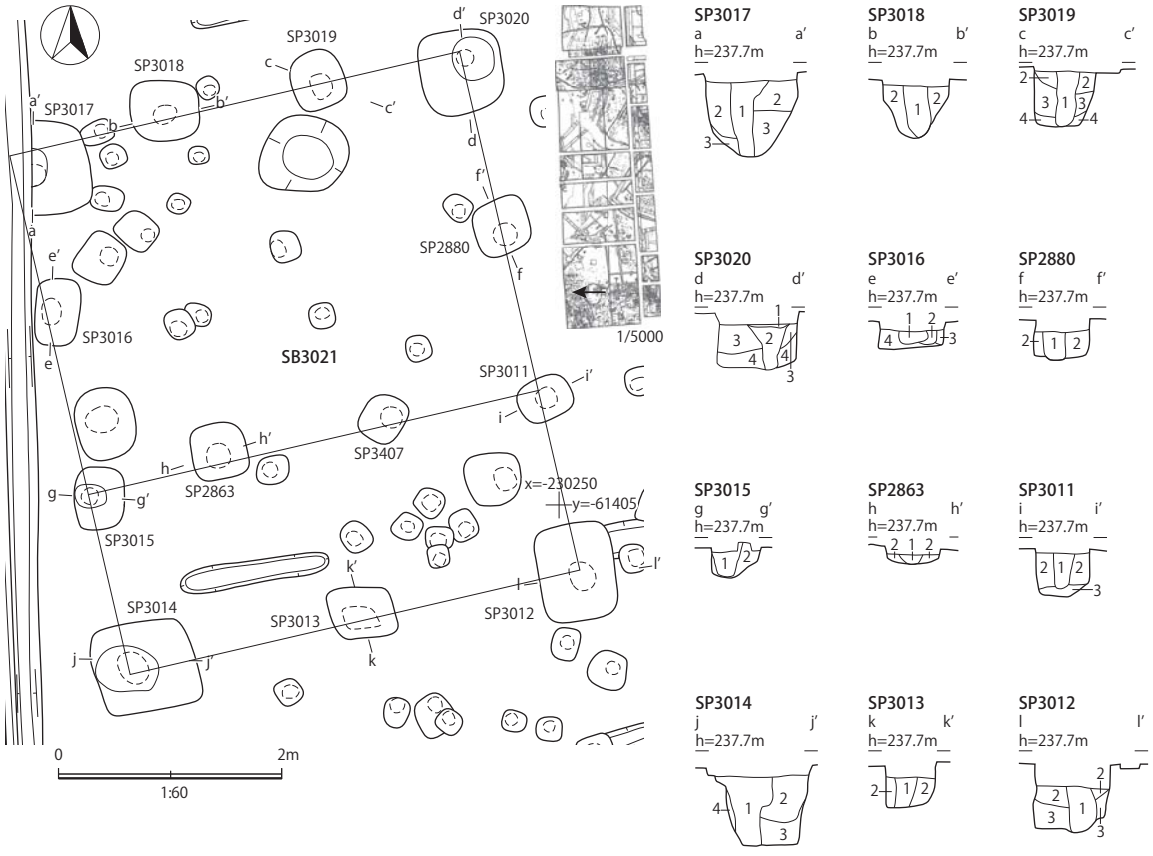
柱穴 SP3003：j - j′
1 10YR3/4 暗褐色粘土，10YR3/2 黒褐色粘土を含む，抜き取り痕，土器 109 出土
2 10YR3/3 暗褐色粘土，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む，以下掘方
3 10YR4/4 褐色粘土，10YR3/3 暗褐色粘土と10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む
4 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/4 暗褐色粘土と 10YR3/3 暗褐色粗砂を多く含む

柱穴 SP2869：k - k′
1 10YR3/2 黒褐色粘土，10YR4/2 灰黄褐色粘土を含む，以下 2 層まで抜き取り痕
2 10YR3/4 暗褐色粘土，10YR4/2 灰黄褐色粘土と10YR3/2 黒褐色粘土を少し含む
3 10YR4/2 灰黄褐色粘土，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む，掘方

柱穴 SP3002：l - l′
1 10YR3/2 黒褐色粘土，10YR4/3 にぶい黄褐色粘土を含む，以下 2 層まで SP3002，抜き取り痕
2 10YR4/4 褐色シルト，10YR3/2 黒褐色粘土を多く含む，掘方
3 10YR3/2 黒褐色粘土，10YR4/3 にぶい黄褐色粘土を少し含む，以下 SP3291（SB3135），抜き取り痕
4 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，粗砂を含む，掘方

0 2m
1:60
土器

第 62 図　掘立柱建物 SB3010



柱穴SP3017：a - a′
1　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトを含む，柱痕
2　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと 10YR3/2 黒褐色粘土と炭を多く含む，以下掘方
3　10YR5/2 灰黄褐色シルト，粗砂を多く含む

柱穴SP3018：b - b′
1　10YR3/3 暗褐色粘土，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む，柱痕
2　10YR3/2 黒褐色粘土，10YR4/2 灰黄褐色粘土と 10YR4/4 褐色粘土を少し含む，掘方

柱穴SP3019：c - c′
1　10YR3/3 暗褐色粘土，10YR4/4 褐色シルトと 10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む，柱痕
2　10YR3/2 黒褐色粘土，10YR4/3 にぶい黄褐色粘土を含む，以下掘方
3　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトと粗砂を少し含む
4　10YR3/4 暗褐色粗砂，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む

柱穴SP3020：d - d′
1　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトを含む，以下 2 層まで抜き取り痕
2　10YR3/2 黒褐色粘土，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを含む
3　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色粘土と 10YR3/2 黒褐色シルトを含む，以下掘方
4　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色粘土と粗砂を多く含む

柱穴SP3016：e - e′
1　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む，柱痕
2　10YR6/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む，以下掘方
3　10YR6/3 にぶい黄橙色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトを少し含む
4　10YR6/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む

柱穴SP2880：f - f′
1　10YR3/2 黒褐色粘土，10YR2/2 黒褐色粘土と 10YR5/2 灰黄褐色シルトを含む
2　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色粘土と 10YR5/4 にぶい黄褐色粘土を含む

柱穴SP3015：g - g′
1　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトを少し含む，抜き取り痕
2　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトを含む，掘方

柱穴 SP2863：h - h′
1　10YR4/2 灰黄褐色粘土，10YR6/3 にぶい黄橙色粘土を少し含む，柱痕
2　10YR5/2 灰黄褐色粘土，10YR4/1 褐灰色粘土と 10YR6/3 にぶい黄橙色粘土を少し含む，掘方

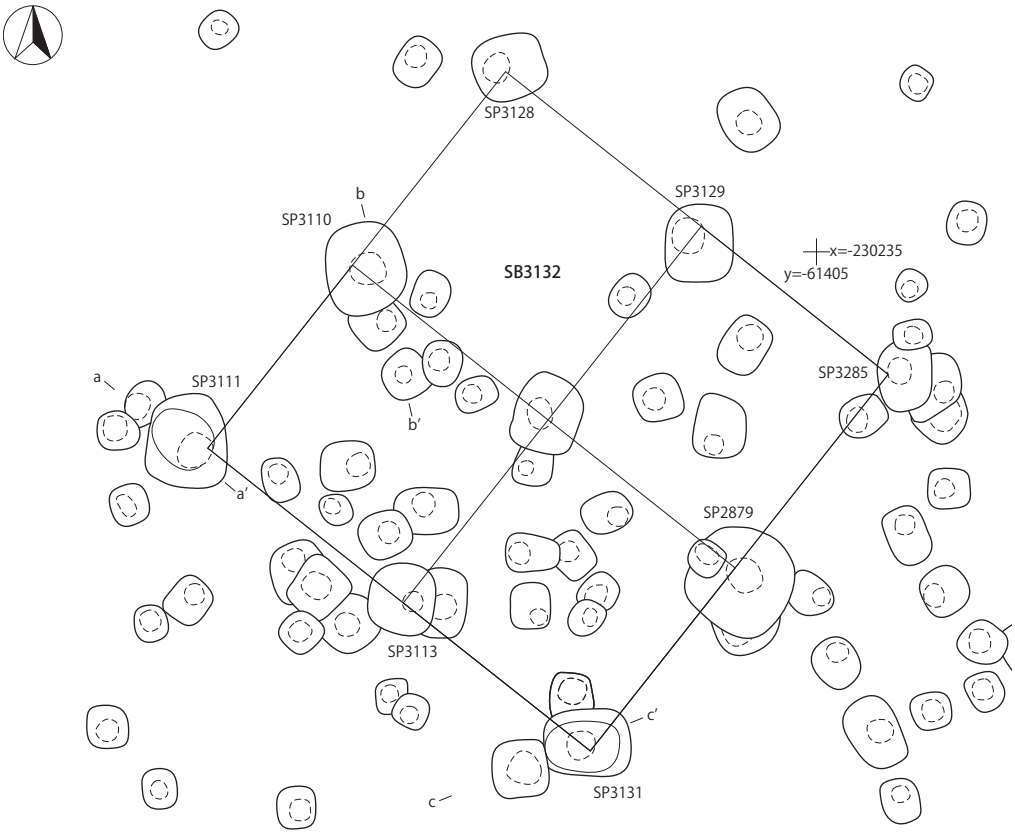
柱穴SP3011：i - i′
1　10YR4/3 にぶい黄褐色粘土，10YR4/4 褐色シルトを含む，柱痕
2　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを多く含む，以下掘方
3　10YR3/2 黒褐色粘土，10YR4/2 灰黄褐色シルトと 10YR5/2 灰黄褐色シルトを含む

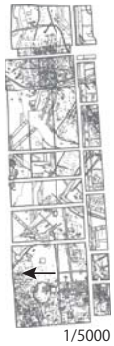
柱穴SP3014：j - j′
1　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトと粗砂を含む，抜き取り痕
2　10YR6/1 褐灰色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトと粗砂を多く含む，以下掘方
3　10YR7/2 にぶい黄橙色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトと粗砂を多く含む
4　10YR6/2 灰黄褐色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトを少し含む

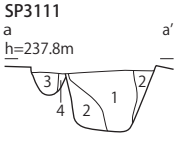
柱穴SP3013：k - k′
1　10YR3/2 黒褐色粘土，10YR3/3 黒褐色シルトを含む，柱痕
2　10YR3/2 黒褐色粘土，10YR4/2 灰黄褐色シルトと 10YR5/3 にぶい黄褐色粘土を多く含む，掘方

柱穴SP3012：l - l′
1　10YR3/2 黒褐色粘土，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを含む，柱痕
2　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色粘土を多く含む，以下掘方
3　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色粘土と 10YR5/3 にぶい黄褐色粘土を多く含む

第 63 図　掘立柱建物 SB3021

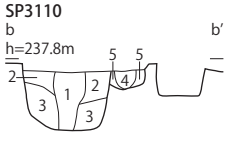






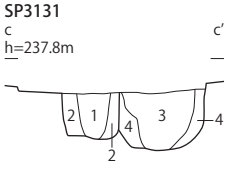
柱穴SP3111：a - a′

1　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトを少し含む，以下 2 層まで SP3111，抜き取り痕
2　10YR6/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトと粗砂を少し含む，掘方
3　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトと粗砂を少し含む，以下別の柱穴
4　10YR6/2 灰黄褐色シルト，粗砂を少し含む



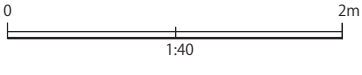
柱穴SP3110：b - b′

1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，以下 3 層まで SP3110，柱痕
2　10YR4/3 にぶい黄褐色粘土，10YR3/2 黒褐色シルトと 10YR5/2 灰黄褐色粘土を含む，以下 3 層まで掘方
3　10YR2/2 黒褐色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトと粗砂を多く含む
4　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む，以下別の柱穴
5　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む

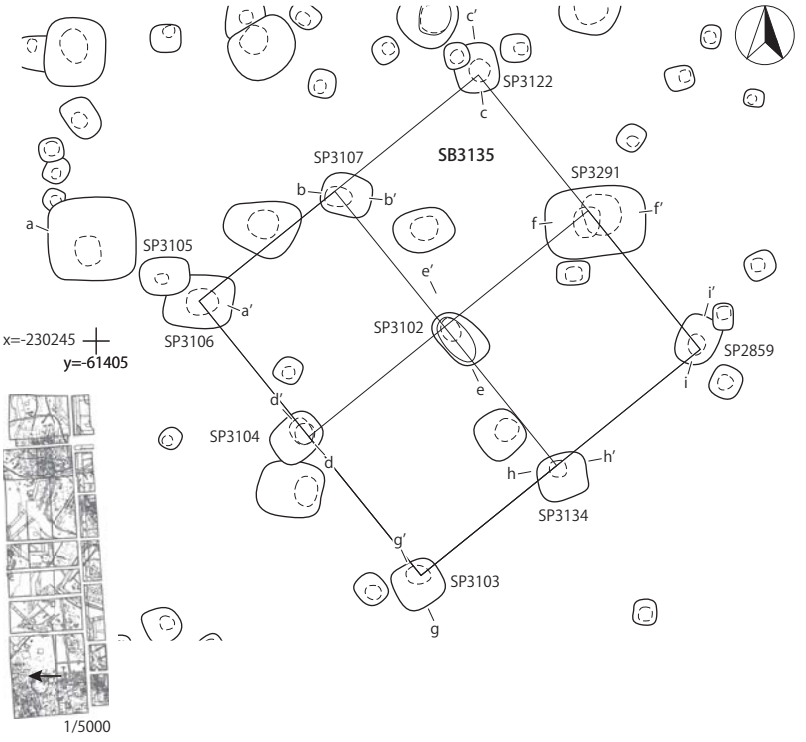


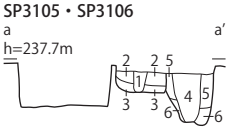
柱穴SP3131：c - c′

1　10YR2/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む，以下 2 層まで別の柱穴
2　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR2/2 黒褐色シルトを少し含む
3　10YR2/3 黒褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを含む，以下 SP3131，抜き取り痕
4　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR2/3 黒褐色シルトを少し含む，掘方



第 64 図　掘立柱建物 SB3132





柱穴SP3105・3106：a - a′

1 10YR3/3 暗褐色粘土，10YR4/2 灰黄褐色粘土を少し含む，以下 3 層まで SP3105，柱痕
2 10YR4/2 灰黄褐色粘土，10YR4/3 にぶい黄褐色粘土を含む，以下 3 層まで掘方
3 10YR5/4 にぶい黄褐色粘土，10YR4/3 にぶい黄褐色粘土を含む
4 10YR3/1 黒褐色粘土，10YR5/3 にぶい黄褐色粘土を含む，以下 SP3106，抜き取り痕
5 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土，10YR4/2 灰黄褐色粘土を含む，以下掘方
6 10YR4/2 灰黄褐色粗砂，10YR5/8 黄褐色粗砂を少し含む

SP3107
b b′
h=237.7m

柱穴SP3107：b - b′

1 10YR3/2 黒褐色粘土，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，柱痕
2 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，掘方

SP3122
c c′
h=237.7m

柱穴SP3122：c - c′

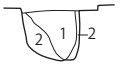
1 10YR3/2 黒褐色粘土，10YR4/3 にぶい黄褐色粗砂を含む，柱痕
2 10YR4/4 褐色粘土，10YR2/2 黒褐色粘土を少し含む，以下掘方
3 10YR4/3 にぶい黄褐色粗砂，10YR4/2 灰黄褐色粗砂を含む

SP3104
d d′
h=237.7m

柱穴SP3104：d - d′

1 10YR2/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む，以下 2 層まで別の柱穴
2 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR2/2 黒褐色シルトを多く含む
3 10YR3/2 黒褐色粘土，10YR4/2 灰黄褐色粗砂を少し含む，以下 SP3104，柱痕
4 10YR4/2 灰黄褐色粗砂，10YR3/2 黒褐色粘土を含む，掘方

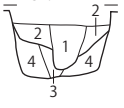
SP3102
e e′
h=237.7m



柱穴 SP3102：e - e′

1 10YR2/2 黒褐色粘土，10YR4/4 褐色シルトを含む，抜き取り痕
2 10YR4/4 褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色粘土を少し含む，掘方

SP3291
f f′
h=237.7m



柱穴SP3291：f - f′

1 10YR3/2 黒褐色粘土，10YR4/3 にぶい黄褐色粘土を含む，以下 2 層まで SP3002（SB3010），抜き取り痕
2 10YR4/4 褐色シルト，10YR3/2 黒褐色粘土を多く含む，掘方
3 10YR3/2 黒褐色粘土，10YR4/3 にぶい黄褐色粘土を少し含む，以下 SP3291，抜き取り痕
4 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，粗砂を含む，掘方

SP3103
g g′
h=237.7m

柱穴 SP3103：g - g′

1 10YR2/1 黒色粘土，10YR3/2 黒褐色粘土を少し含む，柱痕
2 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR2/1 黒色粘土を少し含む，以下掘方
3 10YR1.7/1 黒色粘土，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む
4 10YR4/2 灰黄褐色シルト，7.5YR4/6 褐色シルトを少し含む

SP3134
h h′
h=237.7m

柱穴 SP3134：h - h′

1 10YR3/2 黒褐色粘土，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む，柱痕
2 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR2/1 黒色シルトを含む，以下掘方
3 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色粘土を少し含む

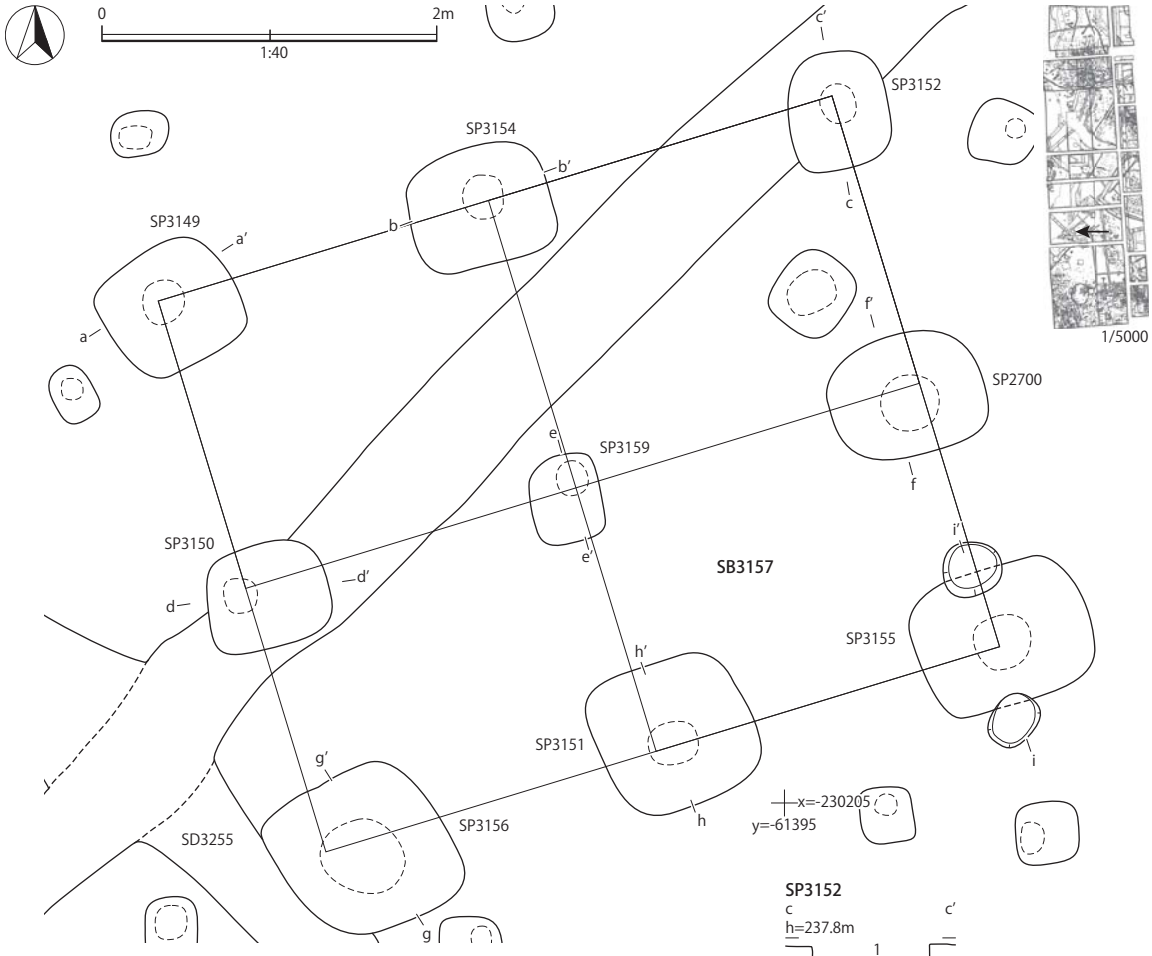
SP2859
i i′
h=237.7m

柱穴 SP2859：i - i′

1 10YR3/1 黒褐色粘土，10YR4/3 にぶい黄褐色粗砂を少し含む，柱痕
2 10YR4/4 褐色シルト，10YR3/1 黒褐色粘土を少し含む，掘方

0 2m
1:60

第 65 図　掘立柱建物 SB3135



SP3149

柱穴SP3149：a - a′

1 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色粗砂を少し含む，柱痕

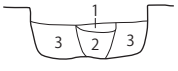
2 10YR4/2 灰黄褐色粗砂，10YR3/2 黒褐色シルトを多く含む，掘方

SP3154

柱穴 SP3154：b - b′

1 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色粗砂を少し含む，柱痕

2 10YR4/2 灰黄褐色粗砂，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，掘方



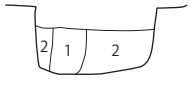
SP3152

柱穴 SP3152：c - c′

1 10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む，以下 2 層まで柱痕

2 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを少し含む

3 10YR4/1 褐灰色粗砂，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，掘方

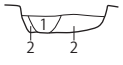


SP3150

柱穴 SP3150：d - d′

1 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色粗砂を少し含む，柱痕

2 10YR4/2 灰黄褐色粗砂，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，掘方

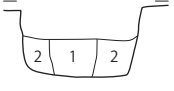


SP3159

柱穴 SP3159：e - e′

1 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色粗砂と炭を含む，柱痕

2 10YR4/2 灰黄褐色粗砂，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，掘方



SP2700

柱穴 SP2700：f - f′

1 10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色粗砂を含む，柱痕

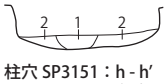
2 10YR4/2 灰黄褐色粗砂，10YR3/1 黒褐色シルトを含む，掘方

SP3156

柱穴 SP3156：g - g′

1 10YR3/1 黒褐色粘土，10YR4/2 灰黄褐色砂を少し含む，抜き取り痕

2 10YR4/2 灰黄褐色砂，10YR3/1 黒褐色粘土を少し含む，掘方

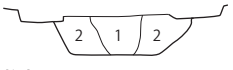


SP3151

柱穴 SP3151：h - h′

1 10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色粗砂を少し含む，柱痕

2 10YR4/2 灰黄褐色粗砂，10YR3/1 黒褐色シルトを少し含む，掘方



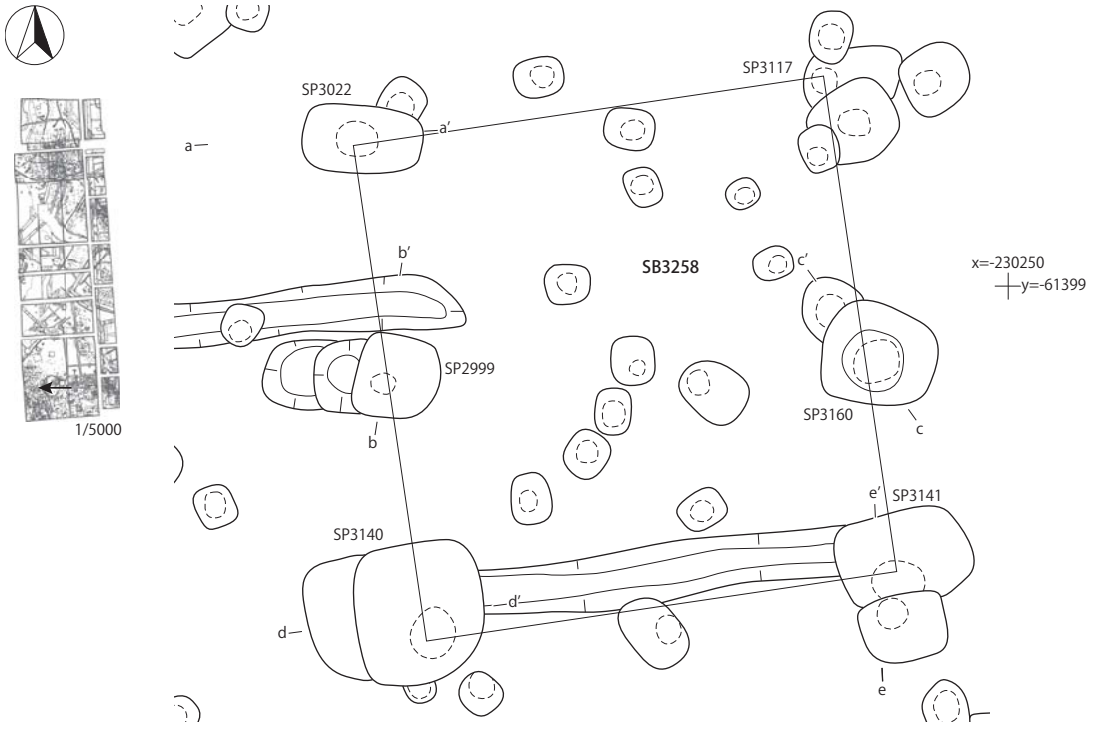
SP3155

柱穴 SP3155：i - i′

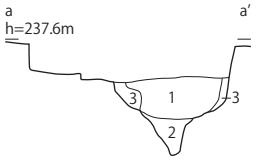
1 10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色粗砂を含む，柱痕

2 10YR4/2 灰黄褐色粗砂，10YR3/1 黒褐色シルトを含む，掘方

第 66 図　掘立柱建物 SB3157



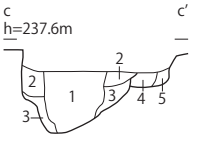
SP3022



柱穴SP3022：a - a′

1 10YR2/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む，抜き取り痕
2 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR2/2 黒褐色シルトを少し含む，柱痕
3 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR2/2 黒褐色シルトを少し含む，掘方

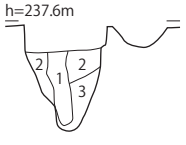
SP3160



柱穴 SP3160：c - c′

1 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトを含む，以下 3 層まで SP3160，抜き取り痕
2 10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，以下 3 層まで掘方
3 10YR4/2 灰黄褐色粗砂，10YR5/2 灰黄褐色シルトを含む
4 10YR4/1 褐灰色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトを含む，以下別の柱穴
5 10YR6/3 にぶい黄橙色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む

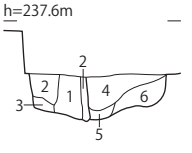
SP2999



柱穴 SP2999：b - b′

1 10YR3/2 黒褐色粘土，10YR4/2 灰黄褐色粘土を少し含む，柱痕
2 10YR4/2 灰黄褐色粘土，10YR3/2 黒褐色粘土を多く含む，掘方
3 10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色粘土を含む

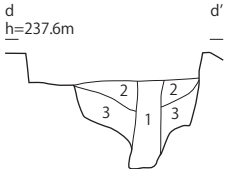
SP3141



柱穴 SP3141：e - e′

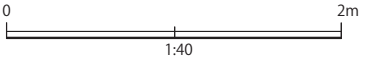
1 10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトを少し含む，以下 3 層まで別の柱穴
2 10YR5/1 褐灰色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトを含む
3 10YR6/2 灰黄褐色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトを少し含む
4 10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む，以下 SP3141，抜き取り痕
5 10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトを多く含む，柱痕
6 10YR4/2 灰黄褐色粗砂，10YR5/2 灰黄褐色シルトを少し含む，掘方

SP3140

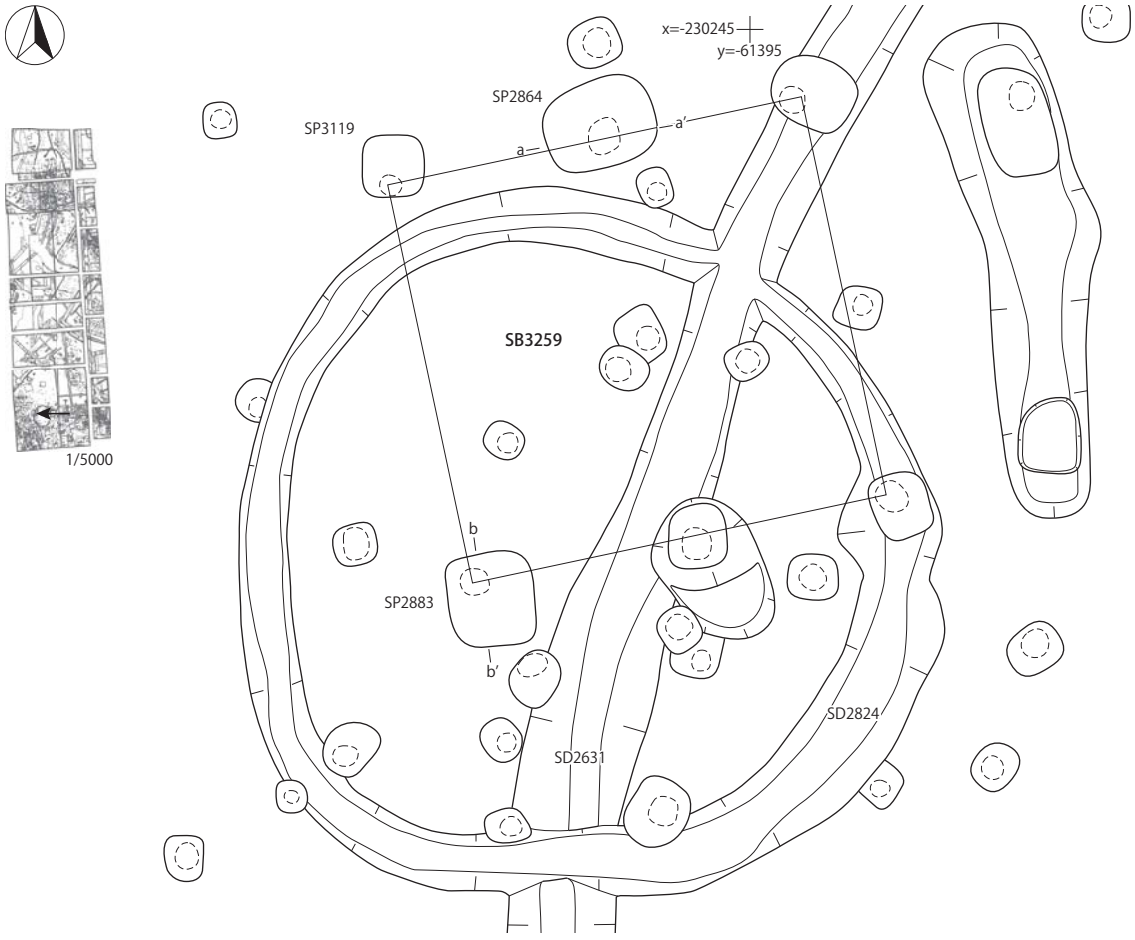


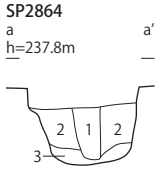
柱穴 SP3140：d - d′

1 10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトを含む，柱痕
2 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトと 10YR5/2 灰黄褐色シルトを多く含む，以下掘方
3 10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを少し含む



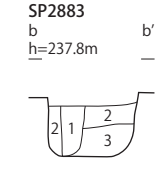
第 67 図　掘立柱建物 SB3258





柱穴SP2864：a - a′

1　10YR3/2 黒褐色粘土，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む，柱痕
2　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR2/1 黒色粘土と 10YR5/4 にぶい黄褐色粘土を多く含む，以下掘方
3　10YR5/3 にぶい黄褐色粘土，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む

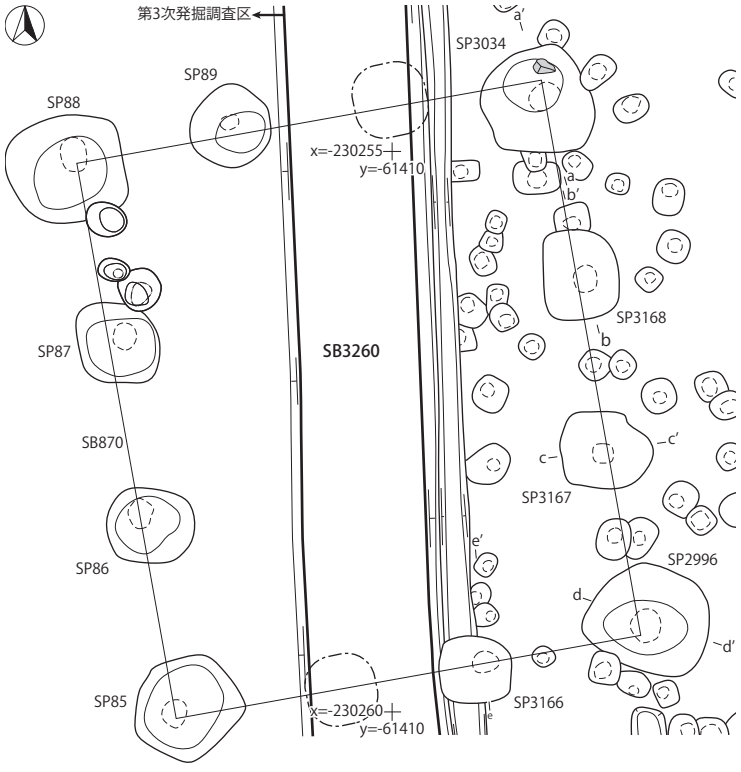


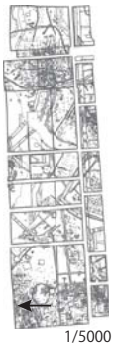
柱穴SP2883：b - b′

1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色粘土を多く含む，柱痕
2　10YR3/2 黒褐色粘土，10YR5/3 にぶい黄褐色粘土を含む，以下掘方
3　10YR5/3 にぶい黄褐色粘土，10YR3/2 黒褐色粘土を少し含む

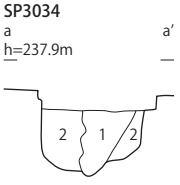
0　2m
1:40

第 68 図　掘立柱建物 SB3259



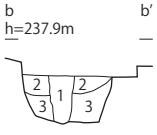


SP3034



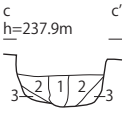
柱穴SP3034：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，抜き取り痕
2　10YR5/3 にぶい黄褐色細砂，10YR3/1 黒褐色シルトを少し含む，掘方

SP3168



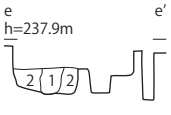
柱穴SP3168：b - b′
1　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む，柱痕
2　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを含む，以下掘方
3　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを少し含む

SP3167



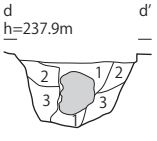
柱穴SP3167：c - c′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色細砂を少し含む，柱痕
2　10YR4/2 灰黄褐色粘土，10YR5/2 灰黄褐色シルトを含む，以下掘方
3　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色粘土を少し含む

SP3166



柱穴SP3166：e - e′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/2 灰黄褐色細砂を少し含む，柱痕
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/2 灰黄褐色細砂を含む，掘方

SP2996

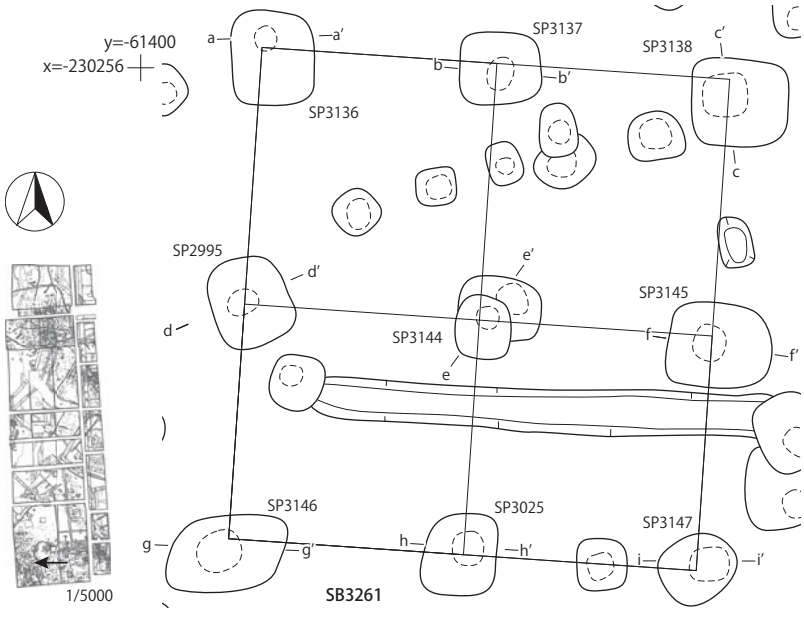


柱穴SP2996：d - d′
1　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトと石と礫を含む，抜き取り痕
2　10YR5/2 灰黄褐色細砂，10YR3/1 黒褐色シルトを含む，以下掘方
3　10YR5/1 褐灰色細砂，10YR3/1 黒褐色シルトを含む

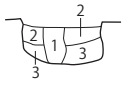
※西谷地 b 遺跡第 3 次発掘調査区で検出された柱穴と組み合う（山形埋文 2014）

0　2m
1:40
石

第 69 図　掘立柱建物 SB3260



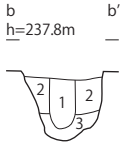
SP3136



柱穴SP3136：a - a′

1 10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む，柱痕
2 10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを多く含む，以下掘方
3 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを含む

SP3137



柱穴 SP3137：b - b′

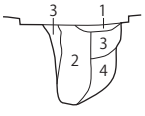
1 10YR4/2 灰黄褐色粘土，10YR5/3 にぶい黄褐色粘土を少し含む，柱痕
2 10YR5/3 にぶい黄褐色粘土，10YR4/2 灰黄褐色粘土を含む，以下掘方
3 10YR3/2 黒褐色粘土，10YR5/3 にぶい黄褐色粘土を含む

SP3138

柱穴SP3138：c - c′

1 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトを少し含む，抜き取り痕
2 10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを多く含む，掘方

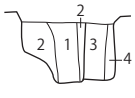
SP2995



柱穴SP2995：d - d′

1 10YR4/1 褐灰色細砂，10YR5/2 灰黄褐色シルトを少し含む，抜き取り痕
2 10YR3/1 褐灰色シルト，10YR4/1 褐灰色細砂と10YR5/2 灰黄褐色シルトを含む，柱痕
3 10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色細砂を含む，以下掘方
4 10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色細細を多く含む

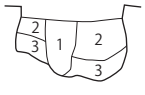
SP3144



柱穴SP3144：e - e′

1 10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトを少し含む，以下 2 層まで SP3144，柱痕
2 10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを少し含む，掘方
3 10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを含む，以下別の柱穴
4 10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む

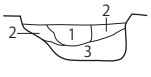
SP3145



柱穴SP3145：f - f′

1 10YR4/2 灰褐色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトと10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと土器を含む，柱痕
2 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む，以下掘方
3 10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む

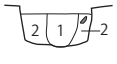
SP3146



柱穴SP3146：g - g′

1 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/1 褐灰色細砂を少し含む，抜き取り痕
2 10YR4/1 褐灰色細砂，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，以下掘方
3 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色細砂を少し含む

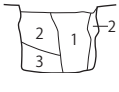
SP3025



柱穴SP3025：h - h′

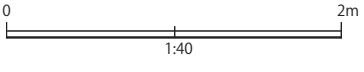
1 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを含む，柱痕
2 10YR4/1 褐灰色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと土器を含む，掘方

SP3147



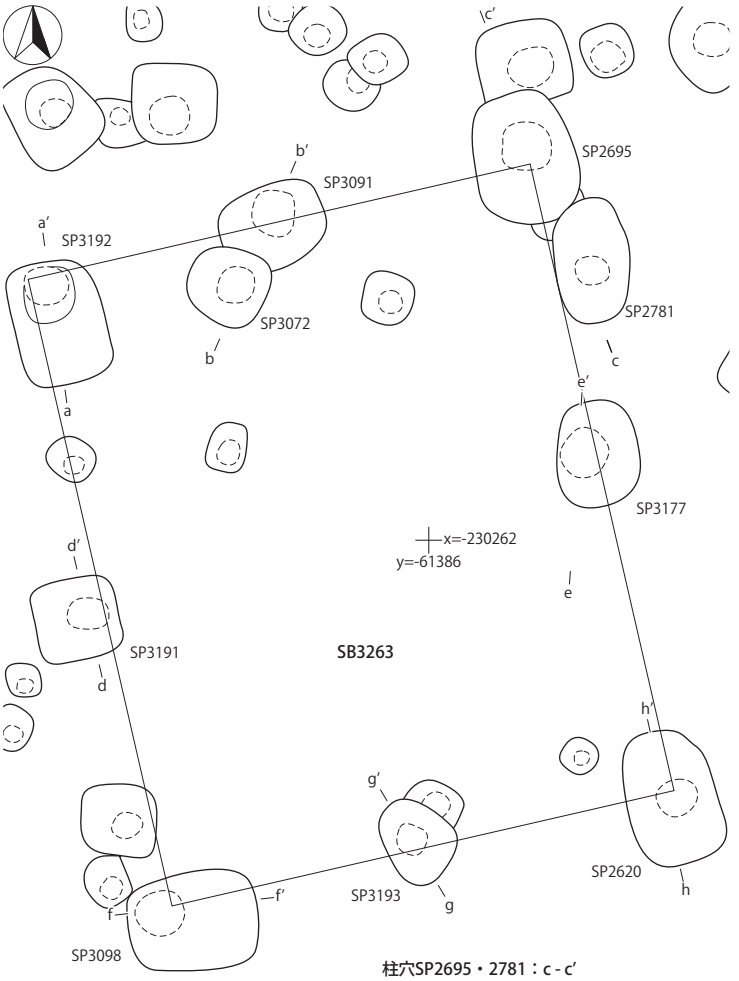
柱穴SP3147：i - i′

1 10YR3/3 暗褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む，柱痕
2 10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトを少し含む，以下掘方
3 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを含む

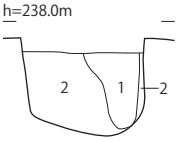


土器

第 70 図　掘立柱建物 SB3261



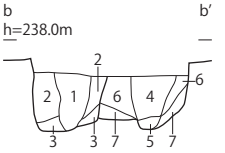
SP3192



柱穴SP3192：a - a′

1 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む，抜き取り痕
2 10YR3/1 黒褐色粗砂，礫を含む，掘方

SP3072・SP3091



柱穴SP3072・3091：b - b′

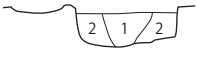
1 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下 3 層まで SP3072
2 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む
3 10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/1 褐灰色粗砂を少し含む
4 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを少し含む　以下 SP3091，抜き取り痕
5 10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを含む，柱痕
6 10YR4/4 褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを多く含む，以下掘方
7 10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色粗砂を少し含む

SP3191

柱穴SP3191：d - d′

1 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色粗砂を少し含む，柱痕
2 10YR4/1 褐灰色粗砂，10YR4/2 灰黄褐色シルトを多く含む，掘方

SP3177



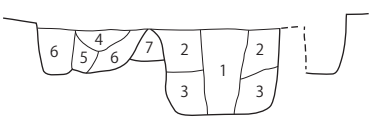
柱穴SP3177：e - e′

1 10YR3/2 黒褐色粘土，10YR4/4 褐色シルトを少し含む，抜き取り痕
2 10YR4/4 褐色シルト，10YR3/2 黒褐色粘土を含む，掘方

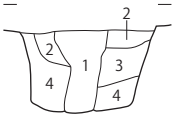
柱穴SP2695・2781：c - c′

1 10YR3/2 黒褐色シルト，炭と土器を含む，以下 3 層まで SP2695，柱痕
2 10YR4/4 褐色シルト，10YR4/1 褐灰色粗砂を少し含む，以下 3 層まで掘方
3 10YR4/1 褐灰色粗砂，礫を含む
4 10YR3/2 黒褐色シルト，炭と土器を含む，以下 SP2781，6 層まで SP2781
5 10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを少し含む
6 10YR4/4 褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトを少し含む
7 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトと炭と土器を含む，別の柱穴

SP2695・SP2781



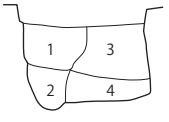
SP2620



柱穴SP2620：h - h′

1 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトと炭を含む，抜き取り痕
2 10YR4/2 灰黄褐色粗砂，礫を含む，以下掘方
3 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色粗砂と礫を含む
4 10YR4/3 にぶい黄褐色粗砂，礫を含む

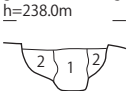
SP3098



柱穴SP3098：f - f′

1 10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR6/4 にぶい黄橙色シルトと粗砂を多く含む，抜き取り痕
2 10YR4/1 褐灰色シルト，10YR6/4 にぶい黄橙色シルトと粗砂を多く含む，柱痕
3 10YR6/2 灰黄褐色粗砂，10YR5/2 灰黄褐色シルトと 10YR6/4 にぶい黄橙色シルトを少し含む，以下掘方
4 10YR4/1 褐灰色シルト，粗砂を少し含む

SP3193

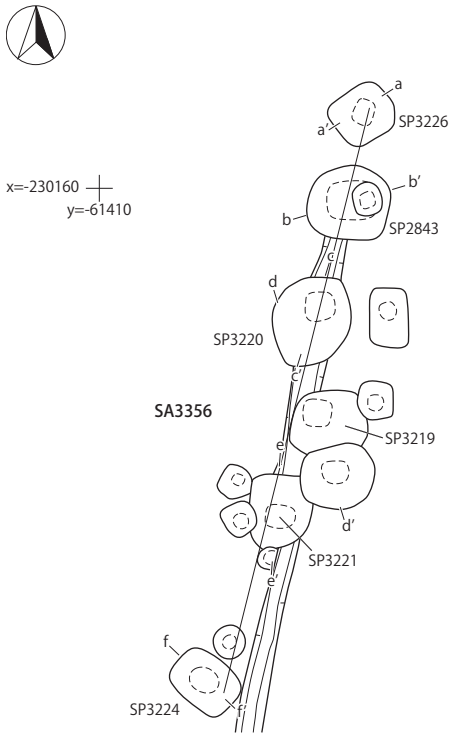


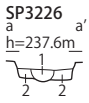
柱穴SP3193：g - g′

1 10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色粗砂と礫を含む，柱痕
2 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトと炭を含む，掘方

0　2m
1:40

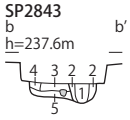
第 71 図　掘立柱建物 SB3263





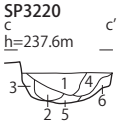
柱穴 SP3226：a - a′

1　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトと炭を少し含む，柱痕
2　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトを多く含む，掘方



柱穴 SP2843：b - b′

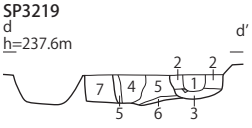
1　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトを少し含む，以下 2 層まで柱穴，柱痕
2　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む，掘方
3　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，以下 SP2843，抜き取り痕
4　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトを少し含む，以下掘方
5　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む



柱穴 SP3220：c - c′

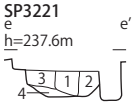
1　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，抜き取り痕
2　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトと炭を少し含む，柱痕
3　10YR6/3 にぶい黄橙色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを多く含む，以下掘方
4　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
5　10YR6/1 褐灰色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトを少し含む
6　10YR6/2 灰黄褐色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトを少し含む

1/5000



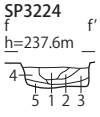
柱穴 SP3219：d - d′

1　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトと炭を少し含む，以下 3 層まで別の柱穴，柱痕
2　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトを多く含む，以下 3 層まで掘方
3　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR7/2 にぶい黄橙色シルトと炭を少し含む
4　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトと炭を少し含む，以下 SP3219，柱痕
5　10YR5/1 褐灰色シル，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトと炭を少し含む，以下 6 層まで掘方
6　10YR6/2 灰黄褐色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトを少し含む
7　10YR6/3 にぶい黄橙色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトを少し含む，溝



柱穴 SP3221：e - e′

1　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトと炭を少し含む，柱痕
2　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトを多く含む，以下掘方
3　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトと炭を少し含む
4　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトを少し含む



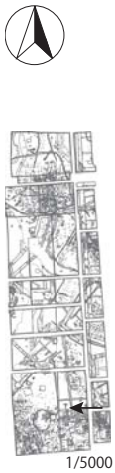
柱穴 SP3224：f - f′

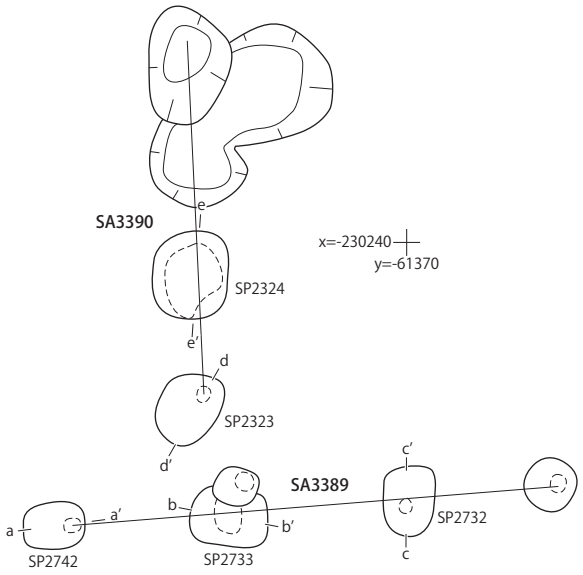
1　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色細砂と炭を少し含む，抜き取り痕
2　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色細砂を少し含む，以下掘方
3　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色細砂を多く含む
4　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色細砂を多く含む
5　10YR6/3 にぶい黄橙色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトを少し含む

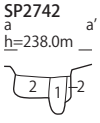
石

0　2m
1:60

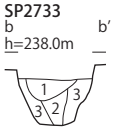
第 72 図　掘立柱列 SA3356



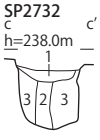




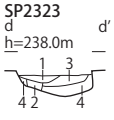
柱穴 SP2742：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを含む，柱痕
2　10YR4/4 褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと砂を含む，掘方



柱穴 SP2733：b - b′
1　10YR4/4 褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトを含む，抜き取り痕
2　10YR4/4 褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，柱痕
3　10YR4/4 褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと砂を含む，掘方



柱穴 SP2732：c - c′
1　10YR3/4 暗褐色シルト，10YR4/4 暗褐色シルトを含む，抜き取り痕
2　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/4 暗褐色シルトを少し含む，柱痕
3　10YR4/4 暗褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，掘方



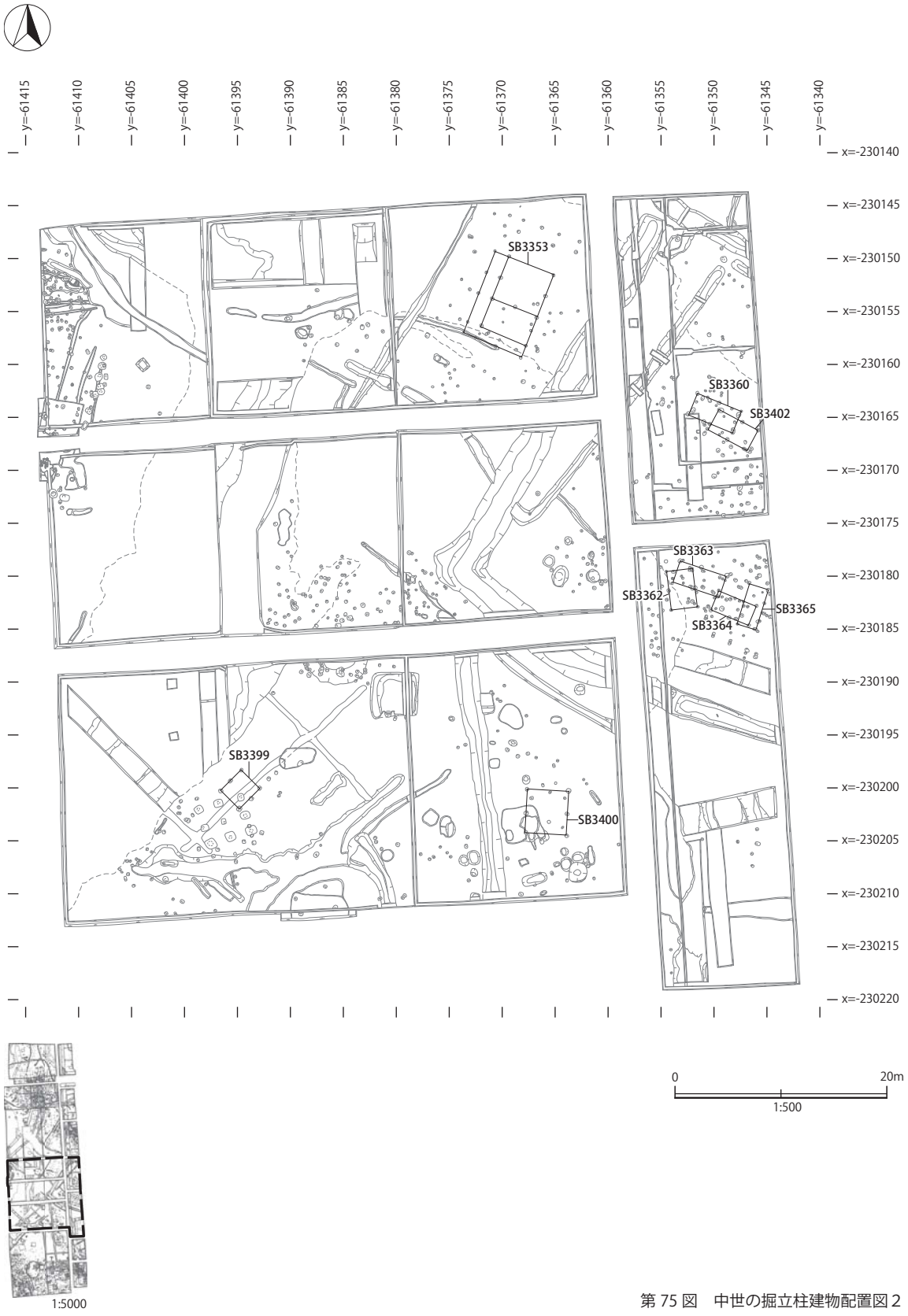
柱穴 SP2323：d - d′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む，抜き取り痕
2　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを少し含む，柱痕
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを含む，以下掘方
4　10YR4/3 にぶい黄褐色砂，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む

柱穴 SP2324：e - e′
1　10YR4/4 褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを多く含む，抜き取り痕
2　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを少し含む，掘方

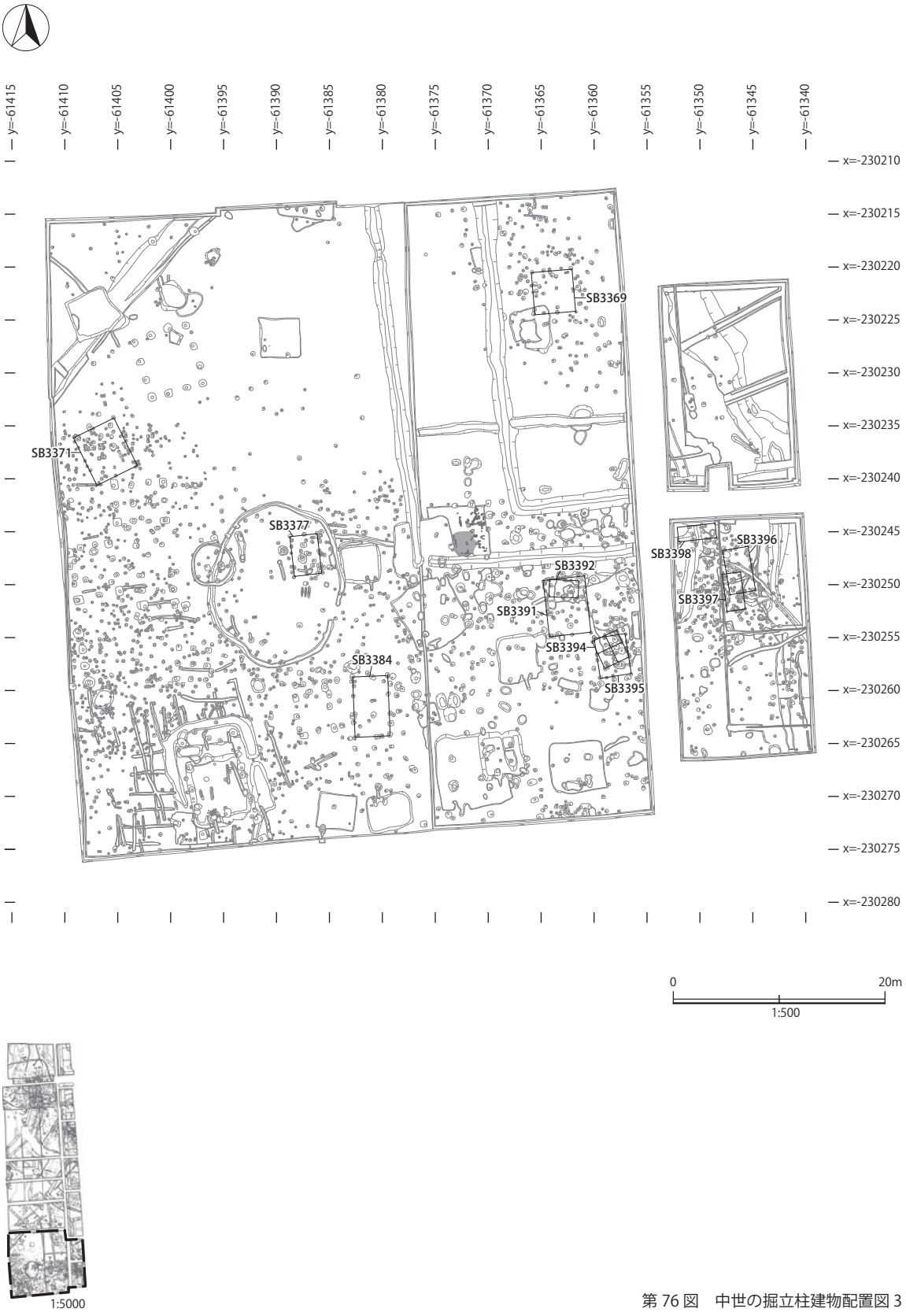
0　2m
1:60
石

第 73 図　掘立柱列 SA3389・3390

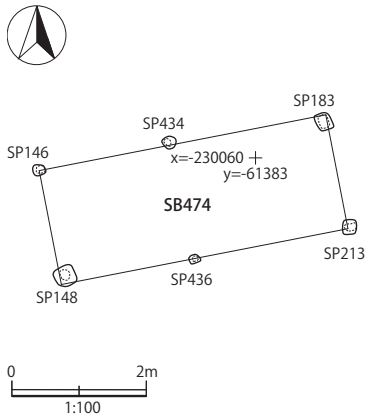
第 74 図　中世の掘立柱建物配置図 1

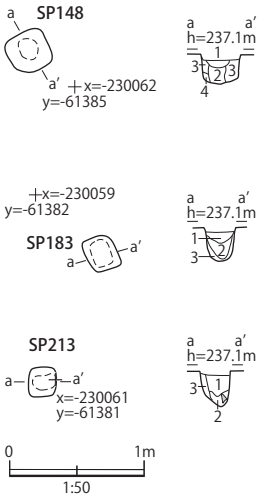


第 75 図　中世の掘立柱建物配置図 2



第 76 図　中世の掘立柱建物配置図 3

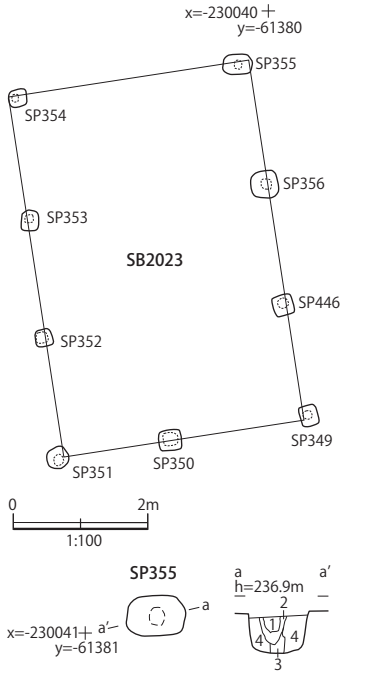


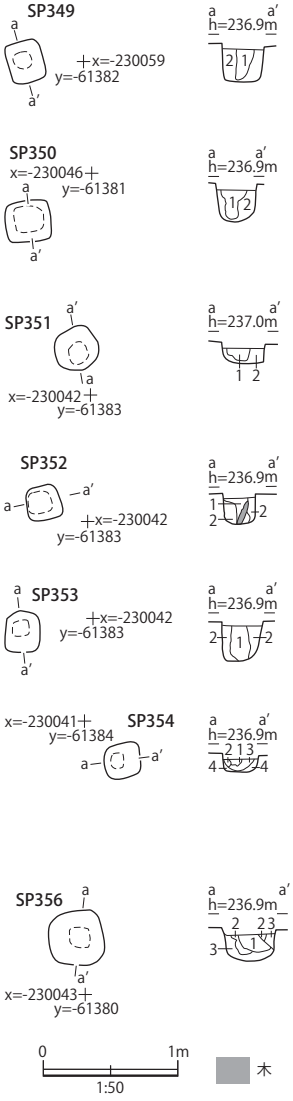


柱穴 SP148：a - a′
1 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，抜き取り痕
2 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，柱痕
3 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，以下掘方
4 10YR3/2 黒褐色シルト

柱穴 SP183：a - a′
1 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，以下 2 層まで抜き取り痕
2 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む
3 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，掘方

柱穴 SP213：a - a′
1 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下 2 層まで抜き取り痕
2 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む
3 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，掘方





柱穴 SP349：a - a′
1 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，柱痕
2 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと炭をを少し含む，掘方

柱穴 SP350：a - a′
1 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，柱痕
2 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，掘方

柱穴 SP351：a - a′
1 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，柱痕
2 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと炭を少し含む，掘方

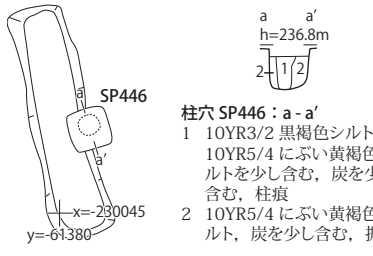
柱穴 SP352：a - a′
1 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，柱痕，柱根あり
2 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，掘方

柱穴 SP353：a - a′
1 10YR3/2 黒褐色シルト，炭を少し含む，柱痕
2 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，掘方

柱穴 SP354：a - a′
1 10YR3/2 黒褐色シルト，炭を少し含む，柱痕
2 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，以下掘方
3 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む
4 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト

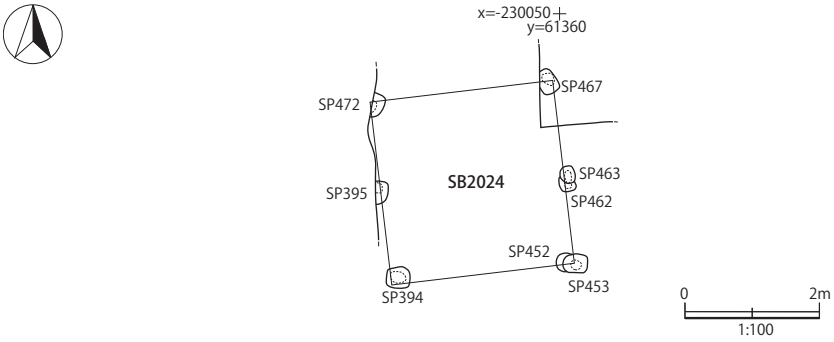
柱穴 SP356：a - a′
1 10YR3/2 黒褐色シルト，炭を少し含む，以下 2 層まで抜き取り痕
2 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む
3 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，掘方

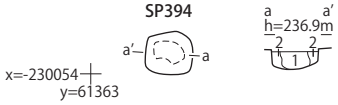
柱穴 SP355：a - a′
1 10YR3/2 黒褐色シルト，以下 2 層まで抜き取り痕
2 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む
3 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，柱痕
4 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトをわずかに含む，掘方



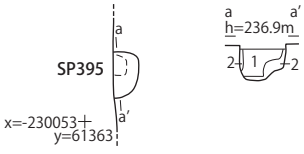
柱穴 SP446：a - a′
1 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，炭を少し含む，柱痕
2 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，炭を少し含む，掘方

第 77 図　掘立柱建物 SB474・2023

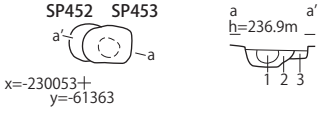




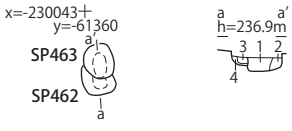
柱穴 SP394：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，抜き取り痕
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト 10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む，掘方



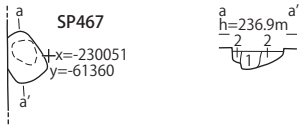
柱穴 SP395：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，　10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，10YR3/1 黒褐色シルトを少し含む，抜き取り痕
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，掘方



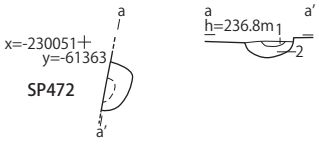
柱穴 SP452・453：a - a′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと 10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，SP453 の柱痕
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト, 10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む, 炭を少し含む，SP453 の掘方
3　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，SP452



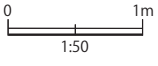
柱穴 SP462・463：a - a′
1　10YR 3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，SP463 の抜き取り痕
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む，SP463 の掘方
3　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，SP462 の柱痕
4　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む，SP462 の掘方



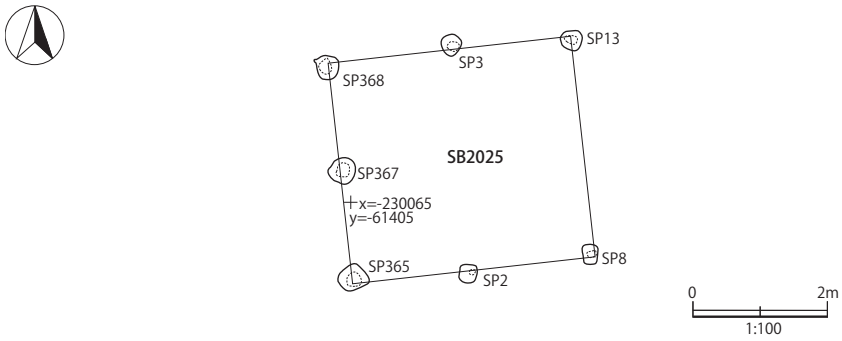
柱穴 SP467：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，柱痕
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，掘方

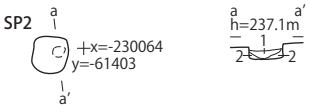


柱穴 SP472：a - a′
1　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，柱痕
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む，掘方

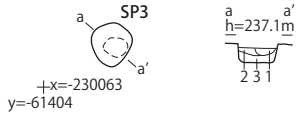


第 78 図　掘立柱建物 SB2024

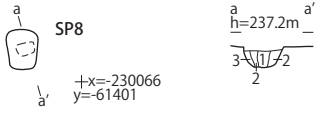




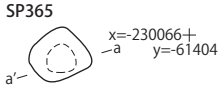
柱穴 SP2：a - a′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，抜き取り痕
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，掘方

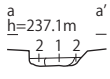


柱穴 SP3：a - a′
1　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，抜き取り痕
2　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下掘方
3　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト

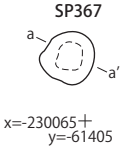


柱穴 SP8：a - a′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，柱痕
2　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下掘方
3　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む

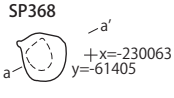


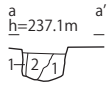


柱穴 SP365：a - a′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，抜き取り痕
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，掘方

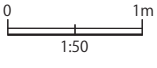


柱穴 SP367：a - a′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，抜き取り痕
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む，掘方

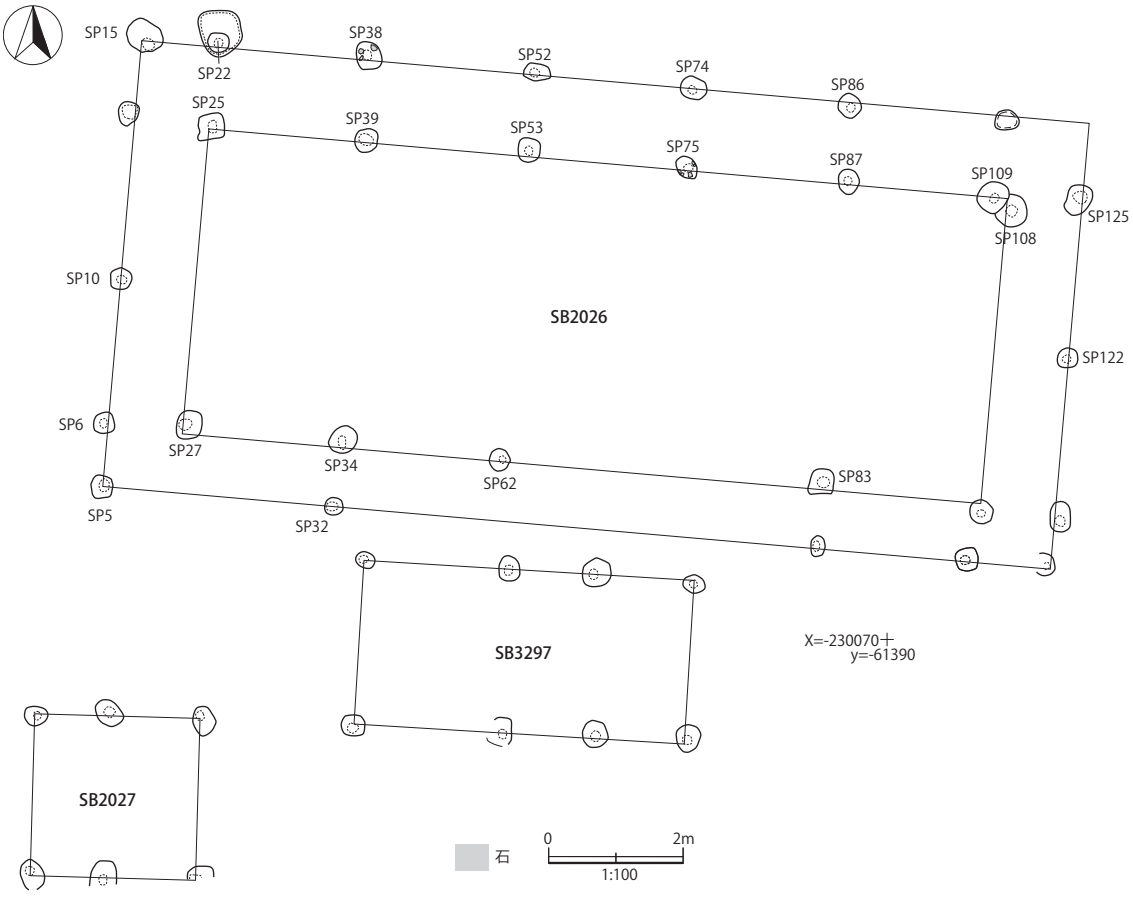


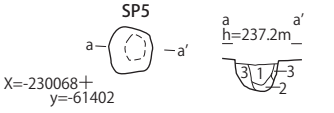


柱穴 SP368：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，抜き取り痕
2　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，掘方

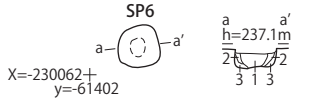


第 79 図　掘立柱建物 SB2025

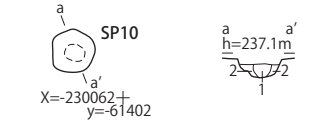




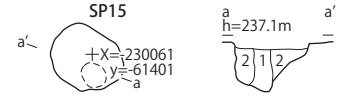
柱穴 SP5：a - a′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，炭を少し含む，以下 2 層まで抜き取り痕
2　10YR3/2 黒褐色シルト
3　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，炭を少し含む，掘方



柱穴 SP6：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，抜き取り痕
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，以下掘方
3　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト



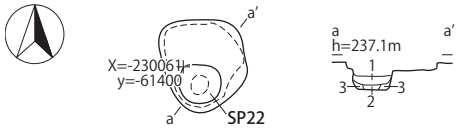
柱穴 SP10：a - a′
1　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，柱痕
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，掘方



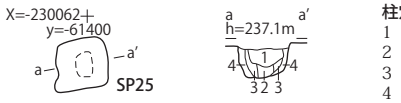
柱穴 SP15：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，柱痕
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，掘方

0　1m
1:50

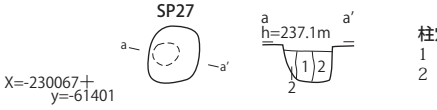
第 80 図　掘立柱建物 SB2026・2027・3297



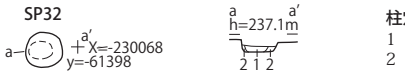
柱穴 SP22：a - a′
1　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，抜き取り痕
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルを含む，柱痕
3　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト,掘方



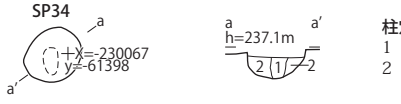
柱穴 SP25：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，抜き取り痕
2　10YR3/2 黒褐色シルト，柱痕
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，以下掘方
4　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト



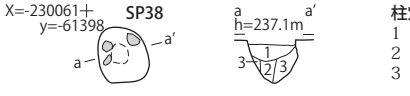
柱穴 SP27：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，柱痕
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む，掘方



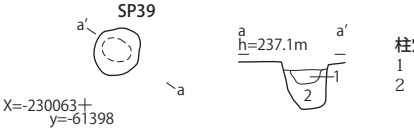
柱穴 SP32：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，抜き取り痕
2　10YR4/2 灰黄褐色砂，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，掘方



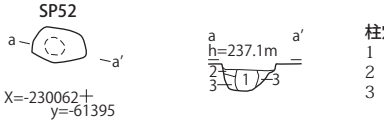
柱穴 SP34：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，柱痕
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト 10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，掘方



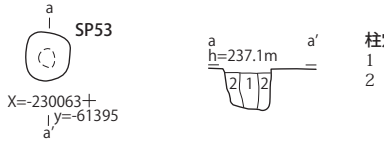
柱穴 SP38：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，抜き取り痕
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，柱痕
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，掘方



柱穴 SP39：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，柱痕
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，掘方



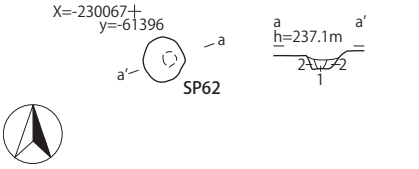
柱穴 SP52：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，柱痕
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，以下掘方
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと小石を少し含む



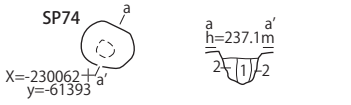
柱穴 SP53：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，石を少し含む，柱痕
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，小石を含む，掘方

0　1m
1:50
石

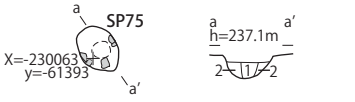
第 81 図　掘立柱建物 SB2026



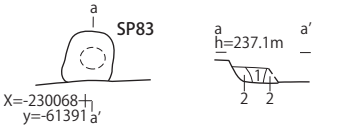
柱穴 SP62：a - a′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，柱痕
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む，掘方



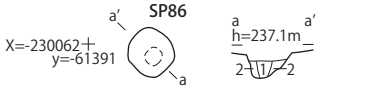
柱穴 SP74：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，小石を少し含む，柱痕
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，石を含む，掘方



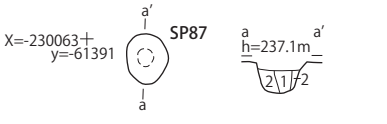
柱穴 SP75：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを多く含む，石を含む，柱痕
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，石を含む，掘方



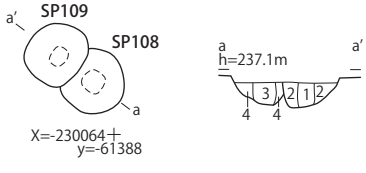
柱穴 SP83：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，柱痕
2　10YR3/2 黒褐色シルト，石を少し含む，掘方



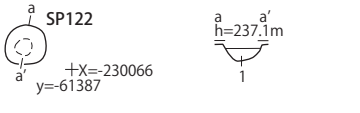
柱穴 SP86：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトと小石を少し含む，柱痕
2　10YR3/2 黒褐色シルト，小石を少し含む，掘方



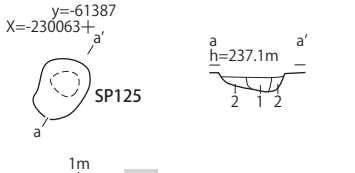
柱穴 SP87：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトと小石を少し含む，柱痕
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトと炭と石を少し含む，掘方



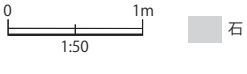
柱穴 SP108・109：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，小石と石を少し含む，以下 2 層まで SP109，柱痕
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトと小石を少し含む，掘方
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下 SP108，柱痕
4　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，掘方



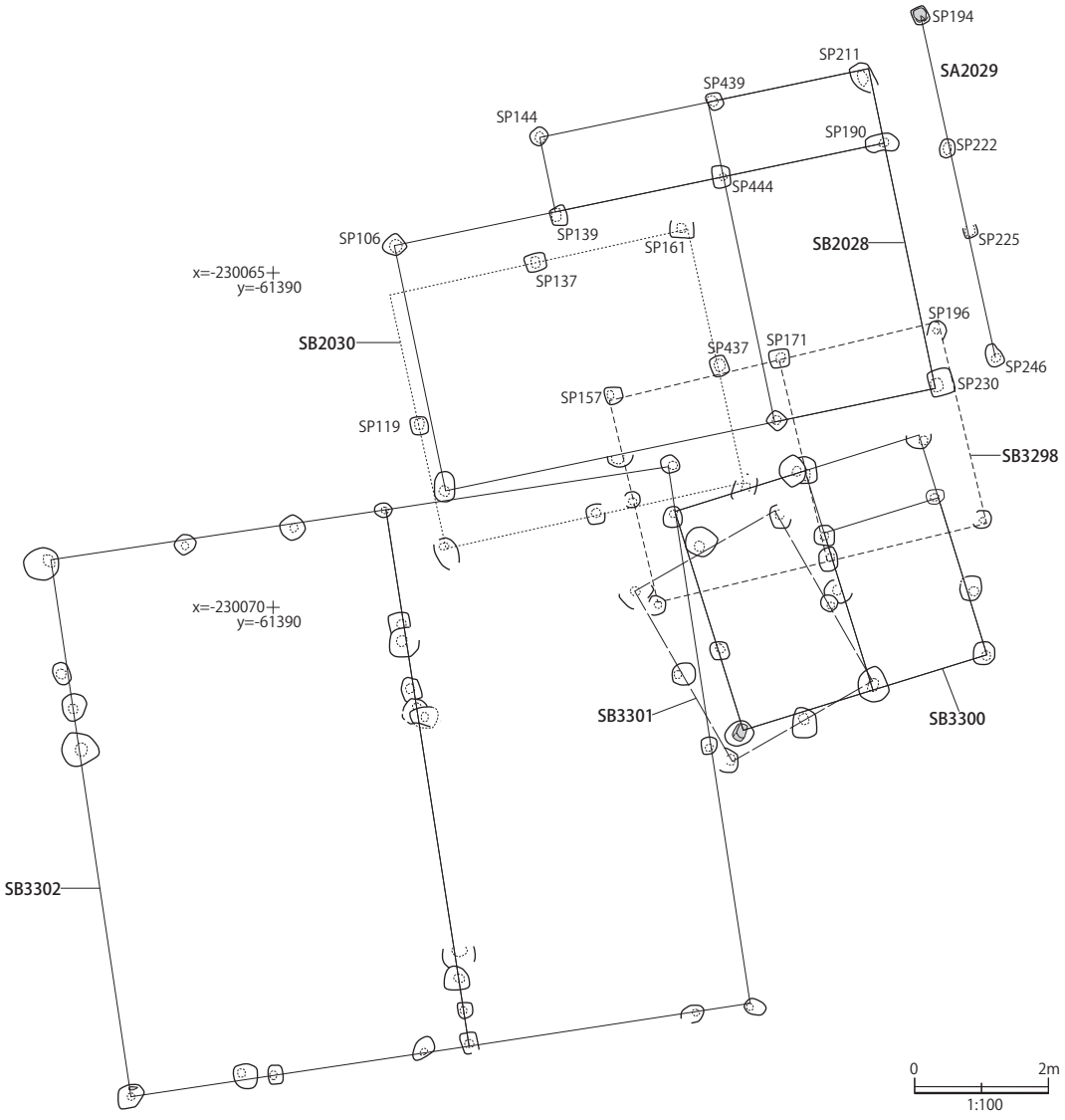
柱穴 SP122：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，抜き取り痕

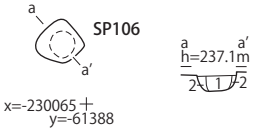


柱穴 SP125：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，石を含む，柱痕
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，石を含む，掘方

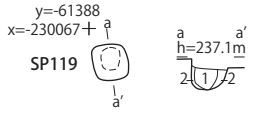


第 82 図　掘立柱建物 SB2026





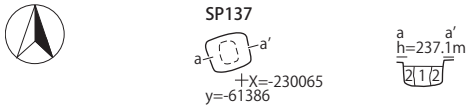
柱穴 SP106：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，抜き取り痕
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，掘方



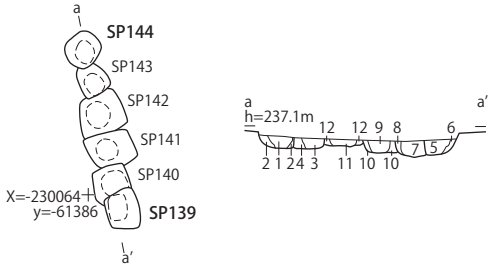
柱穴 SP119：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，柱痕
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，石を含む，掘方

0　1m
1:50
石

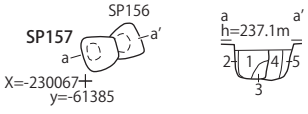
第 83 図　掘立柱建物 SB2028・2030・3298・3300 ～ 3302，掘立柱列 SA2029



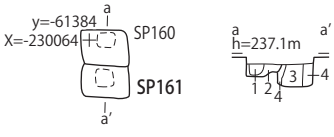
柱穴 SP137：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，柱痕
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む，掘方



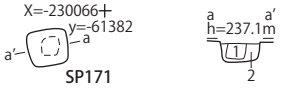
柱穴 SP139 ～ 144：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，以下 2 層まで SP144，抜き取り痕
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，掘方
3　10YR3/2 黒褐色シルト，炭を少し含む，以下 4 層まで SP143，柱痕
4　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，掘方
5　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，炭を少し含む，以下 6 層まで SP139，柱痕
6　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，掘方
7　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，以下 8 層まで SP140，柱痕
8　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，掘方
9　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下 10 層まで SP141，柱痕
10　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，掘方
11　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，以下 SP142，柱痕
12　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，掘方



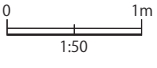
柱穴 SP156・157：a - a′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと石と炭を少し含む，以下 3 層まで SP157，抜き取り痕
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，以下 3 層まで掘方
3　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む
4　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，以下 SP156，柱痕
5　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，掘方



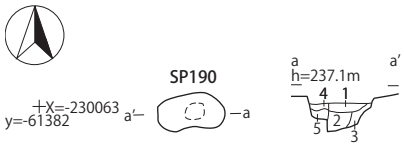
柱穴 SP160・161：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下 2 層まで SP160，柱痕
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む，掘方
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，以下 SP161，柱痕
4　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，炭を少し含む，掘方



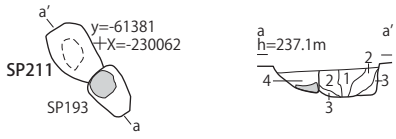
柱穴 SP171：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，柱痕
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，掘方



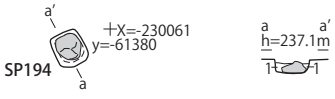
第 84 図　掘立柱建物 SB2028・2030・3298・3300 ～ 3302，掘立柱列 SA2029



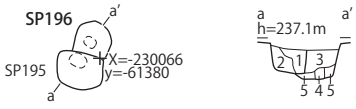
柱穴 SP190：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，炭を少し含む，抜き取り痕
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，柱痕
3　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，以下掘方
4　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む
5　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む



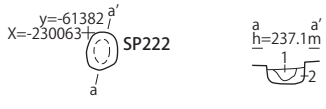
柱穴 SP193・211：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下 3 層まで SP211，抜き取り痕
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，以下 3 層まで掘方
3　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト
4　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，炭を少し含む，SP193，抜き取り痕



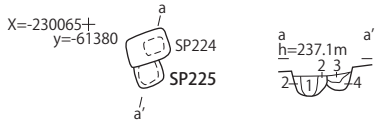
柱穴 SP194：a - a′
1　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，掘方



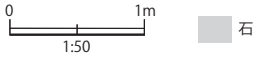
柱穴 SP195・196：a - a′
1　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，炭を少し含む，以下 2 層まで SP195，抜き取り痕
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，掘方
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，炭を少し含む，以下 SP196，抜き取り痕
4　10YR3/2 黒褐色シルト，柱痕
5　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，掘方



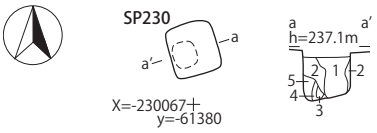
柱穴 SP222：a - a′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，抜き取り痕
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む，掘方



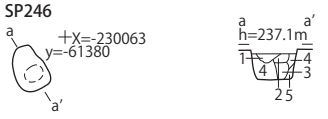
柱穴 SP224・225：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，以下 2 層まで SP224，柱痕
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，掘方
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下 SP225，抜き取り痕
4　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，掘方



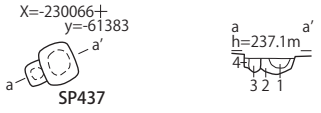
第 85 図　掘立柱建物 SB2028・2030・3298・3300 ～ 3302，掘立柱列 SA2029



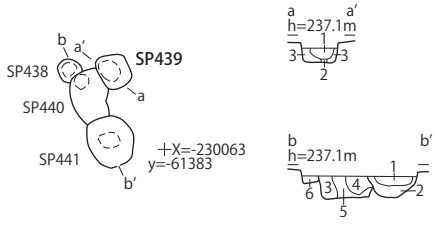
柱穴 SP230：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，抜き取り痕
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，以下掘方
3　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト
4　10YR3/2 黒褐色シルト，炭を少し含む
5　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，炭を少し含む



柱穴 SP246：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，炭を少し含む，以下 3 層まで抜き取り痕
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，炭を少し含む
4　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，以下掘方
5　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト

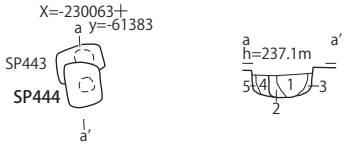


柱穴 SP437：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下 2 層まで SP437，柱痕
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，炭を少し含む，掘方
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，以下別の柱穴，柱痕
4　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，掘方



柱穴 SP439：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，炭を少し含む，抜き取り痕
2　10YR4/2 灰黄褐色シルト，柱痕
3　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，掘方

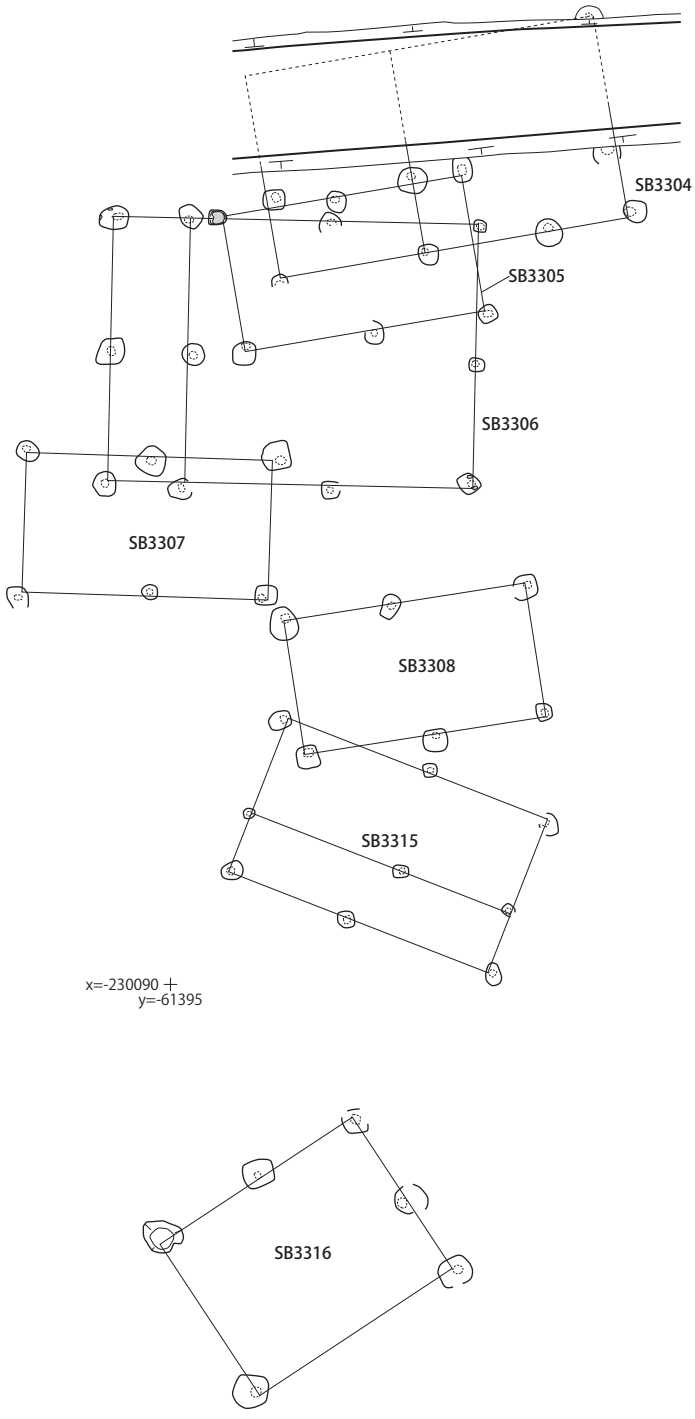
柱穴 SP438・440・441：b - b′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，炭を少し含む，以下 3 層まで SP441，抜き取り痕
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，掘方
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下 5 層まで SP440，柱痕
4　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，炭を少し含む，以下 5 層まで掘方
5　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと炭を少し含む
6　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，SP438，抜き取り痕



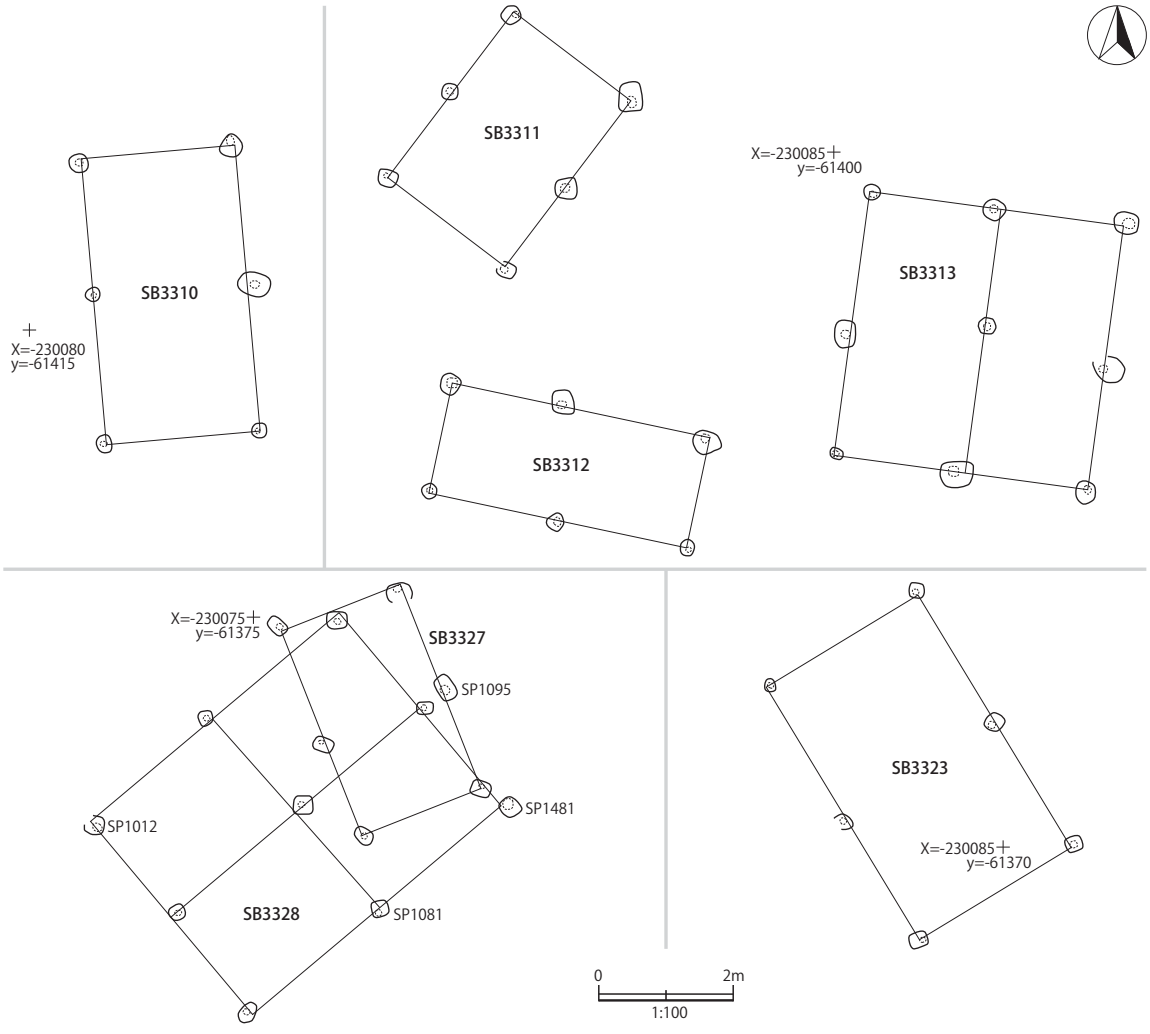
柱穴 SP443・444：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，以下 3 層まで SP444，抜き取り痕
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，以下 3 層まで掘方
3　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト
4　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，炭を少し含む，　以下 SP443，柱痕
5　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，掘方

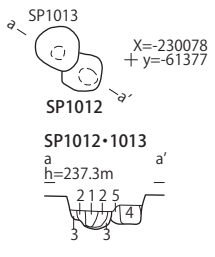
0　1m
1:50

第 86 図　掘立柱建物 SB2028・2030・3298・3300 ～ 3302，掘立柱列 SA2029



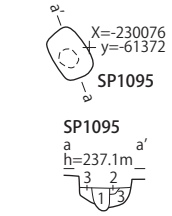
第 87 図　掘立柱建物 SB3304 ～ 3308・3315・3316





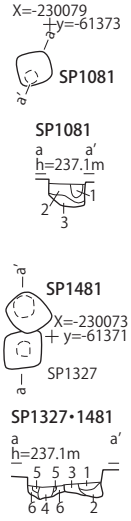
柱穴 SP1012・1013：a - a′

1 10YR3/2 黒褐色シルト，ブロック状の 10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，以下 3 層まで SP1013，柱痕
2 10YR3/2 黒褐色シルト，ブロック状の 10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを多く含む，炭を少し含む，以下 3 層まで掘方
3 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト
4 10YR3/2 黒褐色シルト，ブロック状の 10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，以下 SP1012，抜き取り痕
5 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，掘方



柱穴 SP1095：a - a′

1 10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，柱痕
2 10YR3/2 黒褐色シルト，以下掘方
3 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを少し含む



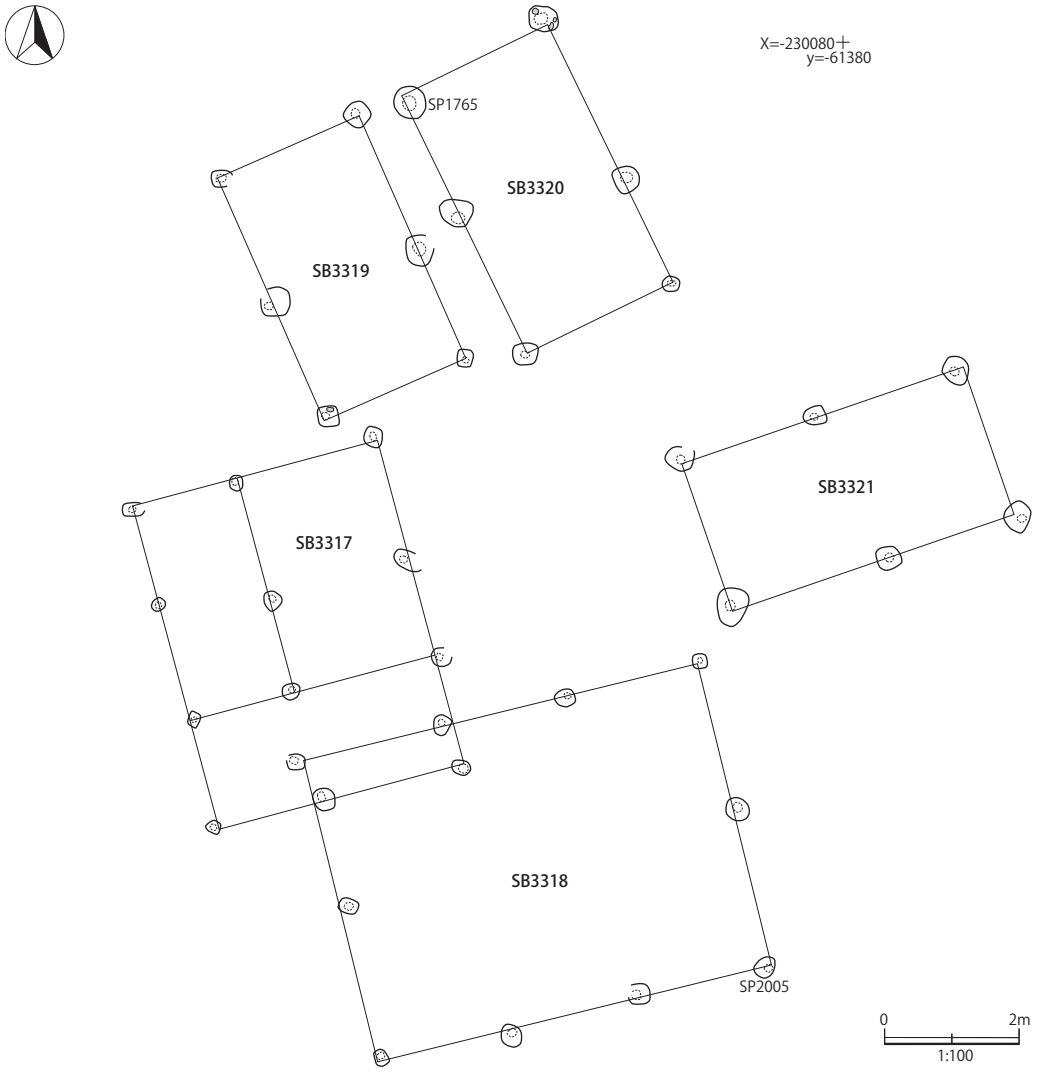
柱穴 SP1081：a - a′

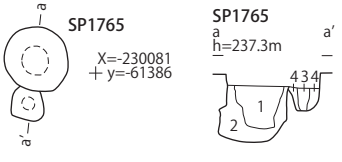
1 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，柱痕
2 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下掘方
3 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む

柱穴 SP1327・1481：a - a′

1 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，以下 3 層まで SP1481，2 層まで抜き取り痕
2 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む
3 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，掘方
4 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，炭を少し含む，以下 SP1327，柱痕
5 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下掘方
6 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む

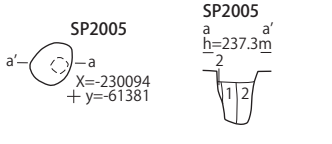
第 88 図　掘立柱建物 SB3310 ～ 3313・3323・3327・3328





柱穴 SP1765：a - a′

1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，炭を含む，以下 2 層まで SP1765，抜き取り痕
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，掘方
3　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下別の柱穴，柱痕
4　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む，掘方

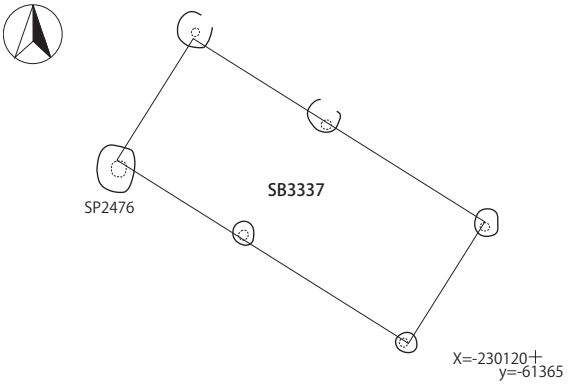


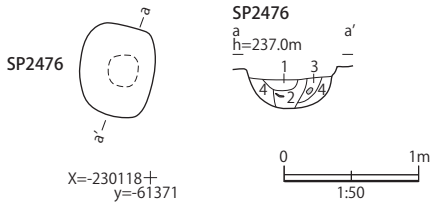
柱穴 SP2005：a - a′

1　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む

0　1m
1:50

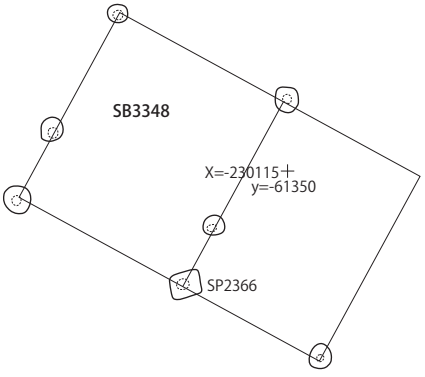
第 89 図　掘立柱建物 SB3317 ～ 3321

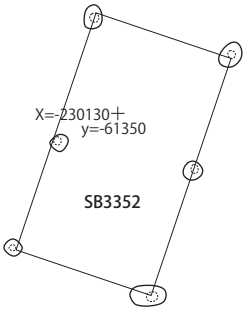


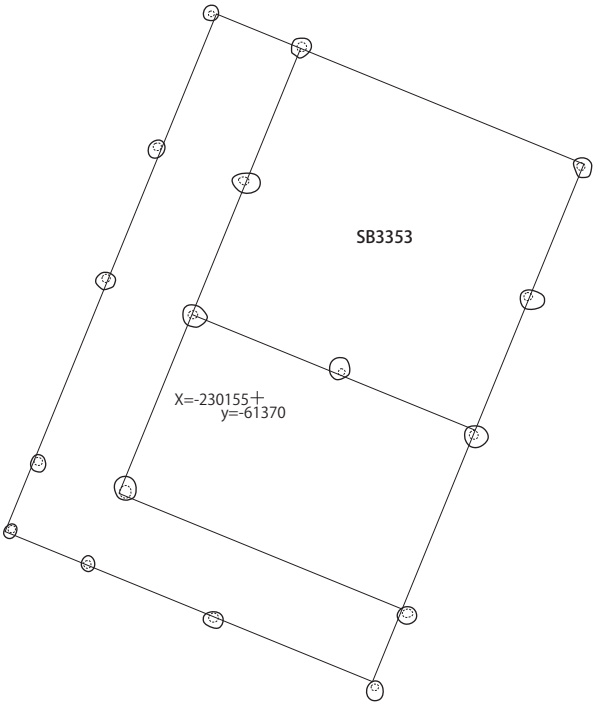


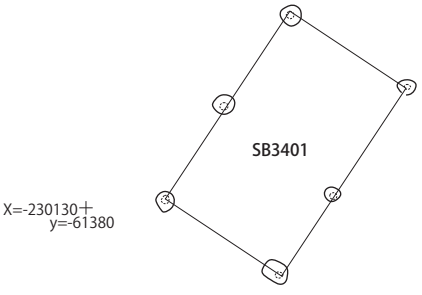
柱穴 SP2476：a - a′

1　10YR2/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む，以下 2 層まで抜き取り痕
2　10YR2/2 黒褐色シルト，10YR3/3 暗褐色粘土と炭と土器を含む
3　10YR2/2 黒褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトと炭を多く含む，以下掘方
4　10YR4/2 灰黄褐色細砂, 10YR3/2 黒褐色シルトを含む



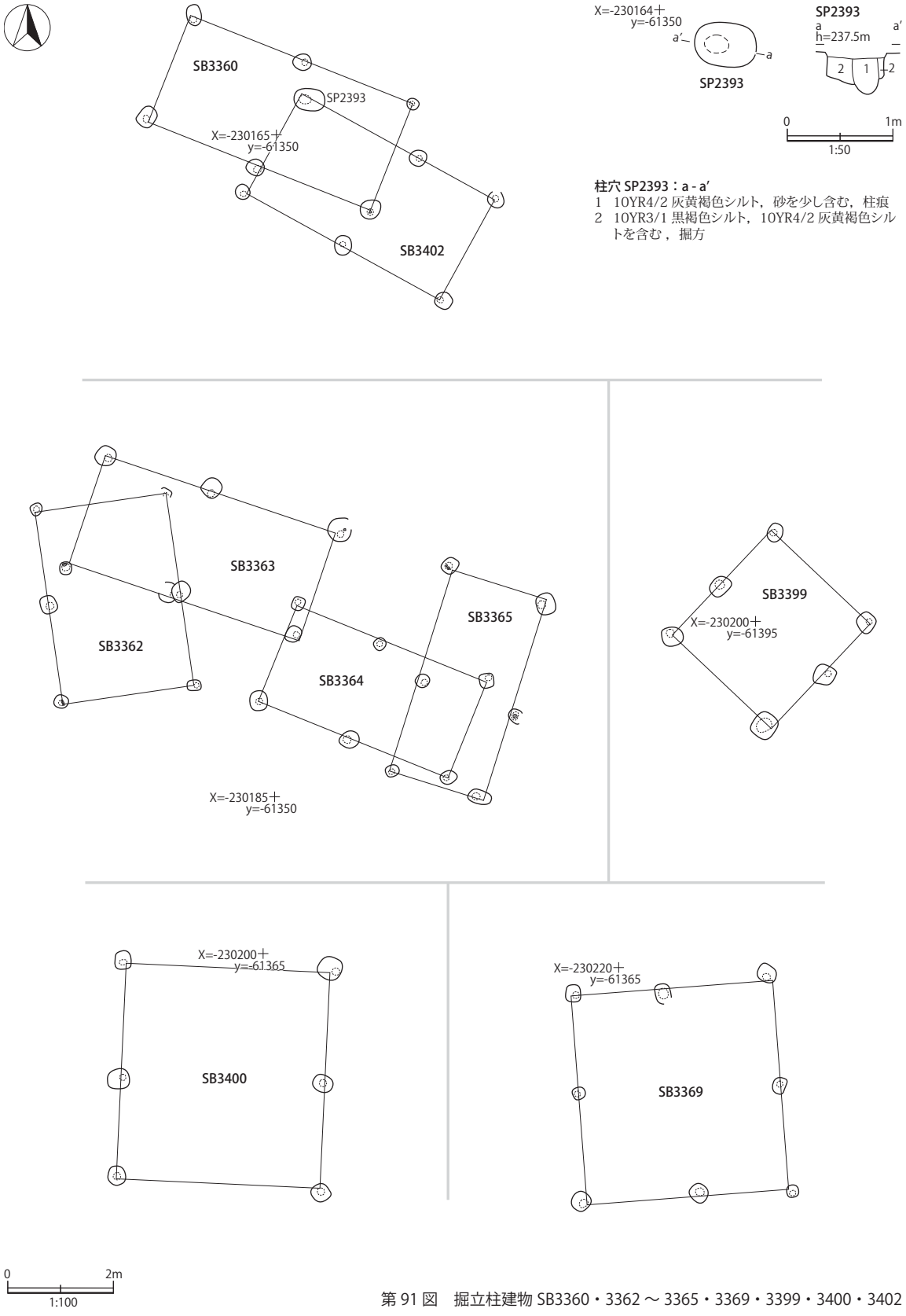






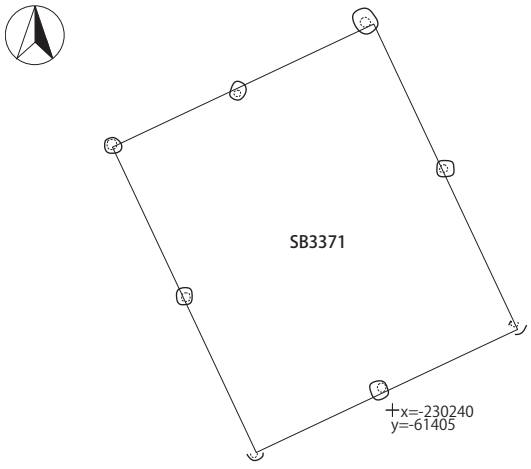
0　2m
1:100

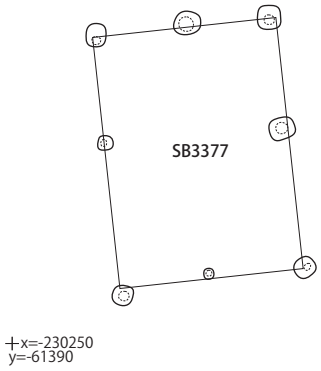
第 90 図　掘立柱建物 SB3337・3401・3348・3352・3353

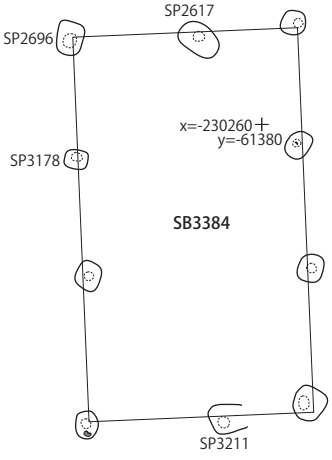


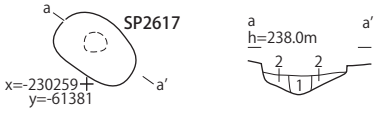
柱穴 SP2393：a - a′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，砂を少し含む，柱痕
2　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，掘方

第 91 図　掘立柱建物 SB3360・3362 ～ 3365・3369・3399・3400・3402

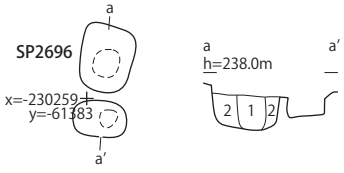




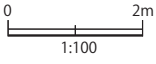


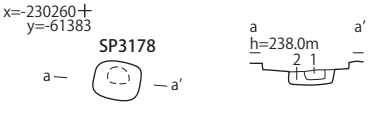


柱穴 SP2617：a - a′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトを少し含む，柱痕
2　10YR6/3 にぶい黄橙色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトを少し含む，掘方

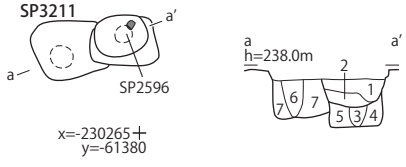


柱穴 SP2696：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，柱痕
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと礫を含む，掘方

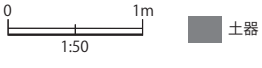




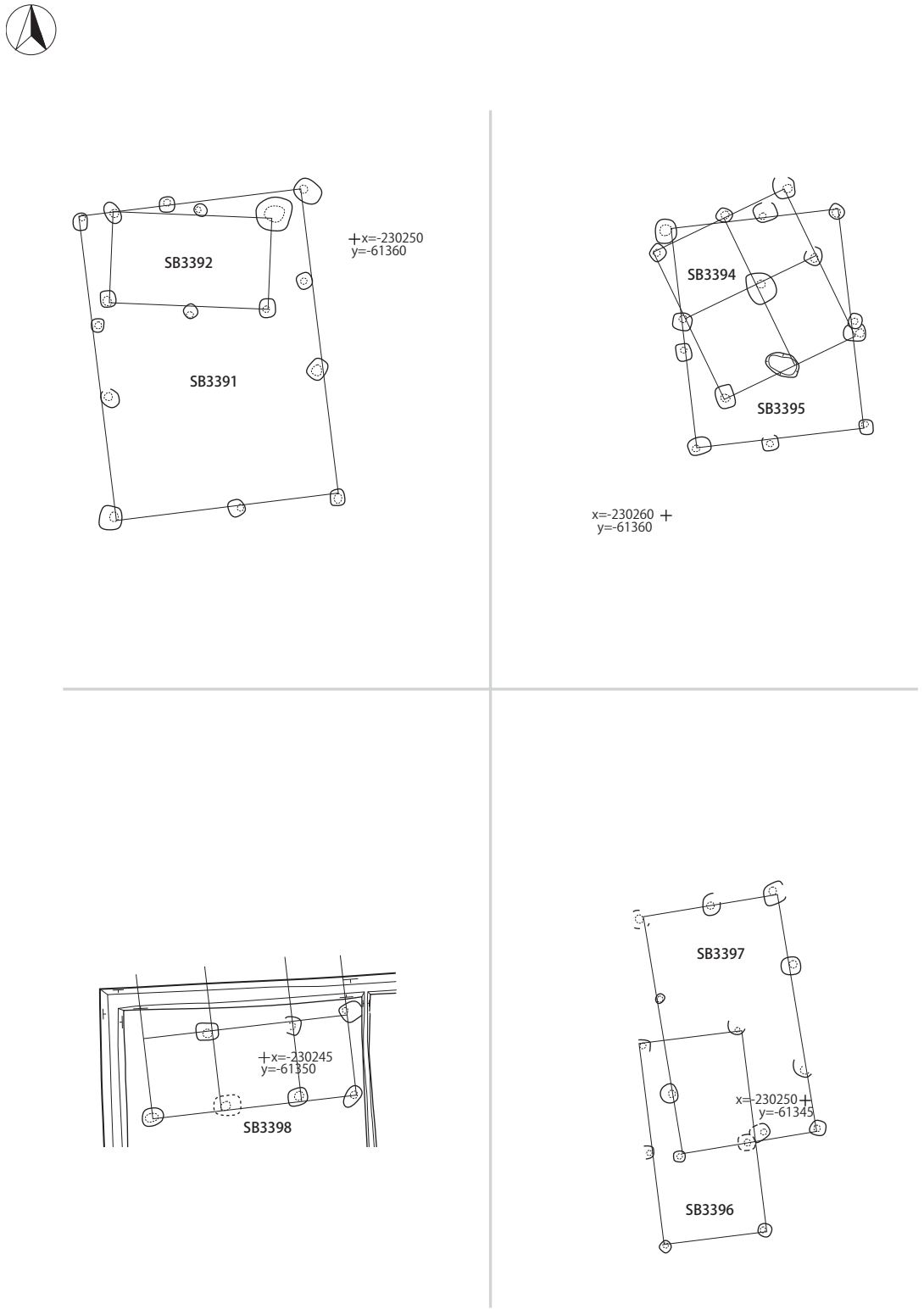
柱穴 SP3178：a - a′
1　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと 10YR4/4 褐色シルトを含む，柱痕
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを含む，掘方



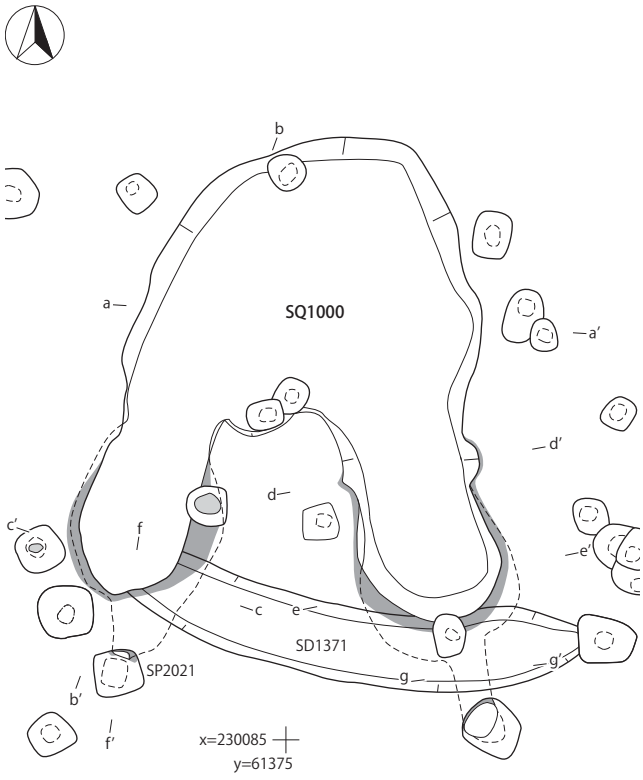
柱穴 SP2596・3211：a - a′
1　10YR6/3 にぶい黄橙色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトと粗砂を少し含む，以下 2 層まで柱穴，抜き取り痕
2　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR6/4 にぶい黄橙色シルトと粗砂を少し含む，掘方
3　10YR4/1 褐灰色粗砂，10YR5/2 灰黄褐色シルトを少し含む，以下 5 層まで SP2596，柱痕
4　10YR6/4 にぶい黄橙色シルト，粗砂を少し含む，以下掘方
5　10YR5/2 灰黄褐色シルト，粗砂を多く含む
6　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR6/4 にぶい黄橙色シルトと粗砂を少し含む，以下 SP3211，柱痕
7　10YR6/2 灰黄褐色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトと粗砂を多く含む，掘方



第 92 図　掘立柱建物 SB3371・3377・3384

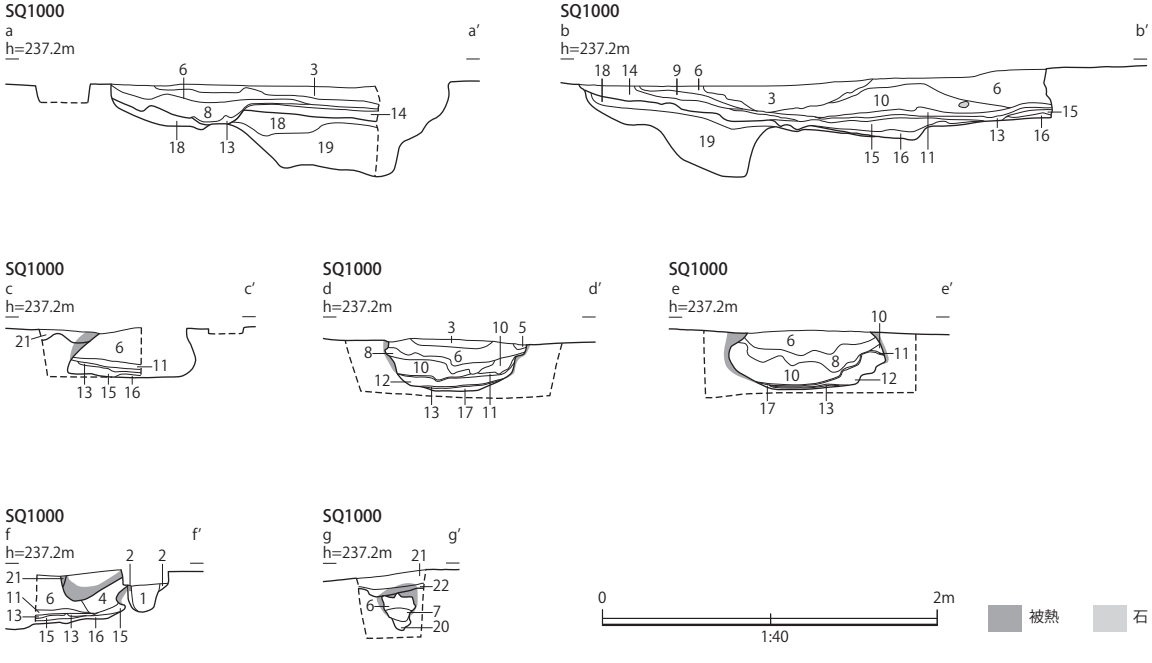


第 93 図　掘立柱建物 SB3391・3392・3394 ～ 3398

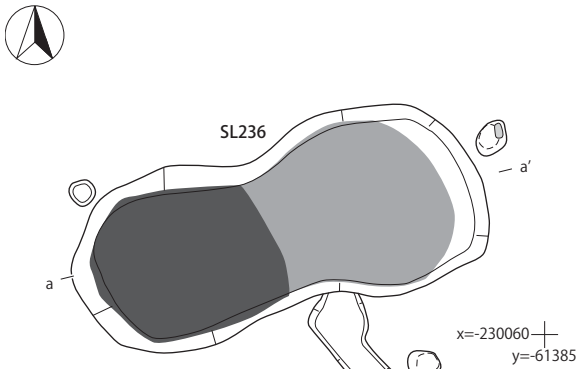


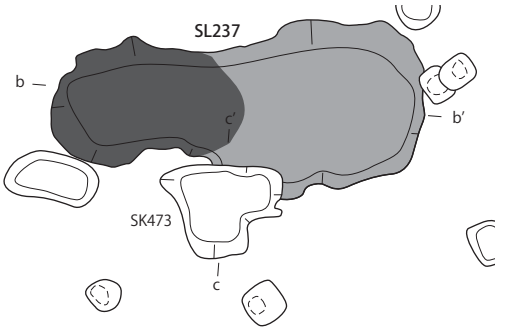
炭窯SQ1000：a - a′, b - b′, c - c′, d - d′, e - e′, f - f′, g - g′

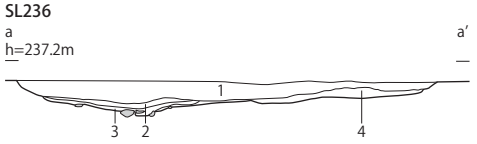
1 10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，以下 2 層まで SP2021，柱痕
2 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，掘方
3 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，以下 20 層まで SQ1000，埋土
4 10YR3/1 黒褐色粘質土，焼土と炭を少し含む，埋土
5 焼土，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，埋土
6 10YR3/2 黒褐色シルト，ブロック状の焼土(天井崩落土）を含む，10YR5/4 にぶい黄褐色シルト(地山起源)と炭を 少し含む，埋土
7 10YR3/1 黒褐色シルト，焼土を多く含む，10YR3/2 黒褐色シルトと炭を含む，埋土
8 10YR3/1 黒褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを多く含む，10YR5/4 にぶい黄褐色シルト(地山起源)を含む，焼土と炭を少し含む，埋土
9 10YR3/1 黒褐色シルト，焼土と炭を少し含む，埋土
10 10YR3/1 黒褐色シルト,ブロック状の焼土(天井崩落土)と 10YR3/2 黒褐色シルトを含む，埋土
11 炭層，操業時堆積物
12 10YR3/1 黒褐色シルト,ブロック状の焼土(天井崩落土)を多く含む，埋土
13 炭層，灰を含む，操業時堆積物
14 10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，整地土
15 10YR3/1 黒褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと焼土を含む，10YR5/3 にぶい黄褐色粘土を少し含む，整地土
16 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR2/1 黒色シルトと 10YR3/1 黒褐色シルトを含む，整地土
17 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，操業時堆積物
18 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを含む，構築時の整地土
19 10YR5/4 にぶい黄褐色粘質土，炭を少し含む，構築時の整地土
20 10YR5/4 にぶい黄褐色砂，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，炭を少し含む，構築時の整地土
21 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下 SD1371
22 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む



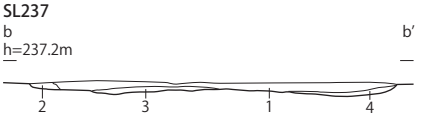
第 94 図　炭窯 SQ1000



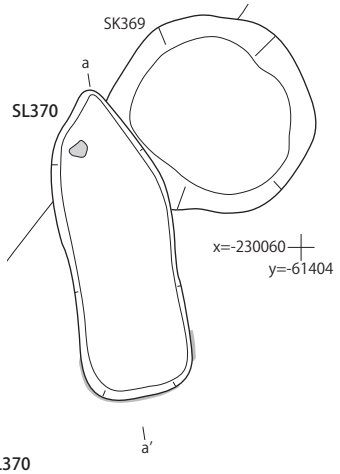


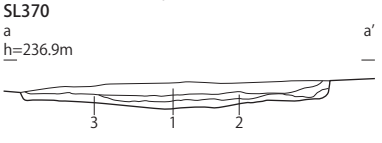


焼成遺構SL236：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，炭を少し含む
2　炭，10YR5/6 黄褐色シルト（焼土）を少し含む
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/6 黄褐色シルト(焼土)を少し含む，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む
4　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む，炭・灰を含む

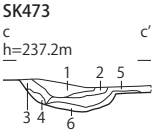


焼成遺構SL237：b - b′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む，10YR5/6 黄褐色シルト(焼土)と炭を少し含む
2　10YR5/6 黄褐色シルト(焼土)，10YR3/2 黒褐色シルトを含む
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/6 黄褐色シルト(焼土)と炭を含む，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと 10YR4/4 褐色シルトを少し含む
4　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルト・焼土・炭を少し含む

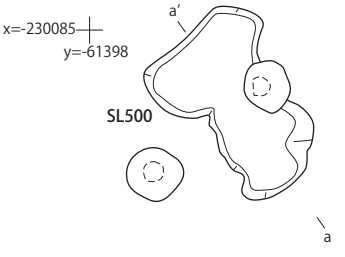


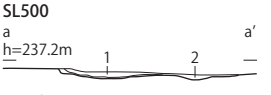


焼成遺構 SL370：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，炭と灰と焼土を多く含む
3　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト



土坑SK473：c - c′
1　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む
3　10YR3/2 黒褐色シルト
4　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む
5　10YR2/1 黒色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む
6　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む



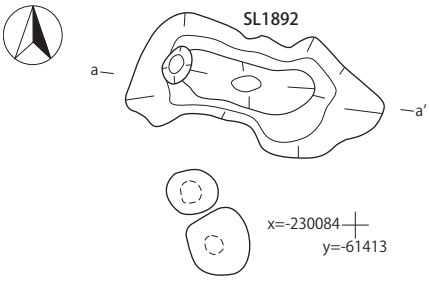


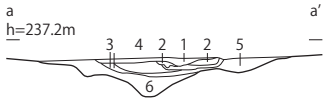
焼成遺構SL500：a - a′
1　炭，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと 10YR5/6 黄褐色シルト(焼土)と灰を少し含む
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと炭を少し含む

石　炭化物　焼土

0　2m
1:40

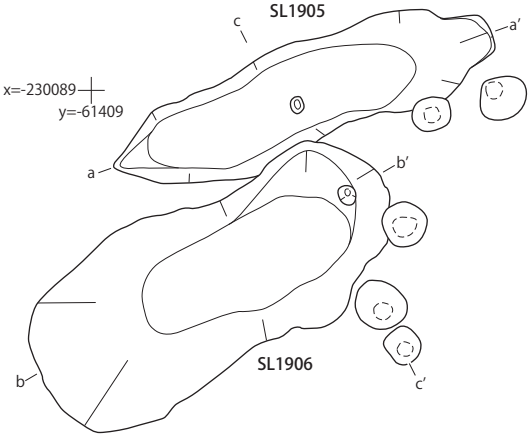
第 95 図　焼成遺構 SL236・237・370・500，土坑 SK473

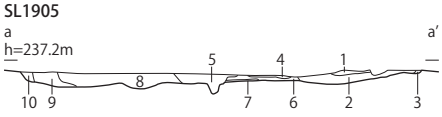




焼成遺構 SL1892：a - a′

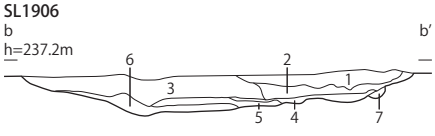
1　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/6 黄褐色焼土と炭を少し含む
2　10YR5/6 黄褐色焼土，10YR4/3 にぶい黄褐色焼土を含む，炭を少し含む
3　炭，10YR5/6 黄褐色焼土と 10YR4/3 にぶい黄褐色焼土を少し含む
4　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/6 黄褐色焼土と 10YR4/3 にぶい黄褐色焼土を多く含む，炭を少し含む
5　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，炭を少し含む
6　10YR5/4 にぶい黄褐色細砂，10YR3/1 黒褐色シルトをまだら状に少し含む





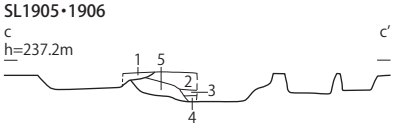
焼成遺構SL1905：a - a′

1　10YR5/6 黄褐色シルト(焼土)，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，10YR3/2 黒褐色シルトと灰を少し含む
2　炭，灰を含む，10YR4/2 灰黄褐色シルトと 10YR5/6 黄褐色シルト(焼土)を少し含む
3　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと 10YR3/2 黒褐色シルト少し含む
4　灰，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，10YR5/6 黄褐色シルト(焼土)を少し含む
5　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，炭を少し含む
6　10YR3/2 黒褐色シルト，灰と 10YR5/6 黄褐色シルト(焼土)を含む，炭と 10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む
7　炭，10YR3/2 黒褐色シルトと 10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む
8　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，炭を少し含む
9　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，炭を少し含む
10　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む



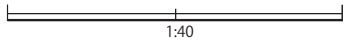
焼成遺構SL1906：b - b′

1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと 10YR5/6 黄褐色シルト(焼土) を少し含む
2　炭，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと 10YR5/6 黄褐色シルト（焼土）と灰を少し含む
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
4　灰，炭を含む，10YR3/2 黒褐色シルトと 10YR5/6 黄褐色シルト(焼土)を少し含む
5　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，炭を少し含む
6　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，炭を少し含む
7　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む

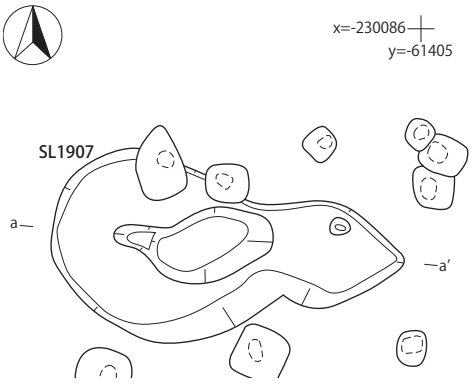


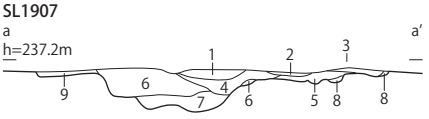
焼成遺構SL1905・1906：c - c′

1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，炭を少し含む，SL1905
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと 10YR5/6 黄褐色シルト(焼土)を少し含む，以下 SL1906
3　炭，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと 10YR5/6 黄褐色シルト(焼土)と灰を少し含む
4　灰，炭を含む，10YR3/2 黒褐色シルトと 10YR5/6 黄褐色シルト(焼土)を少し含む
5　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと焼土を少し含む，炭を含む

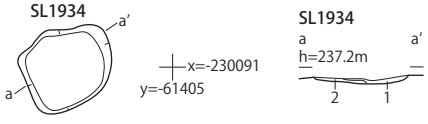


第 96 図　焼成遺構 SL1892・1905・1906

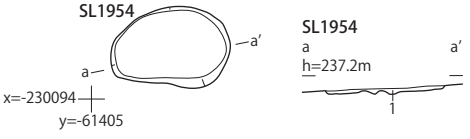




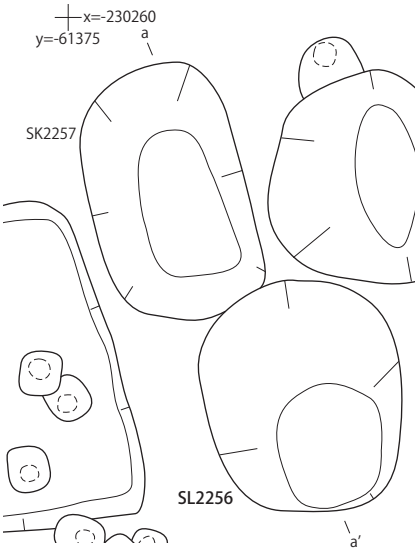
焼成遺構SL1907：a - a′
1 10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
2 10YR5/6 黄褐色焼土
3 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR5/6 黄褐色焼土をまだら状に多く含む，炭を含む
4 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR5/6 黄褐色焼土を小ブロック状に少し含む，炭を多く含む
5 炭，10YR5/6 黄褐色焼土を小ブロック状に少し含む
6 10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，炭を少し含む
7 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと炭をを少し含む
8 10YR3/2 黒褐色シルト 10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，炭を少し含む
9 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを少し含む

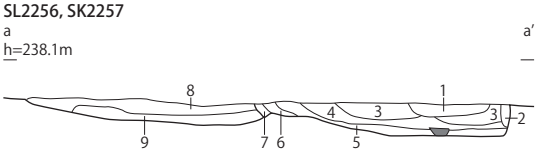


焼成遺構SL1934：a - a′
1 灰，10YR5/6 黄褐色シルト(焼土)と炭を少し含む
2 炭，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，灰と 10YR5/6 黄褐色シルト(焼土)を少し含む



焼成遺構 SL1954：a - a′
1 10YR4/4 褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，10YR3/2 黒褐色シルトと 10YR5/6 黄褐色シルト（焼土）と炭を少し含む

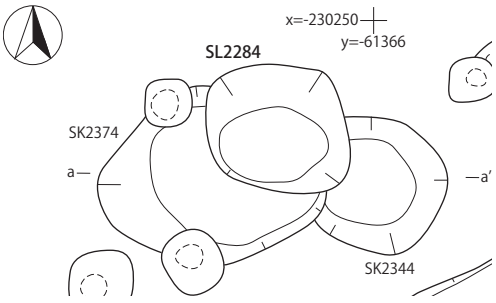


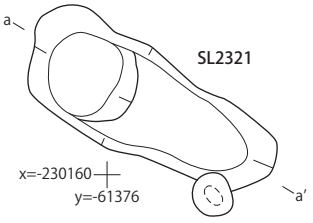


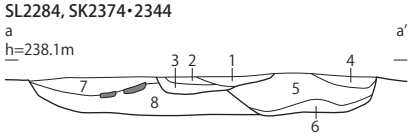
焼成遺構 SL2256，土坑 SK2257：a - a′
1 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトと炭を含む，以下 7 層まで SL2256
2 焼土
3 10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトと炭を多く含む，焼土を少し含む
4 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルト炭を多く含む，焼土を少し含む
5 炭化物層，10YR2/2 黒褐色シルトと土器と焼土を含む
6 10YR3/2 灰黄褐色シルト，炭と焼土を含む
7 10YR4/2 灰黄褐色シルト，炭を少し含む
8 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，以下 SK2257
9 10YR4/4 褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと炭を少し含む

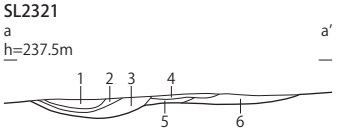
0 2m
1:40
土器

第 97 図　焼成遺構 SL1907・1934・1954・2256，土坑 SK2257



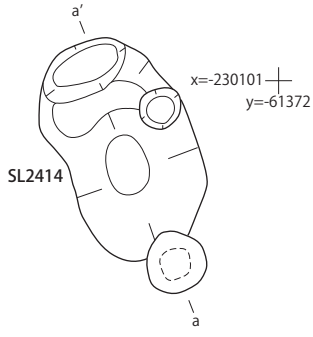


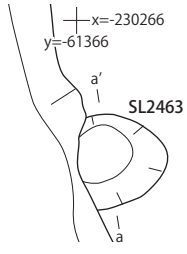


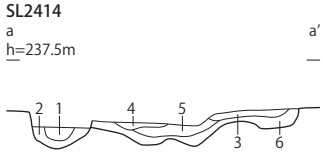


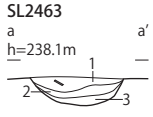
焼成遺構 SL2284，土坑 SK2344・2374：a - a′
1　10YR5/1 褐灰色シルト，炭を多く含む，焼土を少し含む
2　10YR7/1 にぶい黄橙色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトと焼土を多く含む
3　10YR6/2 灰黄褐色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトを多く含む
4　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR6/3 にぶい黄褐色シルトと炭を含む
5　5YR4/2 灰褐色シルト，炭と焼土を多く含む
6　10YR6/3 にぶい黄褐色シルト，10YR6/1 褐灰色シルトを含む
7　10YR6/2 灰黄褐色シルト，10YR6/1 褐灰色シルトを多く含む
8　10YR5/2 褐灰色シルト，10YR6/1 褐灰色シルトを含む

焼成遺構 SL2321：a - a′
1　10YR2/2 黒褐色シルト，焼土を含む
2　焼土，炭を含む
3　焼土，10YR4/3 にぶい黄褐色粘土と炭を含む
4　10YR3/4 暗褐色シルト，焼土と炭を多く含む
5　10YR2/3 黒褐色シルト，焼土と炭を多く含む
6　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR3/4 暗褐色細砂と礫と炭を含む









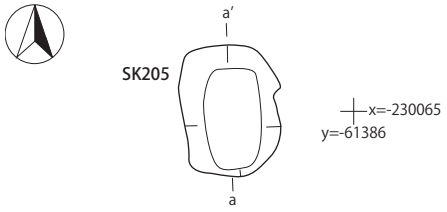
焼成遺構 SL2414：a - a′
1　10YR2/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む
2　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR2/2 黒褐色シルトと炭を少し含む
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR3/3 暗褐色細砂と炭を含む
4　10YR3/3 暗褐色シルト，炭を多く含む
5　10YR3/2 黒褐色シルト，炭と焼土を多く含む
6　10YR3/4 暗褐色砂，10YR3/2 黒褐色シルトと炭を含む

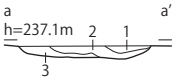
焼成遺構 SL2463：a - a′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，炭を少し含む，焼土を多く含む
2　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトと炭と焼土を少し含む
3　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトと焼土を少し含む

土器

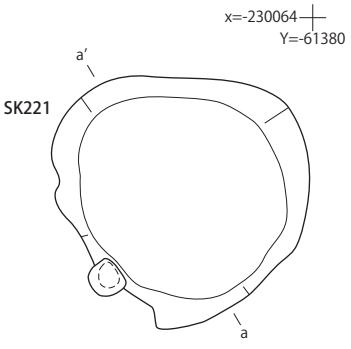
0　2m
1:40

第 98 図　焼成遺構 SL2284・2321・2414・2463，土坑 SK2344・2374

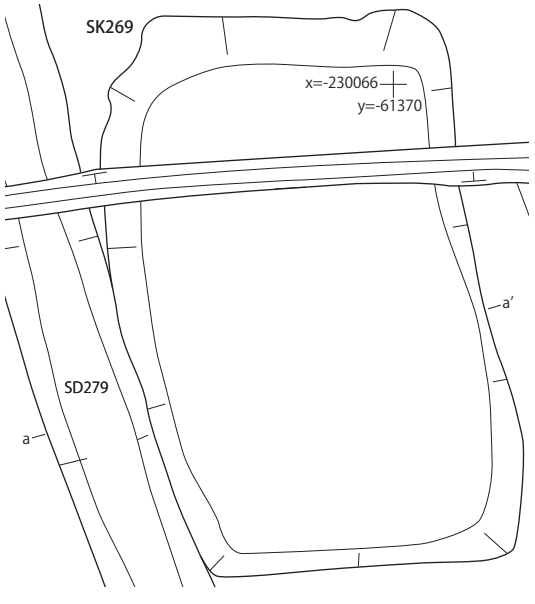


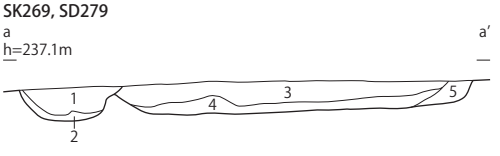


土坑 SK205：a - a′
1　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，炭・焼土を少し含む
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む
3　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト

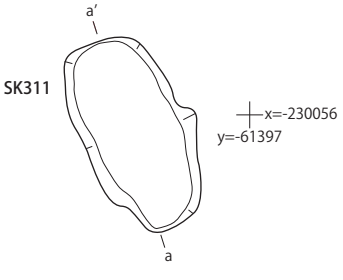


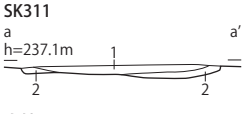
土坑 SK221：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む





土坑 SK269，溝 SD279：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下 2 層まで SD279
2　10YR6/2 灰黄褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む
3　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトと炭を含む，以下 SK269
4　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトを少し含む
5　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを含む

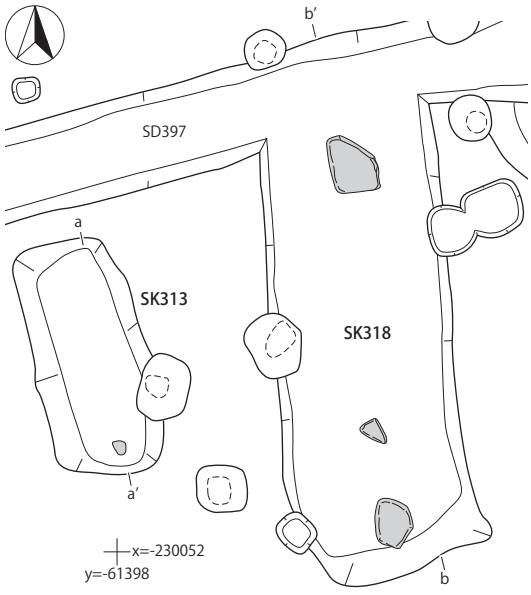


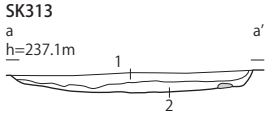


土坑 SK311：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む

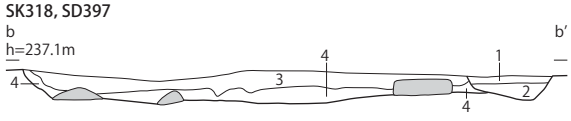
0　2m
1:40

第 99 図　土坑 SK205・221・269・311，溝 SD279

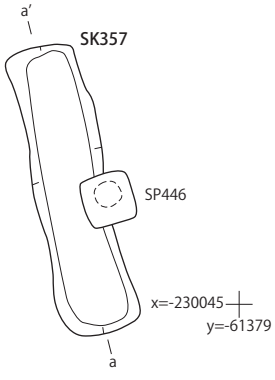


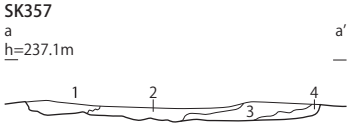


土坑 SK313：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む

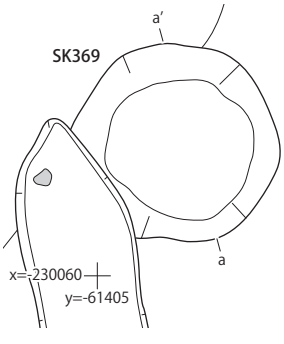


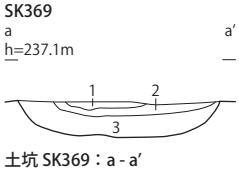
土坑 SK318，溝 SD397：b - b′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，以下 2 層まで SD397
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む
3　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下 SK318
4　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む





土坑 SK357：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを少し含む
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト(地山起源)，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，10YR4/4 褐色シルトを少し含む
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトと 10YR4/4 褐色シルトを少し含む
4　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む



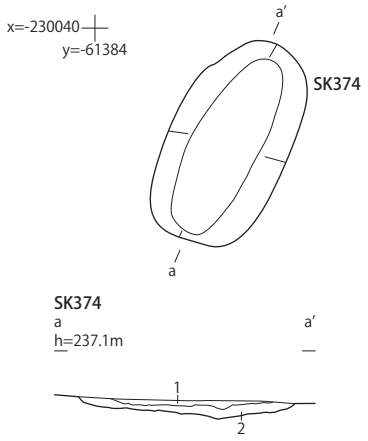


土坑 SK369：a - a′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む
2　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと石を少し含む

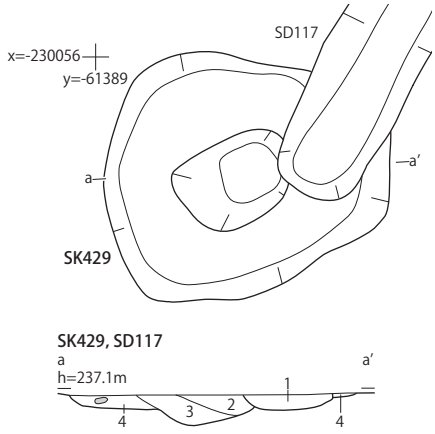
石

0　2m
1:40

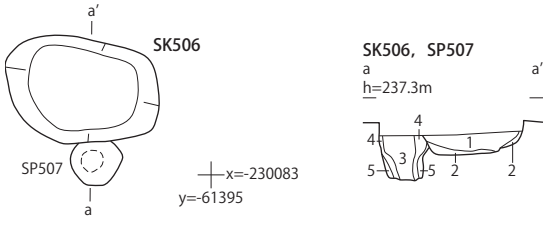
第 100 図　土坑 SK313・318・357・369，溝 SD397



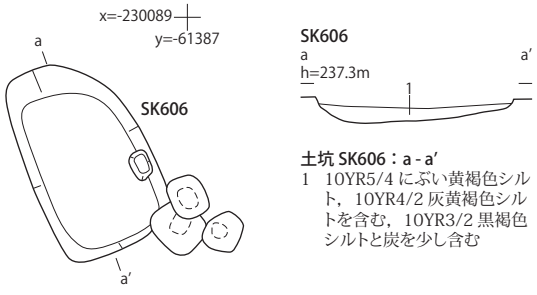
土坑 SK374：a - a′
1　10YR3/1 黒褐色シルト
2　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを少し含む



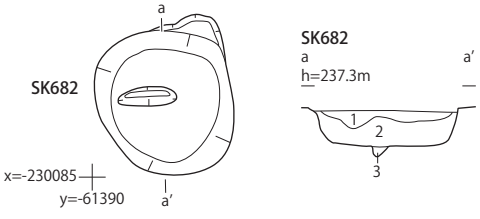
土坑 SK429，溝 SD117：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，SD117
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む，以下 SK429
3　10YR4/2 灰黄褐色シルト
4　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト



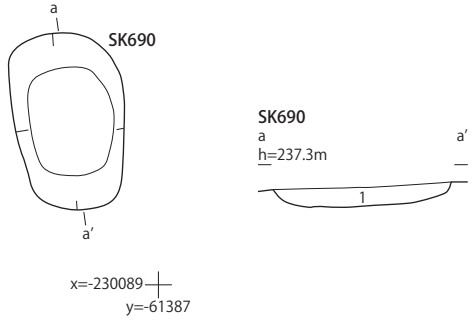
土坑 SK506，柱穴 SP507：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，以下 2 層まで SK506
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む
3　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，炭をわずかに含む，以下 SP507，抜き取り痕
4　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，以下掘方
5　10YR4/2 砂，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む



土坑 SK606：a - a′
1　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，10YR3/2 黒褐色シルトと炭を少し含む



土坑 SK682：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，炭を少し含む
3　10YR3/2 黒褐色シルト

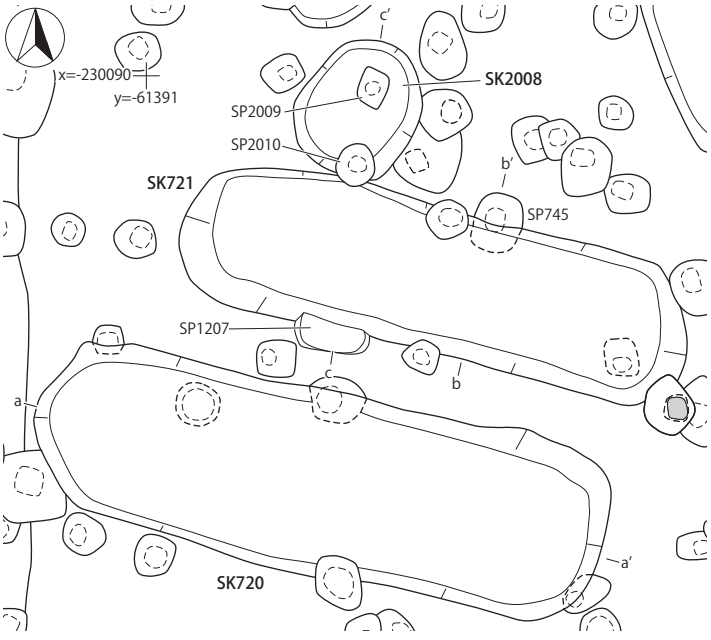


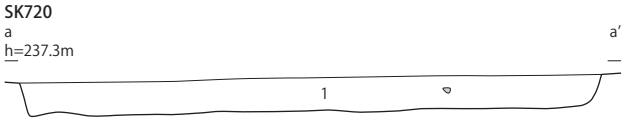
土坑 SK690：a - a′
1　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと 10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，炭を少し含む

石

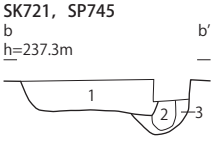
0　2m
1:40

第 101 図　土坑 SK374・429・506・606・682・690，柱穴 SP507，溝 SD117

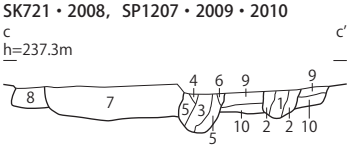




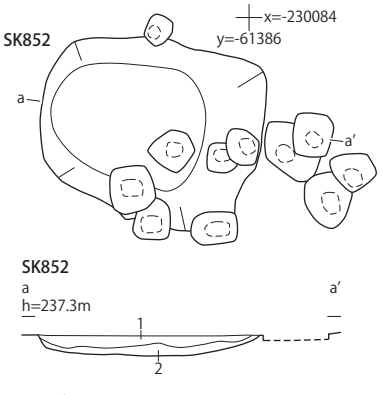
土坑SK720：a - a′
1　10YR3/2黒褐色シルト，10YR5/4にぶい黄褐色シルトと10YR4/2灰黄褐色シルトを含む，炭を少し含む



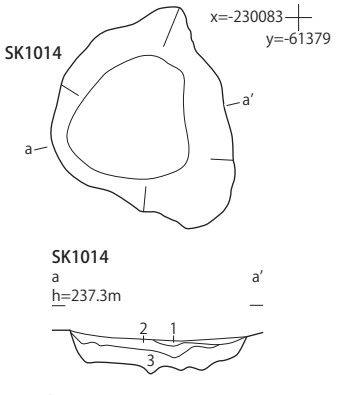
土坑 SK721，柱穴 SP745：b - b′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，炭を少し含む，SK721
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭少し含む，以下 SP745，柱痕
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，掘方



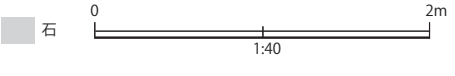
土坑 SK721・2008，
柱穴 SP1207・2009・2010：c - c′
1　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，以下 2 層まで SP2009，柱痕
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを含む，掘方
3　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，以下 6 層まで SP2010，柱痕
4　10YR3/1 黒褐色シルト，以下 6 層まで掘方
5　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む
6　10YR3/1 黒褐色シルト
7　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，炭と小石を少し含む，SK721
8　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，SP1207
9　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下 SK2008
10　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを少し含む



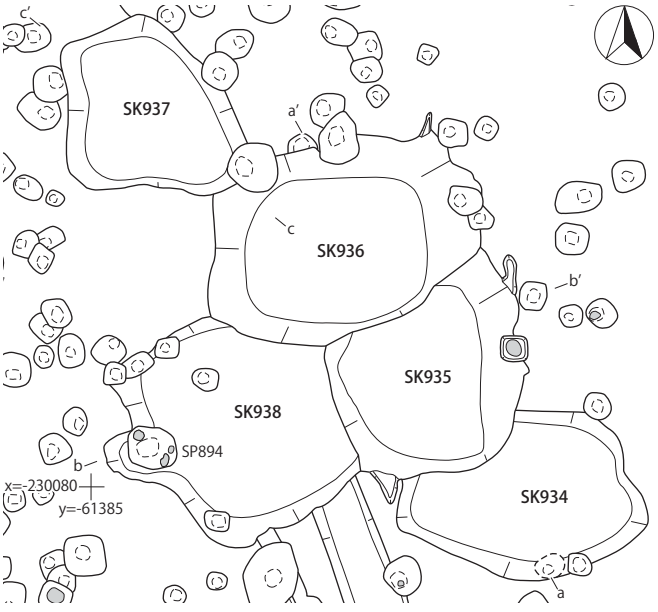
土坑 SK852：a - a′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと 10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む

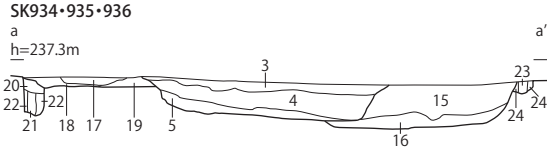


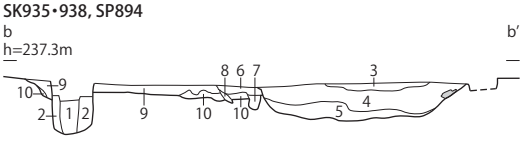
土坑 SK1014：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む

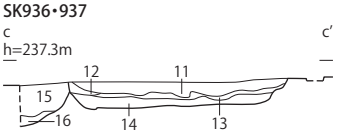


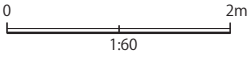
第 102 図　土坑 SK720・721・852・1014・2008，柱穴 SP745・1207・2009・2010







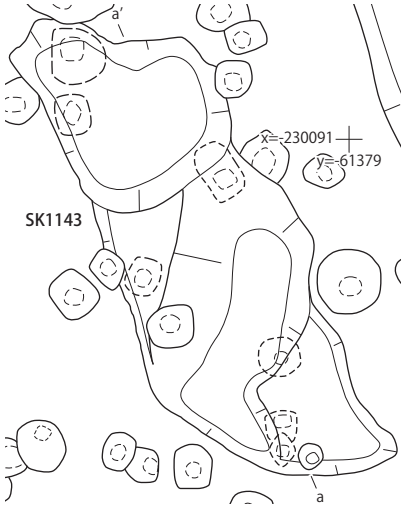


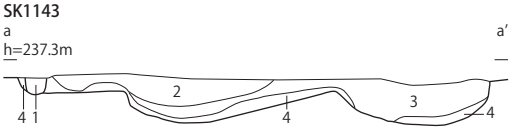


石

土坑 SK934 ～ 938，柱穴 SP894：a - a′，b - b′，c - c′

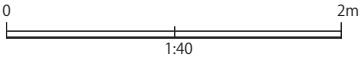
1 10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，以下 2 層まで SP894，柱痕
2 10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを多く含む，石を含む，掘方
3 10YR3/1 黒褐色シルト，10YR3/1 黒褐色細砂を含む，炭を少し含む，以下 5 層まで SK935
4 10YR3/1 黒褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，炭を少し含む
5 10YR3/1 黒褐色粘質土，炭を少し含む
6 10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，以下 10 層まで SK938
7 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む
8 10YR3/2 黒褐色シルト，炭を少し含む
9 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
10 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む
11 10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，以下 14 層まで SK937
12 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR3/2 黒褐色細砂を含む，炭を少し含む
13 10YR3/1 黒褐色シルト，炭を少し含む
14 10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
15 10YR3/1 黒褐色シルト，ブロック状の 10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，炭を含む，以下 16 層まで SK936
16 10YR3/1 黒褐色粘質土，炭を少し含む
17 10YR3/1 黒褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと 10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，以下 19 層まで SK934
18 10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を含む
19 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む
20 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，炭を少し含む，以下 22 層まで柱穴，抜き取り痕
21 10YR3/1 黒褐色シルト，炭を含む，柱痕
22 10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，掘方
23 10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，炭を少し含む，以下柱穴，柱痕
24 10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，掘方



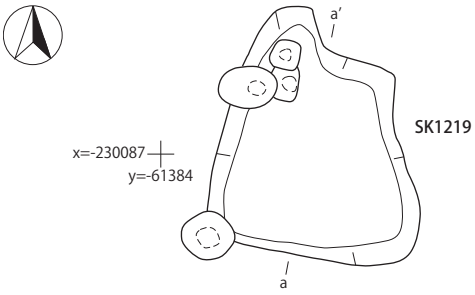


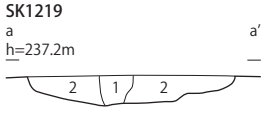
土坑 SK1143：a - a′

1 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，ピット
2 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを層状に含む，炭をわずかに含む，以下 SK1143
3 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトをブロック状に含む，炭をわずかに含む
4 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む

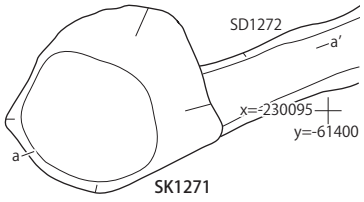


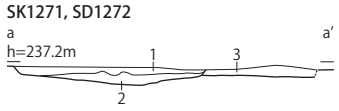
第 103 図　土坑 SK934 ～ 938・1143，柱穴 SP894



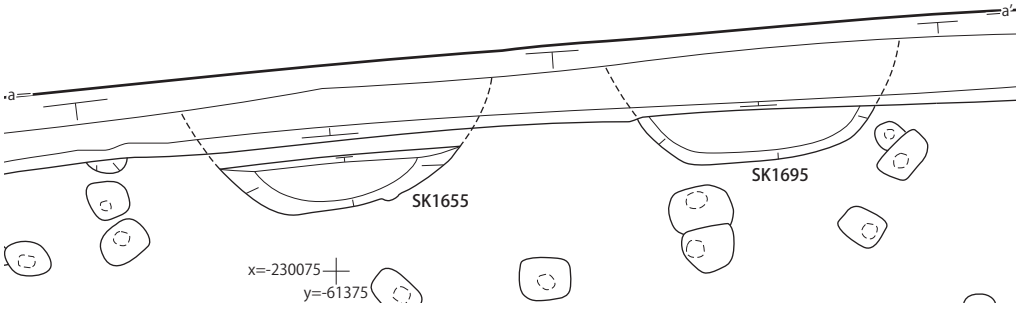


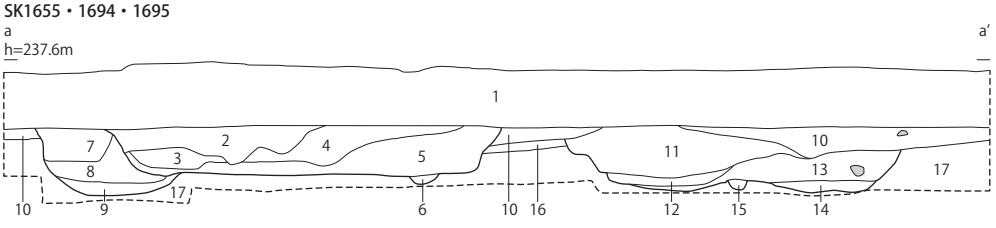
土坑 SK1219：a - a′
1　10YR3/3 暗褐色シルト，5YR6/8 橙色シルトをまだら状に含む，炭を少し含む
2　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトをブロック状に多く含む，5YR6/8 橙色シルトをまだら状に含む，炭を少し含む





土坑 SK1271，溝 SD1272：a - a′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，以下 2 層まで SK1271
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む
3　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む，SD1272

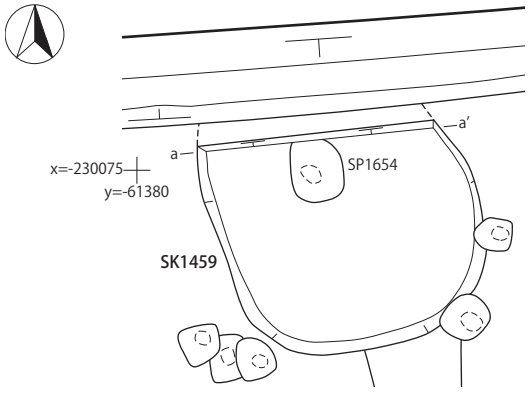


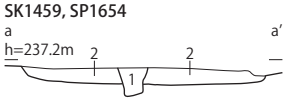


土坑 SK1655・1694・1695：a - a′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，造成土
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを小ブロック状に少し含む，以下 6 層まで SK1655
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトをまだら状に含む，炭を少し含む
4　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトをまだら状に少し含む，炭を少し含む
5　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，10YR3/2 黒褐色シルトと炭を少し含む
6　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む
7　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトをまだら状に多く含む，10YR3/2 黒褐色シルトと炭を少し含む，以下 9 層まで SK1694
8　10YR5/4 にぶい黄褐色細砂，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，10YR3/2 黒褐色シルトを小ブロック状に少し含む
9　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと 10YR3/2 黒褐色シルトを含む，炭を少し含む
10　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む
11　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを小ブロック状に含む，炭を少し含む，以下 15 層まで SK1695
12　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
13　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと 10YR3/2 黒褐色シルトをまだら状に含む
14　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを少し含む
15　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを少し含む
16　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む
17　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，10YR5/4 にぶい黄褐色砂を少し含む，地山

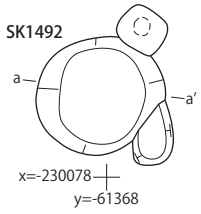
0　2m
1:40
石

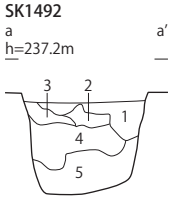
第 104 図　土坑 SK1219・1271・1655・1694・1695，溝 SD1272



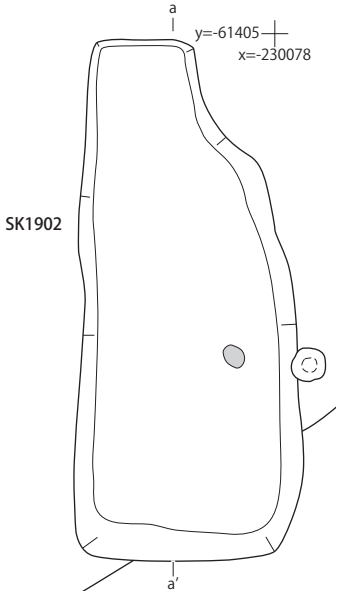


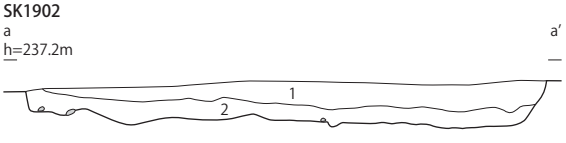
土坑 SK1459，柱穴 SP1654：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトをブロック状に少し含む，炭を少し含む，SP1654
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを層状に含む，SK1459



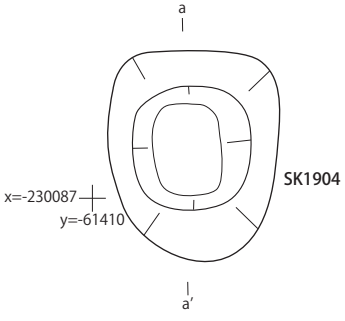


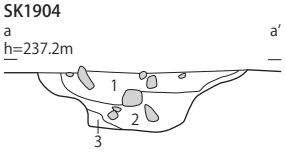
土坑 SK1492：a - a′
1　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト
3　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む
4　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを少し含む
5　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトと 10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む





土坑 SK1902：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，石を少し含む



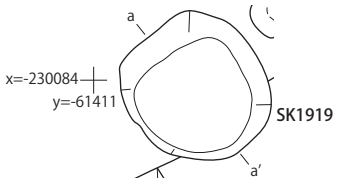


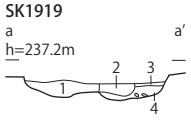
土坑 SK1904：a - a′
1　10YR3/1 黒褐色シルト，石を含む，炭を少し含む
2　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色細砂を多く含む，石を含む
3　10YR5/4 にぶい黄褐色細砂，小礫を少し含む

石

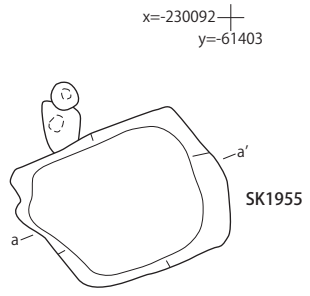
0　2m
1:40

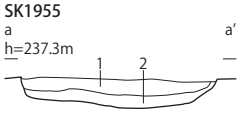
第 105 図　土坑 SK1459・1492・1902・1904，柱穴 SP1654



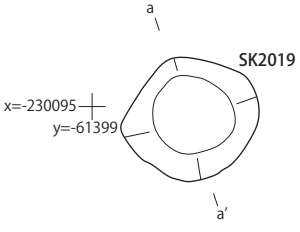


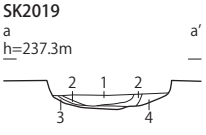
土坑 SK1919：a - a′
1　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む
2　10YR3/2 黒褐色シルト，炭を少し含む
3　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む



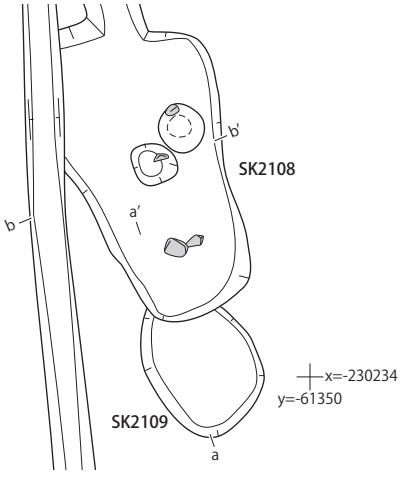


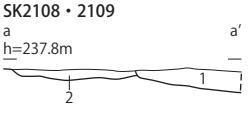
土坑 SK1955：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む



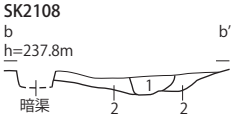


土坑 SK2019：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを含む，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む
2　2.5Y7/3 浅黄色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む
3　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む
4　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む

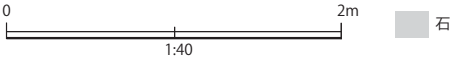




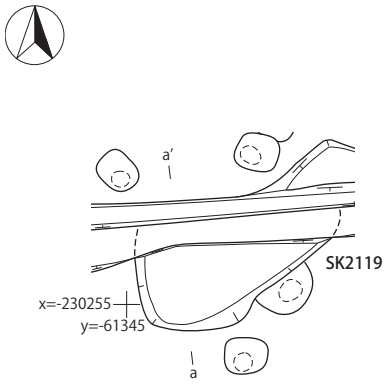
土坑 SK2108・2109：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR2/3 黒褐色シルトと炭を含む，SK2108
2　10YR2/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色砂を含む，SK2109

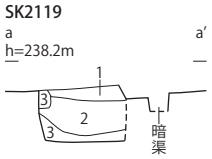


土坑 SK2108：b - b′
1　10YR2/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色砂と炭を含む，ピット
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR2/3 黒褐色シルトと炭を含む，SK2108

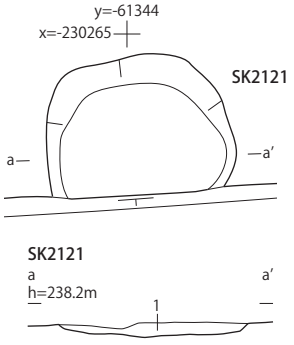


第 106 図　土坑 SK1919・1955・2019・2108・2109

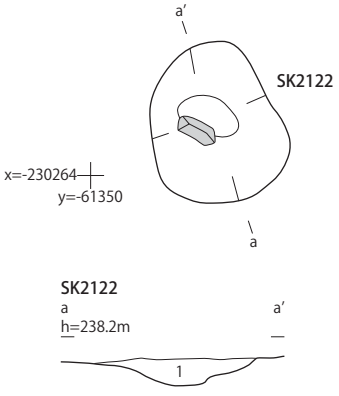




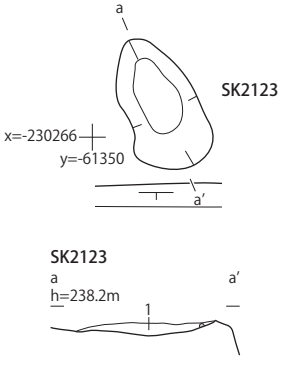
土坑 SK2119：a - a′
1　10YR2/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色細砂を含む
2　10YR2/3 黒褐色シルト，炭を少し含む
3　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR2/3 黒褐色シルトを含む



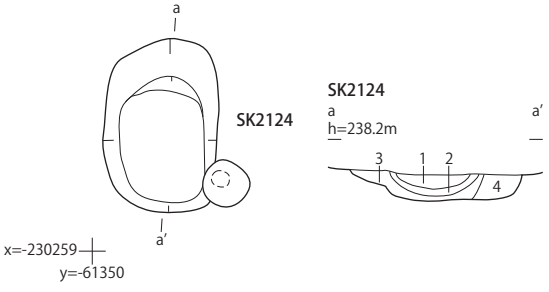
土坑 SK2121：a - a′
1　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを含む



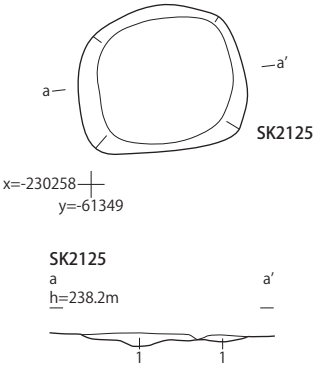
土坑 SK2122：a - a′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，炭を少し含む



土坑 SK2123：a - a′
1　10YR5/2 灰黄褐色シルト，礫を多く含む



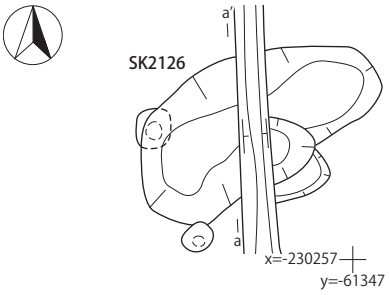
土坑 SK2124：a - a′
1　10YR4/1 褐灰色粗砂，10YR3/2 黒褐色シルトと炭を少し含む
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/1 褐灰色粗砂と炭を少し含む
3　10YR3/2 黒褐色シルト，炭を少し含む
4　10YR3/2 黒褐色砂，炭を含む

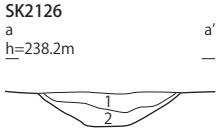


土坑 SK2125：a - a′
1　10YR3/2 灰黄褐色シルト，炭を少し含む

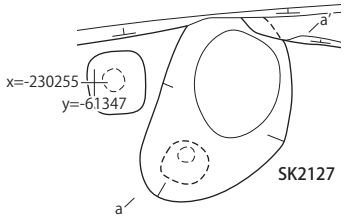
0　2m
1:40
石

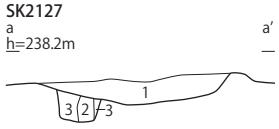
第 107 図　土坑 SK2119・2121 ～ 2125



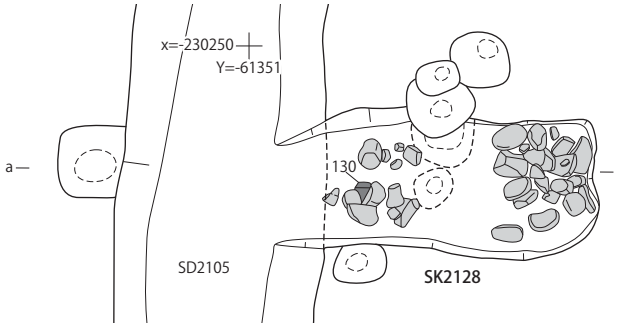


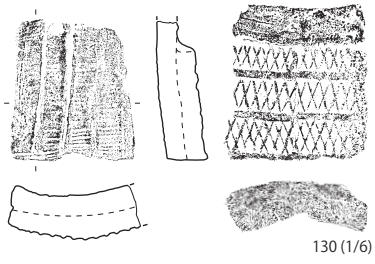
土坑 SK2126：a - a′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと炭を含む
2　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色細砂を含む

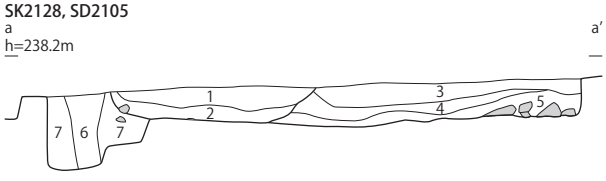




土坑 SK2127：a - a′
1　10YR2/2 黒褐色シルト，炭を多く含む，SK2127
2　10YR2/3 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む，以下柱穴
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む





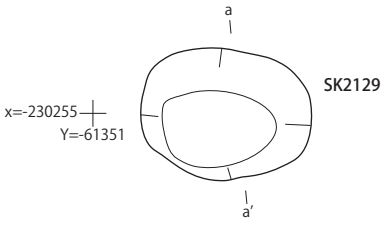


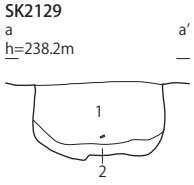
土坑 2128，溝 SD2105：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色細砂を含む，以下 2 層まで SD2105
2　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む
3　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む，以下 5 層まで SK2128
4　10YR2/2 黒褐色シルト，炭を少し含む
5　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと炭を少し含む，大型礫を多く含む
6　10YR2/2 黒褐色シルト，炭を少し含む，以下 7 層まで柱穴，柱痕
7　10YR3/3 暗褐色シルト，石を多く含む，掘方

瓦
石

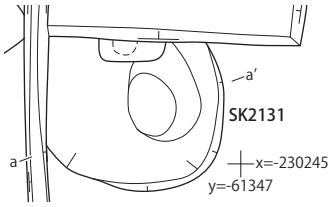
0　2m
1:40

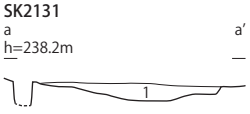
第 108 図　土坑 SK2126 ～ 2128，溝 SD2105



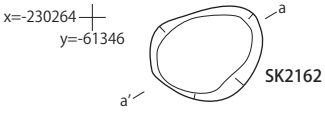


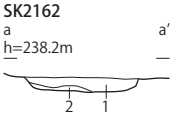
土坑 SK2129：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと土器と炭を少し含む
2　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む



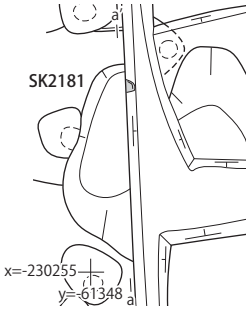


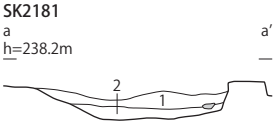
土坑 SK2131：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，炭を含む



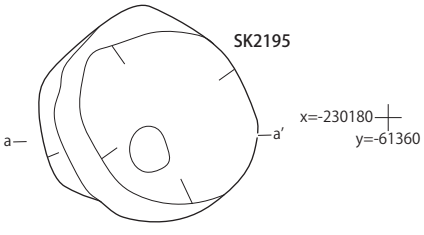


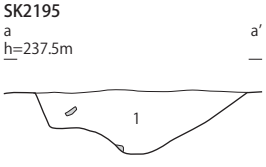
土坑 SK2162：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む
2　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト



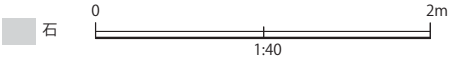


土坑 SK2181：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを含む
2　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む

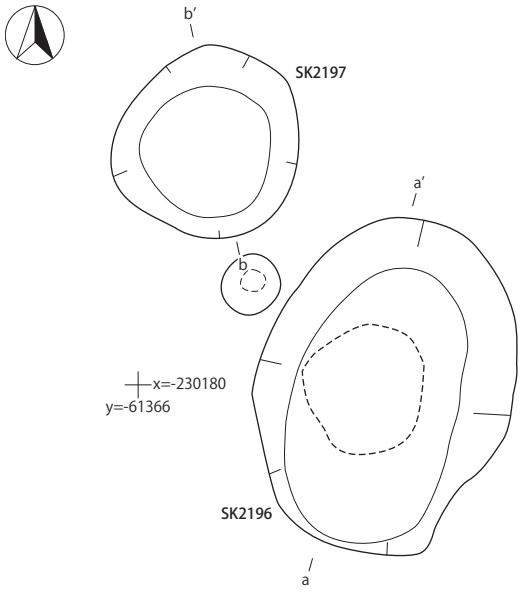


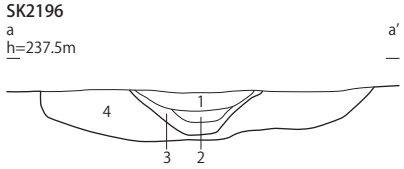


土坑 SK2195：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR3/2 黒褐色粗砂と礫と炭を少し含む

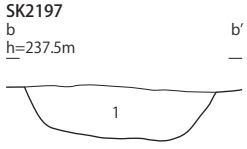


第 109 図　土坑 SK2129・2131・2162・2181・2195

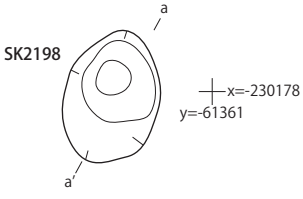


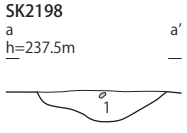


土坑 SK2196：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，炭を含む，以下 3 層まで別の土坑
2　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを含む
3　10YR5/3 にぶい黄褐色粘土，炭を多く含む
4　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色粗砂と炭を含む，SK2196

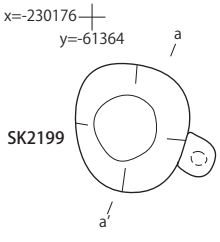


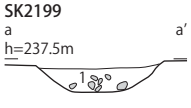
土坑 SK2197：b - b′
1　10YR3/3 暗褐色粗砂，10YR4/2 灰褐色シルトと礫と炭を多く含む



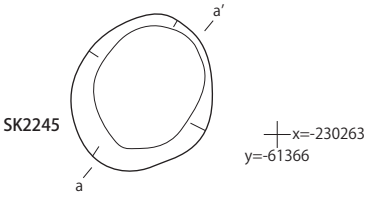


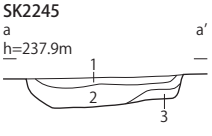
土坑 SK2198：a - a′
1　10YR2/3 黒褐色シルト，10YR3/3 暗褐色粗砂と礫と炭を含む





土坑 SK2199：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，礫と炭を多く含む

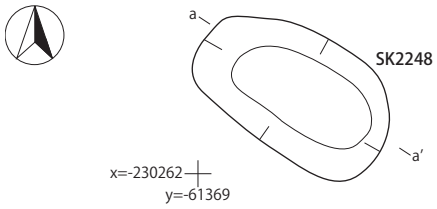


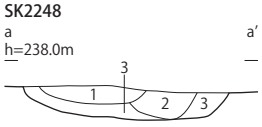


土坑 SK2245：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを含む
2　10YR3/3 暗褐色シルト，炭を多く含む
3　10YR3/4 暗褐色シルト，10YR3/2 黒褐色粗砂と炭を含む

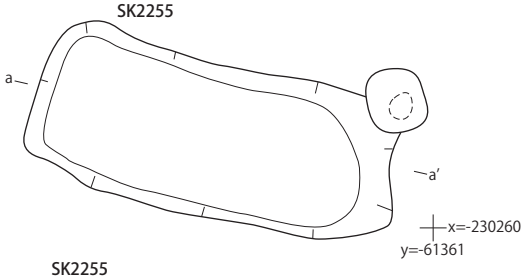
0　2m
1:40
石

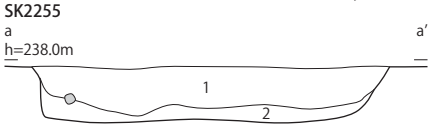
第 110 図　土坑 SK2196 ～ 2199・2245



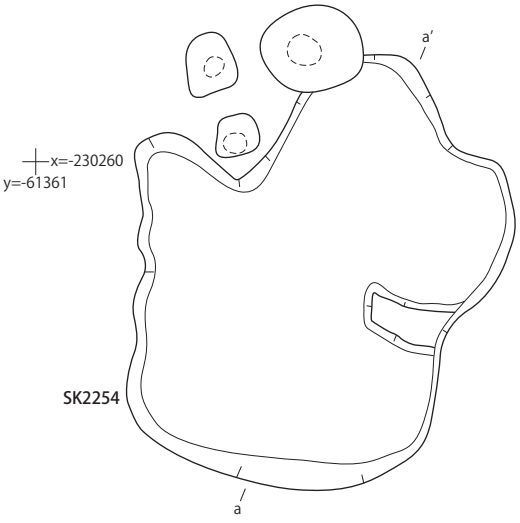


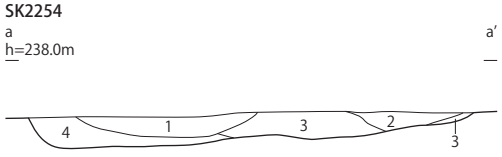
土坑 SK2248：a - a′
110YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
210YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色粗砂と炭を少し含む
310YR4/4 褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと炭を含む



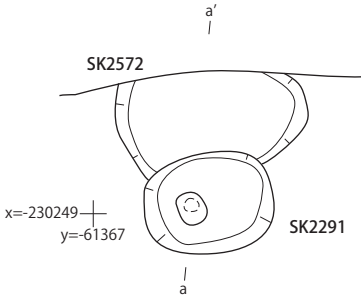


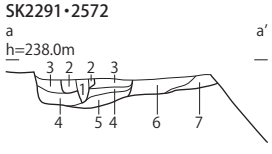
土坑 SK2255：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと
　　10YR6/2 灰黄褐色粘土と礫を含む
2　10YR3/4 暗褐色シルト，10YR2/2 黒褐色シルトと礫を多く含む





土坑 SK2254：a - a′
1　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトと炭を含む
2　10YR3/4 暗褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと
　　10YR5/2 灰黄褐色粘土と炭を少し含む
3　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む
4　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR6/4 にぶい黄橙色粘土と
　　10YR5/2 灰黄褐色粘土と炭を少し含む



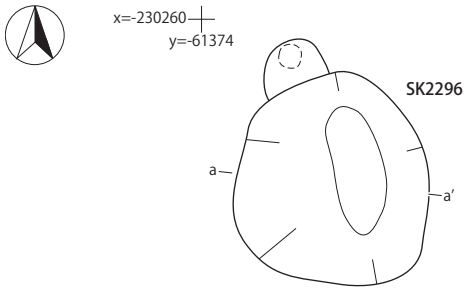


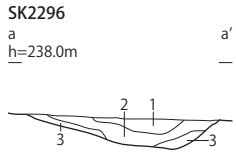
土坑 SK2291・2572：a - a′
1　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色粗砂と炭を含む，以下 2 層まで柱穴
2　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む
3　10YR4/4 褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを多く含む，以下 5 層まで SK2291
4　10YR4/4 褐色シルト，10YR3/2 黒色シルトを含む
5　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトを含む
6　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを含む，以下 SK2572
7　10YR4/4 褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトを含む

石

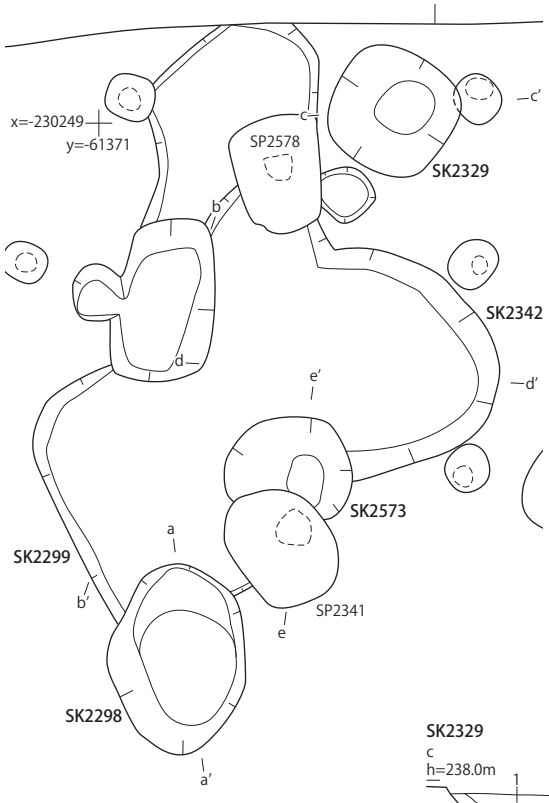
0　2m
1:40

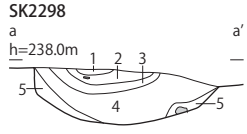
第 111 図　土坑 SK2248・2254・2255・2291・2572



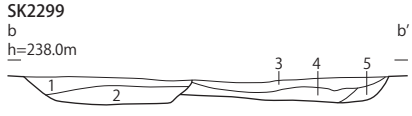


土坑 SK2296：a - a′
1　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと炭を含む
2　10YR3/2 黒褐色シルト，焼土と炭を多く含む
3　10YR4/4 褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトと焼土と炭を含む

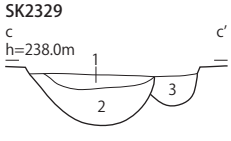




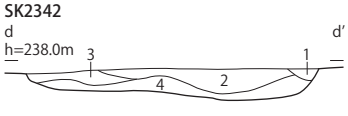
土坑 SK2298：a - a′
1　10YR7/4 にぶい黄橙色シルト，炭と焼土を少し含む
2　10YR5/2 灰黄褐色シルト，炭と焼土を含む
3　10YR6/2 灰黄褐色シルト，10YR7/3 にぶい黄橙色シルトと炭を含む
4　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR7/3 にぶい黄橙色シルトと炭を少し含む
5　10YR5/3 黒にぶい黄褐色シルト，10YR7/3 にぶい黄橙色シルトと10YR5/1 褐灰色シルトを含む



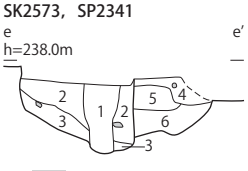
土坑 SK2299：b - b′
1　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR6/4 にぶい黄橙色シルトを多く含む，以下 2 層まで別の土坑
2　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む
3　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR6/4 にぶい黄橙色シルトを多く含む，以下 SK2299
4　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR6/4 にぶい黄橙色シルトを少し含む，砂粒を多く含む
5　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR6/4 にぶい黄橙色シルトを少し含む



土坑 SK2329：c - c′
1　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR6/4 にぶい黄橙色シルトを含む，以下 2 層まで SK2329
2　10YR6/4 にぶい黄橙色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトと炭を少し含む
3　10YR6/3 にぶい黄橙色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトを多く含む，柱穴



土坑 SK2342：d - d′
1　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトを含む
2　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトと 10YR6/3 にぶい黄橙色細砂と炭を少し含む
3　10YR7/3 にぶい黄橙色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトと炭を少し含む
4　10YR6/3 にぶい黄橙色砂質シルト，10YR5/1 褐灰色シルトブロックを少し含む

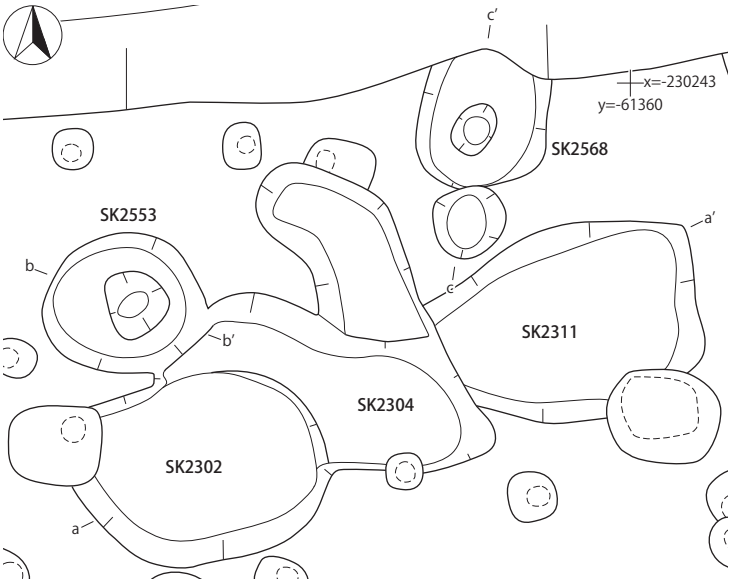


土坑 SK2573，柱穴 SP2341：e - e′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下 3 層まで SP2341
2　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを多く含む
3　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
4　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトを多く含む，以下 SK2573
5　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
6　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む

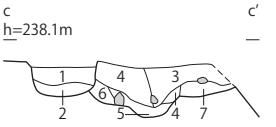
土器　石

0　2m
1:40

第 112 図　土坑 SK2296・2298・2299・2329・2342・2573，柱穴 SP2341



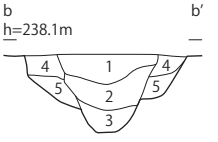
SK2568



土坑 SK2568：c - c′

1 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと砂を多く含む，以下 2 層まで柱穴
2 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトを少し含む
3 10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを含む，以下 SK2568
4 10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む
5 10YR4/1 褐灰色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを含む
6 10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む
7 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む

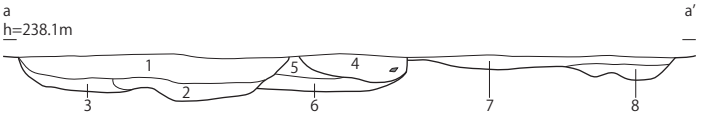
SK2553



土坑 SK2553：b - b′

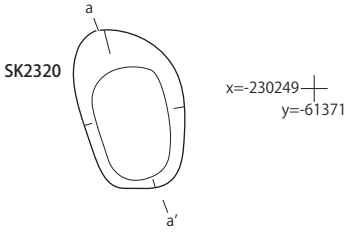
1 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを多く含む
2 10YR4/4 褐色シルト，10YR2/2 黒褐色シルトを多く含む
3 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色砂を多く含む
4 10YR4/4 褐色シルト，10YR3/4 暗褐色シルトを少し含む
5 10YR4/4 褐色シルト，10YR2/2 黒褐色シルトを少し含む

SK2302・2304・2311

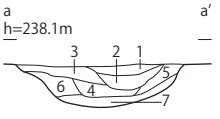


土坑 SK2302・2304・2311：a - a′

1 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトと炭を多く含む，以下 3 層まで SK2302
2 10YR4/4 褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む
3 10YR4/4 褐色砂，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む
4 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを多く含む，溝
5 10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトと炭を含む，以下 6 層まで SK2304
6 10YR4/4 褐色砂，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む
7 10YR4/4 褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを多く含む，以下 SK2311
8 10YR4/4 褐色シルト

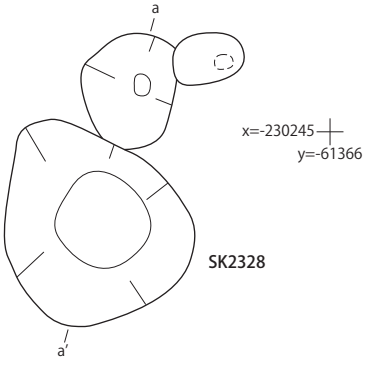


SK2320

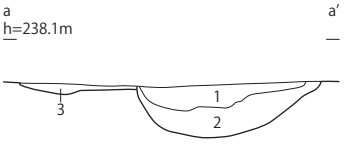


土坑 SK2320：a - a′

1 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
2 10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR6/4 にぶい黄橙色シルトを少し含む
3 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む
4 10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む
5 10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR6/4 にぶい黄橙色シルトを多く含む
6 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む
7 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む



SK2328



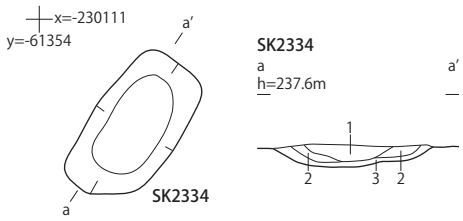
土坑 SK2328：a - a′

1 10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを含む，以下 2 層まで SK2328
2 10YR4/4 褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトを含む
3 10YR4/4 褐色シルト，10YR3/4 暗褐色シルトを含む，別の土坑

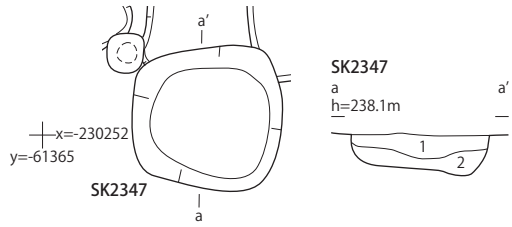
土器　石

0　2m
1:40

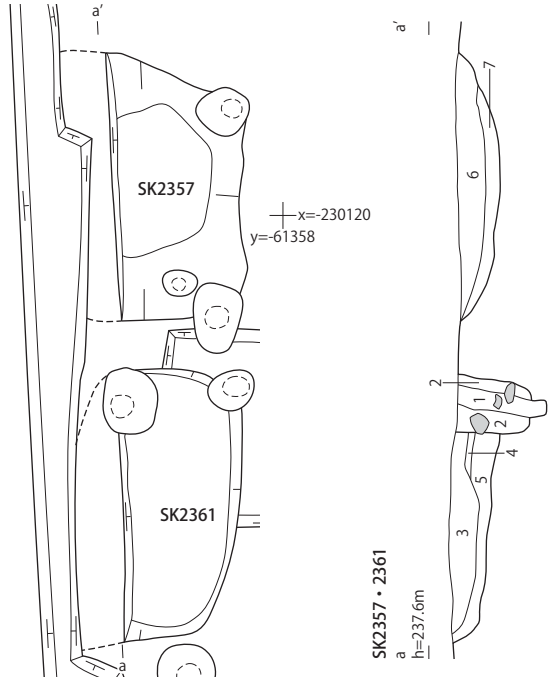
第 113 図　土坑 SK2302・2304・2311・2320・2328・2553・2568



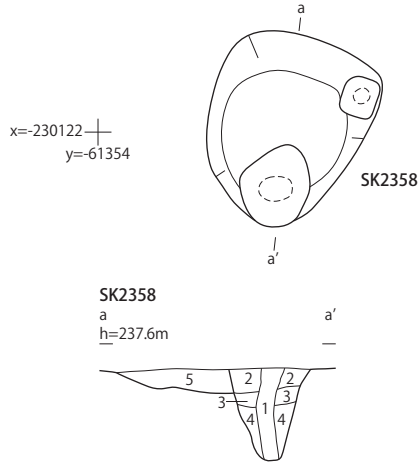
土坑 SK2334：a - a′
1　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR3/4 暗褐色砂と炭を多く含む
2　10YR2/1 黒色シルト，10YR4/6 褐色細砂を含む
3　10YR3/1 黒褐色粘土，10YR3/4 暗褐色砂と炭を含む



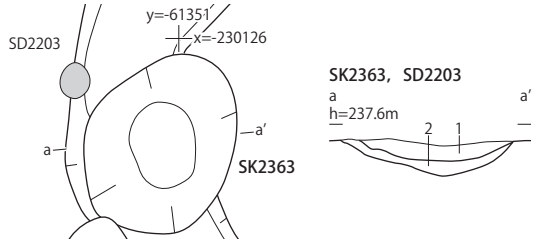
土坑 SK2347：a - a′
1　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR6/4 にぶい黄橙色シルトを含む
2　10YR6/4 にぶい黄橙色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトを少し含む



土坑 SK2357・2361：a - a′
1　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色細砂と炭を含む，以下 2 層まで柱穴
2　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色砂と炭を少し含む
3　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色細砂と礫と炭を多く含む，以下 5 層まで SK2361
4　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色細砂と炭を少し含む
5　10YR3/1 黒褐色粘土，10YR4/2 灰黄褐色砂と炭を含む
6　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色細砂と炭を多く含む，以下 SK2357
7　10YR3/1 黒褐色粘土，炭を少し含む



土坑 SK2358：a - a′
1　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色細砂と炭を多く含む，以下 4 層まで柱穴
2　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色細砂と炭を少し含む
3　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色砂と炭を含む
4　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色粗砂を含む
5　10YR2/1 黒色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色砂を含む，SK2358

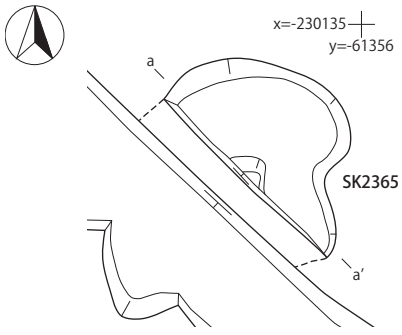


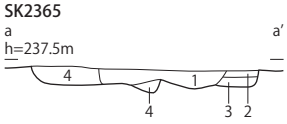
土坑 SK2363，溝 SD2203：a - a′
1　10YR2/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと炭を少し含む，SK2363
2　10YR2/2 黒褐色シルト，10YR3/4 暗褐色シルトを含む，SD2203

石

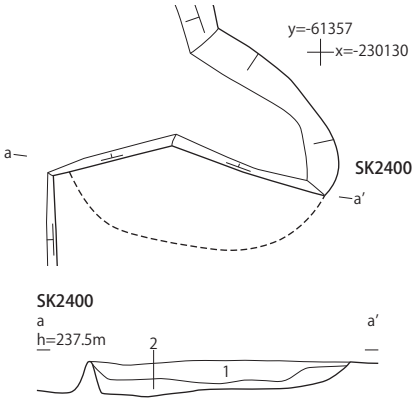
0　2m
1:40

第 114 図　土坑 SK2334・2347・2357・2358・2361・2363，溝 SD2203

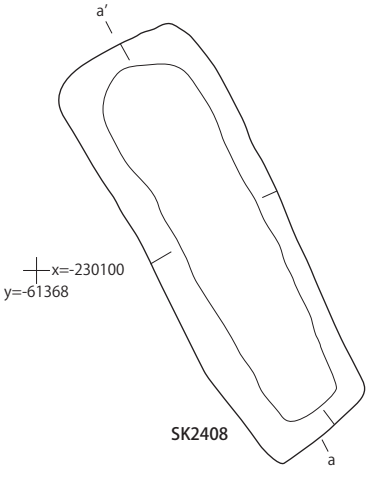


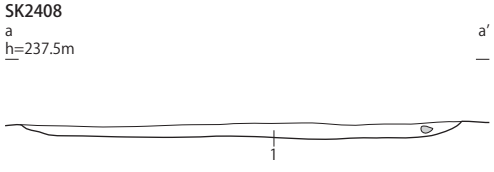


土坑 SK2365：a - a′
1　10YR2/2 黒褐色シルト，10YR3/4 暗褐色細砂を含む
2　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/4 暗褐色シルトを含む
3　10YR4/4 褐色シルト，10YR2/2 黒褐色シルトを含む
4　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと粗砂を含む

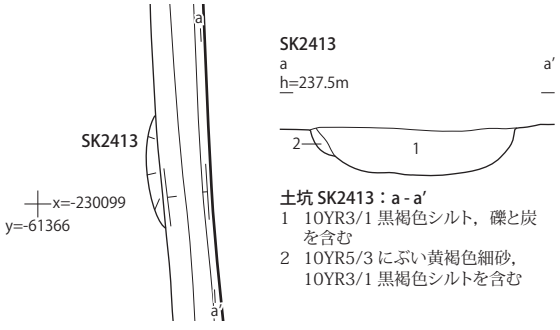


土坑 SK2400：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR1.7/1 黒色粘土と 10YR4/3 にぶい黄褐色粗砂を含む
2　10YR2/3 黒褐色粗砂，10YR3/2 黒褐色シルトと礫を含む

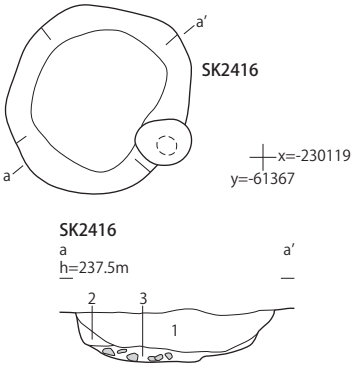




土坑 SK2408：a - a′
1　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR3/4 暗褐色シルトと 10YR4/2 灰黄褐色細砂と炭を少し含む



土坑 SK2413：a - a′
1　10YR3/1 黒褐色シルト，礫と炭を含む
2　10YR5/3 にぶい黄褐色細砂，10YR3/1 黒褐色シルトを含む

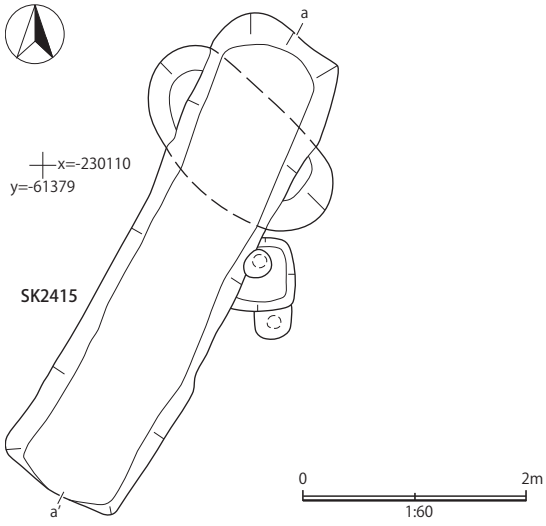


土坑 SK2416：a - a′
1　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR3/1 黒褐色粗砂と 10YR4/3 にぶい黄褐色細砂と炭を多く含む
2　10YR3/1 黒褐色粘土，10YR4/3 にぶい黄褐色細砂を含む
3　10YR4/3 にぶい黄褐色粗砂，10YR3/1 黒褐色粘土と礫を含む

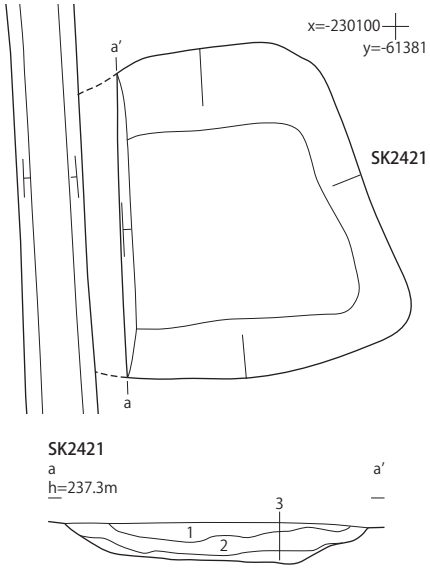
石

0　2m
1:40

第 115 図　土坑 SK2365・2400・2408・2413・2416

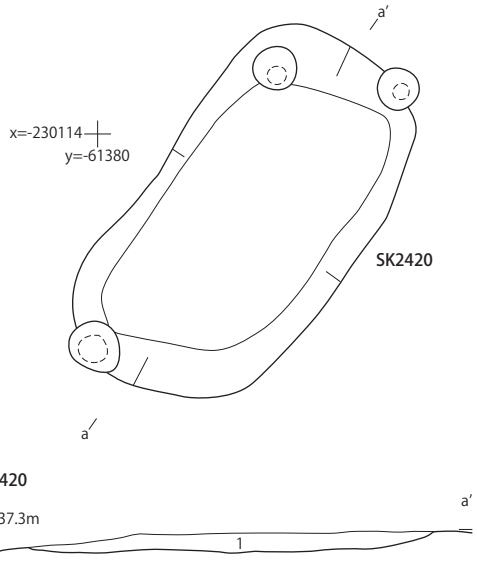


土坑 SK2415：a - a′
1 10YR4/2 灰黄褐色シルト，別の土坑
2 10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色砂と炭を含む，以下 SK2415
3 10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色砂と焼土を少し含む

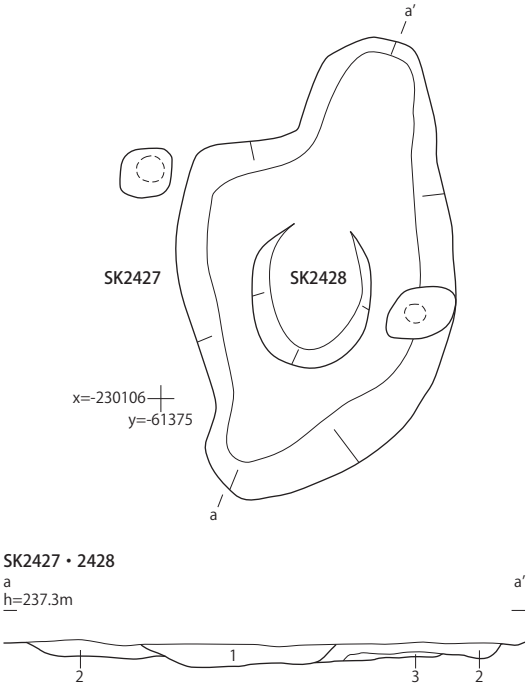


土坑 SK2421：a - a′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，炭を少し含む
2　10YR3/2 黒褐色シルト，炭を少し含む
3　10YR5/3 にぶい黄褐色細砂，10YR3/2 黒褐色シルトと炭を少し含む

0　2m
1:40

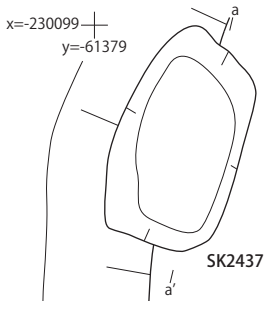


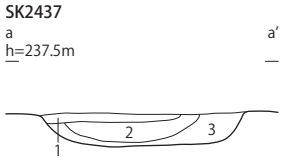
土坑 SK2420：a - a′
1　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色砂と 10YR4/3 にぶい黄褐色砂と炭を少し含む



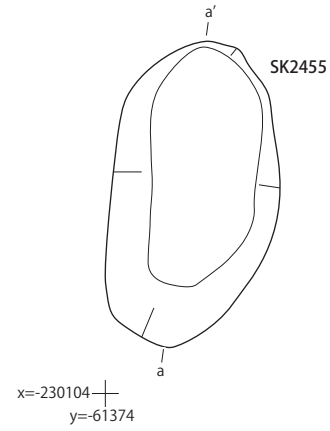
土坑 SK2427・2428：a - a′
1　10YR2/3 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色砂と礫と炭を含む，SK2428
2　10YR4/3 にぶい黄褐色砂，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，以下 SK2427
3　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色砂を含む

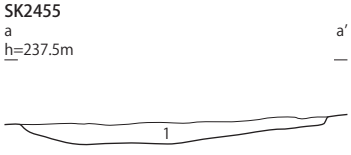
第 116 図　土坑 SK2415・2420・2421・2427・2428



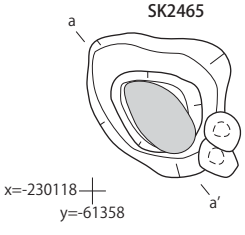


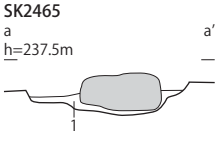
土坑 SK2437：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR2/2 黒褐色シルトと 10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む
2　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと 10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
3　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色細砂と 10YR3/2 黒褐色シルトを含む



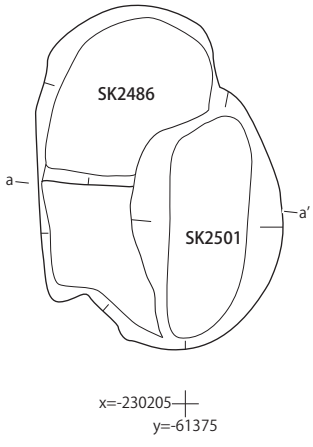


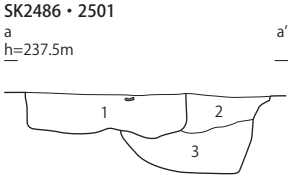
土坑 SK2455：a - a′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと炭を多く含む





土坑 SK2465：a - a′
1　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを含む



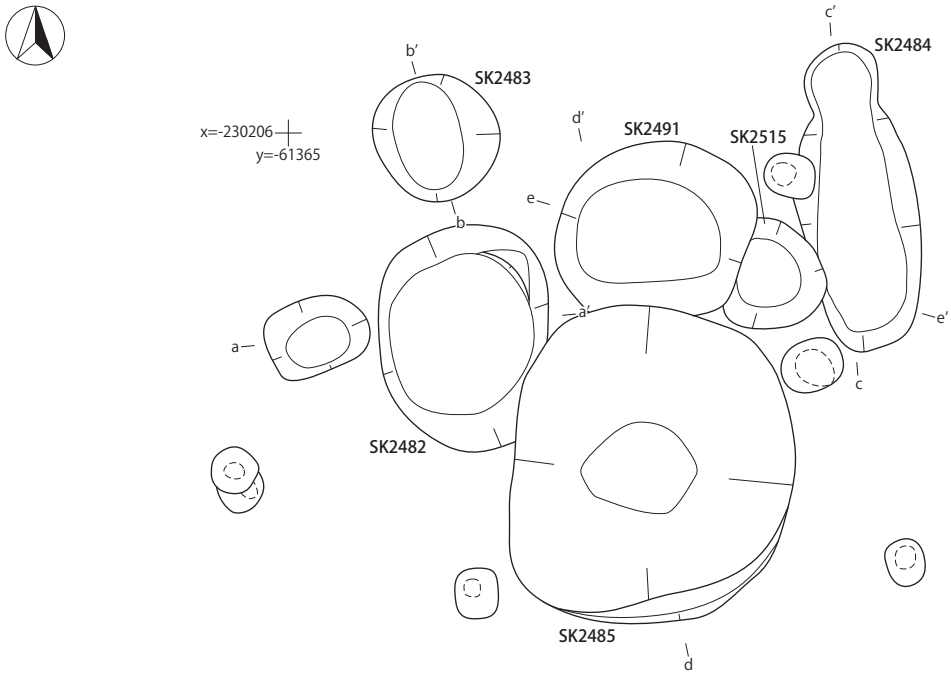


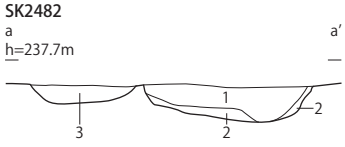
土坑 SK2486・2501：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと砂と礫を含む，SK2486
2　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトを含む，以下 SK2501
3　10YR4/3 にぶい黄褐色砂，10YR4/1 褐灰色シルトと 10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む

土器　石

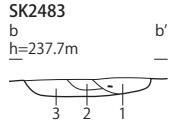
0　2m
1:40

第 117 図　土坑 SK2437・2455・2465・2486・2501

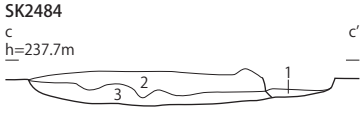




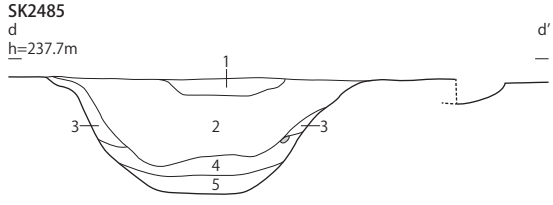
土坑 SK2482：a - a′
1　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトと 10YR3/2 黒褐色シルトを含む，以下 2 層まで SK2482
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR2/3 黒褐色シルトと焼土を含む
3　10YR4/2 灰黄褐色シルト，別の土坑



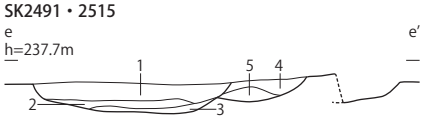
土坑 SK2483：b - b′
1　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと炭を含む
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトと 10YR3/3 暗褐色シルトを多く含む
3　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトと炭と焼土を含む



土坑 SK2484：c - c′
1　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR2/2 黒褐色シルトを含む，柱穴
2　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを含む，以下 SK2484
3　10YR4/4 褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む



土坑 SK2485：d - d′
1　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを多く含む
2　10YR3/1 黒褐色粘土，10YR5/2 灰黄褐色シルトを少し含む
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを含む
4　10YR4/1 褐灰色粘土
5　10YR4/2 灰黄褐色砂，10YR3/2 黒色シルトを含む

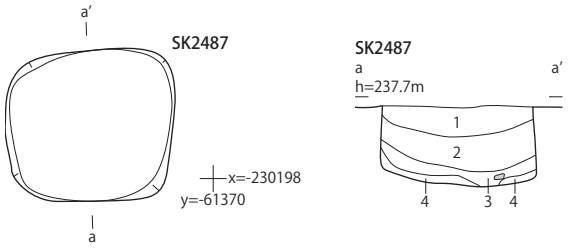


土坑 SK2491・2515：e - e′
1　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを少し含む，以下 3 層まで SK2491
2　10YR2/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを少し含む
3　10YR4/4 褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む
4　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを含む，以下 SK2515
5　10YR4/4 褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む

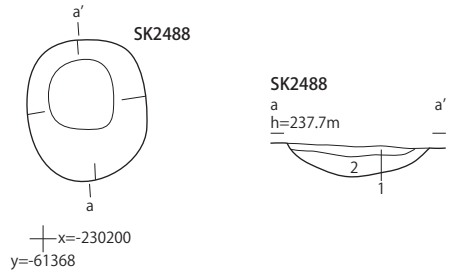
土器　石

0　2m
1:40

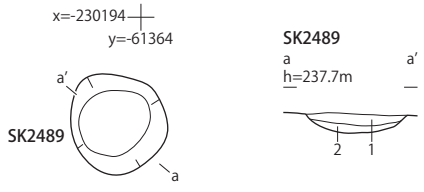
第 118 図　土坑 SK2482 ～ 2485・2491・2515



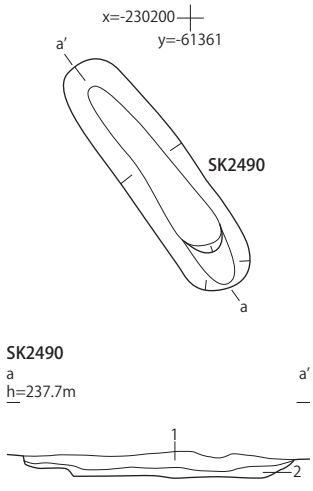
土坑 SK2487：a - a′
1　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色粘土を含む
2　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色粘土を少し含む
3　10YR4/3 にぶい黄褐色砂，10YR4/2 灰黄褐色粘土を少し含む
4　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む



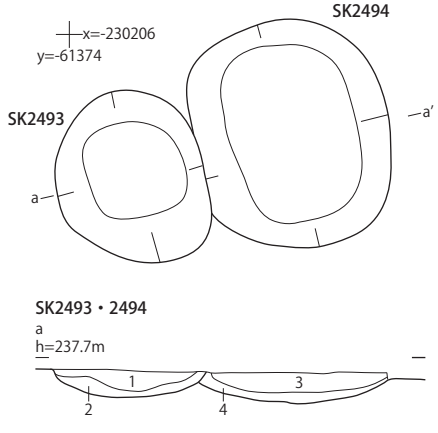
土坑 SK2488：a - a′
1　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR2/3 黒褐色シルトを少し含む
2　10YR4/4 褐色シルト，10YR2/3 黒褐色シルトを少し含む



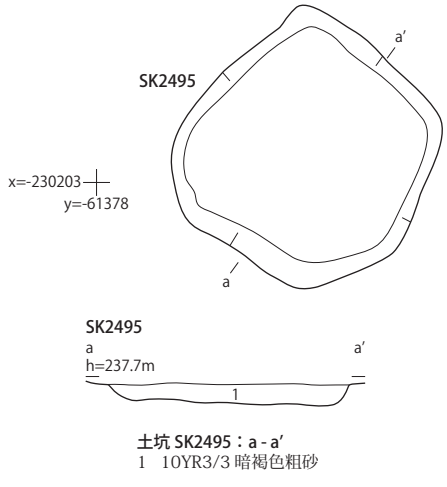
土坑 SK2489：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む
2　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む



土坑 SK2490：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色砂を含む
2　10YR4/3 にぶい黄褐色砂，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む



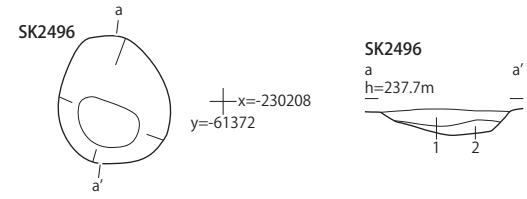
土坑 SK2493・2494：a - a′
1　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと 10YR7/4 にぶい黄橙色粘土を少し含む，以下 2 層まで SK2493
2　10YR4/4 褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む
3　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む，以下 SK2494
4　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを含む



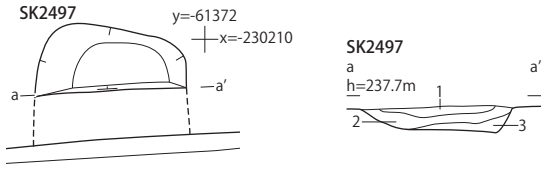
土坑 SK2495：a - a′
1　10YR3/3 暗褐色粗砂

0　2m
1:40
石

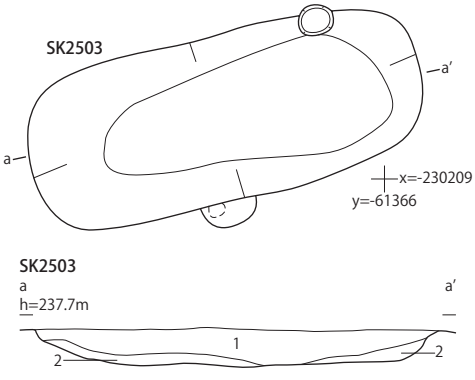
第 119 図　土坑 SK2487 ～ 2490・2493 ～ 2495



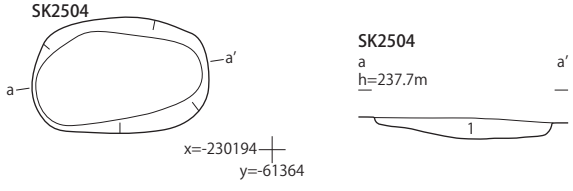
土坑 SK2496：a - a′
1　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/3 暗褐色粘土を少し含む
2　10YR4/4 褐色砂，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む



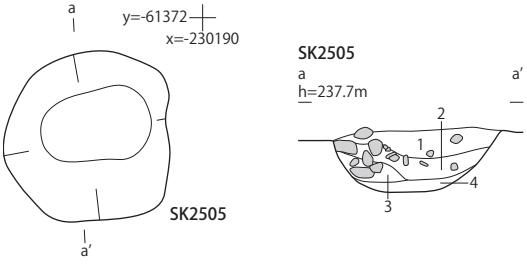
土坑 SK2497：a - a′
1　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/4 暗褐色シルトを含む
2　10YR4/4 褐色シルト，10YR4/4 褐色砂を含む
3　10YR4/4 褐色砂，10YR4/4 褐色シルトを含む



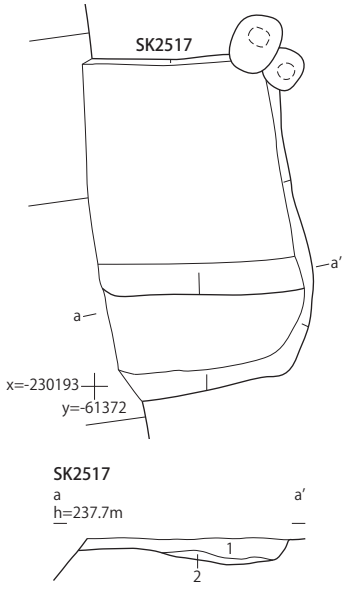
土坑 SK2503：a - a′
1　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む
2　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトを少し含む



土坑 SK2504：a - a′
1　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む



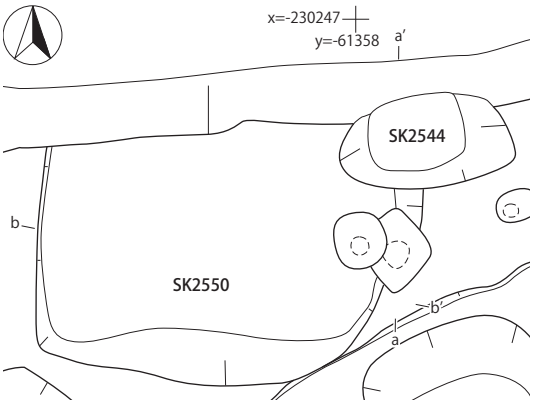
土坑 SK2505：a - a′
1　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，石を少し含む
2　10YR3/2 黒褐色粘土，石を含む
3　10YR4/3 にぶい黄褐色砂，石を含む
4　10YR3/2 黒褐色粘土，10YR3/2 黒褐色砂を少し含む

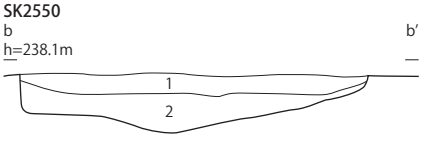


土坑 SK2517：a - a′
1　10YR4/4 褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む
2　10YR3/3 暗褐色砂，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む

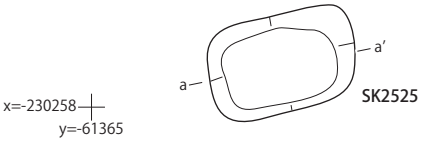
0　2m
1:40
石

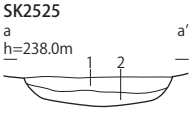
第 120 図　土坑 SK2496・2497・2503 ～ 2505・2517



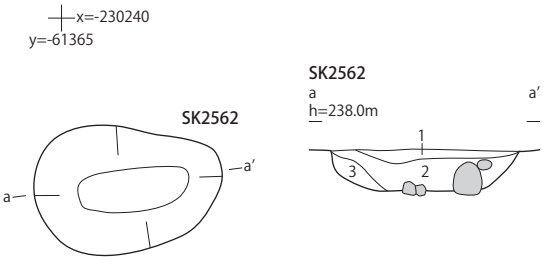


土坑 SK2550：b - b′
1　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを少し含む
2　10YR4/4 褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトを多く含む

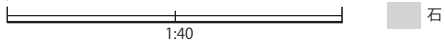


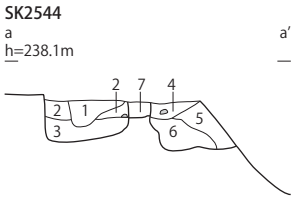


土坑 SK2525：a - a′
1　10YR4/4 褐色シルト，炭を多く含む
2　10YR4/3 にぶい黄褐色砂，10YR4/4 褐色シルトと炭を少し含む

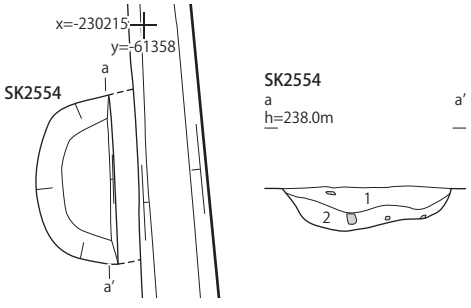


土坑 SK2562：a - a′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む
2　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトと 10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む
3　10YR4/4 褐色砂，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む

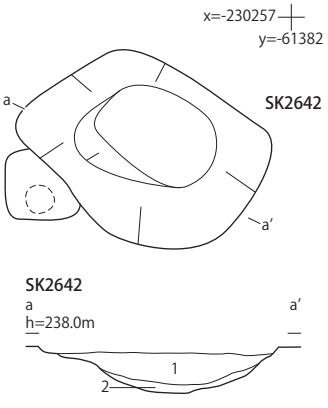




土坑 SK2544：a - a′
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを多く含む，以下 3 層まで柱穴
2　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む
3　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む
4　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，以下 6 層まで SK2544
5　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
6　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトを少し含む
7　10YR6/4 にぶい黄橙色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトと炭を少し含む，SK2550

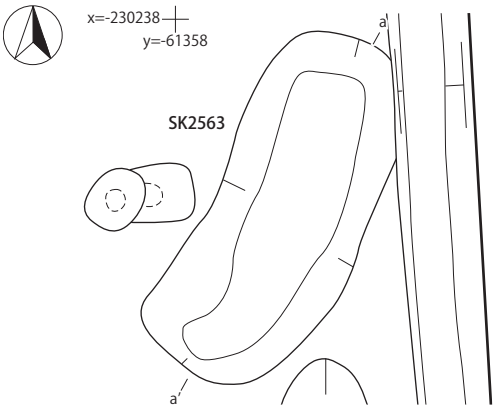


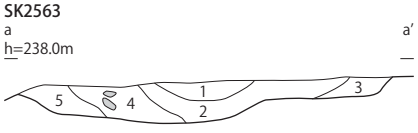
土坑 SK2554：a - a′
1　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと炭を含む
2　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/4 褐色砂を含む



土坑 SK2642：a - a′
1　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
2　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを少し含む

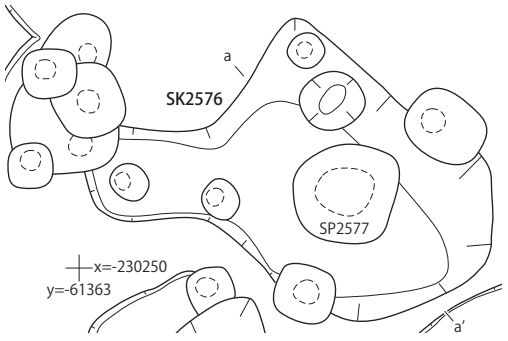
第 121 図　土坑 SK2525・2544・2550・2554・2562・2642

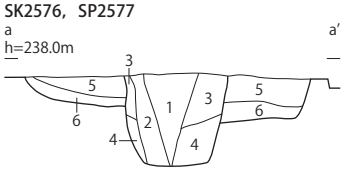




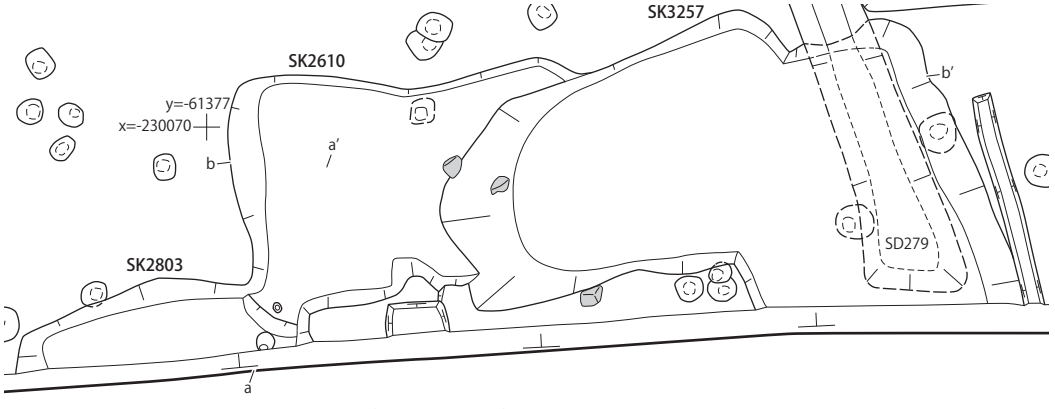
土坑 SK2563：a - a′
1　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを少し含む
2　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを含む
3　10YR4/4 褐色砂，10YR4/3 灰黄褐色シルトを少し含む
4　10YR3/4 暗褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと石と粗砂を含む
5　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトを含む

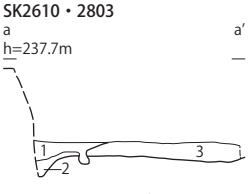
0　2m
1:40
石



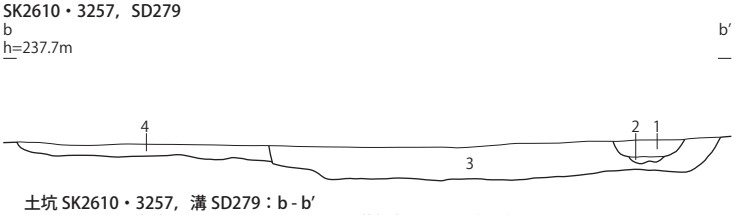


土坑 SK2576，柱穴 SP2577：a - a′
1　10YR4/4 褐色砂，10YR3/3 暗褐色シルトと 10YR4/4 褐色シルトを含む，以下 4 層まで SP2577，抜き取り痕
2　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを多く含む，以下 4 層まで掘方
3　10YR4/4 褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトを少し含む
4　10YR4/4 褐色砂，10YR3/3 暗褐色シルトを少し含む
5　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを含む，以下 SK2576
6　10YR4/4 褐色砂，10YR4/4 褐色シルトと 10YR3/3 暗褐色シルトを少し含む





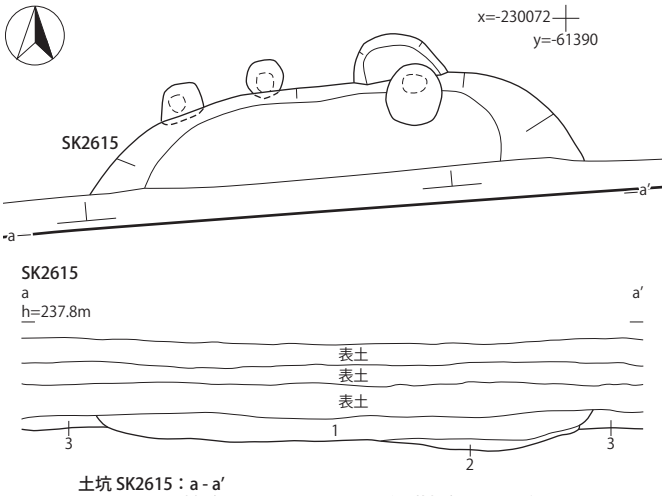
土坑 SK2610・2803：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/3 にぶい灰黄褐色シルトを含む，以下 2 層まで SK2803
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/3 にぶい灰黄褐色シルトを多く含む
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトを多く含む，SK2610



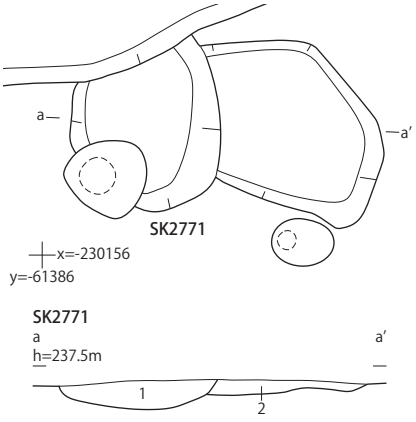
土坑 SK2610・3257，溝 SD279：b - b′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下 2 層まで SD279
2　10YR6/2 灰黄褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む
3　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトを多く含む，SK3257
4　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトを多く含む，SK2610

0　2m
1:60
石

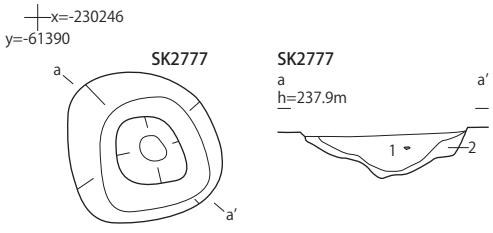
第 122 図　土坑 SK2563・2576・2610・2803・3257，溝 SD279，柱穴 SP2577



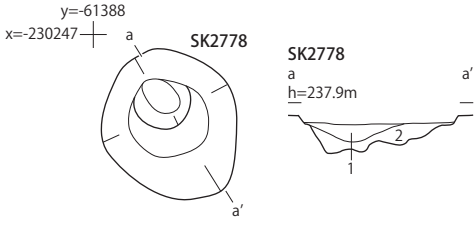
土坑 SK2615：a - a′
1　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む
2　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトを少し含む
3　10YR5/2 灰黄褐色シルト，地山



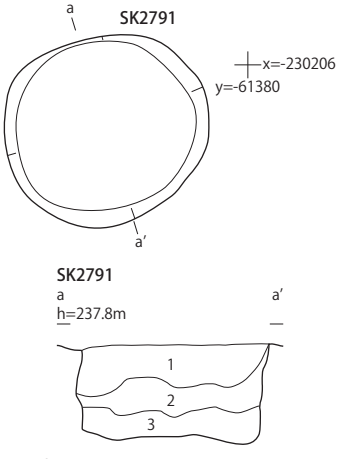
土坑 SK2771：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，礫を含む，SK2771
2　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR4/2 灰黄褐色砂を少し含む，別の土坑



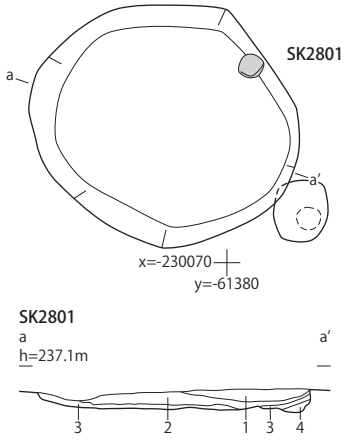
土坑 SK2777：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR6/1 褐灰色粘土と炭を少し含む
2　10YR6/3 にぶい黄橙色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを多く含む



土坑 SK2778：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトを多く含む



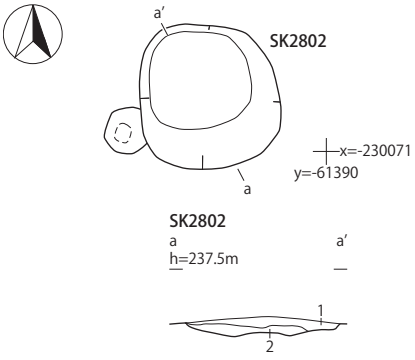
土坑 SK2791：a - a′
1　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを含む
2　10YR4/1 褐灰色粘土，10YR4/2 灰黄褐色シルトと 10YR3/1 黒褐色粘土を含む
3 10YR4/1 褐灰色粘土，10YR5/2 灰黄褐色シルトと 10YR5/2 灰黄褐色粘土を含む



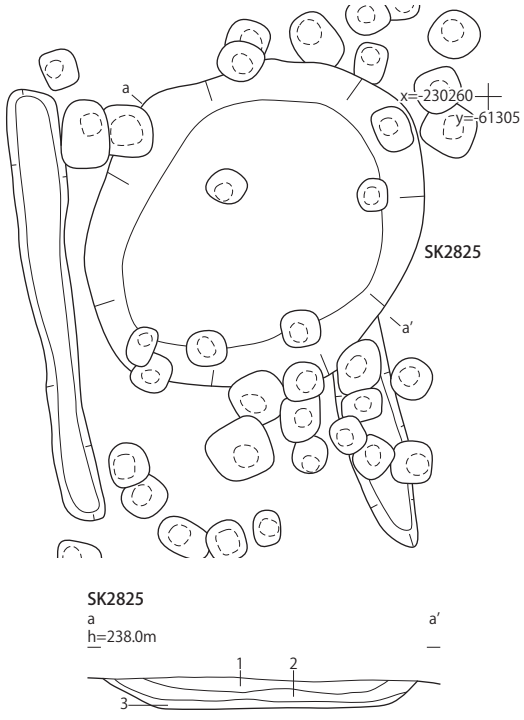
土坑 SK2801：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む
2　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む
3　10YR2/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む
4　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR2/2 黒褐色シルトを少し含む

0　2m
1:40
石

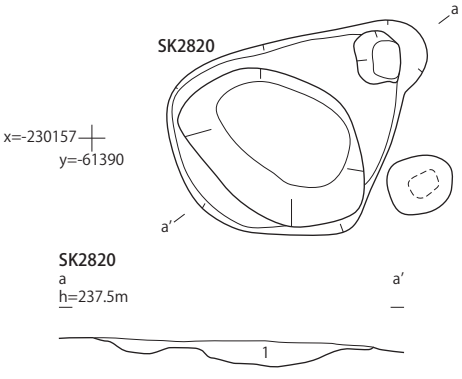
第 123 図　土坑 SK2615・2771・2777・2778・2791・2801



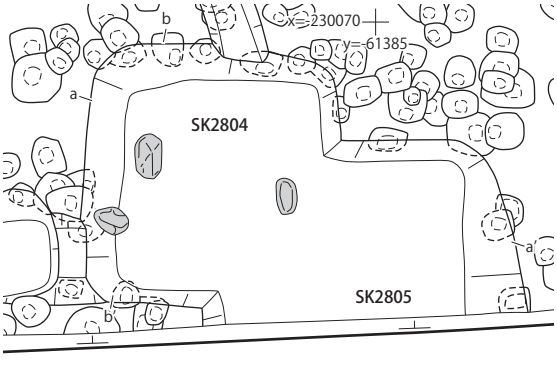
土坑 SK2802：a - a′
1　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトと炭を含む
2　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと炭を含む

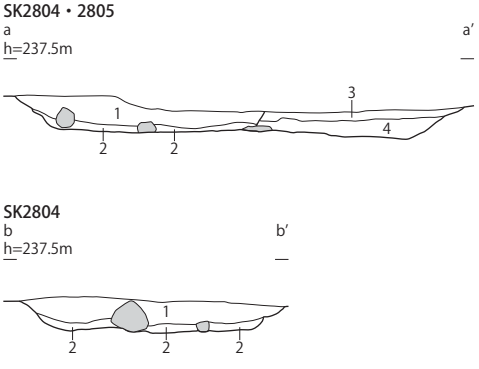


土坑 SK2825：a - a′
1　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトを少し含む
2　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを含む
3　10YR5/3 にぶい黄褐色砂，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む



土坑 SK2820：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む





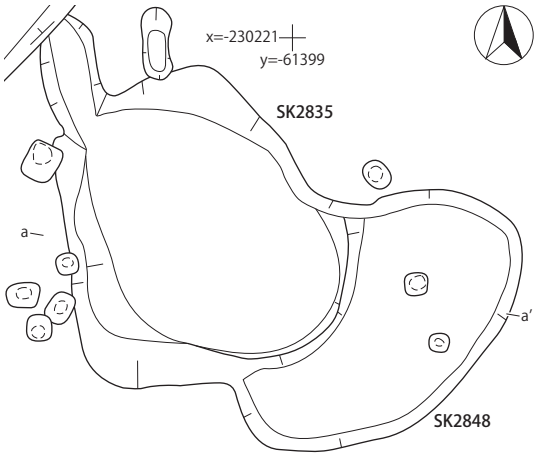
土坑 SK2804・2805：a - a′，b - b′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと 10YR2/2 黒褐色シルトと炭を含む，以下 2 層まで SK2804
2　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色砂を少し含む
3　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトと 10YR3/2 黒褐色シルトを含む，以下 SK2805
4　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトを少し含む

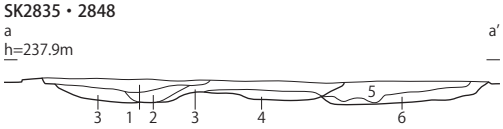
0　2m
1:40

0　2m
1:60

石

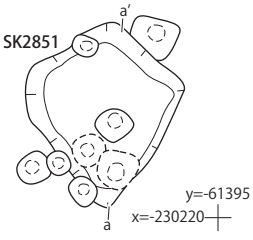
第 124 図　土坑 SK2802・2804・2805・2820・2825

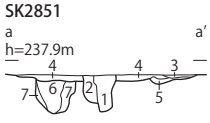




土坑 SK2835・2848：a - a′

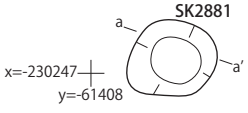
1 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR2/2 黒褐色シルトを含む，以下 4 層まで SK2835
2 10YR2/2 黒褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを含む
3 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR2/2 黒褐色シルトと 10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを含む
4 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを含む
5 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR2/2 黒褐色シルトと 10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを含む，以下 SK2848
6 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと 10YR5/2 灰黄褐色シルトを含む

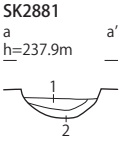




土坑 SK2851：a - a′

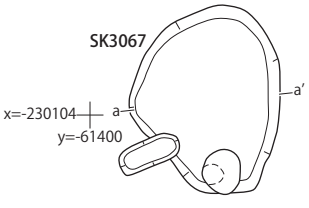
1 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを少し含む，以下 2 層まで柱穴
2 10YR4/4 褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトを含む
3 10YR3/2 黒褐色シルト，炭と焼土を多く含む，以下 5 層まで SK2851
4 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む
5 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと炭と焼土を含む
6 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，以下柱穴
7 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む

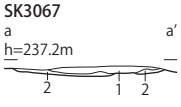




土坑 SK2881：a - a′

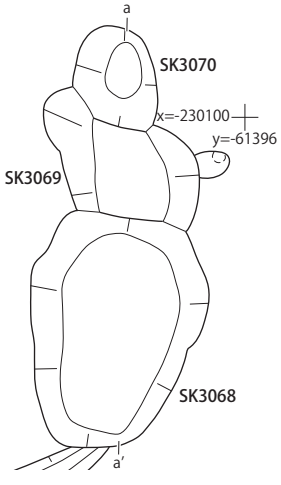
1 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む
2 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む

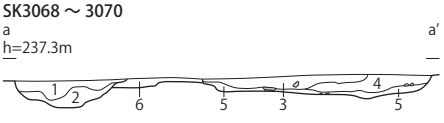




土坑 SK3067：a - a′

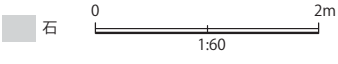
1 10YR4/1 褐灰色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトと炭を多く含む
2 10YR5/1 褐灰色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトを多く含む



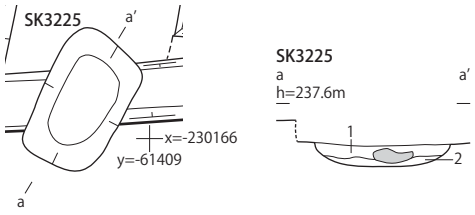


土坑 SK3068 ～ 3070：a - a′

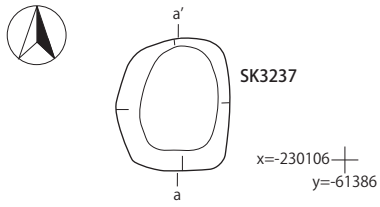
1 10YR3/1 黒褐色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトと炭を少し含む，以下 2 層まで SK3070
2 10YR6/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトと 10YR3/1 黒褐色シルトを少し含む
3 10YR4/1 褐灰色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトと炭を多くを含む，以下 5 層まで SK3068
4 10YR4/1 褐灰色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトと炭を少し含む
5 10YR5/1 褐灰色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトを少し含む
6 10YR5/1 褐灰色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトを多く含む，SK3069



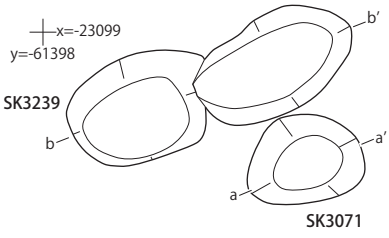
第 125 図　土坑 SK2835・2848・2851・2881・3067 ～ 3070

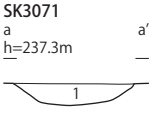


土坑 SK3225：a - a′
1　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトと炭を少し含む
2　10YR6/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトと炭を少し含む

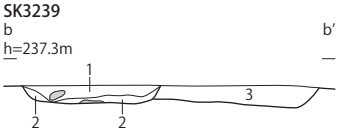


土坑 SK3237：a - a′
1　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトと 10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
2　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR5/2 灰黄褐色シルトを多く含む

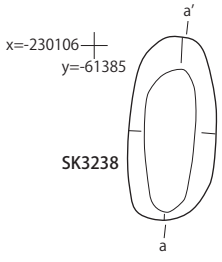


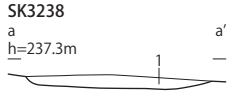


土坑 SK3071：a - a′
1　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトを多く含む

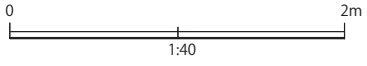


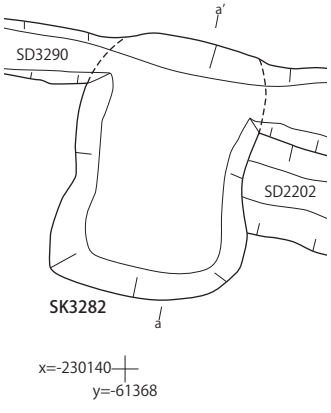
土坑 SK3239：b - b′
1　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトを少し含む，以下 2 層まで SK3239
2　10YR6/2 灰黄褐色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトを少し含む
3　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトを少し含む，別の土坑

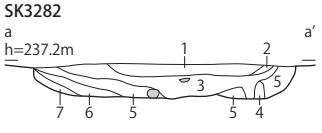




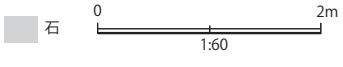
土坑 SK3238：a - a′
1　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR3/1 褐灰色シルトと 10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む







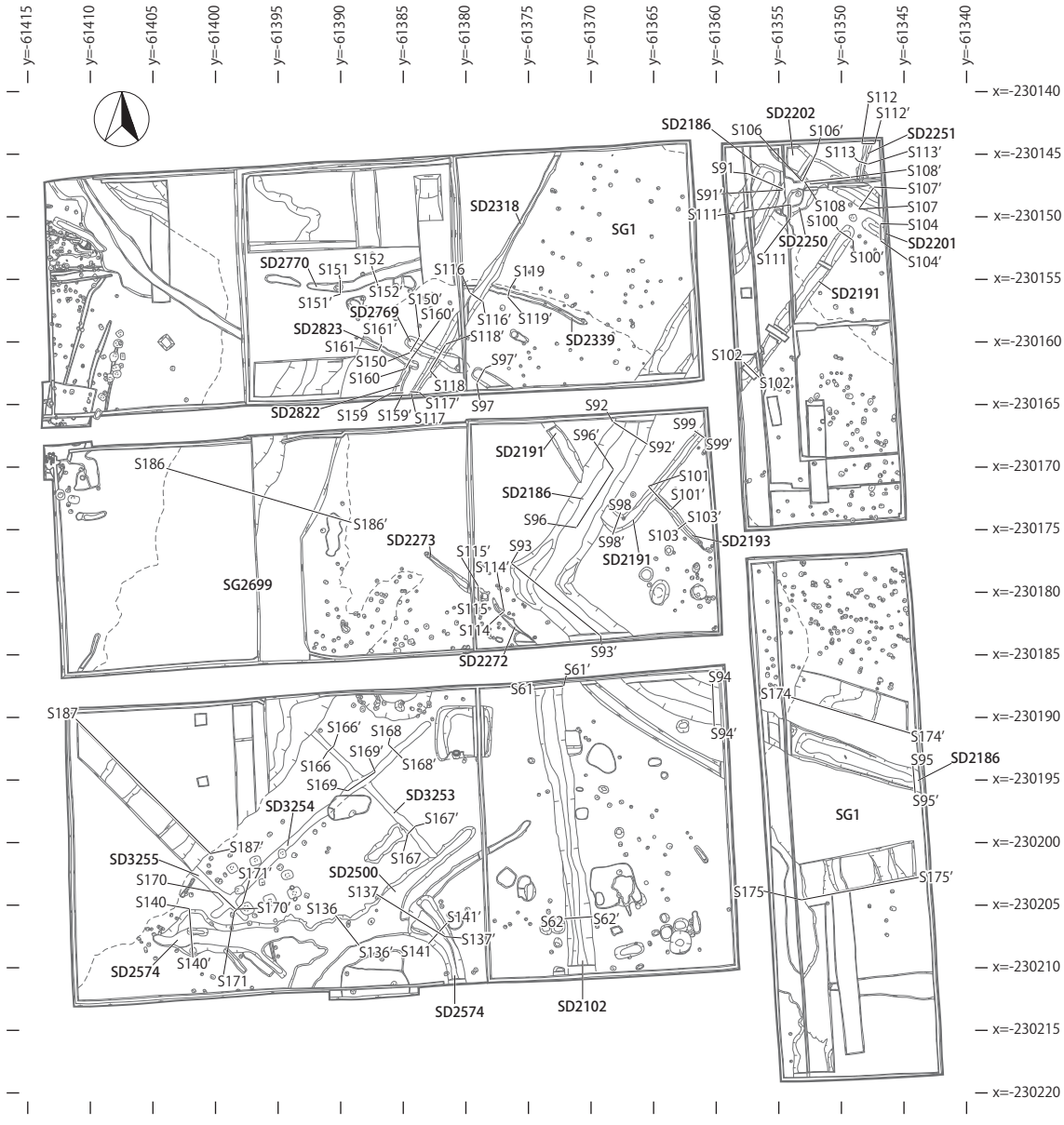
土坑 SK3282：a - a′
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色粗砂と礫と炭を少し含む
2　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む
3　10YR4/1 褐灰色粘土，10YR3/2 黒褐色粗砂と礫を含む
4　10YR5/2 灰黄褐色粗砂，10YR4/1 褐灰色粘土を含む
5　10YR4/3 にぶい黄褐色粘土，10YR4/1 褐灰色粘土を含む
6　礫層
7　10YR4/4 褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色粗砂を含む



第 126 図　土坑 SK3071・3225・3237 ～ 3239・3282

※S○○の示す番号が、第 130 ～ 159 図に掲載された断面図のセクションポイントである。
※各断面図に示した x 座標の値は、本図で配置を確認するためのものである。

第 127 図　溝・川のセクションポイント配置図 1

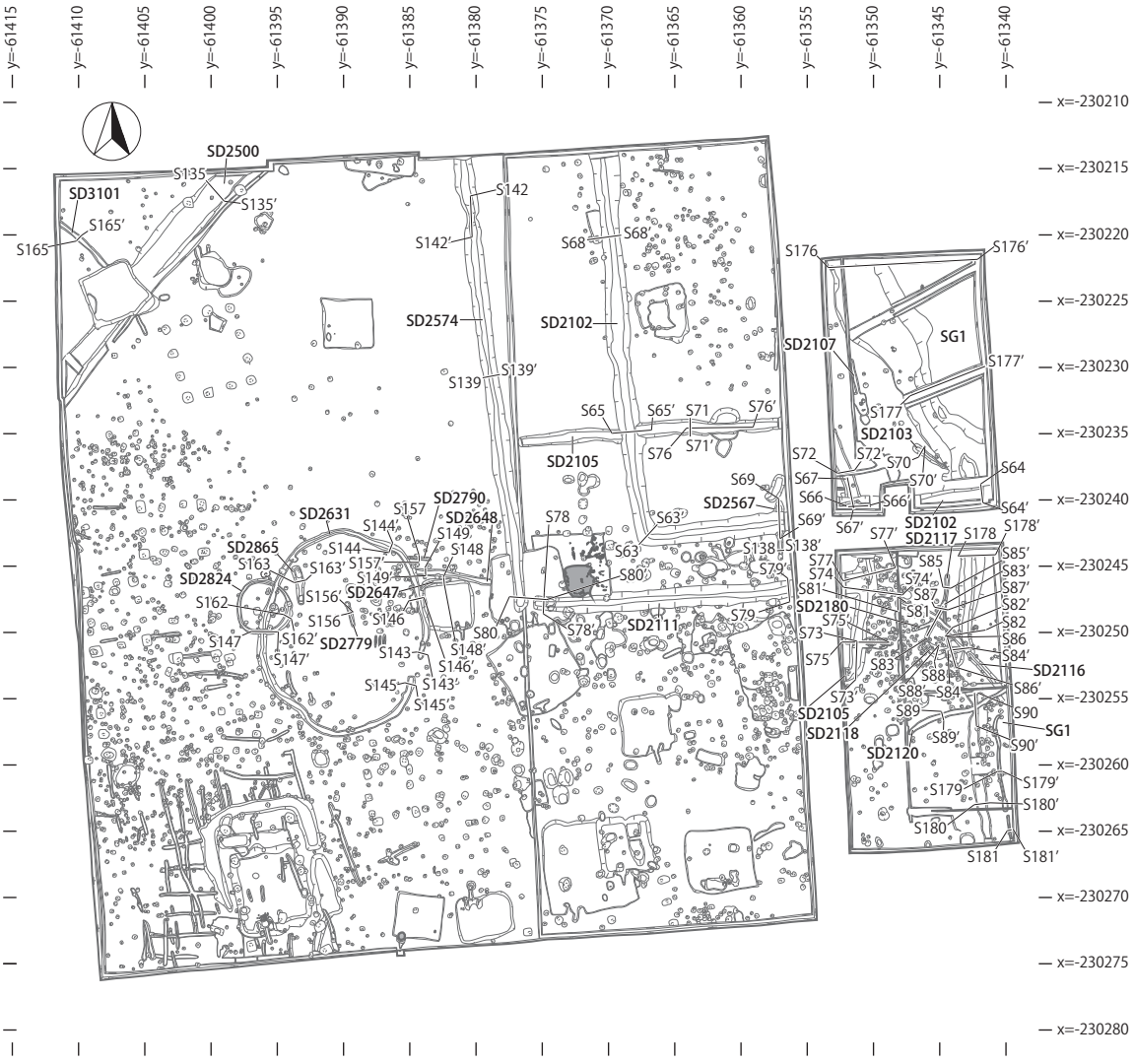


0 20m
1:500

※S○○の示す番号が、第 130 ～ 159 図に掲載された断面図のセクションポイントである。
※各断面図に示した x 座標の値は、本図で配置を確認するためのものである。

1:5000

第 128 図　溝・川のセクションポイント配置図 2

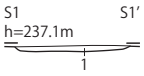


0 20m
1:500

※S○○の示す番号が、第 130 ～ 159 図に掲載された断面図のセクションポイントである。
※各断面図に示した x 座標の値は、本図で配置を確認するためのものである。

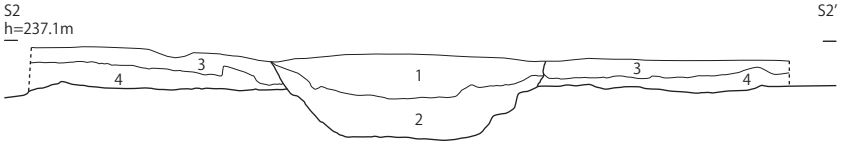
第 129 図　溝・川のセクションポイント配置図 3

SD113



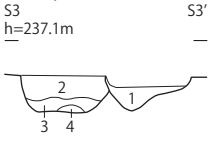
溝 SD113：S1 - S1′（X=-230065）
1　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む

SD113・279



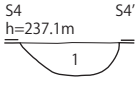
溝 SD113・279：S2 - S2′（X=-230055）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，以下 2 層まで SD279
2　10YR3/1 黒褐色シルト
3　10YR3/2 黒褐色シルト，以下 SD113
4　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む

SD113，SP361



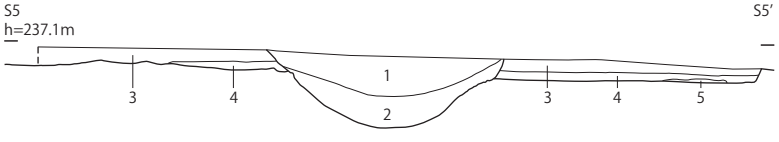
溝 SD113，柱穴 SP361：S3 - S3′（X=-230045）
1　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，SP361
2　10YR4/2 灰黄褐色シルト　以下 SD113
3　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む
4　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト

SD117



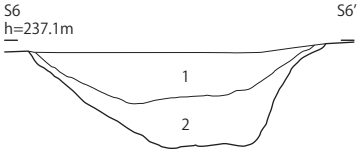
溝 SD117：S4 - S4′（X=-230060）
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む

SD117・279



溝 SD117・279：S5 - S5′（X=-230055）
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下 2 層まで SD279
2　10YR3/2 黒褐色シルト
3　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下 SD117
4　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む
5　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト

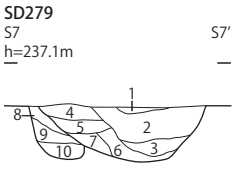
SD279



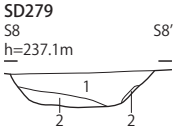
溝 SD279：S6 - S6′（X=-230055）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む
2　10YR3/1 黒褐色シルト

0　2m
1:40

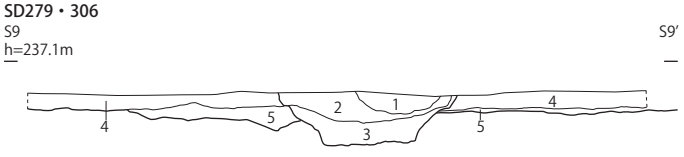
第 130 図　溝 SD113・117・279，柱穴 SP361



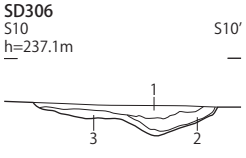
溝 SD279：S7 - S7′（X=-230060）
1　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，以下 7 層まで SD279
2　10YR2/2 黒褐色シルト
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと 10YR4/4 褐色シルトを少し含む
4　10YR2/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む
5　10YR4/4 褐色シルト，10YR2/2 黒褐色シルトを含む
6　10YR4/4 褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む
7　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを多く含む
8　10YR4/4 褐色シルト，10YR2/2 黒褐色シルトを少し含む，以下柱穴
9　10YR2/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを含む
10　10YR4/4 褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを多く含む



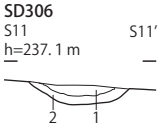
溝 SD279：S8 - S8′（X=-230075）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む
2　10YR6/2 灰黄褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む



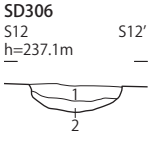
溝 SD279・306：S9 - S9′（X=-230055）
1　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，以下 3 層まで SD279
2　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む
3　10YR3/2 黒褐色シルト
4　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下 SD306
5　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと 10YR4/4 褐色シルトを少し含む



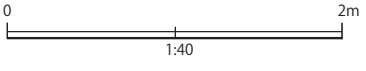
溝 SD306：S10 - S10′（X=-230040）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを少し含む
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，10YR4/4 褐色シルトを少し含む
3　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと 10YR4/4 褐色シルトを少し含む



溝 SD306：S11 - S11′（X=-230050）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを少し含む
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，10YR4/4 褐色シルトを少し含む

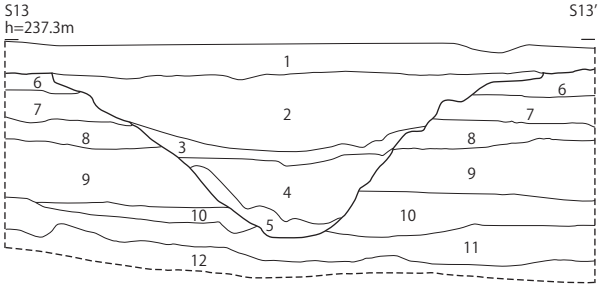


溝 SD306：S12 - S12′（X=-230060）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，10YR4/4 褐色シルトを少し含む



第 131 図　溝 SD279・306

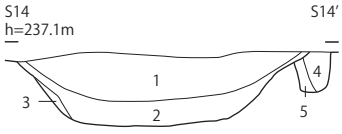
SD390，SG1



溝 SD390，川 SG1：S13 - S13′（X=-230060）

1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，表土
2　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，以下 5 層まで SD390
3　10YR3/1 黒褐色シルト
4　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む
5　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを含む
6　10YR4/2 灰黄褐色シルト，以下 SG1
7　10YR3/2 黒褐色シルト
8　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，10YR5/4 にぶい黄褐色シルト少しを含む
9　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを少し含む
10　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む
11　10YR3/1 黒褐色シルト，炭をわずかに含む
12　10YR2/1 黒色粘土

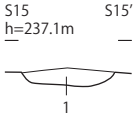
SD390，SP398



溝 SD390，柱穴 SP398：S14 - S14′（X=-230055）

1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルト少しを含む，以下 3 層まで SD390
2　10YR3/2 黒褐色シルト
3　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト
4　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む，以下 SP398
5　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト少し，10YR3/2 黒褐色シルトを含む

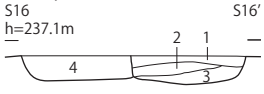
SD397



溝 SD397：S15 - S15′（X=-230055）

1　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む

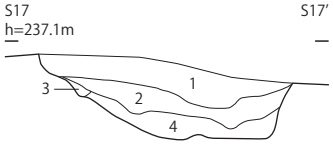
SD397，SK399



溝 SD397，土坑 SK399：S16 - S16′（X=-230055）

1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，以下 3 層まで SD397
2　10YR4/3 にぶい黄褐色砂
3　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む
4　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，SK399

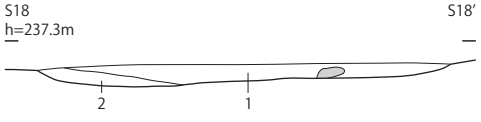
SD426



溝 SD426：S17 - S17′（X=-230090）

1　10YR3/1 黒褐色シルト，小礫を少し含む
2　10YR3/1 黒褐色粘質土，ブロック状の 7.5Y5/1 灰色砂を少し含む
3　10YR3/1 黒褐色粘質土，炭をわずかに含む
4　7.5Y5/1 灰色砂，10YR3/1 黒褐色粘質土を少し含む，7.5Y4/1 灰色砂を含む

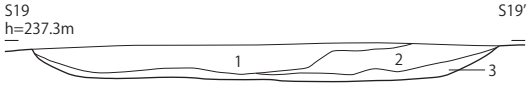
SD427



溝 SD427：S18 - S18′（X=-230100）

1　10YR4/1 褐灰色シルト，礫を含む
2　10YR5/1 褐灰色粗砂，10YR4/1 褐灰色シルトと礫を含む

SD427



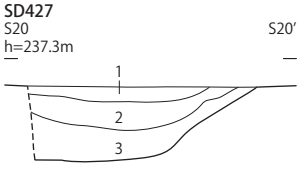
溝 SD427：S19 - S19′（X=-230110）

1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトと炭を少し含む
2　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトを多く含む
3　10YR4/1 褐灰色シルト，炭を少し含む

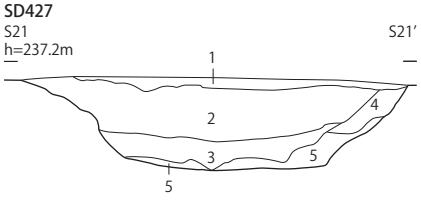
石

0　2m
1:40

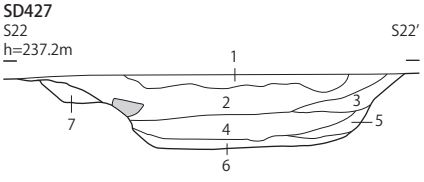
第 132 図　溝 SD390・397・426・427，川 SG393，柱穴 SP398，土坑 SK399



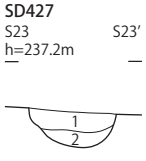
溝 SD427：S20 - S20′（X=-230100）
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，炭を少し含む
2　10YR3/2 黒褐色粘土，炭を多く含む
3　10YR3/1 黒褐色粘土，10YR4/2 灰黄褐色粗砂と礫と炭を含む



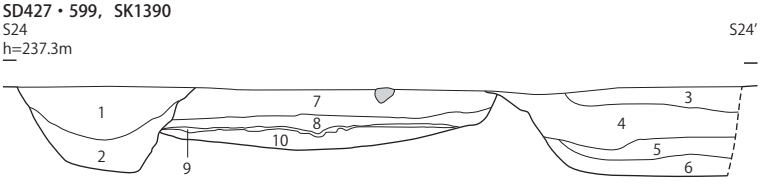
溝 SD427：S21 - S21′（X=-230095）
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む
2　10YR3/2 黒褐色シルト
3　10YR3/1 黒褐色粘土
4　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルト少しを少し含む
5　10YR5/1 褐灰色砂，10YR3/1 黒褐色粘土を少し含む



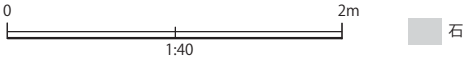
溝 SD427：S22 - S22′（X=-230095）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルト少しを少し含む，以下 6 層まで SD427
2　10YR3/2 黒褐色シルト
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを含む，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む
4　10YR3/1 黒褐色粘土，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む
5　10YR3/1 黒褐色粘土，10YR3/2 黒褐色シルトと 10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む
6　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色粘土を含む
7　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルト少しを含む，土坑



溝 SD427：S23 - S23′（X=-230100）
1　10YR3/1 黒褐色シルト
2　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR6/1 褐灰色シルトを多く含む

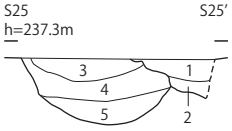


溝 SD427・599，土坑 SK1390：S24 - S24′（X=-230100）
1　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト少し，10YR4/2 灰黄褐色シルトと 10YR3/2 黒褐色シルトを含む，以下 2 層まで SD599
2　10YR3/1 黒褐色シルト
3　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，以下 6 層まで SD427
4　10YR3/2 黒褐色シルト
5　10YR3/1 黒褐色粘土
6　10YR3/1 黒褐色粘土，10YR5/1 褐灰色砂を少し含む
7　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルト少しを含む，以下 SK1390
8　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト少し，10YR3/1 黒褐色シルトを含む
9　10YR3/1 黒褐色シルト
10　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト少し，10YR3/2 黒褐色シルトと 10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む



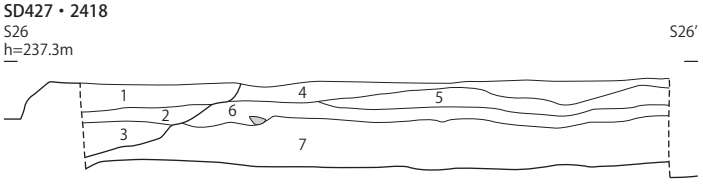
第 133 図　溝 SD427・599，土坑 SK1390

SD427・796



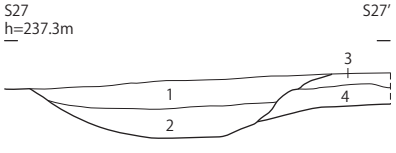
溝 SD427・796：S25 - S25′（X=-230100）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，炭を少し含む，以下 2 層まで SD427
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと炭を少し含む
3　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，炭を少し含む，以下 SD796
4　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
5　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，炭を少し含む

SD427・2418



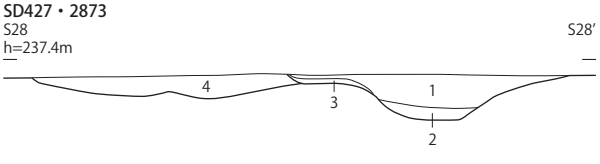
溝 SD427・2418：S26 - S26′（X=-230100）
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，炭を少し含む，以下 3 層まで SD427
2　10YR3/2 黒褐色粘土，炭を多く含む
3　10YR3/1 黒褐色粘土，10YR4/2 灰黄褐色粗砂と礫と炭を含む
4　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，以下 SD2418
5　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと炭を含む
6　10YR3/2 黒褐色粘土，10YR4/2 灰黄褐色細砂と礫を含む
7　10YR3/1 黒褐色粘土，10YR4/2 灰黄褐色粗砂を含む

SD427・2773



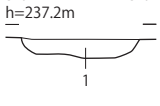
溝 SD427・2773：S27 - S27′（X=-230100）
1　10YR4/1 褐灰色シルト，以下 2 層まで SD427
2　10YR3/1 黒褐色粘土
3　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/1 褐灰色細砂を少し含む，以下 SD2773
4　10YR5/1 褐灰色細砂，10YR2/1 黒色シルトを含む

SD427・2873



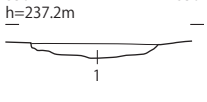
溝 SD427・2873：S28 - S28′（X=-230115）
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトと炭を少し含む，以下 3 層まで SD427
2　10YR4/1 褐灰色シルト，炭を少し含む
3　10YR6/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む
4　10YR6/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを多く含む，SD2873

SD476



溝 SD476：S29 - S29′（X=-230080）
1　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト

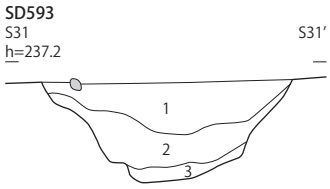
SD476



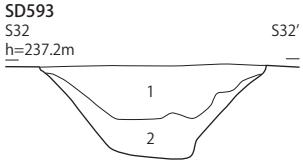
溝 SD476：S30 - S30′（X=-230085）
1　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト

0　2m
1:40
石

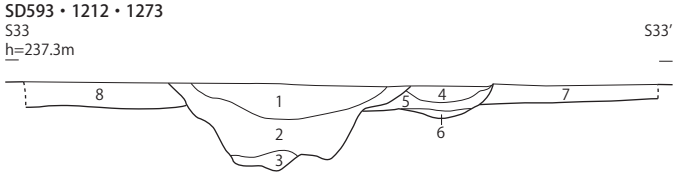
第 134 図　溝 SD427・476・796・2418・2773・2873



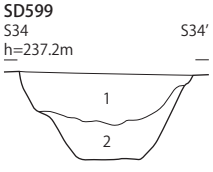
溝 SD593：S31 - S31′（X=-230095）
1　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色粘質土と石を含む，炭を少し含む
2　10YR3/1 黒褐色粘質土，10YR5/4 にぶい黄褐色細砂と炭を少し含む
3　10YR5/4 にぶい黄褐色細砂，10YR3/1 黒褐色粘質土を含む



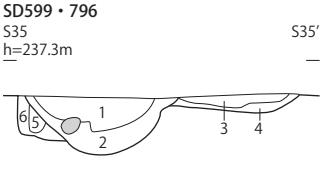
溝 SD593：S32 - S32′（X=-230100）
1　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色粘質土と石を含む，炭を少し含む
2　10YR3/1 黒褐色粘質土，10YR5/4 にぶい黄褐色細砂と炭と石を少し含む



溝 SD593・1212・1273：S33 - S33′（X=-230100）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと石を少し含む，以下 3 層まで SD593
2　10YR3/1 黒褐色粘土，10YR3/2 黒褐色シルトと石を少し含む
3　10YR3/1 黒褐色粘土，10YR3/2 黒褐色砂を含む，石を少し含む
4　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，炭を少し含む，以下 6 層まで SD1212
5　10YR3/2 黒褐色シルト，石を少し含む
6　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト
7　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，以下 SD1273
8　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルト少しを含む



溝 SD599：S34 - S34′（X=-230095）
1　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと 10YR4/2 灰黄褐色を少し含む
2　10YR3/1 黒褐色シルト



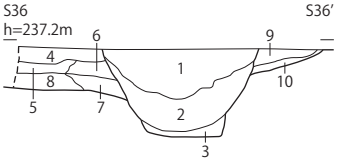
溝 SD599・796：S35 - S35′（X=-230100）
1　10YR3/3 暗褐色シルト，石を多く含む，炭を少し含む，以下 2 層まで SD599
2　10YR3/2 黒褐色シルト，5YR6/8 橙色シルトをまだら状に含む，炭を少し含む
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトをまだら状に含む，5YR6/8 橙色シルトをまだら状に少し含む，炭を少し含む，以下 4 層まで SD796
4　10YR2/3 黒褐色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトをブロック状に含む，5YR6/8 橙色シルトをまだら状に少し含む
5　10YR6/3 にぶい黄橙色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトをブロック状に多く含む，炭を少し含む，5YR6/8 橙色シルトをまだら状に少し含む，以下柱穴，柱痕
6　10YR3/2 黒褐色シルト，5YR6/8 橙色シルトをまだら状に含む，炭を少し含む，掘方

0　2m
1:40

石

第 135 図　溝 SD593・599・796・1212・1273

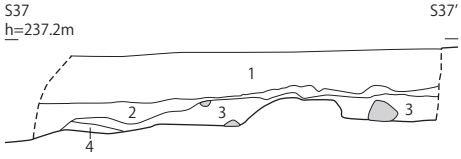
SD599・939，SK1390



溝 SD599・939，土坑 SK1390：S36 - S36′（X=-230095）

1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む，以下 3 層まで SD599
2　10YR3/2 黒褐色シルト
3　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと 10YR5/4 にぶい黄褐色砂を少し含む
4　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下 8 層まで SD939
5　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む
6　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
7　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む
8　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，10YR3/1 黒褐色シルトを少し含む
9　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，以下 SK1390
10　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト

SD599・1445



溝 SD599・1445：S37 - S37′（X=-230095）

1　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む
2　10YR3/1 黒褐色シルト
3　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む
4　10YR4/2 灰黄褐色砂

SD631

溝 SD631：S38 - S38′（X=-230095）

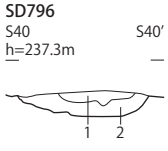
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，10YR3/1 黒褐色シルトを少し含む

SD631・1272・1273

溝 SD631・1272・1273：S39 - S39′（X=-230095）

1　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトをブロック状に含む，SD1272
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトをブロック状に多く含む，SD631
3　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトをブロック状に含む，SD1273

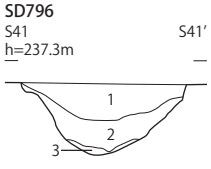
SD796



溝 SD796：S40 - S40′（X=-230100）

1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトをブロック状に含む，5YR6/8 橙色シルトをまだら状に含む，炭を少し含む
2　10YR3/2 黒褐色シルト，5YR6/8 橙色シルトをまだら状に少し含む，炭を少し含む

SD796



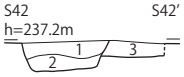
溝 SD796：S41 - S41′（X=-230100）

1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと石と炭を少し含む
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色砂を少し含む，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと石と炭を少し含む

0　2m
1:40
石

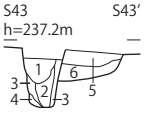
第 136 図　溝 SD599・631・796・939・1272・1273・1445，土坑 SK1390

SD939・1827



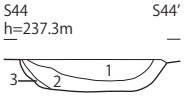
溝 SD939・1827：S42 - S42′（X=-230085）
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下 2 層まで SD939
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む
3　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，SD1827

SD939，SP1858



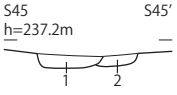
溝 SD939，柱穴 SP1858：S43 - S43′（X=-230090）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，以下 4 層まで SP1858，抜き取り痕
2　10YR3/2 黒褐色シルト，炭を少し含む，掘方
3　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，以下 4 層まで掘方
4　10YR5/4 にぶい黄褐色砂
5　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下 SD939
6　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，炭を少し含む

SD1212



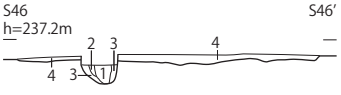
溝 SD1212：S44 - S44′（X=-230100）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む
3　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む

SD1313・1881



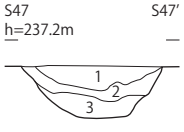
溝 SD1313・1881：S45 - S45′（X=-230085）
1　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，SD1881
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，小礫を少し含む，SD1313

SD1370，SP1408



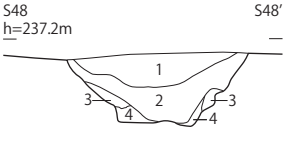
溝 SD1370，柱穴 SP1408：S46 - S46′（X=-230085）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下 3 層まで SP1408，以下 2 層まで抜き取り痕
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む
3　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む，掘方
4　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，SD1370

SD1445

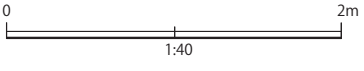


溝 SD1445：S47 - S47′（X=-230085）
1　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと 10YR3/2 黒褐色シルトを含む
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む

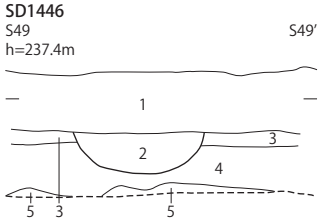
SD1445



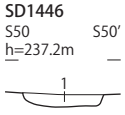
溝 SD1445：S48 - S48′（X=-230090）
1　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，炭を少し含む
2　10YR3/2 黒褐色シルト
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む
4　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む



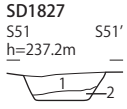
第 137 図　溝 SD939・1212・1313・1370・1445・1827・1881，柱穴 SP1408・1858



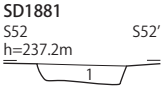
溝 SD1446：S49 - S49′（X=-230075）
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，表土
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，SD1446
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，遺物包含層
4　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，10YR5/4 にぶい黄褐色砂を少し含む，以下地山
5　10YR5/4 にぶい黄褐色砂，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む



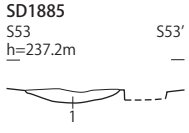
溝 SD1446：S50 - S50′（X=-230080）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む



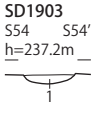
溝 SD1827：S51 - S51′（X=-230085）
1　10YR6/3 にぶい黄橙色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトをブロック状に含む，5YR6/8 橙色シルトをまだら状に含む
2　10YR6/3 にぶい黄橙色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトをブロック状に少し含む，5YR6/8 橙色シルトをまだら状に含む



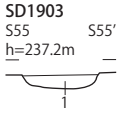
溝 SD1881：S52 - S52′（X=-230090）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む



溝 SD1885：S53 - S53′（X=-230080）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む

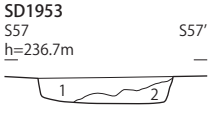


溝 SD1903：S54 - S54′（X=-230090）
1　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む

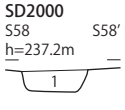


溝 SD1903：S55 - S55′（X=-230090）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む

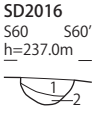
溝 SD1953：S56 - S56′（X=-230090）
1　10R3/2 黒褐色シルト，炭を少し含む



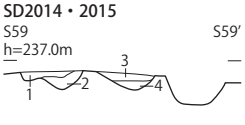
溝 SD1953：S57 - S57′（X=-230085）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトをブロック状に含む
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト



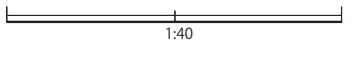
溝 SD2000：S58 - S58′（X=-230085）
1　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトをまだら状に多く含む



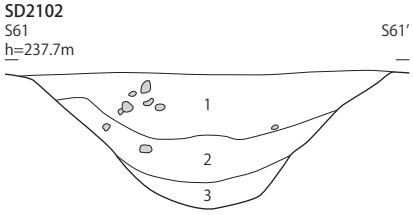
溝 SD2016：S60 - S60′（X=-230095）
1　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトをブロック状に含む
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトをまだら状に少し含む



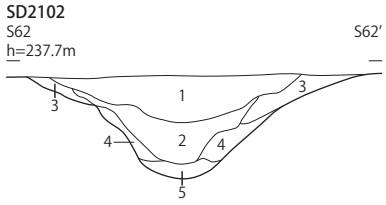
溝 SD2014・2015：S59 - S59′（X=-230095）
1　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトをブロック状に含む，以下 2 層まで SD2014
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトをまだら状に少し含む
3　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトをブロック状に含む，以下 SD2015
4　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトをまだら状に少し含む



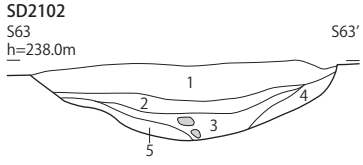
第 138 図　溝 SD1446・1827・1881・1885・1903・1953・2000・2014 ～ 2016



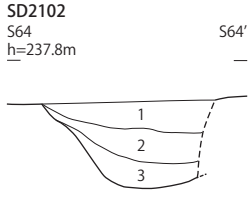
溝 SD2102：S61 - S61′（X=-230190）
1　10YR4/3 にぶい黄褐色砂，10YR2/3 黒褐色シルトと 10YR3/3 暗褐色シルトを多く含む
2　10YR2/3 黒褐色粘土，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトと砂を少し含む
3　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと砂を含む
4　10YR4/2 灰黄褐色砂，10YR4/1 褐灰色粘土を少し含む
5　10YR4/3 にぶい黄褐色砂，10YR4/1 褐灰色粘土を少し含む



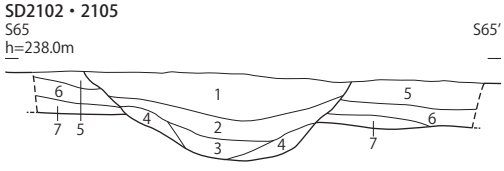
溝 SD2102：S62 - S62′（X=-230210）
1　10YR4/3 にぶい黄褐色砂，10YR2/3 黒褐色シルトと 10YR3/3 暗褐色シルトを多く含む
2　10YR2/3 黒褐色粘土，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトと砂を少し含む
3　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと砂を含む
4　10YR4/2 灰黄褐色砂，10YR4/1 褐灰色粘土を少し含む
5　10YR4/3 にぶい黄褐色砂，10YR4/1 褐灰色粘土を少し含む



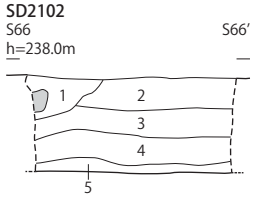
溝 SD2102：S63 - S63′（X=-230245）
1　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR6/1 褐灰色シルトと炭を少し含む
2　10YR6/3 にぶい黄橙色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトと炭を少し含む
3　10YR6/1 褐灰色シルト，細砂と炭を含む
4　10YR6/3 にぶい黄橙色細砂，10YR6/1 褐灰色シルトを含む
5　10YR6/3 にぶい黄橙色シルト，10YR5/1 褐灰色炭シルトを多く含む



溝 SD2102：S64 - S64′（X=-230240）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色粗砂と炭を含む
2　10YR3/1 黒褐色シルト，礫と炭を含む
3　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR4/1 褐灰色粗砂と炭を含む



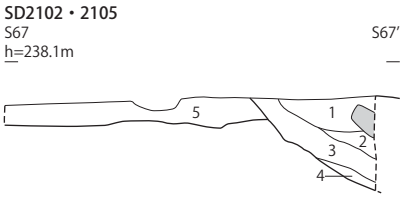
溝 SD2102・2105：S65 - S65′（X=-230235）
1　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR7/4 にぶい黄橙色シルトと礫を多く含む，以下 4 層まで SD2102
2　10YR5/1 褐灰色シルト，炭を含む
3　10YR6/1 褐灰色シルト，10YR7/3 にぶい黄橙色細砂を多く含む
4　10YR5/4 にぶい黄褐色粗砂，石を多く含む
5　10YR6/3 にぶい黄橙色シルト，10YR7/4 にぶい黄橙色シルトを多く含む，以下 SD2105
6　10YR5/1 褐灰色シルト，炭を少し含む
7　10YR6/2 灰黄褐色シルト，ブロック状の 10YR7/4 にぶい黄橙色シルトと石を含む



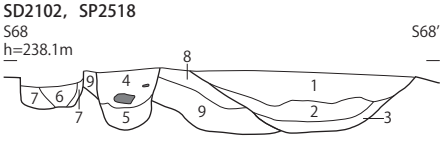
溝 SD2102：S66 - S66′（X=-230245）
1　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR3/3 暗褐色粗シルトと炭を少し含む
2　10YR3/2 黒褐色シルト，炭を少し含む，以下 SD2102
3　10YR3/1 黒褐色シルト，炭を含む
4　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと炭と石を含む
5　10YR3/1 黒褐色シルト，石を含む

0　2m
1:40
石

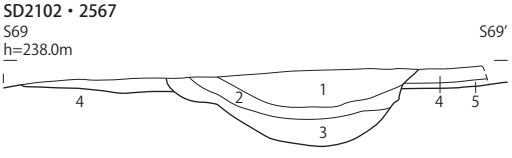
第 139 図　溝 SD2102・2105



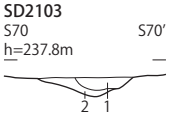
溝 SD2102・2105：S67 - S67′（X=-230240）
1　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR3/3 暗褐色粗シルトと炭を少し含む以下，4 層まで SD2102
2　10YR3/1 黒褐色シルト，炭を含む
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと炭と礫を含む
4　10YR3/1 黒褐色シルト，礫を含む
5　10YR4/2 灰黄褐色シルト，炭を含む，SD2102



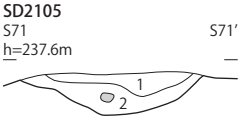
溝 SD2102，柱穴 SP2518：S68 - S68′（X=-230225）
1　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを含む，以下 3 層まで SD2102
2　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを多く含む
3　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR6/2 灰黄褐色砂と粗砂を含む
4　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトと 10YR4/2 灰黄褐色シルトと土器と炭を含む，以下 5 層まで SP2518
5　10YR4/3 にぶい黄褐色砂，10YR4/2 灰黄褐色シルトと炭を少し含む
6　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを多く含む，以下 7 層まで柱穴
7　10YR4/4 褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む
8　10YR4/4 褐色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトと焼土と炭を含む，以下土坑
9　10YR4/4 褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトと 10YR6/3 にぶい黄橙色シルトと 10YR5/2 灰黄褐色シルトと炭を少し含む



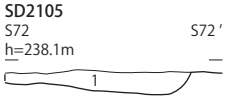
溝 SD2102・2567：S69 - S69′（X=-230245）
1　10YR2/3 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトと 10YR5/2 灰黄褐色シルトと炭と焼土を含む，以下 3 層まで SD2102
2　10YR4/2 灰黄褐色シルト，炭と焼土を含む
3　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色粘土と炭を含む
4　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，以下 SD2567
5　10YR4/4 褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む



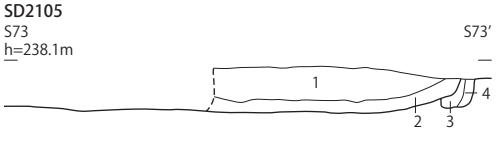
溝 SD2103：S70 - S70′（X=-230240）
1　10YR3/4 暗褐色シルト，10YR3/1 黒褐色粗シルトを含む
2　10YR3/3 暗褐色シルト，炭を少し含む



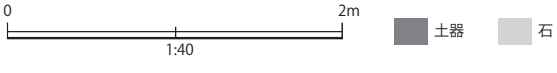
溝 SD2105：S71 - S71′（X=-230235）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトと灰を多く含む
2　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む



溝 SD2105：S72 - S72′（X=-230240）
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，炭を少し含む

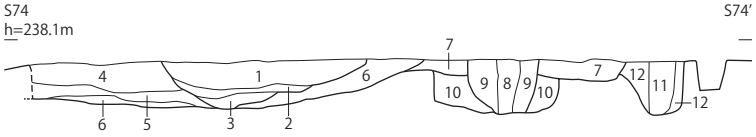


溝 SD2105：S73 - S73′（X=-230255）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，炭を含む，以下 2 層まで SD2105
2　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む
3　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR2/3 黒褐色シルトを含む，以下柱穴
4　10YR2/3 黒褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトを含む



第 140 図　溝 SD2102・2103・2105・2518・2567

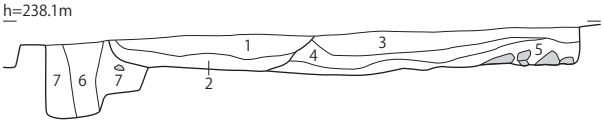
SD2105・2111，SP2178，SK2115



溝 SD2105・2111，柱穴 SP2178，土坑 SK2115：S74 - S74′（X=-230250）

1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，以下 3 層まで SD2105
2　10YR4/2 灰黄褐色シルト，炭を少し含む
3　10YR3/2 黒褐色シルト，炭を少し含む
4　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，以下 6 層まで SD2111
5　10YR3/2 黒褐色シルト，炭を少し含む
6　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む
7　10YR3/3 暗褐色シルト，炭を少し含む，土坑
8　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと炭を少し含む，以下 9 層まで SP2178，柱痕
9　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，掘方
10　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを含む，SK2115
11　10YR2/3 黒褐色シルト，炭を含む，以下柱穴，柱痕
12　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，掘方

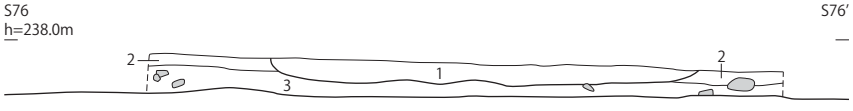
SD2105，SK2128



溝 SD2105, 土坑 SK2128：S75 - S75′（X=-230255）

1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色細砂を含む，以下 2 層まで SD2105
2　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む
3　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む，以下 5 層まで SK2128
4　10YR2/2 黒褐色シルト，炭を少し含む
5　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと炭を少し含む
6　10YR2/2 黒褐色シルト，炭を少し含む，以下柱穴
7　10YR3/3 暗褐色シルト，石を多く含む

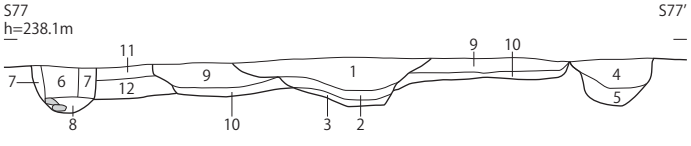
SD2105,SK2343



溝 SD2105，土坑 SK2343：S76 - S76′（X=-230235）

1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを少し含む，SK2343
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色粗砂を少し含む，以下 SD2105
3　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと 10YR4/4 褐色シルトを少し含む

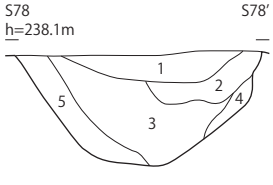
SD2105・2111，SK2112・2113



溝 SD2105・2111，土坑 SK2112・2113：S77 - S77′（X=-230250）

1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと炭を含む，以下 3 層まで SD2105
2　10YR4/2 灰黄褐色シルト，炭を少し含む
3　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む
4　10YR3/1 黒褐色シルト，炭を含む，以下 5 層まで SK2113
5　10YR2/1 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色砂を含む
6　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，以下 8 層まで柱穴
7　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む
8　10YR3/3 暗褐色粗砂，礫を含む
9　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色細砂と炭化物を多く含む，以下 10 層まで SK2112
10　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/3 黒褐色シルトを含む
11　10YR3/3 暗褐色シルト，炭を少し含む，以下 SD2111
12　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む

SD2111



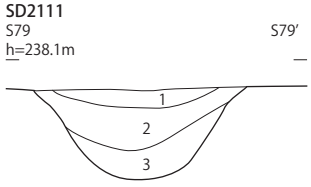
溝 SD2111：S78 - S78′（X=-230250）

1　10YR3/3 黒暗色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと炭を含む
2　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/4 褐色砂と炭と焼土を少し含む
3　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色粘土と 10YR4/3 にぶい黄褐色砂と炭を含む
4　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/4 褐色砂を多く含む
5　10YR4/2 灰黄褐色粘土，粗砂と石を多く含む

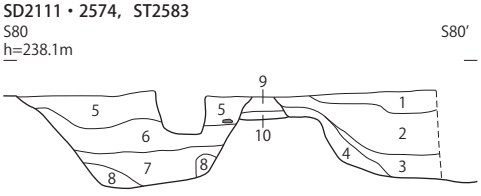
0　2m
1:40

石

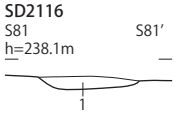
第 141 図　溝 SD2105・2107・2111，土坑 SK2112・2113・2115・2128・2343，柱穴 SP2178



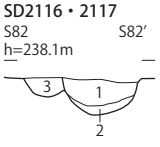
溝 SD2111：S79 - S79′（X=-230250）
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトを少し含む
2　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを多く含む
3　10YR4/1 褐灰色粘土，10YR4/2 灰黄褐色シルトを多く含む



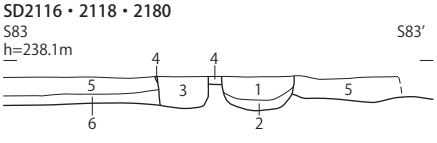
溝 SD2111・2574，竪穴建物 ST2583：S80 - S80′（X=-230250）
1　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，砂を含む，以下 4 層まで SD2111
2　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト
3　10YR3/2 黒褐色シルト
4　10YR3/3 暗褐色シルト，砂を含む
5　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色砂を含む，以下 8 層まで SD2574
6　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色砂を多く含む
7　10YR3/1 黒褐色粘土，10YR3/2 黒褐色砂を多く含む
8　10YR4/2 灰黄褐色粗砂，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む
9　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトと炭と焼土を少し含む，以下 ST2583
10　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと炭と焼土を含む



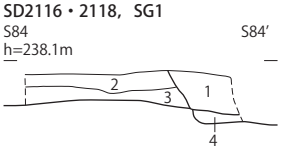
溝 SD2116：S81 - S81′（X=-230250）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，炭を少し含む



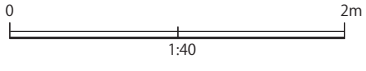
溝 SD2116・2117：S82 - S82′（X=-230255）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色粗砂と炭を少し含む，以下 2 層まで SD2116
2　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む
3　10YR3/2 黒褐色シルト，炭を少し含む，SD2117



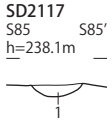
溝 SD2116・2118・2180：S83 - S83′（X=-230255）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 黄褐色粗砂と炭を含む，以下 2 層まで SD2116
2　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色砂と炭を少し含む，柱穴
4　10YR3/2 黒褐色シルト，SD2180
5　10YR3/1 黒褐色シルト，炭を少し含む，以下 SD2118
6　10YR3/2 黒褐色シルト，炭を含む



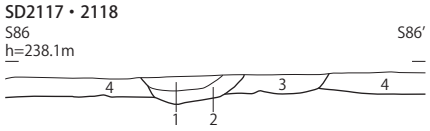
溝 SD2116・2118，川 SG1：S84 - S84′（X=-230255）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色粗砂を含む，SD2116
2　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/1 褐灰色灰を含む，以下 3 層まで SD2118
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトを含む
4　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，SG1



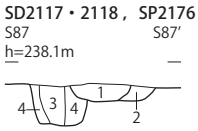
第 142 図　溝 SD2111・2116 ～ 2118・2180・2574，竪穴建物 ST2583，川 SG1



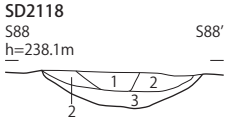
溝 SD2117：S85-S85′（X=-230250）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，炭を少し含む



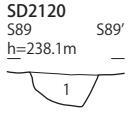
溝 SD2117・2118：S86 - S86′（X=-230255）
1　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/1 褐灰色灰と炭を多く含む，以下 2 層まで SD2118
2　10YR3/2 黒褐色シルト，炭を少し含む
3　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色細砂を含む，土坑
4　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR 灰黄褐色細砂と炭を少し含む，SD2117



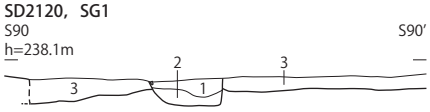
溝 SD2117・2118，柱穴 SP2176：S87 - S87′（X=-230250）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，炭を少し含む，SD2118
2　10YR2/3 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，SD2117
3　10YR2/2 黒褐色シルト，炭を少し含む，以下 SP2176，柱痕
4　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む，掘方



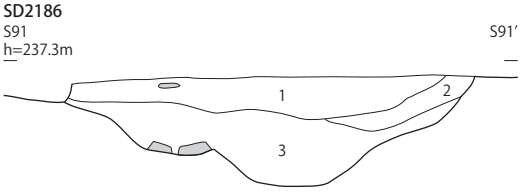
溝 SD2118：S88 - S88′（X=-230255）
1　10YR3/1 黒褐色シルト，炭を含む
2　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを含む
3　10YR3/2 黒褐色シルト，炭を多く含む



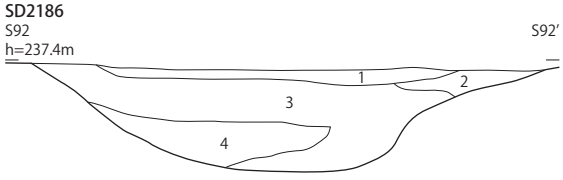
溝 SD2120：S89 - S89′（X=-230260）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色粗砂を含む



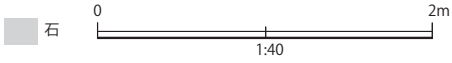
溝 SD2120，川 SG1：S90 - S90′（X=-230255）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR3/3 暗褐色粗砂を含む，以下 2 層まで SD2120
2　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色細砂と炭を含む
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR3/4 暗褐色砂を含む，SG1



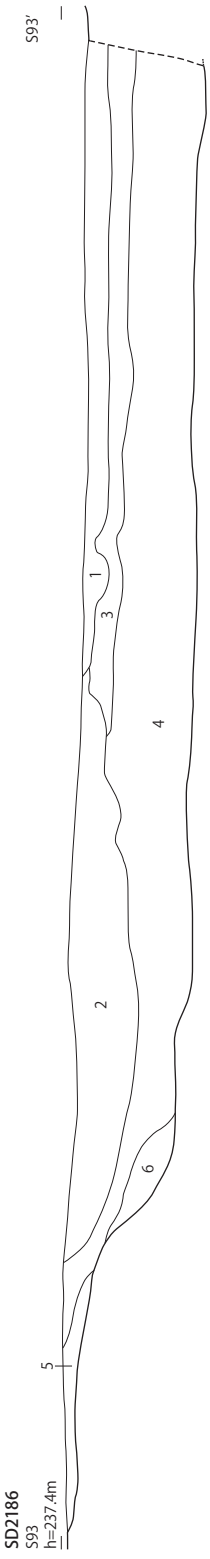
溝 SD2186：S91 - S91′（X=-230150）
1　10YR4/2 灰黄褐色粗砂，石を多く含む
2　10YR3/1 黒褐色粘土，10YR3/3 暗褐色粗砂と石を含む
3　10YR2/1 黒色粘土，炭と植物遺体を含む



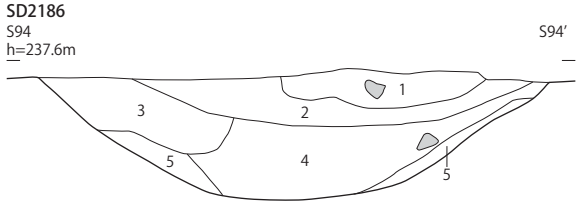
溝 SD2186：S92 - S92′（X=-230170）
1　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR6/4 にぶい黄橙色シルトと石と炭を含む
2　10YR4/1 褐灰色シルト，砂と石を多く含む
3　10YR3/1 黒褐色粘土，石を少し含む
4　10YR5/3 にぶい黄褐色細砂，10YR3/1 黒褐色粘土と石を含む



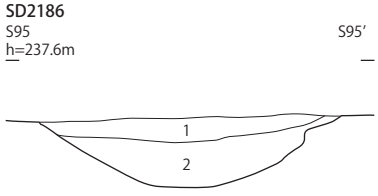
第 143 図　溝 SD2117・2118・2120・2186，柱穴 SP2176，川 SG1



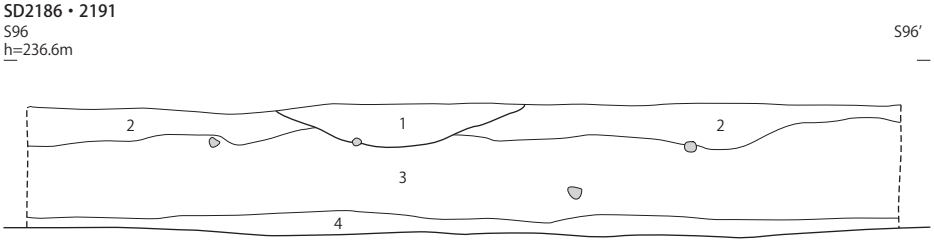
溝 SD2186：S93 - S93′（X=-230180）
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトと粗砂と石を含む
2　10YR3/1 黒褐色粘土，10YR5/1 褐灰色粘土を含む
3　10YR4/1 褐灰色シルト，粗砂と石を含む
4　10YR2/1 黒色粘土，植物遺体を含む
5　10YR3/2 黒褐色シルト，炭を少し含む
6　10YR3/1 黒褐色粘土，10YR4/1 褐灰色粗砂を含む



溝 SD2186(190-65)：S94 - S94′（X=-230190）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，砂と石を含む
2　10YR4/2 灰黄褐色砂，10YR3/2 黒褐色粘土と石を含む
3　10YR3/2 黒褐色砂，10YR3/1 黒褐色粘土と石を含む
4　10YR2/1 黒色粘土，石を含む
5　10YR3/3 黒褐色砂，10YR3/1 黒褐色粘土と石を少し含む



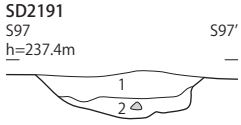
溝 SD2186：S95 - S95′（X=-230195）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色粗砂と石を多く含む
2　10YR3/1 黒褐色粘土，植物遺体を含む



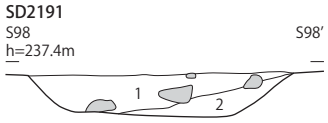
溝 SD2186・2191：S96 - S96′（X=-230175）
1　10YR5/2 灰黄褐色シルト，川砂と石と炭を含む，SD2191
2　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR6/4 にぶい黄橙色シルトと石と炭を含む，以下 SD2186
3　10YR3/1 黒褐色粘土，石を少し含む
4　10YR5/1 褐灰色砂，10YR4/1 褐灰色粘土と石を多く含む

0　2m
1:40
石

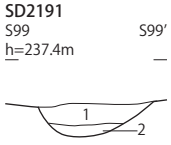
第 144 図　溝 SD2186・2191



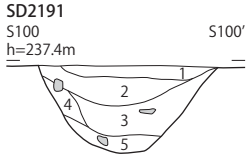
溝 SD2191：S97 - S97′（X=-230165）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，粗砂と石を多く含む
2　10YR3/2 黒褐色シルト，石を含む



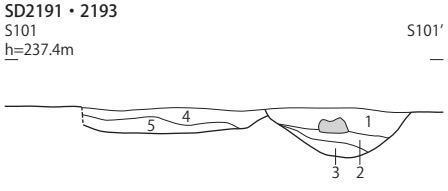
溝 SD2191：S98 - S98′（X=-230175）
1　10YR4/1 褐灰色シルト，砂を含む
2　10YR5/3 にぶい黄褐色細砂，10YR4/1 褐灰色シルトと石を少し含む



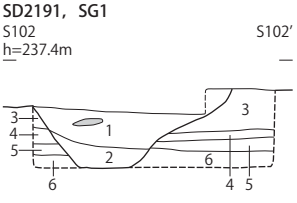
溝 SD2191：S99 - S99′（X=-230170）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，炭を少し含む
2　10YR4/2 灰黄褐色粗砂，石を多く含む



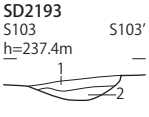
溝 SD2191：S100 - S100′（X=-230155）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，炭を少し含む
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色細砂を含む
3　10YR3/3 暗褐色シルト，石を含む
4　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む
5　10YR3/1 黒褐色粘土，石を含む



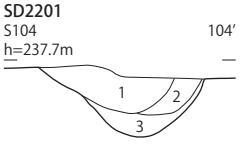
溝 SD2191・2193：S101-S101′（X=-230175）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，以下 3 層まで SD2191
2　10YR3/1 黒褐色粘土，10YR5/2 灰黄褐色シルトを含む
3　5YR4/1 褐灰色シルト，10YR3/1 黒褐色粘土を含む
4　10YR2/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色砂を含む，以下 SD2193
5　10YR4/2 灰黄褐色細砂，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む



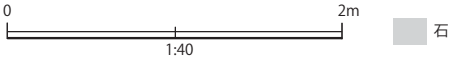
溝 SD2191，川 SG1：S102 - S102′（X=-230165）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，炭を含む，以下 2 層まで SD2191
2　10YR3/1 黒褐色粘土，炭を少し含む
3　10YR3/2 黒褐色シルト，粗砂を含む，以下 SG1
4　10YR4/1 褐灰色粘土，10YR5/2 灰黄褐色粘土を含む
5　10YR3/1 黒褐色粘土，炭を少し含む
6　10YR3/1 黒褐色粘土，10YR3/1 黒褐色粗砂を含む



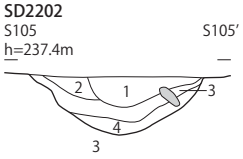
溝 SD2193：S103 - S103′（X=-230175）
1　10YR2/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色砂を含む
2　10YR4/2 灰黄褐色粗砂



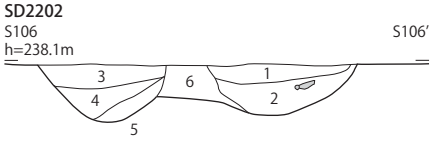
溝 SD2201：S104 - S104′（X=-230155）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色細砂と炭を少し含む
2　10YR3/2 黒褐色シルト，炭を少し含む
3　10YR3/1 黒褐色粘土，10YR4/2 灰黄褐色砂と炭を多く含む



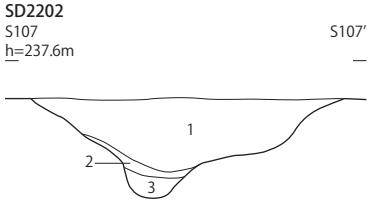
第 145 図　溝 SD2191・2193・2201，川 SG1



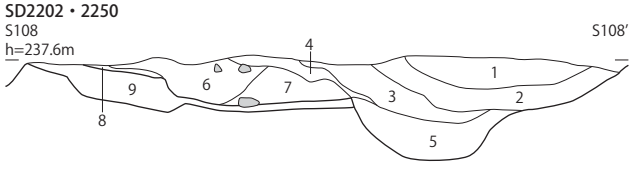
溝 SD2202：S105 - S105′（X=-230140）
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色粗砂と炭を少し含む
2　10YR5/4 にぶい黄褐色粗砂，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む
3　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む
4　10YR4/1 褐灰色粘土，10YR5/2 灰黄褐色細砂を含む



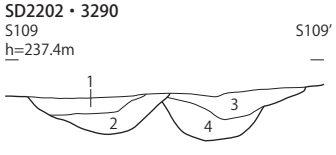
溝 SD2202：S106 - S106′（X=-230150）
1　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，石と炭を少し含む
2　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色粗砂と石と炭を多く含む
3　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む
4　10YR3/1 黒褐色シルト，粗砂と石を少し含む
5　10YR4/2 灰黄褐色シルト，炭を多く含む
6　10YR3/1 黒褐色シルト，石を多く含む



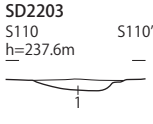
溝 SD2202：S107 - S107′（X=-230150）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR3/2 黒褐色粗砂と炭を多く含む
2　10YR2/3 黒褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む
3　10YR4/1 褐灰色粘土，10YR4/2 灰黄褐色粘土を含む



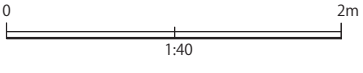
溝 SD2202・2250：S108- S108′（X=-230150）
1　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/ 2 灰黄褐色シルトと 10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，以下 7 層まで SD2202
2　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む
3　10YR2/3 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを多く含む
4　10YR2/3 黒褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトと 10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む
5　10YR5/4 にぶい黄褐色粘土，10YR2/3 黒褐色シルトと砂を多く含む
6　10YR2/3 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む
7　10YR3/2 黒褐色粘土，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む
8　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトを含む，以下 SD2250
9　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトと 10YR4/1 褐灰色シルトと 10YR2/1 黒色シルトを含む



溝 SD2202・3290：S109 - S109′（X=-230140）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色粗砂を含む，以下 2 層まで SD2202
2　10YR3/1 黒褐色粘土，10YR4/3 にぶい黄褐色粗砂と石を含む
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR2/2 黒褐色粘土を含む，以下 SD3290
4　10YR4/2 灰黄褐色粗砂，10YR4/3 にぶい黄褐色細砂と 10YR3/2 黒褐色粘土を含む

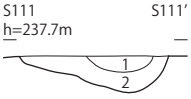


溝 SD2203：S110 - S110′（X=-230130）
1　10YR2/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを含む



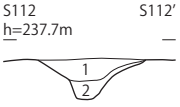
第 146 図　溝 SD2202・2203・2250・3290

SD2250



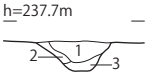
溝 SD2250：S111 - S111′（X=-230150）
1 10YR2/1 黒色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトと 10YR5/3 にぶい褐色シルトを多く含む
2 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトと砂を多く含む

SD2251



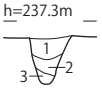
溝 SD2251：S112 - S112′（X=-230145）
1 10YR3/3 暗褐色粗砂，10YR3/2 黒褐色シルトを含む
2 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色粘土と粗砂と石を含む

SD2251



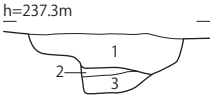
溝 SD2251：S113 - S113′（X=-230150）
1 10YR3/3 暗褐色粗砂，10YR3/2 黒褐色シルトを含む
2 10YR4/3 にぶい黄褐色細砂
3 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色細砂を含む

SD2272



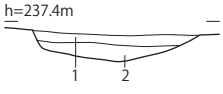
溝 SD2272：S114 - S114′（X=-230185）
1 10YR4/1 褐灰色細砂，10YR3/2 黒褐色シルトと炭を少し含む
2 10YR3/1 黒褐色粘土
3 10YR2/2 黒褐色粘土

SD2273，SK3292



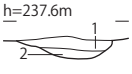
溝 SD2273，土坑 SK3292：S115 - S115′（X=-230185）
1 10YR3/1 黒褐色シルト，粗砂と炭を多く含む，SD2273
2 10YR4/3 にぶい黄褐色粗砂，石を多く含む，以下 SK3292
3 10YR3/1 黒褐色粗砂，10YR3/1 黒褐色粘土と石を含む

SD2318



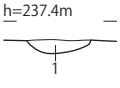
溝 SD2318：S116 - S116′（X=-230160）
1 10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色細砂を含む
2 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/1 褐灰色粘土を含む

SD2318



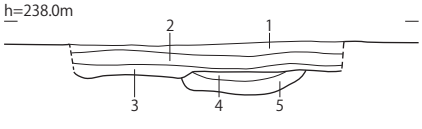
溝 SD2318：S117 - S117′（X=-230165）
1 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを少し含む
2 10YR3/4 黒褐色シルト，粗砂を多く含む

SD2339

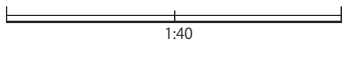


溝 SD2339：S119 - S119′（X=-230160）
1 10YR4/3 にぶい黄褐色細砂，10YR4/2 灰黄褐色シルトと炭を含む

SD2318・2769

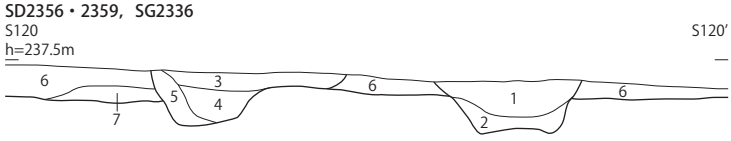


溝 SD2318・2769：S118 - S118′（X=-230165）
1 10YR4/2 灰黄褐色シルト，粗砂を少し含む，以下 3 層まで SD2318
2 10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを少し含む
3 10YR4/2 灰黄褐色粗砂，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む
4 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色粗砂を多く含む，以下 SD2769
5 10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと粗砂を含む



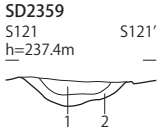
第 147 図　溝 SD2250・2251・2272・2273・2318・2339・2769，土坑 SK3292

SD2356・2359，SG2336



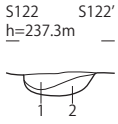
溝 SD2356・2359，川 SG2336：S120 - S120′（X=-230120）
1　10YR2/2 黒褐色シルト，10YR1.7/1 黒色シルトを含む，以下 2 層まで SD2359
2　10YR2/1 黒色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色細砂と炭を少し含む，以下 5 層まで SD2356
4　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR2/2 黒褐色シルトと炭を少し含む
5　10YR2/1 黒色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトと炭を少し含む
6　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR2/3 黒褐色シルトと 10YR4/3 にぶい黄褐色細砂を含む，以下 SG2336
7　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトをブロック状で含む

SD2359



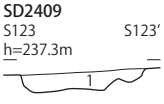
溝 SD2359：S121 - S121′（X=-230115）
1　10YR2/3 黒褐色シルト，10YR3/4 暗褐色砂を含む
2　10YR2/3 黒褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトを含む

SD2407



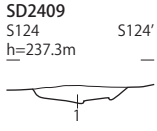
溝 SD2407：S122 - S122′（X=-230100）
1　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと 10YR3/3 暗褐色細砂を含む
2　10YR3/3 暗褐色細砂，10YR4/2 灰黄褐色シルトと 10YR3/2 黒褐色粘土を含む

SD2409



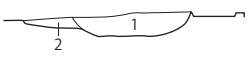
溝 SD2409：S123 - S123′（X=-230120）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色砂を含む

SD2409



溝 SD2409：S124 - S124′（X=-230110）
1　10YR3/1 黒褐色シルト，炭を多く含む

SD2410

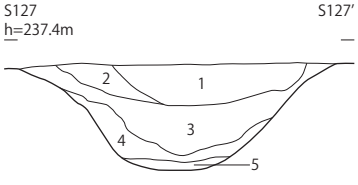


溝 SD2410：S125 - S125′（X=-230125）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色砂と炭を少し含む
2　10YR6/3 にぶい黄橙色細砂，10YR4/4 褐色細砂を含む

SD2410

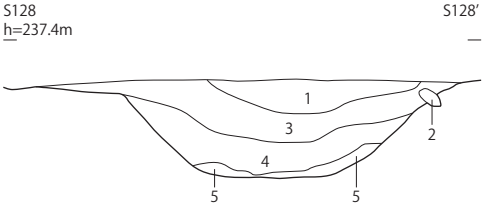
溝 SD2410：S126 - S126′（X=-230115）
1　10YR3/1 黒褐色シルト，石と炭を含む
2　10YR3/1 黒褐色砂，10YR4/2 灰黄褐色砂と炭を含む

SD2418



溝 SD2418：S127 - S127′（X=-230110）
1　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/4 褐色細砂と 10YR2/2 黒褐色粘土を含む
2　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと炭を少し含む
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色細砂を含む
4　10YR4/2 灰黄褐色粘土，10YR4/3 にぶい黄褐色細砂と 10YR3/1 黒褐色粘土と炭を含む
5　10YR4/1 褐灰色粘土，石を含む

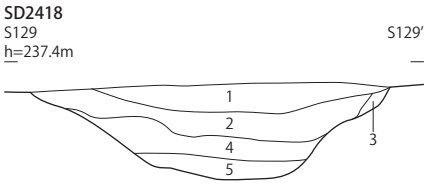
SD2418



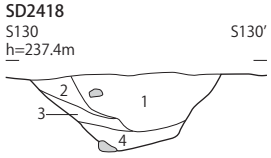
溝 SD2418：S128 - S128′（X=-230120）
1　10YR4/4 褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを多く含む
2　10YR3/2 黒褐色シルト
3　10YR3/2 黒褐色粘土，10YR4/2 灰黄褐色シルトと 10YR4/4 褐色砂を含む
4　10YR4/2 灰黄褐色粘土，10YR3/2 黒褐色粘土と 10YR5/3 にぶい黄褐色シルトと砂を多く含む
5　10YR2/2 黒褐色粘土，10YR3/2 黒褐色粘土と 10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む

0　2m
1:40

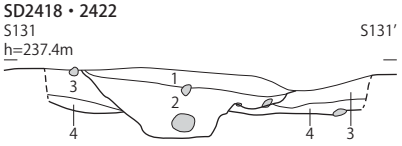
第 148 図　溝 SD2356・2359・2407・2409・2410・2418，川 SG2336



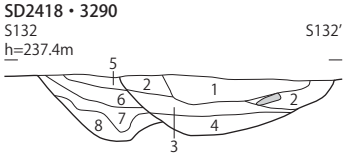
溝 SD2418：S129 - S129′（X=-230130）
1　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと炭を含む
2　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
4　10YR3/1 黒褐色粘土，10YR4/1 褐灰色シルトと砂を含む
5　10YR3/1 黒褐色粘土，10YR5/2 灰黄褐色シルトと 10YR2/1 黒色シルトと砂を含む



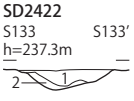
溝 SD2418：S130 - S130′（X=-230135）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR3/1 黒褐色粘土と 10YR4/2 灰黄褐色粗砂と石と炭を含む
2　10YR4/2 灰黄褐色粗砂，10YR4/2 灰黄褐色細砂と 10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む
3　10YR4/2 灰黄褐色細砂，10YR4/1 褐灰色粘土を含む
4　10YR4/1 褐灰色粘土，石を含む



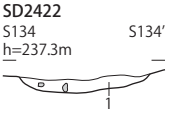
溝 SD2418・2422：S131 - S131′（X=-230135）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，石と炭を少し含む，以下 2 層まで SD2418
2　10YR3/2 黒褐色粘土，10YR4/2 灰黄褐色粗砂と石を含む
3　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR4/1 褐灰色粗砂と石を含む，以下 SD2422
4　10YR4/2 灰黄褐色粗砂，10YR4/2 灰黄褐色細砂と石を含む



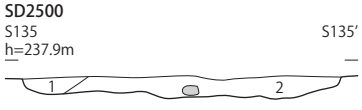
溝 SD2418・3290：S132 - S132′（X=-230140）
1　10YR4/1 褐灰色粗砂，10YR3/3 暗褐色シルトを含む，以下 4 層まで SD2418
2　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR3/3 暗褐色粗砂を含む
3　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR3/1 黒褐色粗砂と炭を含む
4　10YR3/1 黒褐色粘土，10YR5/1 褐灰色粘土を含む
5　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色粗砂を含む，以下 SD3290
6　10YR4/2 灰黄褐色粗砂，石を含む
7　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色粗砂を含む
8　10YR3/1 黒褐色粘土，10YR4/2 灰黄褐色粗砂を含む



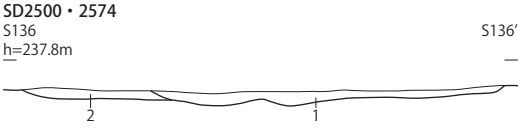
溝 SD2422：S133-S133′（X=-230125）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR3/4 暗褐色細砂と炭を含む
2　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/6 褐色砂を含む



溝 SD2422：S134-S134′（X=-230120）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色砂と石を含む



溝 SD2500：S135 - S135′（X=-230220）
1　10YR3/4 暗褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む
2　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む

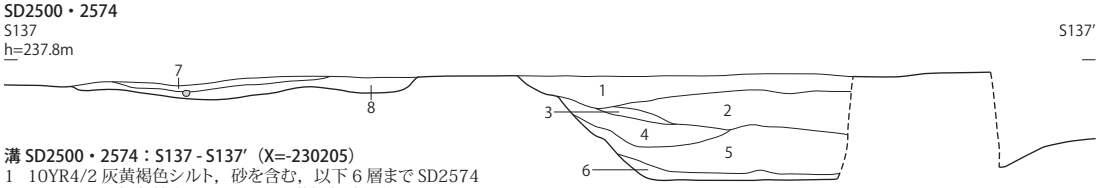


溝 SD2500・2574：S136 - S136′（X=-230210）
1　10YR2/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む，SD2500
2　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/3 暗褐色シルトを多く含む，SD2574

0　2m
1:40
石

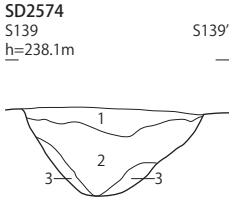
第 149 図　溝 SD2418・2422・3290・2500・2574

SD2500・2574

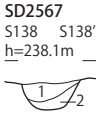


溝 SD2500・2574：S137 - S137′（X=-230205）
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，砂を含む，以下 6 層まで SD2574
2　10YR3/2 黒褐色粘土，10YR4/2 灰黄褐色砂を含む
3　10YR4/2 灰黄褐色砂，10YR3/2 黒褐色粘土を含む
4　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR2/2 黒褐色粘土と 10YR4/2 灰黄褐色粘土を含む
5　10YR3/1 黒褐色粘土，10YR4/2 灰黄褐色砂を含む
6　10YR5/1 褐灰色細砂，10YR3/1 黒褐色粘土を含む
7　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，砂を多く含む，以下 SD2500
8　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色砂を含む

SD2574



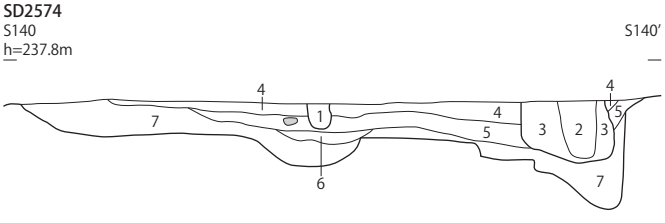
SD2567



溝 SD2567：S138 - S138′（X=-230245）
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
2　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む

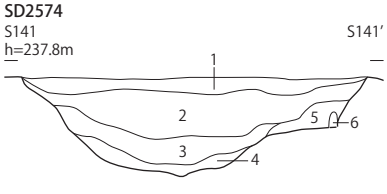
溝 SD2574：S139 - S139′（X=-230235）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む
2　10YR4/1 褐灰色粘土，10YR5/2 灰黄褐色シルトを含む
3　10YR4/1 褐灰色粘土，粗砂を多く含む

SD2574



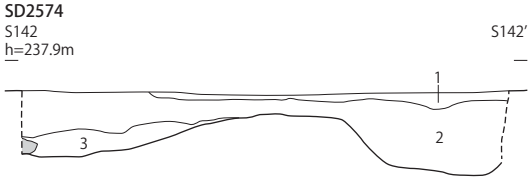
溝 SD2574：S140 - S140′（X=-230210）
1　10YR4/1 褐灰色シルト，ピット
2　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを含む，以下 3 層まで柱穴，柱痕
3　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，掘方
4　10YR2/1 黒色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを含む，以下 SD2574
5　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR2/1 黒色シルトを含む
6　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを含む
7　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトと 10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む

SD2574



溝 SD2574：S141 - S141′（X=-230210）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを少し含む
2　10YR4/2 灰黄褐色粘土
3　10YR3/2 黒褐色粘土，粗砂を少し含む
4　10YR5/1 褐灰色砂，10YR3/1 黒褐色粘土を多く含む
5　10YR3/1 黒褐色粘土，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む
6　10YR4/2 灰黄褐色シルト

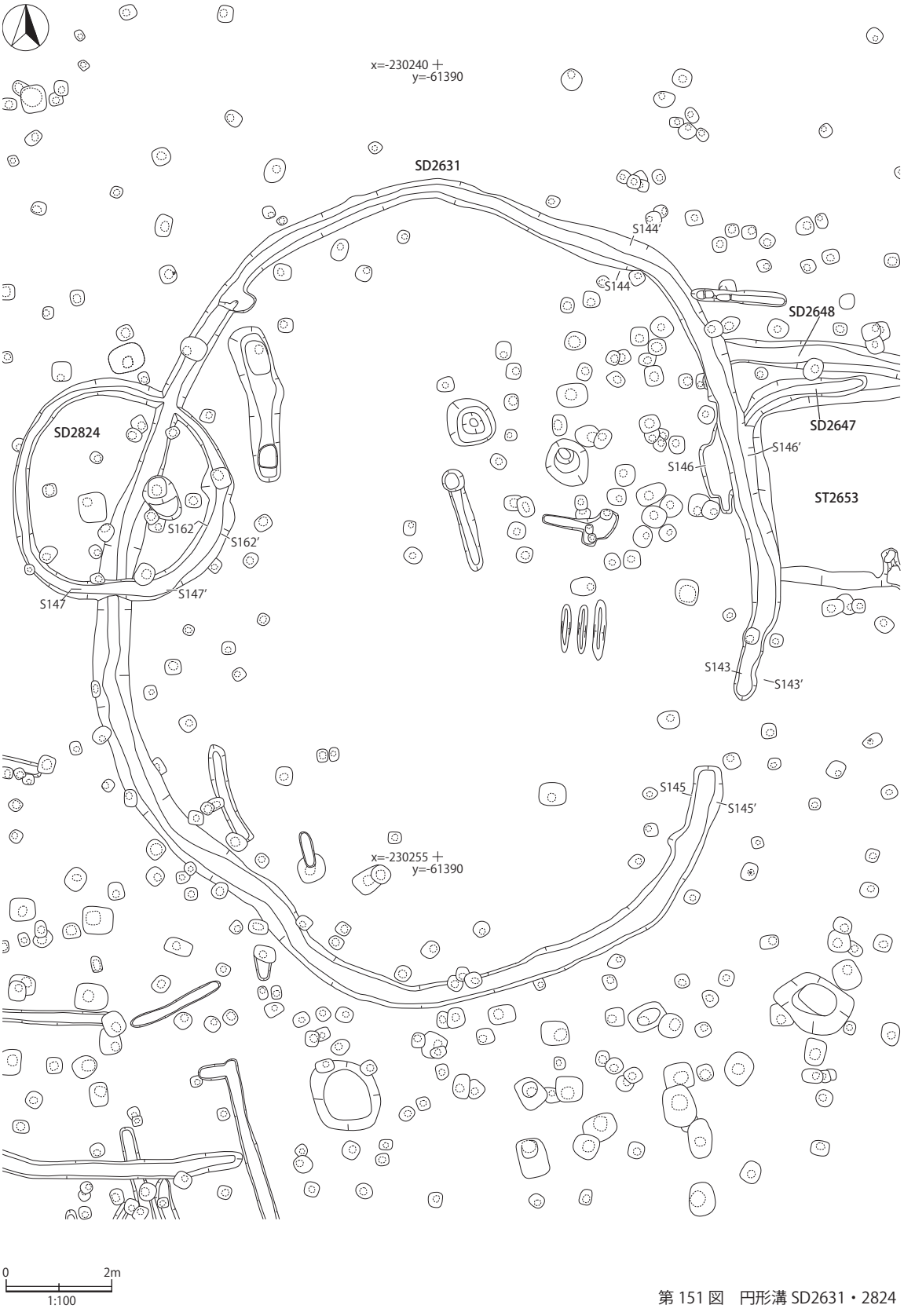
SD2574



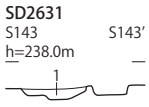
溝 SD2574：S142 - S142′（X=-230220）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む
2　10YR4/1 褐灰色粘土，10YR5/2 灰黄褐色シルトを含む
3　10YR4/1 褐灰色粘土，粗砂と石を多く含む

0　2m
1:40
石

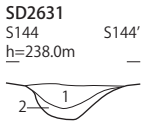
第 150 図　溝 SD2500・2567・2574



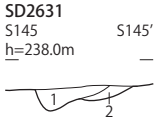
第 151 図　円形溝 SD2631・2824



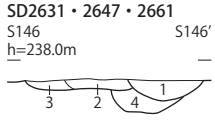
円形溝 SD2631：S143 - S143′（X=-230255）
1　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む



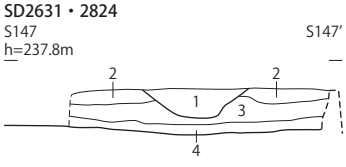
円形溝 SD2631：S144 - S144′（X=-230245）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを多く含む
2　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む



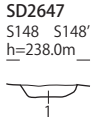
円形溝 SD2631：S145 - S145′（X=-230255）
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
2　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む



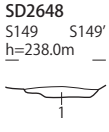
円形溝 SD2631，溝 SD2647・2661：S146 - S146′（X=-230250）
1　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む，SD2647
2　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下 3 層まで SD2661
3　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを多く含む
4　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトと 10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，SD2631



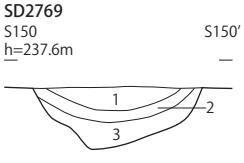
円形溝 SD2631・2824：S147 - S147′（X=-230250）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトと 10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，SD2631
2　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，以下 SD2824
3　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む
4　10YR5/1 褐灰色シルト



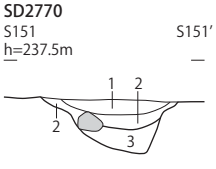
溝 SD2647：S148 - S148′（X=-230250）
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む



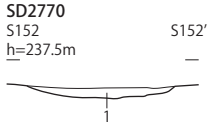
溝 SD2648：S149 - S149′（X=-230250）
1　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを多く含む



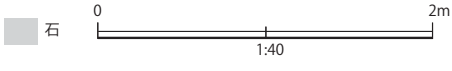
溝 SD2769：S150 - S150′（X=-230165）
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを多く含む
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色砂を多く含む
3　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと粗砂を含む



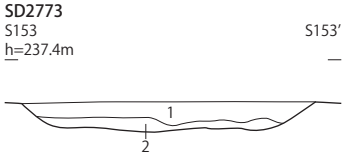
溝 SD2770：S151 - S151′（X=-230160）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色砂と粗砂を含む，以下 2 層まで SD2770
2　10YR4/2 灰黄褐色粘土，10YR3/2 黒褐色粘土と粗砂と炭と石を含む
3　10YR2/2 黒褐色粘土，10YR2/1 黒色粘土と 10YR4/2 灰黄褐色粘土と粗砂を含む , 土坑



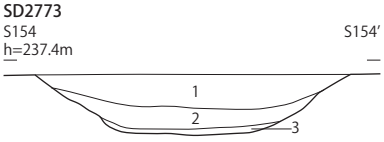
溝 SD2770：S152 - S152′（X=-230155）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，粗砂を含む



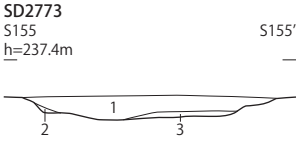
第 152 図　円形溝 SD2631・2824，溝 SD2647・2648・2661・2769・2770



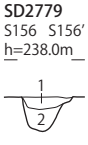
溝 SD2773：S153 - S153′（X=-230105）
1　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトを多く含む
2　10YR6/2 灰黄褐色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトを多く含む



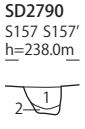
溝 SD2773：S154 - S154′（X=-230115）
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと炭を少し含む
2　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む
3　10YR5/3 灰黄褐色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトを多く含む



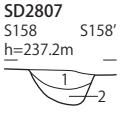
溝 SD2773：S155 - S155′（X=-230120）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトと 10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを含む
3　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトと 10YR3/3 暗褐色シルトを含む



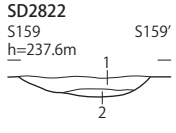
溝 SD2779：S156 - S156′（X=-230250）
1　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトと炭を少し含む
2　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトと砂を少し含む



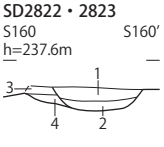
溝 SD2790：S157 - S157′（X=-230245）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを少し含む
2　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む



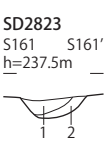
溝 SD2807：S158 - S158′（X=-230070）
1　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む



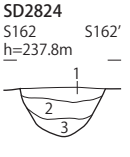
溝 SD2822：S159 - S159′（X=-230165）
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト
2　10YR3/2 黒褐色粗砂，礫を含む



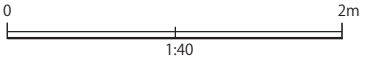
溝 SD2822・2823：S160 - S160′（X=-230165）
1　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，以下 2 層まで SD2823
2　10YR4/2 灰黄褐色砂，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む
3　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む，以下 SD2822
4　10YR4/2 灰黄褐色シルト



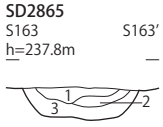
溝 SD2823：S161 - S161′（X=-230165）
1　10YR5/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む
2　10YR4/2 灰黄褐色砂，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む



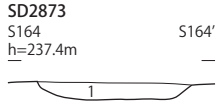
溝 SD2824：S162 - S162′（X=-230250）
1　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む
2　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む
3　10YR5/1 褐灰色シルト



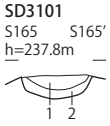
第 153 図　溝 SD2773・2779・2790・2807・2822 ～ 2824



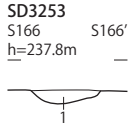
溝 SD2865：S163 - S163′（X=-230250）
1　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む
2　10YR6/6 明黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを含む
3　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR6/6 明黄褐色シルトを含む



溝 SD2873：S164 - S164′（X=-230115）
1　10YR6/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む

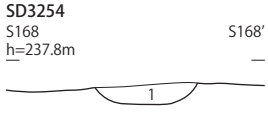


溝 SD3101：S165 - S165′（X=-230225）
1　10YR6/6 明黄褐色シルト，10YR5/1 褐灰色シルトを含む
2　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR5/1 褐灰色砂と 10YR6/6 明黄褐色シルトを少し含む

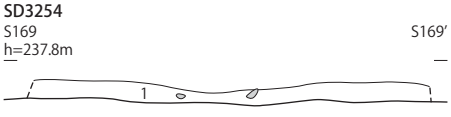


溝 SD3253：S166 - S166′（X=-230195）
1　10YR3/3 暗褐色砂，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む

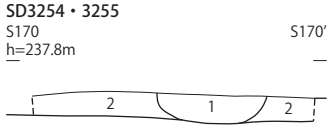
溝 SD3253：S167 - S167′（X=-230200）
1　10YR3/3 暗褐色砂，10YR3/2 黒褐色シルトを少し含む



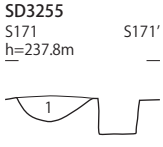
溝 SD3254：S168 - S168′（X=-230195）
1　10YR4/3 にぶい黄褐色砂，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む



溝 SD3254：S169 - S169′（X=-230200）
1　10YR4/3 にぶい黄褐色砂，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む



溝 SD3254・3255：S170 - S170′（X=-230205）
1　10YR4/2 灰黄褐色砂，10YR4/1 褐灰色シルトを多く含む，SD3254
2　10YR4/2 灰黄褐色砂，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む，SD3255



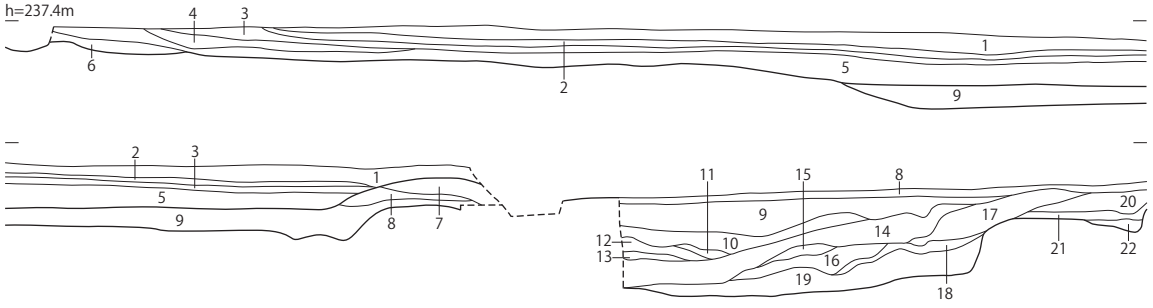
溝 SD3255：S171 - S171′（X=-230210）
1　10YR4/2 灰黄褐色砂，10YR4/1 褐灰色シルトを少し含む

石

0　2m
1:40

第 154 図　溝 SD2865・2873・3101・3253 ～ 3255

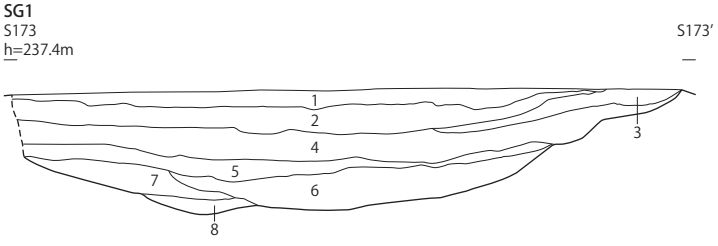
SG1・2699



川 SG1・2699：S172 - S172′（X=-230145）

1　10YR4/1 褐灰色粘土，2.5YR6/2 灰赤色粘土を少し含む，以下 6 層まで SG1
2　2.5YR6/2 灰赤色粘土，10YR3/1 黒褐色シルトを含む
3　10YR3/1 褐灰色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む
4　10YR5/2 灰黄褐色粘土，10YR3/1 褐灰色粘土を少し含む
5　10YR4/2 灰黄褐色シルト，砂と石を含む
6　10YR4/3 にぶい黄褐色粗砂，10YR3/1 黒褐色シルトと 10YR6/4 にぶい黄橙色シルトと石を含む
7　10YR4/2 灰黄褐色粗砂，10YR4/1 褐灰色粘土を少し含む，以下 SG2699
8　10YR5/2 灰黄褐色粗砂，10YR3/2 黒褐色シルトを含む
9　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルト粘土を多く含む
10　10YR4/1 褐灰色粗砂，10YR5/6 黄褐色粗砂を含む
11　10YR1.7/1 黒色粘土，10YR4/1 褐灰色粗砂を少し含む
12　10YR5/1 褐灰色粗砂，石を含む
13　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/1 褐灰色粗砂と植物根を少し含む
14　10YR4/1 褐灰色粗砂，石を多く含む
15　10YR2/1 黒色粘土，10YR5/1 褐灰色粗砂を少し含む
16　10YR5/1 褐灰色粗砂，10YR6/1 褐灰色細砂と石を含む
17　10YR6/2 灰黄褐色細砂，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む
18　10YR2/1 黒色粘土，10YR1.7/1 黒色粘土を含む
19　10YR3/1 黒褐色粘土，10YR6/1 褐灰色細砂を少し含む
20　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色粘土と 10YR7/2 にぶい黄橙色細砂を少し含む
21　10YR7/2 にぶい黄橙色細砂，10YR4/2 灰黄褐色粘土を少し含む
22　10YR4/2 灰黄褐色粘土，10YR7/2 にぶい黄橙色細砂を少し含む

SG1

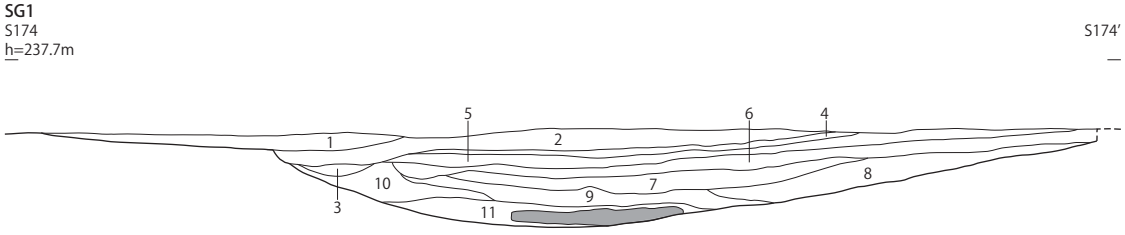


川 SG1：S173 - S173′（X=-230100）

1　10YR3/2 黒褐色シルト
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む，火山灰を層状に含む
3　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む
4　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色砂と石を少し含む
5　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを含む，石を少し含む
6　10YR2/1 黒色粘土，10YR3/1 黒褐色シルトを含む
7　10YR5/4 にぶい黄褐色砂，10YR3/1 黒褐色シルトを含む，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトを少し含む
8　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR5/4 にぶい黄褐色砂を含む

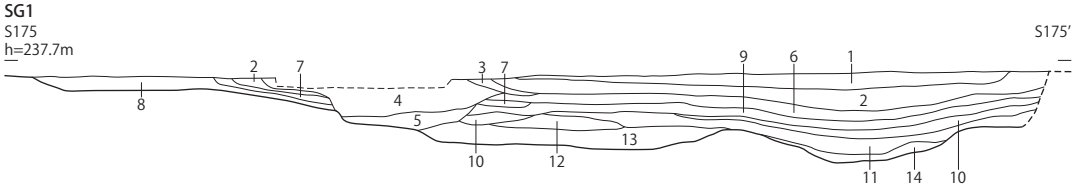
0　2m
1:60

第 155 図　川 SG1・2699



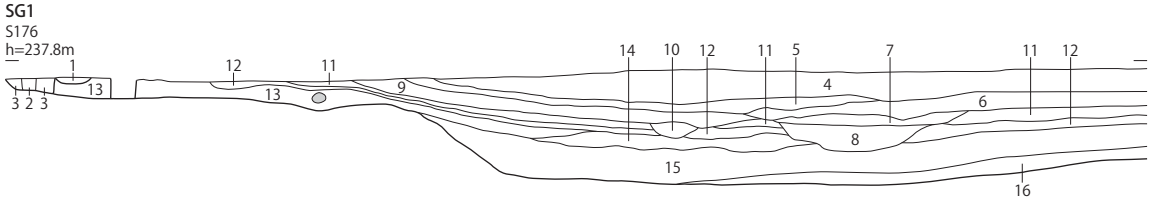
川 SG1：S174 - S174′（X=-230190）

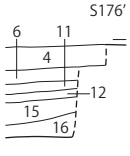
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR2/1 黒色シルトと 10YR4/3 砂と炭を含む
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトと炭を少し含む
3　10YR4/2 灰黄褐色粗砂，石を含む
4　10YR6/2 灰黄褐色粘土，10YR3/2 黒褐色シルトを含む
5　10YR3/1 黒褐色粘土，炭を多く含む
6　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR3/1 黒褐色粘土と炭を含む
7　10YR3/1 黒褐色粘土，10YR4/3 にぶい黄褐色粗砂を含む
8　10YR4/1 褐灰色粘土，炭を含む
9　10YR2/1 黒色粘土，砂と炭と植物遺体を多く含む
10　10YR5/1 褐灰色粘土，10YR5/3 にぶい黄褐色粘土と炭を含む
11　10YR3/1 黒褐色粘土，砂と植物遺体を多く含む



川 SG1(205-50)：S175 - S175′（X=-230205）

1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR2/1 黒色シルトと 10YR4/3 砂と炭を含む
2　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトと炭を少し含む
3　10YR4/2 灰黄褐色粗砂，石を含む
4　10YR4/3 にぶい黄褐色粗砂，10YR4/1 褐灰色シルトと砂と炭を含む
5　10YR4/3 にぶい黄褐色，石と炭を含む
6　10YR6/2 灰黄褐色粘土，10YR3/2 黒褐色シルトを含む
7　10YR3/2 黒褐色粗砂，10YR3/2 黒褐色シルトと炭を含む
8　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR3/1 黒褐色粘土と炭を含む
9　10YR3/1 黒褐色粘土，炭を多く含む
10　10YR3/1 黒褐色粘土，10YR4/3 にぶい黄褐色粗砂を含む
11　10YR4/1 褐灰色粘土，炭を含む
12　10YR4/2 粗砂，石を多く含む
13　10YR5/1 褐灰色粘土，10YR5/3 にぶい黄褐色粘土と炭を含む
14　10YR2/1 黒色粘土，砂と炭と植物遺体を多く含む



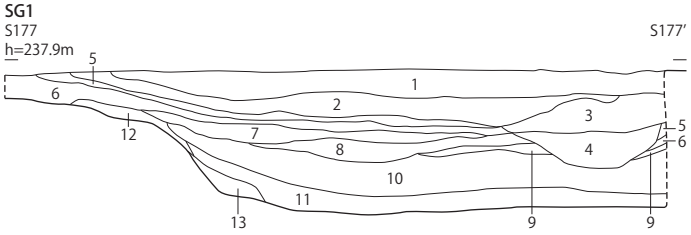


川 SG1：S176 - S176′（X=-230225）

1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを多く含む，溝
2　10YR3/2 黒褐色シルト，以下 3 層まで柱穴
3　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトを含む
4　10YR3/3 暗褐色シルト，炭を少し含む，以下 SG1
5　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトと炭を含む
6　10YR4/2 灰黄褐色砂，10YR3/4 暗褐色シルトと 10YR6/3 にぶい黄橙色シルトと炭を含む
7　10YR3/1 黒褐色粘土，10YR6/2 灰黄褐色シルトを含む
8　10YR4/1 褐灰色砂，10YR4/1 褐灰色粗砂と石を多く含む
9　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトと炭を含む
10　10YR4/2 灰黄褐色粗砂
11　10YR6/3 にぶい黄橙色シルト
12　10YR4/1 褐灰色粘土，炭を多く含む
13　10YR4/2 灰黄褐色シルト，炭を少し含む
14　10YR5/2 灰黄褐色シルト，10YR4/1 褐灰色シルトと 10YR3/1 黒褐色シルトを含む
15　10YR2/1 黒色シルト，粗砂と炭と植物遺体を含む
16　10YR3/1 黒褐色粘土，砂と炭と植物遺体を多く含む

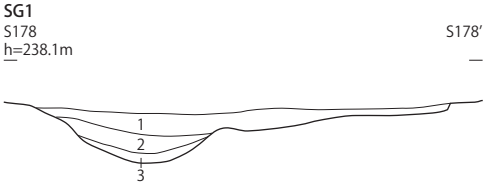
0　2m
1:60
木　石

第 156 図　川 SG1

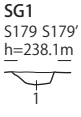


川 SG1：S177 - S177′（X=-230235）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，炭を少し含む
2　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色細砂と炭を少し含む
3　10YR4/3 にぶい黄褐色細砂，10YR3/2 黒褐色シルトと 10YR4/3 にぶい黄褐色粗砂と石を多く含む
4　10YR4/4 褐色細砂，10YR4/1 褐灰色粗砂と炭を含む
5　2.5YR6/2 灰黄色粘土，10YR4/1 褐灰色粘土を含む
6　10YR2/2 黒褐色粘土，炭を少し含む
7　10YR3/1 黒褐色粘土，10YR3/1 黒褐色粗砂と石を含む
8　10YR4/1 褐灰色粘土，10YR4/1 粗砂と炭を少し含む
9　10YR4/1 褐灰色粗砂，石と炭を少し含む
10　10YR2/1 黒色粘土，石と炭を多く含む
11　10YR1.7/1 黒色粘土，10YR4/1 褐灰色粘土と炭を含む
12　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色細砂を含む
13　2.5YR4/1 黄灰色粘土，2.5YR4/1 黄灰色細砂を含む

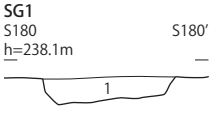
0　2m
1:60



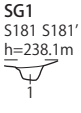
川 SG1：S178 - S178′（X=-230245）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを含む
2　10YR3/1 黒褐色シルト
3　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む



川 SG1：S179 - S179′（X=-230265）
1　10YR3/3 暗褐色シルト，10YR3/4 暗褐色シルトを含む



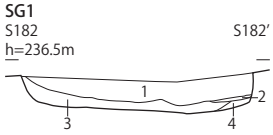
川 SG1：S180 - S180′（X=-230265）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR3/4 暗褐色シルトを含む



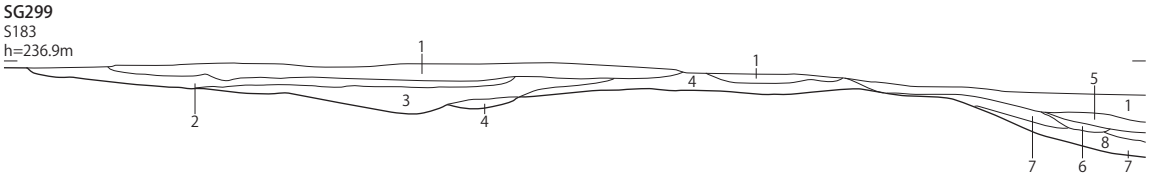
川 SG1：S181 - S181′（X=-230265）
1　10YR3/3 暗褐色シルト，炭を少し含む

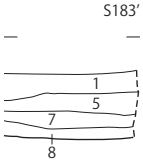
0　2m
1:40

第 157 図　川 SG1

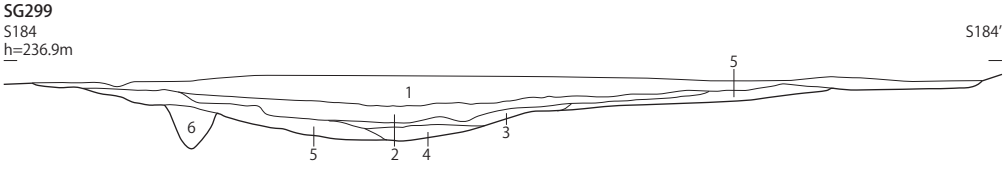


川 SG1：S182 - S182′（X=-230045）
1　10YR4/2 灰黄褐色砂，10YR3/1 黒褐色粘土を少し含む
2　10YR3/2 黒褐色粘土
3　10YR3/1 黒褐色粘土
4　10YR4/2 灰黄褐色粘土

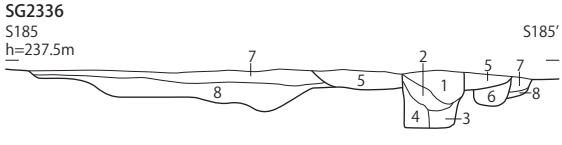




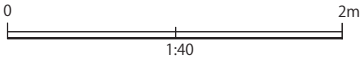
川 SG299：S183 - S183′（X=-230045）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを少し含む
2　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトと 10YR4/4 褐色シルトを少し含む
3　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，10YR4/4 褐色シルトを少し含む
4　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを少し含む
5　10YR2/1 黒色シルト，10YR4/4 褐色シルトを少し含む
6　10YR4/1 褐灰色砂，10YR4/4 褐色砂を少し含む
7　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，10YR3/4 暗褐色砂を少し含む
8　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを少し含む



川 SG299：S184 - S184′（X=-230055）
1　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR4/4 褐色シルトを少し含む
2　10YR2/1 黒色シルト，10YR4/4 褐色シルトを少し含む
3　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，10YR4/4 褐色シルトを少し含む
4　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを含む，10YR4/4 褐色シルトを少し含む
5　10YR3/1 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む，10YR4/4 褐色シルトを少し含む
6　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR4/4 褐色シルトを少し含む

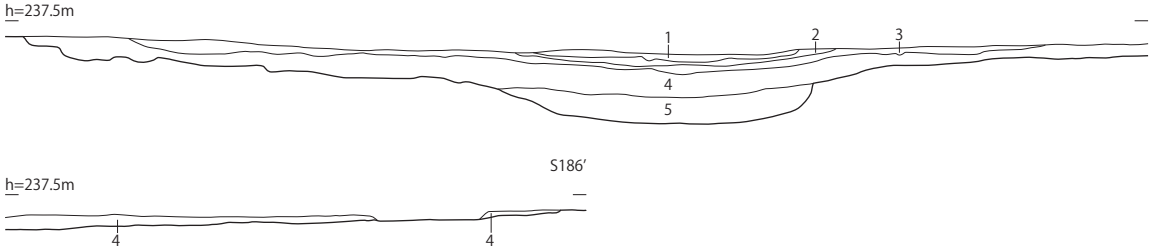


川 SG2336：S185 - S185′（X=-230125）
1　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/2 黒褐色シルトと炭を含む，以下 4 層まで柱穴
2　10YR2/3 黒褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色シルトを含む
3　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトを含む
4　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR3/1 黒褐色シルトと炭を少し含む
5　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR5/3 にぶい黄褐色砂と炭を多く含む，土坑
6　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト，10YR3/3 黒褐色シルトと炭を少し含む，柱穴
7　10YR3/2 黒褐色シルト，10YR2/1 黒色シルトと 10YR4/3 にぶい黄褐色砂と炭を少し含む，以下 SG2336
8　10YR4/2 灰黄褐色シルト，10YR4/2 灰黄褐色粗砂と炭を少し含む



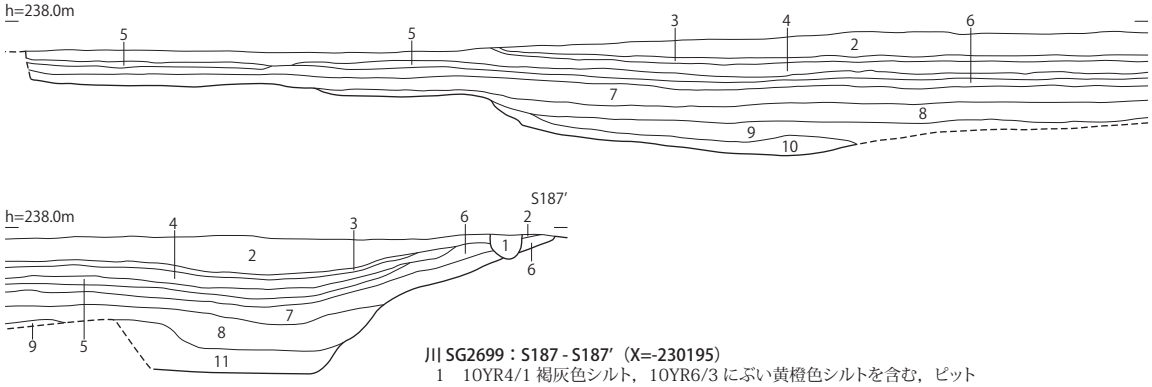
第 158 図　川 SG1・299・2336

SG2699
S186
h=237.5m

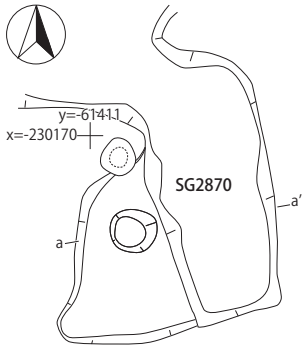


川 SG2699：S186 - S186′（X=-230175）
1　10YR4/1 褐灰色粘土，10YR6/2 灰黄褐色粘土と炭を少し含む
2　10YR6/2 灰黄褐色粘土，10YR4/1 褐灰色粘土を少し含む
3　10YR4/1 褐灰色粘土，10YR6/2 灰黄褐色粘土と炭を少し含む
4　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR4/1 褐灰色粘土を少し含む
5　10YR3/1 黒褐色粘土，炭を少し含む

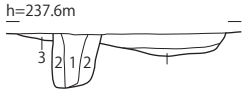
SG2699
S187
h=238.0m



川 SG2699：S187 - S187′（X=-230195）
1　10YR4/1 褐灰色シルト，10YR6/3 にぶい黄橙色シルトを含む，ピット
2　10YR5/1 褐灰色シルト，10YR6/2 灰黄褐色シルトと炭を少し含む，以下 SG2699
3　10YR7/2 にぶい黄橙色粘土，10YR5/1 褐灰色粘土を少し含む
4　10YR5/1 褐灰色粘土，10YR7/2 にぶい黄橙色粘土と炭を少し含む
5　10YR7/2 にぶい黄橙色粘土，10YR5/1 褐灰色粘土を少し含む
6　10YR4/1 褐灰色粘土，10YR7/2 にぶい黄橙色粘土と炭を少し含む
7　10YR6/1 褐灰色粘土，10YR4/1 褐灰色粘土と炭を少し含む
8　10YR4/1 褐灰色粘土，10YR6/2 灰黄褐色粘土と炭を少し含む
9　10YR7/2 にぶい黄橙色砂，10YR5/1 褐灰色粘土と石を多く含む
10　10YR5/1 褐灰色粘土，10YR6/2 灰黄褐色粘土と砂と炭を少し含む
11　10YR6/2 灰黄褐色砂，10YR5/4 にぶい黄褐色シルトと石を多く含む，古墳時代の土器を含む



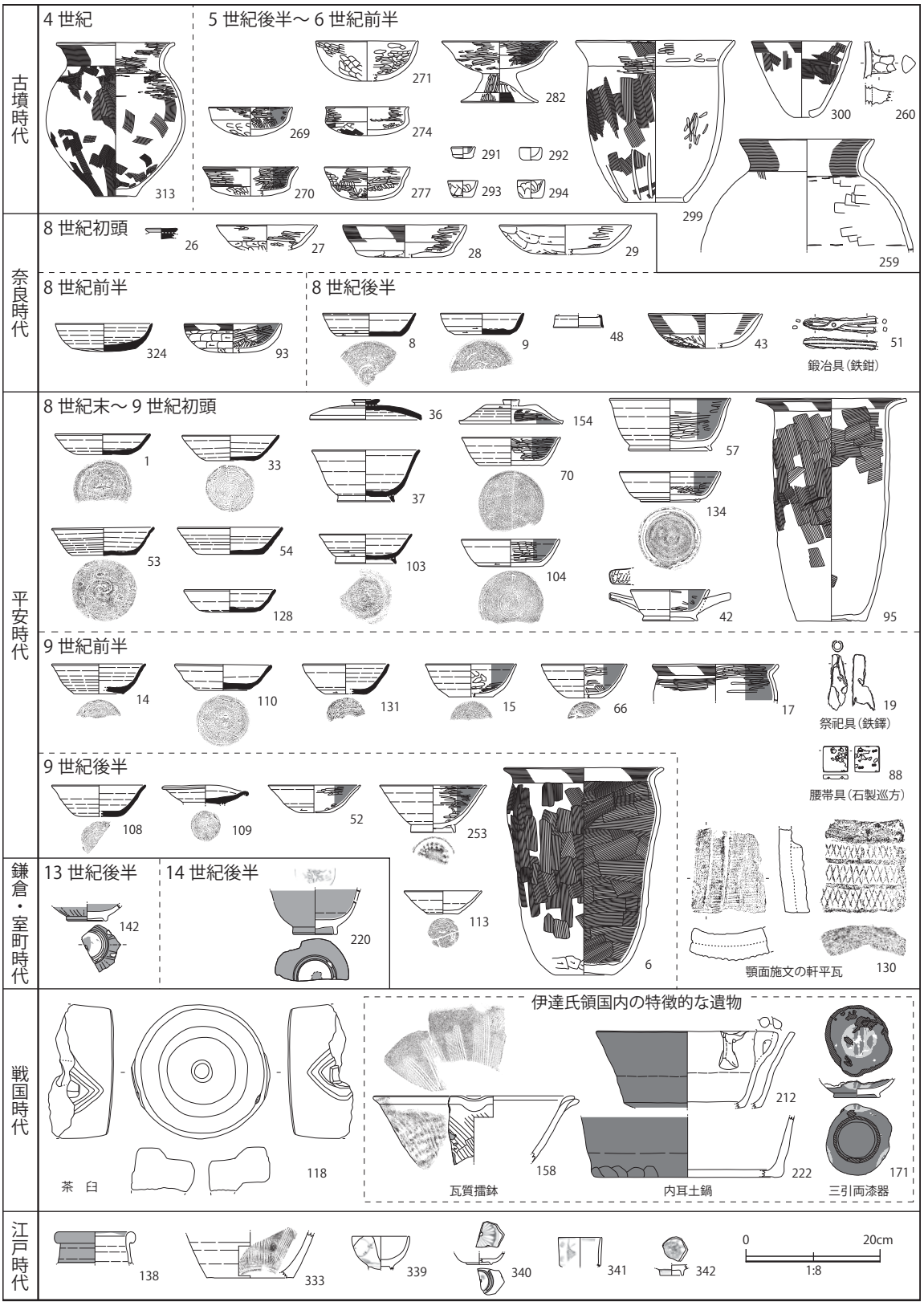
SG2870
a　　a′
h=237.6m



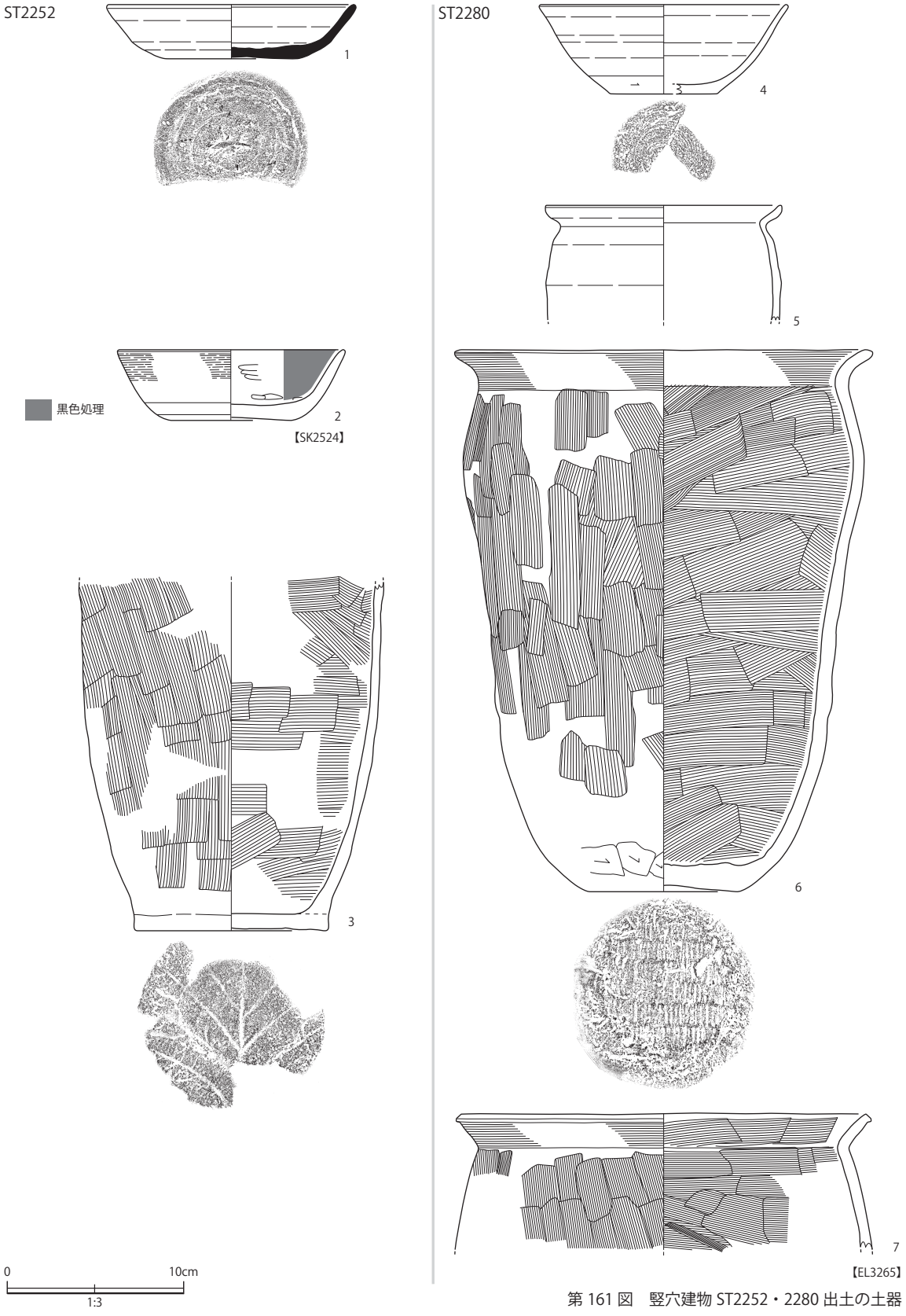
流路 SG2870：a - a′
1　10YR3/1 黒褐色シルト , 10YR5/3 にぶい黄褐色シルトを含む，以下 2 層まで柱穴，柱痕
2　10YR4/1 褐灰色シルト , 10YR5/2 灰黄褐色砂を多く含む，掘方
3　10YR4/2 灰黄褐色シルト , 粗砂と石を多く含む，以下 SG2870
4　10YR4/2 灰黄褐色シルト , 粗砂を含む

0　　2m
1:60

第 159 図　川 SG2699，流路 SG2870

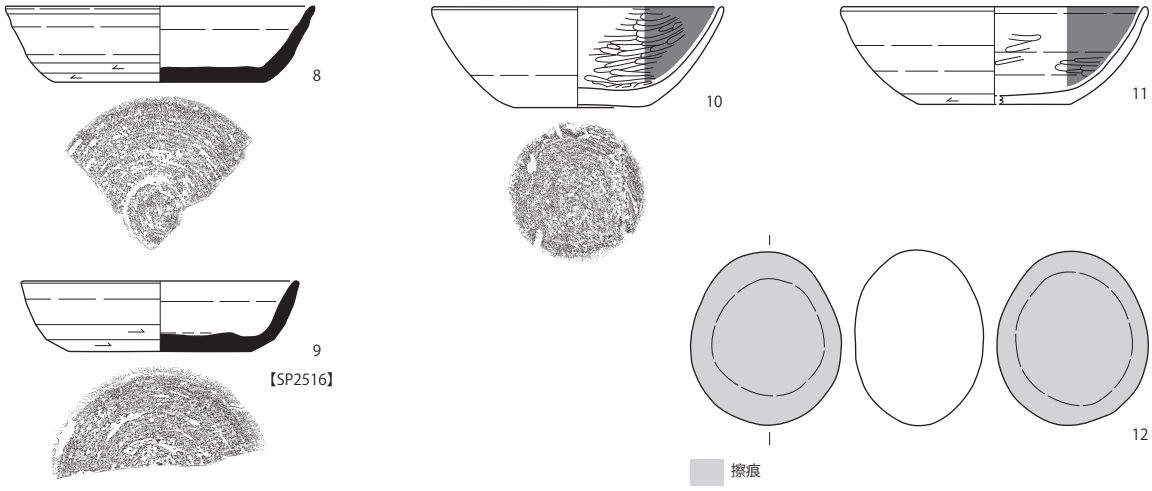


第 160 図　西谷地ｂ遺跡の遺物相

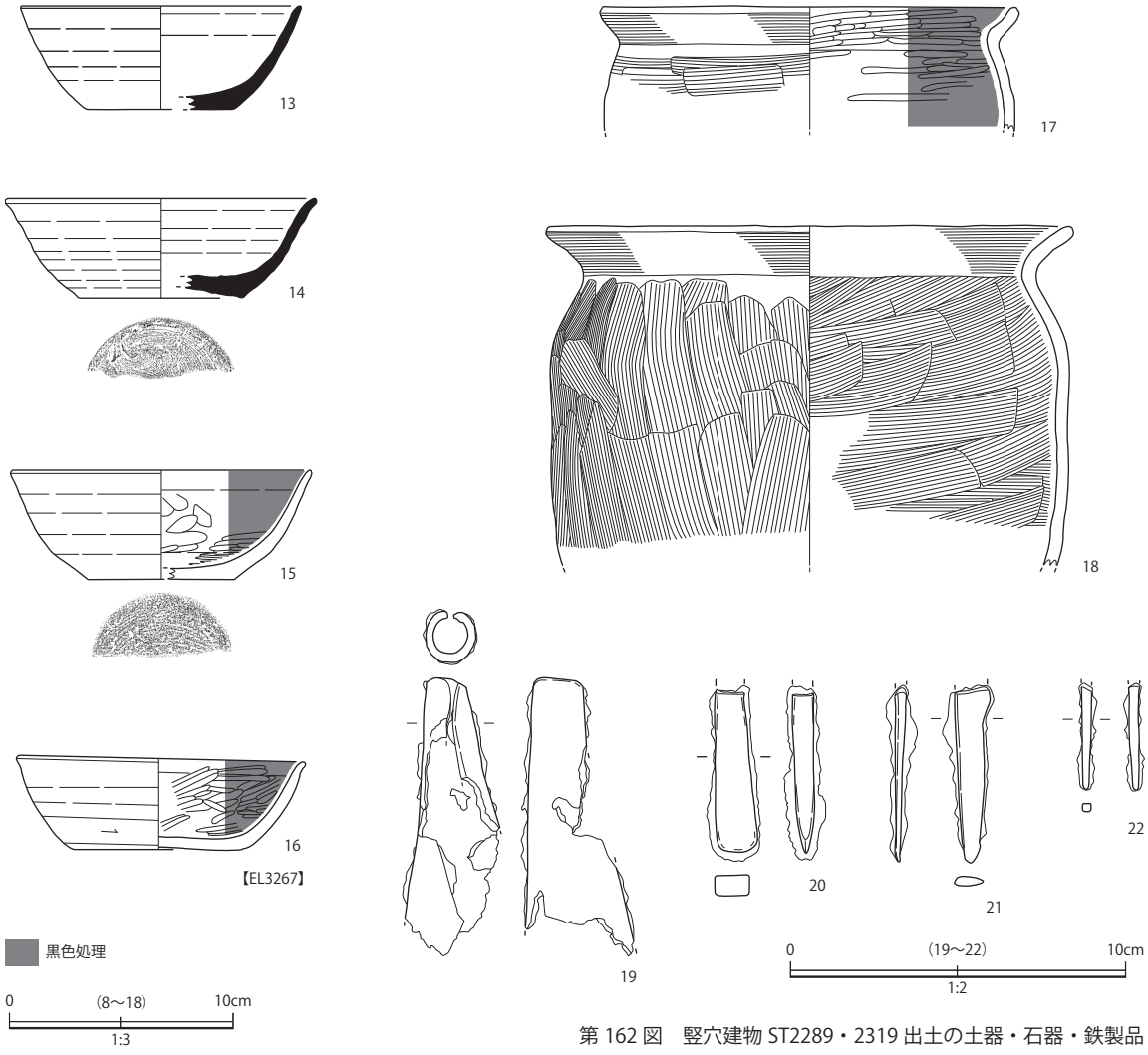


第 161 図　竪穴建物 ST2252・2280 出土の土器

ST2289

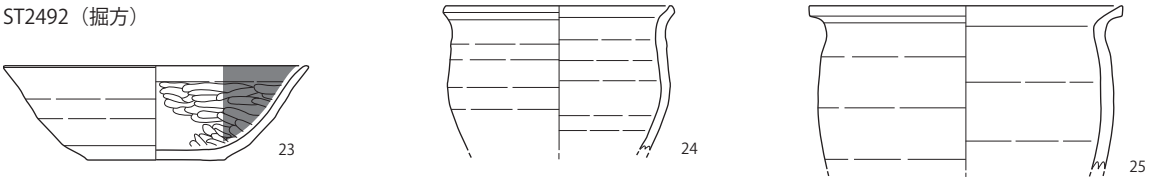


ST2319



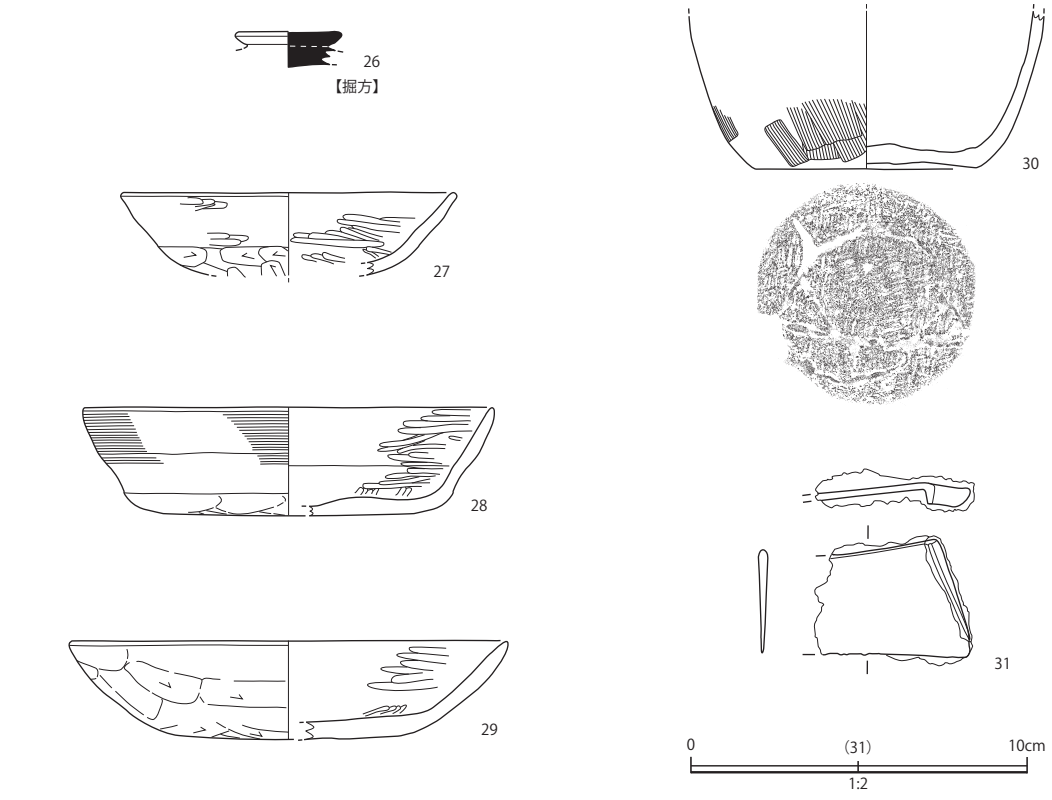
第 162 図　竪穴建物 ST2289・2319 出土の土器・石器・鉄製品

ST2492（掘方）

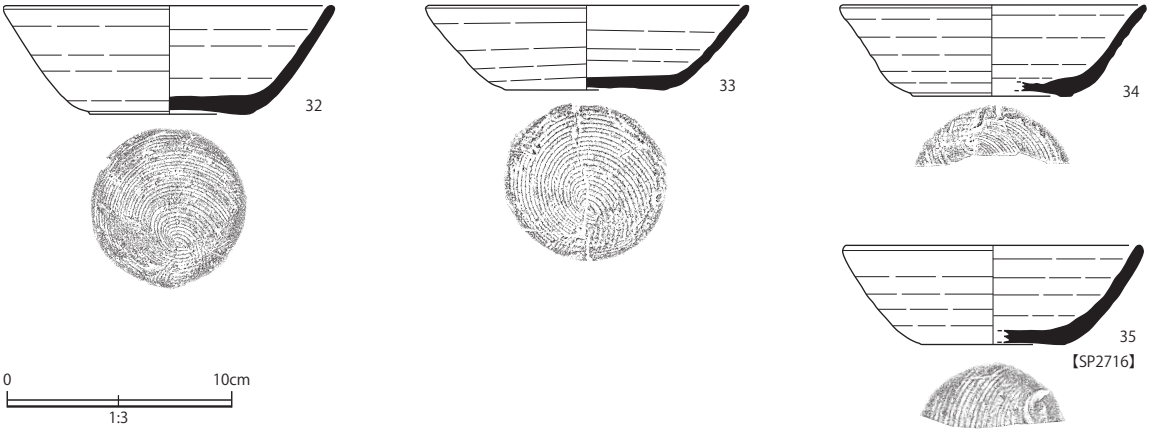


黒色処理

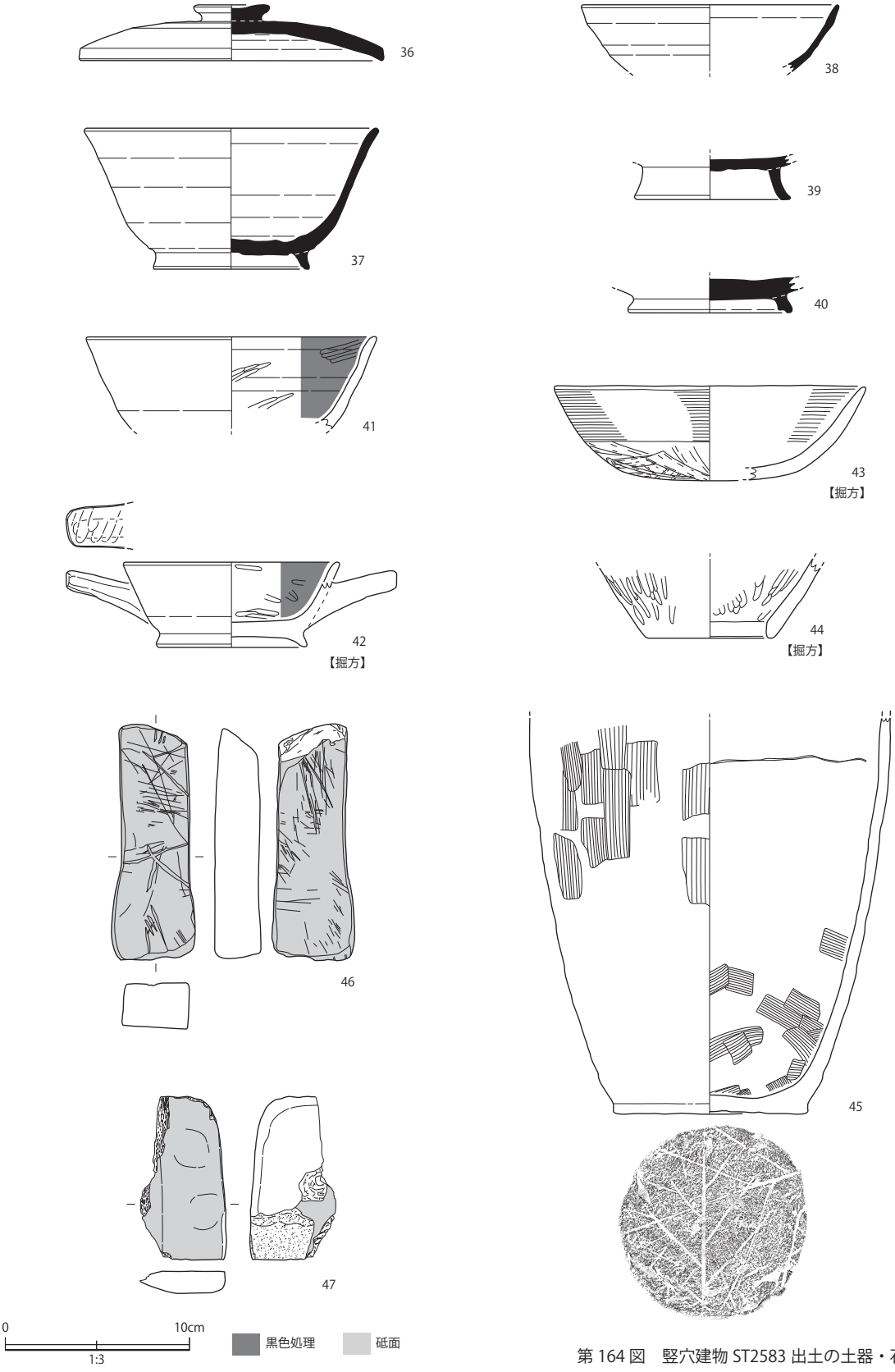
ST2582



ST2583

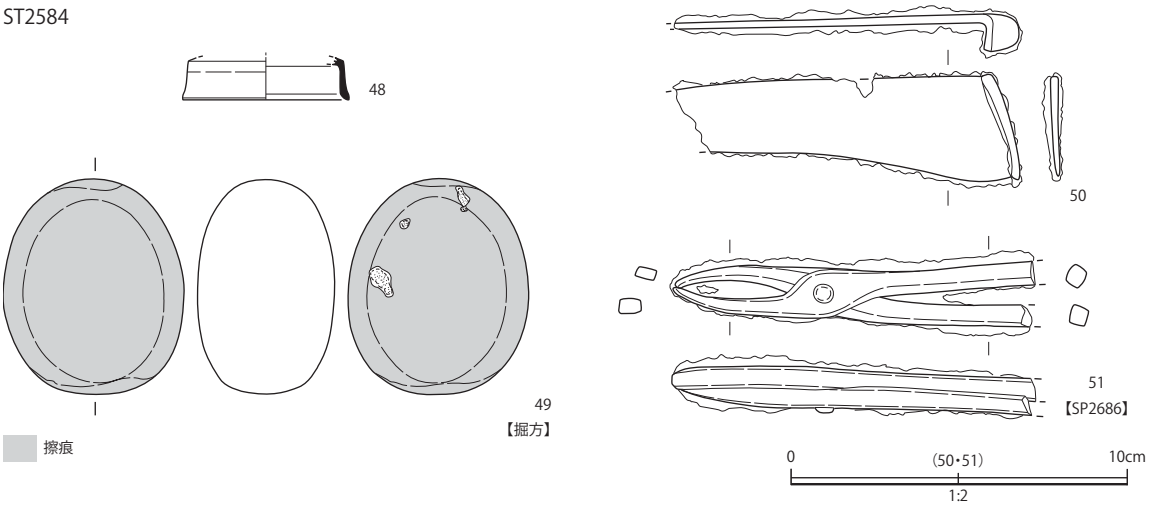


第 163 図　竪穴建物 ST2492・2582・2583 出土の土器・鉄製品



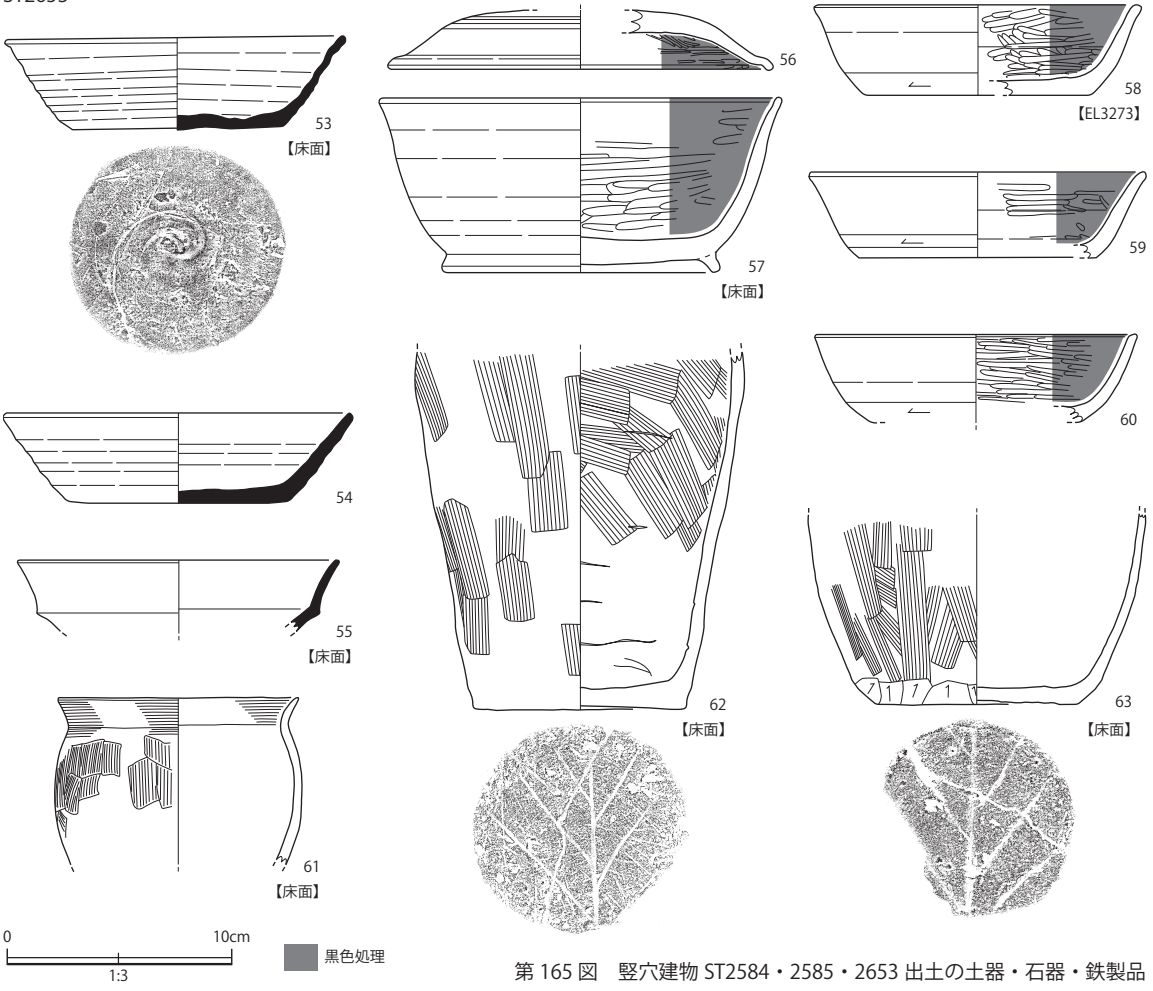
第 164 図　竪穴建物 ST2583 出土の土器・石製品

ST2584

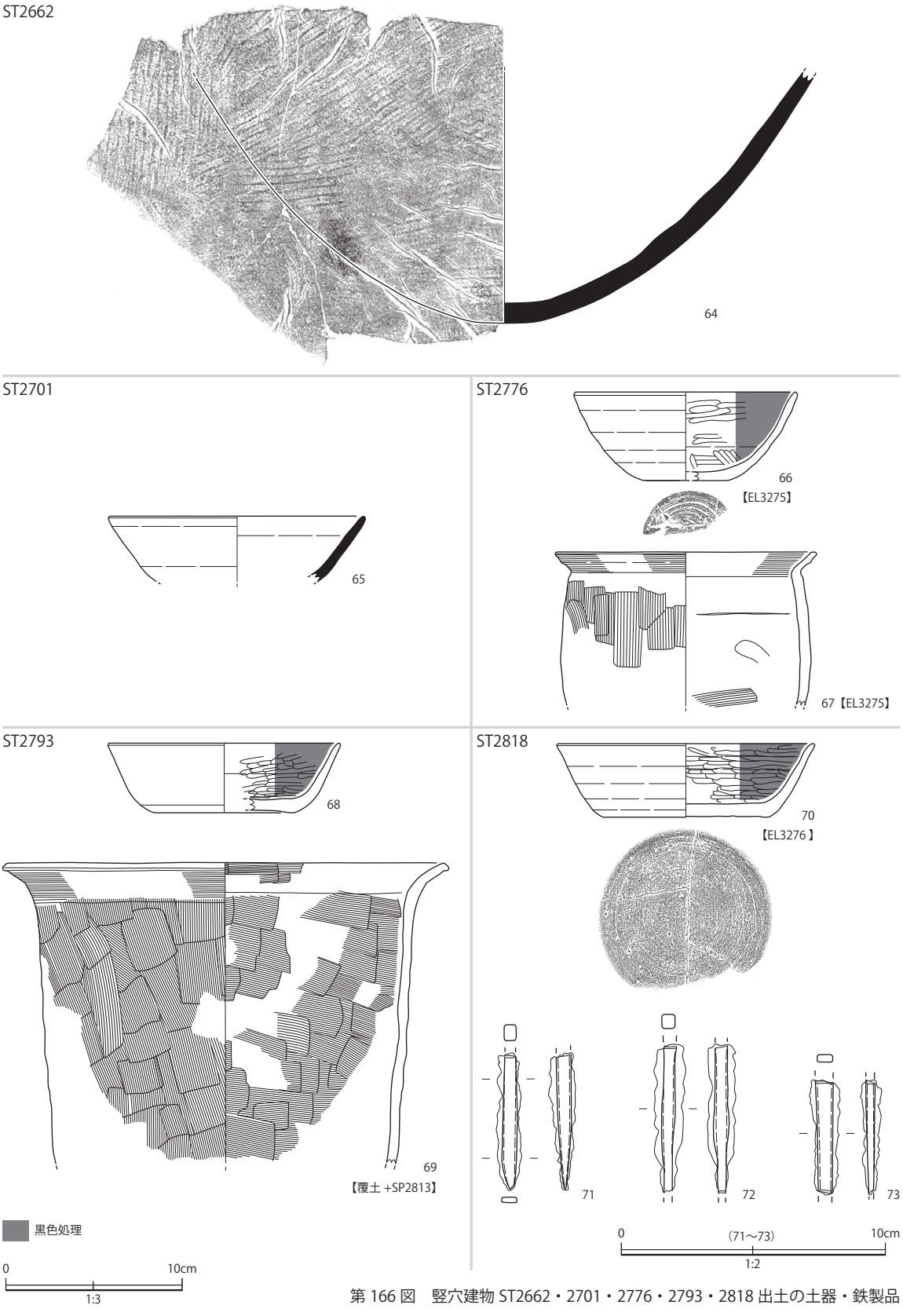


ST2585

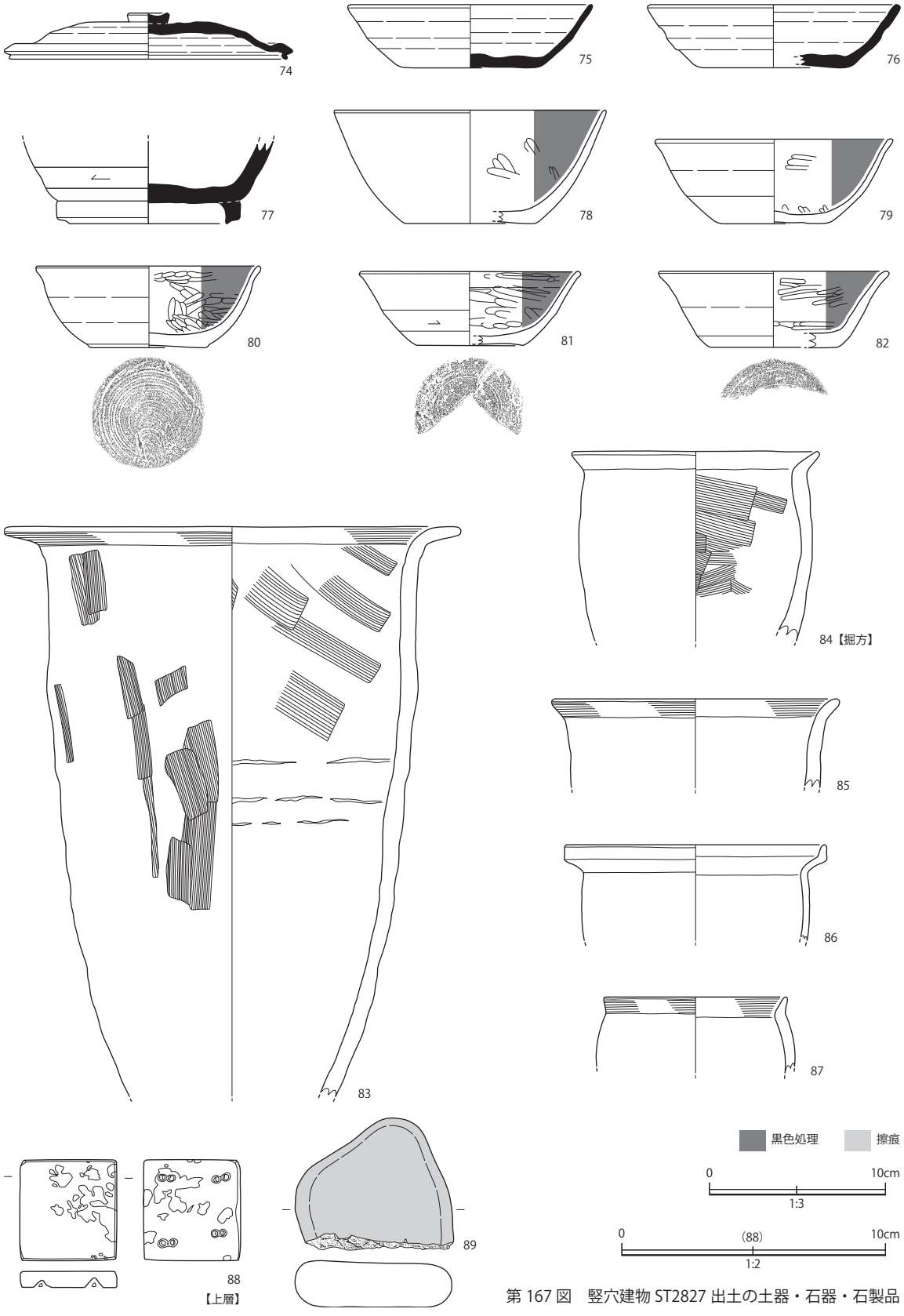
ST2653



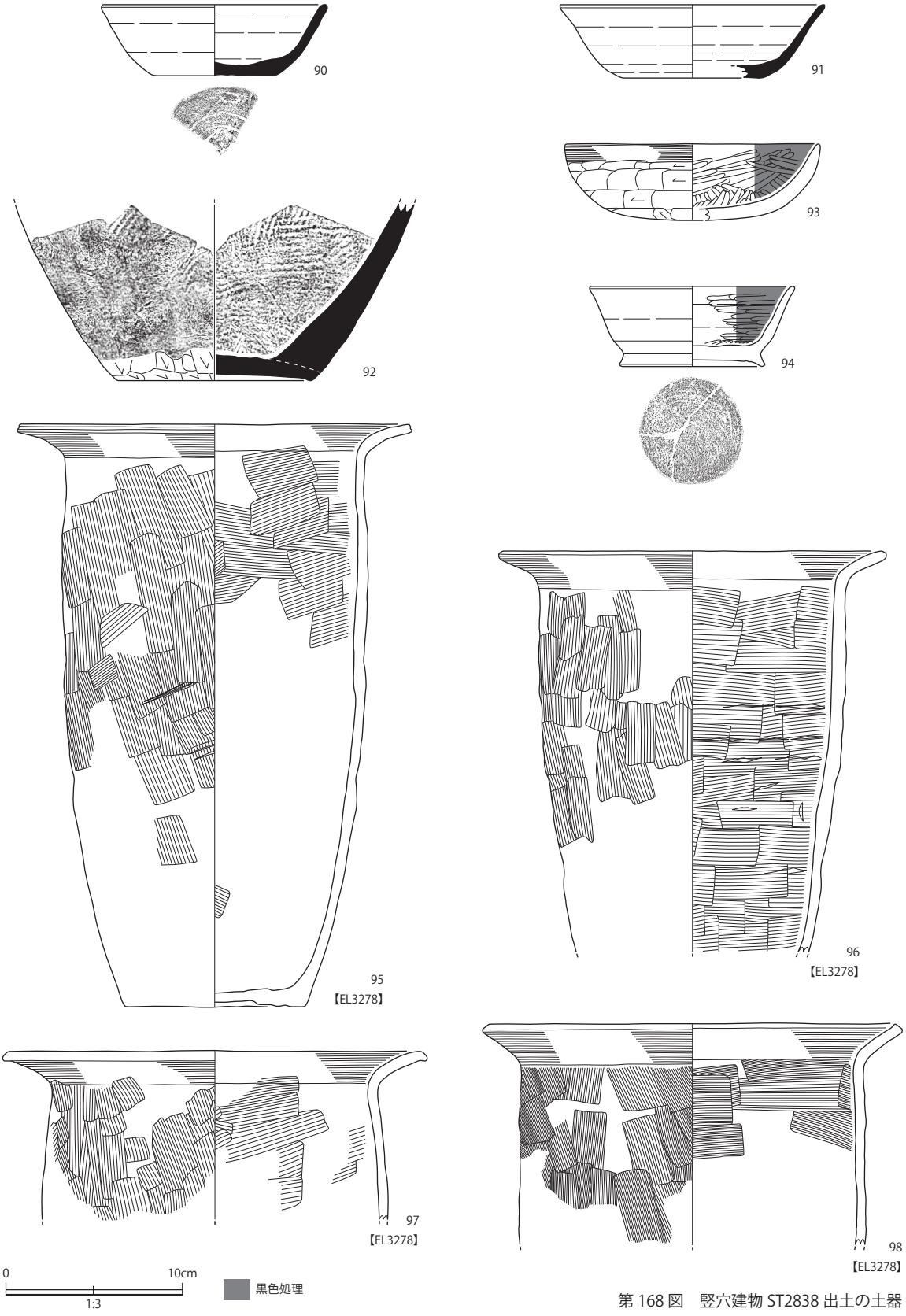
第 165 図　竪穴建物 ST2584・2585・2653 出土の土器・石器・鉄製品



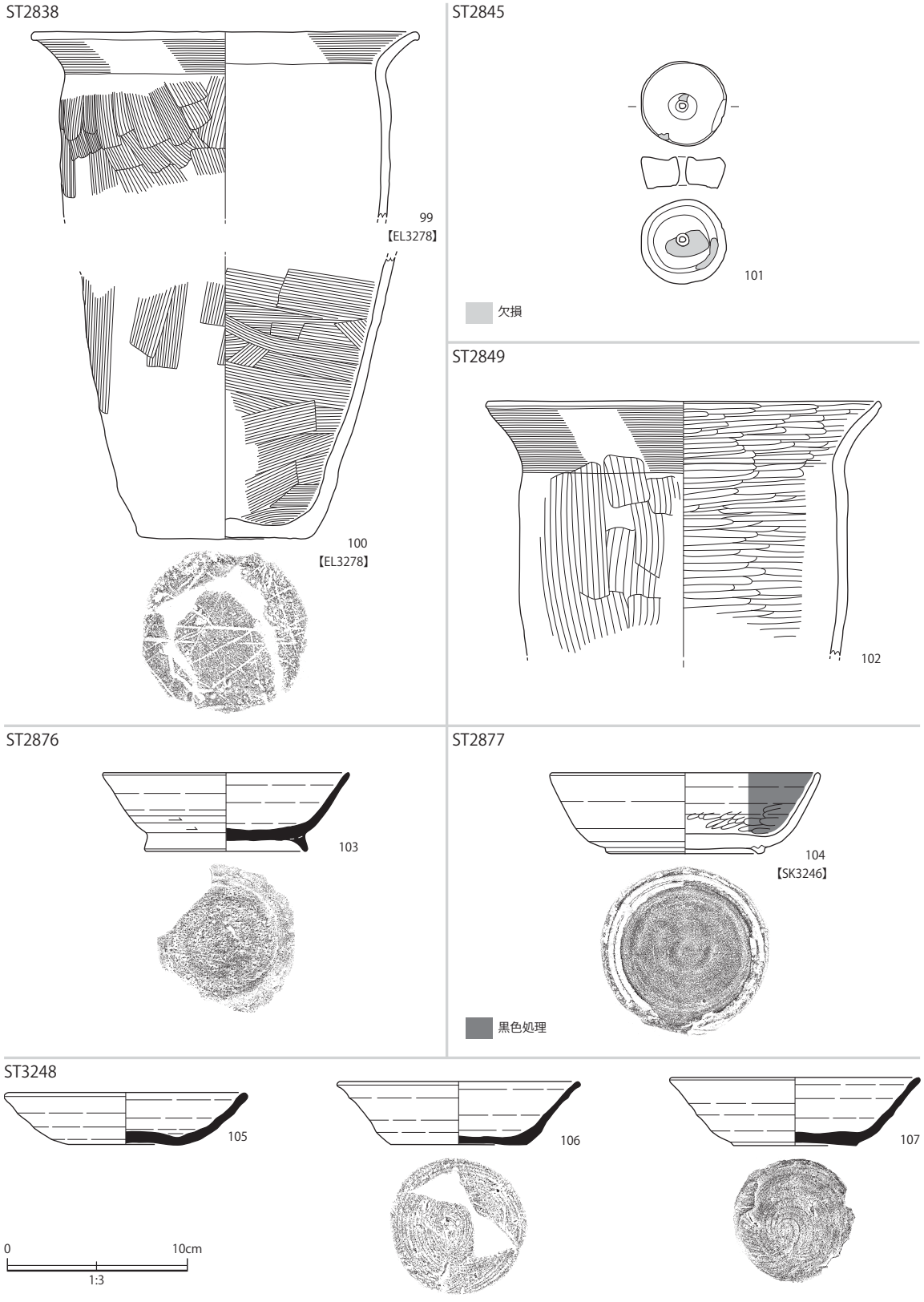
第 166 図　竪穴建物 ST2662・2701・2776・2793・2818 出土の土器・鉄製品



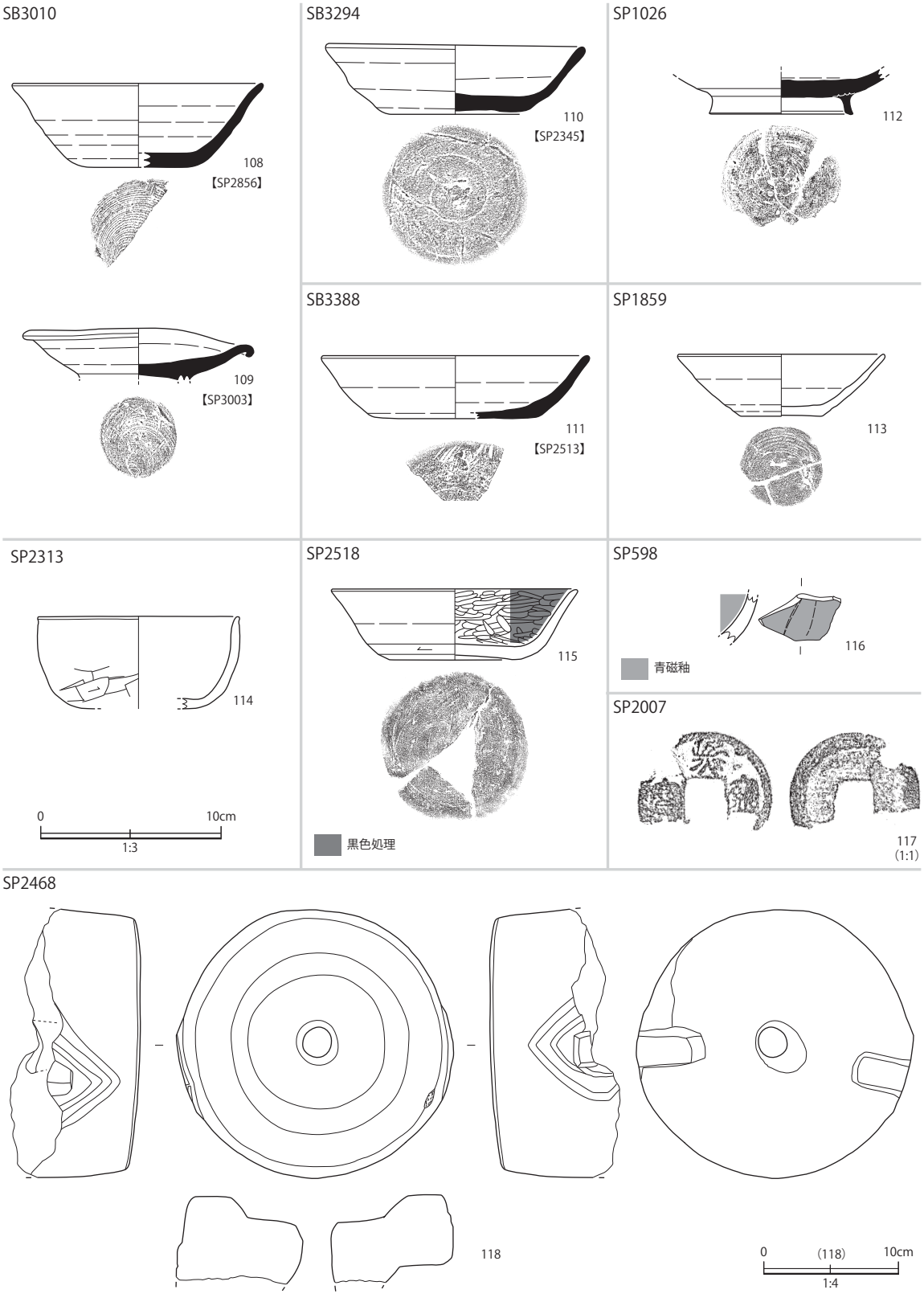
第 167 図　竪穴建物 ST2827 出土の土器・石器・石製品



第 168 図　竪穴建物 ST2838 出土の土器

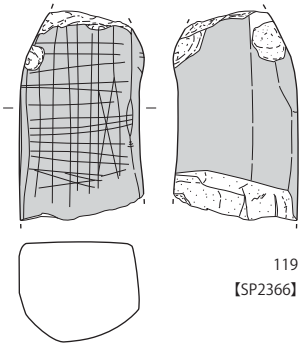


第 169 図　竪穴建物 ST2838・2845・2849・2876・2877・3248 出土の土器・土製品

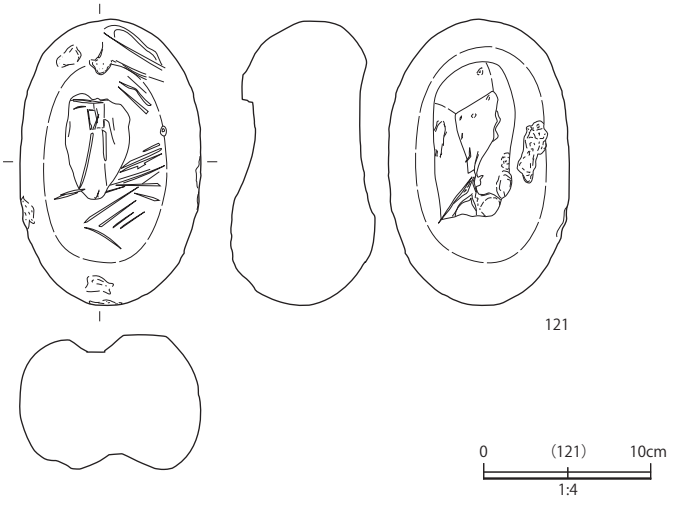


第 170 図　掘立柱建物 SB3010・3294・3388，柱穴出土の土器・陶磁器・銭貨・石製品

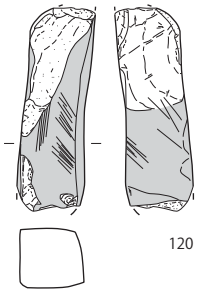
SB3348



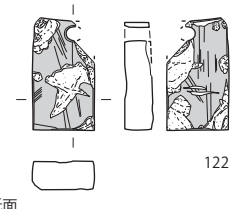
SP2187



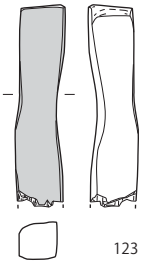
SP1672



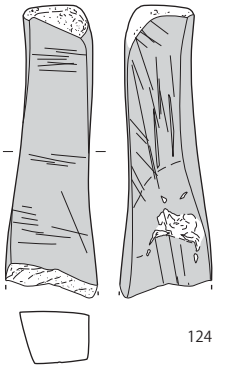
SP2192



SP2315

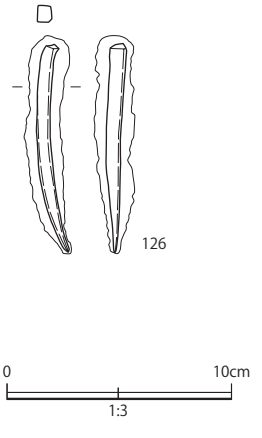


SP2404

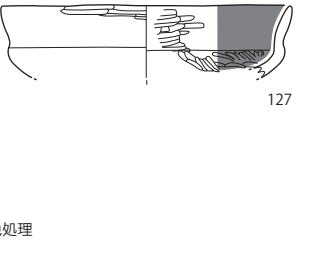


SP2443

SP2472



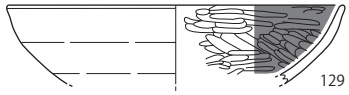
SP2772



第 171 図　掘立柱建物・柱穴出土の土器・石製品・鉄製品

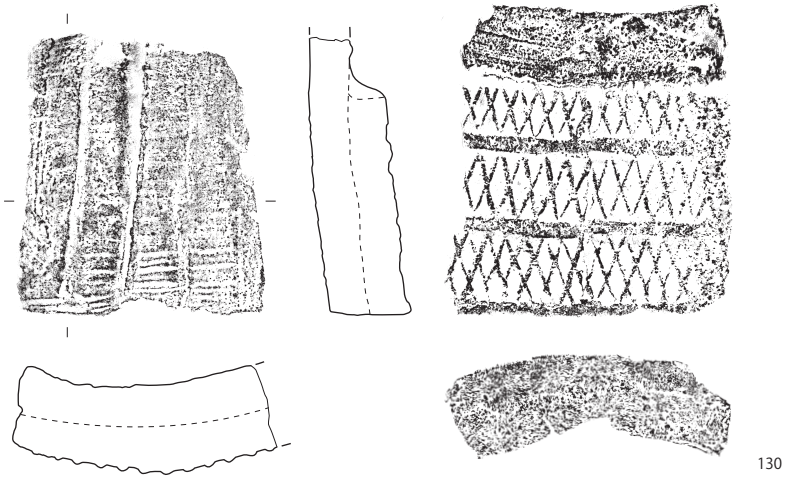
SL2284

SK2126



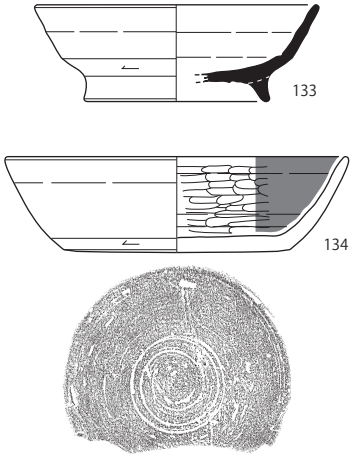
黒色処理

SK2128



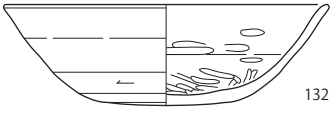
SK2306

SK2874

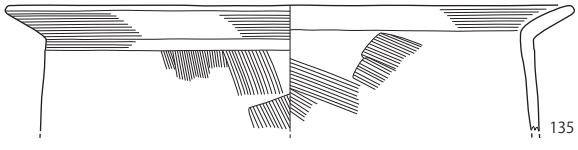


黒色処理

SK2602



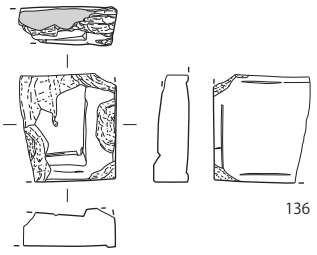
SK2875



0 10cm
1:3

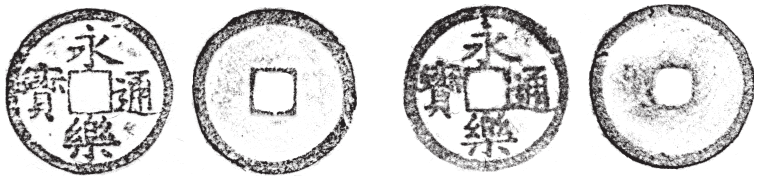
第 172 図　焼成遺構 SL2284，土坑出土の土器・土製品

SK2198

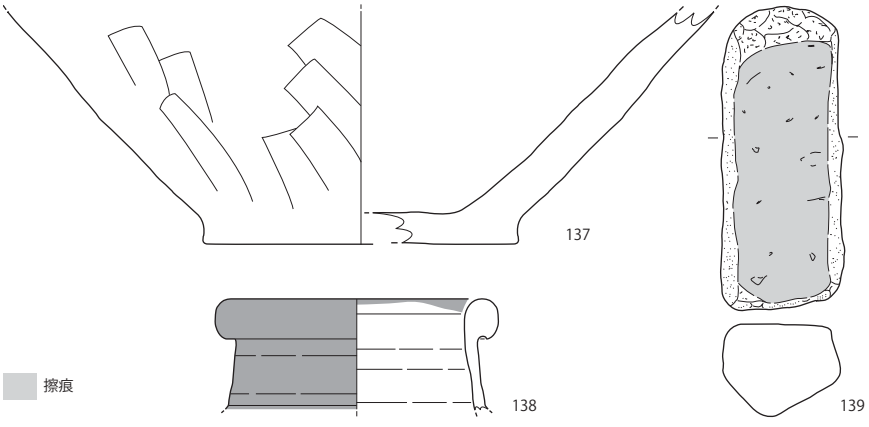


2次的研磨

SK2488



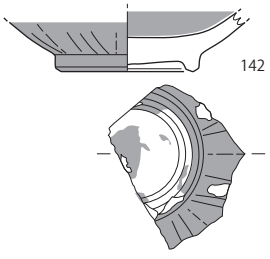
SK2343



擦痕

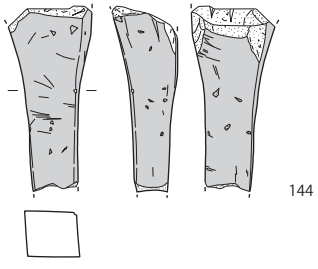
鉄釉

SK2610



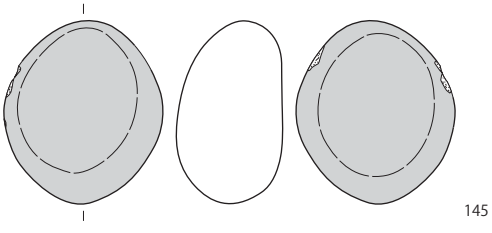
青磁釉

SK1014



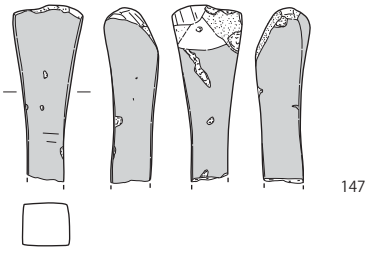
砥面

SK1390



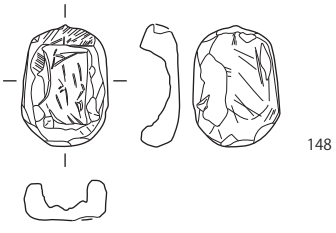
擦痕

SK2357



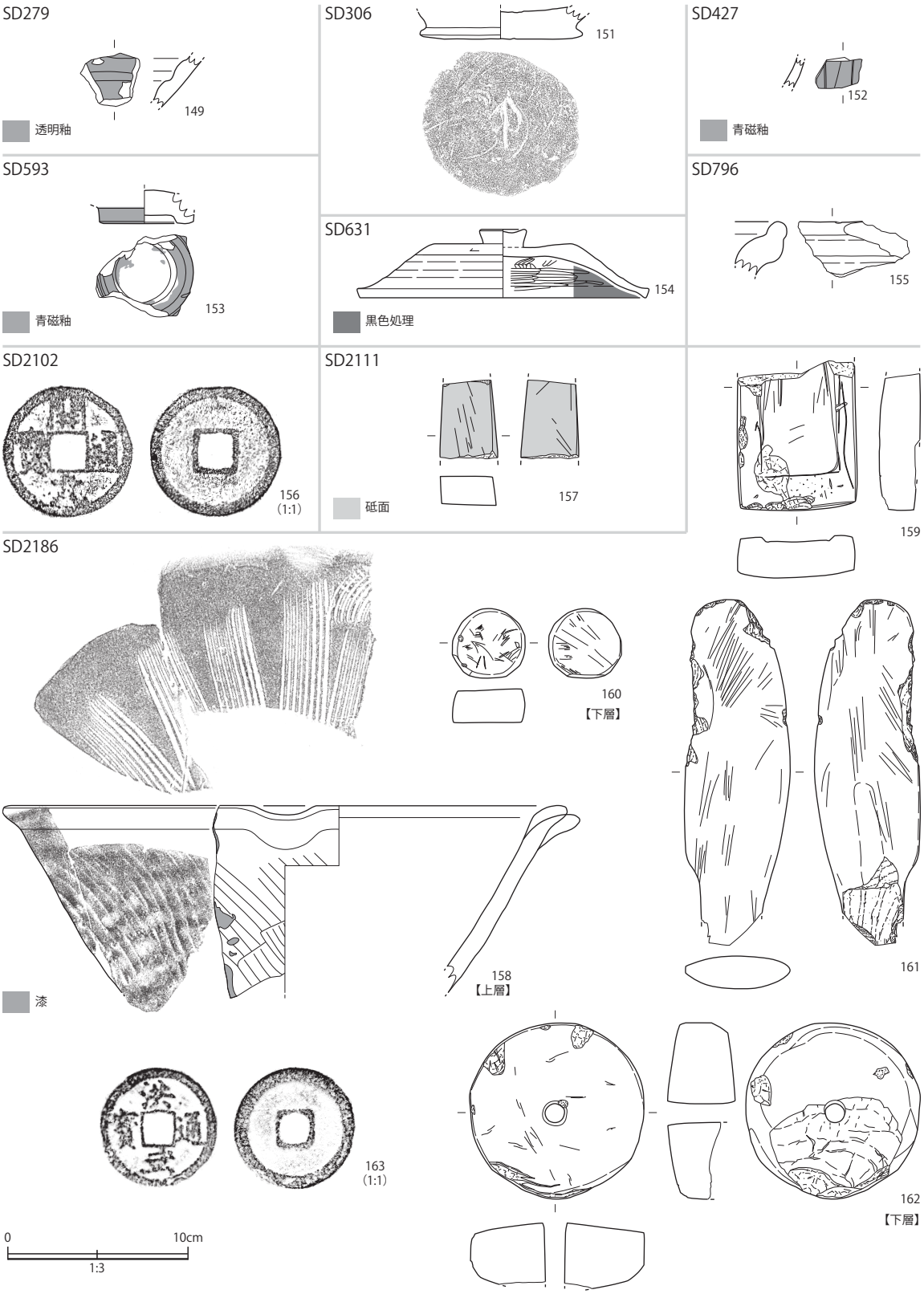
砥面

SK2485

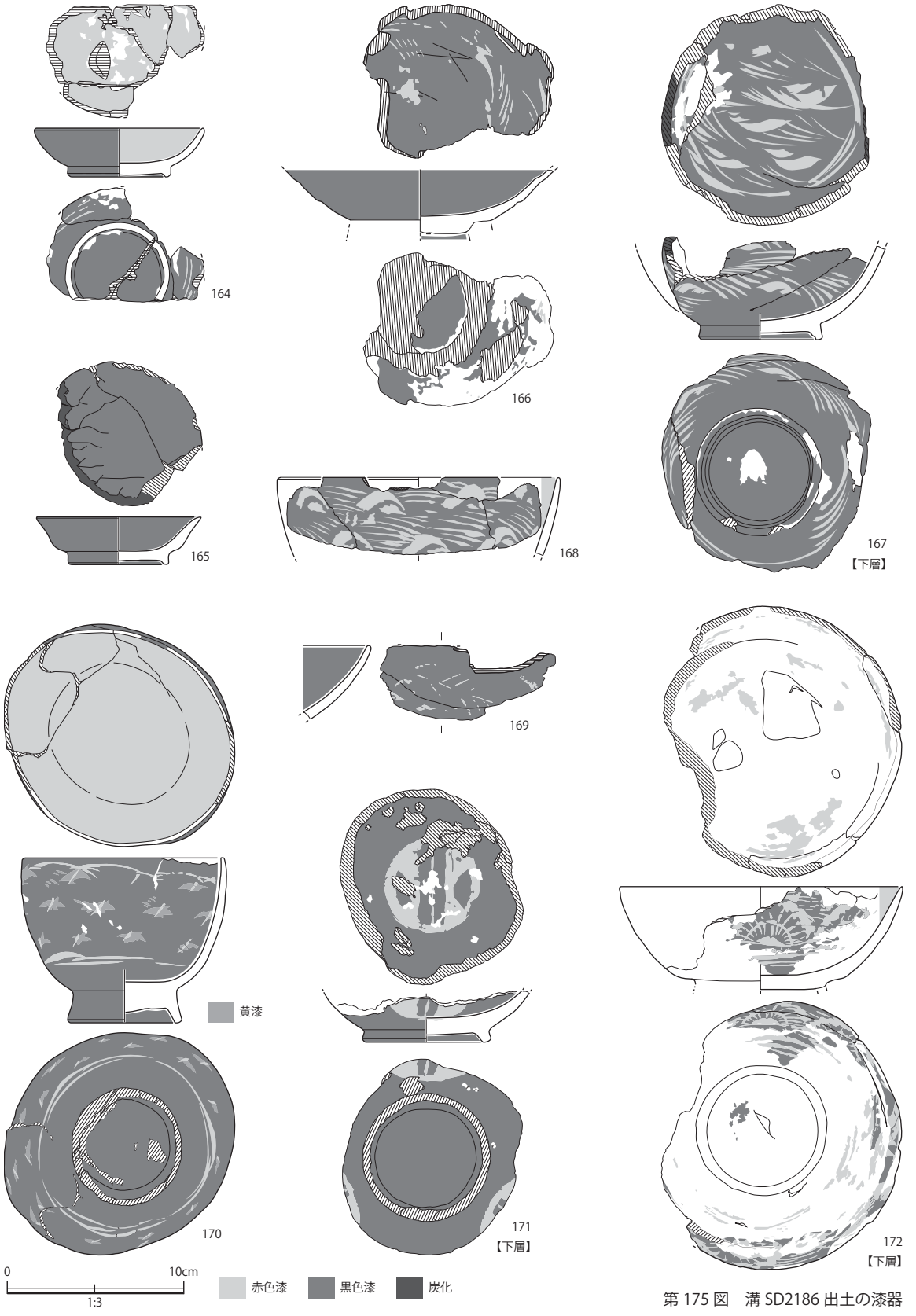


0 10cm
1:3

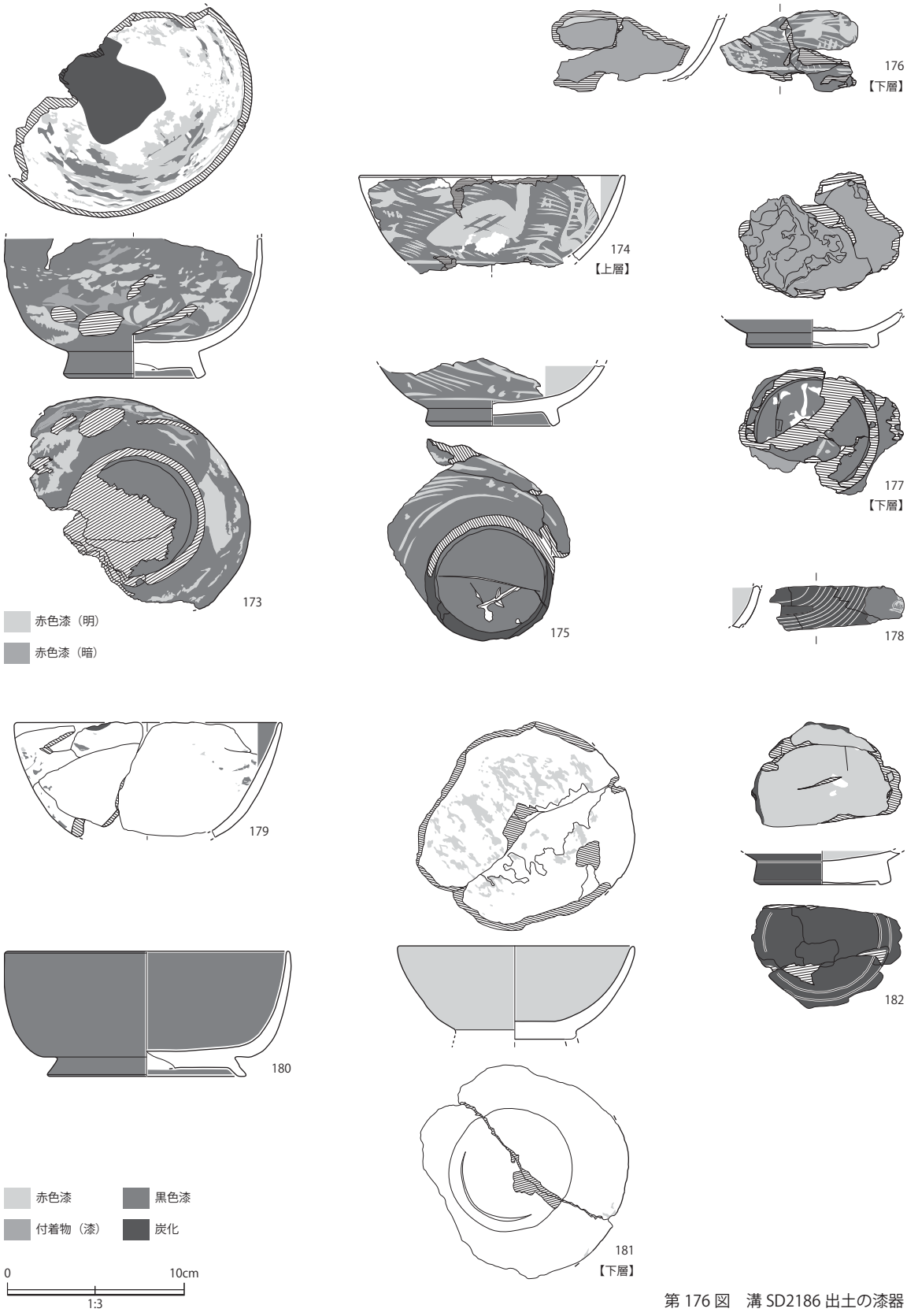
第 173 図　土坑出土の陶磁器・石器・石製品・銭貨



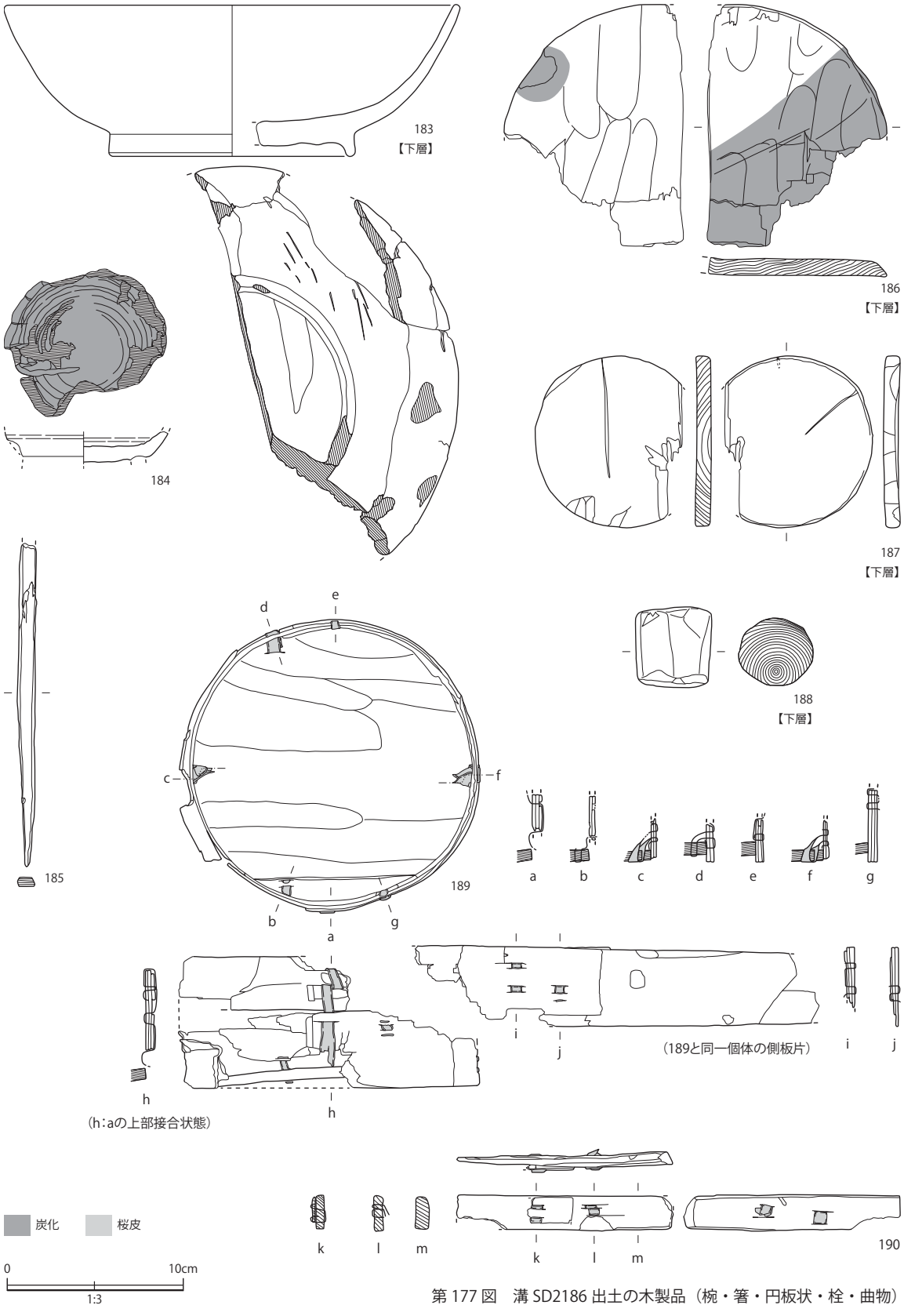
第 174 図　溝 SD279・306・427・593・631・796・2102・2111・2186 出土の土器・陶磁器・石器・石製品・銭貨



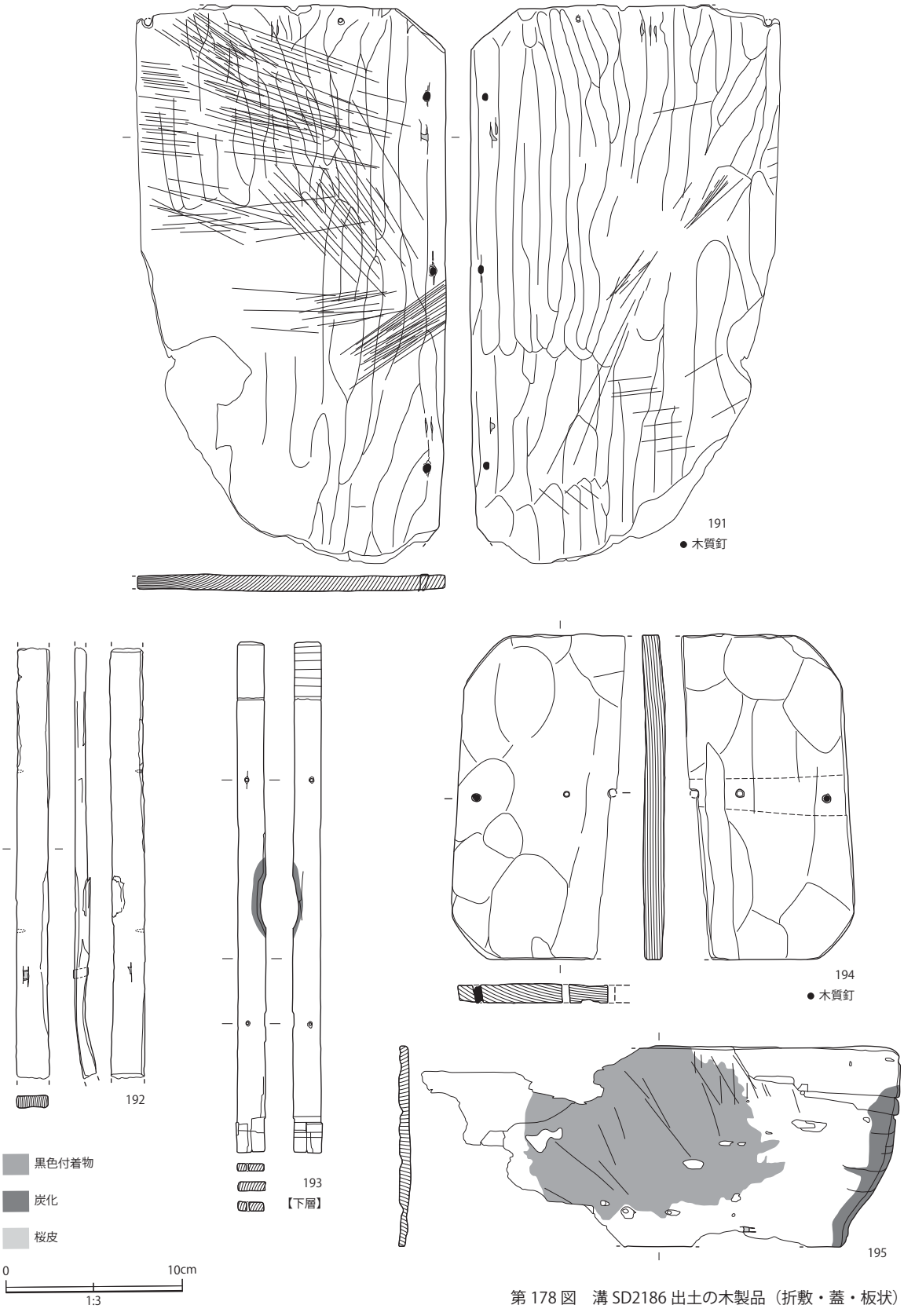
第 175 図　溝 SD2186 出土の漆器



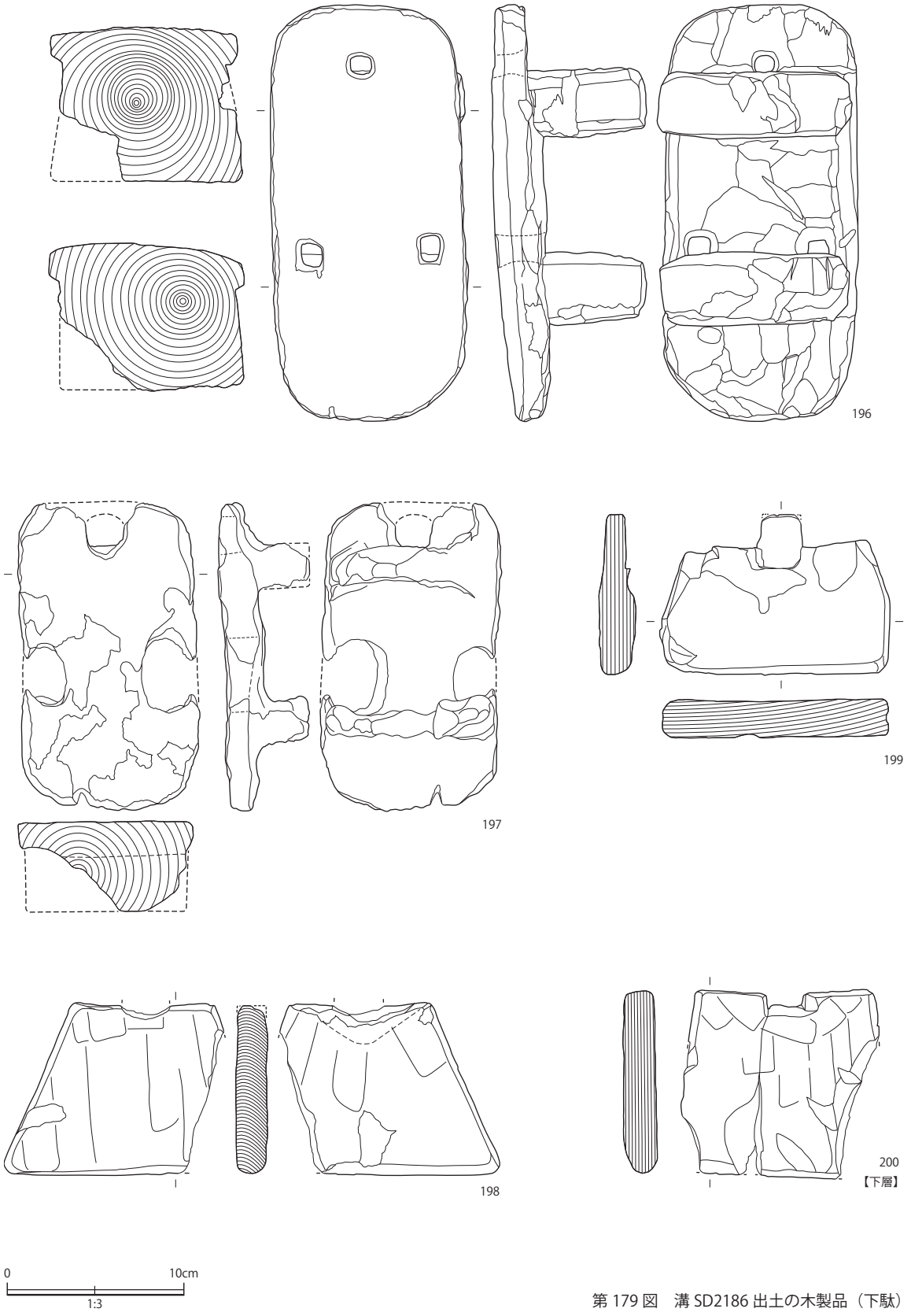
第 176 図　溝 SD2186 出土の漆器



第 177 図　溝 SD2186 出土の木製品（椀・箸・円板状・栓・曲物）



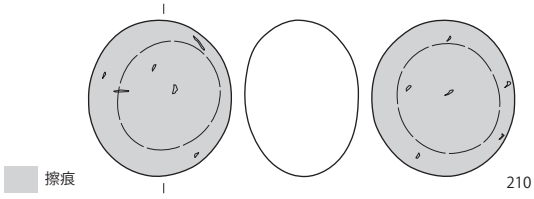
第 178 図　溝 SD2186 出土の木製品（折敷・蓋・板状）



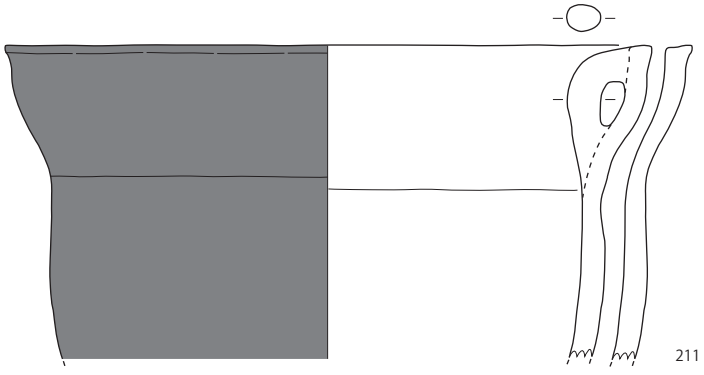
第 179 図　溝 SD2186 出土の木製品（下駄）

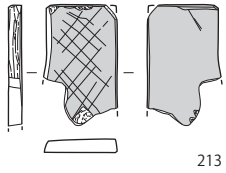
第 180 図　溝 SD2186 出土の木製品（鎌柄・杭・棒状・板状・部材）

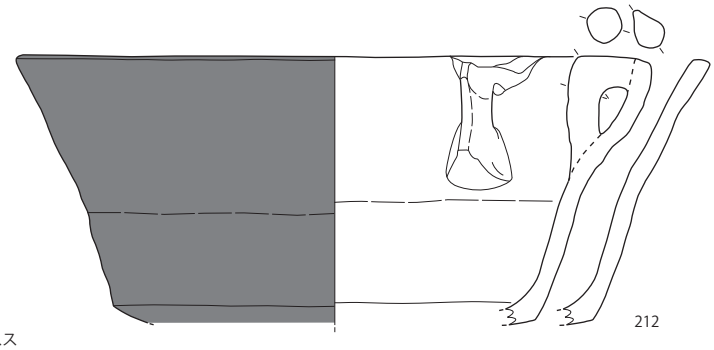
SD2191



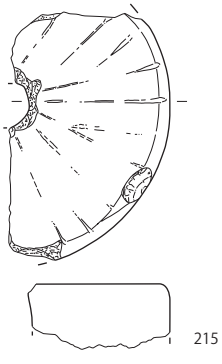
SD2202





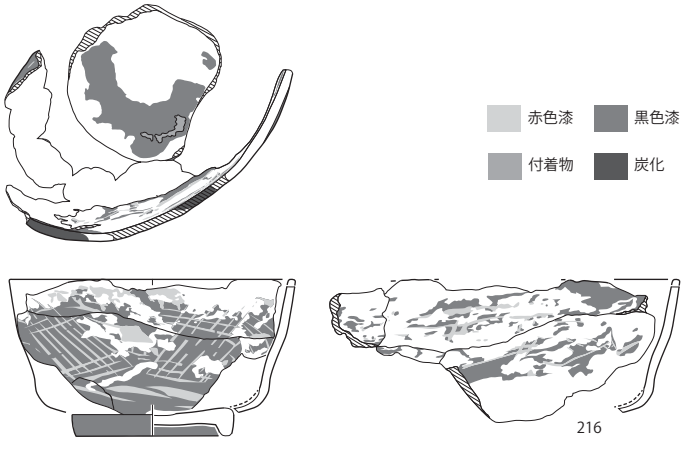


SD2356



0 (215) 10cm
1:4

SD2418



0 10cm
1:3

第 181 図　溝 SD2191・2202・2356・2418 出土の石器・土器・石製品・漆器

SD2500

217

218

SD2574

219

220
【SD2102出土片と接合】

青磁釉

221

222

スス

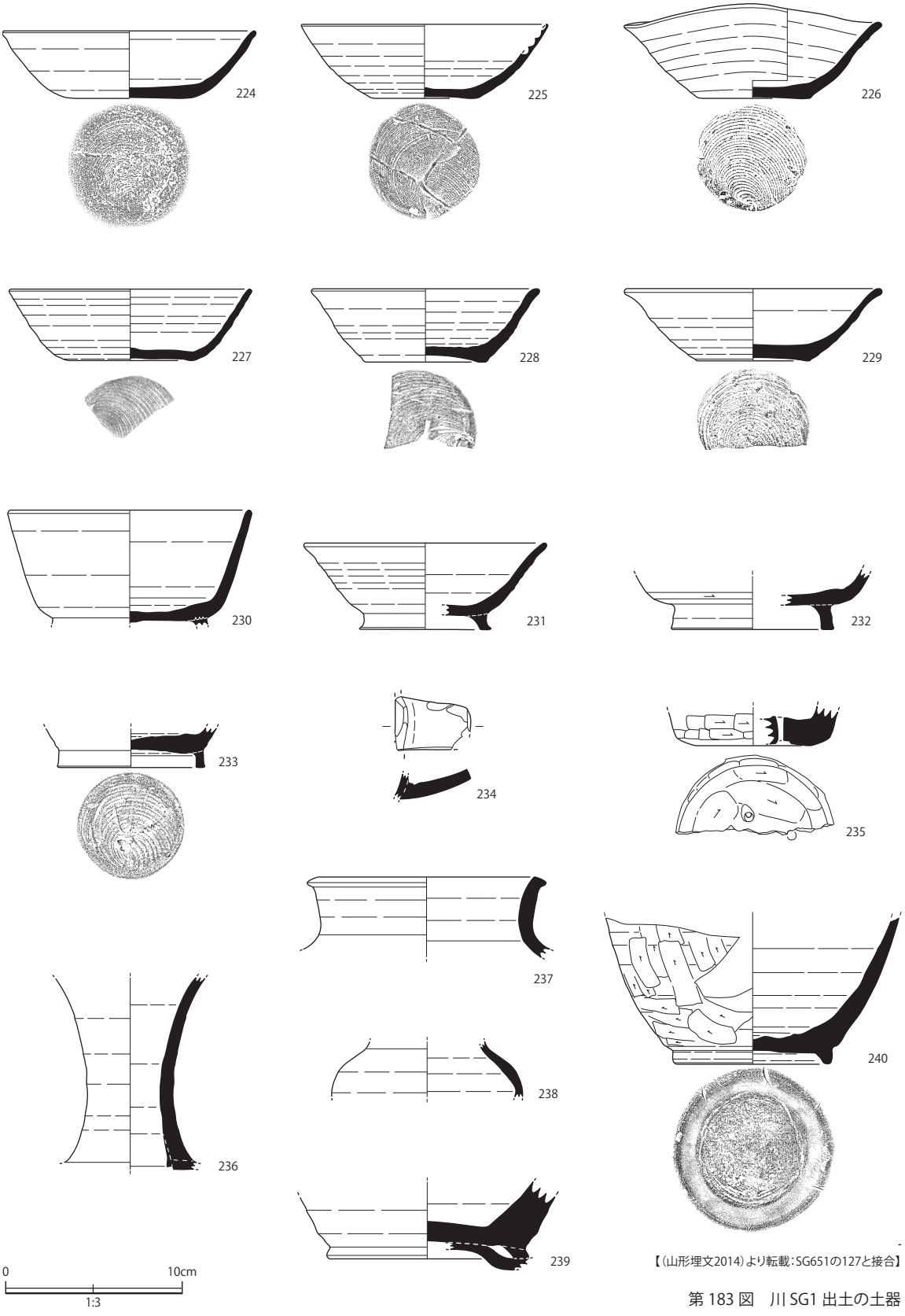
SD2769

223

黒色処理

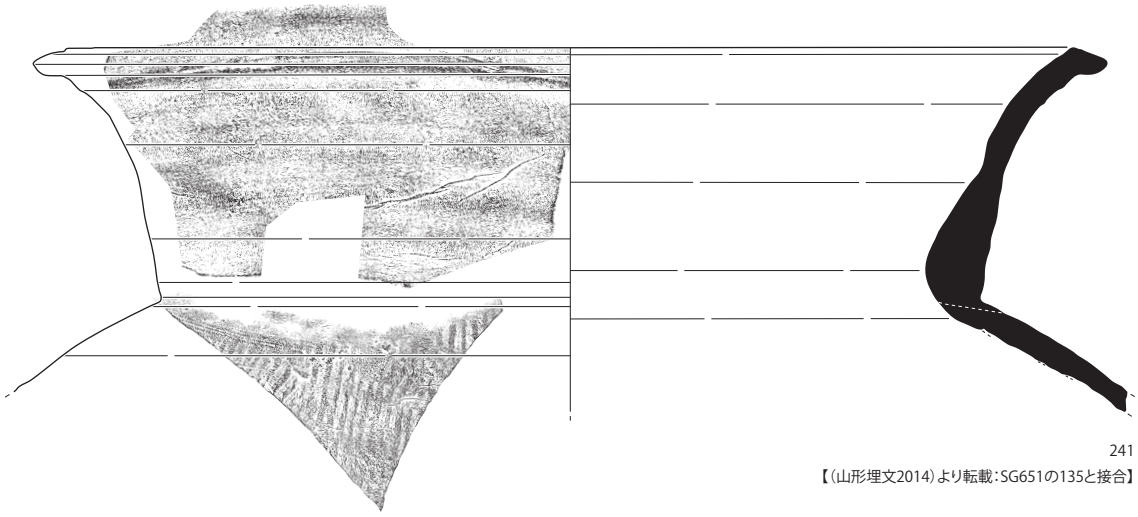
0　10cm
1:3

第 182 図　溝 SD2500・2574・2769 出土の土器・陶磁器

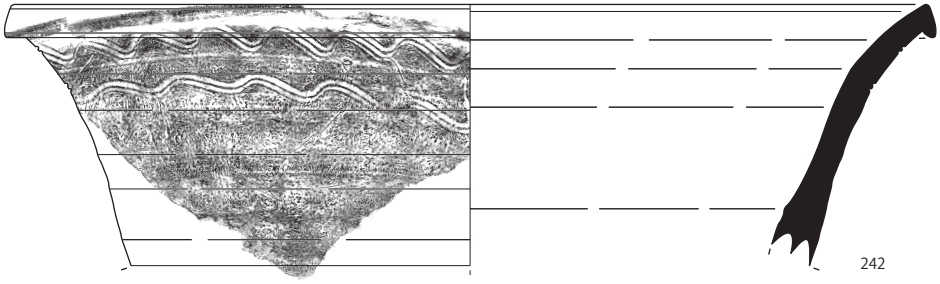


【（山形埋文2014）より転載：SG651の127と接合】

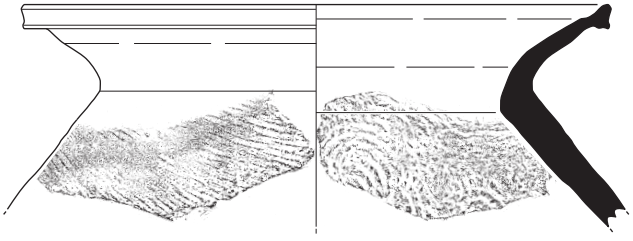
第 183 図　川 SG1 出土の土器



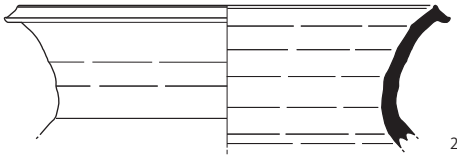
241
【（山形埋文2014）より転載：SG651の135と接合】



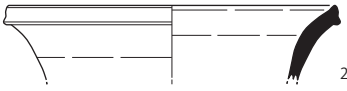
242



243



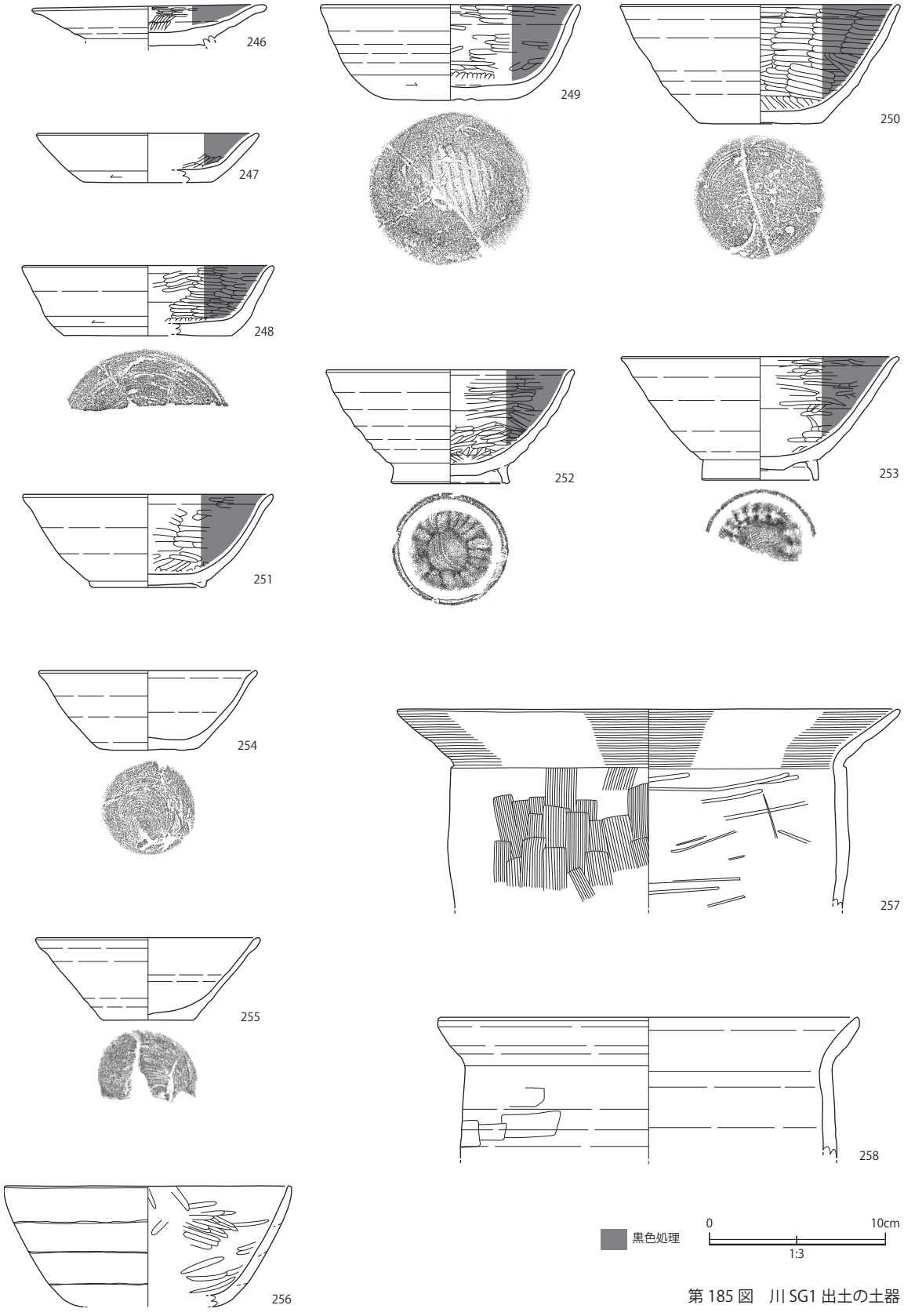
244



245

0　10cm
1:3

第 184 図　川 SG1 出土の土器



第 185 図　川 SG1 出土の土器

SG1

259

260

261

SG299

264

SG2336

砥面

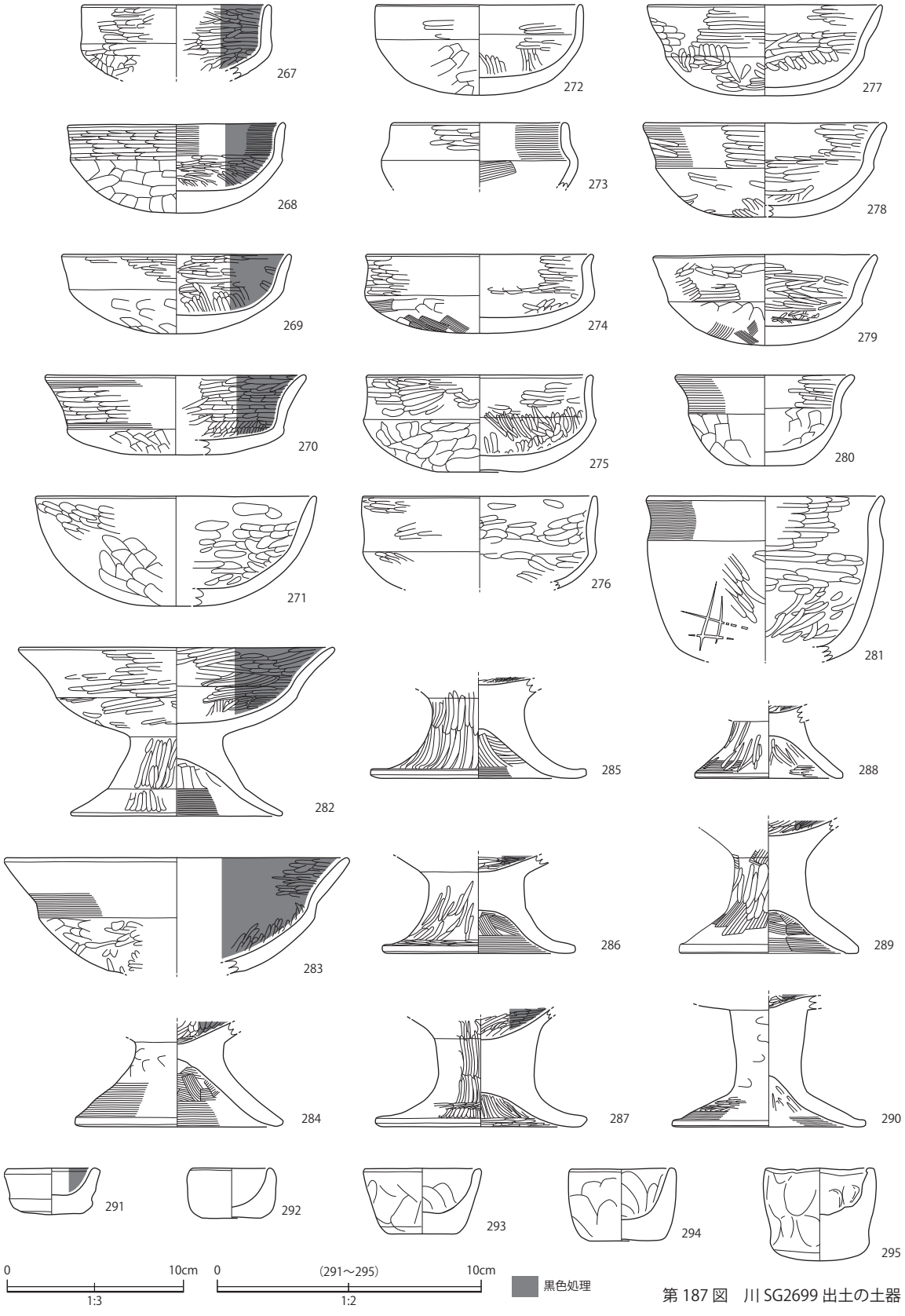
265

擦痕

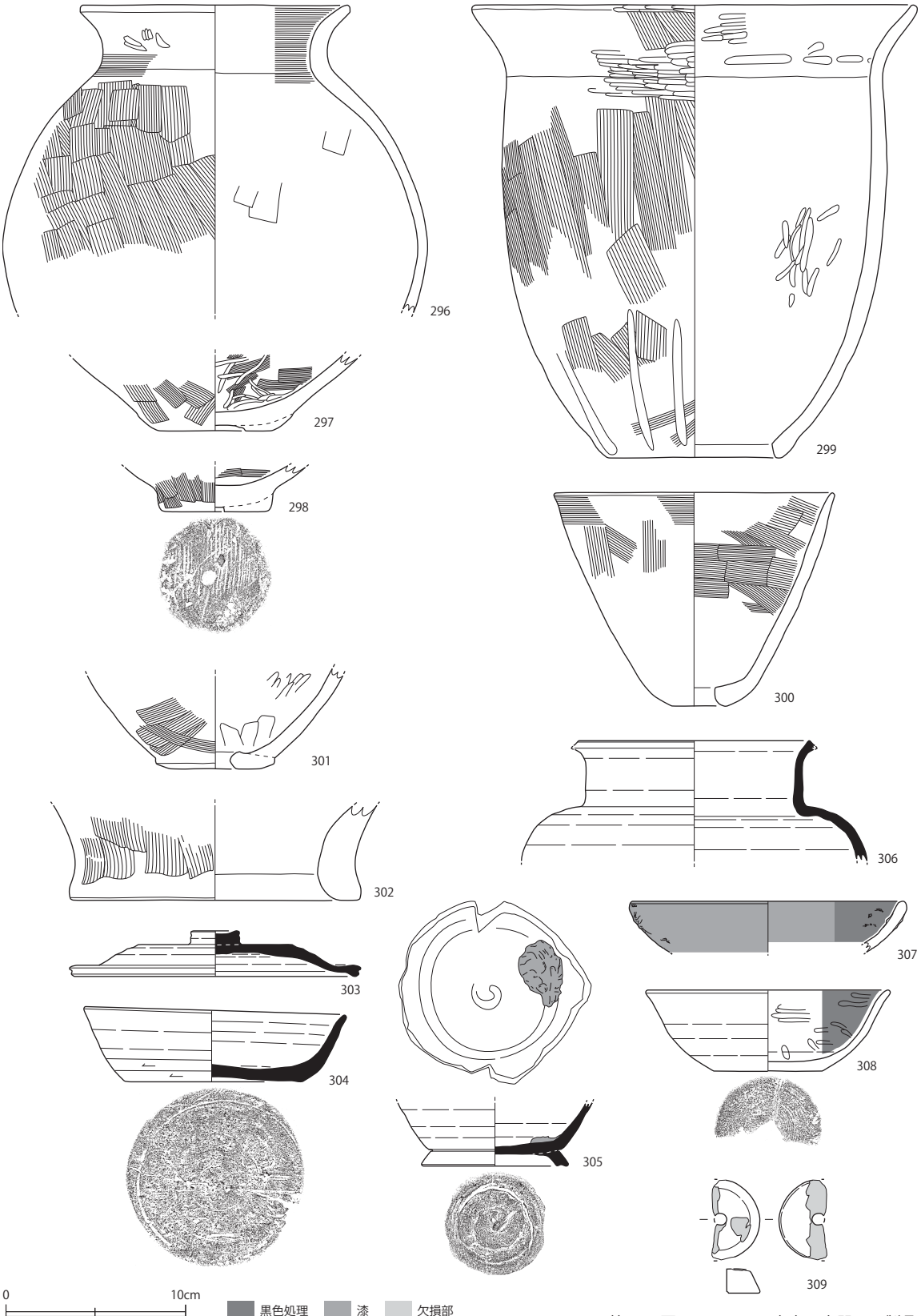
266

0 10cm
1:3

第 186 図　川 SG1・299・2336 出土の土器・石器・石製品

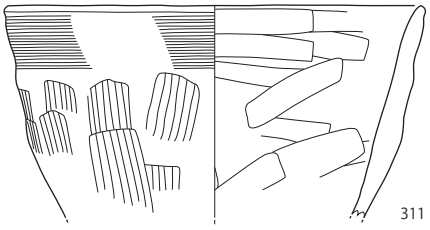


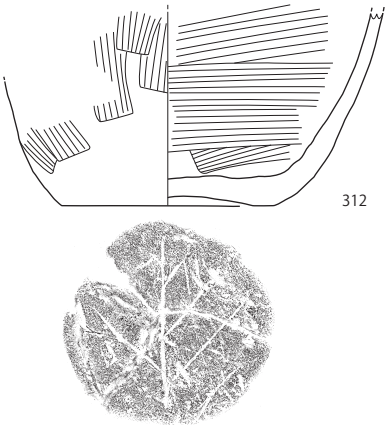
第 187 図　川 SG2699 出土の土器



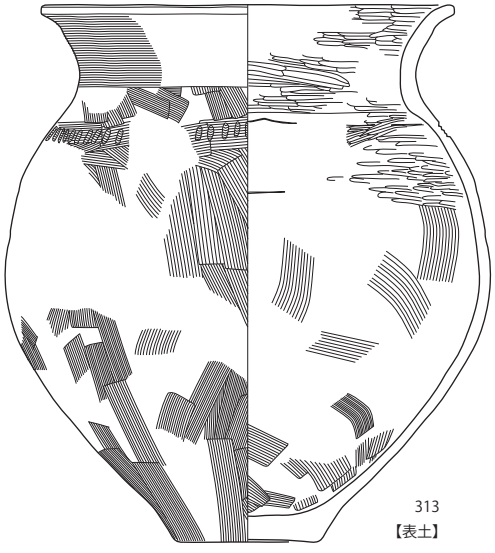
第 188 図　川 SG2699 出土の土器・石製品

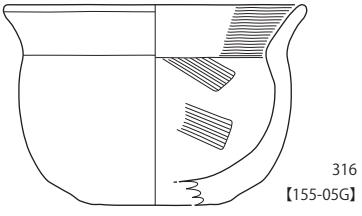
SG2870

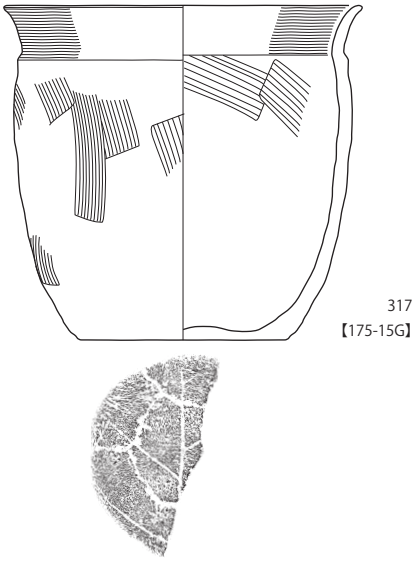


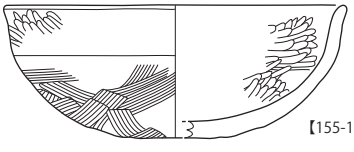


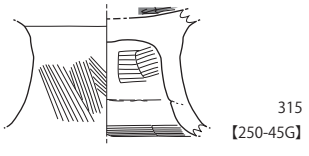
遺構外





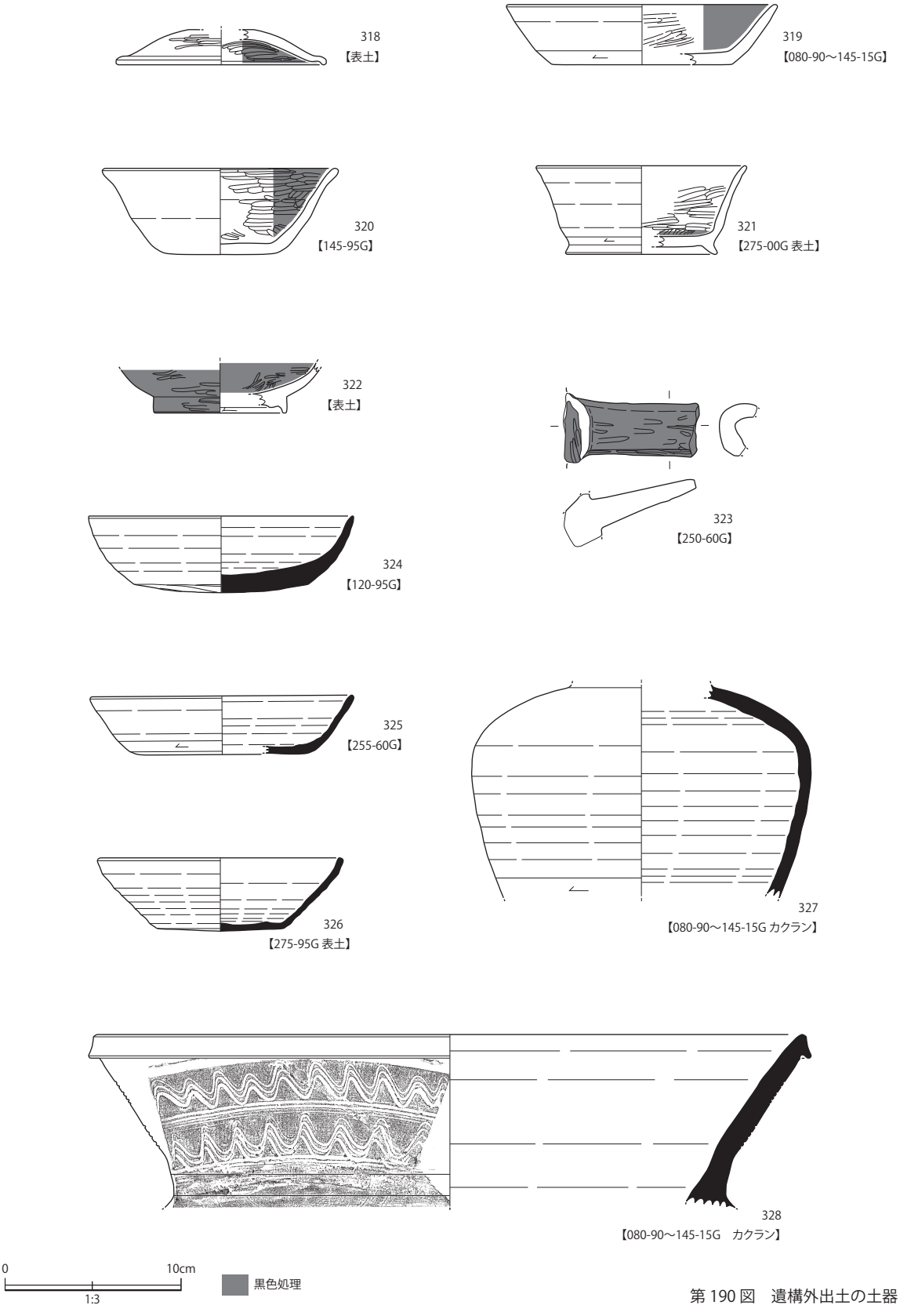




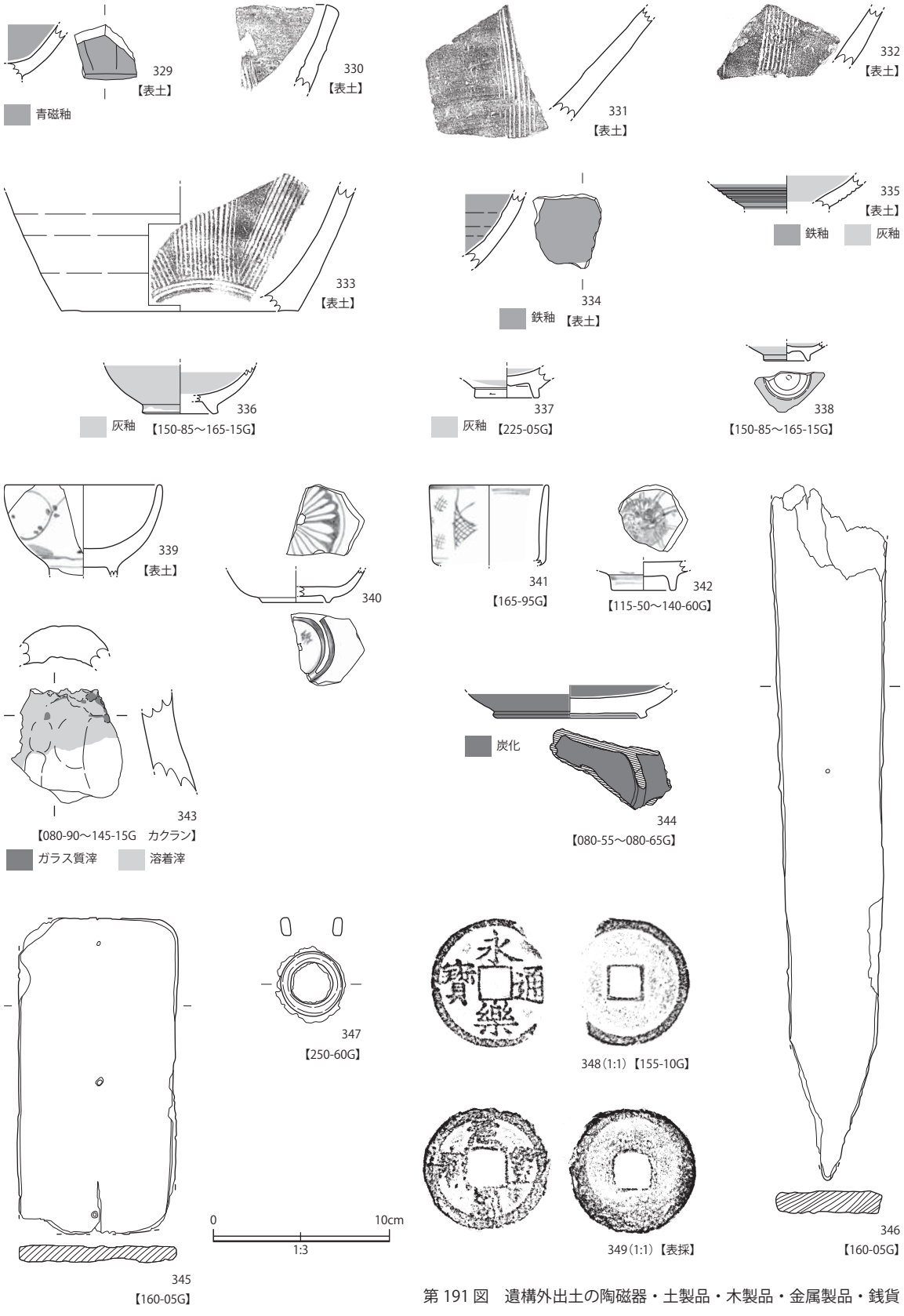


0 10cm
1:3
黒色処理

第 189 図　流路 SG2870，遺構外出土の土器



第 190 図　遺構外出土の土器



第 191 図　遺構外出土の陶磁器・土製品・木製品・金属製品・銭貨

写真図版

溝で囲まれた中世の屋敷地（第 1 次調査区），上が北

屋敷地南半部，東から

屋敷地北半部，東から

第 2 次調査区全景（2 回目），上が北

第 2 次調査区全景（1 回目），上が北

調査区南半部の完掘状況と馳上遺跡，北から

調査区南西側の完掘状況，南東から

竪穴建物 ST2252 完掘状況，北から

竪穴建物 ST2252 断面，北西から

カマド EL3264 断面，北東から

土坑 SK2519 断面，北東から

竪穴建物 ST2280 完掘状況，北から

竪穴建物 ST2280 断面，北西から

長胴甕 6 出土状況，南西から

カマド EL3265 断面，北西から

土坑 SK2287 断面，北西から

竪穴建物 ST2289（奥）・2319（手前）完掘状況，北東から

竪穴建物 ST2289・2319 断面：a - a'，南東から

竪穴建物 ST2289・2319 断面：h - h'，北東から

カマド EL3266 断面（ST2289），北東から

カマド EL3267 断面（ST2319），北西から

竪穴建物 ST2492 完掘状況，北から

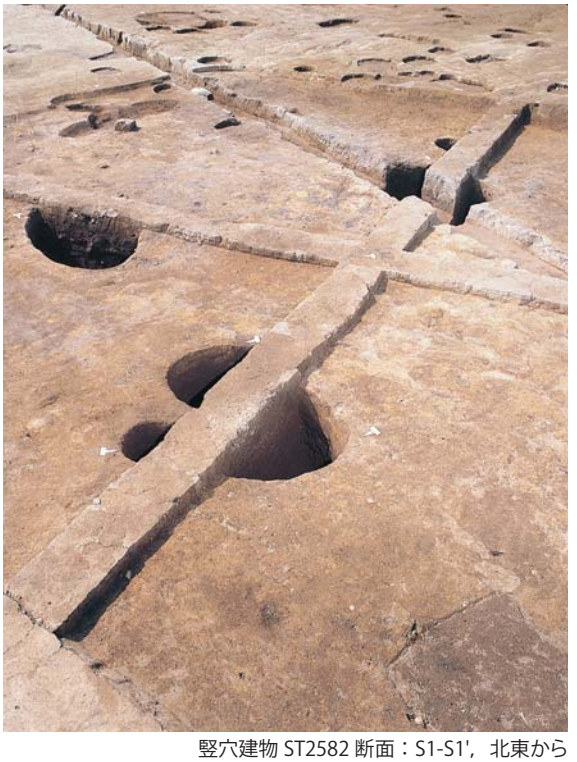
竪穴建物 ST2492 断面：a - a'，北東から

竪穴建物 ST2492 断面：b - b'，北西から

カマド EL3268 断面，北東から

竪穴建物 ST2492 掘方完掘状況，北から

竪穴建物 ST2582 完掘状況，北西から



竪穴建物 ST2582 断面：S1-S1'，北東から

カマド EL3269 断面，北西から

カマド EL3269 断面，北から

竪穴建物 ST2583 完掘状況，北から

竪穴建物 ST2583・2584 断面：S14 - S14'，北西から

カマド EL3270 断面（ST2583），北東から

竪穴建物 ST2584 断面：S15 - S15'，南東から

カマド EL3271 断面（ST2584），北東から

竪穴建物 ST2584 炭化材検出状況，南西から

竪穴建物 ST2584 完掘状況，北から

竪穴建物 ST2566 掘方完掘状況，南西から

竪穴建物 ST2566 掘方断面：a - a'，南東から

竪穴建物 ST2585 完掘状況，北西から

竪穴建物 ST2585 断面：a - a'，北東から

カマド EL3272 断面，北西から

竪穴建物 ST2653 完掘状況，北から

竪穴建物 ST2653 断面：a - a'・b - b'，北東から

長胴甕 63 出土状況，北東から

カマド EL3273 断面，北西から

カマド EL3273 袖部断面，北から

竪穴建物 ST2662 断面，北西から

竪穴建物 ST2662 掘方完掘状況，北から

竪穴建物 ST2701 完掘状況，北から

竪穴建物 ST2701 断面，北東から

カマド EL3274 断面，北東から

竪穴建物 ST2776 完掘状況，南から

竪穴建物 ST2776 断面：a - a'，北東から

竪穴建物 ST2776 断面：b - b'，南東から

カマド EL3275 断面：c - c'，南東から

カマド EL3275 断面：d - d'，南から

竪穴建物 ST2818 完掘状況，北から

竪穴建物 ST2818 断面，南東から

カマド EL3276 断面，北東から

竪穴建物 ST2845 完掘状況，南東から

竪穴建物 ST2845 断面，東から

竪穴建物 ST2827，外周溝 SD2828 完掘状況，北から

竪穴建物 ST2827 断面：b - b'，南西から

竪穴建物 ST2827 断面：a - a'，南東から

カマド EL3277 断面，北東から

カマド EL3277 断面，南西から

カマド EL3277 完掘状況，北から

巡方 88 出土状況，北から

外周溝 SD2828 断面：p - p'，南西から

外周溝 SD2828 断面：o - o'，南東から

外周溝 SD2828 断面：q - q'，北西から

外周溝 SD2828 断面：r - r'，南東から

外周溝 SD2828 断面：s - s'，南西から

竪穴建物 ST2849，カマド EL3280，溝 SD3247 断面，北西から

竪穴建物 ST2838・3248 完掘状況，北から

竪穴建物 ST2838・3248 断面：b - b'，東から

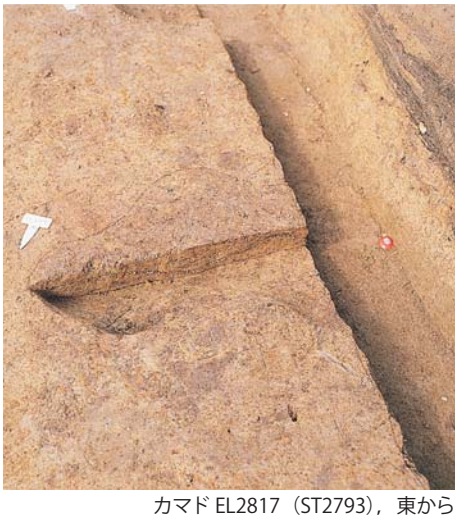
竪穴建物 ST2838 断面：c - c'，南東から

カマド EL3278 断面（ST2838），南東から

カマド EL3278 遺物出土状況（ST2838），長胴甕 95～100，北から

カマド EL3278 完掘状況（ST2838），北西から

竪穴建物 ST2793 完掘状況，東から



カマド EL2817（ST2793），東から

竪穴建物 ST2793 断面：a - a'，南東から

竪穴建物 ST2876 断面：a - a'，南西から

竪穴建物 ST2876 完掘状況，北西から

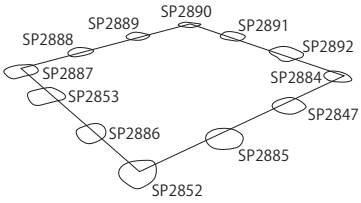
竪穴建物 ST2877 完掘状況，北から

竪穴建物 ST2877，カマド EL3279 断面：a - a'，南東から

竪穴建物 ST2877 断面：b - b'，南東から

カマド EL3279 断面：c - c'，北から

土坑 SK2874・2875 断面，南東から



掘立柱建物 SB2893，南東から

柱穴 SP2890，北東から

柱穴 SP2891，北東から

柱穴 SP2892，北東から

柱穴 SP2884，南から

柱穴 SP2889，北東から

柱穴 SP2888，南東から

柱穴 SP2885，北東から

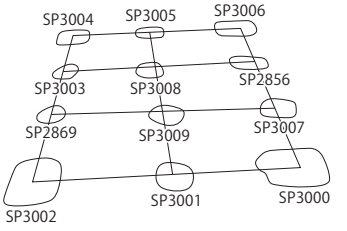
柱穴 SP2847，南から

柱穴 SP2887，南から

柱穴 SP2853，東から

柱穴 SP2886，東から

柱穴 SP2852，西から



掘立柱建物 SB3010，東から

柱穴 SP3004，東から

柱穴 SP3005，南から

柱穴 SP3006，北東から

柱穴 SP3003，南西から

柱穴 SP3008，北東から

柱穴 SP2856，東から

柱穴 SP2869，南から

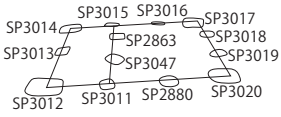
柱穴 SP3009，北西から

柱穴 SP3007，東から

柱穴 SP3002，北から

柱穴 SP3001，南から

柱穴 SP3000，南西から



掘立柱建物 SB3021，東から

柱穴 SP3014，南から

柱穴 SP3015，北から

柱穴 SP3016，東から

柱穴 SP3017，北西から

柱穴 SP3013，東から

柱穴 SP2863，北西から

柱穴 SP3019，北東から

柱穴 SP3018，北から

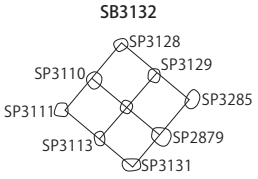
柱穴 SP3012，北から

柱穴 SP3011，北西から

柱穴 SP2880，北東から

柱穴 SP3020，西から

掘立柱建物 SB3132，上が北



柱穴 SP3110，西から

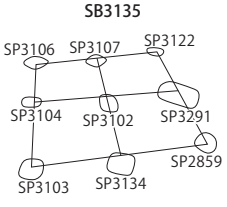
柱穴 SP3111，南西から

柱穴 SP3131，南東から

掘立柱建物 SB3135，南東から

柱穴 SP3107，北東から

柱穴 SP3122，北西から



柱穴 SP3104，西から

柱穴 SP3102，南西から

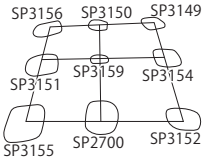
柱穴 SP3291，北から

柱穴 SP3106・3105，北西から

柱穴 SP3103，南東から

柱穴 SP3134，南西から

柱穴 SP2859，南東から



掘立柱建物 SB3157，北東から

柱穴 SP3156，北東から

柱穴 SP3150，南東から

柱穴 SP3149，南東から

柱穴 SP3151，北東から

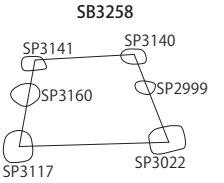
柱穴 SP3159，南西から

柱穴 SP3154，南東から

柱穴 SP3155，北東から

柱穴 SP2700，東から

柱穴 SP3152，東から



掘立柱建物 SB3258，北から

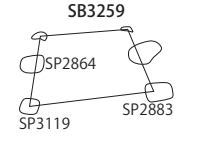
柱穴 SP3140，北西から

柱穴 SP3141，北東から

柱穴 SP3160，東から

柱穴 SP2999，西から

柱穴 SP3022，南西から



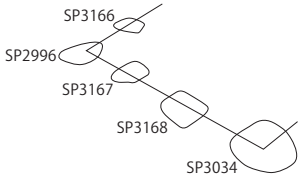
柱穴 SP2864，北西から

掘立柱建物 SB3259，西から

柱穴 SP2883，西から

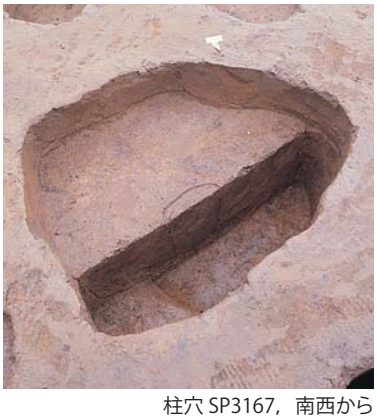
掘立柱建物 SB3260，北東から

柱穴 SP3166，北東から



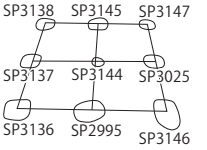
柱穴 SP3034，北東から

柱穴 SP2996，北西から



柱穴 SP3167，南西から

柱穴 SP3168，西から



掘立柱建物 SB3261，西から

柱穴 SP3138，北東から

柱穴 SP3145，南東から

柱穴 SP3147，北西から

柱穴 SP3137，北から

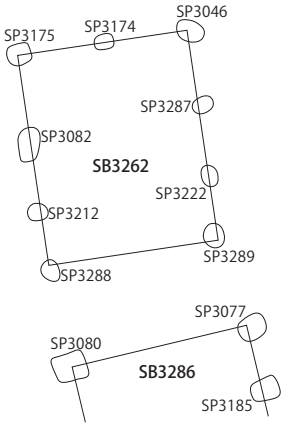
柱穴 SP3144，東から

柱穴 SP3025，南西から

柱穴 SP3136，南西から

柱穴 SP2995，南東から

柱穴 SP3146，北東から



掘立柱建物 SB3262・3286，上が北

柱穴 SP3175，南西から

柱穴 SP3174，北東から

柱穴 SP3046，南東から

柱穴 SP3082，北西から

柱穴 SP3212，北東から

柱穴 SP3222，西から

柱穴 SP3080，南東から

柱穴 SP3077，北東から

柱穴 SP3185，北西から

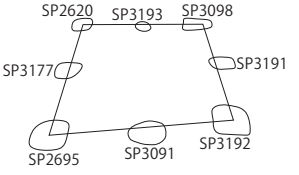
掘立柱建物 SB3263，北から

柱穴 SP2620，南西から

柱穴 SP3193，北東から

柱穴 SP3098，南東から

柱穴 SP3177，南東から

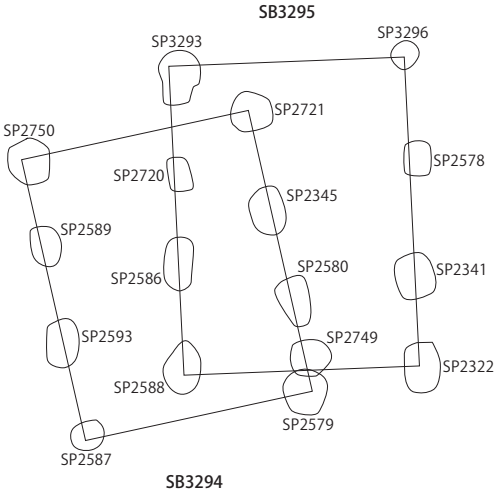


柱穴 SP3191，南西から

柱穴 SP2695・2781，南西から

柱穴 SP3072・3091，北から

柱穴 SP3192，南西から



掘立柱建物 SB3294・3295，上が北

柱穴 SP2589，西から

柱穴 SP2580，北東から

柱穴 SP2586，北から

柱穴 SP2578，北西から

柱穴 SP2587，南東から

柱穴 SP2579，北東から

柱穴 SP2588，北西から

柱穴 SP2341，土坑 SK2573，北東から

柱穴 SP2345，北西から

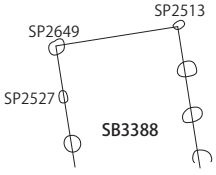
柱穴 SP2720，南東から

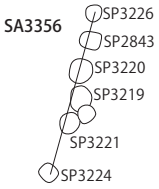
柱穴 SP2749，南から

柱穴 SP2322，北東から

掘立柱建物 SB3388，上が北

柱穴 SP2513，西から





柱穴 SP3226，北から

柱穴 SP3220，北西から

柱穴 SP3221，北西から

掘立柱列 SA3356，上が北

柱穴 SP2843，南東から

柱穴 SP3219，南東から

柱穴 SP3224，西から

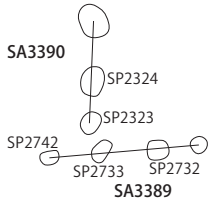
掘立柱列 SA3389・3390，上が北

柱穴 SP2324，西から

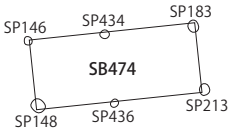
柱穴 SP2323，西から

柱穴 SP2742，北東から

柱穴 SP2733，南東から



柱穴 SP2732，東から



掘立柱建物 SB474

柱穴 SP148，南西から

柱穴 SP183，南東から

柱穴 SP213，南から

掘立柱建物 SB2023，上が北

柱穴 SP354，南東から

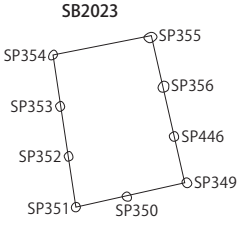
柱穴 SP355，北から

柱穴 SP353，北西から

柱穴 SP356，北西から

柱穴 SP352，南から

柱穴 SP446，南西から



柱穴 SP351，東から

柱穴 SP350，北西から

柱穴 SP349，西から

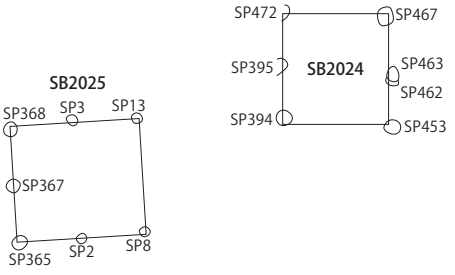
掘立柱建物 SB2024，上が北

柱穴 SP472，北西から

柱穴 SP467，西から

柱穴 SP395，北西から

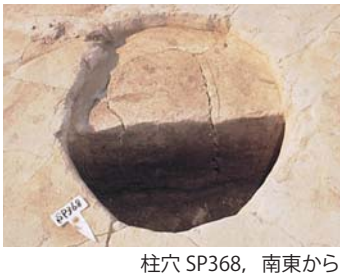
柱穴 SP462・463，東から



柱穴 SP394，北から

柱穴 SP452・453，北から

掘立柱建物 SB2025，上が北



柱穴 SP368，南東から

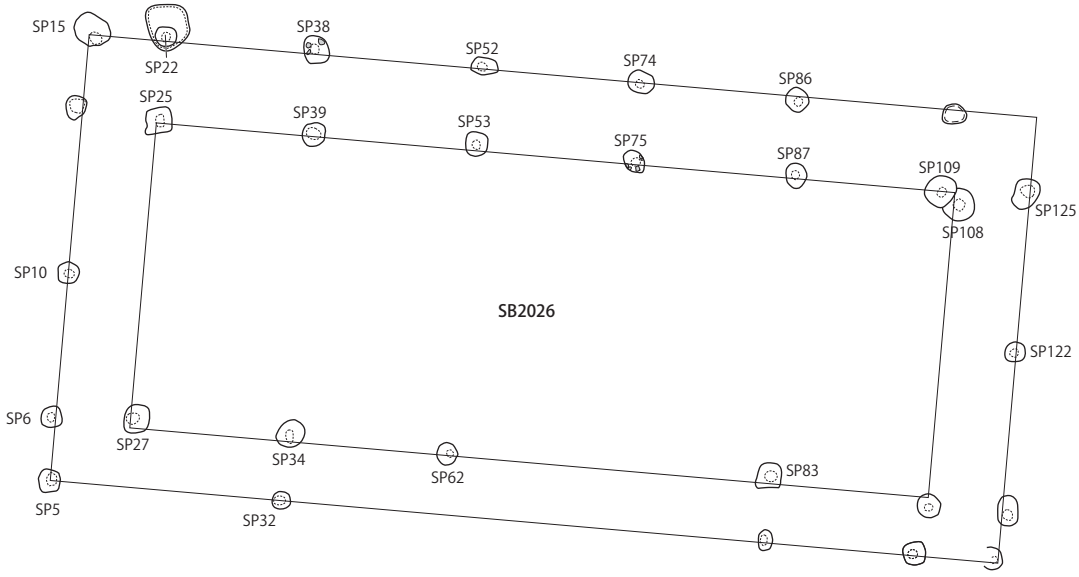
柱穴 SP3，南西から

柱穴 SP367，南西から

柱穴 SP2，北西から

柱穴 SP365，北から

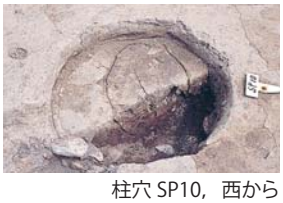
柱穴 SP8，西から



掘立柱建物 SB2026（※ 断面写真の配置は番号順）

柱穴 SP5，南から

柱穴 SP6，南から

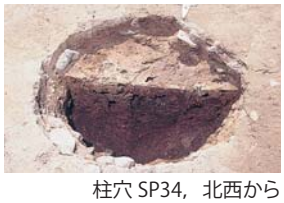

柱穴 SP10，西から

柱穴 SP15，北から

柱穴 SP25，南から

柱穴 SP27，南から

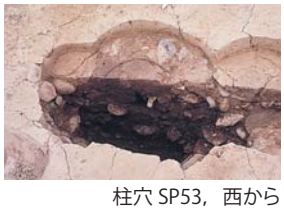
柱穴 SP32，北から


柱穴 SP34，北西から

柱穴 SP38，南から

柱穴 SP39，北東から

柱穴 SP52，南西から


柱穴 SP53，西から

柱穴 SP62，北西から

柱穴 SP74，北西から

柱穴 SP75，南西から

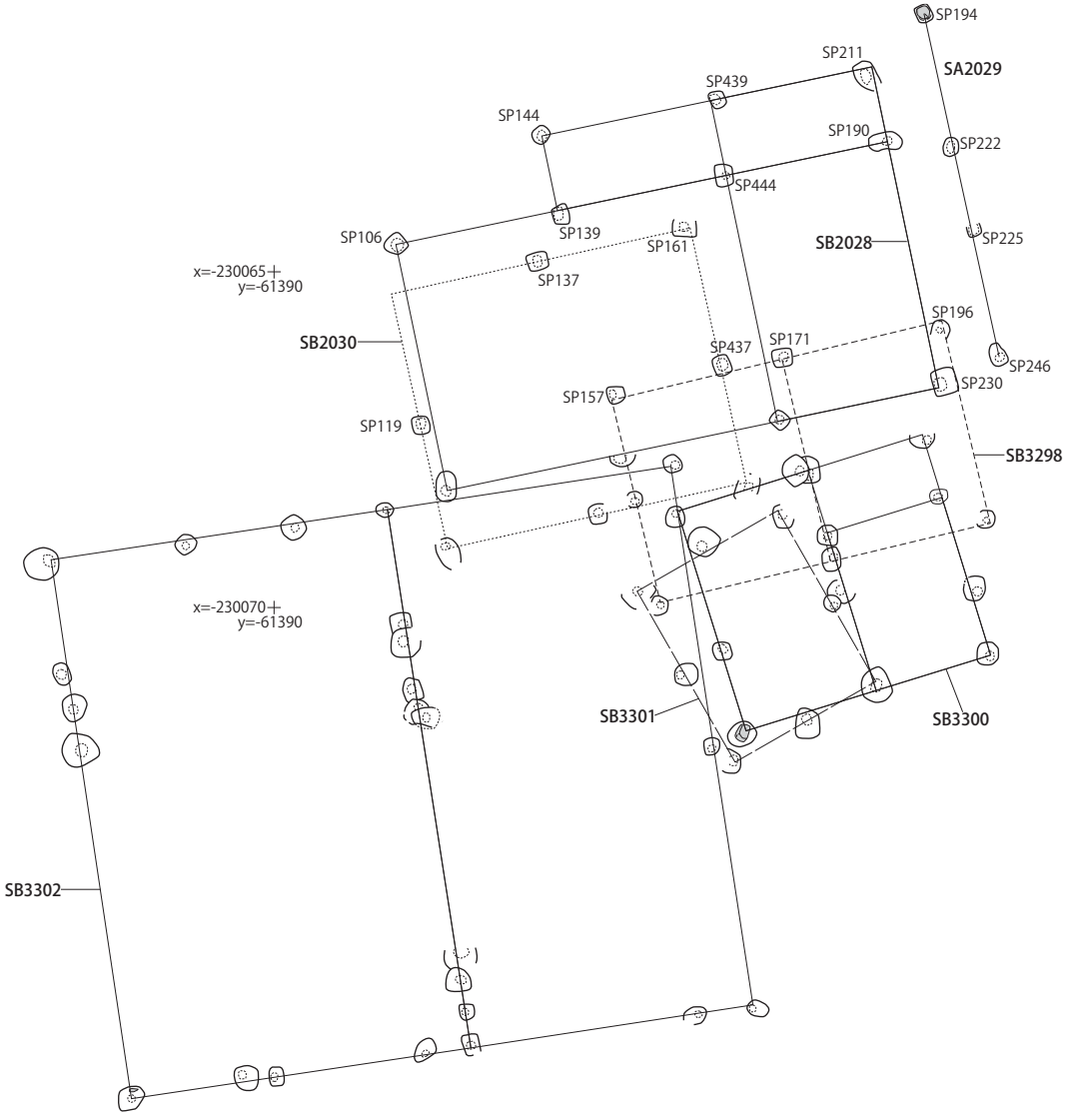
柱穴 SP83，西から

柱穴 SP86，北東から

柱穴 SP87，東から

柱穴 SP108・109，北から

柱穴 SP125，南東から



掘立柱建物 SB2028・2030・3298・3300 ～ 3302，掘立柱穴列 SA2029（※ 断面写真の配置は番号順）

柱穴 SP106，西から

柱穴 SP119，西から

柱穴 SP137，南から

柱穴 SP139 ～ 144，南西から

柱穴 SP156・157，南東から

柱穴 SP160・161，西から

柱穴 SP171，北から

柱穴 SP190，北から

柱穴 SP193・211，北から

柱穴 SP194，北東から

柱穴 SP195・196，東から

柱穴 SP222，東から

柱穴 SP224・225，西から

柱穴 SP230，北から

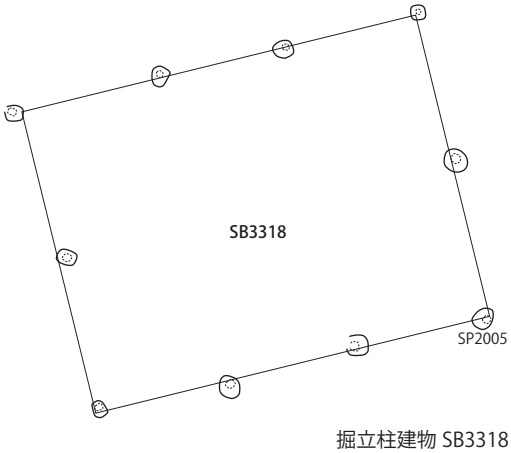
柱穴 SP246，南から

柱穴 SP437，南東から

柱穴 SP438・440・441，南西から

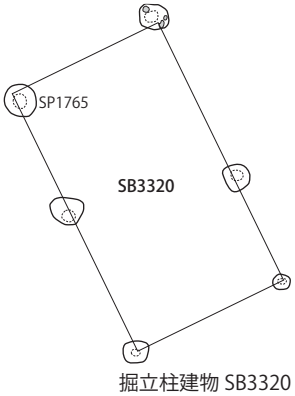
柱穴 SP439，北東から

柱穴 SP443・444，北西から



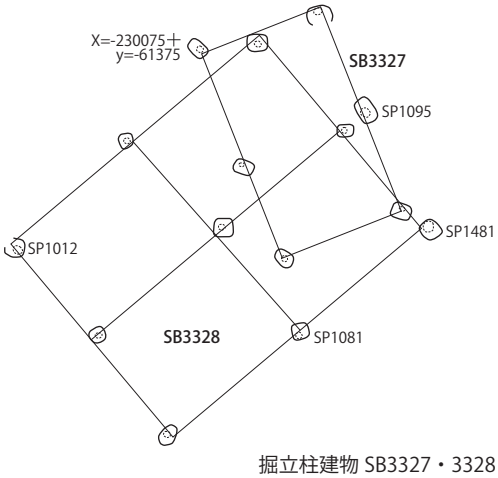
掘立柱建物 SB3318

柱穴 SP1765，南西から



掘立柱建物 SB3320

柱穴 SP2005，北から



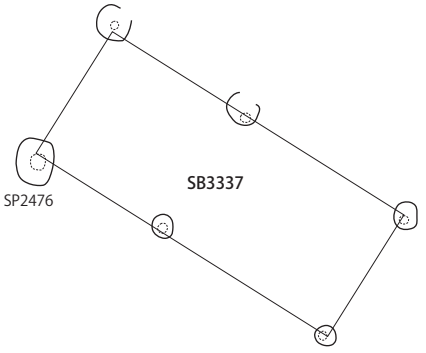
掘立柱建物 SB3327・3328

柱穴 SP1012・1013，南西から

柱穴 SP1081，北西から

柱穴 SP1095，東から

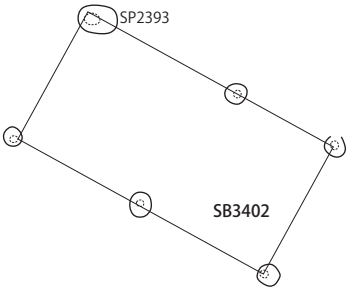
柱穴 SP1327・1481，東から



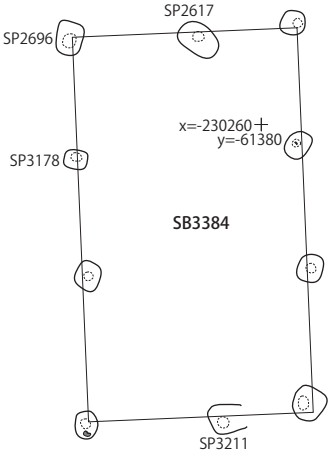
掘立柱建物 SB3337

柱穴 SP2476，北西から

柱穴 SP2393，北から



掘立柱建物 SB3402



掘立柱建物 SB3384

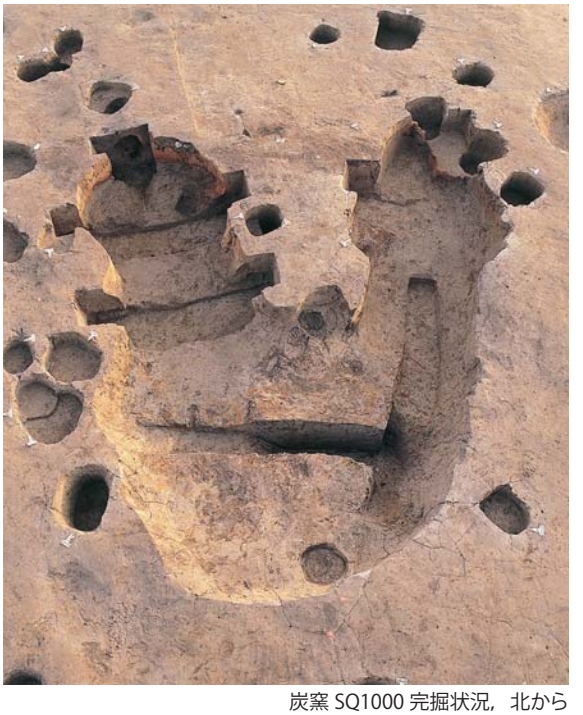
柱穴 SP2617，南から

柱穴 SP2696，西から

柱穴 SP3178，南西から

柱穴 SP2596・3211，北西から

炭窯 SQ1000 検出状況，北から


炭窯 SQ1000 完掘状況，北から

炭窯 SQ1000，北から

炭窯 SQ1000 断面：g - g'，北西から

炭窯 SQ1000 断面：f - f'，北西から

炭窯 SQ1000 断面：c - c'，北西から

炭窯 SQ1000 断面：e - e'，北から

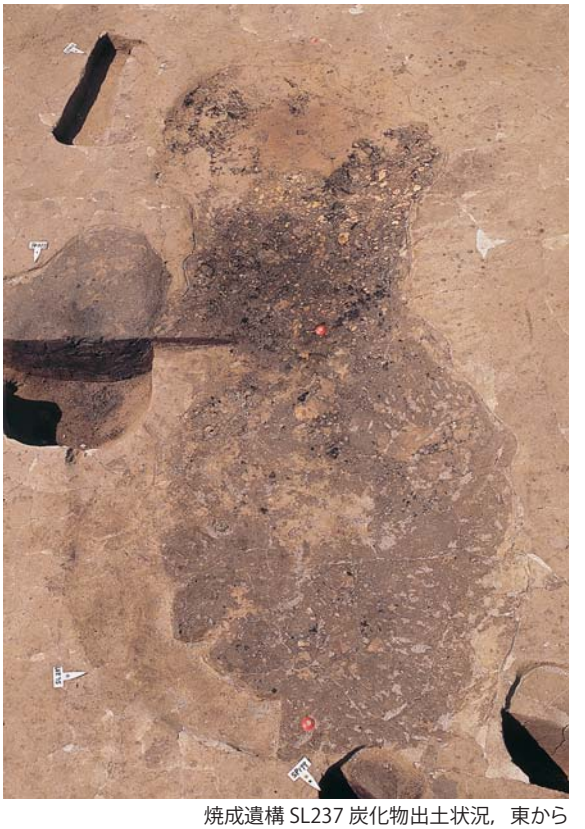
炭窯 SQ1000 断面：b - b'，北から

炭窯 SQ1000 断面：d - d'，北から

炭窯 SQ1000 断面：a - a'，北西から

焼成遺構 SL236 炭化物出土状況，東から

焼成遺構 SL236 断面，南西から



焼成遺構 SL237 炭化物出土状況，東から

焼成遺構 SL237 断面，南東から

焼成遺構 SL370 断面，北西から

焼成遺構 SL500 断面，東から

焼成遺構 SL1892 断面，北西から

焼成遺構 SL1905 断面，東から

焼成遺構 SL1906 断面，東から

焼成遺構 SL1907 断面，南東から

焼成遺構 SL1934 断面，南東から

焼成遺構 SL1954 断面，北西から

焼成遺構 SL2256 断面，北西から

焼成遺構 SL2321 断面，北から

焼成遺構 SL2414 断面，北東から

焼成遺構 SL2463 断面，南東から

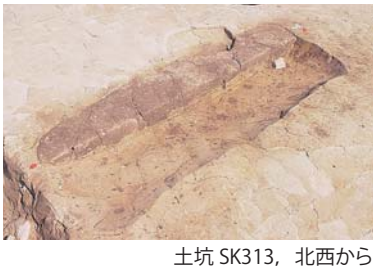
土坑 SK205，東から

土坑 SK221，東から

土坑 SK269，溝 SD279，　西から

土坑 SK311，北東から

土坑 SK318，北東から



土坑 SK313，北西から

土坑 SK357，南東から

土坑 SK369，東から

土坑 SK374，東から

土坑 SK429，溝 SD117，南東から

土坑 SK506，柱穴 SP507，北東から

土坑 SK606，北西から

土坑 SK682，西から

土坑 SK690，北西から

土坑 SK720，北西から

土坑 SK721，柱穴 SP745，南東から

土坑 SK721・2008，柱穴 SP1207・2009・2010，北西から

土坑 SK934 ～ 938 完掘状況，南東から

土坑 SK934 ～ 936：a - a'，東から

土坑 SK935・938，柱穴 SP894：b - b'，東から

土坑 SK936・937：c - c'，東から

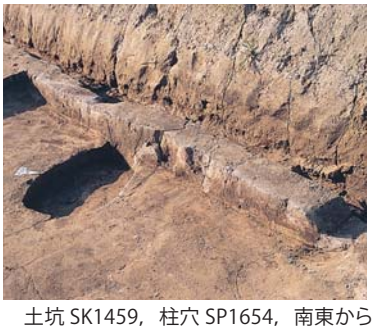
土坑 SK852，南東から

土坑 SK1014，北西から

土坑 SK1143，北から

土坑 SK1219，北東から

土坑 SK1271，溝 SD1272，西から


土坑 SK1459，柱穴 SP1654，南東から

土坑 SK1492，南から

土坑 SK1655，南西から

土坑 SK1902，北西から

土坑 SK1695，南西から

土坑 SK1904，南西から

土坑 SK1919，北から

土坑 SK1955，北西から

土坑 SK2019，東から

土坑 SK2108・2109，南東から

土坑 SK2119，東から

土坑 SK2121，北から

土坑 SK2122，北東から

土坑 SK2123，南西から

土坑 SK2124，南西から

土坑 SK2125，南東から

土坑 SK2126，北東から

土坑 SK2127，東から

土坑 SK2129，南西から

土坑 2128，集石検出状況，西から

土坑 SK2128 断面，南東から

土坑 SK2131，南東から

土坑 SK2128，瓦 130 出土状況，西から

土坑 SK2162，北から

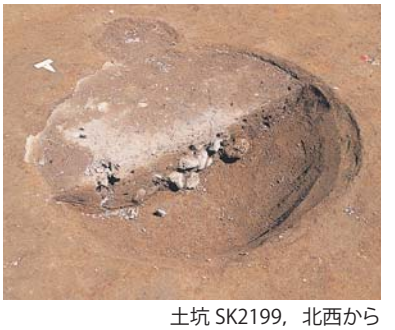
土坑 SK2181，北東から

土坑 SK2195，北西から

土坑 SK2196，北東から

土坑 SK2197，北東から

土坑 SK2198，西から


土坑 SK2199，北西から

土坑 SK2245，西から

土坑 SK2248，南から

土坑 SK2254，北東から

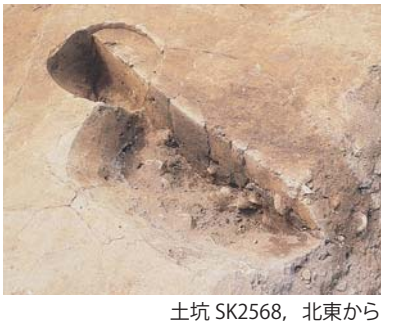
土坑 SK2255，南東から

土坑 SK2291・2572，東から

土坑 SK2296，北から

土坑 SK2299，北西から

土坑 SK2553，北から


土坑 SK2568，北東から

土坑 SK2302・2304・2311，南西から

土坑 SK2328，南西から

土坑 SK2357，北東から

土坑 SK2361，北東から

土坑 SK2358，南西から

土坑 SK2363，溝 SD2203，北西から

土坑 SK2408，北から

土坑 SK2413，北西から

土坑 SK2415，北から

土坑 SK2416，南東から

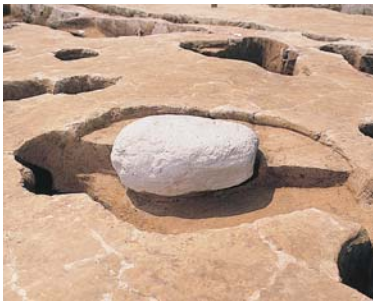
土坑 SK2420，南から

土坑 SK2421，東から

土坑 SK2427・2428，北東から

土坑 SK2437，西から

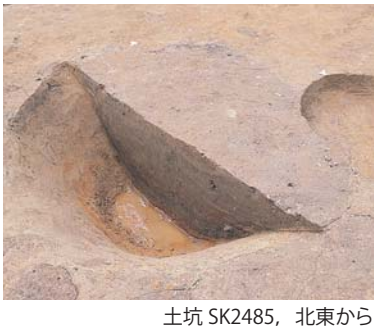
土坑 SK2455，北東から


土坑 SK2465，北東から

土坑 SK2482，南東から

土坑 SK2483，北東から

土坑 SK2484，北東から


土坑 SK2485，北東から

土坑 SK2486・2501，北から

土坑 SK2487，東から

土坑 SK2488，北東から

土坑 SK2489，北東から

土坑 SK2490，北から

土坑 SK2491・2515，北西から

土坑 SK2493・2494，北西から

土坑 SK2495，北から

土坑 SK2496，西から

土坑 SK2497，北西から

土坑 SK2503，南西から

土坑 SK2504，南東から

土坑 SK2505，南西から

土坑 SK2517，南東から

土坑 SK2544，南東から

土坑 SK2550，南東から

土坑 SK2525，北東から

土坑 SK2554，西から

土坑 SK2562，南東から

土坑 SK2563，北から

土坑 SK2576，柱穴 SP2577，北から

土坑 SK2642，南東から

土坑 SK2610・3257，溝 SD279，北西から

土坑 SK2615，北東から

土坑 SK2771，南東から

土坑 SK2777，西から

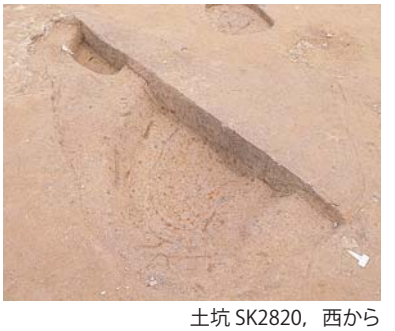
土坑 SK2778，西から

土坑 SK2791，東から

土坑 SK2801，東から

土坑 SK2802，北東から

土坑 SK2804・2805，北西から


土坑 SK2820，西から

土坑 SK2851，北東から

土坑 SK2835・2848，南東から

土坑 SK2825，東から

土坑 SK2881，南東から

土坑 SK3067，北東から

土坑 SK3068～3070, 北西から

土坑 SK3225，南から

土坑 SK3237，北西から

土坑 SK3071・3239，北東から

土坑 SK3238，北東から

土坑 SK3282，南西から

溝 SD113：S1，北西から

溝 SD113・279：S2，北西から

溝 SD113，柱穴 SP361：S3，南西から

溝 SD117：S4，北東から

溝 SD117・279：S5，南東から

溝 SD279：S6，北東から

溝 SD279：S7，南東から

溝 SD279：S8，北西から

溝 SD306：S10，北東から

溝 SD306：S11，北西から

溝 SD306：S12，南東から

溝 SD390，柱穴 SP398：S14，北東から

溝 SD390，川 SG393：S13，東から

溝 SD397：S15，北東から

溝 SD397，土坑 SK399：S16，北東から

溝 SD426：S17，西から

溝 SD427：S18，西から

溝 SD427：S19，北西から

溝 SD427：S21，北東から

溝 SD427：S22，南西から

溝 SD427：S20，北西から

溝 SD427：S23，南から

溝 SD427・796：S25，南西から

溝 SD427・559，土坑 SK1390：S24，南東から

溝 SD427・2418：S26，北東から

溝 SD427・2773：S27，南東から

溝 SD427・2873：S28，北東から

溝 SD593：S31，北から

溝 SD593：S32，北東から

溝 SD593・1212・1273：S33，南東から

溝 SD599：S34，北東から

溝 SD599・796：S35，北東から

溝 SD599・939，土坑 SK1390：S36，北西から

溝 SD599・1445：S37，南東から

溝 SD631：S38，南東から

溝 SD796：S40，東から

溝 SD796：S41，東から

溝 SD939・1827：S42，南西から

溝 SD939，柱穴 SP1858：S43，南東から

溝 SD1212：S44，北東から

溝 SD1370，柱穴 SP1408：S46，北西から

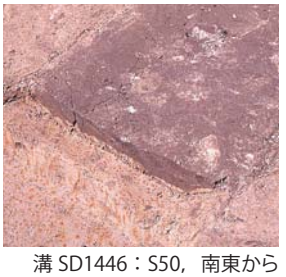
溝 SD1445：S47，北西から

溝 SD1827：S51，北東から

溝 SD1885：S53，南東から

溝 SD1903：S55，南東から

溝 SD1953：S56，南西から


溝 SD1446：S50，南東から

溝 SD1903：S54，東から

溝 SD1953：S57，南西から

溝 SD2016：S60，西から

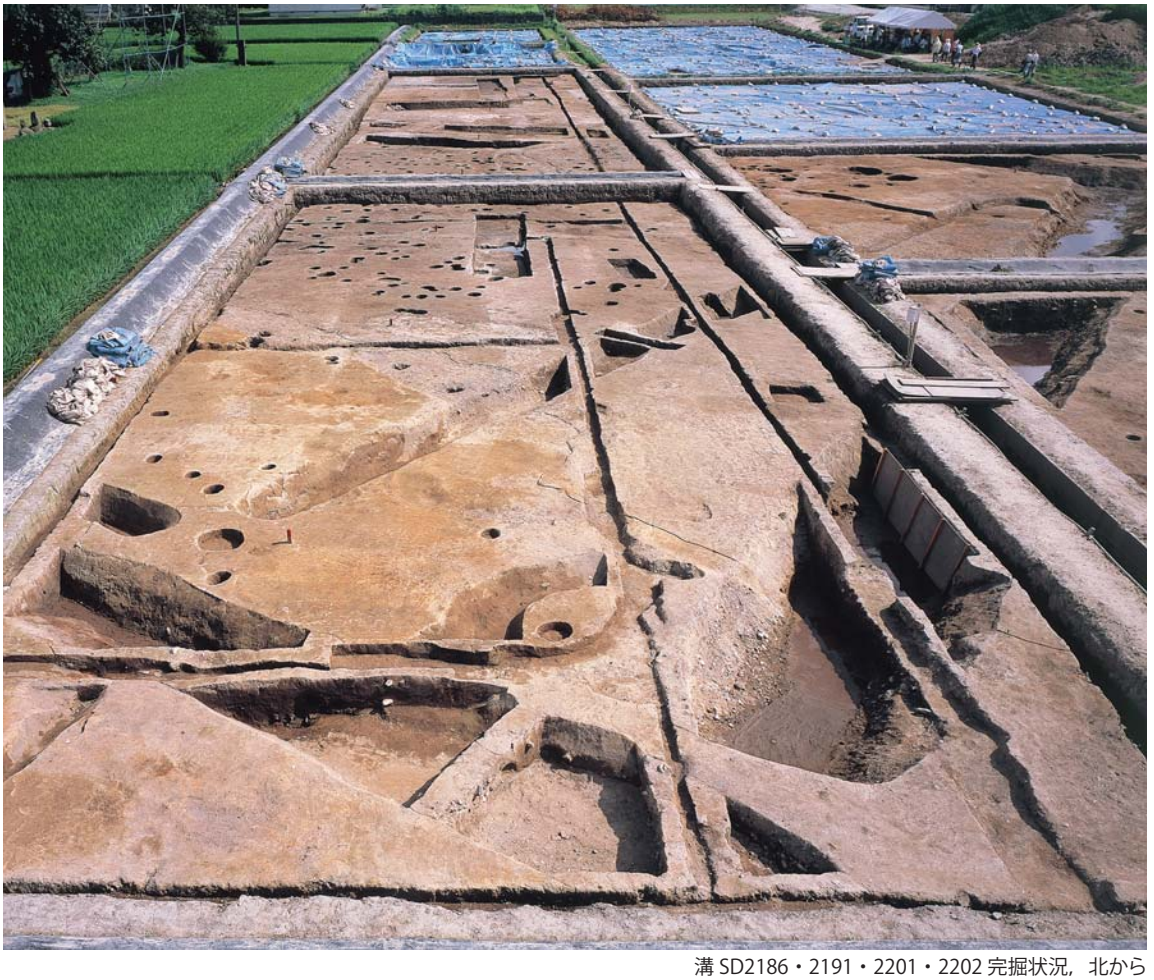
溝 SD2014：S59，西から

溝 SD2015：S59，西から

溝 SD2102：S61，南東から

溝 SD2102・2574 完掘状況，北から

溝 SD2102 完掘状況，北西から



溝 SD2186・2191・2201・2202 完掘状況，北から

溝 SD2102：S62，北西から

溝 SD2102・2105：S65，北東から

溝 SD2102：S63，西から

溝 SD2102：S64，北西から

溝 SD2102・2105：S66・67，北東から

溝 SD2102，柱穴 SP2518：S68，南東から

溝 SD2102・2567：S69，北西から

溝 SD2103：S70，北西から

溝 SD2105：S71，南東から

溝 SD2105：S73，北東から

溝 SD2105・2111：S74，南東から

溝 SD2105，土坑 SK2343：S76，北西から

溝 SD2105・2111，土坑 SK2112・2113：S77，北東から

溝 SD2111：S78，北東から

溝 SD2111：S79，北西から

溝 SD2111・2574，竪穴建物 ST2583：S80，南東から

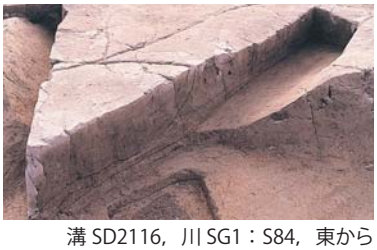
溝 SD2116：S81，北東から

溝 SD2116・2117：S82，北から

溝 SD2117：S85，南東から

溝 SD2120：S89，南西から

溝 SD2116・2118・2180：S83，北東から



溝 SD2116，川 SG1：S84，東から

溝 SD2117・2118：S86，南西から

溝 SD2117・2118，柱穴 SP2176：S87，北東から

溝 SD2118：S88，北東から

溝 SD2120，川 SG1：S90，北西から

溝 SD2186：S91，漆器 172 出土状況，南から

溝 SD2186：S92，南から

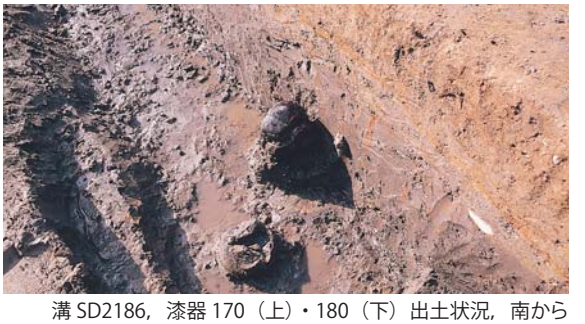
溝 SD2186：S93，南東から

溝 SD2186・2191：S96，南東から

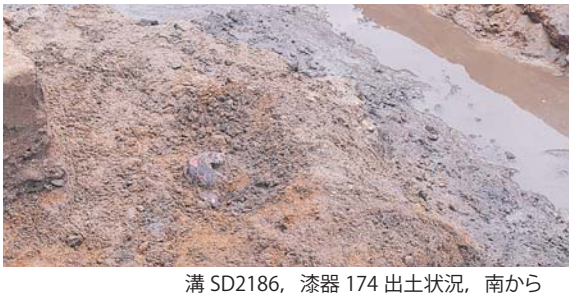
溝 SD2186 完掘状況（東半部），北西から

溝 SD2186：S94，南西から

溝 SD2186：S95，西から



溝 SD2186，漆器 170（上）・180（下）出土状況，南から



溝 SD2186，漆器 174 出土状況，南から

溝 SD2186 完掘状況（西半分），北西から

溝 SD2191：S97，北から

溝 SD2191：S98，北西から

溝 SD2191：S99，南西から

溝 SD2191：S100，北東から

溝 SD2191・2193：S101，北から

溝 SD2191，川 SG1：S102，南から

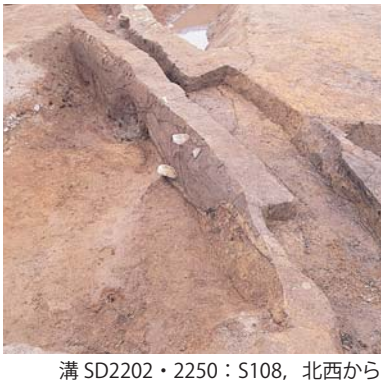
溝 SD2193：S103，北から

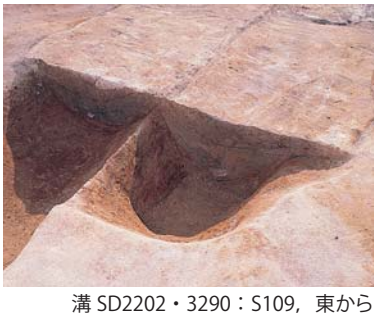
溝 SD2201：S104，北西から

溝 SD2202：S105，西から

溝 SD2202：S106，東から

溝 SD2202：S107，北西から


溝 SD2202・2250：S108，北西から


溝 SD2202・3290：S109，東から

溝 SD2203：S110，北から

溝 SD2251：S113，南から

溝 SD2250：S111，東から

溝 SD2251：S112，南から

溝 SD2272：S114，北西から

溝 SD2273，土坑 SK3292：S115，東から

溝 SD2318・2769：S118，北から

溝 SD2318：S116，北東から

溝 SD2318：S117，北から

溝 SD2339：S119，北西から

溝 SD2356・2359，川 SG2336：S120，北東から

溝 SD2359：S121，南東から

溝 SD2407：S122，北西から

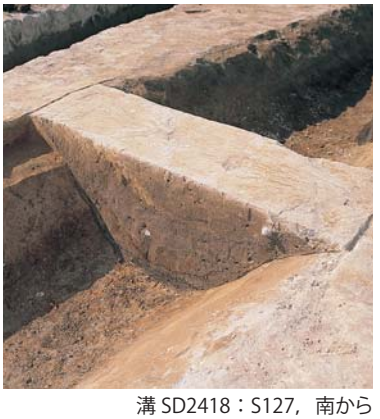
溝 SD2409：S124，北から

溝 SD2410：S125，南東から

溝 SD2409：S123，南西から

溝 SD2410：S126，北から

溝 SD2418：S129，南から


溝 SD2418：S127，南から

溝 SD2418：S128，北西から

溝 SD2418：S130，東から

溝 SD2418・2422：S131，北から

溝 SD2418・3290：S132，南東から

溝 SD2422：S134，南西から

溝 SD2500：S135，南西から

溝 SD2500・2574：S136，西から

溝 SD2500・2574：S137，南から

溝 SD2567：S138，北東から

溝 SD2574：S139，南東から

溝 SD2574：S140，南西から

溝 SD2574：S141，南東から

溝 SD2574：S142，北西から

溝 SD2647：S148，南東から

溝 SD2770：S152，南西から

溝 SD2648：S149，東から

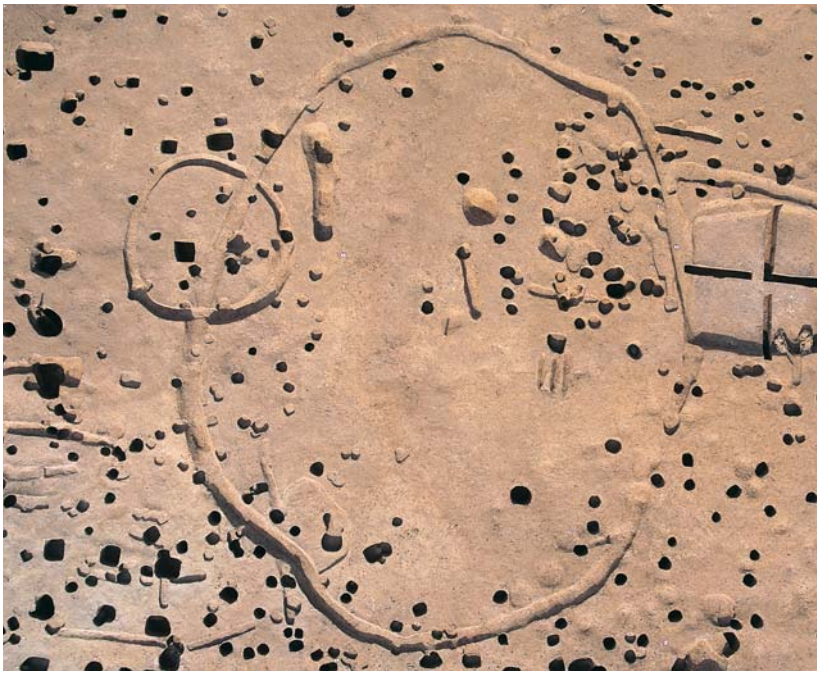
溝 SD2770：S151，西から

溝 SD2773：S155，南西から

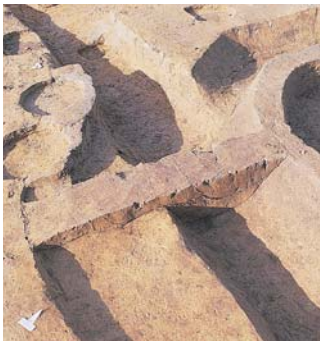
溝 SD2769：S150，東から

溝 SD2773：S153，南東から

溝 SD2773：S154，南東から


円形溝 SD2631・2824，上が北

円形溝 SD2631：S143，南から


円形溝 SD2631，溝 SD2647・2661：S146，南から

円形溝 SD2824:S162, 北東から

円形溝 SD2631・2824：S147，南東から

溝 SD2779：S156，北から

溝 SD2790：S157，東から

溝 SD2807：S158，北から

溝 SD2822：S159，北西から

溝 SD2822・2823：S160，西から

溝 SD2823：S161，北東から

溝 SD2865：S163，北から

溝 SD2873：S164，北西から

溝 SD3253：S166，南東から

溝 SD3253：S167，南東から

溝 SD3254：S168，南西から

溝 SD3254：S169，南東から

溝 SD3254・3255：S170，北東から

溝 SD3255：S171，南西から

川 SG1 完掘状況（x=-230230 付近），北東から

川 SG1 断面：S173，北西から

川 SG1 断面：S174，北西から

川 SG1・2699 断面：S172，北東から

川 SG1 断面：S175，北西から

川 SG1 断面：S176，南西から

川 SG1 断面：S177，北から

川 SG1 断面：S178，南西から

川 SG1 断面：S179，北から

川 SG1 断面：S180，北西から

川 SG1 断面：S181，北から

川 SG1 断面：S182，北から

川 SG299 断面：S183，南東から

川 SG299 断面：S184，南西から

川 SG2336 断面：S185，北東から

川 SG2699 完掘状況，北東から

流路 SG2870 断面，南東から

川 SG2699 断面：S186，北東から

川 SG2699 断面：S187，南から

竪穴建物 ST2252

竪穴建物 ST2280

竪穴建物 ST2289

13

15

19 20

14

16

18

17 21 22

竪穴建物 ST2319

23

24

25

竪穴建物 ST2492（掘方）

26

27 31

28

29

30

竪穴建物 ST2582

32

34

33

35【SP2716】

36

37

43

45

38

42

39 40 41 44

竪穴建物 ST2583

竪穴建物 ST2584

竪穴建物 ST2585

竪穴建物 ST2653

竪穴建物 ST2662

竪穴建物 ST2701

竪穴建物 ST2776（66・67）

竪穴建物 ST2793（68・69）

竪穴建物 ST2818（70 ～ 73）

74

76

78

80

82

84

85 86

75

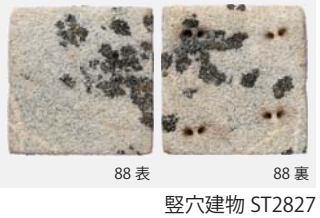
77

79

81

83

87


88 表 88 裏

竪穴建物 ST2827

90

91

92

93

94

95

96

97

98

竪穴建物 ST2838

99

100

竪穴建物 ST2838（99・100）

103

竪穴建物 ST2876

105

108【SP2856】

101

竪穴建物 ST2845

102

竪穴建物 ST2849

104

竪穴建物 ST2877

106

107

竪穴建物 ST3248（105 ～ 107）

109【SP3003】

掘立柱建物 SB3010

110【SP2513】

掘立柱建物 SB3388

111

柱穴 SP1026

112

柱穴 SP1859

113

柱穴 SP2313

114

柱穴 SP2345

115

柱穴 SP2518

116

柱穴 SP598

117

柱穴 SP2007

118

柱穴 SP2468

119【SP2366】

掘立柱建物 SB3348

121

柱穴 SP2187

柱穴 SP2443（125），SP2472（126），SP2772（127）

焼成遺構 SL2284

土坑 SK2126

土坑 SK2128

土坑 SK2306

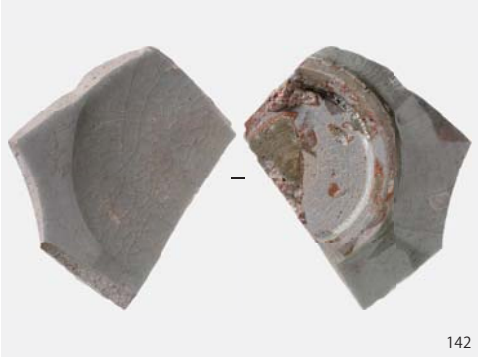
土坑 SK2602

土坑 SK2874（133・134）

土坑 SK2875

土坑 SK2343（137・138）

土坑 SK2488



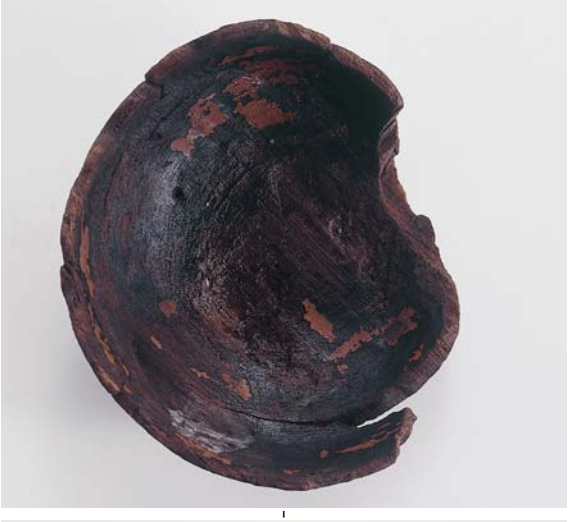
土坑 SK2610

土坑 SK2485

溝 SD279（149），SD306（151），SD427（152），SD593（153），SD631（154），SD796（155），SD2102（156）

溝 SD2186（158 ～ 163）

溝 SD2186（漆器）



溝 SD2186（漆器）

175

176

177

178

179

180

181

182

溝 SD2186（漆器）

溝 SD2186（椀・箸・円板状・栓・曲物）

191

194

192

193

196

195

197

198

199

200

溝 SD2186（折敷・蓋・板状・下駄）

201

202

203

204

205

206

207

208

209

溝 SD2186（鎌柄・杭・棒状・板状・部材）

溝 SD2202（211 ～ 213），SD2356（215），SD2418（216）

217

218

223

224

220

225

227

226

228

溝 SD2500（217・218），SD2574（219～222），SD2769（223），川 SG1（224～228）

229

230

231

232

233

234

235
238

236

239

237

240

241

242

244

245

243

川 SG1

246

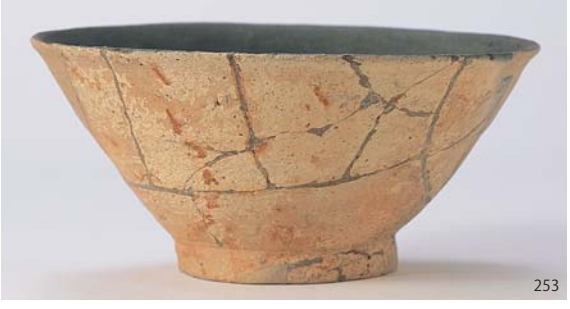
247

249

250

251

252


253

254

248

255

256

257

258

川 SG1

259

260

261

264

266

川 SG1（259～261），SG299（264），SG2336（266）

267

268

269

270

271

272

273

274

275

276

277

278

279

280

281

川 SG2699

282

283

284

285

286

287

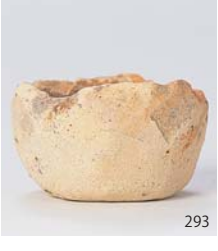
288

289

290

291

292


293

294

295

川 SG2699

296

298

297

299

300

301

303

302

306

304

川 SG2699

川 SG2699

流路 SG2870

遺構外出土

317

318

320

319

322

321 323 325

324

326

327 328

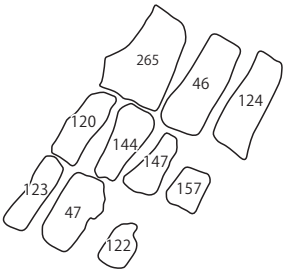
遺構外出土の土器

遺構外出土の陶磁器・土製品・木製品・金属製品

硯（上：136　下：159）

不定形磨石（左：139　右：89）

磨石（上：49　下：210　右上：145　左：12）



硯
136 ：土坑 SK2198
159 ：溝 SD2186

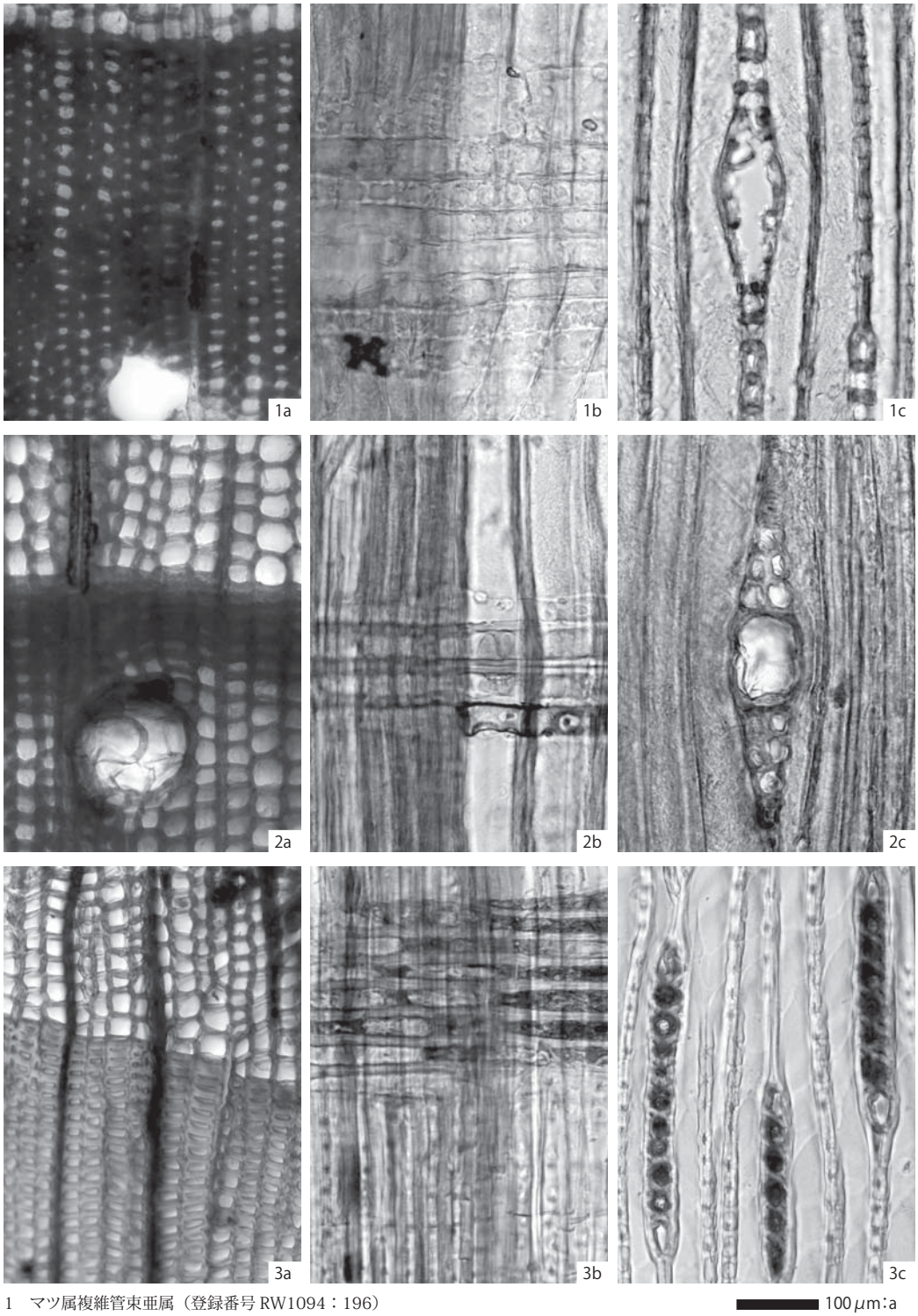
不定形磨石
89 ：竪穴建物 ST2827
139 ：土坑 SK2343

磨石
12 ：竪穴建物 ST2289
49 ：竪穴建物 ST2584
145 ：土坑 SK1390
210 ：溝 SD2191

砥石
46 ：竪穴建物 ST2583
47 ：竪穴建物 ST2583
120 ：柱穴 SP1672
122 ：柱穴 SP2192
123 ：柱穴 SP2315
124 ：柱穴 SP2404
144 ：土坑 SK1014
147 ：土坑 SK2357
157 ：溝 SD2111
265 ：川 SG2336

火打石
143 ：土坑 SK936
146 ：土坑 SK2122
150 ：溝 SD279
214 ：溝 SD2202
262 ：川 SG1
263 ：川 SG1
310 ：川 SG2699

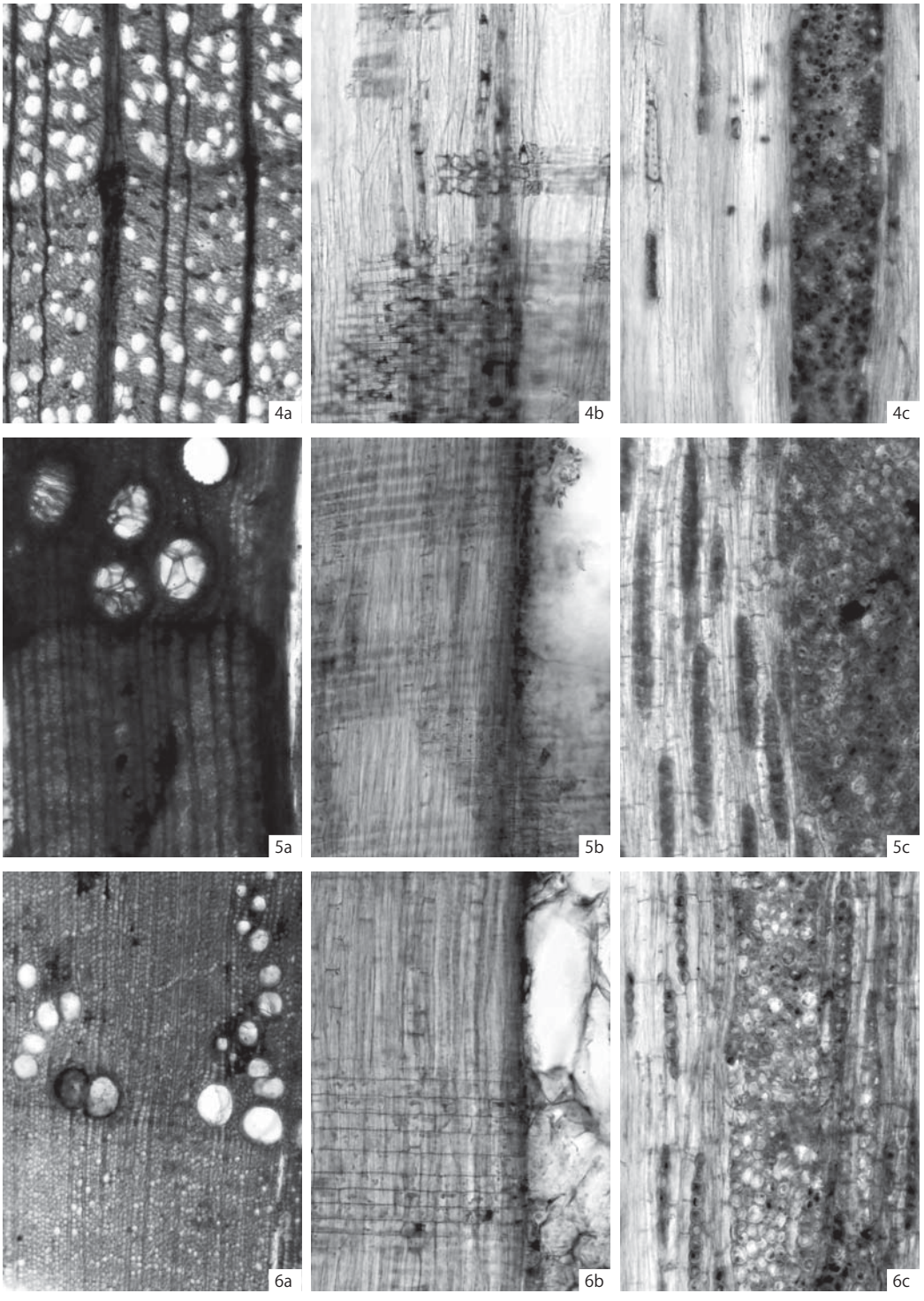
遺構出土の硯・不定形磨石・磨石・砥石・火打石



1　マツ属複維管束亜属（登録番号 RW1094：196）
2　マツ属単維管束亜属（登録番号 RW1049：208）
3　アスナロ（登録番号 RW1041）
　　a：木口，b：柾目，c：板目

100 μm：a
100 μm：b・c

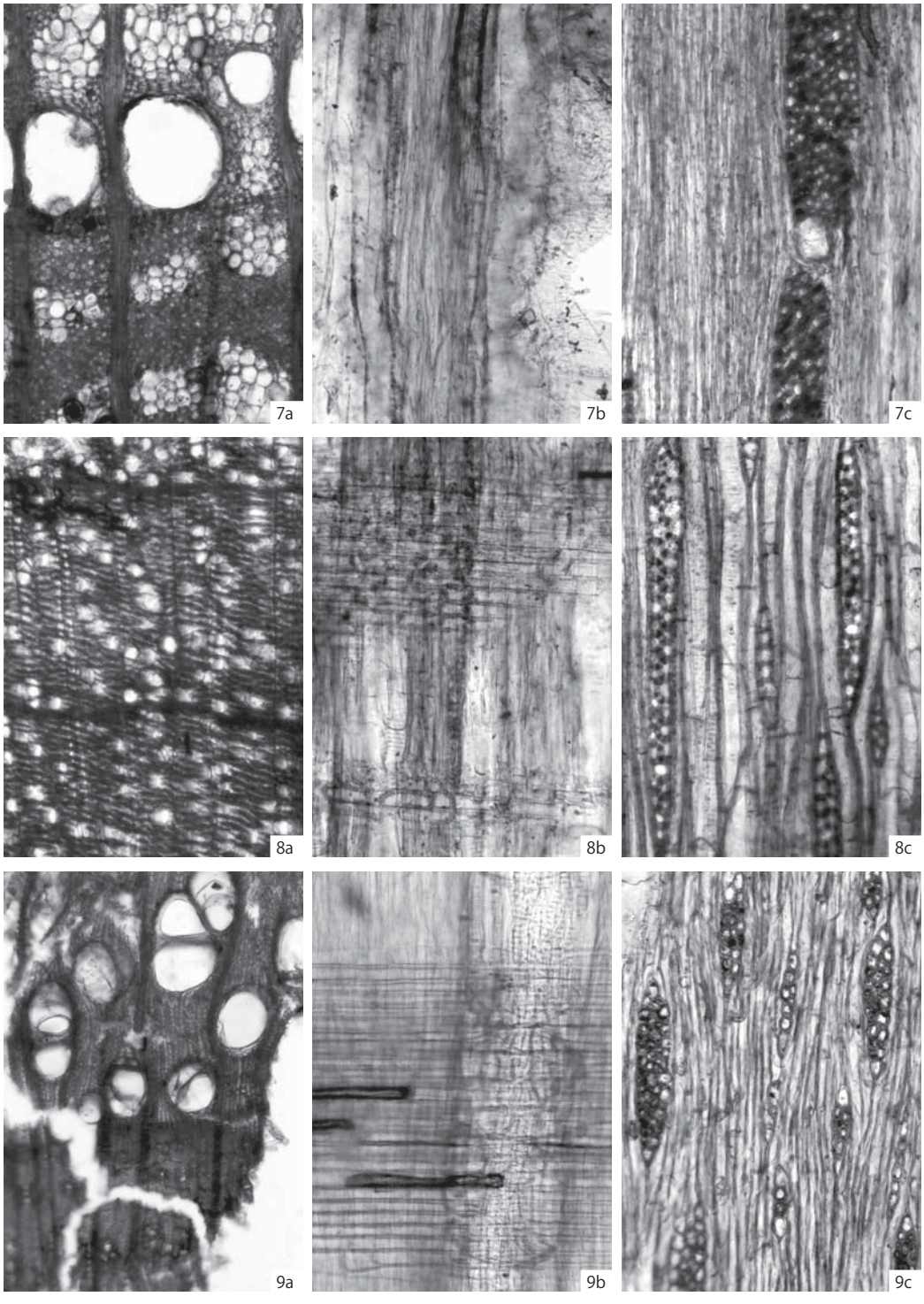
樹種同定 1（第Ⅳ章より）



4　ブナ属（登録番号 RW1093：167）
5　コナラ属コナラ亜属クヌギ節（登録番号 RW1077）
6　コナラ属コナラ亜属コナラ節（登録番号 RW1061：203）
　　a：木口，b：柾目，c：板目

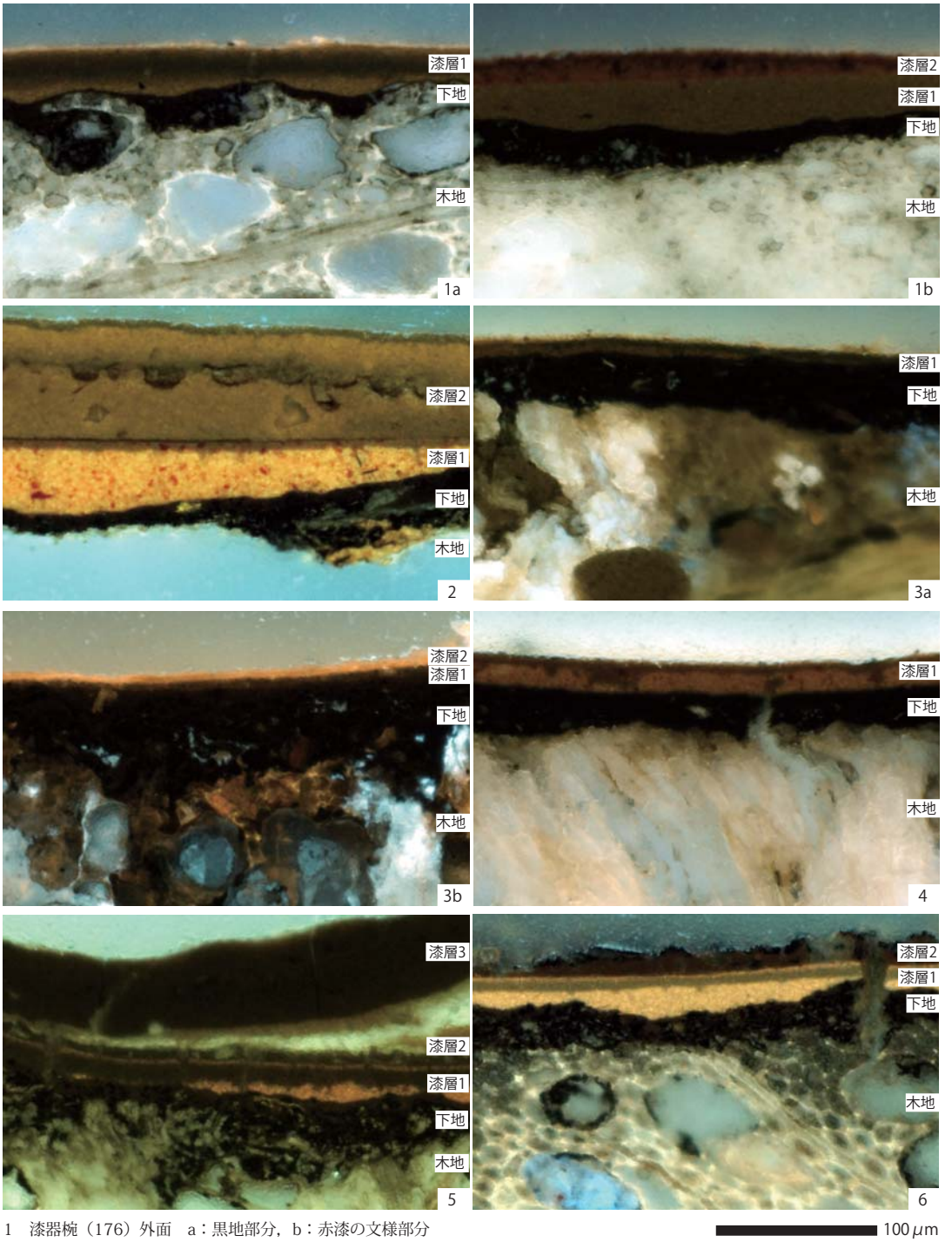
200 μm：a
100 μm：b・c

樹種同定 2（第Ⅳ章より）



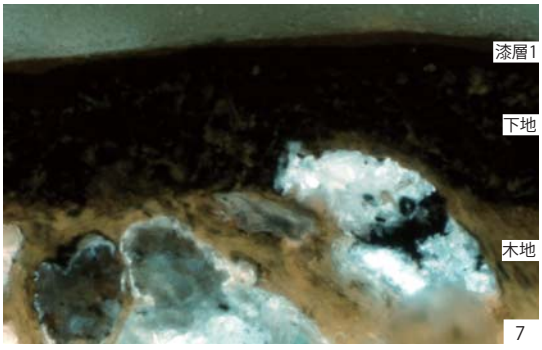
7　ケヤキ（登録番号 RW1084：200）
8　モクレン属（登録番号 RW1072：197）
9　トネリコ属 (登録番号 RW1046)
　　a：木口，b：柾目，c：板目

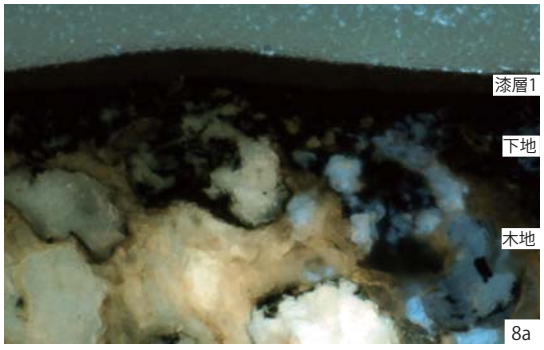
樹種同定 3（第Ⅳ章より）

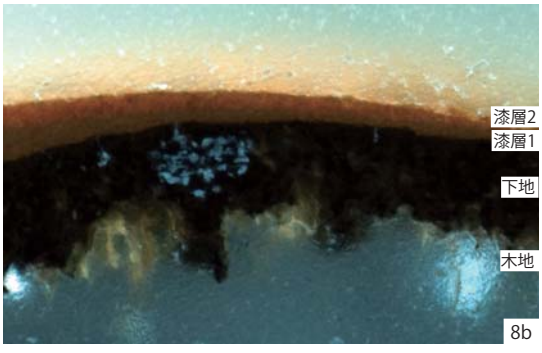


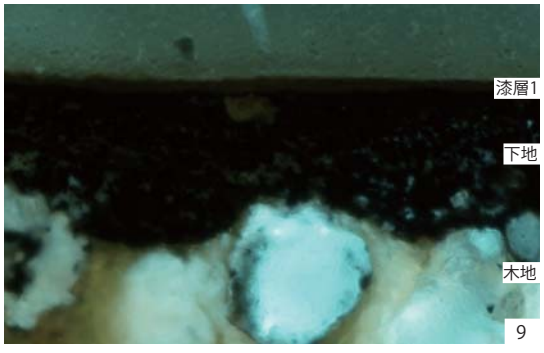
1　漆器椀（176）外面　a：黒地部分，b：赤漆の文様部分
2　漆器椀（176）内面
3　漆器椀（175）外面　a：黒地部分，b：赤漆の文様部分
4　漆器椀（175）内面
5　漆器皿（166）外面
6　漆器皿（166）内面

漆塗膜断面 1（第Ⅳ章より）



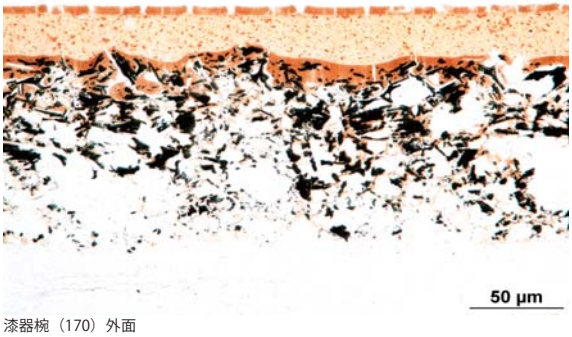




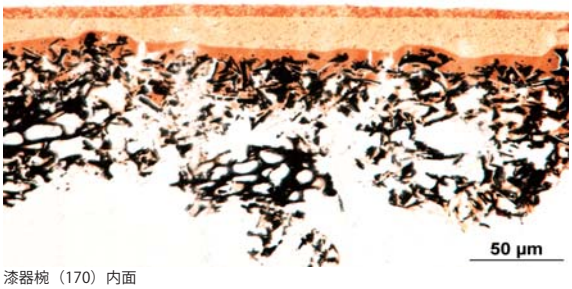


7　漆器椀（169）
8　漆器椀（167）外面　a：黒地部分，b：赤漆の文様部分
9　漆器椀（167）内面

100 μm

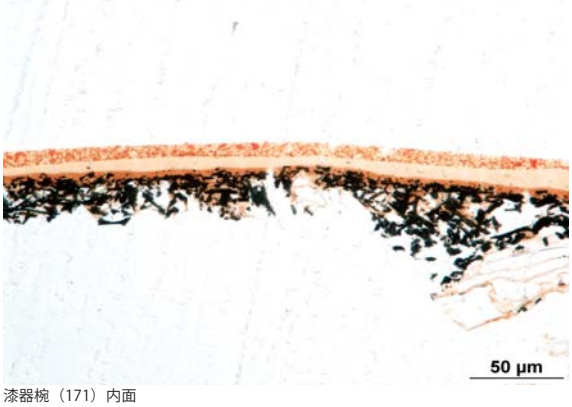


漆器椀（170）外面



漆器椀（170）内面

漆器椀（171）外面



漆器椀（171）内面

漆塗膜断面 2（第Ⅳ章より）

報告書抄録

ふりがな	にしやちｂいせきだい１・２じはっくつちょうさほうこくしょ
書名	西谷地ｂ遺跡第１・２次発掘調査報告書
副書名	
巻次	
シリーズ名	山形県埋蔵文化財センター調査報告書
シリーズ番号	第215集
編著者名	水戸部秀樹　草野潤平
編集機関	公益財団法人山形県埋蔵文化財センター
所在地	〒999 - 3246　山形県上山市中山字壁屋敷5608番地　ＴＥＬ　023 - 672 - 5301
発行年月日	2015年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °　′　″	東経 °　′　″	発掘期間	発掘面積 ㎡	発掘原因
西谷地ｂ遺跡（にしやちいせき）	山形県（やまがたけん） 米沢市大字（よねざわしおおあざ） 川井字道下（かわいあざみちした）	6202	571	37° 55′ 27″	140° 8′ 7″	第１次調査 20090701 ～ 20091120	3,250	東北中央自動車道（米沢～米沢北間）改築事業
						第２次調査 20100513 ～ 20101130	12,240	

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
西谷地ｂ遺跡（にしやちいせき）	集落跡	古墳時代	川	土師器　須恵器	奈良・平安時代の拠点的集落と、溝で囲まれた中世の屋敷地。外周溝を伴う大型竪穴建物の覆土上層からは石製巡方が出土。中世屋敷地の区画溝からは伊達氏領国内で特徴的な内耳土鍋・瓦質擂鉢・三引両文漆器が出土。（文化財認定箱数：95）
		奈良時代 平安時代	竪穴建物　22 掘立柱建物　16 掘立柱列　3 土坑 川	土師器　須恵器 土製品（瓦・紡錘車） 石製品（巡方・砥石） 鉄製品（鉄鐸・鉄鉗）	
		中世	竪穴建物　1 掘立柱建物　56 掘立柱列　1 炭窯　1 焼成遺構　15 土坑 溝	陶器　青磁　白磁 土師質土器（内耳土鍋） 瓦質土器（擂鉢） 漆器　木製品 石製品（茶臼・硯・砥石）	

要約

古墳時代においては、調査区中央を北東に向かって流れる川SG2699から5世紀後半～6世紀前半の土師器が数多く出土し、調査区西方に当該期に帰属する集落の存在が想定される。

奈良・平安時代の主要な遺構は調査区南半部に集中する。竪穴建物は8世紀末～9世紀初頭を中心として9世紀後半まで認められ、8世紀初頭まで遡るものも確認された。掘立柱建物は9世紀後半を中心としており、竪穴建物に後続するあり方を示す。特徴的な遺物として鍛冶具の鉄鉗や石製巡方などが挙げられ、鉄鐸や顎面施文軒平瓦といった県内で類例のない特殊な遺物も出土した。

中世では、調査区北半部に溝で囲まれた屋敷地が検出され、数多くの掘立柱建物や炭窯・焼成遺構などが確認された。青磁や陶器の年代観から13～14世紀以降の営みが想定できるがその数は少ない。区画溝から16世紀後半の内耳土鍋や瓦質擂鉢、伊達家の家紋である三引両の描かれた漆器椀などが出土した。伊達家の本拠地の移動に伴い本遺跡周辺が開発され、そして廃絶されたものと考えられる。よって屋敷地は、伊達家の関係者のものであった可能性が高い。

山形県埋蔵文化財センター調査報告書第 215 集

西谷地ｂ遺跡第 1・2 次発掘調査報告書

2015 年 3 月 31 日発行

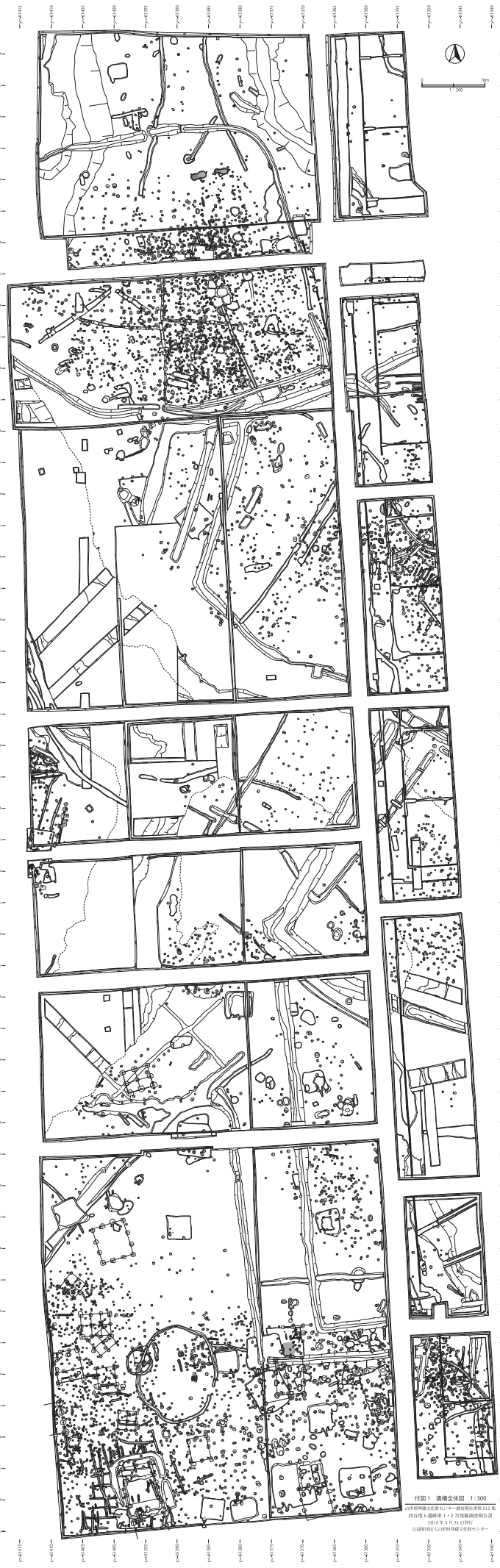
発行　公益財団法人　山形県埋蔵文化財センター
〒 999 - 3246　山形県上山市中山字壁屋敷 5608 番地
電話　023 - 672 - 5301
印刷　田宮印刷株式会社
〒 990-2251　山形県山形市立谷川 3 丁目 1410-1
電話　023-686-6111

山形県埋蔵文化財センター調査報告書第 215 集

西谷地 b 遺跡第 1・2 次発掘調査報告書

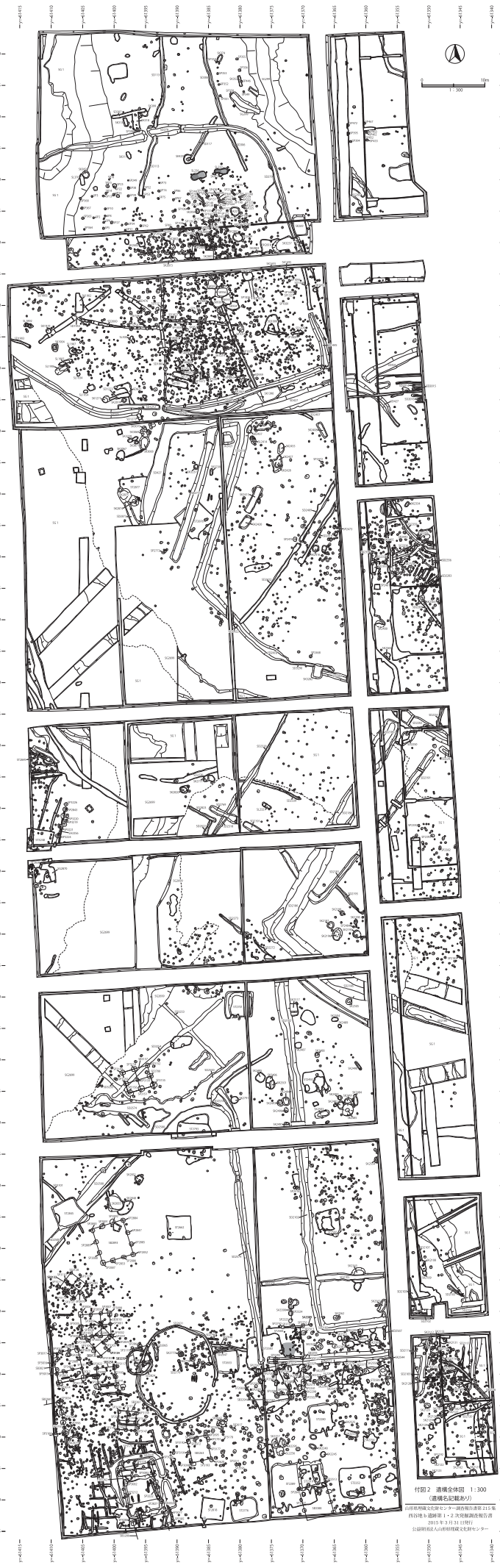
付図 1　遺構配置図　1/300

付図 2　遺構配置図（遺構名記載あり）　1/300



付図１　遺構全体図　1：300

山形県埋蔵文化財センター調査報告書第215集
西谷地b遺跡第1・2次発掘調査報告書
2015年3月31日刊行
公益財団法人山形県埋蔵文化財センター



付図２　遺構全体図　1：300
（遺構名記載あり）

山形県埋蔵文化財センター調査報告書第215集
西谷地b遺跡第1・2次発掘調査報告書
2015年3月31日発行
公益財団法人山形県埋蔵文化財センター